

狛江市地域福祉計画等の策定等に係る
市民意識調査結果報告書

令和5年7月

狛江市

目次

第1章 調査の目的と構成	1
1 調査の目的	1
2 市民意識調査の概要	1
3 市民意識調査の調査項目	3
4 この調査のみかた	16
第2章 市民一般調査	17
1 本人、家族について	17
2 社会的孤立・孤独について	28
3 感染症の影響について	53
4 外出（ひきこもり）の状況について	59
5 再犯防止について	66
6 避難行動要支援者支援について	75
7 地域の支え合いについて	81
第3章 子ども向け市民調査	87
1 基本情報について	87
2 なやみごとや支え合いについて	89
3 家族のケアについて	93
第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	107
基本 あなた（宛名のご本人）の基本情報について	107
1 あなたの（あて名のご本人）や生活状況について	111
2 からだを動かすことについて	116
3 食べることについて	123
4 毎日の生活について	129
5 地域での活動について	140
6 たすけあいについて	147
7 健康について	154
8 介護予防について	160
9 終末期ケアや終活について	163
10 認知症にかかる相談窓口の把握について	167
11 福祉施策について	168
第5章 在宅介護実態調査	177
1 在宅介護の限界点を高めるための支援	177
2 仕事と介護の両立に向けた支援	181
3 インフォーマルな地域資源の整備	183
4 世帯類型に応じた支援	185
5 医療ニーズが高い在宅生活者への支援	187
第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査	188
1 本人、家族について（基本事項）	188
2 狛江市の障がい福祉サービスについて	202
3 日常生活と困りごと	217

4	就労等の状況	227
5	地域とのつながり	235
6	障がい者差別について	239
7	狛江市の障がい者福祉施策について	242
第7章	周囲の理解と支援の必要な方・障がいのある方等（18歳未満）調査	248
1	本人、家族について（基本事項）	248
2	狛江市の障がい福祉サービスについて	262
3	日常生活の困りごと	278
4	就学・就労等の状況	289
5	障がい者差別について	296
6	狛江市の障がい福祉施策について	298

第 1 章 調査の目的と構成

1 調査の目的

本調査は、福祉3計画の改定の基礎資料として活用することを目的に、以下の4つのねらいのもと実施し、狛江市の福祉を取り巻く現状と課題を整理します。

- ① 市民の生活実態や福祉に対する意識・意見を把握する
- ② 過去の調査と同じ調査項目を設定し、経年変化をみる
- ③ 福祉を取り巻く新たな課題・テーマについて、市民の意識やニーズを探る
- ④ 市で実施している事業等の周知度を測る

2 市民意識調査の概要

本業務では、郵送法及びWEBによる6種類のアンケート調査を実施しました。

調査項目	調査対象者 調査対象数	調査内容	調査方法 調査期間	回収数 (回収率)
市民一般調査	満16歳以上の 全市民約72,535人	①地域福祉に関すること。 ②社会的孤立・孤独に関すること。 ③ひきこもり状態にある方へのニーズに関すること。 ④感染症の影響 ④再犯防止に関すること。 ⑤避難行動要支援者支援に関すること。	WEBによるアンケート調査 令和5年1月 13日～31日	1,278件 (1.8%)
子ども市民調査	小学校4年生以上 中学校3年生以下の児童・生徒約3,230人	①地域福祉に関すること。 ②ヤングケアラーに関すること。	WEBによるアンケート調査 令和5年1月 10日～31日	2,389件 (74.0%)

第1章 調査の目的と構成
2 市民意識調査の概要

調査項目	調査対象者 調査対象数	調査内容	調査方法 調査期間	回収数 (回収率)
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の無作為で抽出した市民900人 (うち認定非該当者450人、総合事業対象者88人、要支援認定者362人)	①生活の状況や毎日の生活に関すること。 ②地域活動や助け合いに関すること。 ③健康や介護予防に関すること。	郵送によるアンケート調査 令和5年1月18日～2月7日(2月14日到着分まで回収に含めた)	562件 (62.4%)
在宅介護実態調査	65歳以上の無作為で抽出した市民(要介護認定者)600人	①介護の状況、生活の状況に関すること。 ②主な介護者に関すること。	郵送によるアンケート調査570件 居宅介護専門員による聞き取り調査30件 令和5年1月18日～2月7日(2月14日到着分まで回収に含めた)	273件 (45.5%)
障がい者等調査	障害者総合支援法に基づくサービスを利用している方、難病や自立支援の医療助成を受けている方等700人	①障がい福祉サービスに関すること。 ②難病に関すること。 ③医療的ケアに関すること。 ④ひきこもり状態にある方へのニーズに関すること。	郵送によるアンケート調査 令和5年1月18日～2月7日(2月14日到着分まで回収に含めた)	276件 (39.4%)
障がい児調査	児童福祉法に基づくサービスを利用している方、医療助成を受けている方等290人	①障がい福祉サービスに関すること。 ②難病に関すること。 ③医療的ケアに関すること。 ④ひきこもり状態にある方へのニーズに関すること。	郵送によるアンケート調査 令和5年1月18日～2月7日(2月14日到着分まで回収に含めた)	117件 (40.3%)

3 市民意識調査の調査項目

(1) 市民一般調査

項目	問	項目	前回
A 本人の基本情報	1	年齢	●
	2	地域	●
	3	婚姻状況	
	4	同居している人	●
	5	同居人数	
	6	同居している人のうち収入を得ている人の人数	
	7	学歴	
	8	現在の仕事	
	9	現在の住まい	
	10	世帯の年間収入	
	11	人とのコミュニケーションをする際の情報通信機器	
B 社会的孤立・孤独について	12	コミュニケーション頻度	
	12-(1)	同居していない家族や友人たち	
	12-(2)	同居している人たち	
	13	頼れる人	
	13	頼れる人	
	14-2	支援の提供先	
	14-3	支援の内容	
	14-4	支援を受けない理由	
	15	まわりで困った人がいる場合の声掛けや手助けの状況	
16	現在取り組んでいる活動	●	
17	孤独であると感じる頻度		
C 感染症の影響について	18	新型コロナウイルス感染拡大に伴う人とのコミュニケーションの変化	
	19	新型コロナウイルス感染拡大による日常生活の変化	
D 外出（ひきこもり）の状況について	20	あなたやあなたの周りの方に「ひきこもり」の状態にある方の有無	●
	21	その方とあなたの続柄	
	22	「ひきこもり」の状態にある方の年齢	●
	23	その方の交流の状況	
	24	その方の外出の状況	
	25	その方が現在の状況になってどのくらい経過したのか	
	26	その方が現在の状況に至ったきっかけ	

第1章 調査の目的と構成
3 市民意識調査の調査項目

項目	問	項目	前回
E 再犯防止について	27	再犯防止に協力する民間協力者について	
	28	住んでいる地域の安心安全	
	29	犯罪をした人の立ち直り協力の意向	
	29-2	協力したい理由	
	29-3	協力の内容	
	29-4	協力したくない理由	
	30	「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」の周知度	
	30-2	知った経緯	
	31	再犯防止政策について	
	32	再犯防止支援について	
F 避難行動要支援者支援について	33	災害発生時の情報入手手段	
	34	ラジオ貸与の希望	
	35	避難を開始するきっかけ	
	36	家族以外の避難行動要支援者のために協力できること	
	36-2	協力できない理由	
	37	避難行動要支援者への対策として行政に期待すること	
G 地域の支え合いについて	38	近所づきあいの有無	●
	39	地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的なささえあい、たすけあいの関係の必要性	●
	40	居場所を作って、その居場所での活動にお世話役として参加してみたいと思うか。	●
	41	地域活動・ボランティア活動等への取り組み意向	●
	41-2	地域活動・ボランティア等で取り組みたいこと<自由回答>	

(2) 子ども市民調査

項目	問	項目	前回
Ⅰ. あなたの基本情報について	1	年齢	●
	2	同居家族	
	3	健康状態	
	4	学校への通学状況	
	4-1	出席状況	
	4-2	遅刻や早退の状況	
	5	部活動への参加状況	
	6	ふだんの学校生活等であてはまること	
	7	外出の状況	
	7-2	現在の状況になってどのぐらい経過したのか	
	7-3	現在の状況になったきっかけ	
Ⅱ. 悩みごとや支え合いについて	4	なやんだり困っていること	●
	5	なやみの相談先（なやみや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無）	●
	6	ほっとできる「場所」	
	7	住んでいる地域での「絆（きずな）」や「つながり」の実感	
Ⅲ. 家族のケアについて	8	世話をしている家族の有無	
	8-2-①	世話を必要としている方の状況	
	8-2-②	世話の内容	
	10	世話を一緒にしている人	
	11	世話を始めた年齢	
	12	世話をしている頻度	
	13	平日1日あたり世話に費やす時間	
	14	世話をしているために、やりたいけどできていないこと	
	15	世話のきつさ	
	16	世話について相談した経験	
	17	世話についての相談相手	
	18	世話について相談したことがない理由	
	19	世話について話を聞いてくれる人の有無	
20	学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援		

(3) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
【基本】あなた(宛名のご本人)の基本情報について	基本(1)	性別		●
	基本(2)	年齢		●
	基本(3)	居住地区(日常生活圏域)		●
	基本(4)	対象者		
	基本(5)	調査票の記入者	問0(表紙)	●
【問1】あなたの(宛名のご本人)や生活状況について	1-(1)	家族構成	問1-(1)	●
	1-(2)	住まいの状況	問1-(4)◆	●
	1-(3)	介護・介助の必要性	問1-(2)	●
	1-(3)①	①介護・介助が必要になった原因	問1-(2)①◆	●
	1-(3)②	②主な介護、介助者	問1-(2)②◆	●
	1-(4)	現在の経済状況	問1-(3)	●
【問2】からだを動かすことについて	2-(1)	階段昇降方法	問2-(1)	●
	2-(2)	立ち上がり方法	問2-(2)	●
	2-(3)	歩行機能の状態	問2-(3)	●
	2-(4)	過去1年間に転んだ経験の有無	問2-(4)	●
	2-(5)	転倒の不安について	問2-(5)	●
	2-(6)	外出する際の移動手段	問2-(9)◆	●
	2-(7)	外出の頻度	問2-(6)	●
	2-(8)	外出回数の昨年との比較	問2-(7)	●
	2-(9)	外出を控えているか	問2-(8)◆	●
	2-(9)①	①外出を控えている理由	問2-(8)①◆	●
【問3】食べることに ついて	3-(1)	身長	問3-(1)	●
	3-(1)	体重	問3-(1)	●
	3-(2)	半年前との比較	問3-(2)	●
	3-(3)	お茶や汁物等でむせることの有無	問3-(3)◆	●
	3-(4)	口の渇きの有無	問3-(4)◆	●
	3-(5)	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)の頻度	問3-(5)◆	●
	3-(6)	歯の数と入れ歯の利用状況	問3-(6)	●
	3-(6)①	噛み合わせ	問3-(6)①◆	●
	3-(6)②	入れ歯の手入れ状況	問3-(6)②◆	●
	3-(7)	6箇月間で2～3kg以上の体重減少の有無	問3-(7)◆	●
3-(8)	どなたかと食事をとる機会の有無	問3-(8)	●	

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
【問4】毎 日の生活に ついて	4-(1)	物忘れが多いと感じるか	問4-(1)	●
	4-(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることを しているか	問4-(2)◆	●
	4-(3)	今日が何月何日かわからない時があるか	問4-(3)◆	●
	4-(4)	バスや電車を使って1人で外出しているか	問4-(4)	●
	4-(5)	自分で食品・日用品の買物をしているか	問4-(5)	●
	4-(6)	自分で食事の用意をしているか	問4-(6)	●
	4-(7)	自分で請求書の支払いをしているか	問4-(7)	●
	4-(8)	自分で預貯金の出し入れをしているか	問4-(8)	●
	4-(9)	年金などの書類が書けるか	問4-(9)◆	●
	4-(10)	新聞を読んでいるか	問4-(10)◆	●
	4-(11)	本や雑誌を読んでいるか	問4-(11)◆	●
	4-(12)	健康についての記事や番組に関心があるか	問4-(12)◆	●
	4-(13)	友人の家を訪ねているか	問4-(13)◆	●
	4-(14)	家族や友人の相談にのっているか	問4-(14)◆	●
	4-(15)	病人を見舞うことができるか	問4-(15)◆	●
	4-(16)	若い人に自分から話しかけることがあるか	問4-(16)◆	●
	4-(17)	日常生活全般で困っていることの有無		●
	4-(17)①	困っていることは何か		●
	4-(18)	趣味の有無	問4-(17)◆	●
4-(19)	生きがいの有無	問4-(18)◆	●	
【問5】地 域での活動 について	5-(1)	会・グループ等の参加頻度	問5-(1)	●
	5-(2)	参加者としての地域づくりへの参加意向	問5-(2)	●
	5-(3)	お世話役としての地域づくりへの参加意向	問5-(3)	●
【問6】た すけあいに ついて	6-(1)	心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	問6-(1)	●
	6-(2)	反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	問6-(2)	●
	6-(3)	看病や世話をしてくれる人	問6-(3)	●
	6-(4)	反対に、看病や世話をしてあげる人	問6-(4)	●
	6-(5)	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相 談する相手	問6-(5)◆	●
	6-(6)	友人・知人と会う頻度	問6-(6)◆	●
	6-(7)	この1箇月間、何人の友人・知人と会ったか	問6-(7)◆	●
	6-(8)	よく会う友人・知人はどのような関係の人か	問6-(8)◆	●

第1章 調査の目的と構成
3 市民意識調査の調査項目

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
【問7】健康について	7-(1)	現在の健康状態	問7-(1)	●
	7-(2)	現在どの程度幸せか	問7-(2)	●
	7-(3)	この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること	問7-(3)	●
	7-(4)	この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じ	問7-(4)	●
	7-(5)	飲酒	問7-(5)◆	●
	7-(6)	喫煙	問7-(6)	●
	7-(7)	現在治療中又は後遺症のある病気の有無	問7-(7)	●
	7-(8)	信頼できるかかりつけ医の有無		●
【問8】介護予防について	8-(1)	介護予防についての関心の有無		●
	8-(1)①	介護予防の何に関心があるか		●
	8-(2)	介護予防を意識した運動を行っているか		●
	8-(2)①	運動の頻度		●
【問9】終末期ケアや終活について	9-(1)	看取りについての希望		●
	9-(2)	自宅で看取りをする場合の課題		●
	9-(3)	自宅以外で看取りを考える理由		●
	9-(4)	終活を進めているか		●
【問10】認知症相談窓口の把握について	10-(1)	認知症の症状がある人の有無	問8-(1)	●
	10-(2)	認知症に関する相談窓口を知っているか	問8-(2)	●
	11-(1)	最寄りの地域包括支援センター(あいとぴあ・こまえ正吉苑・こまえ苑)が、高齢者介護等に関する相談窓口であることを知っているか		●
	11-(2)	老人福祉センターを知っているか		
	11-(2)①	老人福祉センター内で利用したことのある施設		
	11-(3)	基本理念がどの程度、実現していると思うか		●
	11-(4)	自由意見		●

(4) 在宅介護実態調査

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
基本情報	A票◎	調査票の記入者		●
	A票◎	生活するうえで何らかの介護や手助けが必要になってからの期間		●
	A票-1	世帯類型	A票問1	●
A 介護の 状況と主な 介護者につ いて	A票-2	ご家族やご親族の方からの介護頻度	A票問2	●
	A票-3	主な介護者	A票問3◆	●
	A票-4	主な介護者の性別	A票問4◆	●
	A票-5	主な介護者の年齢	A票問5	●
	A票-6	主な介護者が行っている介護等について	A票問6◆	●
	A票-7	ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方の有無	A票問7	●
B 生活の 状況につ いて	A票-8	現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス	A票問8◆	●
	A票-9	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	A票問9◆	●
	A票-10	現時点での、施設への入所・入居の検討状況	A票問10	●
	A票-10①	すでに申込をした、又は検討している施設等について		●
	A票-10②	すでに申込をした、又は検討している施設等の所在地		●
	A票-10③	すでに申込をした、又は検討している施設等の待機年数		
	A票-11	現在抱えている傷病	A票問11◆	●
	A票-12	訪問診療の利用の有無	A票問12◆	●
	A票-13	(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスの利用の有無	A票問13◆	●
	A票-14	介護保険サービスを利用していない理由	A票問14◆	●
C 終末期 ケアや終活 について	A票-15	看取りについての希望		●
	A票-16	自宅で看取りをする場合の課題		●
	A票-17	自宅以外で看取りを考える理由		●
	A票-18	終活を進めているか		●

第1章 調査の目的と構成
 3 市民意識調査の調査項目

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
D 福祉施策について	A票-19	相談窓口の周知度		●
	A票-20	基本理念がどの程度、実現していると思うか		●
	A票-21	自由意見		●
F 主な介護者の在宅介護の実態について	B票-1	主な介護者の現在の勤務形態	B票問1	●
	B票-2	主な介護者が介護するにあたり、働き方の調整の有無	B票問2	●
	B票-3	主な介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援	B票問3◆	●
	B票-4	主な介護者の、働きながらの介護の継続可能性	B票問4	●
	B票-5	主な介護者が不安に感じる介護等	B票問5	●
	B票-6	主な介護者が介護を続けるうえでストレスを感じている事柄		●
	B票-7	主な介護者が介護で困ったときの相談先		●

(5) 障がい者調査

項目	問	項目	前回
第1 本人、家族について (基本事項)	1	調査票の記入者	●
	2	性別	●
	3	年齢	●
	4	居住地域	●
	5	居住形態	●
	6	障害支援区分は何ですか。	●
	7	あなたは今後、だれとどのようなお住まいで生活したいと思いますか。	●
	8	あなたご自身も含め、ご家族(同居)の中に次の方はいますか。	●
	9	お持ちの手帳又は受けている診断名等は何ですか。また、手帳の等級をご記入ください。	●
	10	9で「1 身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお伺いします。障がいの種別は何ですか。	●
	11	普段の生活で医療的ケアを必要としていますか。必要としている場合は、具体的な内容を記載してください。	
	12	外出の状況	
	13	外出の理由	
	14①	現在の状況になってどのぐらい経過したのか	
14②	現在の状況に至ったきっかけ		
第2 狛江市の障がい福祉サービスについて	15	あなたが、現在利用している障がい福祉サービスは何ですか。	●
	16	あなたは、狛江市の障がい福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。	●
	17	コミュニケーションを行う上で、どのようなことに困りますか。	
	18	65歳以上の方にお伺いします。あなたは、障がい福祉サービスの他に、介護保険サービスを利用していますか。	●
	19	介護保険サービスを利用する場合に、困ることはありますか。	●
	20	今後、狛江市が提供する障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。	●
	21	狛江市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスはありますか。	●
	22	21 (22) で「1. ある」と回答した方にお伺いします。利用できないサービスは、次のうちのどのサービスですか。	●
	23	①利用できないサービスは、どのようなサービスですか。 ②利用できないサービスをどのように補っていますか。	●

項目	問	項目	前回
第3 日常生活と困りごと	24	あなたは日常生活における次の動作を自分1人でできますか。	●
	25	あなたには、あなたの介助や支援をする方がいますか。	●
	26	25で「1 いる」と回答した方にお伺いします。あなたの介助や支援を主にしている方はどなたですか。あなたからみた続柄で回答してください。	●
	27	25「1 いる」と回答した方にお伺いします。あなたの介助や支援を主にしている方の性別、年齢をご回答ください。	●
	28	あなたが外出するときに、困ったり不便に思ったりするのはどのようなことですか。	●
	29	あなたやあなたのご家族は、日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることがありますか。	●
	30	生活での困りごとや、高齢者や障がいのある方のこと、子育てに関することなど、福祉に関する困りごとがあった場合、あなたは主にどこに相談しますか。	●
	31	①相談支援事業所を利用したことがありますか。 ②利用したことがない方は、なぜ利用しないのですか。	●
第4 就労等の状況	32	あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。	●
	34	31で「1 仕事をしている」と回答した方にお伺いします。どのような仕事をしていますか。	●
	34	31で「1 仕事をしている」と回答した方にお伺いします。現在の仕事による年収はおよそどのくらいですか。	●
	35	31で「1 仕事をしている」と回答した方にお伺いします。勤務先へ障がいや病気であることを伝えてありますか。	●
	36	31で「1 仕事をしている」と回答した方にお伺いします。仕事をする上での不安は何ですか。	●
	37	31で「2 仕事をしていない」と回答した方にお伺いします。仕事をしていない主な理由は、次のうちどれですか。	●
	38	あなたは、障がい者の就労を支援する就労支援センター「サポート」を知っていますか。また、支援を受けていますか。	●
	39	あなたは、今後どのように働きたいですか(現在働いていて、これからも同じ仕事を続けたい場合も含みます。)	●
	40	38で「1」又は「2」のいずれかを回答した方にお伺いします。働きたい仕事の種類は何ですか。	●
	41	38で「1」又は「2」のいずれかを回答した方にお伺いします。働きたい仕事の賃金は、次のうちいくらを希望しますか。	●
	42	あなたが仕事をする(続ける)ために、必要だと思うことは何ですか。	●

項目	問	項目	前回
第5 地域とのつながり	43	あなたは普段どの程度、近所づきあいをしていますか。	●
	44	43で「6 つきあいはほとんどない」と回答した方にお伺いします。近所づきあいをしていない理由は何ですか。	●
	45	あなたが利用している施設は、次のうちどこですか。	●
第6 障がい者差別について	46	あなたは障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがありますか。	●
	47	58で「1」又は「2」のいずれかを回答した方にお伺いします。差別を感じたり嫌な思いをしたりしたのは、どのようなときですか。＜自由回答＞	●
第7 狛江市の障がい福祉施策について	48	あなたは、狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。	●
	49	48の理由	
	50	狛江市へのご意見・ご要望など。＜自由回答＞	●

(6) 障がい児調査

項目	問	項目	前回
第1 本人、家族について (基本事項)	1	調査票の記入者	●
	2	性別	●
	3	年齢	●
	4	居住地域	●
	5	通園・通所・通学先	●
	6	居住形態	●
	7	あなたは今後、だれとどのようなお住まいで生活したいと思いますか。	●
	8	あなたご自身も含め、ご家族(同居)の中に次の方はいますか。	●
	9	お持ちの手帳又は受けている診断名等は何ですか。また、手帳の等級をご記入ください。	●
	10	9で「1 身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお伺いします。障がいの種別は何ですか。	●
第2 狛江市の障がい児福祉サービスについて	16	あなたがこれまでに利用した補装具は何ですか。	●
	17	あなたが、現在利用している障がい福祉サービスは何ですか。	●
	18	今後、利用してみたい、又は利用を継続したい障がい福祉サービスをお答えください。	●
	19	あなたは、狛江市の障がい福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。	●
	20	コミュニケーションを行う上で、どのようなことに困りますか。	
	21	今後、狛江市が提供する障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。	●
	22	狛江市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスはありますか。	●
	23	21(22)で「1. ある」と回答した方にお伺いします。利用できないサービスは、次のうちのどのサービスですか。	●
24	①利用できないサービスは、どのようなサービスですか。 ②利用できないサービスをどのように補っていますか。	●	
第3 日常生活の困りごと	25	困ったときに相談できる場所等をご存じですか	●
	26	あなたは、日中、幼稚園・保育園・認定子ども園・学校以外では、どのように過ごしていますか。	●
	27	21で「7 ほとんど自分の家で過ごす」と回答した方にお伺いします。自分の家で過ごす理由は何ですか。	●
	28	あなたが利用している施設は、次のうちどこですか。	●
	29	あなたには、あなたの介助や支援をする方がいますか。	●

項目	問	項目	前回
第3 日常生活の困りごと	30	24 (28) で「1 いる」と回答した方にお伺いします。あなたの介助や支援を主にしている方はどなたですか。あなたからみた続柄で回答してください。	●
	31	24 (28) で「1 いる」と回答した方にお伺いします。あなたの介助や支援を主にしている方の性別、年齢をご回答ください。	●
	32	あなたやあなたのご家族は、日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることがありますか。	●
	33	生活での困りごとや、高齢者や障がいのある方のこと、子育てに関する事など、福祉に関する困りごとがあった場合、あなたは主にどこに相談しますか。	●
第4 就学・就労等の状況	34	あなたは現在、就学又は就労していますか。	●
	35	33で「2 就学している」と回答した方にお伺いします。現在の就学先は、次のうちどれですか。	●
	36	33で「2 就学している」と回答した方にお伺いします。将来、どこまで進学したいと考えていますか。	●
	37	33で「2 就学している」と回答した方にお伺いします。就学する上で必要だと思うことは何ですか。	●
	38	33で「1」又は「2」のいずれかを回答した方にお伺いします。具体的にはどのようなサポートを必要としていますか。＜自由回答＞	●
	39	33で「3 就労している」と回答した方にお伺いします。現在の就労先は、次のうちどれですか。	●
	40	将来、どのような仕事をしたいですか。	●
第5 障がい者差別について	41	仕事をする(続ける)ために必要だと思うことは何ですか。	●
	42	あなたは障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがありますか。	●
第6 狛江市の障がい福祉施策について	43	42で「1」又は「2」のいずれかを回答した方にお伺いします。差別を感じたり嫌な思いをしたりしたのは、どのようなときですか。＜自由回答＞	●
	44	あなたは、狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思えますか。	●
	45	44の理由	
	46	狛江市へのご意見・ご要望など。＜自由回答＞	●

4 この調査のみかた

- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- 図表中の「n」は、当該設問の対象となる人数を表します。そのため、回答すべき対象者の絞り込みを行っている場合には、アンケートの回収数と「n」の数値は異なる場合があります。
- 選択肢の語句が長い場合、省略した表現を用いることがあります。
- 原則、帯グラフは単数回答、棒グラフは複数回答の設問にそれぞれ用いています。
- 母数（n）が少ない場合、コメントは省略しているところもあります。
- 表において、1位：濃い灰色、2位：薄い灰色で網掛け（着色）しています。
- みやすさの観点から単一回答における帯グラフの0.0（%）の表示を省略しています。
- 本調査の一部では、福祉関係や市が取り組むべきことについて自由記述形式で伺い、内容ごとに分類・整理を行った上で、主な意見を掲載しました。
- 本調査における標準誤差は、下記のとおりです。例えば、ある設問の選択率が50%の時、回答者総数（1,278人）の標本値は、母集団の47.3%～52.7%の範囲にあると考えられます。

調査ごとの標準誤差（信頼区間95%）

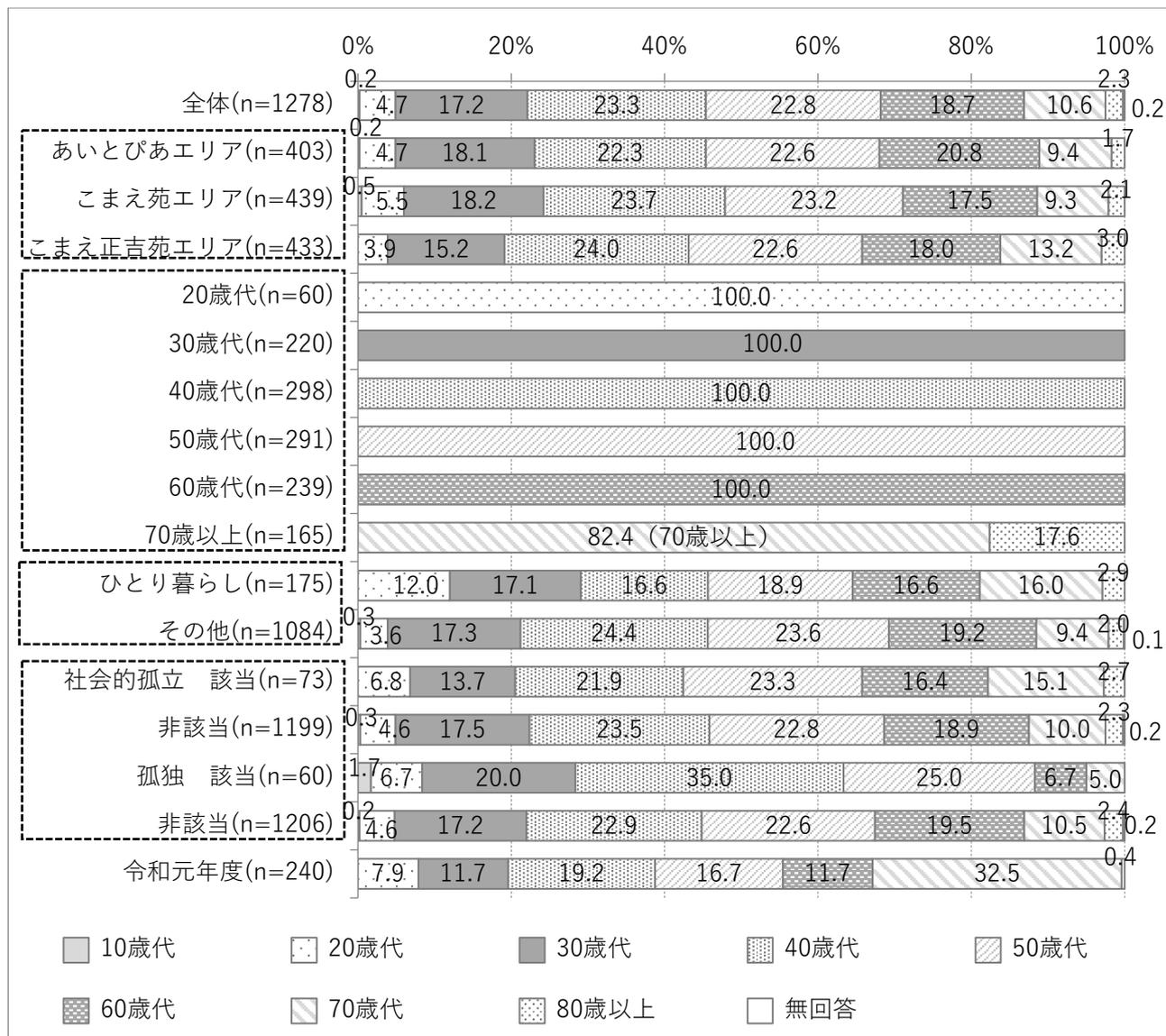
	対象数	回収数(n)	回収率	標準誤差		
				10%選択	30%選択	50%選択
市民一般調査	72,535	1,278	1.8%	1.64%	2.51%	2.74%
子ども市民調査	3,230	2,389	74.0%	1.20%	1.84%	2.01%
高齢者ニーズ調査	900	562	62.4%	2.48%	3.79%	4.13%
在宅介護実態調査	600	273	45.5%	3.56%	5.44%	5.93%
障がい者調査	700	276	39.4%	3.54%	5.41%	5.90%
障がい児調査	290	117	40.3%	5.44%	8.30%	9.06%

第2章 市民一般調査

1 本人、家族について

問1 令和4年12月1日現在のあなたの年齢をお伺いします。(○は1つ)

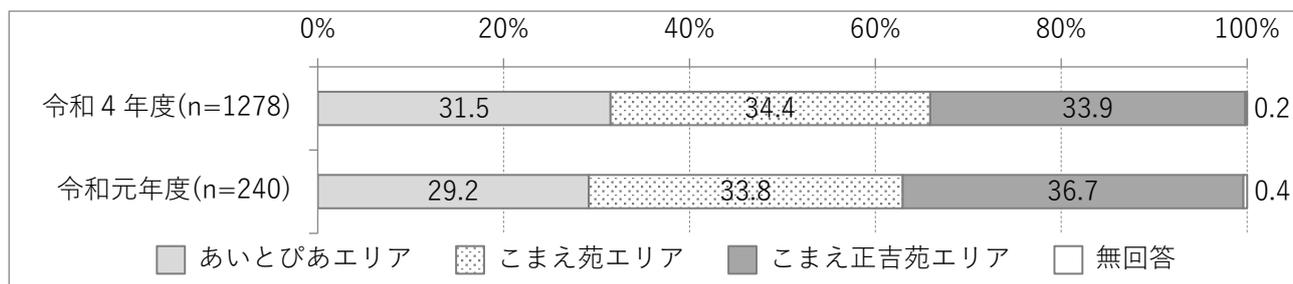
回答者の年齢は、「40歳代」が23.3%で最も多く、次いで、「50歳代」が22.8%となっています。



※令和元年度の70歳代・80歳以上は合算の合計値となっています。

問2 お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

回答者の居住地については、「和泉本町」が17.6%で最も多く、次いで、「中和泉」が16.7%となっています。

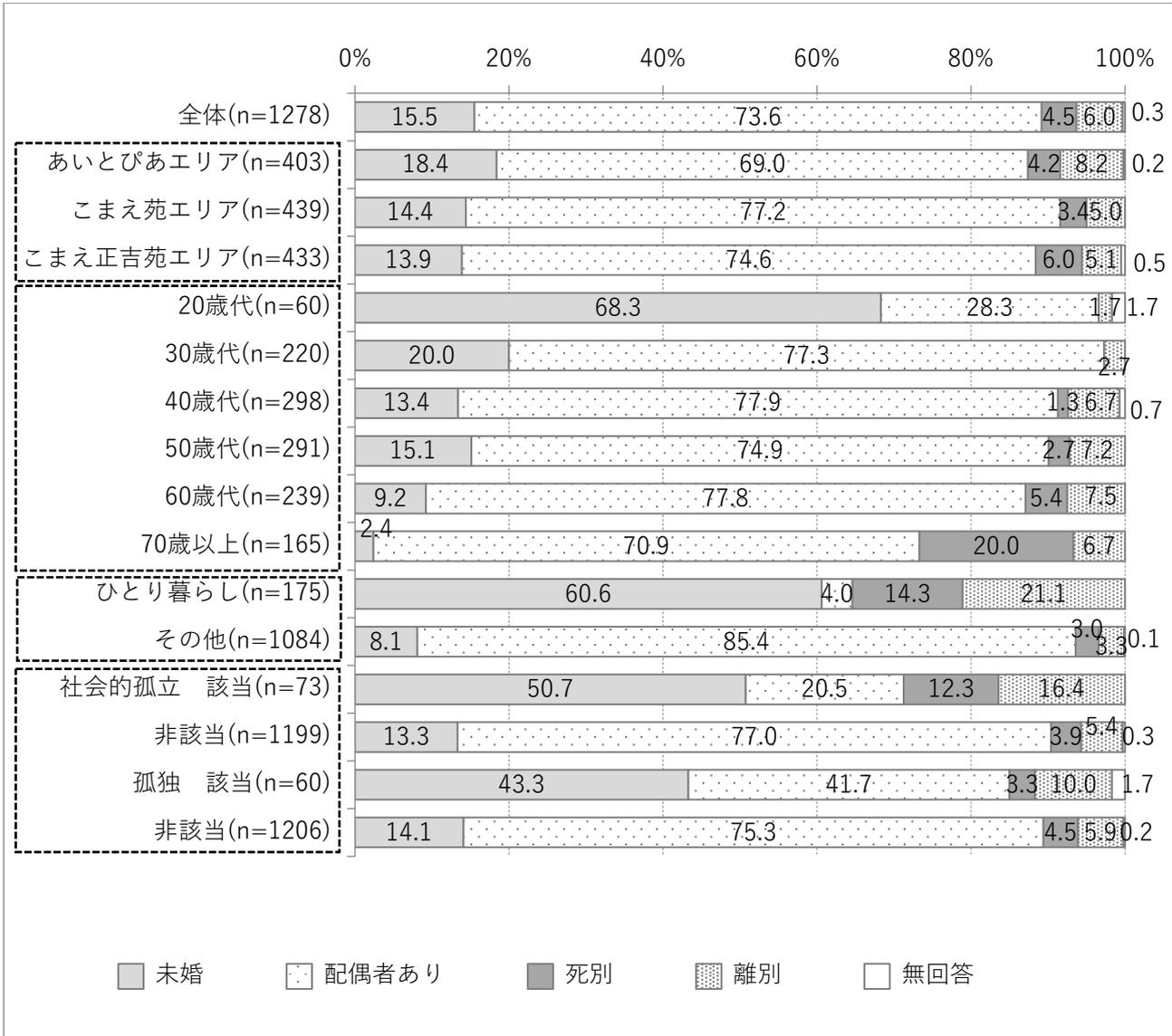


(単位：人、%)

区分	人数	和泉本町	中和泉	西和泉	元和泉	東和泉	猪方	駒井町	岩戸南	岩戸北	東野川	西野川	その他	無回答
全体	1278	17.6	16.7	1.6	5.1	8.1	7.6	4.6	11.4	10.7	8.9	7.4	0.0	0.2
あいとぴあエリア	403	0.0	52.9	5.2	16.1	25.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ苑エリア	439	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.1	13.4	33.3	31.2	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ正吉苑エリア	433	52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	21.7	0.0	0.0
20歳代	60	15.0	18.3	1.7	6.7	5.0	13.3	1.7	11.7	13.3	8.3	5.0	0.0	0.0
30歳代	220	16.4	13.6	0.9	4.5	14.1	8.2	7.3	9.5	11.4	9.1	4.5	0.0	0.5
40歳代	298	18.5	16.4	1.0	6.4	6.4	5.4	5.0	11.4	13.1	6.4	10.1	0.0	0.0
50歳代	291	16.2	18.2	1.7	4.8	6.5	10.0	4.1	12.0	8.9	8.9	8.6	0.0	0.0
60歳代	239	18.8	18.0	4.2	4.6	8.4	8.4	4.2	9.2	10.5	9.2	4.6	0.0	0.0
70歳以上	165	20.0	15.8	0.0	4.2	7.3	3.6	3.0	15.8	7.9	13.3	9.1	0.0	0.0
ひとり暮らし	175	15.4	16.6	2.9	5.7	15.4	6.3	2.9	9.1	9.7	8.6	6.9	0.0	0.6
その他	1084	18.0	16.7	1.5	4.9	6.9	7.9	5.0	11.9	10.8	8.9	7.4	0.0	0.1
社会的孤立該当	73	12.3	21.9	2.7	4.1	9.6	6.8	4.1	4.1	13.7	8.2	12.3	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1199	17.9	16.3	1.6	5.0	8.1	7.7	4.7	11.8	10.5	9.0	7.1	0.0	0.3
孤独該当	60	13.3	16.7	3.3	11.7	10.0	3.3	5.0	5.0	13.3	5.0	13.3	0.0	0.0
孤独非該当	1206	17.9	16.7	1.6	4.6	8.0	7.9	4.6	11.7	10.6	9.1	7.0	0.0	0.2
令和元年度	240	19.7	15.0	2.5	2.5	9.2	7.9	2.9	11.3	11.7	11.3	7.5	0.0	0.4

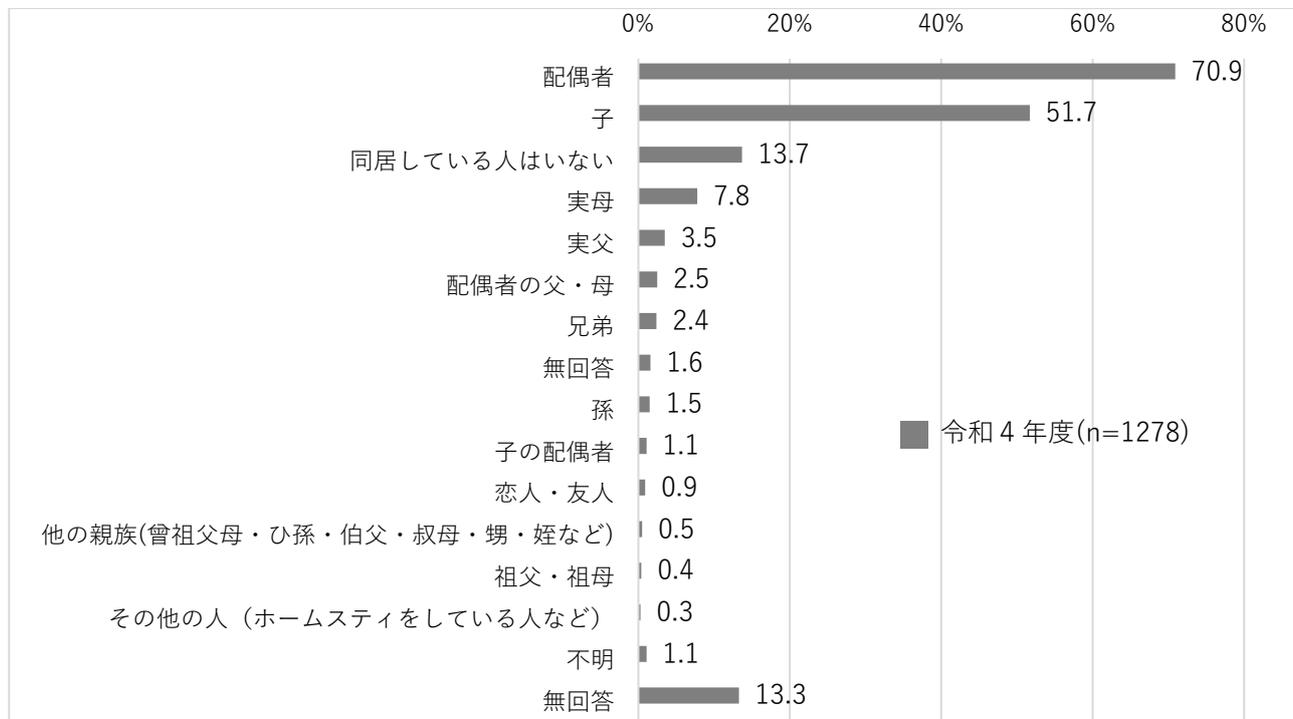
問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合を含めます。(○は1つ)

現在の婚姻状況については、「配偶者あり」が73.6%で最も多く、次いで、「未婚」が15.5%となっています。



問4 あなたと同居している人をお答えください。なお「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合を含めます（〇はいくつでも）

あなたと同居している人については、「配偶者」が70.9%で最も多く、次いで、「子」が51.7%となっています。



(単位：人、%)

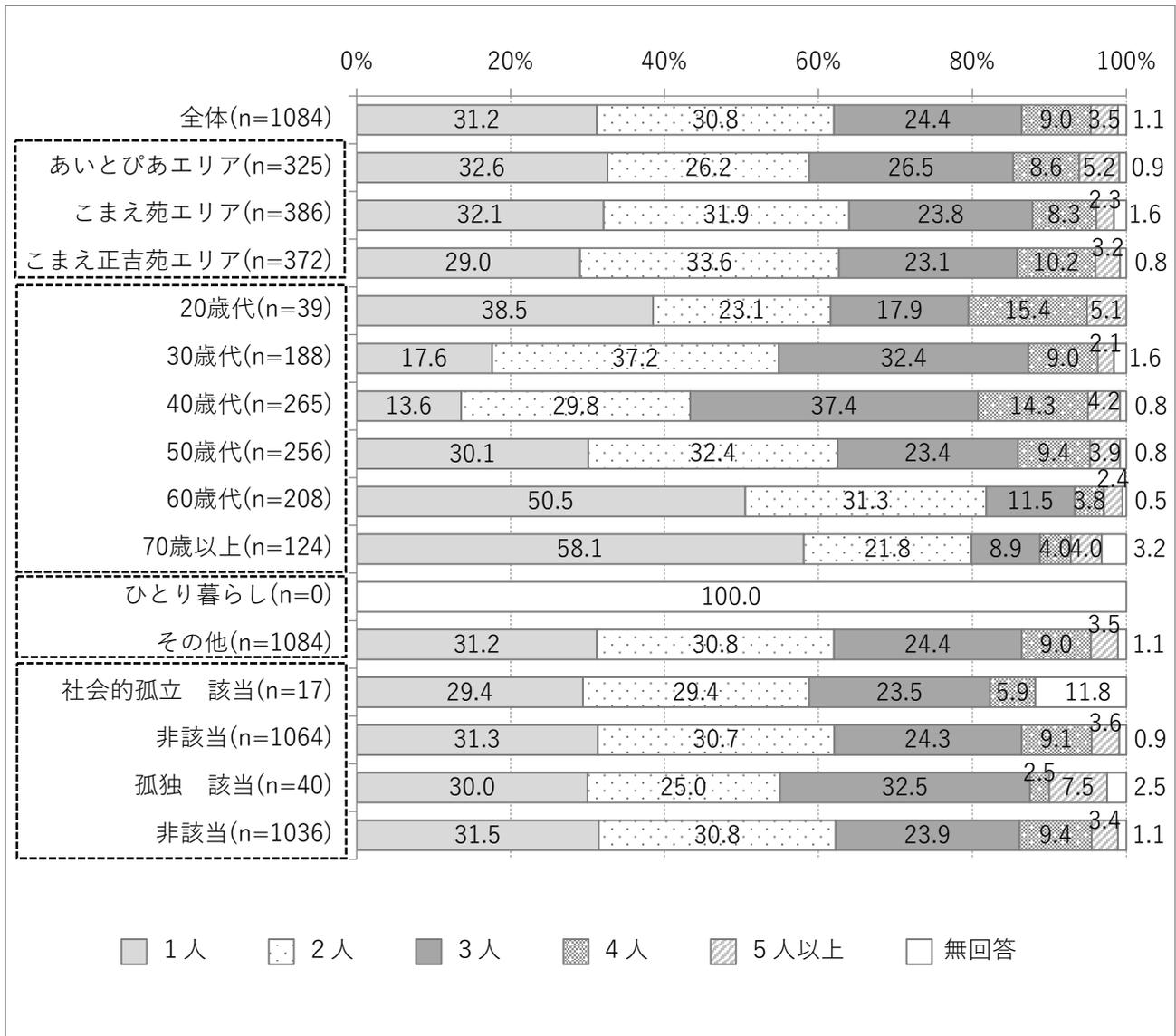
区分	人数	配偶者	子	子の配偶者	実父	実母	配偶者の父・母	孫	祖父・祖母	兄弟	伯父・叔母・甥・姪等	他の親族(曾祖父母・ひ孫・イをしている人など)	その他の人(ホームステイをしている人など)	恋人・友人	同居している人はいない	無回答
全体	1278	70.9	51.7	1.1	3.5	7.8	2.5	1.5	0.4	2.4	0.5	0.3	0.3	0.9	13.7	1.6
あいとぴあエリア	403	67.0	51.1	1.7	3.7	7.2	3.7	1.2	0.2	2.2	0.5	0.2	0.2	1.5	17.6	2.0
こまえ苑エリア	439	74.5	50.1	0.9	3.6	8.9	2.1	1.6	0.9	1.8	0.9	0.5	0.5	1.1	11.2	0.9
こまえ正吉苑エリア	433	71.1	54.0	0.7	3.2	7.4	1.8	1.6	0.0	3.2	0.0	0.2	0.2	0.2	12.5	1.8
20歳代	60	28.3	11.7	0.0	23.3	28.3	5.0	0.0	1.7	21.7	1.7	0.0	0.0	5.0	35.0	0.0
30歳代	220	75.9	65.0	0.0	4.5	5.5	0.5	0.0	0.9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.9	13.6	0.9
40歳代	298	75.5	73.5	0.7	3.0	8.1	2.3	0.0	0.3	1.7	0.7	0.0	0.0	1.7	9.7	1.3
50歳代	291	71.8	57.7	0.3	2.7	8.9	3.8	0.0	0.0	1.0	0.3	0.3	0.3	0.7	11.3	1.0
60歳代	239	75.3	36.8	1.7	0.4	5.9	3.3	2.5	0.0	1.3	0.8	0.8	0.8	0.0	12.1	0.8
70歳以上	165	64.8	21.2	4.2	0.0	2.4	1.2	7.9	0.0	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	20.0	5.5
ひとり暮らし	175	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	100.0	0.0
その他	1084	83.6	61.0	1.3	4.2	9.2	3.0	1.8	0.5	2.9	0.6	0.4	0.4	1.1	0.2	0.0
社会的孤立該当	73	19.2	12.3	0.0	1.4	1.4	0.0	2.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	78.1	0.0
社会的孤立非該当	1199	74.1	54.1	1.2	3.7	8.3	2.7	1.4	0.4	2.5	0.5	0.3	0.3	1.0	9.7	1.7
孤独該当	60	40.0	33.3	0.0	11.7	20.0	1.7	0.0	0.0	8.3	0.0	1.7	1.7	0.0	31.7	3.3
孤独非該当	1206	72.5	52.5	1.2	3.2	7.3	2.6	1.6	0.4	2.2	0.5	0.2	0.2	1.0	12.7	1.5

問5 【問4で1～12と回答した方】

あなたと同居している人は合計で何人ですか。あなた以外的人数をお答えください。

(○は1つ)

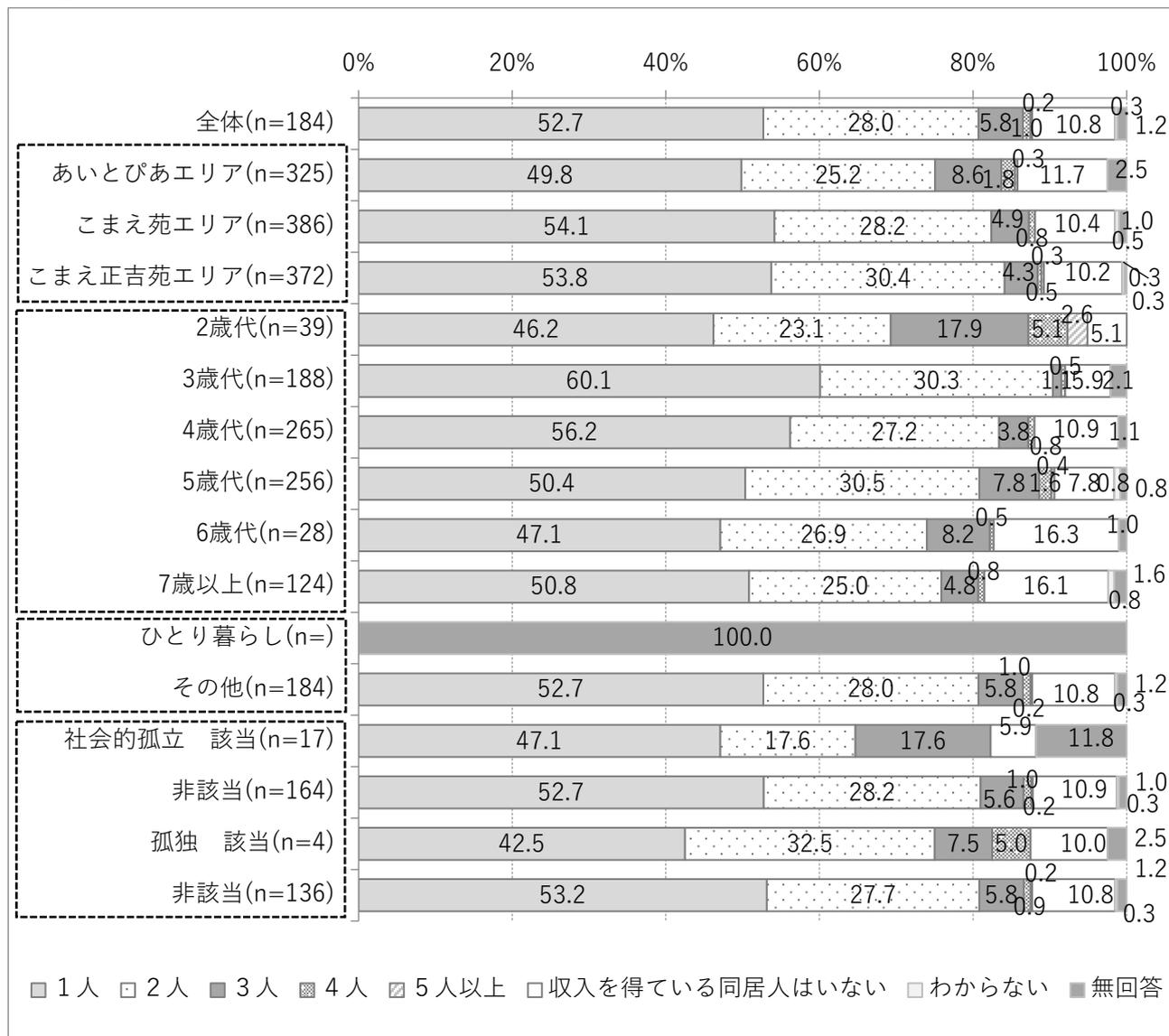
同居している人数については、「1人」が31.2%で最も多く、次いで、「2人」が30.8%となっています。



問6 【問4で1～12と回答した方】

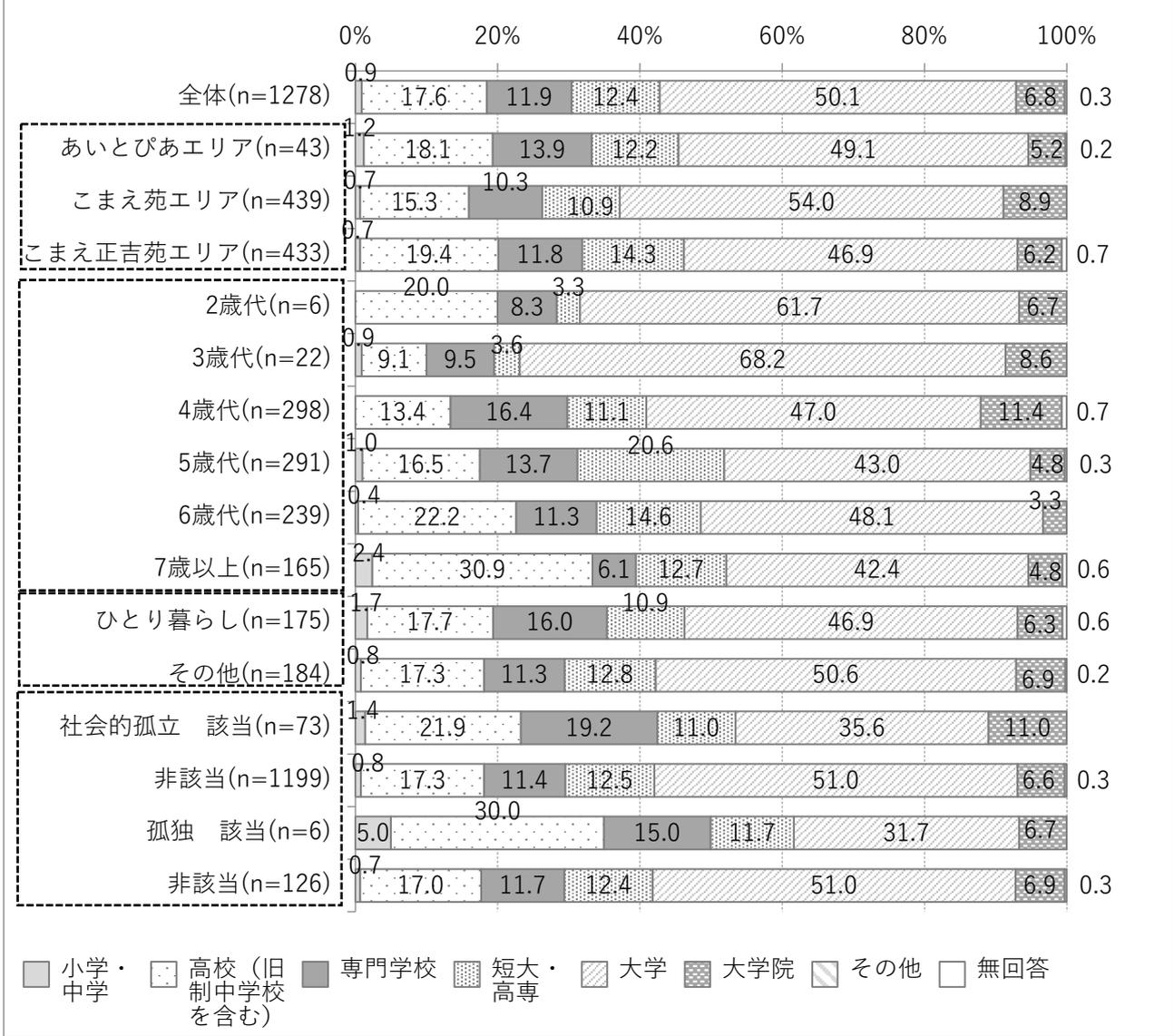
あなたと同居している人のうち、収入を得ている人は合計で何人ですか。あなた以外の人数をお答えください。(〇は1つ)

同居している人の収入を得ている人数については、「1人」が52.7%で最も多く、次いで、「2人」が28.0%となっています。



問7 あなたが最後に卒業した学校又は現在、在学している学校をお答えください。
(○は1つ)

あなたが最後に卒業した学校又は、在学している学校については、「大学」が50.1%で最も多く、次いで、「高校（旧制中学校を含む）」が17.6%となっています。



第2章 市民一般調査

1 本人、家族について

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(○は1つ)

あなたの現在の仕事については、「正規の職員・従業員」が41.0%で最も多く、次いで、「仕事をしていない(仕事を探していない)」が16.0%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	正規の職員・従業員	派遣社員	パート・アルバイト(学生アルバイトを除く)	契約社員・嘱託	会社などの役員	自営業主	家族従業者・内職	学生・生徒	仕事をしていない(仕事を探している)	仕事をしていない(仕事を探していない)	その他	無回答
全体	1278	41.0	2.5	14.6	7.2	3.1	6.1	1.4	1.2	4.6	16.0	0.0	2.3
あいとびあエリア	403	39.0	2.7	14.4	8.2	3.0	7.2	1.5	1.5	6.0	14.9	0.0	1.7
こまえ苑エリア	439	43.1	3.2	14.6	6.6	4.1	6.4	1.1	1.8	2.5	14.6	0.0	2.1
こまえ正吉苑エリア	433	40.6	1.6	15.0	6.7	2.3	4.8	1.6	0.2	5.5	18.5	0.0	3.0
20歳代	60	65.0	3.3	6.7	1.7	0.0	1.7	0.0	16.7	3.3	0.0	0.0	1.7
30歳代	220	74.1	1.8	7.3	1.4	0.9	2.7	1.4	0.0	3.2	6.8	0.0	0.5
40歳代	298	57.7	4.0	15.1	4.7	2.0	5.4	1.0	0.7	4.0	4.7	0.0	0.7
50歳代	291	41.6	1.7	21.6	5.8	3.4	6.5	2.1	0.0	7.2	7.9	0.0	2.1
60歳代	239	11.7	2.1	17.6	20.1	7.1	10.0	2.1	0.0	5.4	22.2	0.0	1.7
70歳以上	165	0.0	2.4	10.3	4.8	3.0	7.3	0.6	0.0	2.4	60.0	0.0	9.1
ひとり暮らし	175	44.0	4.0	9.1	5.1	0.6	7.4	0.0	2.3	6.9	16.0	0.0	4.6
その他	1084	40.6	2.2	15.7	7.5	3.6	5.9	1.7	1.0	4.2	15.7	0.0	2.0
社会的孤立該当	73	41.1	1.4	8.2	8.2	0.0	9.6	0.0	0.0	12.3	16.4	0.0	2.7
社会的孤立非該当	1199	41.2	2.6	15.1	7.1	3.3	5.8	1.5	1.3	4.1	15.8	0.0	2.3
孤独該当	60	35.0	1.7	18.3	3.3	1.7	5.0	3.3	3.3	11.7	6.7	0.0	10.0
孤独非該当	1206	41.4	2.6	14.6	7.4	3.2	6.1	1.3	1.1	4.1	16.3	0.0	1.9

問9 あなたの現在の住まいをお答えください。(○は1つ)

あなたの現在の住まいについては、「持ち家（一戸建）」が47.4%で最も多く、次いで、「持ち家（マンションなどの共同住宅）」が25.1となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	持ち家（一戸建）	持ち家（マンションなどの共同住宅）	民営の賃貸住宅	都道府県・市営の賃貸住宅	都市再生機構（UR）・公社などの賃貸住宅	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	会社・学校等の寮・寄宿舎	わからない	その他	無回答
全体	1278	47.4	25.1	21.8	1.8	1.5	0.9	0.2	0.5	0.3	0.6
あいとぴあエリア	403	46.9	15.4	31.8	0.5	2.5	1.2	0.0	0.2	0.5	1.0
こまえ苑エリア	439	53.3	24.6	18.9	0.0	0.2	0.7	0.5	0.9	0.2	0.7
こまえ正吉苑エリア	433	42.3	34.6	15.0	4.8	1.8	0.7	0.0	0.2	0.2	0.2
20歳代	60	28.3	13.3	53.3	0.0	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0
30歳代	220	34.1	18.6	41.8	0.5	1.8	2.3	0.0	0.0	0.5	0.5
40歳代	298	45.3	24.8	25.2	1.3	0.7	1.0	0.0	1.0	0.3	0.3
50歳代	291	56.0	25.4	14.4	0.7	1.4	0.7	0.3	0.7	0.0	0.3
60歳代	239	52.3	32.2	9.6	2.9	2.1	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0
70歳以上	165	53.3	27.9	7.9	5.5	1.8	0.0	0.0	0.0	0.6	3.0
ひとり暮らし	175	14.9	20.0	54.3	3.4	3.4	0.6	0.6	1.7	0.0	1.1
その他	1084	52.9	25.7	16.6	1.6	1.2	0.8	0.1	0.4	0.4	0.4
社会的孤立該当	73	24.7	15.1	45.2	6.8	4.1	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1199	49.0	25.9	20.4	1.5	1.3	0.8	0.2	0.3	0.3	0.2
孤独該当	60	36.7	11.7	40.0	5.0	5.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
孤独非該当	1206	48.1	26.0	21.0	1.7	1.3	0.9	0.2	0.4	0.3	0.2

第2章 市民一般調査

1 本人、家族について

問 10 あなたの世帯の2022（令和4）年における年間年収（税・社会保険料込み）をお答えください。自営業の場合には営業利益（税込み）をお答えください。（○は1つ）

あなたの年間年収については、「700～999万円」が17.2%で最も多く、次いで、「1000～1499万円」が16.0%となっています。

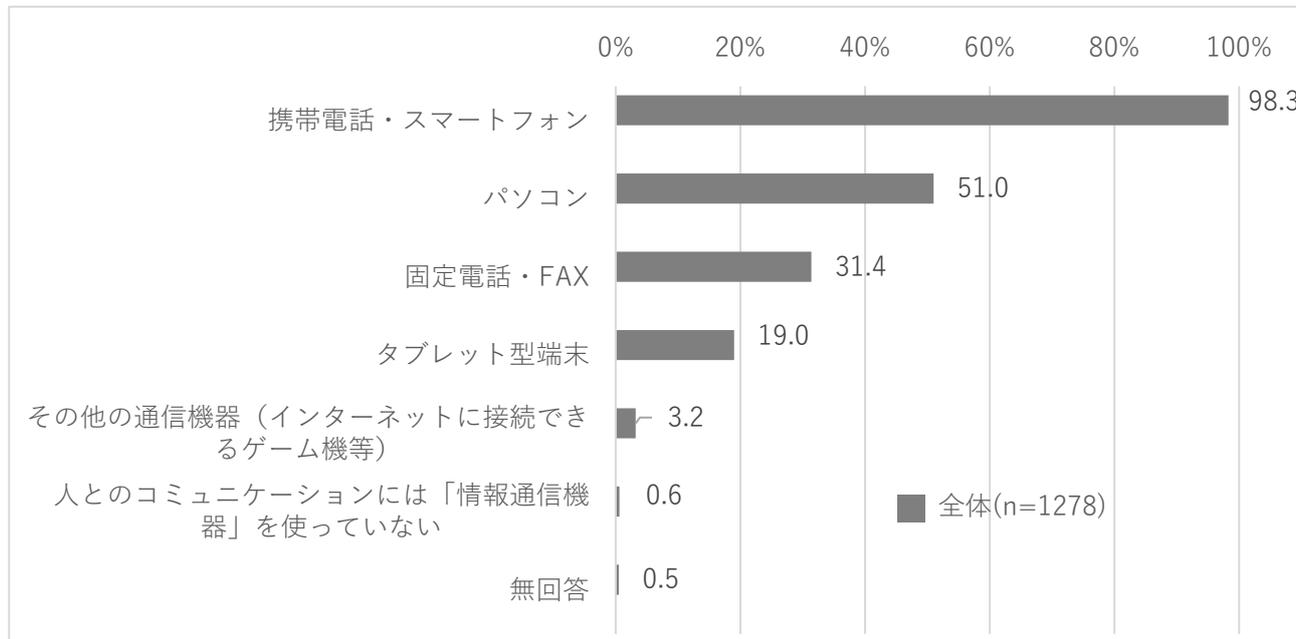
（単位：人、％）

区分	人数	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400～499万円	500～699万円	700～999万円	1000～1499万円	1500万円以上	わからない	無回答
全体	1278	5.0	6.3	9.4	8.6	9.1	13.8	17.2	16.0	5.9	6.6	2.1
あいとぴあエリア	403	6.0	8.4	9.4	9.9	9.4	12.9	17.1	12.7	6.5	4.7	3.0
こまえ苑エリア	439	4.6	3.9	6.8	7.1	10.7	15.7	17.5	16.2	7.1	8.4	2.1
こまえ正吉苑エリア	433	4.6	6.9	12.0	8.8	7.2	12.9	16.6	18.9	4.2	6.5	1.4
20歳代	60	5.0	5.0	18.3	18.3	15.0	5.0	8.3	5.0	5.0	15.0	-
30歳代	220	3.6	2.3	5.0	7.3	9.1	17.3	19.5	23.6	5.5	5.0	1.8
40歳代	298	2.0	3.0	4.0	7.4	7.0	16.8	20.8	22.1	7.4	7.7	1.7
50歳代	291	6.5	5.8	4.5	4.5	6.9	12.0	24.1	18.9	7.9	7.9	1.0
60歳代	239	7.5	10.0	12.6	10.9	10.5	15.1	13.4	8.8	5.0	3.8	2.5
70歳以上	165	6.1	13.9	26.1	13.3	12.7	9.1	3.6	3.6	1.2	4.8	5.5
ひとり暮らし	175	13.1	14.3	17.7	15.4	11.4	10.9	8.6	3.4	0.6	2.9	1.7
その他	1084	3.8	5.0	7.9	7.6	8.6	14.2	18.5	18.3	6.8	7.4	1.9
社会的孤立該当	73	17.8	12.3	19.2	9.6	6.8	12.3	12.3	2.7	1.4	5.5	0.0
社会的孤立非該当	1199	4.3	6.0	8.8	8.6	9.3	14.0	17.6	16.8	6.2	6.7	1.8
孤独該当	60	11.7	15.0	8.3	15.0	3.3	11.7	13.3	10.0	1.7	10.0	0.0
孤独非該当	1206	4.7	5.9	9.5	8.4	9.4	14.0	17.5	16.3	6.1	6.5	1.7

問 11 あなたがコミュニケーションをとる際にお使いの情報通信機器をお答えください。

(○はいくつでも)

コミュニケーションの際、使用している情報通信機器については、「携帯電話・スマートフォン」が98.3%で最も多く、次いで、「パソコン」が51.0%となっています。



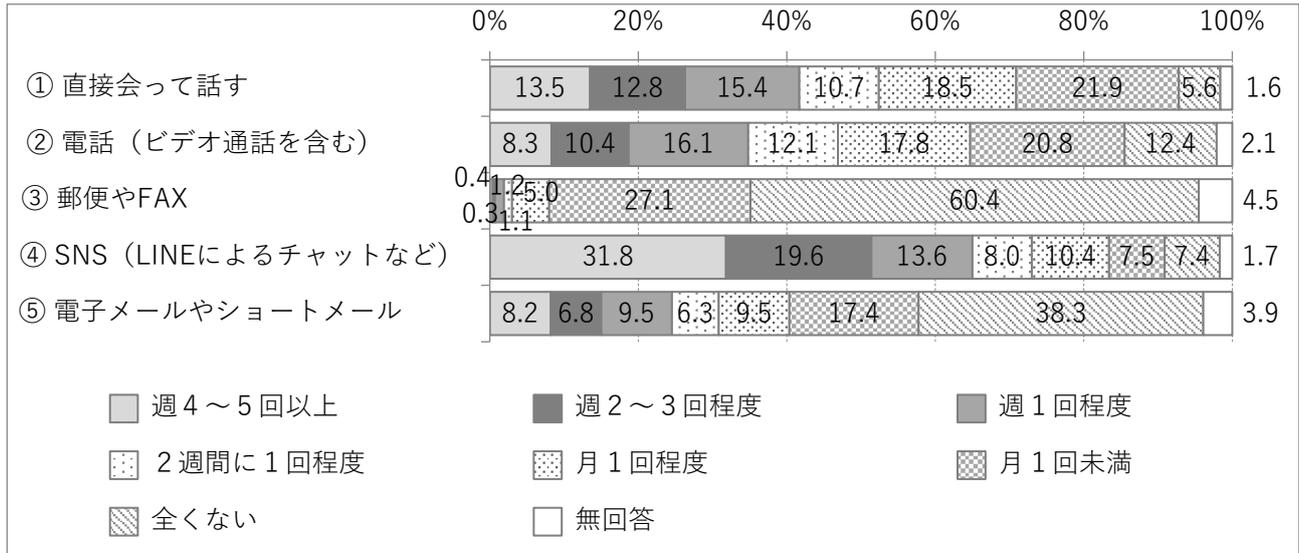
(単位：人、%)

区分	人数	固定電話・FAX	携帯電話・スマートフォン	タブレット型端末	パソコン	その他の通信機器 (インターネットに接続できるゲーム機等)	人とのコミュニケーションには「情報通信機器」を使っていない	無回答
全体	1278	31.4	98.3	19.0	51.0	3.2	0.6	0.5
あいとぴあエリア	403	31.3	98.8	17.6	51.4	4.0	1.0	0.7
こまえ苑エリア	439	32.1	98.4	19.8	50.3	3.9	0.7	0.7
こまえ正吉苑エリア	433	30.7	97.7	19.4	51.0	1.8	0.2	0.2
20歳代	60	13.3	100.0	20.0	55.0	3.3	0.0	0.0
30歳代	220	5.9	100.0	20.0	45.5	7.7	0.5	0.0
40歳代	298	20.8	99.3	22.1	49.3	4.0	0.0	0.3
50歳代	291	36.1	97.9	18.9	50.5	3.1	1.0	0.3
60歳代	239	44.8	98.7	17.2	56.9	0.4	0.8	0.0
70歳以上	165	63.0	93.9	13.9	51.5	0.0	0.6	3.0
ひとり暮らし	175	18.9	97.7	19.4	50.9	2.9	0.6	1.1
その他	1084	33.5	98.6	19.2	51.0	3.3	0.6	0.4
社会的孤立該当	73	23.3	97.3	15.1	47.9	1.4	1.4	0.0
社会的孤立非該当	1199	32.0	98.8	19.3	51.5	3.3	0.6	0.1
孤独該当	60	25.0	98.3	16.7	38.3	1.7	3.3	0.0
孤独非該当	1206	31.8	98.8	19.2	52.1	3.3	0.5	0.1

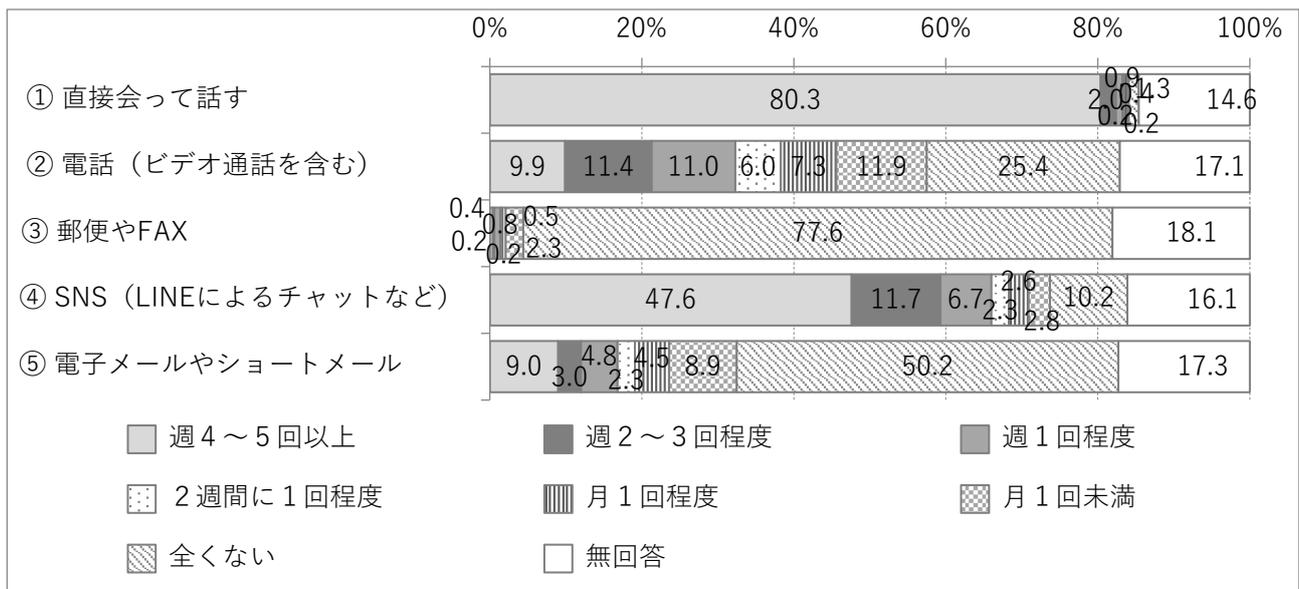
2 社会的孤立・孤独について

問 12 あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、①～⑤ごとにそれぞれお答えください。また、あなたと同居している人がいる場合、その人とのコミュニケーション頻度についてもお答えください。(①～⑤について、それぞれ〇は1つだけ)

同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度については、「③郵便やFAX:全くない」が60.4%、「⑤電子メールやショートメール:全くない」が38.3%となっています。



同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度については、「① 直接会って話す:週4～5回以上」が80.3%、「③ 郵便やFAX:全くない」が77.6%となっています。



同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度 <週に2回以上> (単位：人、%)

	人数	直接会って話す	電話（ビデオ通話を含む）	郵便やFAX	SNS（LINEによるチャットなど）	電子メールやショートメール
全体	1278	26.3	18.7	0.7	51.4	15.0
あいとぴあエリア	403	24.9	19.2	0.0	51.6	14.8
こまえ苑エリア	439	27.3	18.5	1.1	52.0	15.0
こまえ正吉苑エリア	433	26.3	18.5	0.9	50.6	15.3
20歳代	60	26.7	18.4	0.0	71.7	3.4
30歳代	220	28.2	14.6	0.5	54.6	8.2
40歳代	298	21.9	15.4	1.0	50.3	10.0
50歳代	291	24.4	14.7	0.6	47.4	15.1
60歳代	239	24.7	20.1	0.4	49.8	21.3
70歳以上	165	36.4	35.7	1.2	50.9	28.5
ひとり暮らし	175	25.7	21.2	0.0	58.3	13.7
その他	1084	26.2	18.2	0.9	50.4	15.0
社会的孤立該当	73	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1199	27.9	19.9	0.7	54.8	16.1
孤独該当	60	20.0	11.7	0.0	41.7	10.0
孤独非該当	1206	26.5	19.2	0.7	52.3	15.3

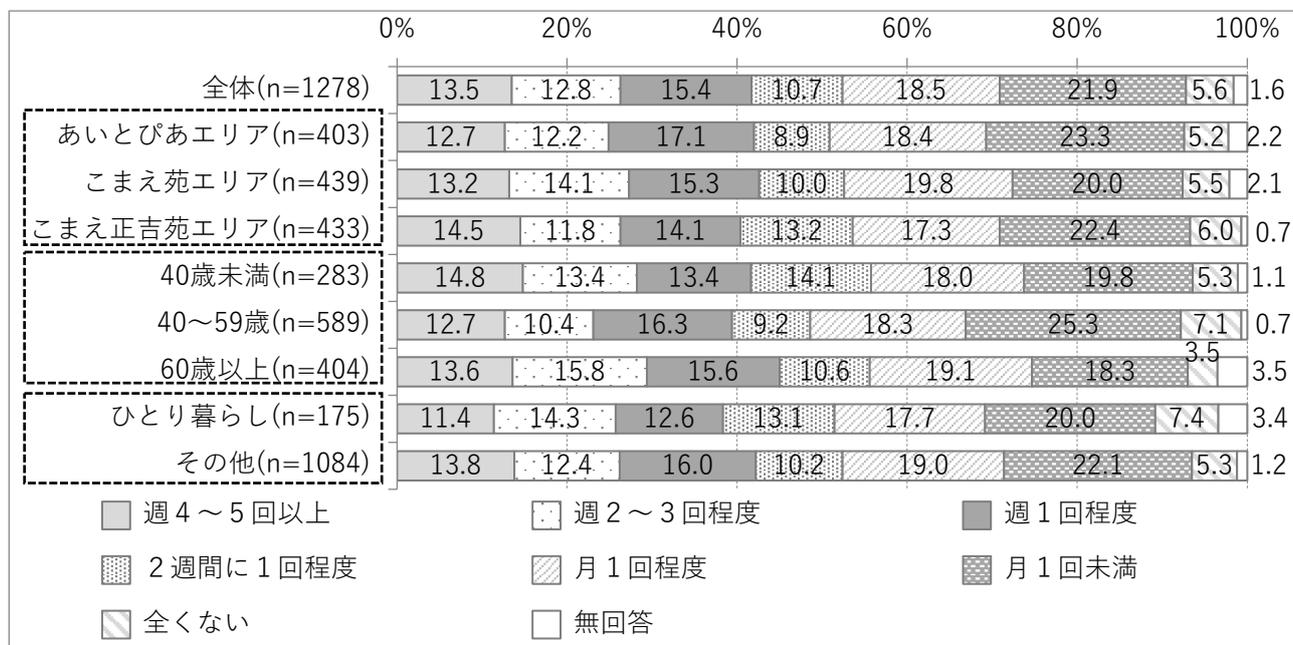
同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度 <週に2回以上> (単位：人、%)

	人数	直接会って話す	電話（ビデオ通話を含む）	郵便やFAX	SNS（LINEによるチャットなど）	電子メールやショートメール
全体	1278	82.3	21.3	0.6	59.3	12.0
あいとぴあエリア	403	78.4	21.1	0.5	57.6	13.2
こまえ苑エリア	439	85.0	21.4	0.2	61.1	12.1
こまえ正吉苑エリア	433	83.3	21.2	1.2	59.1	10.8
20歳代	60	65.0	20.0	1.7	61.7	1.7
30歳代	220	85.0	23.2	0.0	76.3	4.6
40歳代	298	87.3	27.2	0.3	69.1	12.8
50歳代	291	84.9	15.8	0.3	64.3	13.1
60歳代	239	82.8	21.7	1.2	47.7	15.5
70歳以上	165	70.3	17.0	1.2	25.5	17.6
ひとり暮らし	175	2.3	1.2	0.0	2.3	0.6
その他	1084	95.9	24.7	0.7	69.2	13.7
社会的孤立該当	73	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1199	87.8	22.7	0.7	63.2	12.8
孤独該当	60	61.7	16.6	0.0	48.4	6.6
孤独非該当	1206	83.9	21.7	0.6	60.3	12.4

問 12-1 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度（○は1つ）

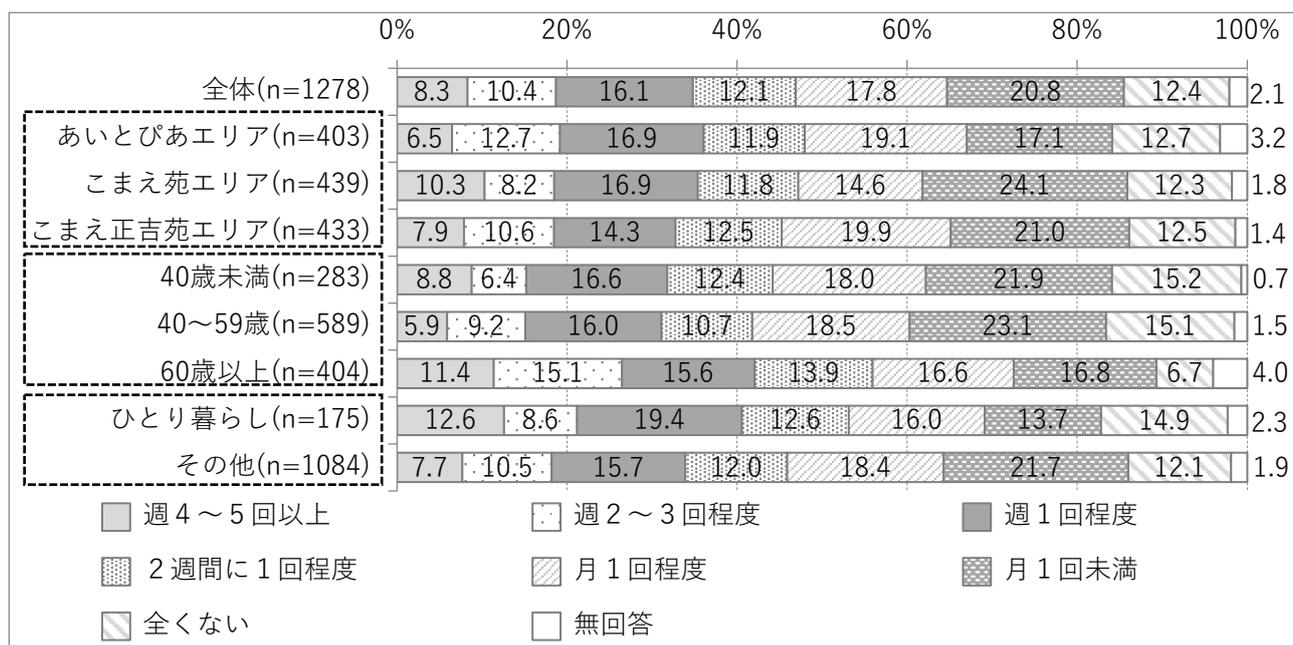
同居していない家族や友人たちと「① 直接会って話す」のコミュニケーション頻度については、「月1回未満」が21.9%で最も多く、次いで、「月1回程度」が18.5%となっています。

① 直接会って話す 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



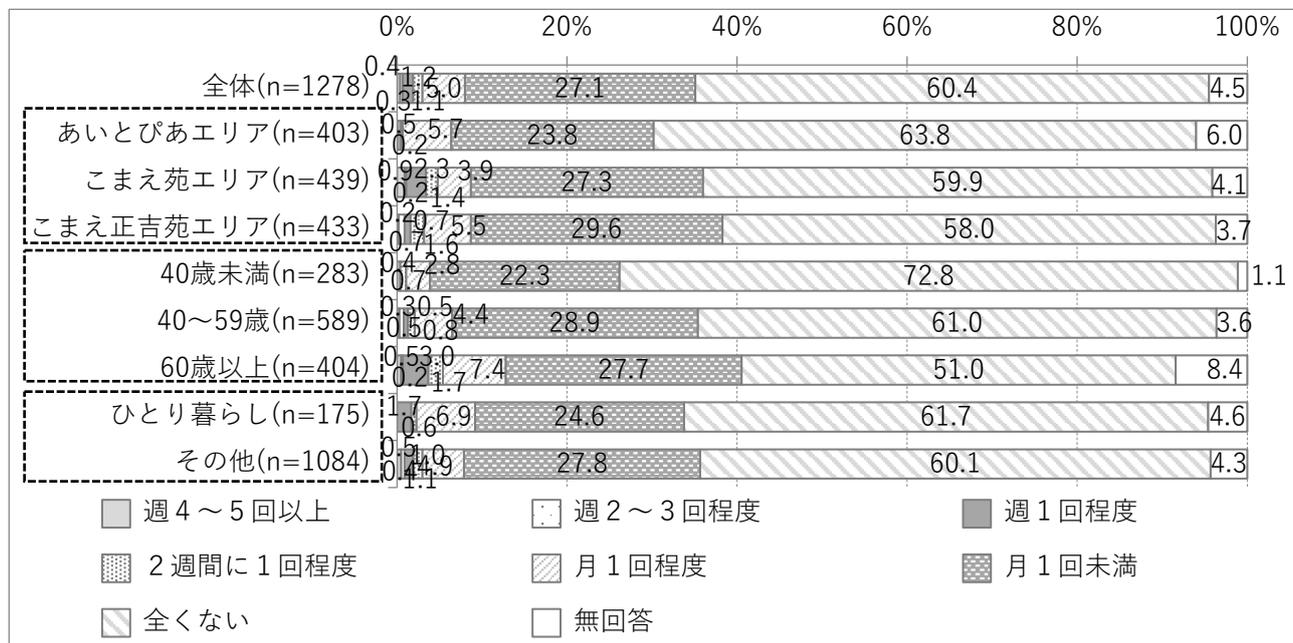
同居していない家族や友人たちと「② 電話（ビデオ通話を含む）」のコミュニケーション頻度については、「月1回未満」が20.8%で最も多く、次いで、「月1回程度」が17.8%となっています。

② 電話（ビデオ通話を含む） 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



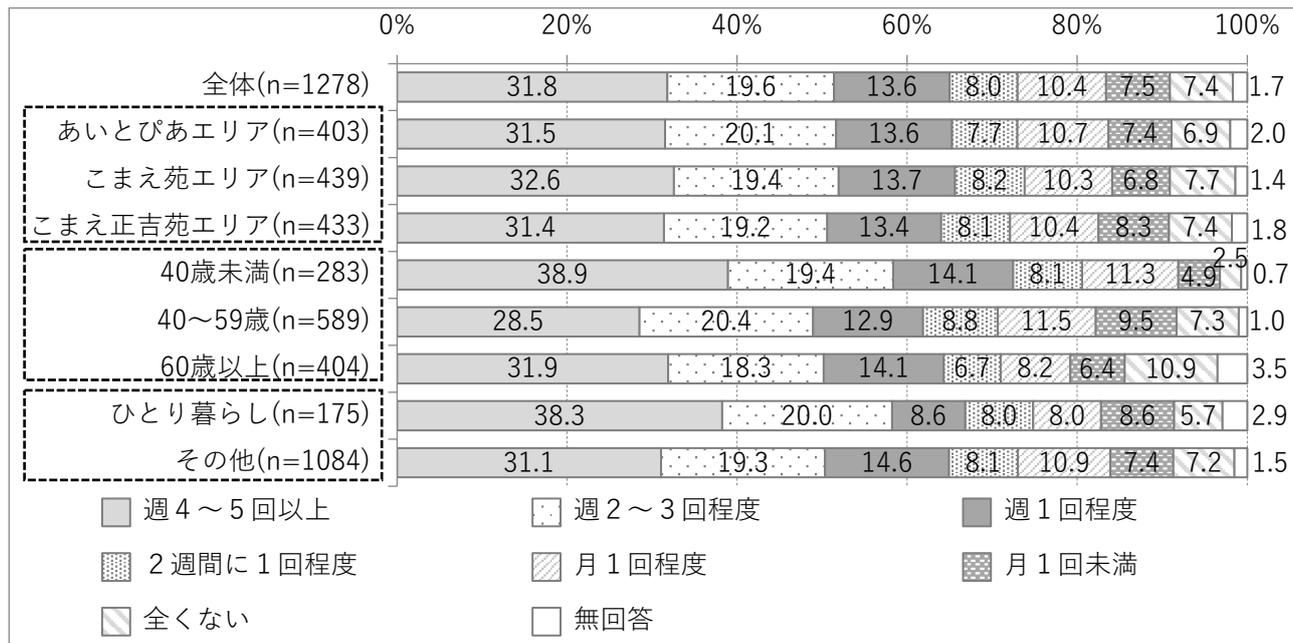
同居していない家族や友人たちと「③ 郵便や FAX」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が 60.4%で最も多く、次いで、「月 1 回未満」が 27.1%となっています。

③ 郵便や FAX 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



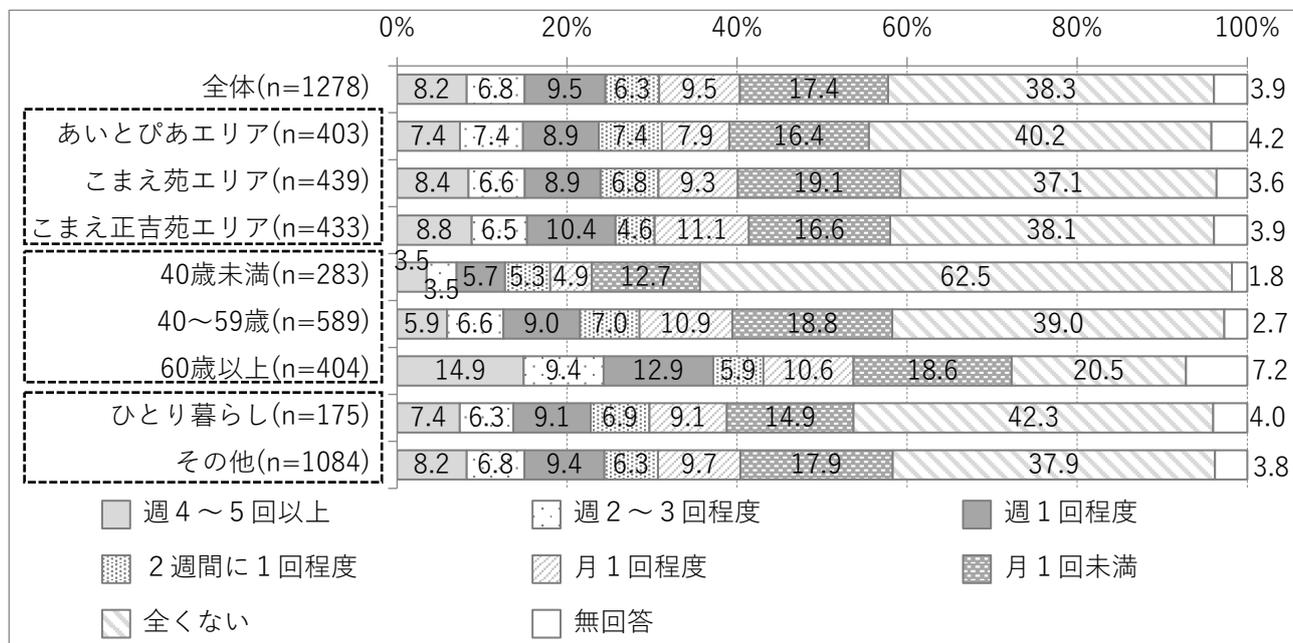
同居していない家族や友人たちと「④ SNS (LINE によるチャットなど)」のコミュニケーション頻度については、「週4～5回以上」が 31.8%で最も多く、次いで、「週2～3回程度」が 19.6%となっています。

④ SNS (LINE によるチャットなど) 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



同居していない家族や友人たちと「⑤ 電子メールやショートメール」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が38.8%で最も多く、次いで、「月1回未満」が17.4%となっています。

⑤ 電子メールやショートメール 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度

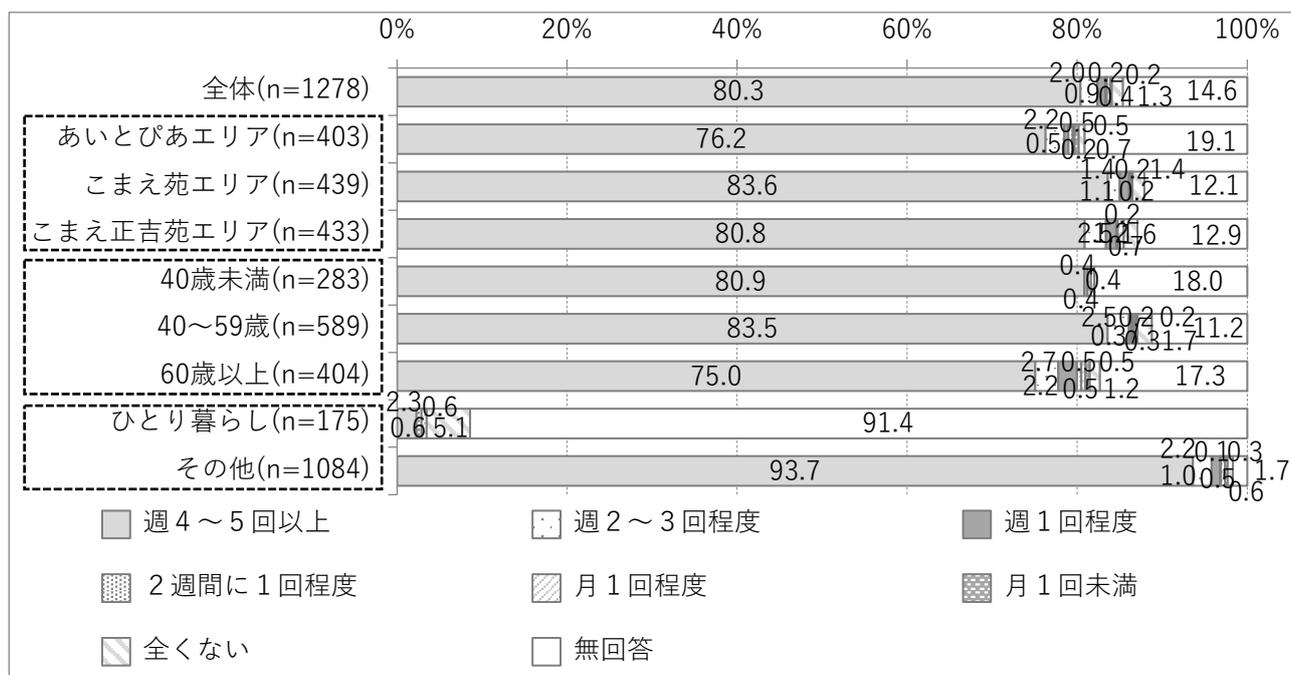


問 12-2 【問 12 で「同居している人がいる」場合にお答えください】

同居している人たちとのコミュニケーション頻度（〇は1つ）

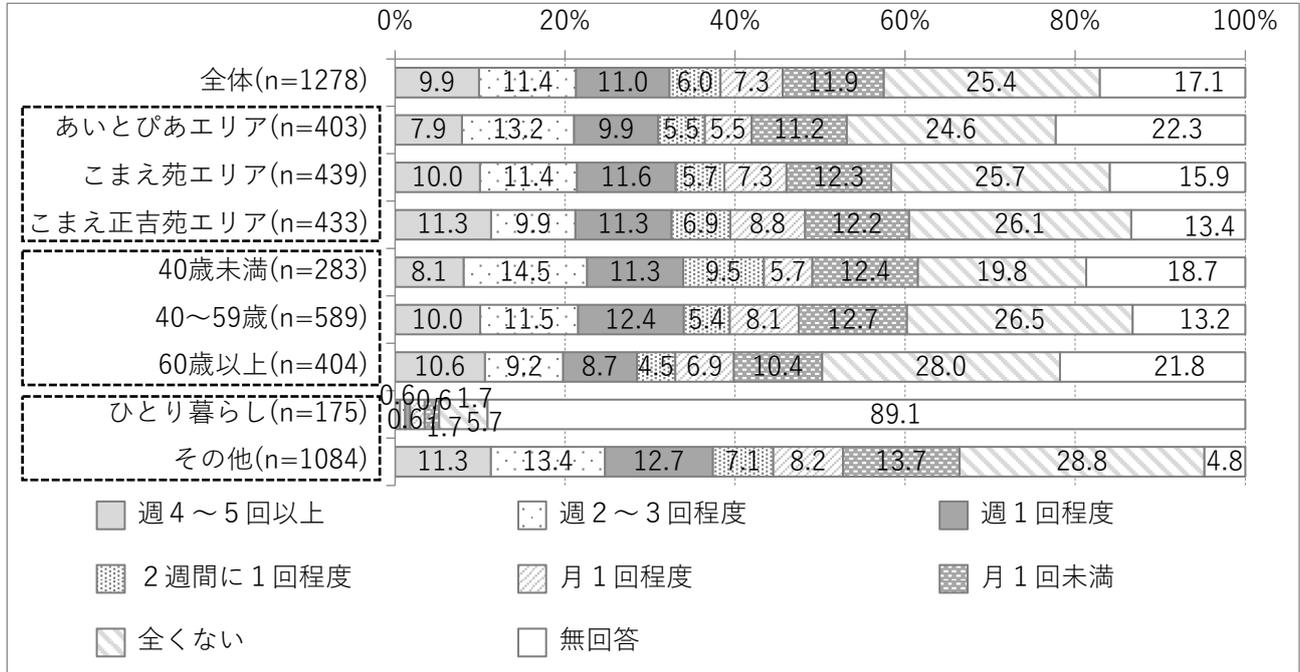
同居している家族や友人たちと「① 直接会って話す」のコミュニケーション頻度については、「週4～5回以上」が80.3%で最も多く、次いで、「無回答」が14.6%となっています。

① 直接会って話す 同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度



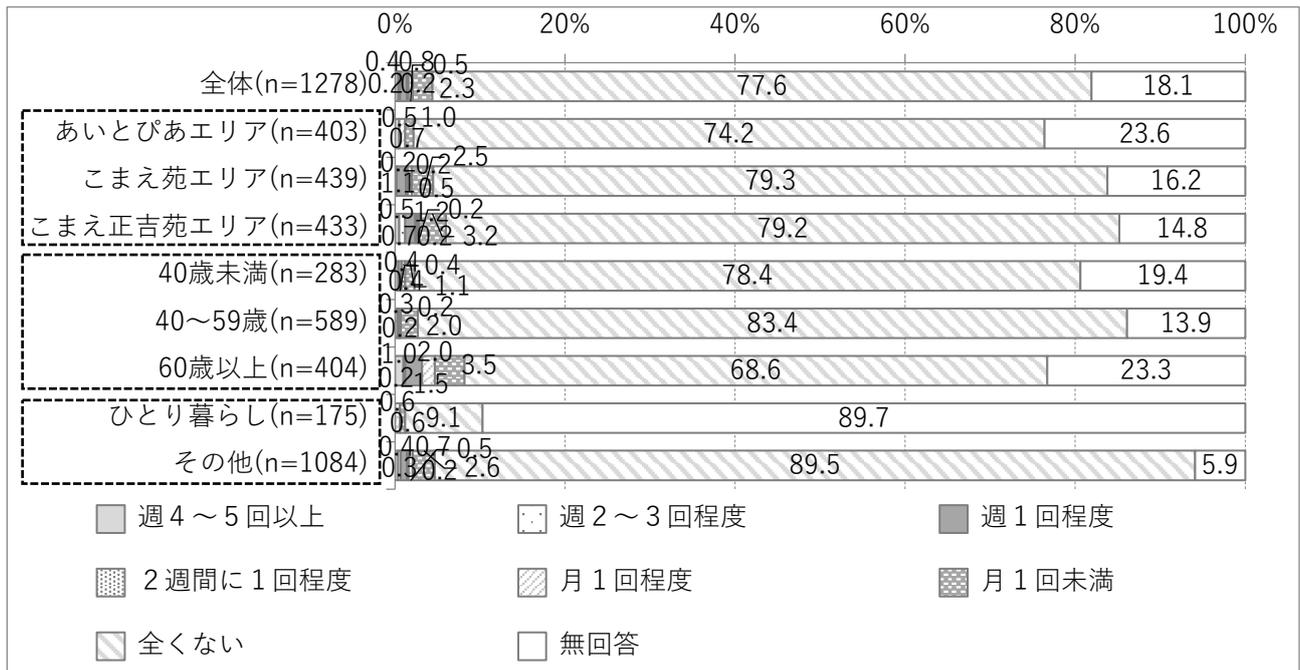
同居している家族や友人たちと「② 電話（ビデオ通話を含む）」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が25.4%で最も多く、次いで、「無回答」が17.1%となっています。

② 電話（ビデオ通話を含む） 同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度



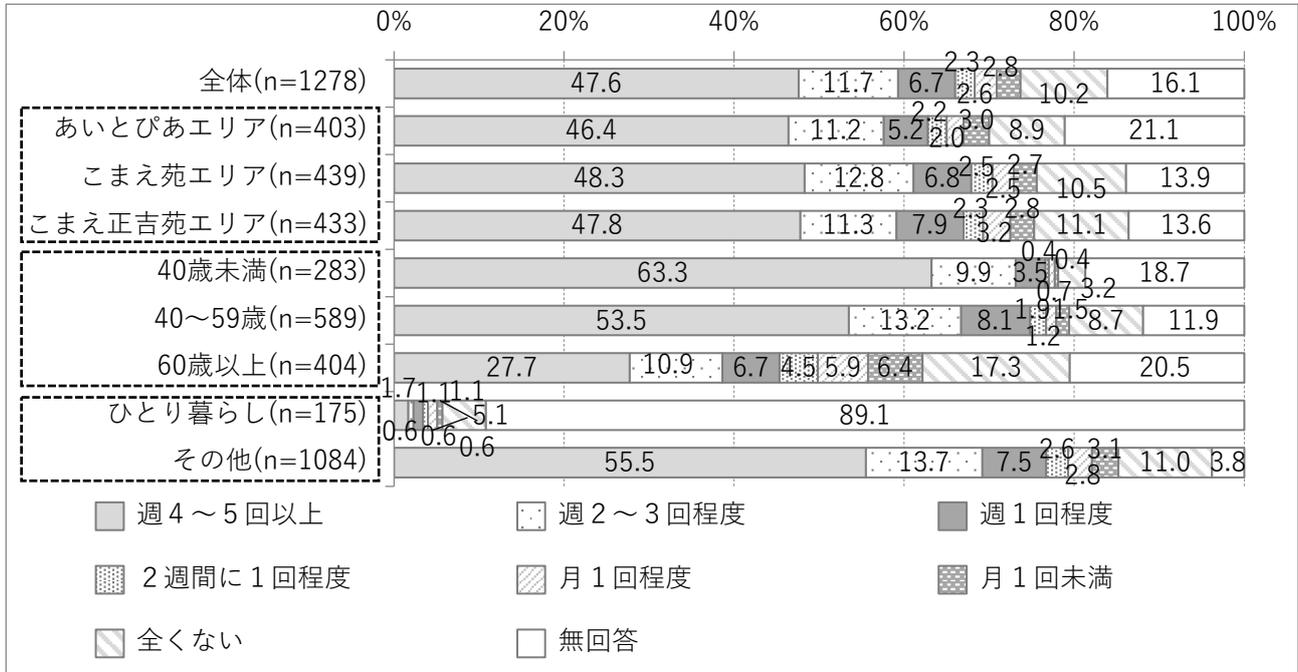
同居している家族や友人たちと「③ 郵便や FAX」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が77.6%で最も多く、次いで、「無回答」が18.1%となっています。

③ 郵便や FAX 同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度



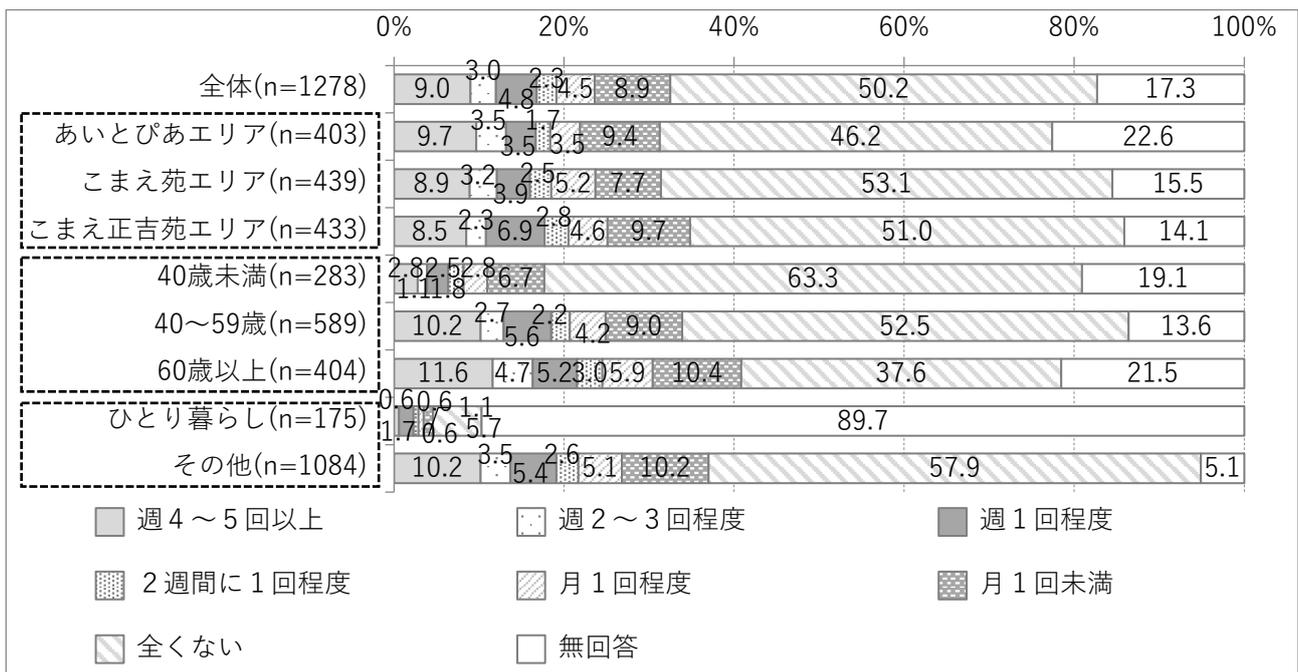
同居している家族や友人たちと「④ SNS (LINE によるチャットなど)」のコミュニケーション頻度については、「週4～5回以上」が47.6%で最も多く、次いで、「無回答」が16.1%となっています。

④ SNS (LINE によるチャットなど) 同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度



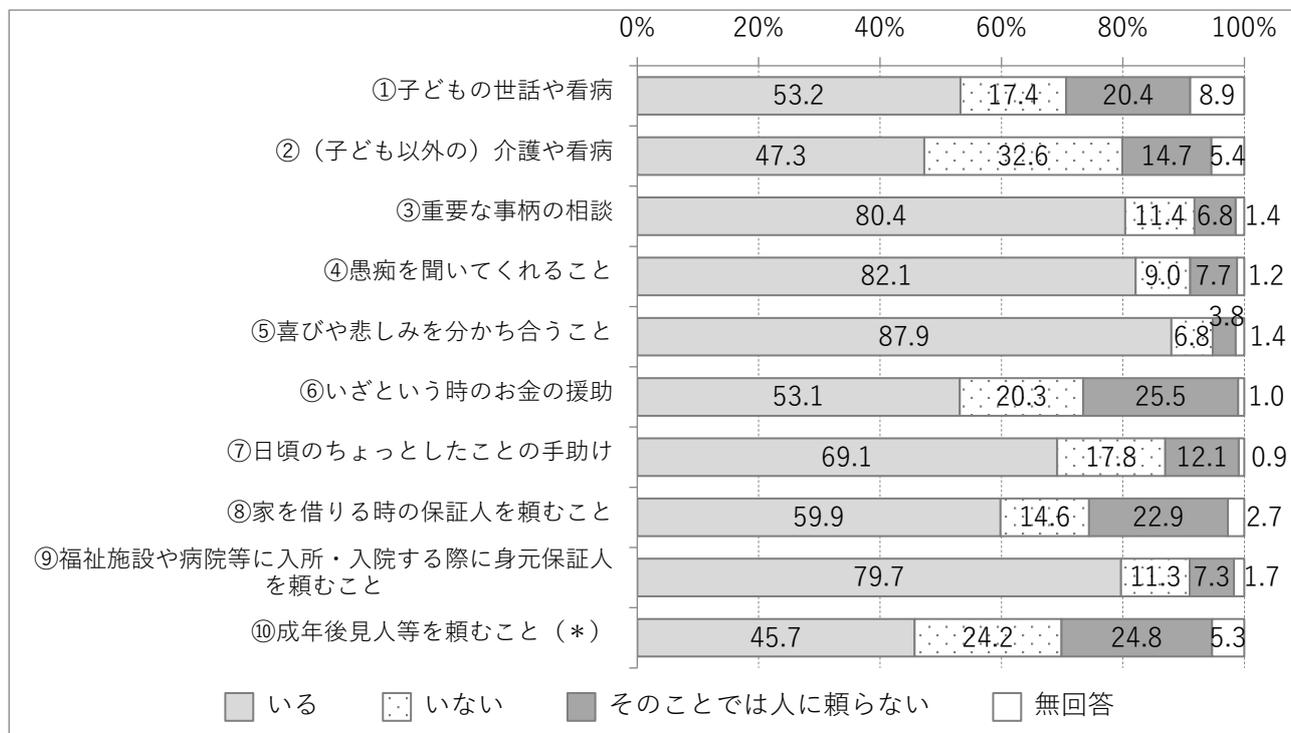
同居している家族や友人たちと「⑤ 電子メールやショートメール」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が50.2%で最も多く、次いで、「無回答」が17.3%となっています。

⑤ 電子メールやショートメール 同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度

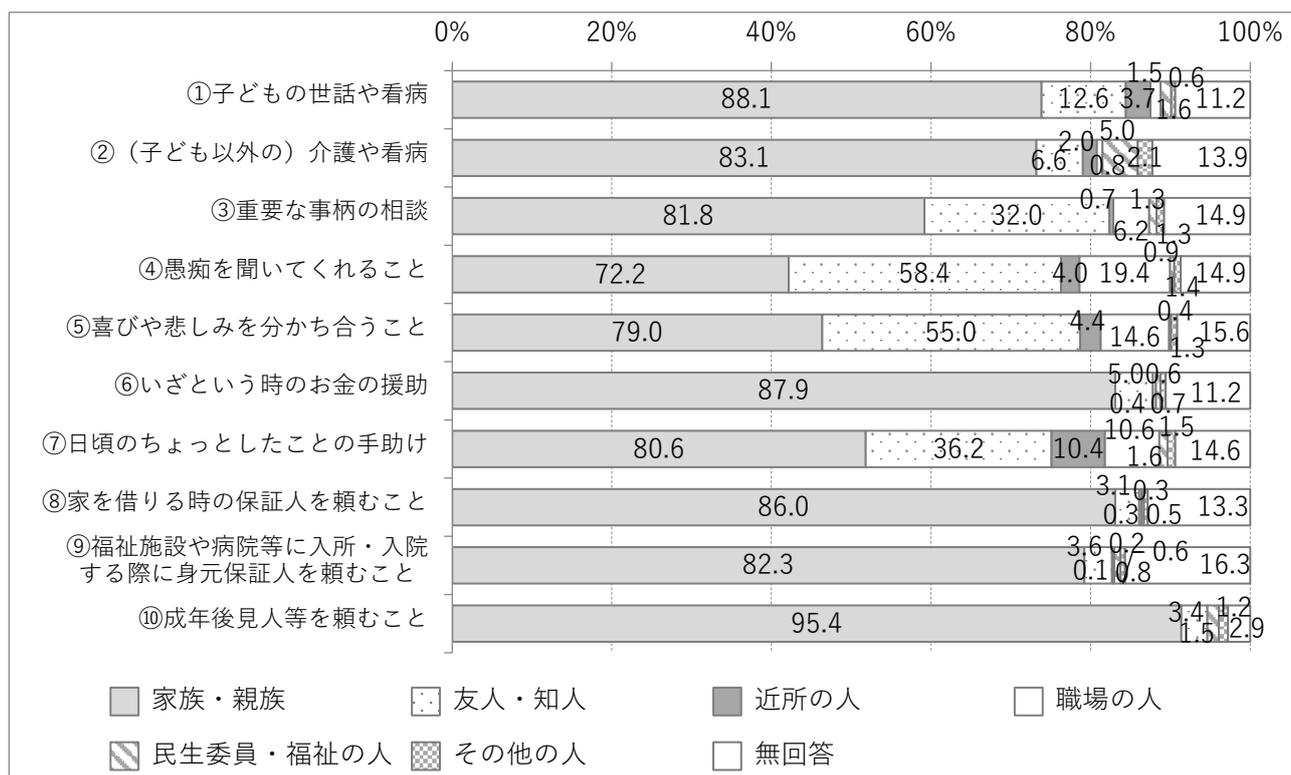


問13 あなたは次に挙げる①～⑩の事柄で頼れる人はいますか。また「いる」と答えた方にお聞きします。それはだれですか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

①～⑩の事柄で頼れる人については、「いる：⑤喜びや悲しみを分かち合うこと」が87.9%で最も多く、次いで、「いる：④愚痴を聞いてくれること」が82.1%となっています。



①～⑩の事柄で頼れる人が「いる」方については、全ての事柄で「家族・親族」の割合が最も高くなっています。



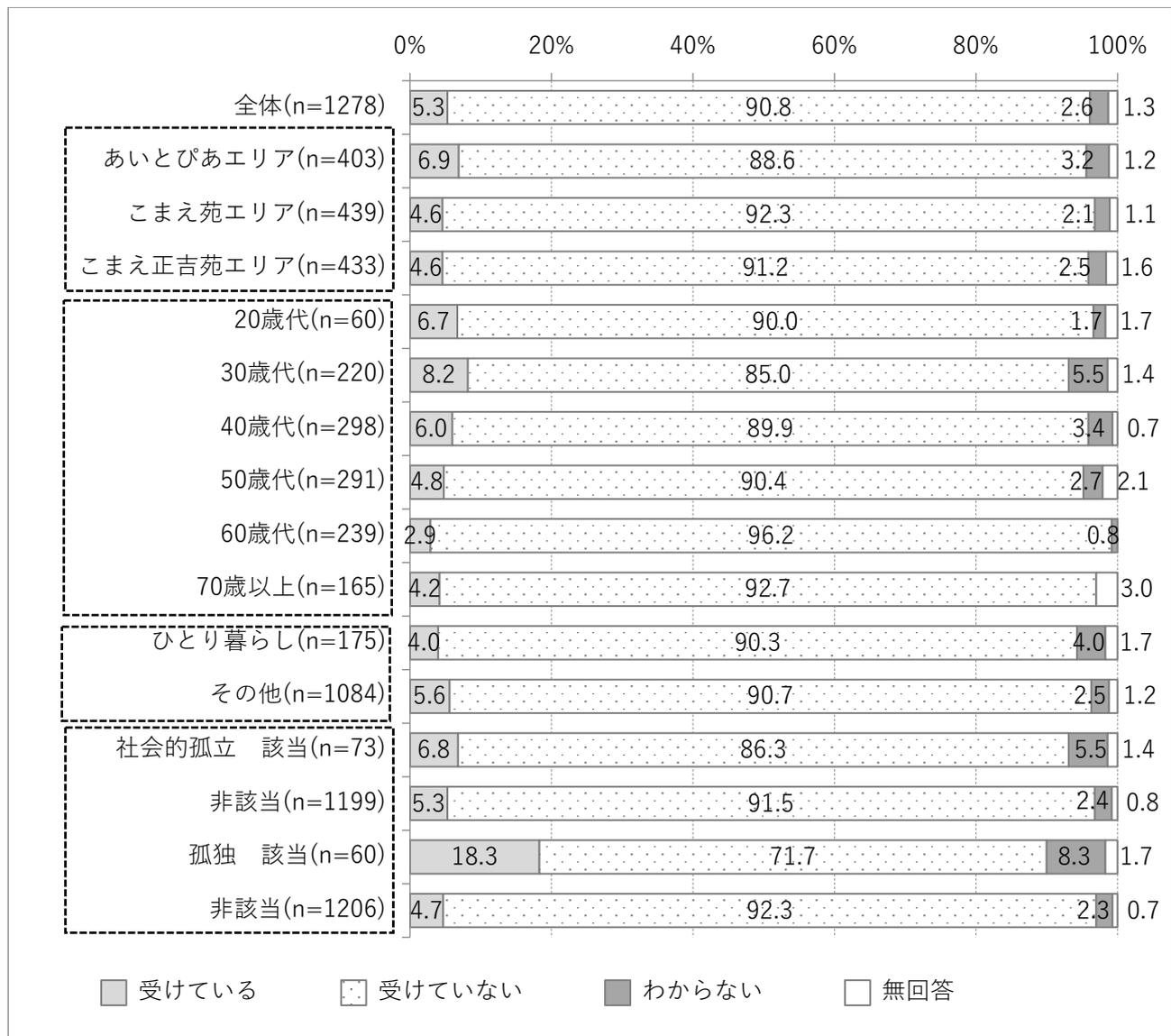
次に挙げる①～⑩の事柄で頼れる人が「いる」割合

(単位：人、%)

区分	人数	① 子どもの世話や看病	② (子ども以外の) 介護や看病	③ 重要な事柄の相談	④ 愚痴を聞いてくれること	⑤ 喜びや悲しみを分かち合うこと	⑥ いざという時のお金の援助	⑦ 日頃のちょっとしたことの手助け	⑧ 家を借りる時の保証人を頼むこと	⑨ 福祉施設や病院等に入所・入院する際に身元保証人を頼むこと	⑩ 成年後見人等を頼むこと
全体	1278	53.2	47.3	80.4	82.1	87.9	53.1	69.1	59.9	79.7	45.7
あいとぴあエリア	403	54.3	48.4	79.2	81.6	86.8	53.3	69.0	63.0	78.7	42.4
こまえ苑エリア	439	51.7	46.9	80.0	82.7	88.4	51.5	68.8	59.2	81.1	46.0
こまえ正吉苑エリア	433	53.8	46.9	82.0	82.0	88.5	54.7	69.5	57.3	79.2	48.5
20歳代	60	36.7	38.3	83.3	88.3	90.0	68.3	76.7	86.7	90.0	50.0
30歳代	220	64.1	48.6	88.6	89.5	94.1	71.8	72.7	76.8	83.6	46.4
40歳代	298	64.8	47.0	78.2	80.2	86.9	56.7	70.8	67.8	79.2	39.9
50歳代	291	42.6	54.0	79.7	81.8	88.0	51.2	67.4	55.7	73.9	46.4
60歳代	239	48.1	47.3	75.7	80.3	87.0	41.0	66.1	43.1	79.1	46.9
70歳以上	165	50.3	37.0	79.4	75.8	81.8	36.4	65.5	43.6	82.4	49.7
ひとり暮らし	175	21.1	30.3	67.4	82.1	72.0	41.7	41.7	60.0	79.4	33.7
その他	1084	59.0	50.6	83.0	65.1	90.9	55.4	73.9	60.4	80.1	47.8
社会的孤立該当	73	55.3	30.1	50.7	46.6	49.3	24.7	27.4	52.1	64.4	26.0
社会的孤立非該当	1199	23.3	48.6	82.6	84.7	90.7	55.1	72.0	60.6	81.0	47.1
孤独該当	60	55.1	30.0	43.3	45.0	45.0	25.0	45.0	43.3	56.7	28.3
孤独非該当	1206	55.3	48.7	82.6	84.3	90.5	54.8	70.6	61.1	81.3	46.9

問 14 あなたは現在、行政機関や NPO 等の民間団体から、困りごとに対する支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。（○は1つ）

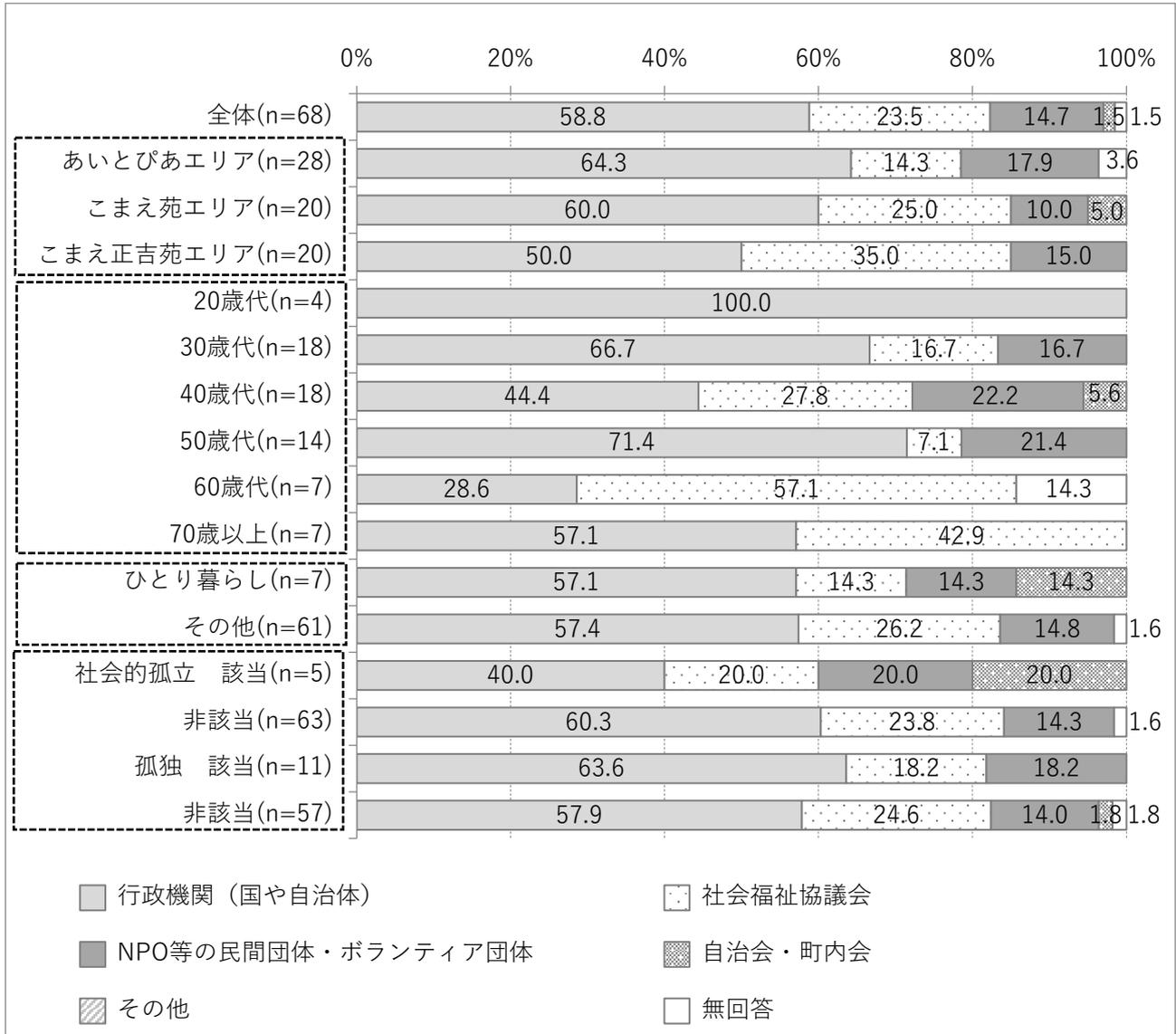
困りごとに対する支援を受けているかについては、「受けていない」が 90.8%で最も多く、次いで、「受けている」が 5.3%となっています。



問 14-2 【問 14 で「1 受けている」と回答した方へ】

あなたはどこから支援を受けていますか。(○は1つ)

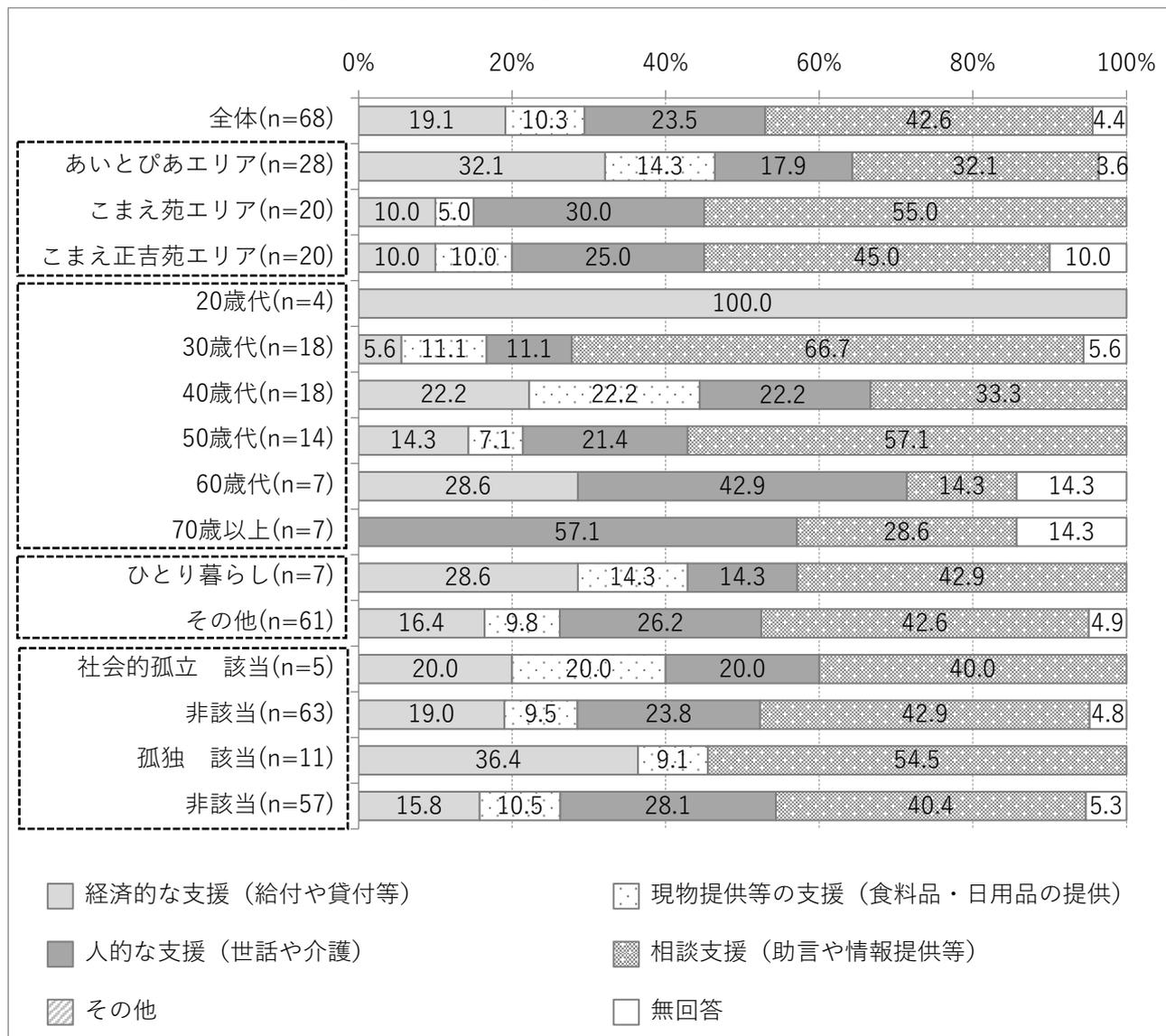
どこから支援を受けているかについては、「行政機関（国や自治体）」が 58.8%で最も多く、次いで、「社会福祉協議会」が 23.5%となっています。



問 14-3 【問 14 で「1 受けている」と回答した方へ】

あなたはどのような支援を受けていますか。(○は1つ)

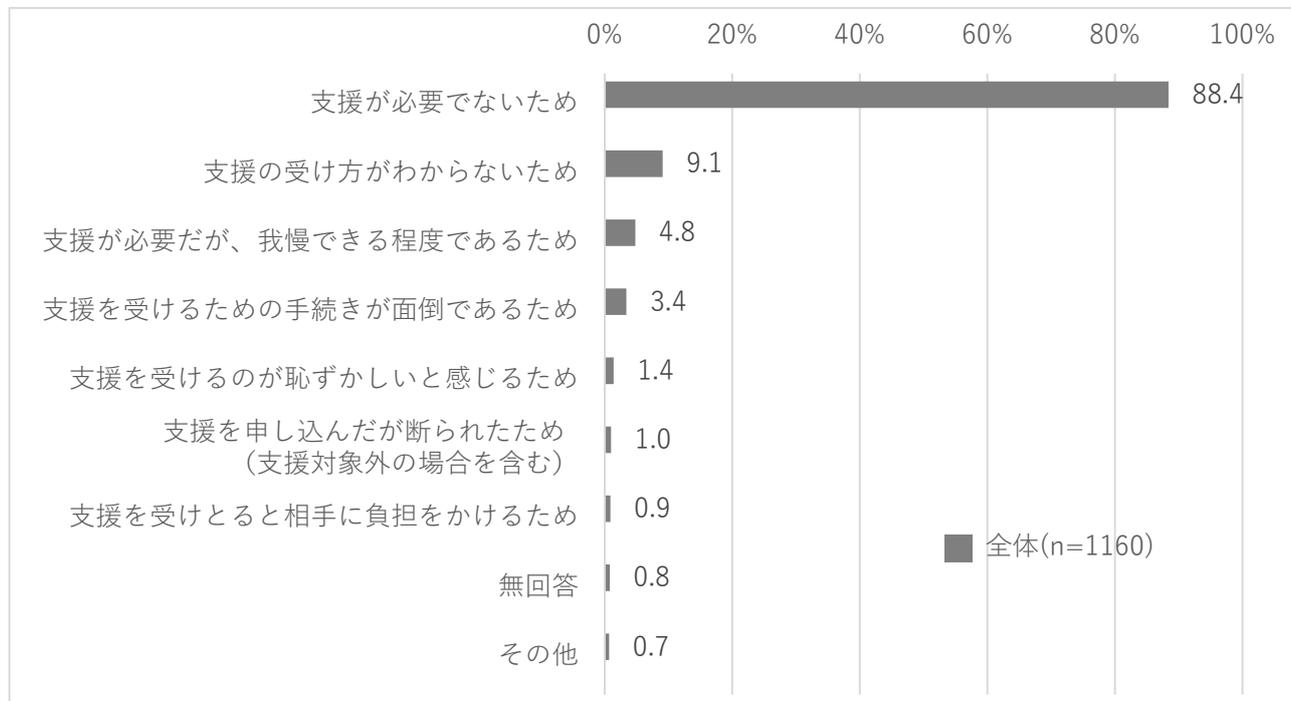
どのような支援を受けているかについては、「相談支援（助言や情報提供等）」が 42.6%で最も多く、次いで、「人的な支援（世話や介護）」が 23.5%となっています。



問 14-4 【問 14 で「2 受けていない」と回答した方へ】

その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

受けていない理由については、「支援が必要でないため」が 88.4%で最も多く、次いで、「支援の受け方がわからないため」が 9.1%となっています。

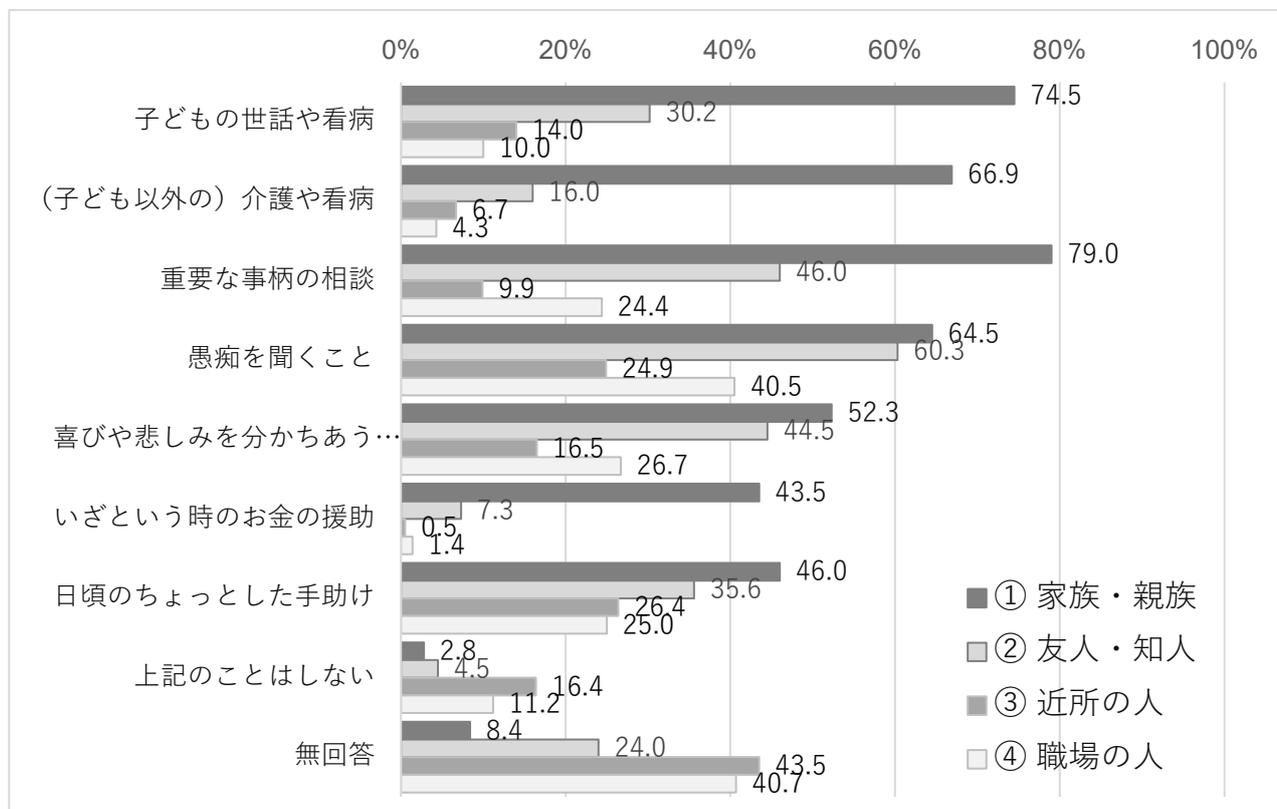


(単位：人、%)

区分	人数	支援が必要でないため	支援が必要だが、我慢できる程度であるため	支援の受け方がわからないため	支援を受けるための手続きが面倒であるため	支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	支援を受けると相手に負担をかけるため	支援を申し込んだが断られたため(支援対象外の場合を含む)	その他	無回答
全体	1160	88.4	4.8	9.1	3.4	1.4	0.9	1.0	0.7	0.8
あいとびあエリア	357	88.0	5.0	10.6	5.3	2.2	1.4	1.7	0.6	0.6
こまえ苑エリア	405	89.4	5.2	8.1	3.2	1.2	1.0	1.0	1.0	0.5
こまえ正吉苑エリア	395	87.6	4.3	8.9	2.0	0.8	0.5	0.5	0.5	1.3
20歳代	54	81.5	5.6	16.7	7.4	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0
30歳代	187	87.7	5.3	11.8	7.0	1.1	1.6	0.5	0.0	1.1
40歳代	268	84.7	6.0	11.6	3.4	1.9	1.1	0.7	1.1	0.4
50歳代	263	89.0	4.6	9.5	3.0	2.3	1.1	1.1	1.5	0.8
60歳代	230	94.8	3.0	3.5	1.3	0.4	0.0	0.9	0.0	0.4
70歳以上	153	87.6	5.2	7.2	2.0	0.7	1.3	1.3	0.7	2.0
ひとり暮らし	158	88.0	7.6	10.1	3.8	2.5	0.6	0.6	0.0	0.6
その他	983	88.6	4.5	9.0	3.4	1.2	1.0	1.1	0.7	0.7
社会的孤立該当	63	79.4	11.1	17.5	6.3	3.2	0.0	1.6	0.0	3.2
社会的孤立非該当	1097	88.9	4.5	8.7	3.3	1.3	1.0	1.0	0.7	0.6
孤独該当	43	46.5	16.3	32.6	14.0	4.7	4.7	9.3	4.7	0.0
孤独非該当	1113	89.9	4.3	8.3	3.1	1.3	0.8	0.7	0.5	0.8

問 15 あなたは、①～④の人が、次に挙げる事柄について助けを必要としているときに、それらの事柄をしますか（〇はいくつでも）

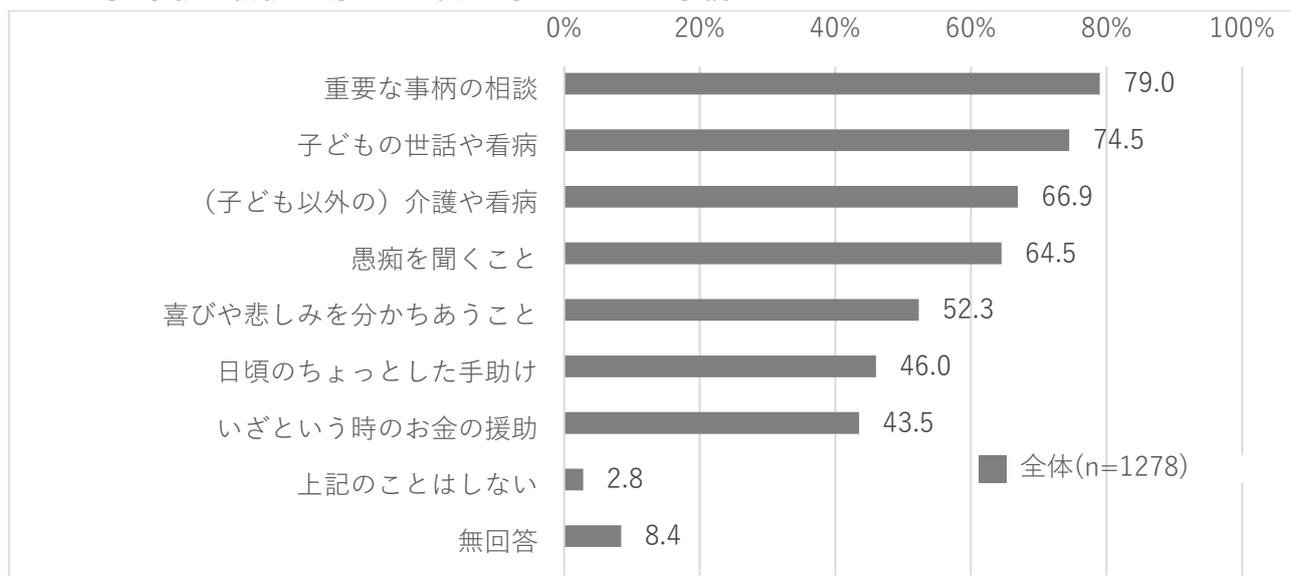
①～④の人が助けを必要としている事柄については、「家族・親族：重要な事柄の相談」が79.0%で最も多く、次いで、「家族・親族：子どもの世話や看病」が74.5%となっています。



助けが必要な時に何らかの手助けをしない（無回答を含む）割合 (単位：人、%)

	人数	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人
全体	1278	11.2	28.5	59.9	51.9
あいとぴあエリア	403	13.1	31.3	63.8	53.6
こまえ苑エリア	439	9.5	27.1	58.6	48.1
こまえ正吉苑エリア	433	11.0	27.5	57.9	54.3
20歳代	60	5.0	6.7	60.0	26.7
30歳代	220	8.2	13.6	50.5	31.9
40歳代	298	7.7	22.2	55.4	36.2
50歳代	291	12.4	27.9	57.1	51.2
60歳代	239	15.5	41.0	68.2	69.5
70歳以上	165	15.7	50.9	74.5	92.1
ひとり暮らし	175	17.1	26.3	66.9	52.5
その他	1084	9.9	28.5	58.7	51.4
社会的孤立該当	73	26.0	39.7	69.8	67.1
社会的孤立非該当	1199	9.8	27.5	59.2	50.7
孤独該当	60	25.0	45.0	71.6	58.3
孤独非該当	1206	9.9	27.1	59.0	51.2

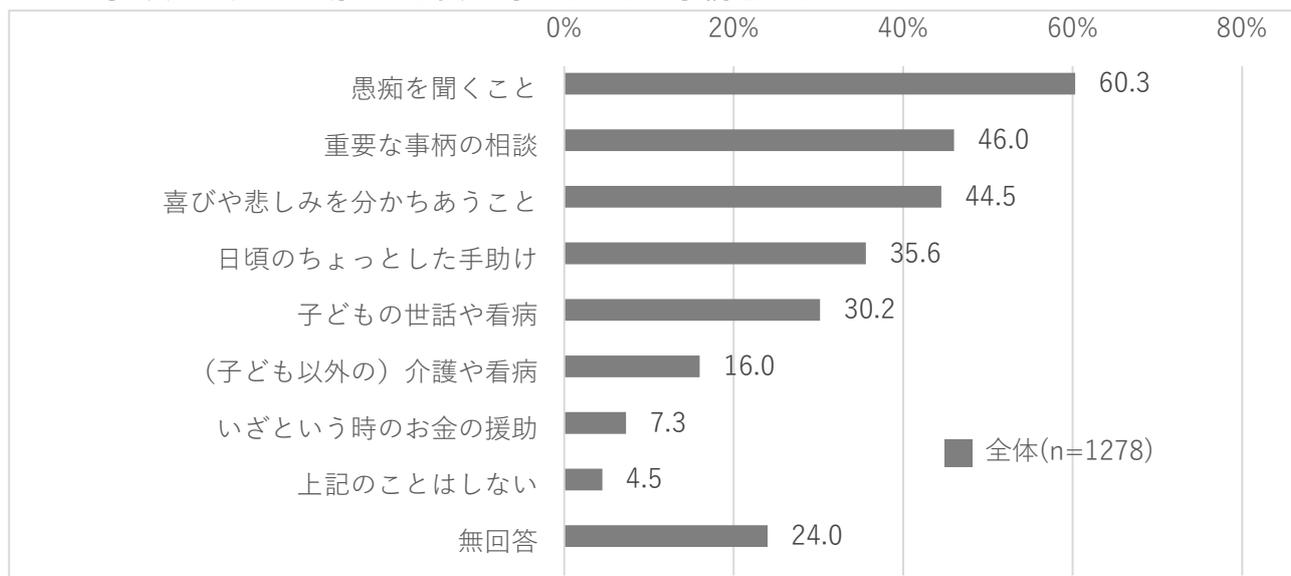
① 家族・親族 助けが必要な時にそれらの事柄をしますか



(単位：人、%)

区分	人数	子どもの世話や看病	(子ども以外の) 介護や看病	重要な事柄の相談	愚痴を聞くこと	喜びや悲しみを分かちあうこと	いざという時のお金の援助	日頃のちょっとした手助け	上記のことはしない	無回答
全体	1278	74.5	66.9	79.0	64.5	52.3	43.5	46.0	2.8	8.4
あいとびあエリア	403	73.0	66.3	77.9	65.3	53.3	42.4	46.2	3.2	9.9
こまえ苑エリア	439	77.0	68.3	78.1	62.2	50.8	44.6	46.2	2.7	6.8
こまえ正吉苑エリア	433	73.4	65.8	80.8	65.8	52.7	43.4	45.5	2.5	8.5
20歳代	60	85.0	81.7	90.0	80.0	70.0	65.0	70.0	3.3	1.7
30歳代	220	83.2	77.7	88.2	80.5	64.5	55.0	59.1	2.7	5.5
40歳代	298	80.5	69.8	85.9	72.1	57.4	46.6	48.7	1.7	6.0
50歳代	291	71.5	73.5	79.0	63.9	50.9	41.2	45.7	3.1	9.3
60歳代	239	66.5	60.3	72.4	52.7	42.7	38.5	36.4	4.6	10.9
70歳以上	165	64.8	38.8	59.4	40.6	35.8	24.8	28.5	1.8	13.9
ひとり暮らし	175	55.4	53.1	71.4	54.3	42.3	33.7	39.4	5.7	11.4
その他	1084	78.2	69.8	80.5	66.5	54.3	45.4	47.4	2.3	7.6

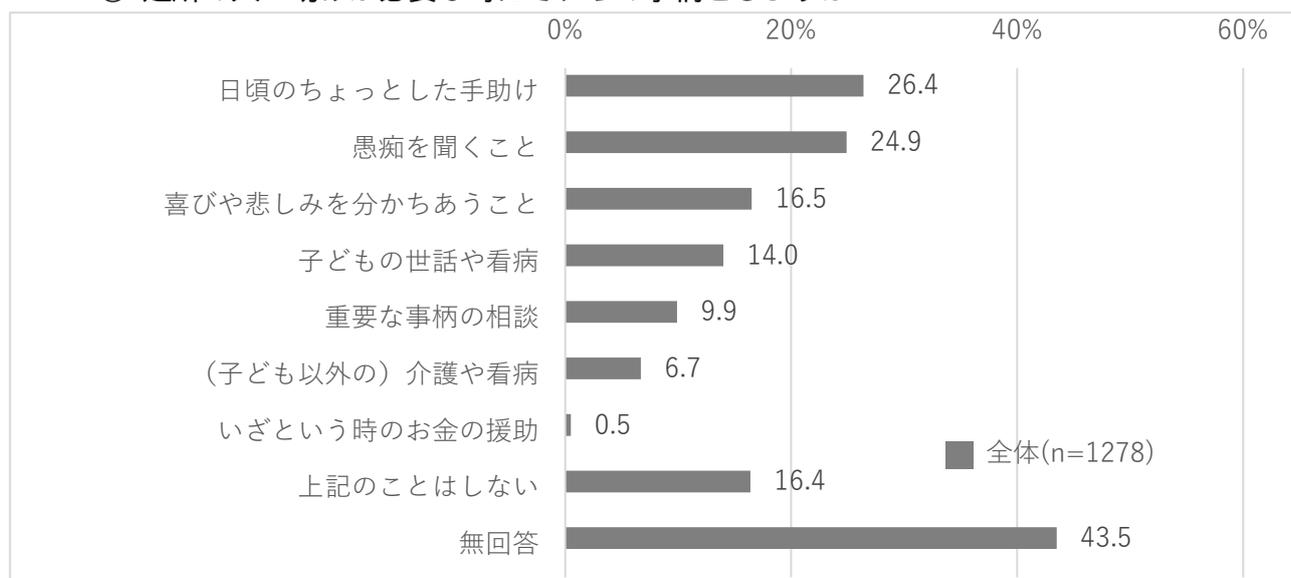
② 友人・知人 助けが必要な時にそれらの事柄をしますか



(単位：人、%)

区分	人数	子どもの世話や看病	(子ども以外の) 介護や看病	重要な事柄の相談	愚痴を聞くこと	喜びや悲しみを分かちあうこと	いざという時のお金の援助	日頃のちょっとした手助け	上記のことはしない	無回答
全体	1278	30.2	16.0	46.0	60.3	44.5	7.3	35.6	4.5	24.0
あいとびあエリア	403	29.0	15.9	43.4	59.6	44.4	7.4	34.7	4.7	26.6
こまえ苑エリア	439	29.4	16.4	47.2	60.1	44.0	8.2	36.9	5.0	22.1
こまえ正吉苑エリア	433	32.1	15.7	47.1	60.7	45.0	6.2	35.1	3.7	23.8
20歳代	60	48.3	20.0	68.3	85.0	75.0	18.3	58.3	1.7	5.0
30歳代	220	44.1	19.5	59.5	78.6	57.7	8.6	46.4	2.7	10.9
40歳代	298	40.9	21.1	54.0	66.8	50.3	7.7	41.6	4.4	17.8
50歳代	291	31.6	16.5	42.6	60.8	43.0	6.2	33.7	4.5	23.4
60歳代	239	11.7	10.9	35.1	46.4	34.7	6.3	26.8	7.9	33.1
70歳以上	165	10.3	7.3	26.7	33.3	21.8	3.6	18.2	3.0	47.9
ひとり暮らし	175	26.9	16.0	50.3	58.9	43.4	10.9	36.6	6.9	19.4
その他	1084	31.2	16.1	45.6	60.8	45.0	6.8	35.6	4.1	24.4

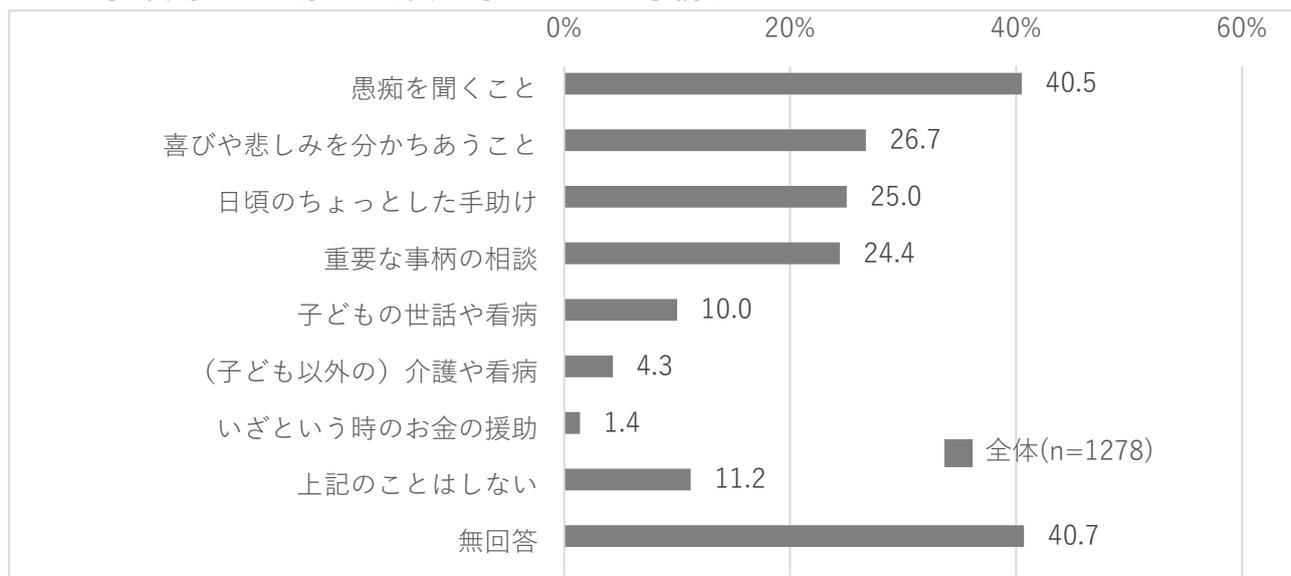
③ 近所の人 助けが必要な時にそれらの事柄をしますか



(単位：人、%)

区分	人数	子どもの世話や看病	(子ども以外の) 介護や看病	重要な事柄の相談	愚痴を聞くこと	喜びや悲しみを分かちあうこと	いざという時のお金の援助	日頃のちょっとした手助け	上記のことはしない	無回答
全体	1278	14.0	6.7	9.9	24.9	16.5	0.5	26.4	16.4	43.5
あいとびあエリア	403	12.9	7.2	9.4	22.8	17.9	0.5	25.6	18.1	45.7
こまえ苑エリア	439	14.6	6.2	9.6	26.0	15.9	0.5	26.0	16.2	42.4
こまえ正吉苑エリア	433	14.5	6.9	10.9	25.6	15.9	0.5	27.5	15.2	42.7
20歳代	60	8.3	0.0	11.7	18.3	21.7	0.0	35.0	31.7	28.3
30歳代	220	18.6	6.4	11.8	35.5	22.7	0.5	35.5	22.3	28.2
40歳代	298	22.5	9.4	12.8	28.5	18.8	0.3	29.2	17.1	38.3
50歳代	291	15.8	8.9	7.6	25.8	15.8	0.3	27.8	13.1	44.0
60歳代	239	4.2	3.8	7.1	18.8	13.0	0.4	21.3	15.5	52.7
70歳以上	165	5.5	4.8	9.7	12.7	7.9	0.6	10.3	9.7	64.8
ひとり暮らし	175	8.0	3.4	9.1	19.4	13.1	0.6	20.0	26.3	40.6
その他	1084	15.1	7.2	10.1	26.0	17.2	0.5	27.5	14.9	43.8

④ 職場の人 助けが必要な時にそれらの事柄をしますか

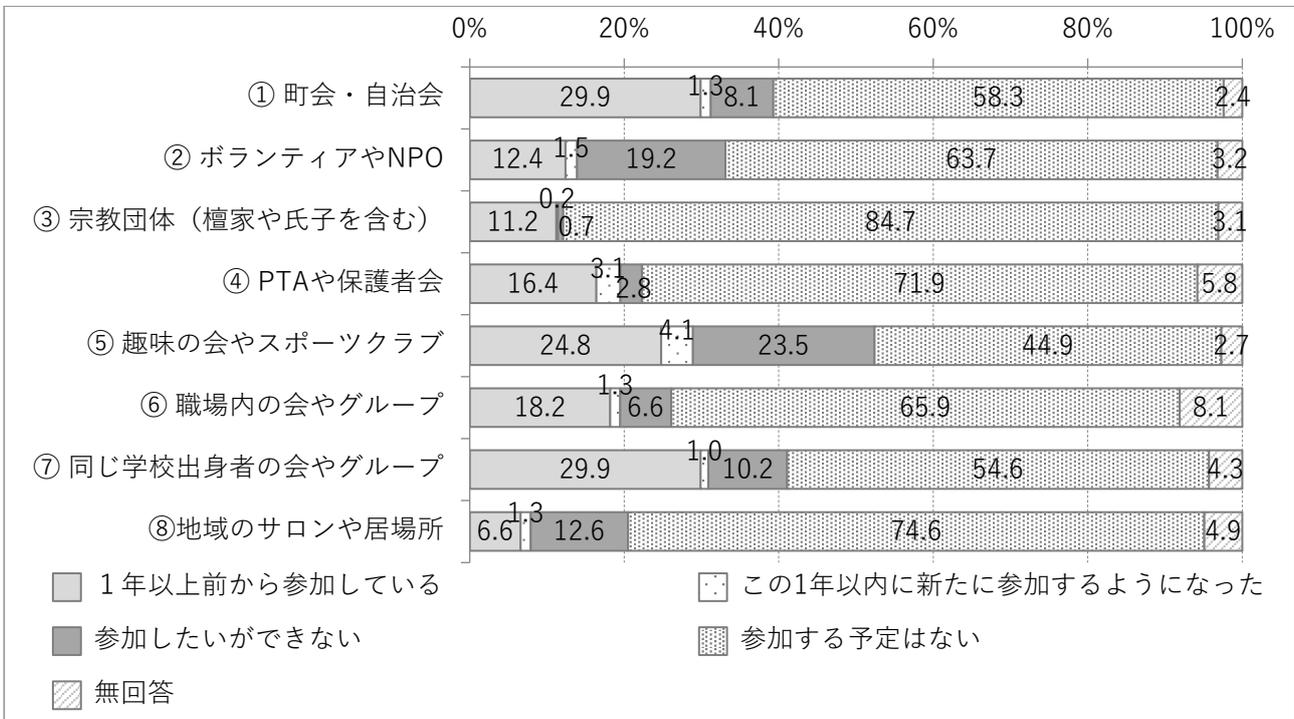


(単位：人、%)

区分	人数	子どもの世話や看病	(子ども以外の) 介護や看病	重要な事柄の相談	愚痴を聞くこと	喜びや悲しみを分かちあうこと	いざという時のお金の援助	日頃のちょっとした手助け	上記のことはしない	無回答
全体	1278	10.0	4.3	24.4	40.5	26.7	1.4	25.0	11.2	40.7
あいとびあエリア	403	10.9	6.0	22.1	39.7	27.0	1.5	25.3	11.7	41.9
こまえ苑エリア	439	9.8	3.6	27.1	41.5	26.9	1.8	25.5	10.7	37.4
こまえ正吉苑エリア	433	9.5	3.5	23.8	40.2	26.1	0.9	24.2	11.3	43.0
20歳代	60	16.7	3.3	43.3	65.0	50.0	3.3	50.0	11.7	15.0
30歳代	220	13.6	5.0	33.6	60.9	40.9	2.3	37.7	10.5	21.4
40歳代	298	17.8	7.4	32.9	53.7	34.2	1.7	32.6	8.7	27.5
50歳代	291	8.6	4.1	22.7	40.2	25.1	1.0	22.7	11.0	40.2
60歳代	239	2.5	2.1	15.9	23.4	15.9	-	15.9	15.9	53.6
70歳以上	165	1.8	1.2	4.8	5.5	3.0	1.2	1.8	10.3	81.8
ひとり暮らし	175	9.7	5.7	28.6	38.3	24.6	2.9	24.0	15.4	37.1
その他	1084	10.2	4.2	24.1	41.2	27.3	1.2	25.3	10.5	40.9

問 16 次のような地域活動・ボランティア活動等について、あなたが現在取り組んでいる活動はありますか。(〇はいくつでも)

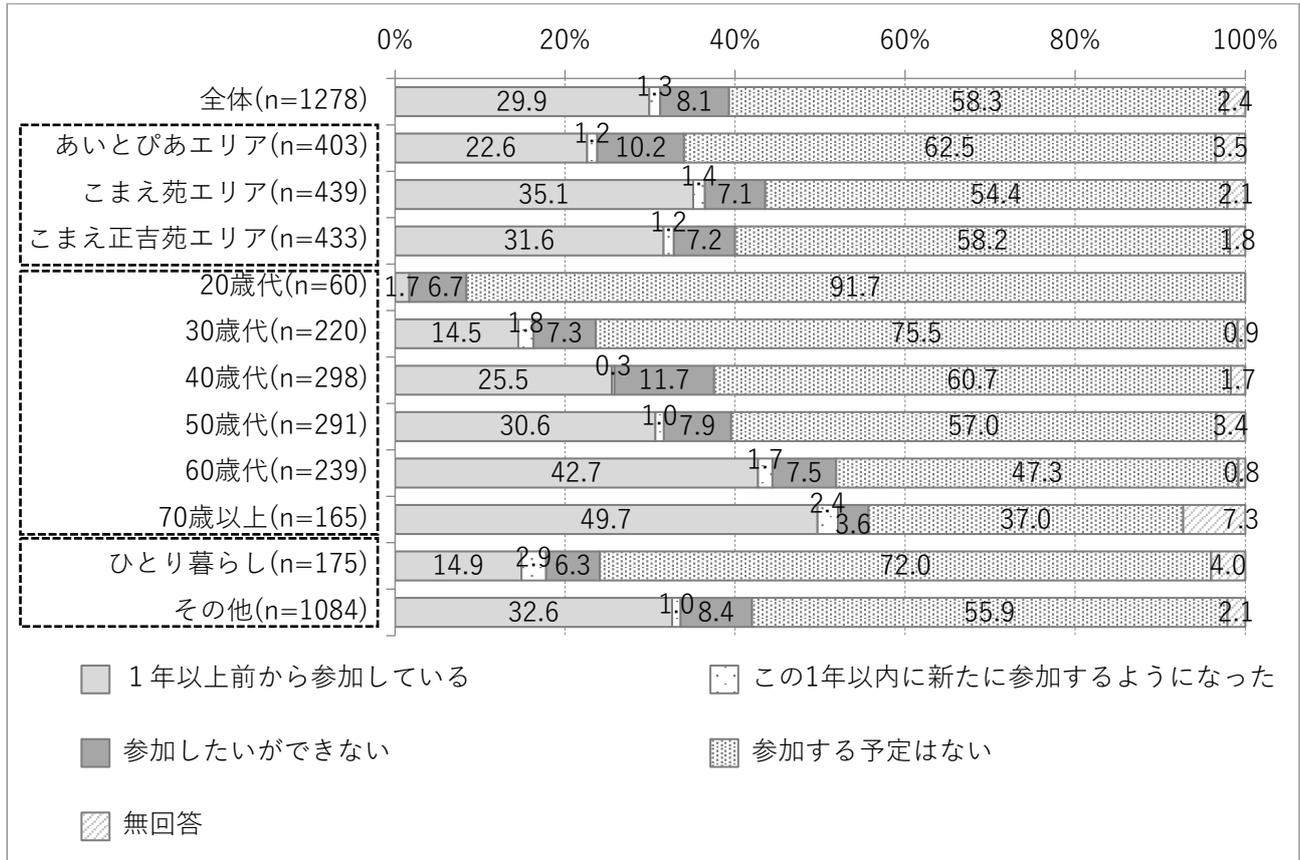
現在取り組んでいる活動については、「参加する予定はない」を除くと、「① 町会・自治会と⑦ 同じ学校出身者の会やグループ」の「1年以上前から参加している」が29.9%と最も多くなっています。



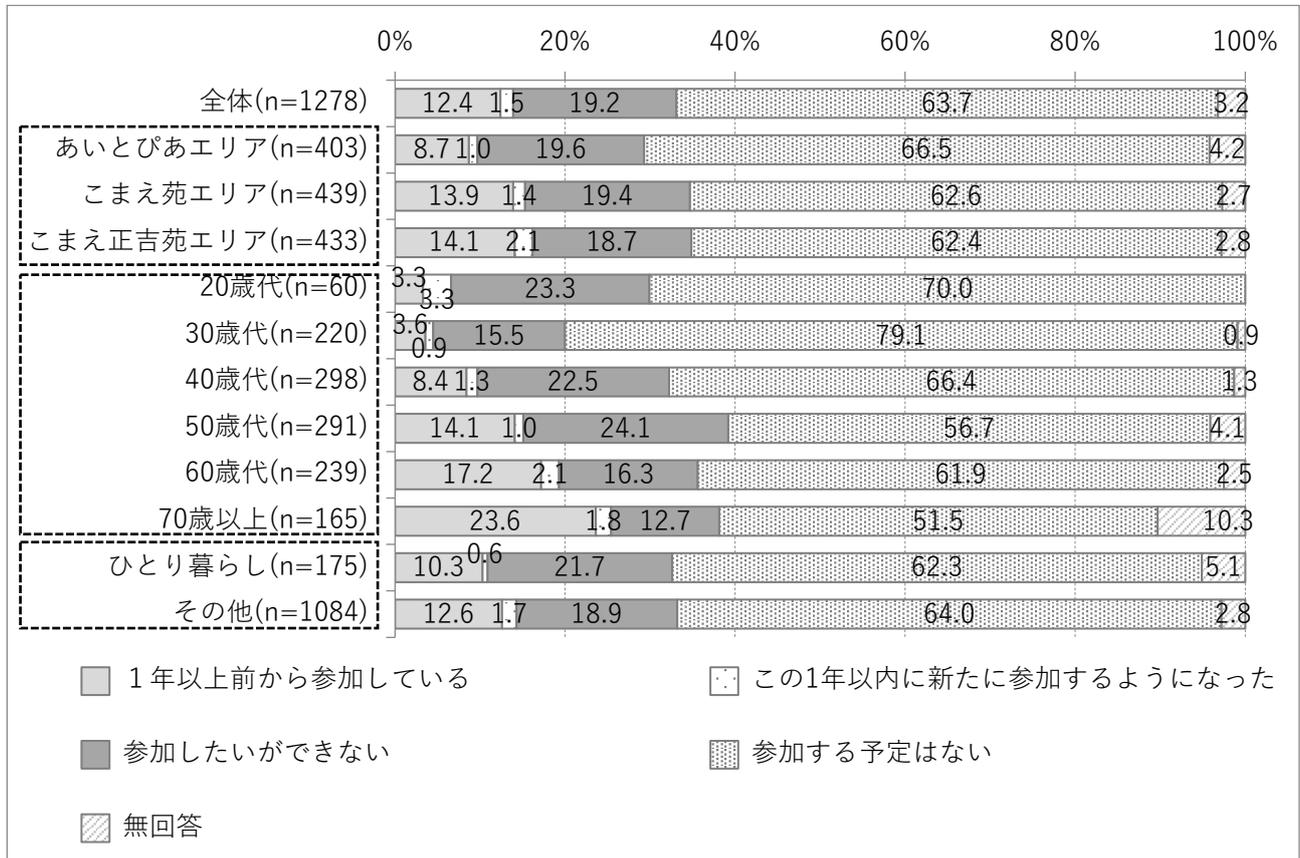
地域活動・ボランティア活動等に参加する予定はない (無回答を含む) 割合 (単位: 人、%)

	人数	① 町会・自治会	② ボランティアやNPO	③ 宗教団体 (檀家や氏子を含む)	④ PTAや保護者会	⑤ 趣味の会やスポーツクラブ	⑥ 職場内の会やグループ	⑦ 同じ学校出身者の会やグループ	⑧ 地域のサロンや居場所
全体	1278	60.7	66.9	87.8	77.7	47.6	74.0	58.9	79.5
あいとびエリア	403	66.0	70.7	87.1	79.7	47.7	73.7	59.8	79.4
こまえ苑エリア	439	56.5	65.3	86.5	77.0	48.6	72.2	57.9	78.8
こまえ正吉苑エリア	433	60.0	65.2	89.8	76.7	46.6	76.2	59.3	80.4
20歳代	60	91.7	70.0	98.3	96.7	51.7	70.0	60.0	86.7
30歳代	220	76.4	80.0	94.6	68.2	58.2	68.2	68.2	79.1
40歳代	298	62.4	67.7	92.3	53.6	47.6	65.8	59.4	79.1
50歳代	291	60.4	60.8	83.2	76.3	44.0	72.5	62.9	79.4
60歳代	239	48.1	64.4	81.1	97.9	46.5	82.9	50.6	78.7
70歳以上	165	44.3	61.8	84.8	100.0	40.6	88.5	50.4	80.0
ひとり暮らし	175	76.0	67.4	90.3	98.8	48.6	80.0	68.5	83.4
その他	1084	58.0	66.8	87.4	74.0	47.2	73.1	57.4	78.8
社会的孤立該当	73	73.9	67.1	90.4	95.9	54.8	84.9	72.6	79.4
社会的孤立非該当	1199	59.7	66.8	87.7	76.5	47.0	73.2	57.8	79.4
孤独該当	60	70.0	66.6	91.7	81.7	55.0	80.0	70.0	63.4
孤独非該当	1206	59.9	66.7	87.5	77.4	46.9	73.5	58.0	80.2

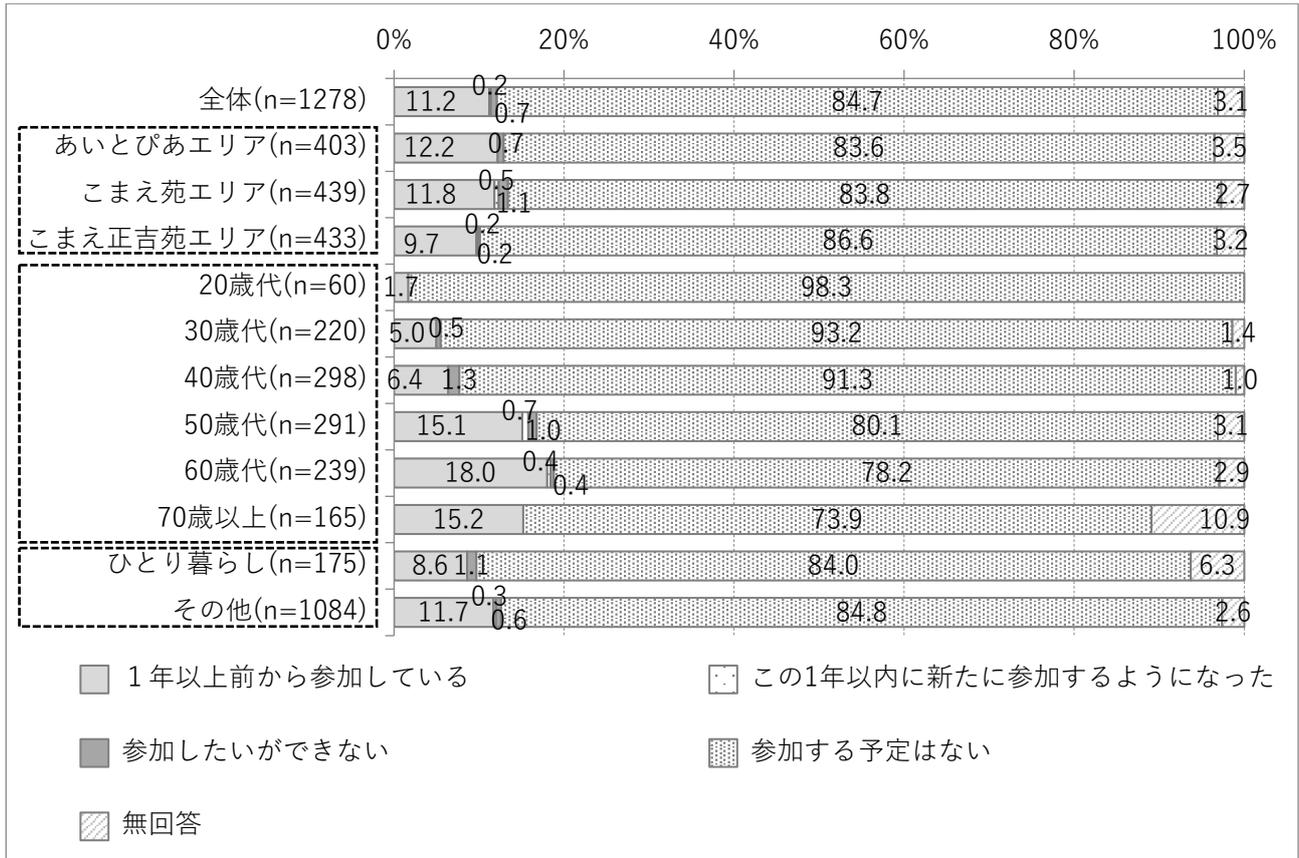
①町会・自治会



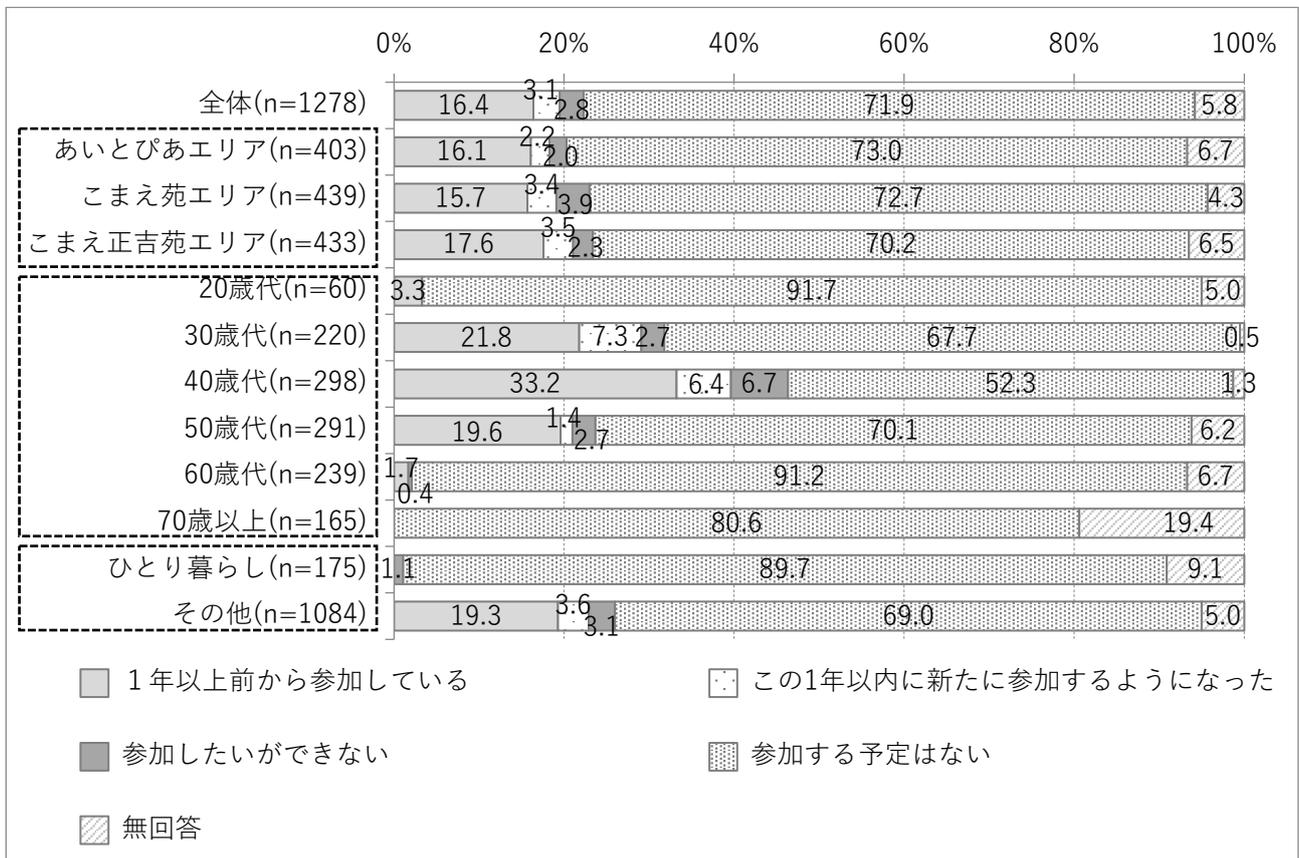
②ボランティアやNPO



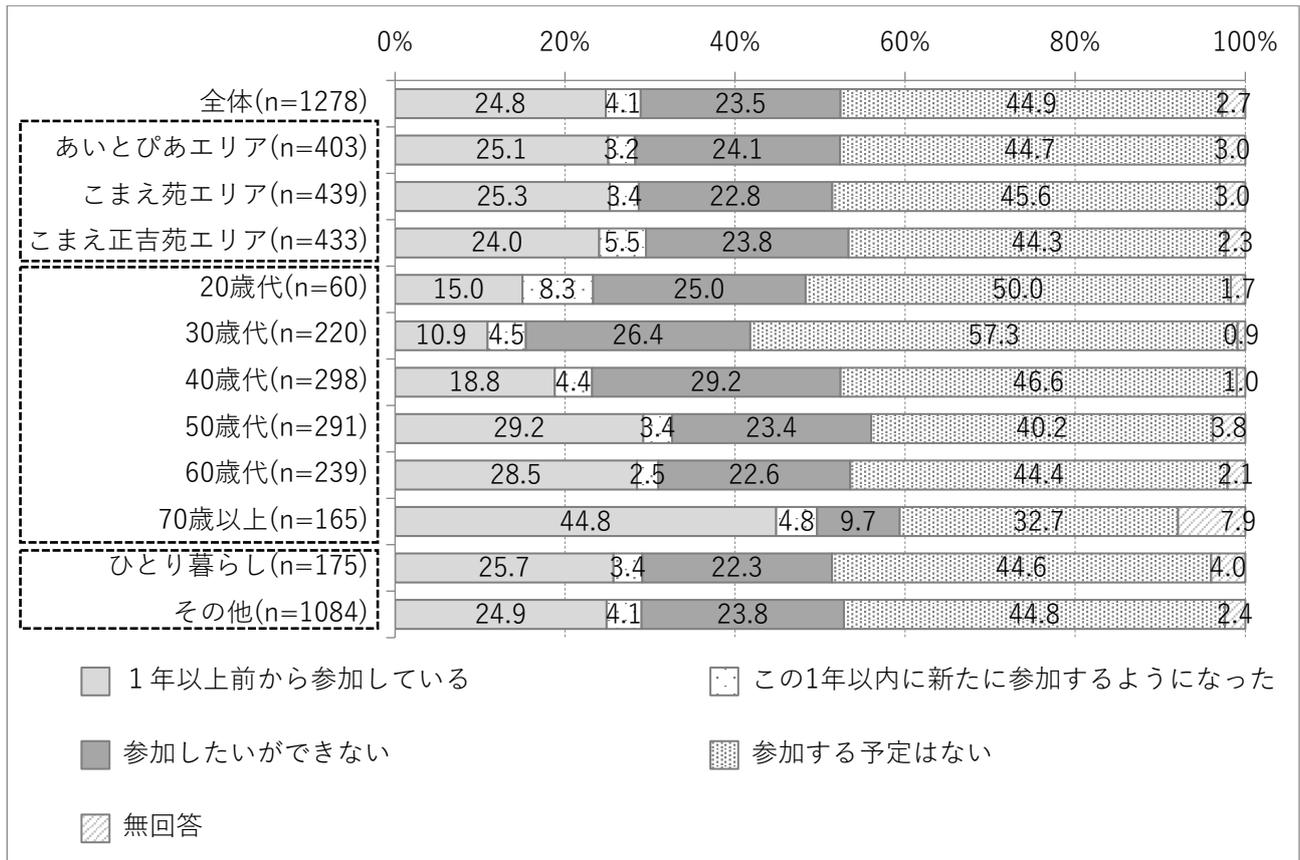
③宗教団体（檀家や氏子を含む）



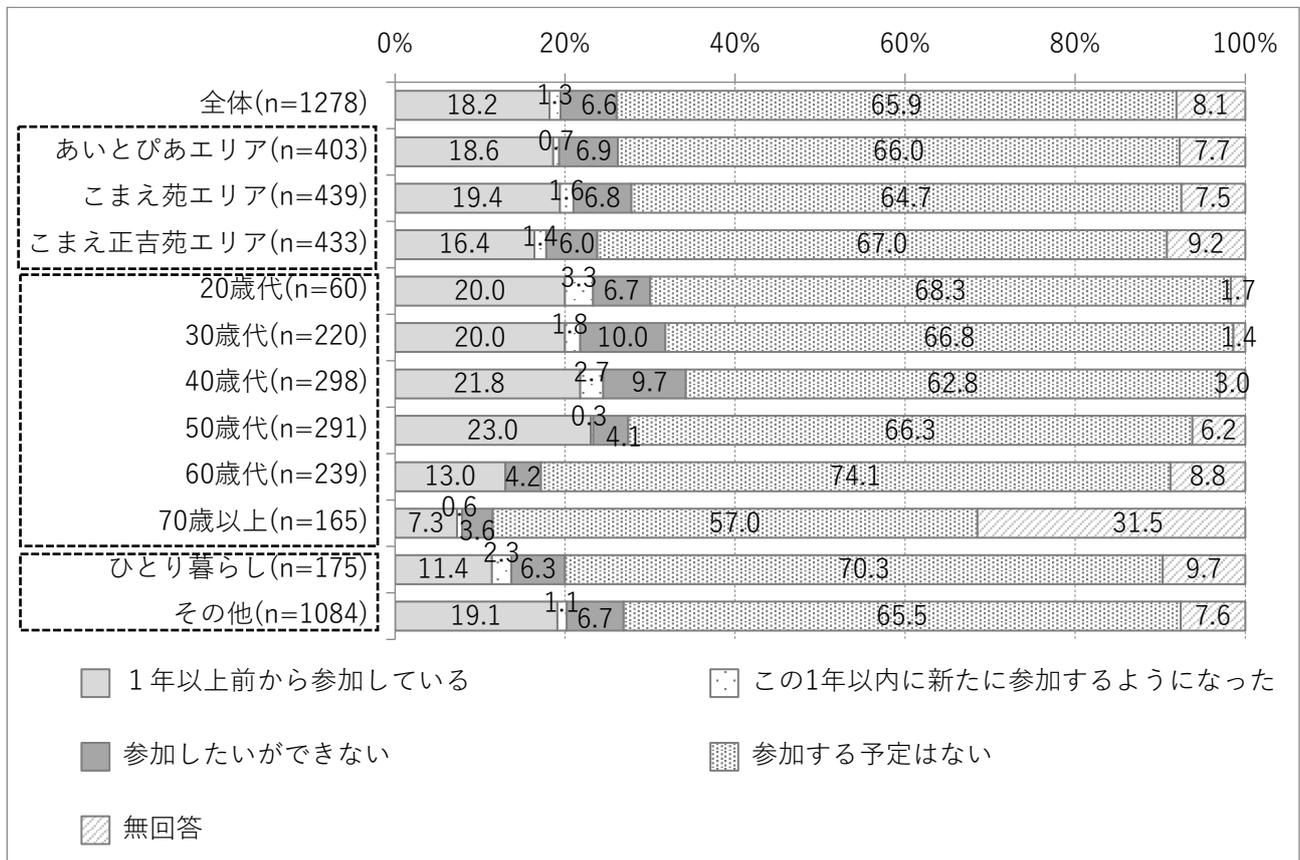
④PTAや保護者会



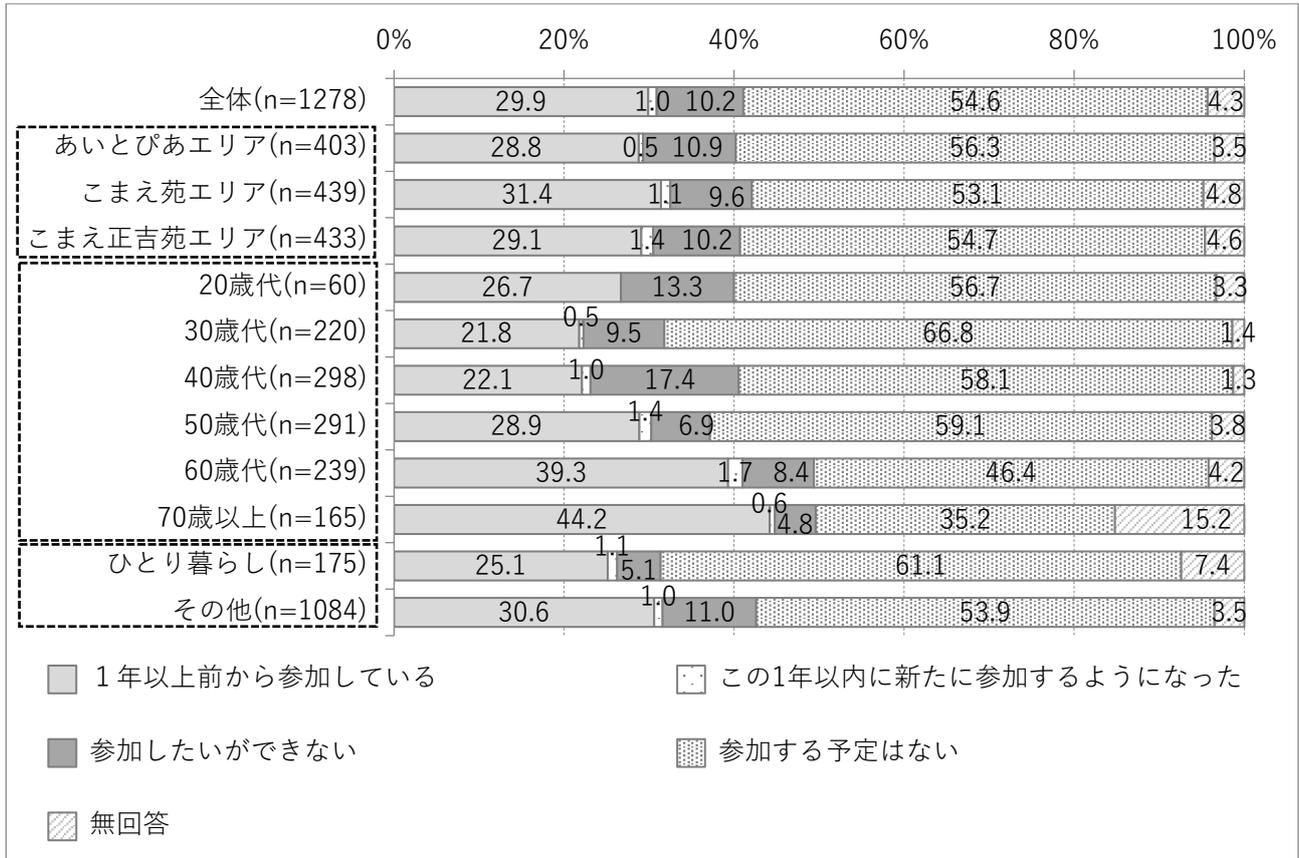
⑤ 趣味の会やスポーツクラブ



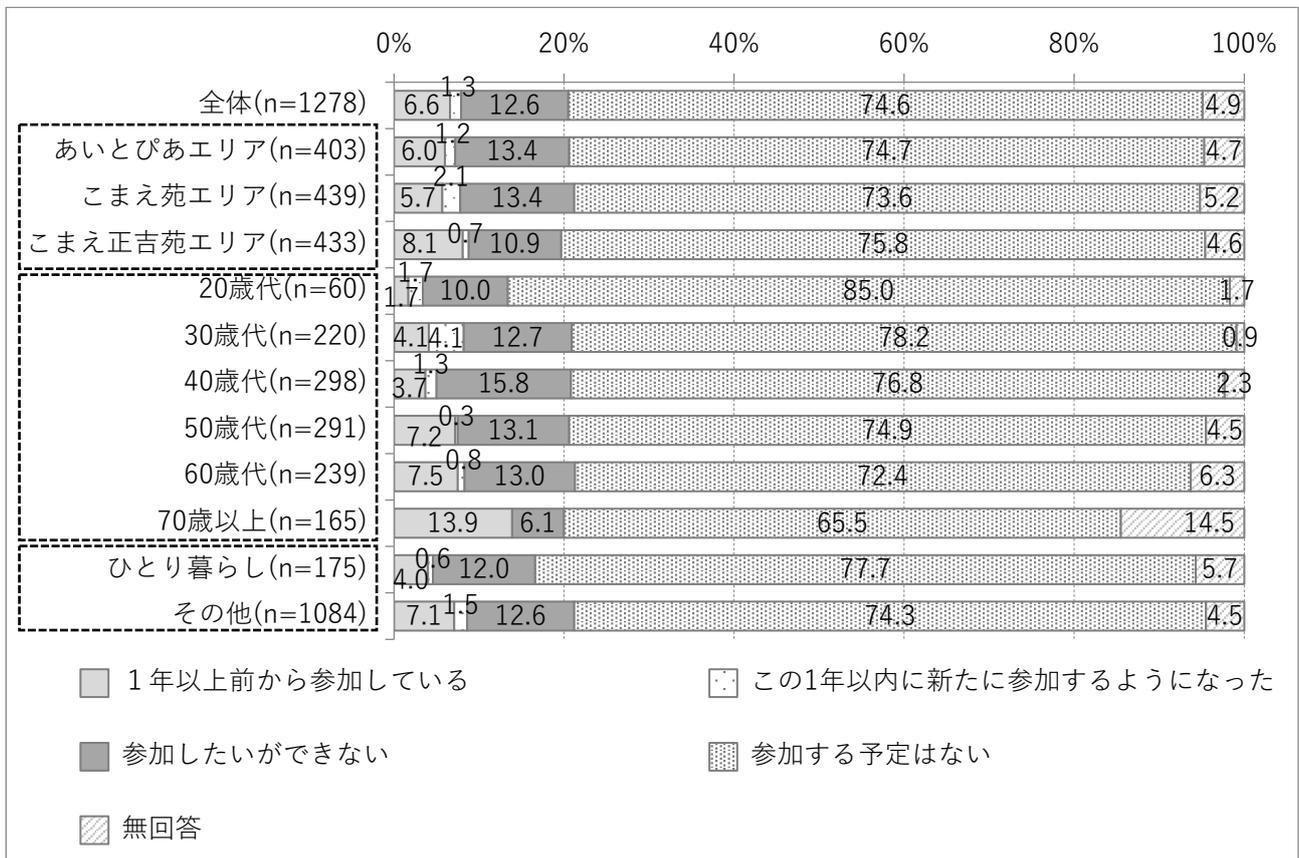
⑥ 職場内の会やグループ



⑦同じ学校出身者の会やグループ

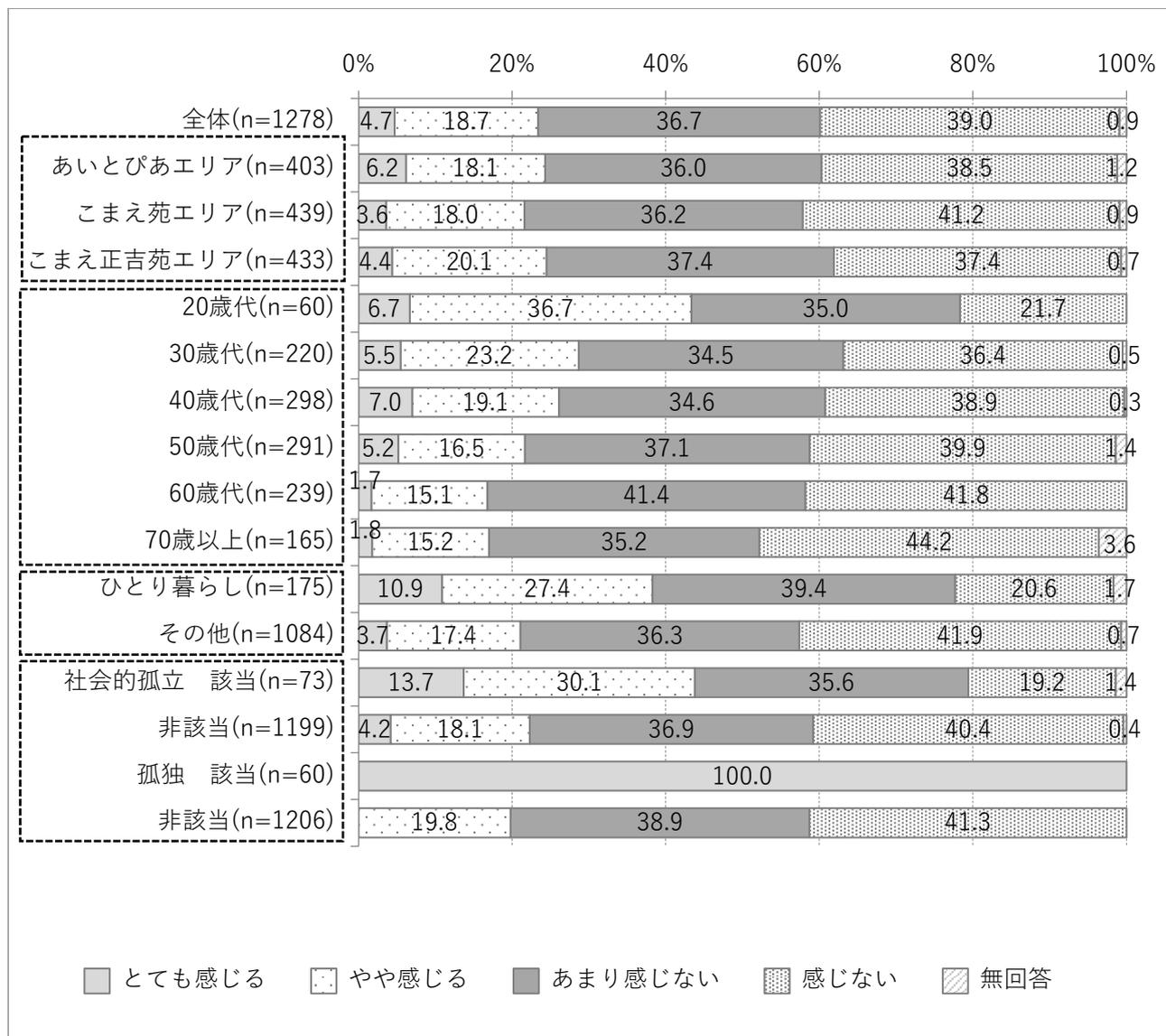


⑧地域のサロンや居場所



問 17 寂しい気持ち（孤独感）を日頃、感じますか。（○は1つ）

寂しい気持ちについては、「感じない」が39.0%で最も多く、次いで、「あまり感じない」が36.7%となっています。

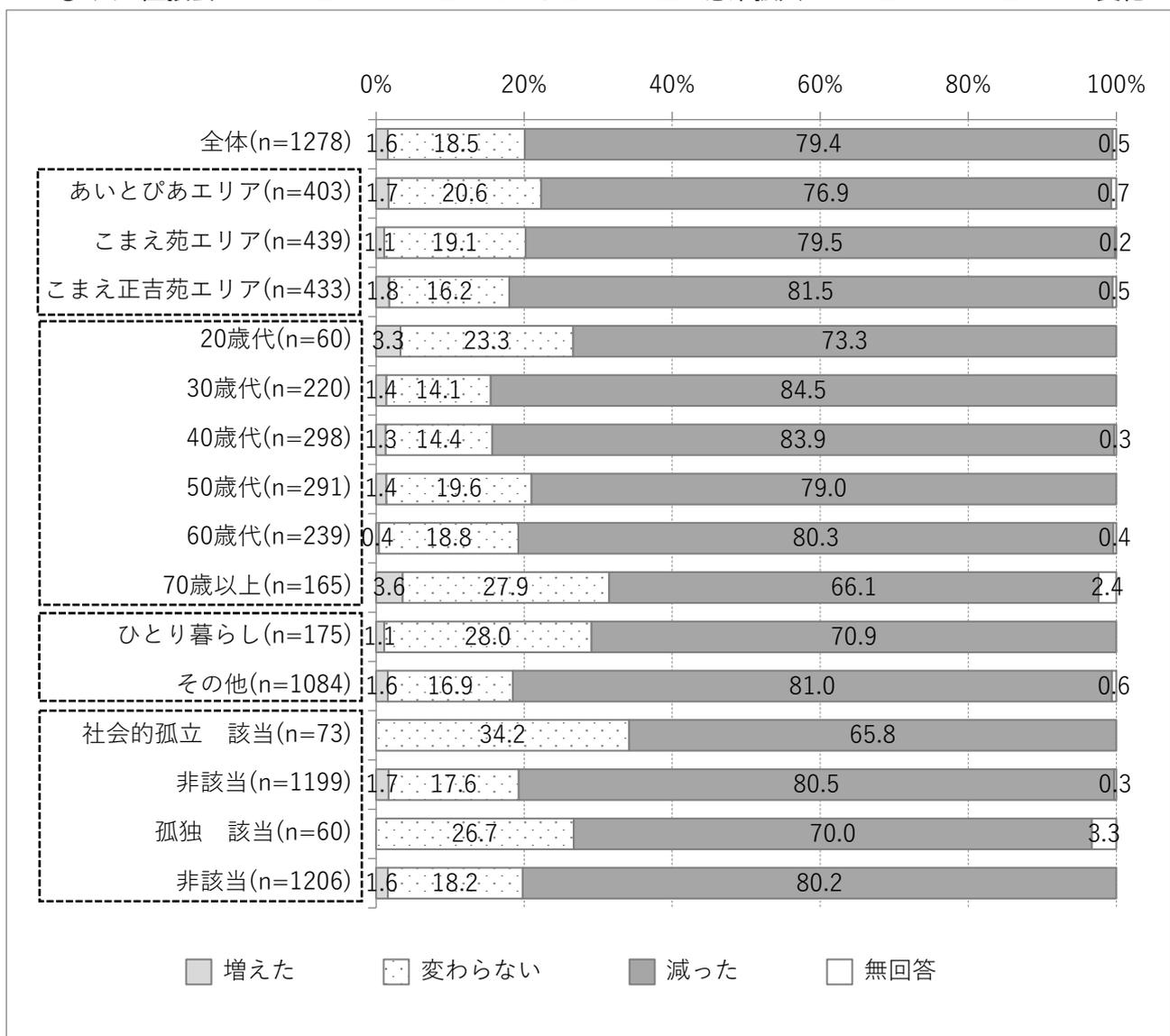


3 感染症の影響について

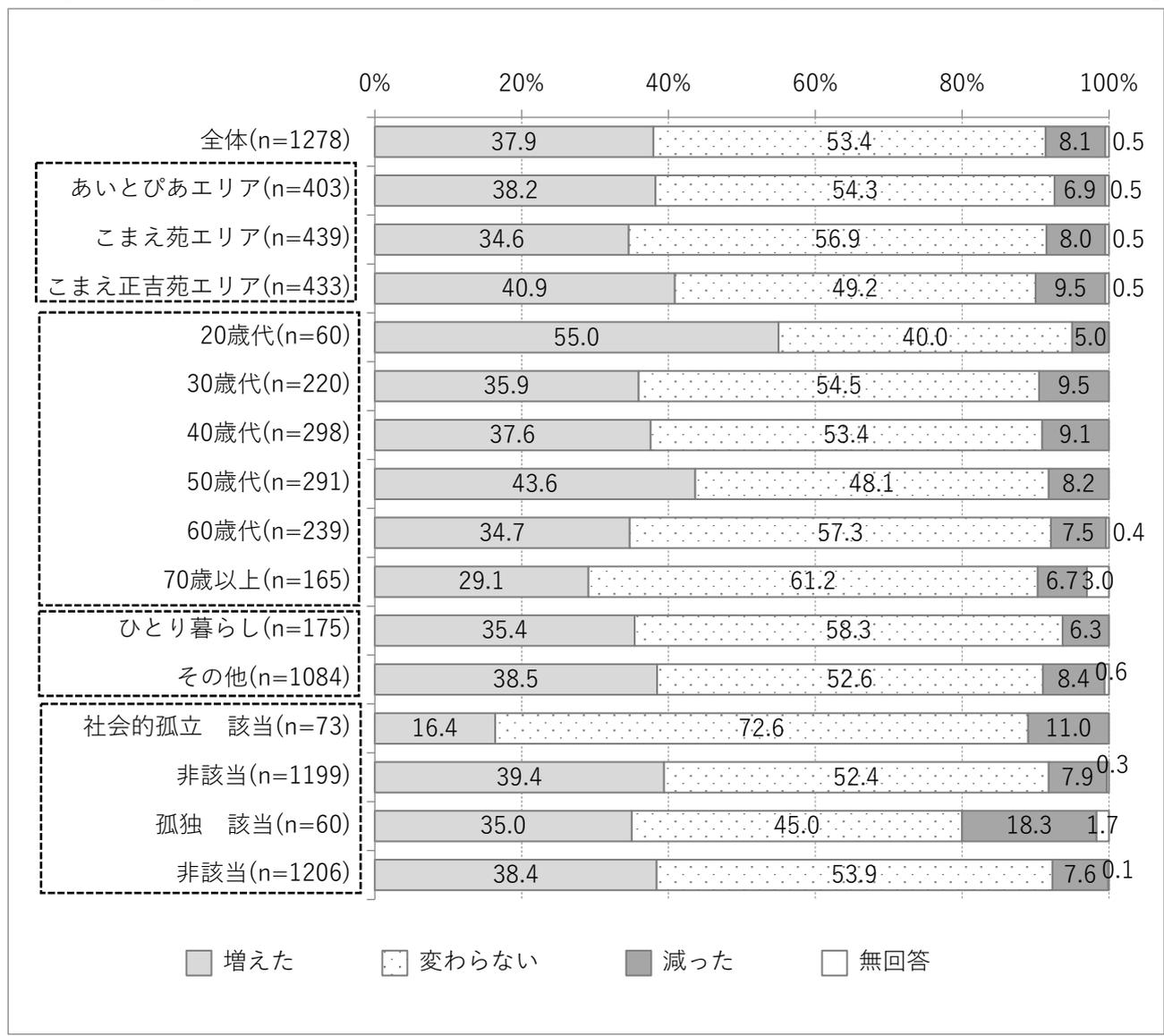
問18 新型コロナウイルス感染拡大により人とのコミュニケーションにどのような変化がありましたか。(①及び②それぞれについて、それぞれ○はひとつだけ)

直接会ってコミュニケーションをとることについては、「減った」が79.4%で最も多く、次いで、「変わらない」が18.5%となっています。また、直接会わずにコミュニケーションをとることについては、「変わらない」が53.4%で最も多く、次いで「増えた」が37.9%となっています。

① 人と直接会ってコミュニケーションをとること コロナ感染拡大のコミュニケーションへの変化

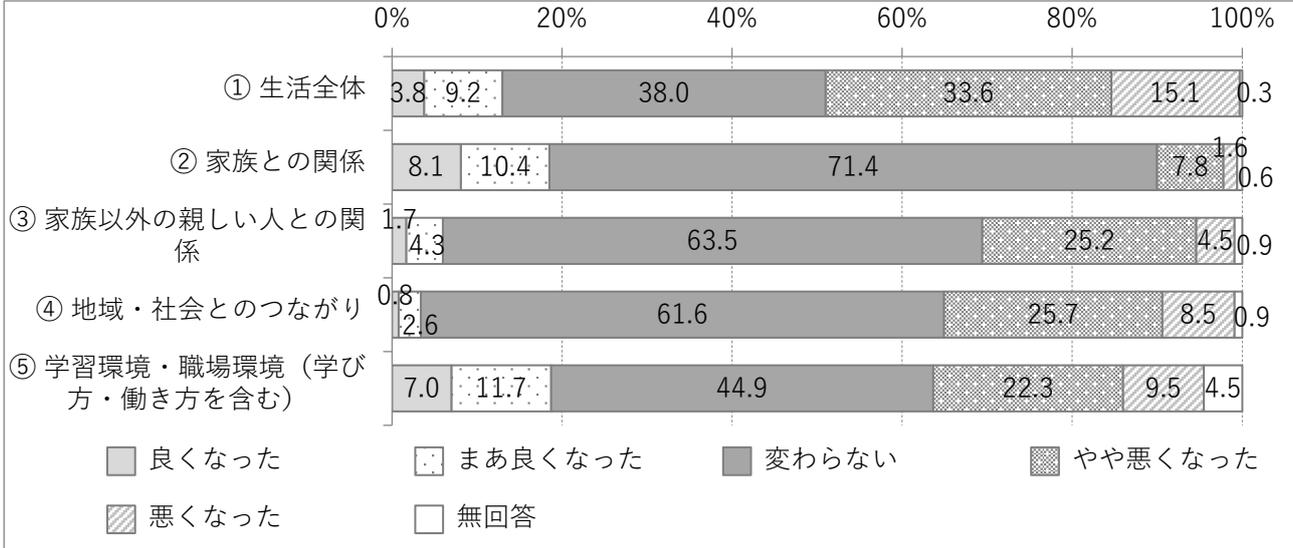


② 人と直接会わずにコミュニケーションをとること コロナ感染拡大のコミュニケーションへの変化



問 19 新型コロナウイルス感染拡大により、日常生活にどのような変化がありましたか。①～⑤について、それぞれお答えください。(①～⑤について、それぞれ〇はひとつだけ)

「①～⑤について日常生活に変化があったか」については、「②家族との関係」は「良くなった+まあ良くなった」が18.5%となっています。またそれ以外の①、③～⑤については「やや悪くなった+悪くなった」と回答した割合が多く、「①生活全体」が48.7%で最も多く、次いで「④地域・社会とのつながり」が34.2%となっています。

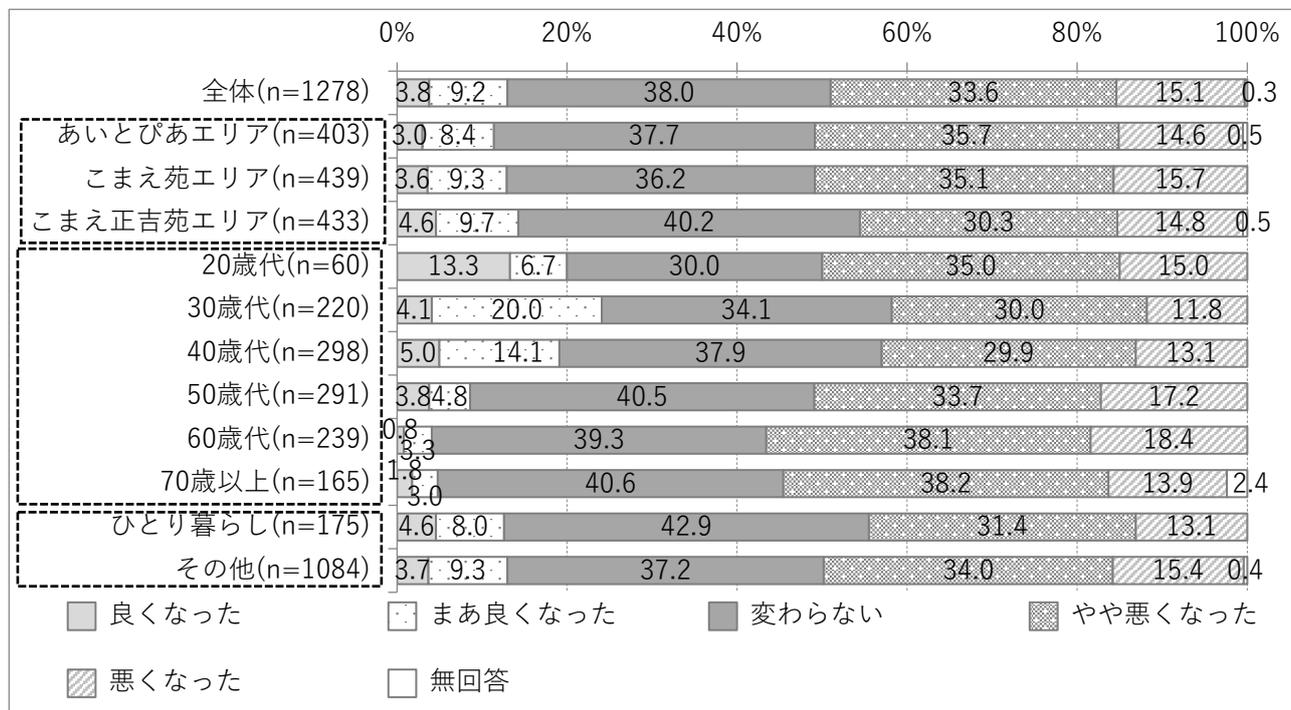


感染症拡大で日常生活が「悪くなった/やや悪くなった」割合 (単位：人、%)

	人数	①生活全体	②家族との関係	③家族以外の親しい人との関係	④地域・社会とのつながり	⑤学習環境・職場環境
全体	1278	48.7	9.4	29.7	34.2	31.8
あいとぴあエリア	403	50.3	10.4	29.1	34.0	34.0
こまえ苑エリア	439	50.8	8.0	28.7	33.8	31.7
こまえ正吉苑エリア	433	45.1	10.1	31.4	34.5	29.5
20歳代	60	50.0	3.3	15.0	38.3	33.4
30歳代	220	41.8	12.3	32.3	36.9	28.2
40歳代	298	43.0	9.0	31.5	34.2	36.6
50歳代	291	50.9	8.2	26.1	32.0	36.4
60歳代	239	56.5	11.7	34.8	36.4	33.0
70歳以上	165	52.1	6.7	26.6	28.5	15.1
ひとり暮らし	175	44.5	9.2	22.3	25.2	28.5
その他	1084	49.4	9.5	31.3	35.9	32.2
社会的孤立該当	73	49.3	13.7	26.0	26.0	30.2
社会的孤立非該当	1199	48.9	9.2	30.0	34.8	32.0
孤独該当	60	68.3	26.6	43.4	55.0	46.6
孤独非該当	1206	48.0	8.7	29.2	33.4	31.3

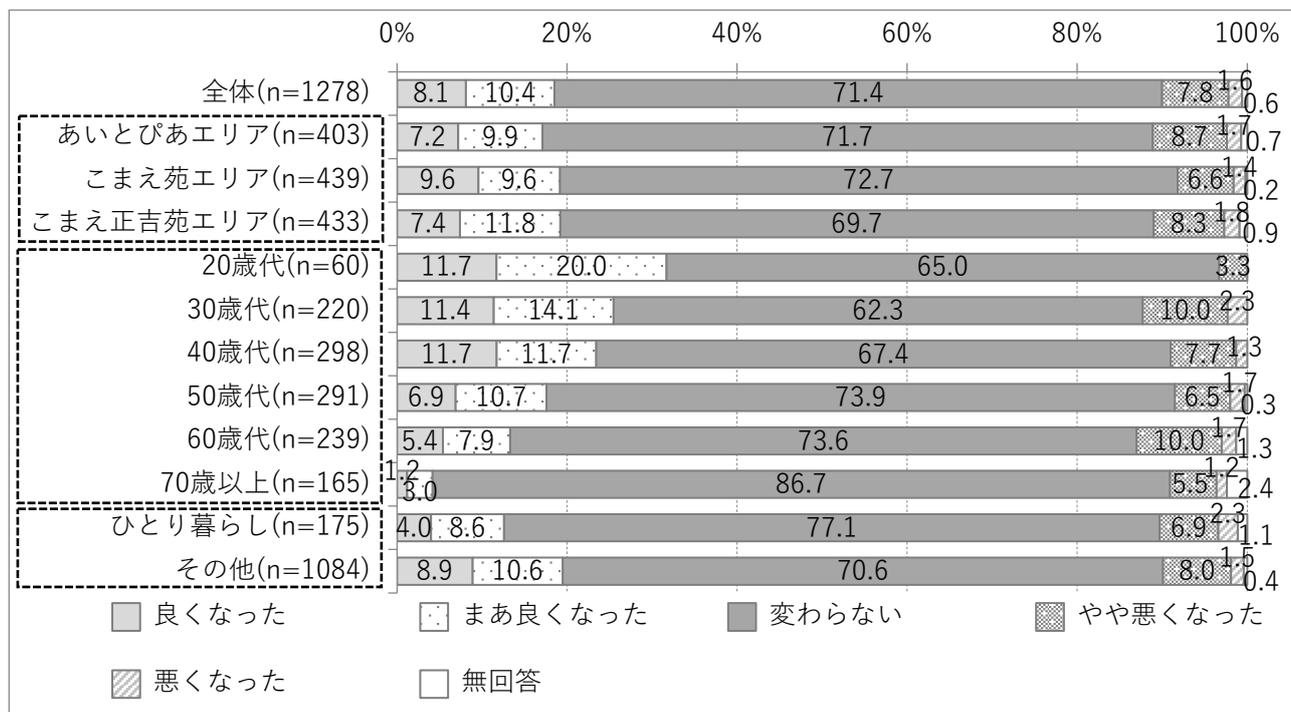
「①生活全体の日常生活」の変化については、「変わらない」が38.0%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が33.6%となっています。

① 生活全体 コロナ感染拡大の日常生活への変化



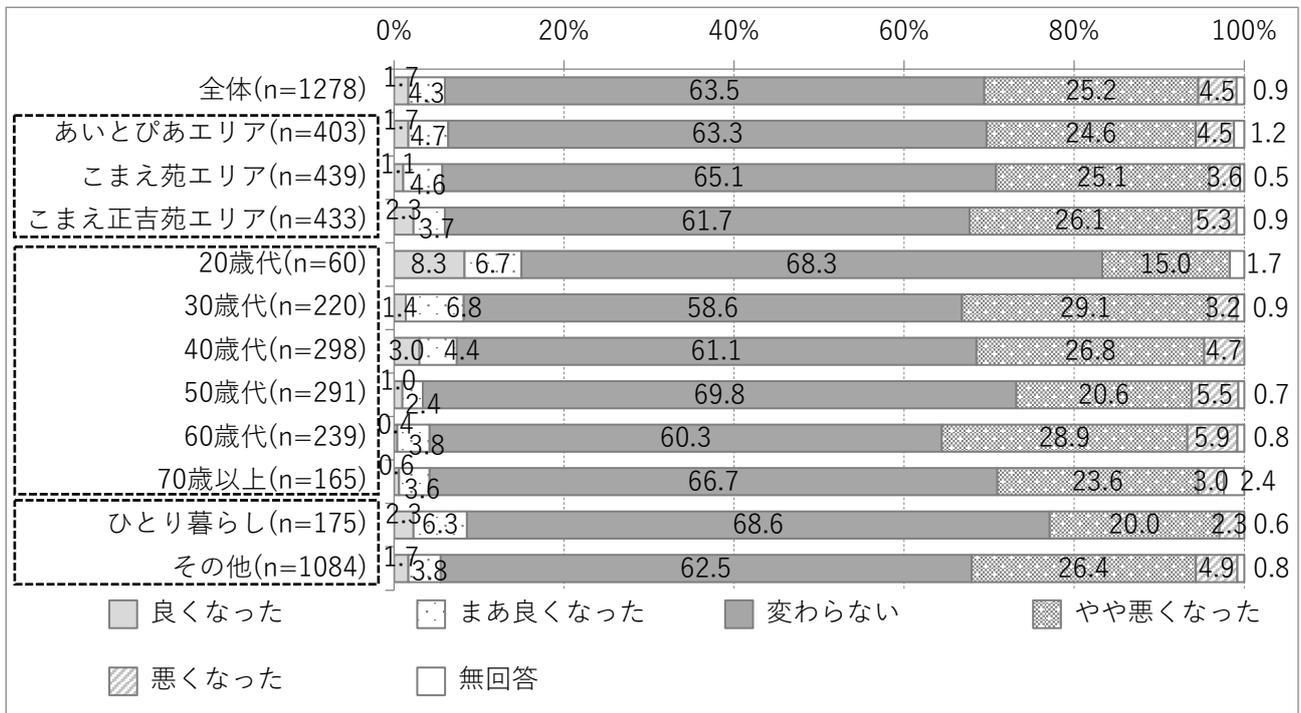
「②家族との関係の日常生活」の変化については、「変わらない」が71.4%で最も多く、次いで、「まあ良くなった」が10.4%となっています。

② 家族との関係 コロナ感染拡大の日常生活への変化



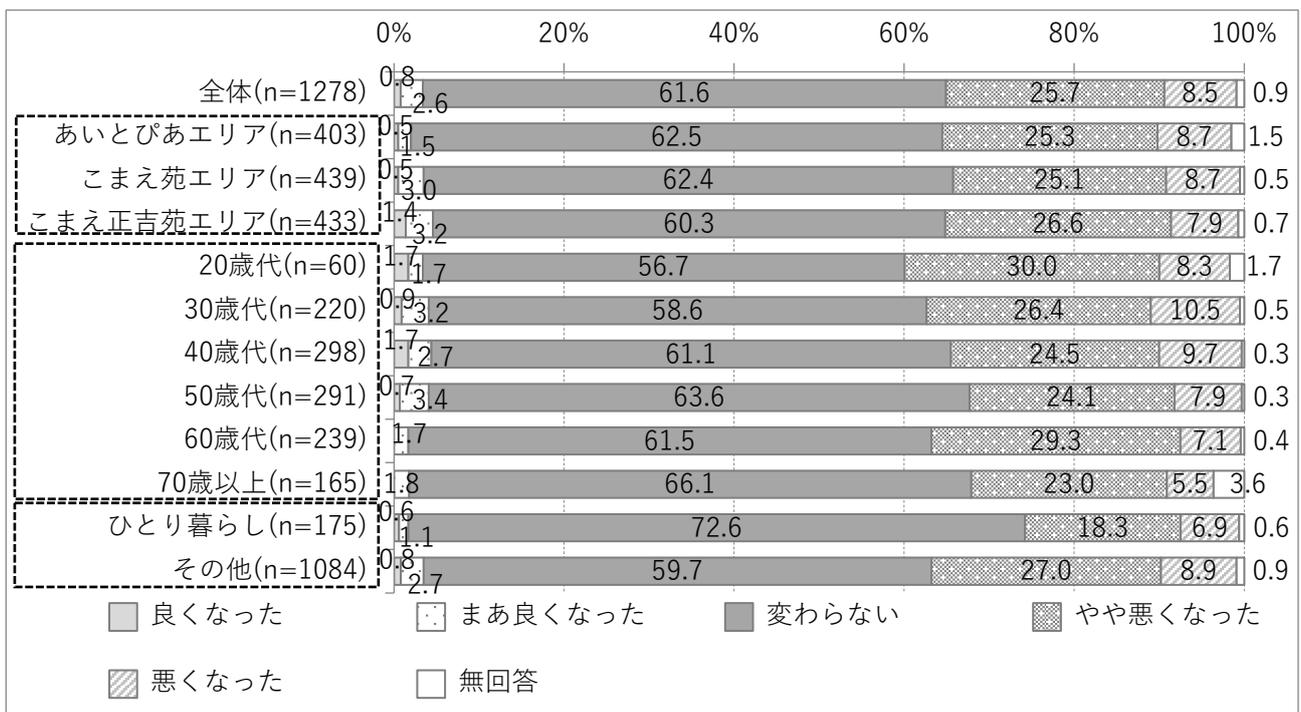
「③家族以外の親しい人との関係の日常生活」の変化については、「変わらない」が63.5%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が25.2%となっています。

③ 家族以外の親しい人との関係 コロナ感染拡大の日常生活への変化



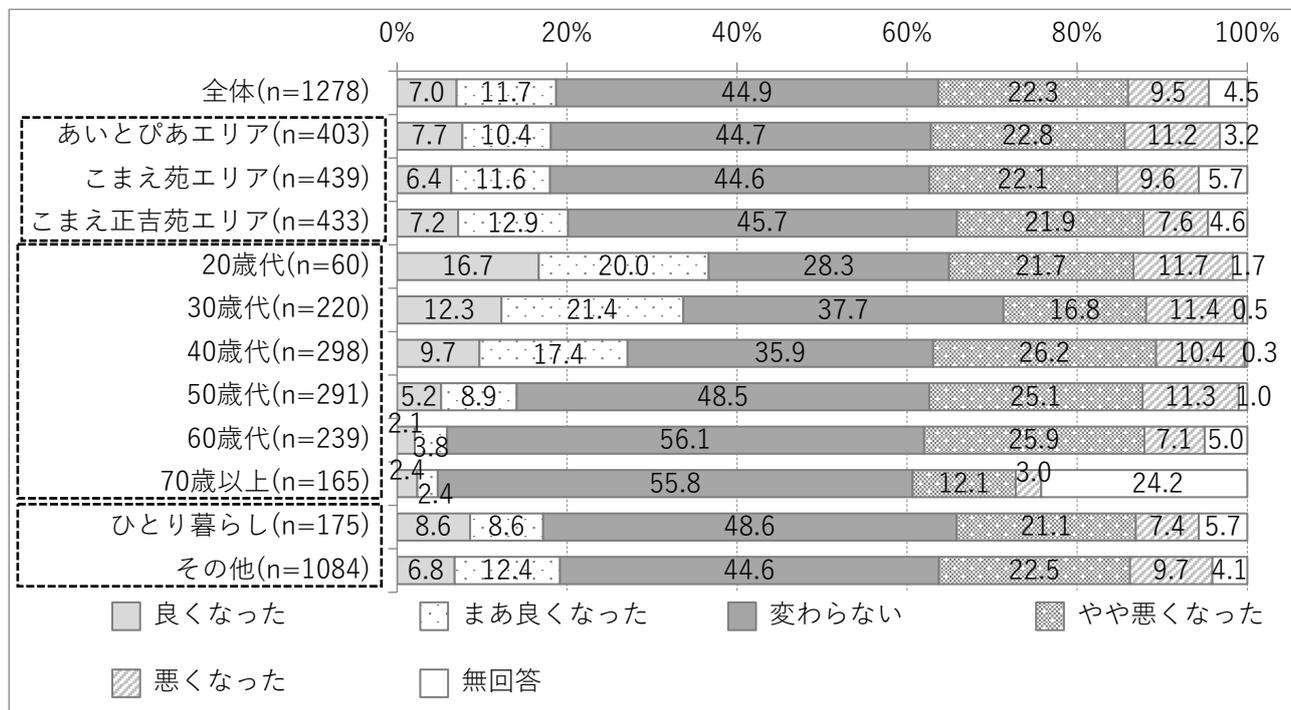
「④地域・社会とのつながりに関しての日常生活」の変化については、「変わらない」が61.6%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が25.7%となっています。

④ 地域・社会とのつながり コロナ感染拡大の日常生活への変化



「⑤ 学習環境・職場環境（学び方・働き方を含む）の日常生活」の変化については、「変わらない」が44.9%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が22.3%となっています。

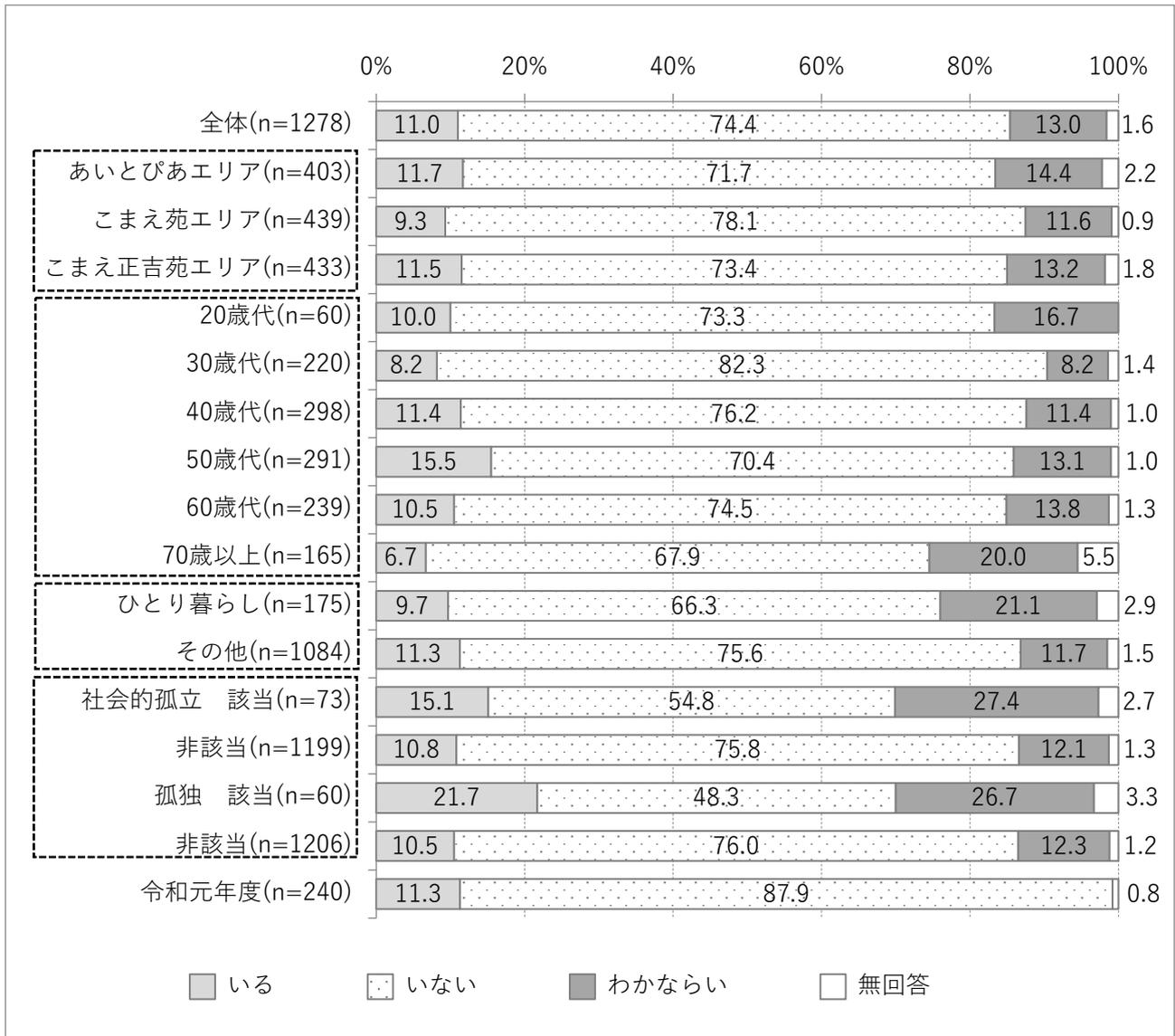
⑤ 学習環境・職場環境（学び方・働き方を含む） コロナ感染拡大の日常生活への変化



4 外出（ひきこもり）の状況について

問 20 あなたやあなたの周りの方に「ひきこもり」の状態にある方はいますか。(○は1つ)

周りの方に「ひきこもり」の状態にある方がいるかについては、「いない」が74.4%、「わからない」が13.0%となっています。

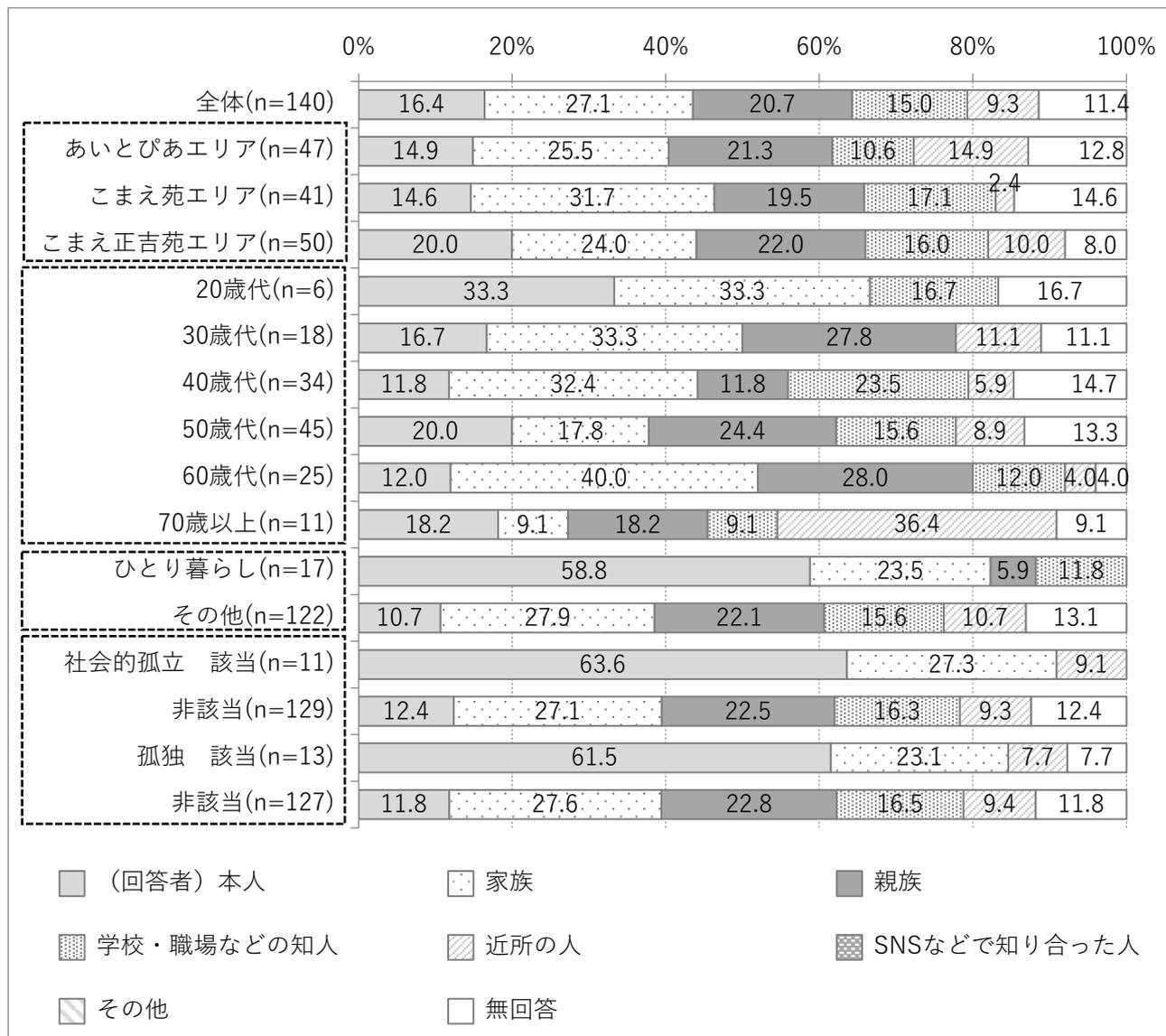


※令和元年度調査では、「わからない」の選択肢はない。

問 21 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

「ひきこもり」の状態にある方とあなたの関係を教えてください。（○は1つ）

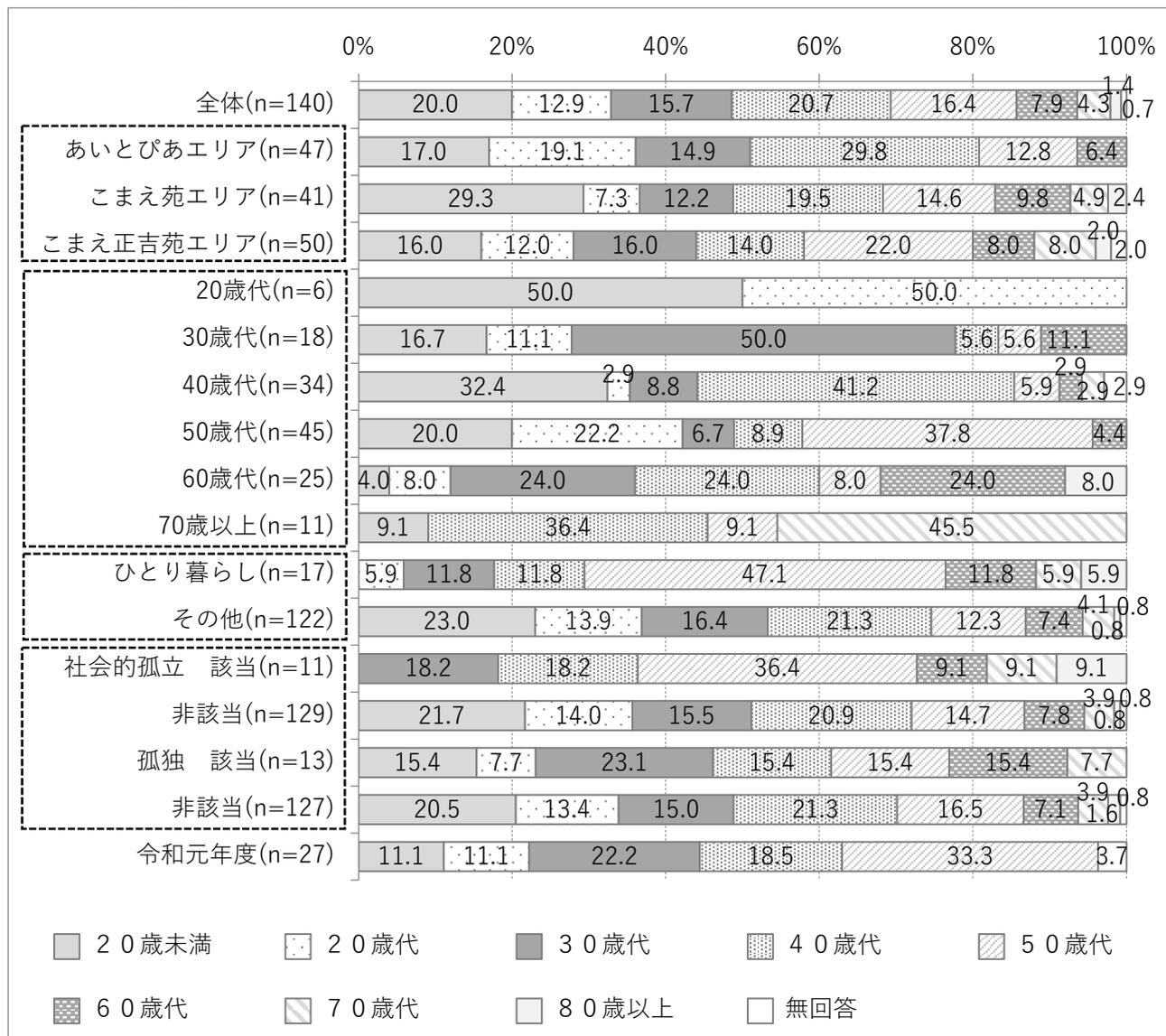
「ひきこもり」の状態にある方との関係については、「家族」が 27.1%で最も多く、次いで、「親族」が 20.7%となっています。



問 22 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

「ひきこもり」の状態にある方の年齢は次のどれですか。(〇は1つ)

「ひきこもり」の状態にある方の年齢については、「40 歳代」が 20.7%で最も多く、次いで、「20 歳未満」が 20.0%となっています。

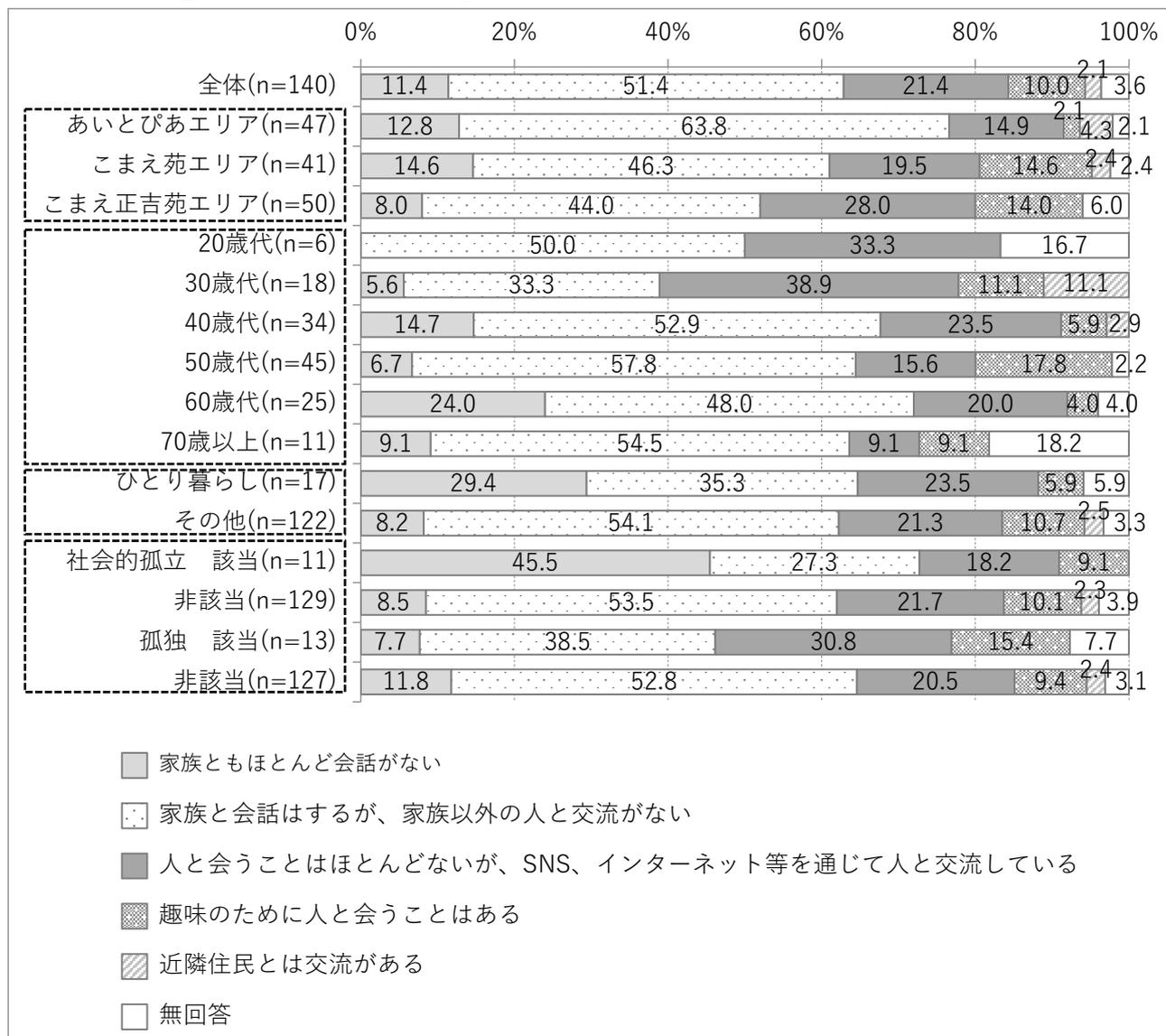


※令和元年度調査では、「50 歳以上」の選択肢となっていた。

問 23 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

その方の交流の状況について、お答えください。（○は1つ）

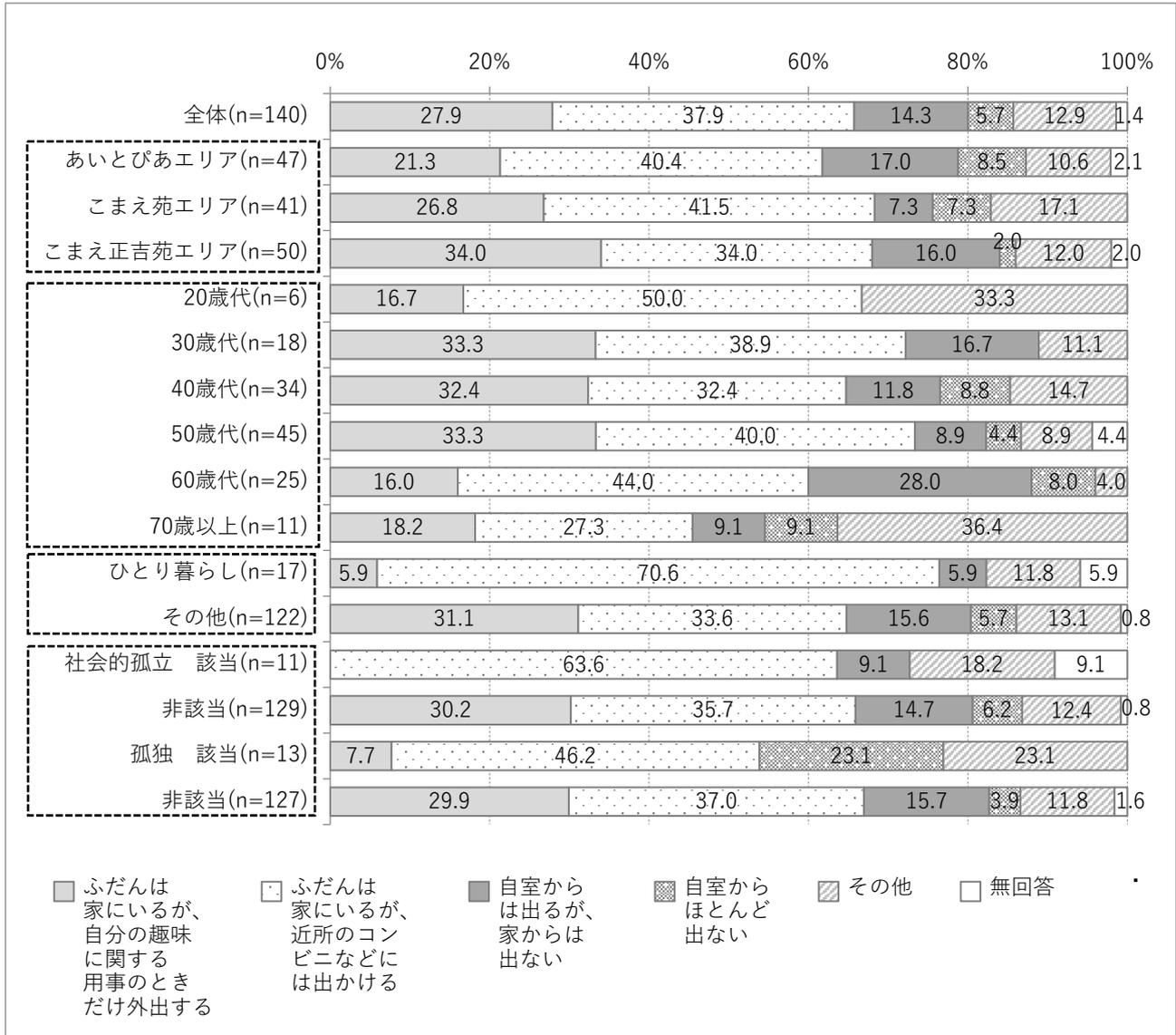
「ひきこもり」の状態にある方の交流の状態については、「家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない」が 51.4% で最も多く、次いで、「人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している」が 21.4% となっています。



問 24 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

その方はふだんどれくらい外出しますか(新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛を除く)。
(○は1つ)

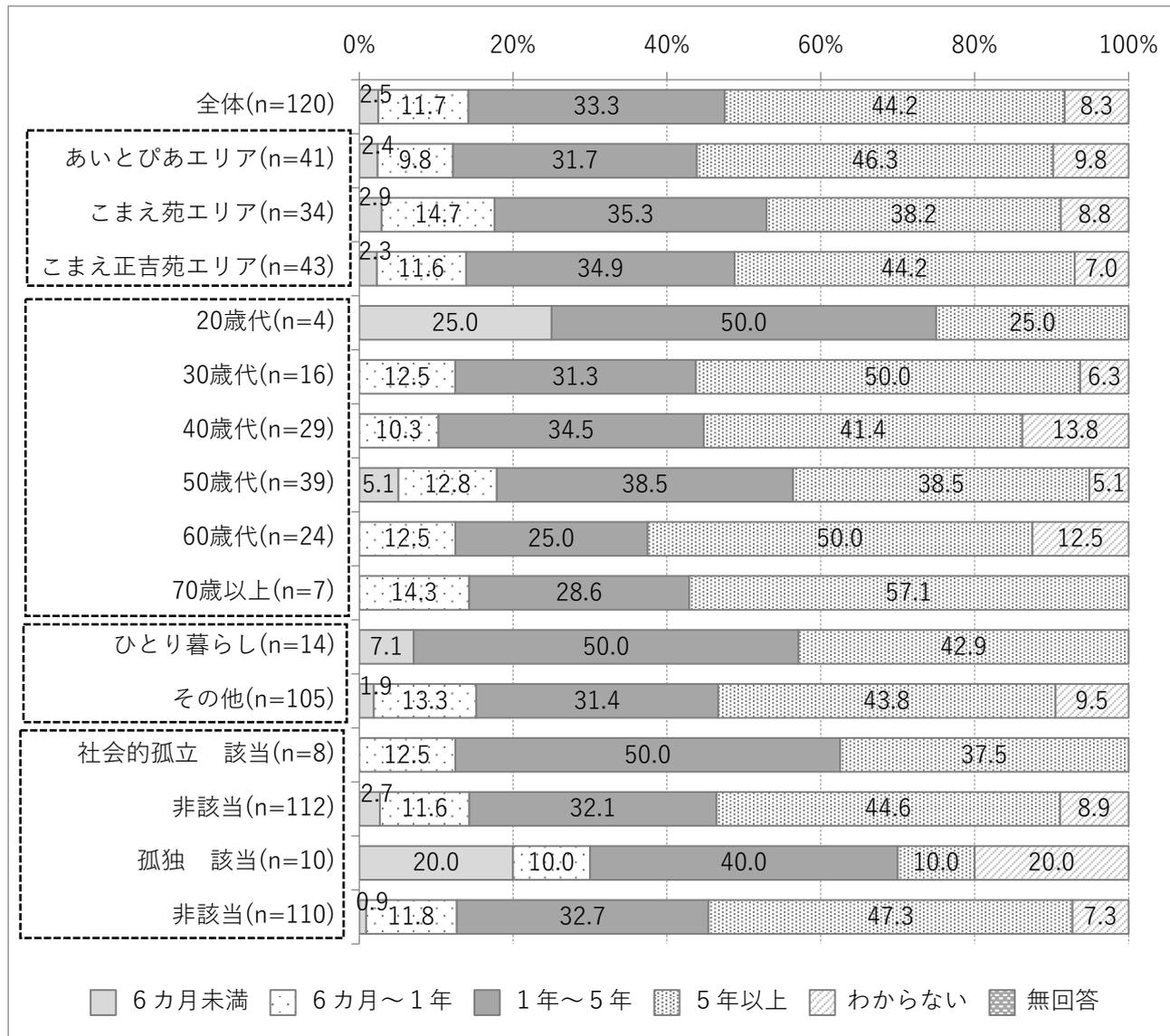
どれくらい外出しているかについては、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 37.9%で最も多く、次いで、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」が 27.9%となっています。



問 25 【問 24 で「その他」以外に○をつけた方のみにお伺いします】

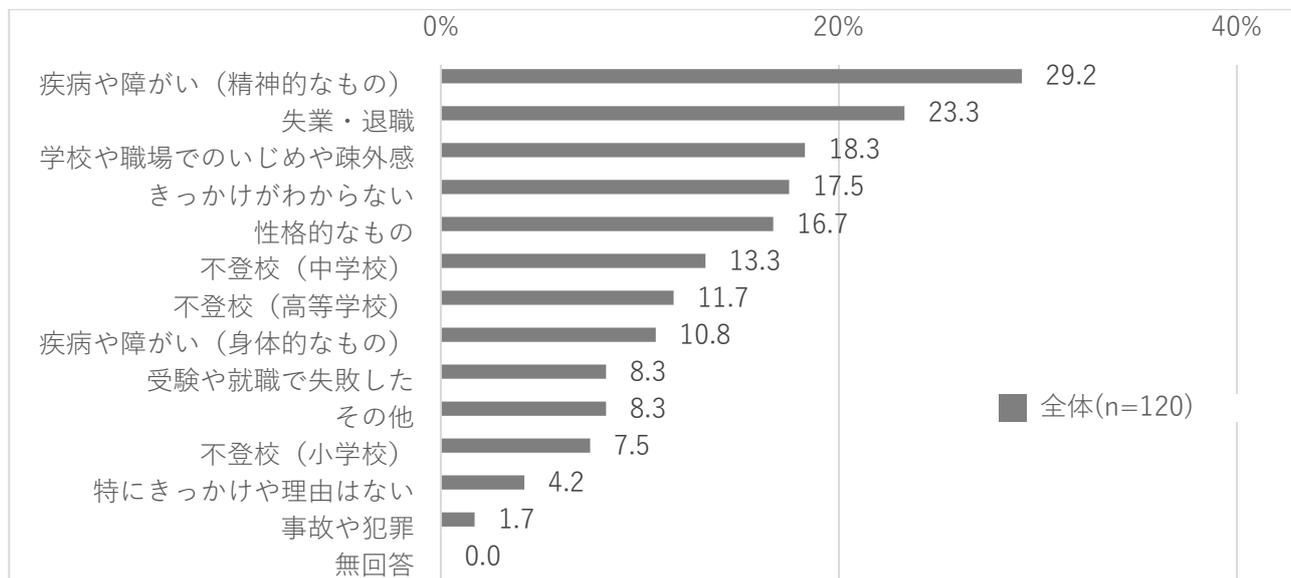
その方がその状態になってどのくらい続いていますか。（○は1つ）

その状態については、「5年以上」が44.2%で最も多く、次いで、「1年～5年」が33.3%となっています。



問 26 その方がその状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

その状態になったきっかけについては、「疾病や障がい(精神的なもの)」が 29.2%で最も多く、次いで、「失業・退職」が 23.3%となっています。



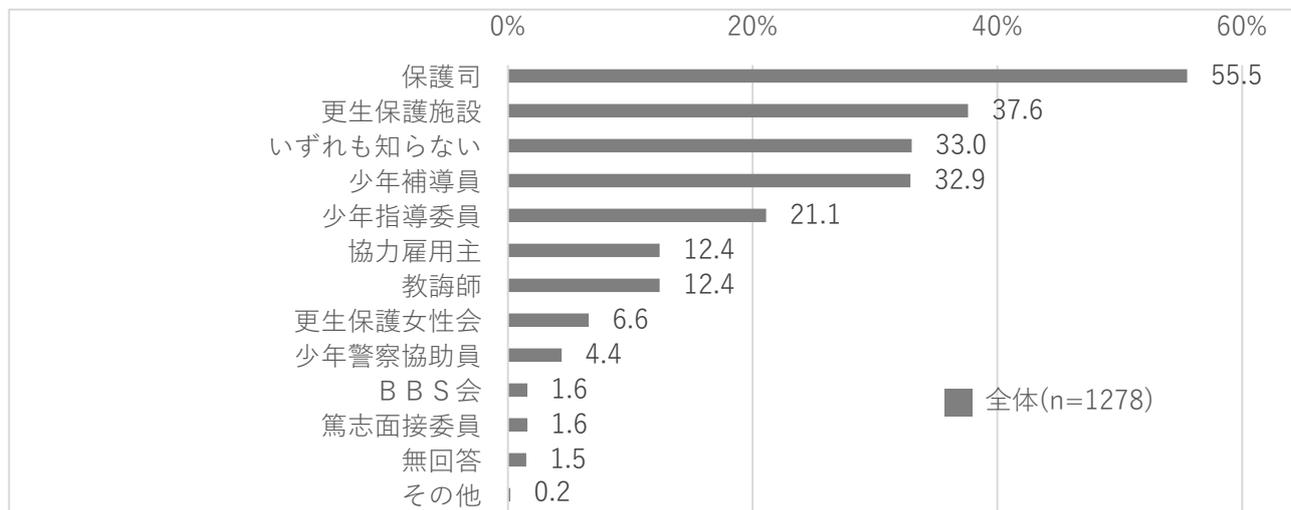
(単位：人、%)

区分	人数	疾病や障がい(精神的なもの)	疾病や障がい(身体的なもの)	失業・退職	受験や就職で失敗した	学校や職場でのいじめや疎外感	不登校(小学校)	不登校(中学校)	不登校(高等学校)	性格的なもの	事故や犯罪	特にきっかけや理由はない	きっかけがわからない	その他	無回答
全体	120	29.2	10.8	23.3	8.3	18.3	7.5	13.3	11.7	16.7	1.7	4.2	17.5	8.3	0.0
あいとぴあエリア	41	24.4	9.8	29.3	9.8	26.8	7.3	19.5	12.2	14.6	0.0	2.4	29.3	4.9	0.0
こまえ苑エリア	34	29.4	8.8	8.8	5.9	14.7	8.8	17.6	8.8	17.6	0.0	5.9	5.9	8.8	0.0
こまえ正吉苑エリア	43	34.9	14.0	30.2	9.3	11.6	7.0	2.3	11.6	18.6	4.7	4.7	16.3	11.6	0.0
20歳代	4	75.0	25.0	50.0	0.0	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	16	37.5	6.3	31.3	12.5	25.0	6.3	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3	0.0
40歳代	29	27.6	10.3	20.7	6.9	13.8	20.7	10.3	3.4	24.1	0.0	3.4	10.3	17.2	0.0
50歳代	39	30.8	12.8	17.9	12.8	15.4	5.1	15.4	20.5	12.8	2.6	5.1	17.9	2.6	0.0
60歳代	24	25.0	12.5	29.2	0.0	16.7	0.0	8.3	4.2	25.0	0.0	8.3	20.8	8.3	0.0
70歳以上	7	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0
ひとり暮らし	14	35.7	28.6	64.3	0.0	7.1	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0
その他	105	28.6	8.6	18.1	9.5	20.0	8.6	14.3	11.4	18.1	1.9	3.8	17.1	8.6	0.0
社会的孤立該当	8	50.0	12.5	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
社会的孤立非該当	112	27.7	10.7	20.5	8.9	18.8	8.0	14.3	12.5	17.9	1.8	4.5	17.9	8.0	0.0
孤独該当	10	60.0	40.0	70.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
孤独非該当	110	26.4	8.2	19.1	9.1	17.3	8.2	14.5	12.7	15.5	1.8	3.6	18.2	9.1	0.0

5 再犯防止について

問 27 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。(〇はいくつでも)

再犯防止に協力する民間協力者いる事を知っているかについては、「保護司」が 55.5%で最も多く、次いで、「更生保護施設」が 37.6%となっています。

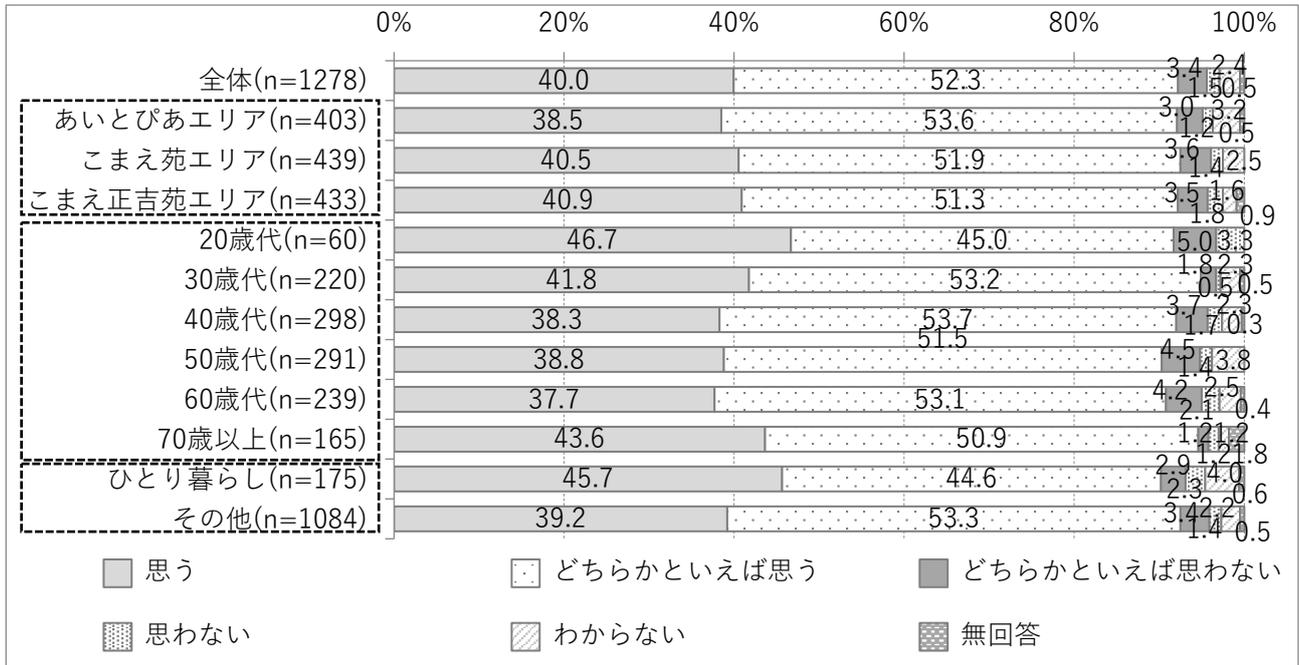


(単位：人、%)

区分	人数	保護司	更生保護女性会	協力雇用主	BBS会	更生保護施設	教誨師	篤志面接委員	少年補導員	少年指導委員	少年警察協助力員	いずれも知らない	その他	無回答
全体	1278	55.5	6.6	12.4	1.6	37.6	12.4	1.6	32.9	21.1	4.4	33.0	0.2	1.5
あいとびあエリア	403	53.8	6.0	11.4	1.2	36.2	12.7	1.0	32.0	19.9	5.0	37.0	0.0	0.7
こまえ苑エリア	439	54.2	5.2	12.3	1.1	37.1	10.9	1.6	34.6	20.5	2.5	33.3	0.0	1.1
こまえ正吉苑エリア	433	58.2	8.5	13.6	2.3	39.0	13.6	2.1	31.9	22.9	5.8	29.1	0.5	2.5
20歳代	60	30.0	6.7	10.0	5.0	26.7	5.0	0.0	26.7	21.7	6.7	50.0	0.0	1.7
30歳代	220	38.2	5.5	11.8	1.8	31.4	9.1	0.9	25.5	17.7	0.9	46.8	0.0	2.3
40歳代	298	47.3	5.0	13.4	1.7	36.6	10.4	1.3	30.9	20.8	4.7	37.9	0.3	0.7
50歳代	291	62.2	7.2	11.7	1.4	43.3	15.5	3.1	38.1	23.4	6.5	26.8	0.3	1.0
60歳代	239	71.1	7.9	12.6	0.8	42.3	15.1	1.3	38.1	21.8	4.6	24.3	0.0	0.4
70歳以上	165	68.5	7.9	13.9	1.2	35.2	13.9	1.2	32.7	21.2	3.6	22.4	0.0	4.2
ひとり暮らし	175	57.7	9.1	15.4	1.1	41.1	16.6	1.7	36.0	25.1	7.4	33.1	0.0	1.7
その他	1084	54.7	6.1	12.0	1.7	36.9	11.7	1.5	32.6	20.6	4.0	33.2	0.2	1.5

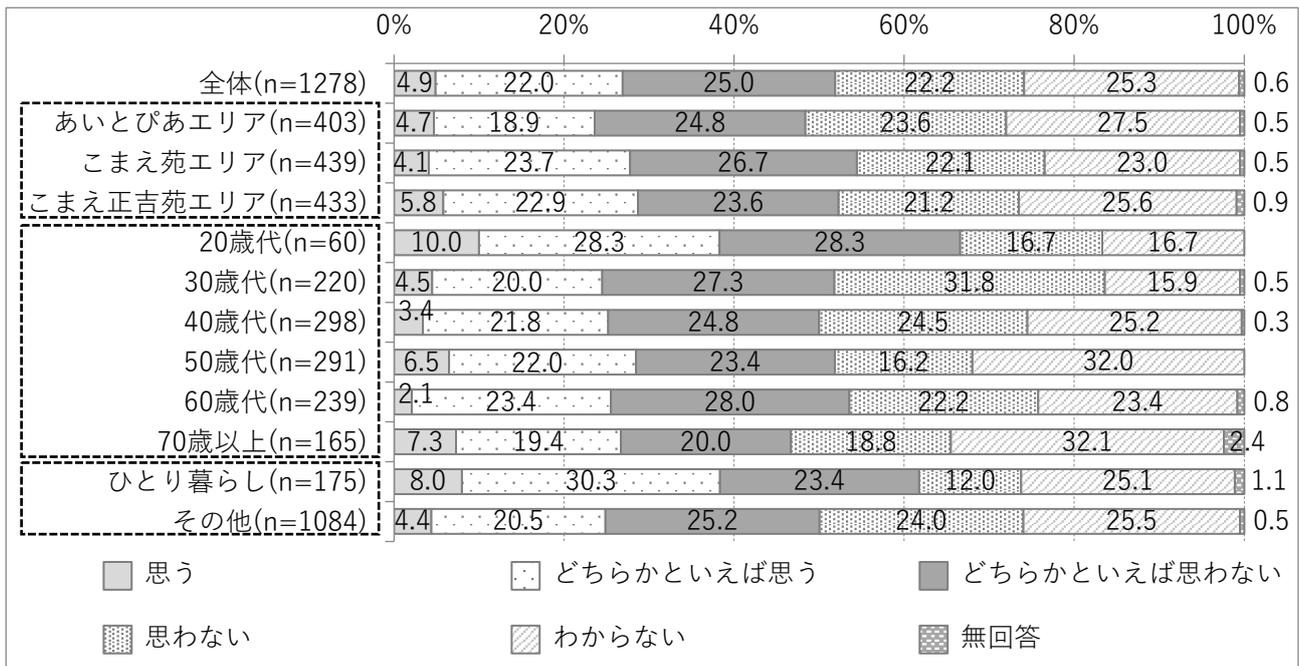
問 28 現在、あなたが住まいの地域は、治安が良く、安心して安全に暮らせる地域だと思いますか。(○は1つ)

住まいの地域は安心して安全に暮らせる地域かどうかについては、「どちらかといえば思う」が52.3%で最も多く、次いで、「思う」が40.0%となっています。



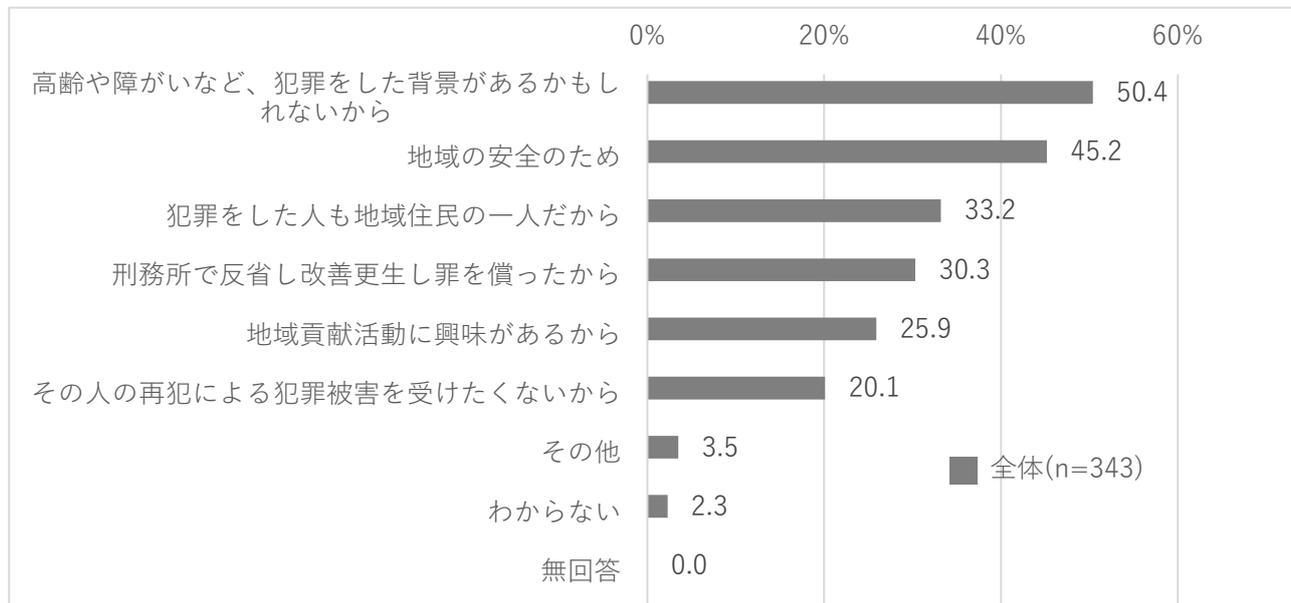
問 29 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(○は1つ)

犯罪をした人の立ち直りに協力したいかについては、「わからない」が25.3%で最も多く、次いで、「どちらかといえば思わない」が25.0%となっています。



問 29-2 【問 29 で「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」と回答した方へ】
協力したいと思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)

協力したいと思う理由については、「高齢や障がいなど、犯罪をした背景があるかもしれないから」が 50.4%で最も多く、次いで、「地域の安全のため」が 45.2%となっています。



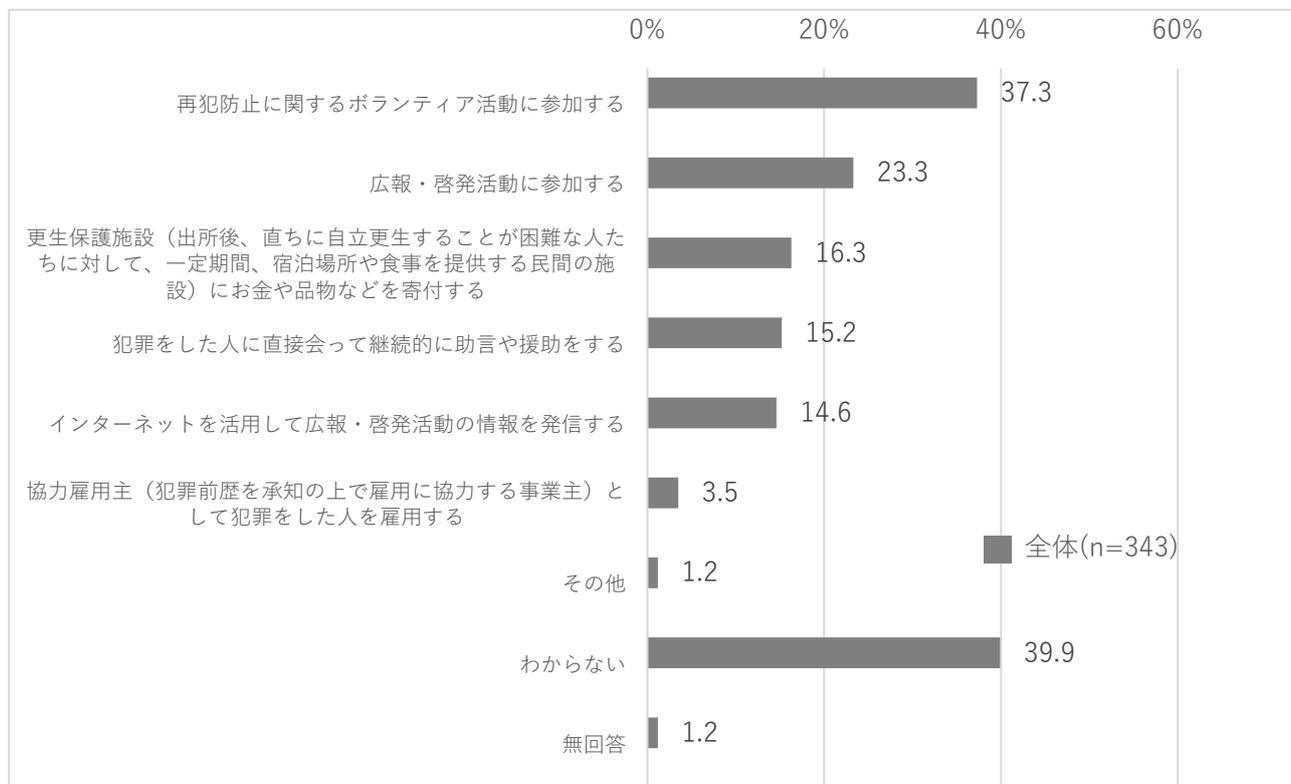
(単位：人、%)

区分	人数	刑務所で反省し改善更生	犯罪をした人も地域住民	高齢や障がいなど、犯罪をした背景があるか、もし罪	その人の再犯による犯罪被害を受けたくないから	地域の安全のため	地域貢献活動に興味がある	わからない	その他	無回答
全体	343	30.3	33.2	50.4	20.1	45.2	25.9	2.3	3.5	0.0
あいとぴあエリア	95	30.5	26.3	54.7	22.1	46.3	22.1	1.1	4.2	0.0
こまえ苑エリア	122	32.0	33.6	50.0	23.8	46.7	27.0	1.6	4.1	0.0
こまえ正吉苑エリア	124	28.2	38.7	48.4	14.5	42.7	27.4	4.0	2.4	0.0
20歳代	23	34.8	21.7	56.5	26.1	30.4	26.1	0.0	8.7	0.0
30歳代	54	27.8	35.2	57.4	24.1	46.3	38.9	0.0	7.4	0.0
40歳代	75	28.0	32.0	42.7	30.7	49.3	22.7	1.3	5.3	0.0
50歳代	83	31.3	34.9	55.4	12.0	49.4	25.3	1.2	1.2	0.0
60歳代	61	36.1	34.4	54.1	19.7	39.3	19.7	1.6	0.0	0.0
70歳以上	44	22.7	34.1	38.6	9.1	45.5	25.0	11.4	2.3	0.0
ひとり暮らし	67	31.3	34.3	50.7	23.9	40.3	22.4	3.0	4.5	0.0
その他	270	30.4	33.3	51.1	19.6	46.7	26.7	2.2	3.0	0.0

問 29-3 【問 29 で「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」と回答した方へ】

どのような協力をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

どのような協力をしたいかについては、「わからない」が 39.9%で最も多く、次いで、「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が 37.3%となっています。

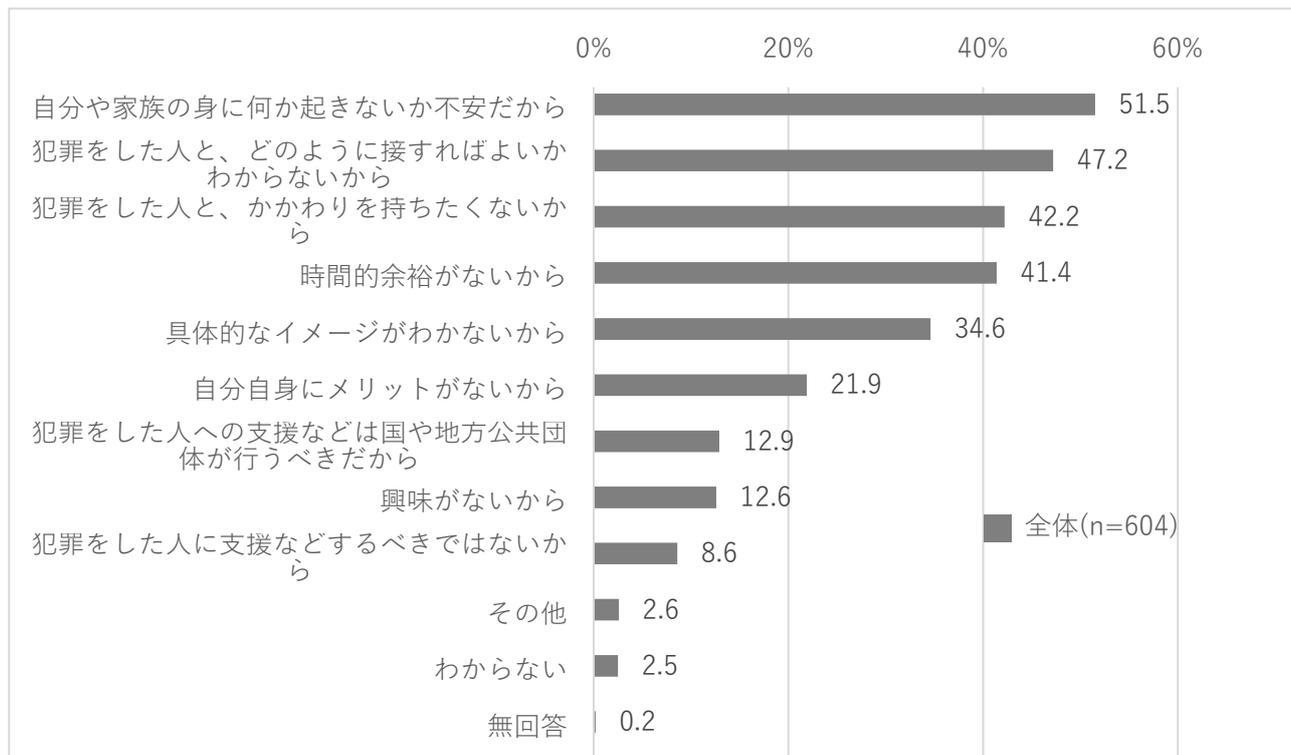


(単位：人、%)

区分	人数	犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする	協力雇用主 (犯罪前歴を承知の上で雇用し協力する事業主)として犯罪をした人を雇用する	更生保護施設 (出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する	再犯防止に関するボランティア活動に参加する	広報・啓発活動に参加する	インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する	わからない	その他	無回答
全体	343	15.2	3.5	16.3	37.3	23.3	14.6	39.9	1.2	1.2
あいとびあエリア	95	17.9	5.3	17.9	36.8	21.1	12.6	42.1	2.1	1.1
こまえ苑エリア	122	12.3	4.1	18.0	33.6	22.1	17.2	39.3	0.8	0.8
こまえ正吉苑エリア	124	16.1	1.6	13.7	41.1	25.8	13.7	38.7	0.8	1.6
20歳代	23	4.3	8.7	34.8	30.4	26.1	21.7	34.8	0.0	0.0
30歳代	54	25.9	5.6	20.4	37.0	25.9	24.1	42.6	1.9	0.0
40歳代	75	9.3	2.7	18.7	42.7	17.3	12.0	41.3	1.3	0.0
50歳代	83	18.1	2.4	13.3	42.2	25.3	14.5	32.5	0.0	1.2
60歳代	61	16.4	3.3	8.2	32.8	26.2	8.2	44.3	1.6	1.6
70歳以上	44	11.4	2.3	15.9	29.5	20.5	11.4	43.2	2.3	4.5
ひとり暮らし	67	11.9	4.5	19.4	31.3	19.4	17.9	43.3	0.0	1.5
その他	270	15.6	3.3	15.6	39.6	24.8	13.7	39.3	1.5	1.1

問 29-4 【問 29 で「3 どちらかといえば思わない」、「4 思わない」と回答した方へ】
協力したいと思わない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

協力したいと思わない理由については、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が51.5%で最も多く、次いで、「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が47.2%となっています。

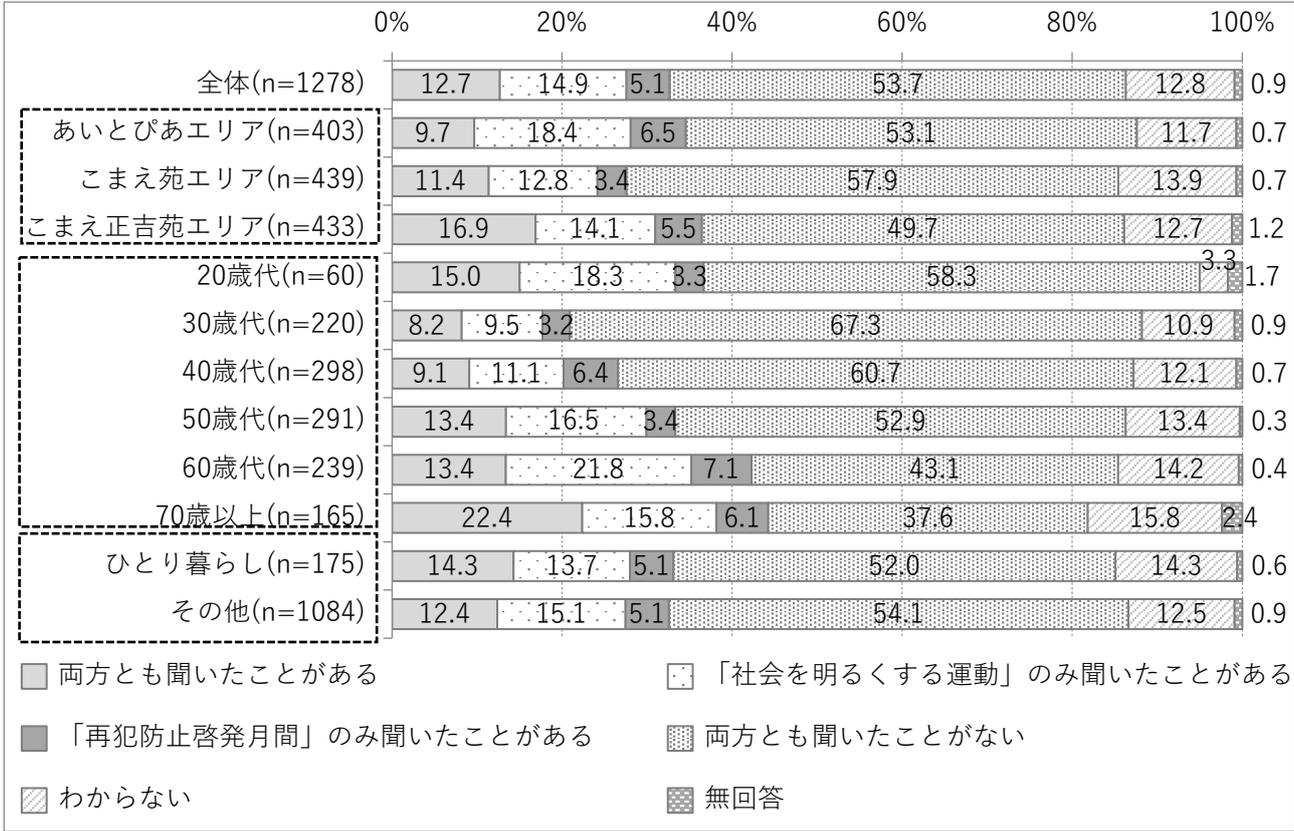


(単位：人、%)

区分	人数	自分や家族の身に何か起きないか不安だから	犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから	時間的余裕がないから	具体的なイメージがわからないから	自分自身にメリットがないから	犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから	興味がないから	犯罪をした人に支援などするべきではないから	その他	わからない	無回答
全体	604	51.5	42.2	47.2	21.9	34.6	41.4	12.6	12.9	8.6	2.5	2.6	0.2
あいとぴあエリア	195	55.4	43.6	46.2	19.5	34.9	41.0	10.3	14.4	9.7	2.1	4.1	0.0
こまえ苑エリア	214	46.7	42.1	50.5	22.9	32.2	44.4	13.1	12.6	9.8	3.7	2.3	0.5
こまえ正吉苑エリア	194	52.6	40.7	44.3	23.2	37.1	38.1	14.4	11.9	6.2	1.5	1.5	0.0
20歳代	27	55.6	44.4	37.0	63.0	44.4	44.4	14.8	29.6	14.8	0.0	0.0	0.0
30歳代	130	63.8	50.8	50.8	36.2	35.4	55.4	16.9	11.5	13.1	1.5	1.5	0.0
40歳代	147	60.5	43.5	44.2	27.2	36.7	52.4	15.0	8.2	11.6	2.0	1.4	0.0
50歳代	115	45.2	45.2	41.7	11.3	33.0	38.3	11.3	12.2	4.3	4.3	3.5	0.0
60歳代	120	41.7	39.2	49.2	10.0	26.7	30.8	6.7	16.7	5.0	0.8	3.3	0.8
70歳以上	64	32.8	20.3	56.3	4.7	42.2	10.9	10.9	14.1	4.7	6.3	6.3	0.0
ひとり暮らし	62	27.4	40.3	45.2	21.0	38.7	27.4	16.1	12.9	11.3	4.8	4.8	0.0
その他	533	54.2	42.2	47.5	22.1	34.1	43.2	12.2	12.9	8.4	2.1	2.4	0.2

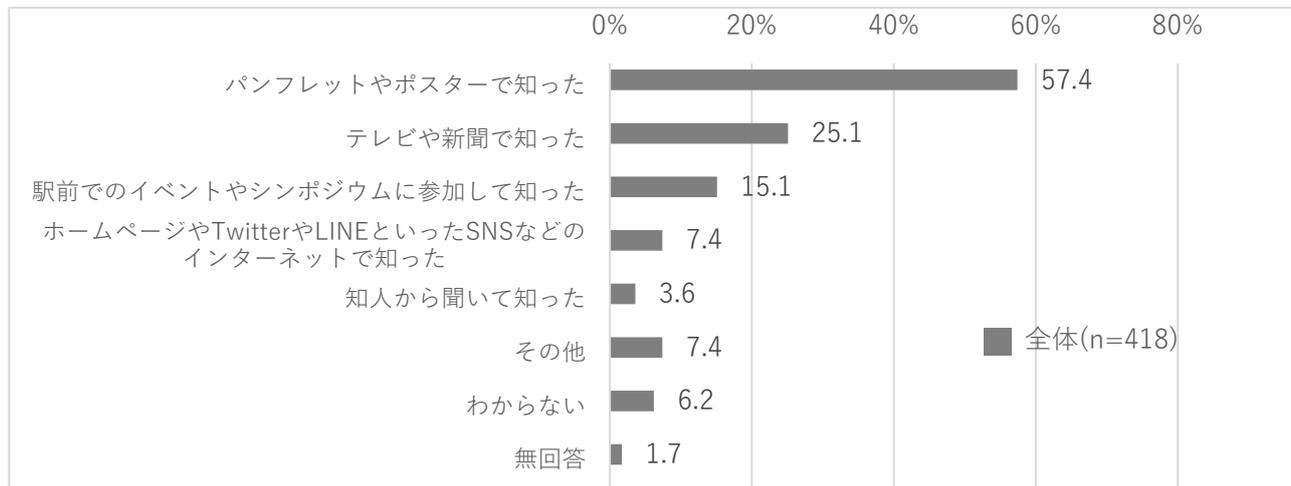
問 30 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。(○は1つ)

再犯防止に関する取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがあるかについては、「両方とも聞いたことがない」が53.7%で最も多く、次いで、「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある」が14.9%となっています。



問 30-2 【問 30 で「1 両方とも聞いたことがある」、「2 社会を明るくする運動のみ聞いたことがある」、「3 再犯防止啓発月間のみ聞いたことがある」と回答した方へ】
どのようにして知りましたか。(〇はいくつでも)

「社会を明るくする運動」「再発防止啓発月間」をどのようにして知ったかについては、「パンフレットやポスターで知った」が 57.4%で最も多く、次いで、「テレビや新聞で知った」が 25.1%となっています。

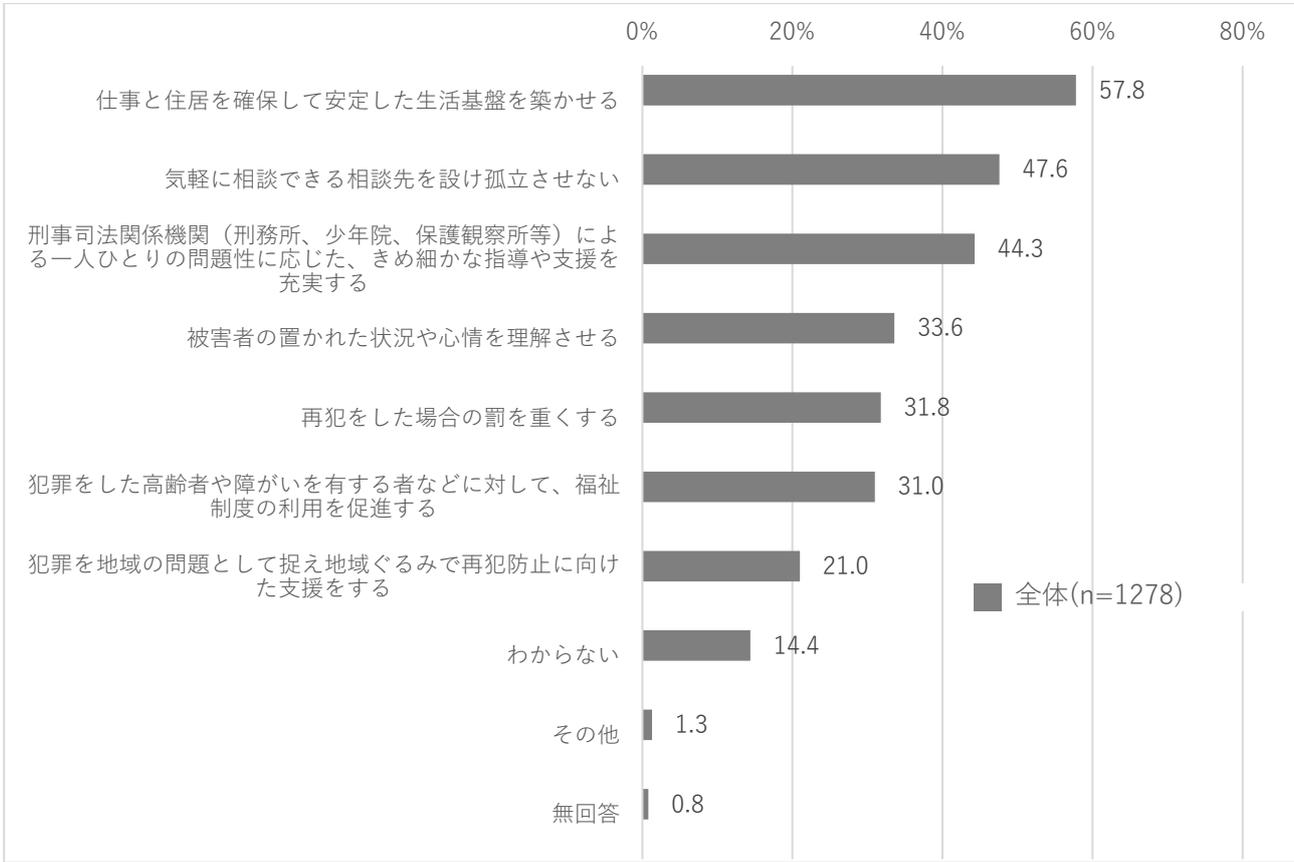


(単位：人、%)

区分	人数	パンフレットやポスターで知った	駅前でのイベントやシンポジウムに参加して知った	テレビや新聞で知った	ホームページやTwitterやLINEといったSNSなどのインターネットで知った	知人から聞いて知った	わからない	その他	無回答
全体	418	57.4	15.1	25.1	7.4	3.6	6.2	7.4	1.7
あいとぴあエリア	139	54.7	15.1	33.1	7.2	4.3	6.5	2.2	1.4
こまえ苑エリア	121	60.3	14.0	18.2	9.9	2.5	6.6	9.9	1.7
こまえ正吉苑エリア	158	57.6	15.8	23.4	5.7	3.8	5.7	10.1	1.9
20歳代	22	50.0	4.5	13.6	9.1	0.0	18.2	18.2	0.0
30歳代	46	65.2	23.9	21.7	8.7	0.0	2.2	4.3	0.0
40歳代	79	54.4	8.9	12.7	8.9	3.8	12.7	10.1	1.3
50歳代	97	53.6	21.6	21.6	10.3	4.1	4.1	9.3	1.0
60歳代	101	68.3	9.9	31.7	5.0	4.0	3.0	5.0	2.0
70歳以上	73	47.9	17.8	39.7	4.1	5.5	5.5	4.1	4.1
ひとり暮らし	58	55.2	3.4	31.0	10.3	1.7	12.1	1.7	3.4
その他	353	58.4	17.3	23.8	7.1	3.7	5.4	8.2	1.1

問 31 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

再犯防止のためにどのようなことが必要かについては、「仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる」が 57.8%で最も多く、次いで、「気軽に相談できる相談先を設け孤立させない」が 47.6%となっています。

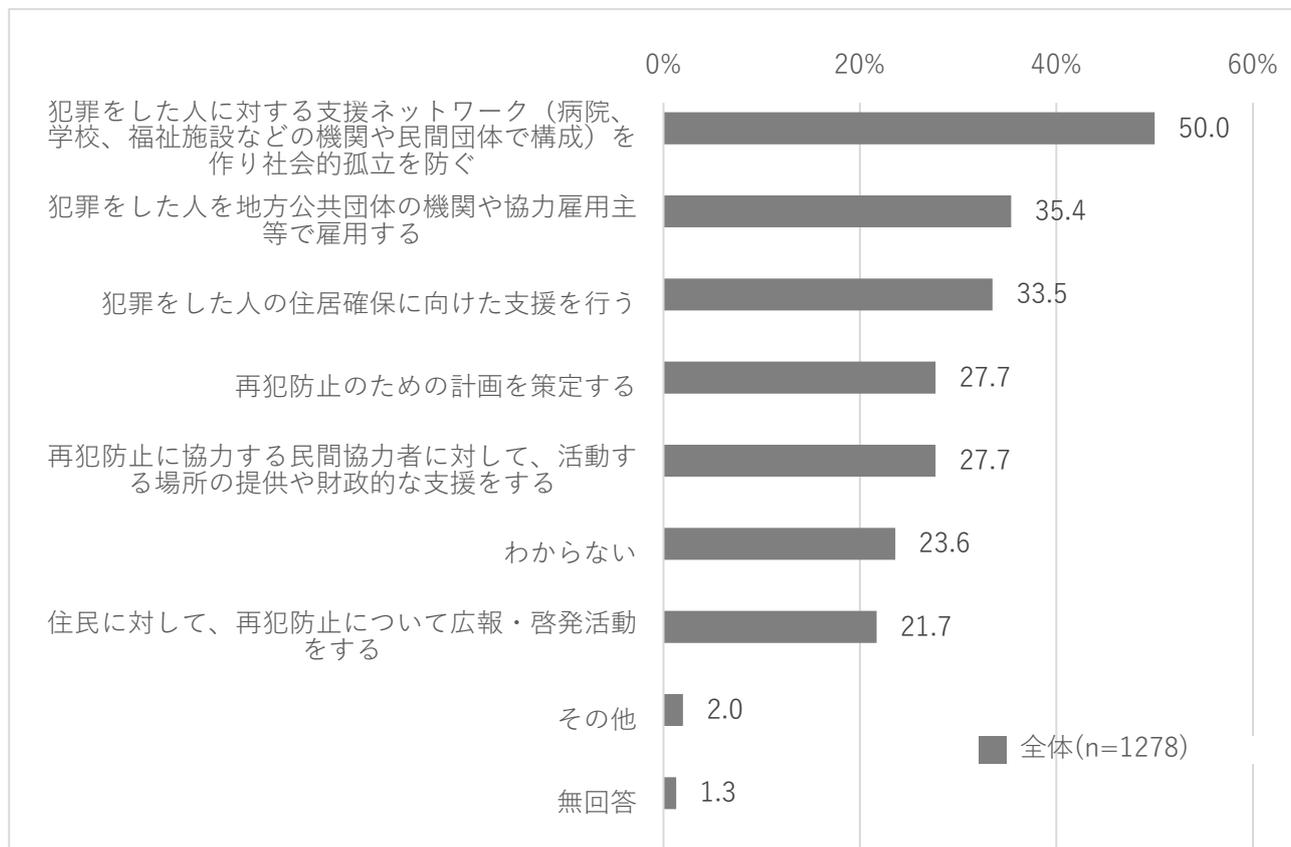


(単位：人、%)

区分	人数	め細かな指導や支援を充実する	刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細かな指導や支援を充実する	仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる	犯罪をした高齢者や障がい者を有する者などに対して、福祉制度の利用を促進する	被害者の置かれた状況や心情を理解させる	再犯をした場合の罰を重くする	犯罪を地域の問題として捉え地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする	気軽に相談できる相談先を設け孤立させない	わからない	その他	無回答
全体	1278	44.3	57.8	31.0	33.6	21.0	47.6	31.8	14.4	1.3	0.8	
あいとびあエリア	403	43.9	59.3	31.0	33.5	20.3	50.4	31.0	16.9	1.7	0.5	
こまえ苑エリア	439	44.9	56.5	33.3	32.3	21.4	45.3	31.2	13.0	1.4	0.9	
こまえ正吉苑エリア	433	43.6	58.0	28.6	34.9	21.2	47.1	32.8	13.6	0.7	0.9	
20歳代	60	65.0	70.0	45.0	35.0	26.7	61.7	43.3	10.0	1.7	1.7	
30歳代	220	49.1	60.5	27.3	33.6	22.3	48.2	45.9	10.0	1.4	0.9	
40歳代	298	40.6	54.0	30.2	33.9	21.8	46.0	43.6	14.8	2.3	0.3	
50歳代	291	44.3	57.7	31.6	36.1	16.8	46.0	30.6	14.4	1.4	0.7	
60歳代	239	42.7	62.3	32.2	31.0	21.3	50.2	18.4	13.8	0.4	0.8	
70歳以上	165	37.6	50.9	29.7	31.5	21.8	42.4	9.1	22.4	0.0	3.6	
ひとり暮らし	175	45.7	64.0	36.0	30.9	17.7	52.6	25.1	12.6	1.1	0.6	
その他	1084	44.4	56.9	30.4	34.2	21.6	47.0	32.8	14.9	1.3	0.7	

問 32 再犯防止のために、市は何をするべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

再犯防止に市は何をするべきかについては、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成)を作り社会的孤立を防ぐ」が50.0%で最も多く、次いで、「犯罪をした人を地方公共団体の機関や協力雇用主等で雇用する」が35.4%となっています。



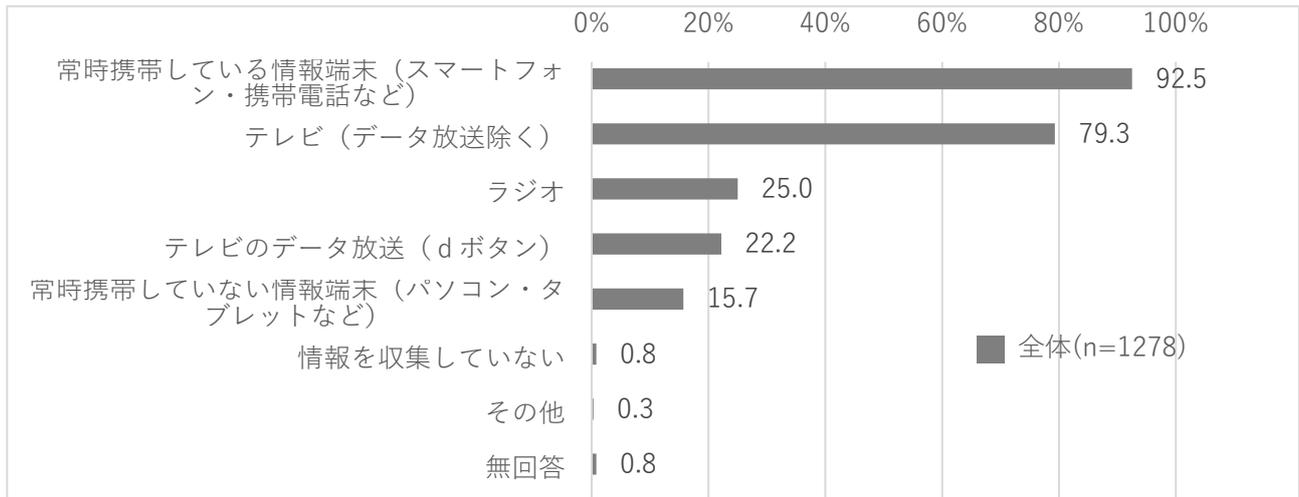
(単位：人、%)

区分	人数	再犯防止のための計画を策定する	犯罪をした人を地方公共団体の機関や協力雇用主等で雇用する	犯罪をした人の住居確保に向けた支援を行う	犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成)を作り社会的孤立を防ぐ	住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする	再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする	わからない	その他	無回答
全体	1278	27.7	35.4	33.5	50.0	21.7	27.7	23.6	2.0	1.3
あいとびエリア	403	25.1	35.0	36.0	48.4	20.8	28.5	23.3	3.0	1.2
こまえ苑エリア	439	27.6	33.7	31.7	49.9	20.3	26.0	25.3	2.3	1.4
こまえ正吉苑エリア	433	30.0	37.9	33.0	51.5	23.6	28.6	22.2	0.9	1.4
20歳代	60	43.3	50.0	45.0	60.0	28.3	43.3	13.3	1.7	1.7
30歳代	220	30.0	38.6	35.0	51.4	20.9	31.8	20.9	1.4	0.5
40歳代	298	26.5	29.5	25.8	47.3	21.1	25.8	26.2	4.0	0.3
50歳代	291	25.8	36.1	35.1	49.5	23.0	27.5	25.4	3.1	1.0
60歳代	239	25.9	39.7	38.1	52.3	18.4	24.3	20.1	0.0	1.3
70歳以上	165	25.5	29.1	31.5	46.1	23.0	25.5	28.5	0.6	4.8
ひとり暮らし	175	29.7	37.7	39.4	59.4	24.6	31.4	18.9	1.7	1.1
その他	1084	27.5	35.3	32.5	48.5	21.3	27.1	24.2	1.9	1.3

6 避難行動要支援者支援について

問33 地震が発生したときや大雨が降っているときなど災害が発生するおそれがある場合、どのような手段で避難情報などを収集していますか。よく利用するツールをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

災害時にどのような手段で避難情報などを収集しているかについては、「常時携帯している情報端末（スマートフォン・携帯電話など）」が92.5%で最も多く、次いで、「テレビ（データ放送除く）」が79.3%となっています。

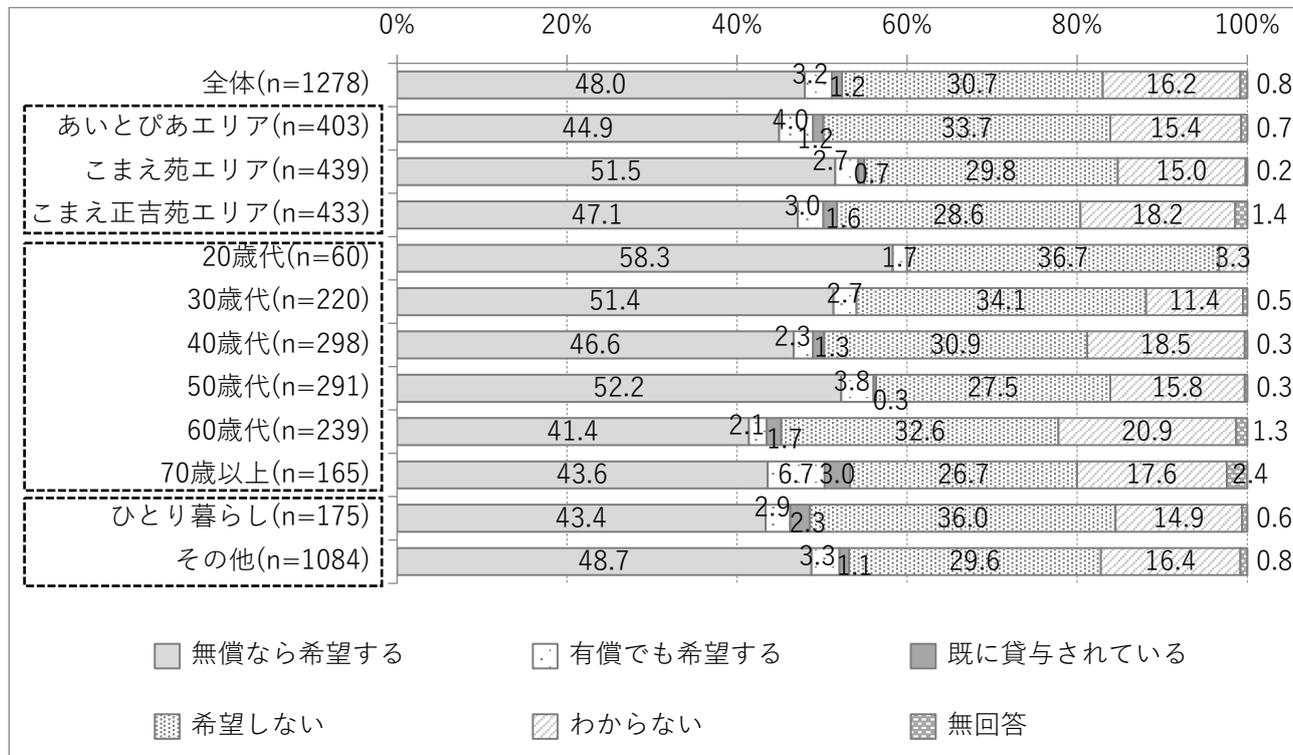


(単位：人、%)

区分	人数	テレビ (データ放送除く)	テレビのデータ放送 (dボタン)	ラジオ	常時携帯している情報端末 (スマートフォン・携帯電話など)	常時携帯していない情報端末 (パソコン・タブレットなど)	情報を収集していない	その他	無回答
全体	1278	79.3	22.2	25.0	92.5	15.7	0.8	0.3	0.8
あいとびあエリア	403	78.7	23.8	25.1	93.8	16.4	0.5	0.5	1.0
こまえ苑エリア	439	80.6	22.3	21.6	93.4	14.1	0.7	0.2	0.0
こまえ正吉苑エリア	433	78.8	20.8	28.6	90.3	16.9	1.2	0.2	1.4
20歳代	60	71.7	15.0	13.3	100.0	13.3	0.0	0.0	0.0
30歳代	220	80.0	11.4	17.7	96.4	11.4	0.9	0.0	0.5
40歳代	298	75.8	23.5	19.8	96.6	19.1	0.0	0.3	0.3
50歳代	291	78.7	26.5	26.5	91.4	15.8	1.7	0.7	0.3
60歳代	239	81.6	27.6	27.6	89.5	16.3	0.4	0.4	1.3
70歳以上	165	84.8	20.6	42.4	83.6	14.5	1.2	0.0	2.4
ひとり暮らし	175	67.4	18.3	30.3	89.7	19.4	1.7	0.0	0.6
その他	1084	81.1	22.9	24.4	93.1	15.2	0.6	0.4	0.8

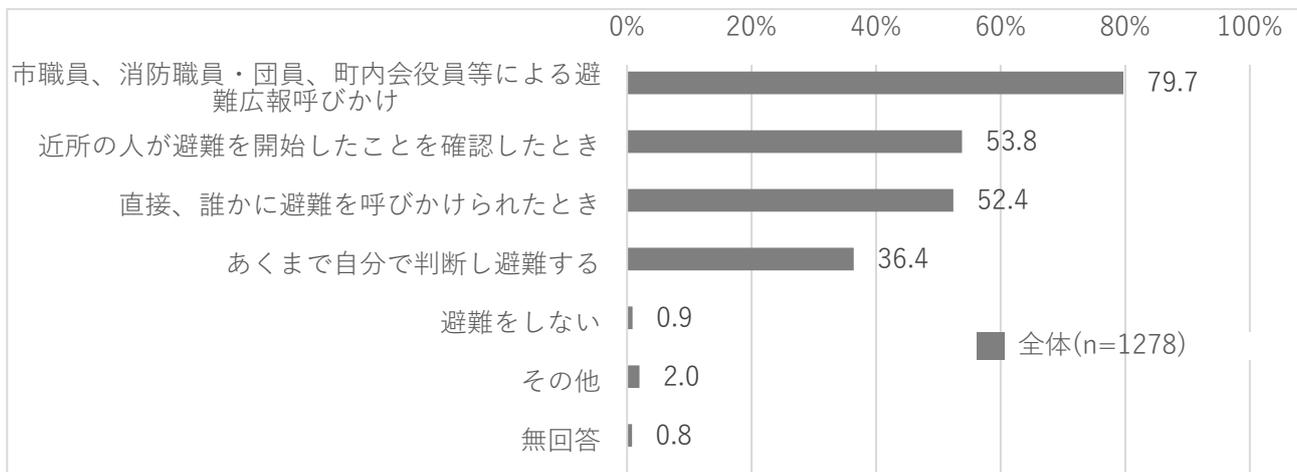
問 34 市で自動起動機能付きラジオを個別避難計画を策定された避難行動要支援者に無償貸与していますが、あなたはラジオの貸与を希望しますか。(○は1つ)

避難行動要支援者に無償で貸与している事については、「無償なら希望する」が48.0%で最も多く、次いで、「希望しない」が30.7%となっています。



問 35 あなたは下記の呼びかけ等により、避難を開始しますか。(〇はいくつでも)

呼びかけ等により避難を開始するかについては、「市職員、消防職員・団員、町内会役員等による避難広報呼びかけ」が 79.7%で最も多く、次いで、「近所の人々が避難を開始したことを確認したとき」が 53.8%となっています。

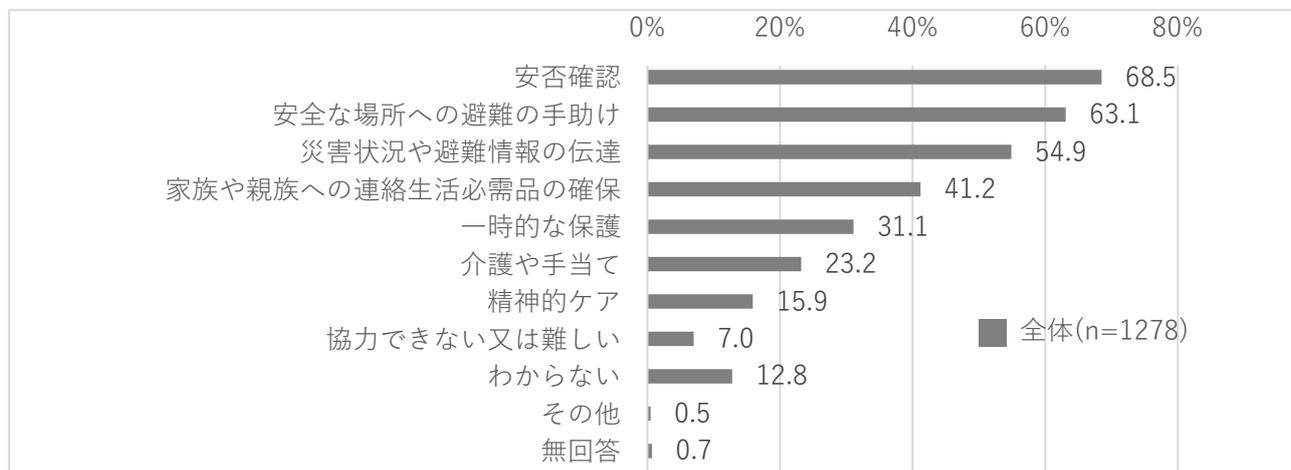


(単位：人、%)

区分	人数	市職員、消防職員・団員、町内会役員等による避難広報呼びかけ (%)	近所の人々が避難を開始したことを確認したとき (%)	直接、誰かに避難を呼びかけられたとき (%)	あくまで自分で判断し避難する (%)	避難をしない (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	1278	79.7	53.8	52.4	36.4	0.9	2.0	0.8
あいとびあエリア	403	82.6	51.6	52.9	34.5	0.7	2.2	1.0
こまえ苑エリア	439	79.5	54.4	51.9	37.4	1.1	1.4	0.0
こまえ正吉苑エリア	433	77.4	55.2	52.7	36.7	0.7	2.5	1.4
20歳代	60	81.7	51.7	60.0	45.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	220	81.4	63.6	61.8	42.3	0.9	1.4	0.5
40歳代	298	77.9	56.7	53.7	43.0	0.7	1.7	0.3
50歳代	291	80.1	55.0	51.5	34.4	1.4	2.7	1.0
60歳代	239	82.4	50.2	46.9	29.3	0.0	2.9	0.8
70歳以上	165	75.8	38.8	44.2	26.1	1.2	1.8	1.8
ひとり暮らし	175	73.7	45.1	52.0	36.0	1.7	3.4	0.6
その他	1084	80.8	55.5	52.7	36.3	0.7	1.8	0.8
社会的孤立該当	73	72.6	31.5	43.8	37.0	2.7	2.7	0.0
社会的孤立非該当	1199	80.4	55.3	53.0	36.4	0.8	2.0	0.7
孤独該当	60	66.7	48.3	48.3	41.7	3.3	8.3	1.7
孤独非該当	1206	80.8	54.3	52.8	36.2	0.7	1.7	0.5

問 36 大地震などの災害が起こったときに、あなたは近隣に住む家族以外の避難行動要支援者のためにどのような助け合いや協力ができますか。(〇はいくつでも)

近隣に住む家族以外の避難行動要支援者のためにどのような助け合いや協力ができるかについては、「安否確認」が68.5%で最も多く、次いで、「安全な場所への避難の手助け」が63.1%となっています。



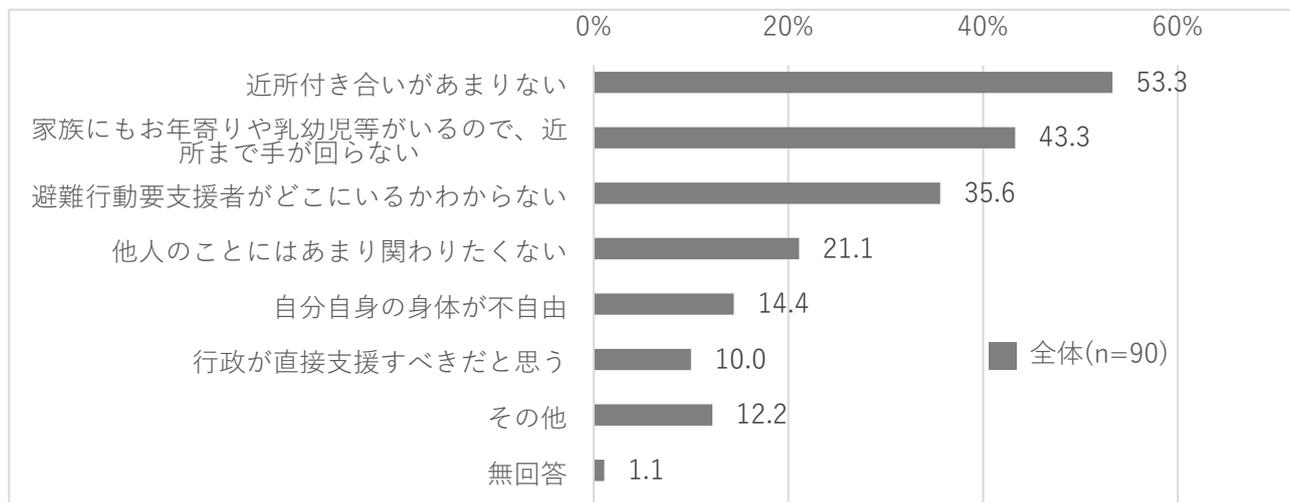
(単位：人、%)

区分	人数	安否確認	手助け	安全な場所への避難の	災害状況や避難情報の伝達	家族や親族への連絡生活必需品の確保	一時的な保護	介護や手当て	精神的ケア	協力できない又は難しい	わからない	その他	無回答
全体	1278	68.5	63.1	54.9	41.2	31.1	23.2	15.9	7.0	12.8	0.5	0.7	
あいとぴあエリア	403	65.0	63.8	57.3	41.7	32.5	23.3	15.6	7.4	15.6	0.2	0.7	
こまえ苑エリア	439	69.9	63.3	51.5	41.7	31.9	24.1	17.3	8.2	13.0	0.7	0.0	
こまえ正吉苑エリア	433	70.0	62.1	55.7	40.4	29.1	22.2	14.8	5.5	9.9	0.5	1.4	
20歳代	60	75.0	75.0	61.7	33.3	36.7	21.7	25.0	15.0	8.3	0.0	0.0	
30歳代	220	65.5	67.3	60.5	42.3	34.1	20.5	13.6	9.1	11.4	0.0	0.5	
40歳代	298	68.1	63.1	57.4	44.6	31.2	24.2	15.1	5.0	15.1	0.3	0.7	
50歳代	291	70.4	62.9	55.3	40.9	32.0	25.4	18.2	7.2	13.7	0.0	0.3	
60歳代	239	69.0	64.9	49.8	39.7	29.7	23.4	16.7	4.6	11.7	0.8	0.8	
70歳以上	165	66.1	50.9	46.1	38.8	25.5	21.2	11.5	7.9	12.1	1.8	1.8	
ひとり暮らし	175	65.7	62.3	52.6	33.1	23.4	18.3	16.6	10.3	11.4	0.6	0.6	
その他	1084	68.8	63.4	55.4	42.2	32.5	24.2	16.0	6.5	12.9	0.5	0.7	
社会的孤立該当	73	49.3	58.9	39.7	24.7	19.2	12.3	11.0	8.2	20.5	0.0	0.0	
社会的孤立非該当	1199	69.7	63.7	55.9	42.2	31.9	23.9	16.3	7.0	12.3	0.5	0.6	
孤独該当	60	53.3	50.0	48.3	36.7	30.0	26.7	25.0	20.0	16.7	0.0	1.7	
孤独非該当	1206	69.3	64.2	55.4	41.5	31.3	23.2	15.6	6.5	12.6	0.5	0.4	

問 36-2 【問 36 で 8 「協力できない又は難しい」と回答した方へ】

協力できない理由について、次のどれに該当しますか。(〇はいくつでも)

協力できない理由については、「近所付き合いがあまりない」が 53.3%で最も多く、次いで、「家族にもお年寄りや乳幼児等がいるので、近所まで手が回らない」が 43.3%となっています。

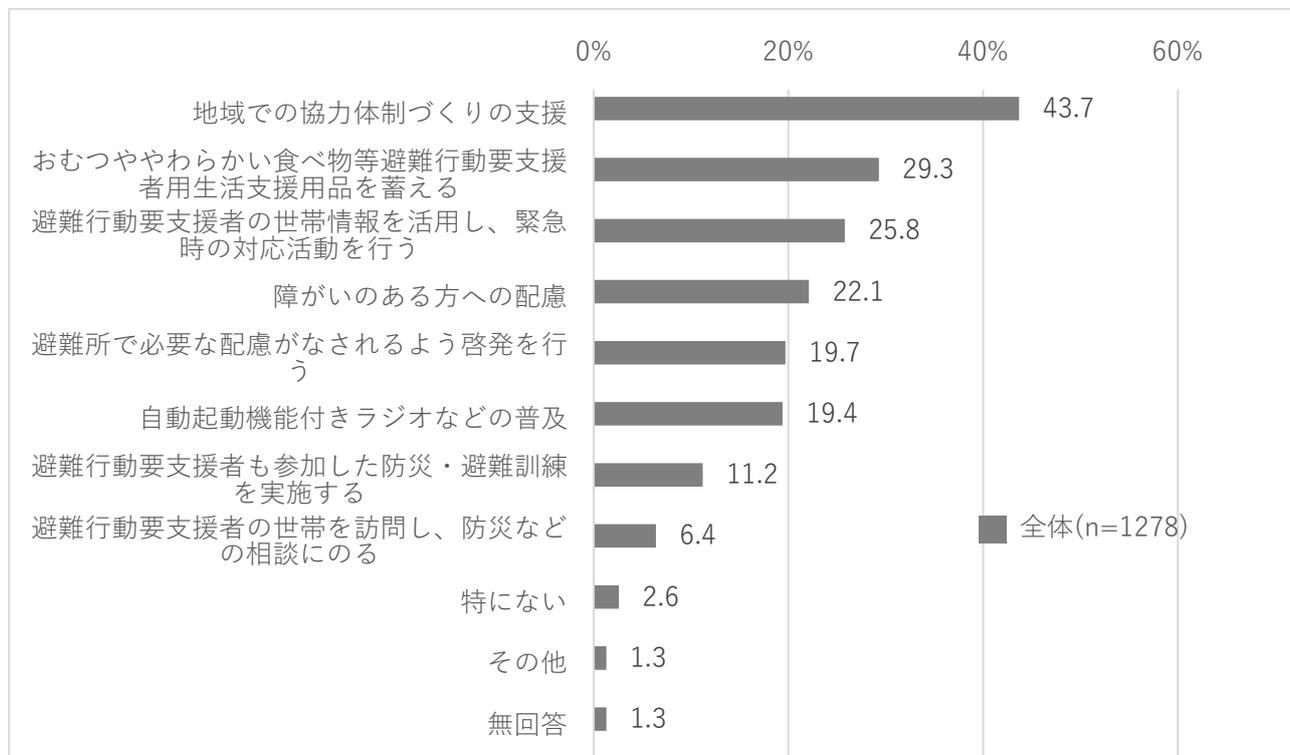


(単位：人、%)

区分	人数	近所付き合いがあまりない	避難行動要支援者がどこにいるかわからない	家族にもお年寄りや乳幼児等がいるので、近所まで手が回らない	自分自身の身体が不自由	他人のことにはあまり関わりたくない	行政が直接支援すべきだと思う	その他	無回答
全体	90	53.3	35.6	43.3	14.4	21.1	10.0	12.2	1.1
あいとぴあエリア	30	53.3	33.3	50.0	10.0	16.7	6.7	3.3	0.0
こまえ苑エリア	36	63.9	41.7	41.7	11.1	30.6	11.1	22.2	0.0
こまえ正吉苑エリア	24	37.5	29.2	37.5	25.0	12.5	12.5	8.3	4.2
20歳代	9	88.9	44.4	11.1	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0
30歳代	20	50.0	30.0	70.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	15	53.3	33.3	46.7	13.3	13.3	13.3	20.0	0.0
50歳代	21	61.9	47.6	42.9	9.5	28.6	9.5	19.0	4.8
60歳代	11	45.5	36.4	45.5	36.4	18.2	0.0	9.1	0.0
70歳以上	13	30.8	23.1	23.1	30.8	15.4	30.8	15.4	0.0
ひとり暮らし	18	66.7	50.0	5.6	16.7	22.2	5.6	33.3	0.0
その他	70	48.6	31.4	52.9	14.3	21.4	11.4	7.1	1.4

問 37 避難行動要支援者の対策として、あなたは行政に何を期待しますか。特に重要だと思うものを2つまでお選びください。(〇は2つまで)

避難行動要支援者の対策としての行政への期待で特に重要だと思うものについては、「地域での協力体制づくりの支援」が43.7%で最も多く、次いで、「おむつややわらかい食べ物等避難行動要支援者用生活支援用品を蓄える」が29.3%となっています。



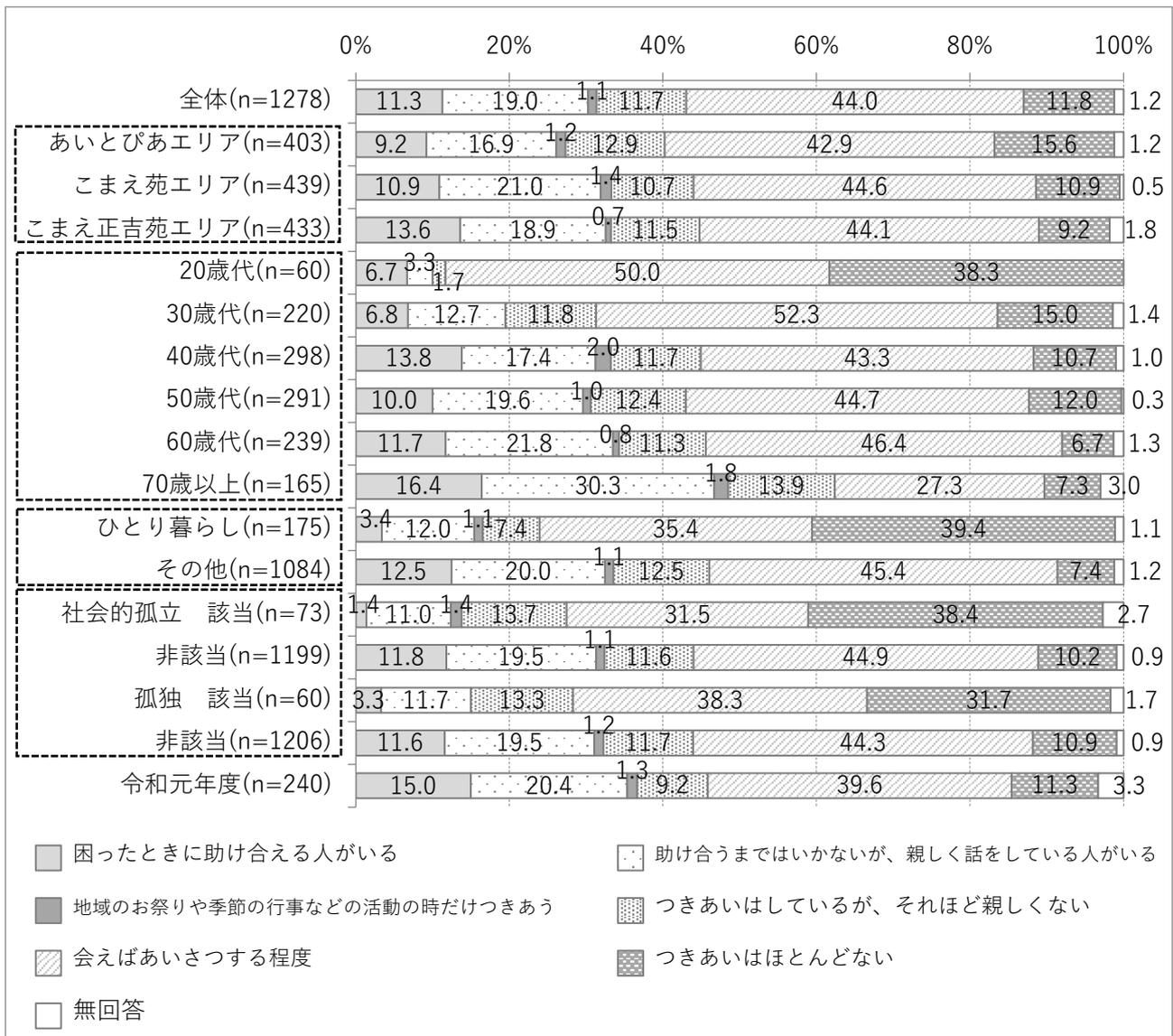
(単位：人、%)

区分	人数	自動起動機能付きラジオなどの普及	地域での協力体制づくりの支援	おむつややわらかい食べ物等避難行動要支援者用生活支援用品を蓄える	避難行動要支援者の世帯情報を活用し、緊急時の対応活動を行う	避難行動要支援者の世帯を訪問し、防災などの相談にのる	障がいのある方への配慮	避難所で必要な配慮がなされるよう啓発を行う	避難行動要支援者も参加した防災・避難訓練を実施する	特にない	その他	無回答
全体	1278	19.4	43.7	29.3	25.8	6.4	22.1	19.7	11.2	2.6	1.3	1.3
あいとびあエリア	403	17.9	44.4	29.0	26.1	5.0	20.1	20.8	12.9	3.2	1.2	1.5
こまえ苑エリア	439	21.2	41.9	28.9	26.0	4.6	23.0	22.3	10.9	2.1	2.3	0.9
こまえ正吉苑エリア	433	18.7	45.0	30.0	25.4	9.7	23.1	15.9	9.7	2.5	0.5	1.6
20歳代	60	10.0	30.0	48.3	31.7	5.0	16.7	26.7	11.7	5.0	0.0	0.0
30歳代	220	12.3	40.0	47.7	23.6	4.1	18.6	19.1	13.2	3.2	0.9	0.9
40歳代	298	14.4	40.6	34.6	25.5	9.1	18.8	20.5	15.4	1.7	2.0	1.0
50歳代	291	23.7	43.3	21.6	26.5	7.2	26.5	18.6	10.0	2.4	2.1	0.7
60歳代	239	23.0	49.8	18.0	30.5	5.9	23.4	20.5	8.8	2.5	0.4	1.3
70歳以上	165	28.5	51.5	18.2	19.4	4.8	24.2	17.0	6.1	3.0	1.2	4.2
ひとり暮らし	175	22.9	35.4	24.6	26.9	5.7	24.0	20.6	10.9	6.9	1.1	1.7
その他	1084	18.8	45.0	30.5	25.5	6.3	22.0	19.6	11.4	1.7	1.4	1.3

7 地域の支え合いについて

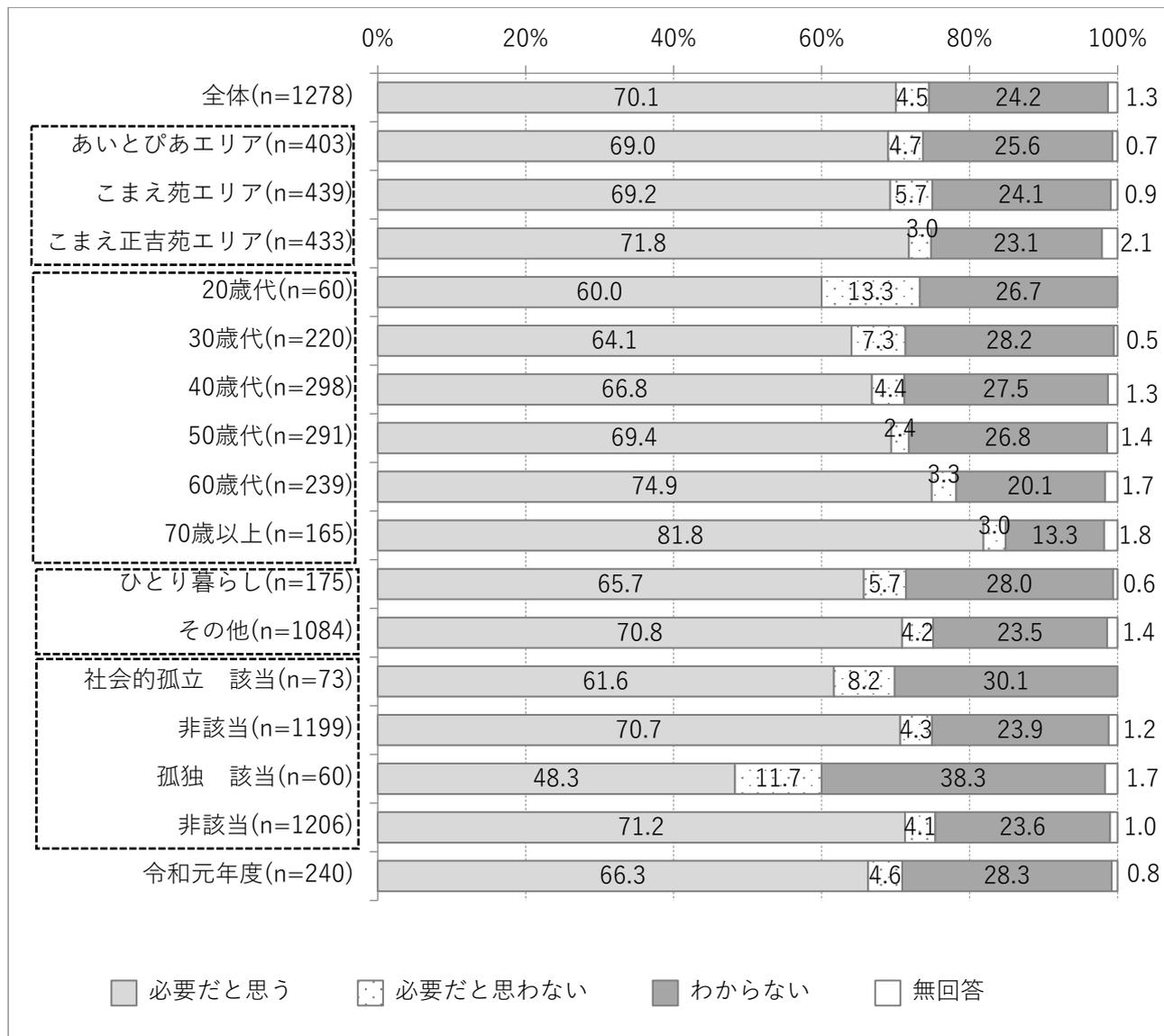
問 38 あなたは普段どの程度、ご近所づきあいをしていますか。(○は1つ)

ご近所づきあいについては、「会えばあいさつする程度」が39.6%で最も多く、次いで、「助け合うまではいかないが、親しく話をしている人がいる」が20.4%となっています。



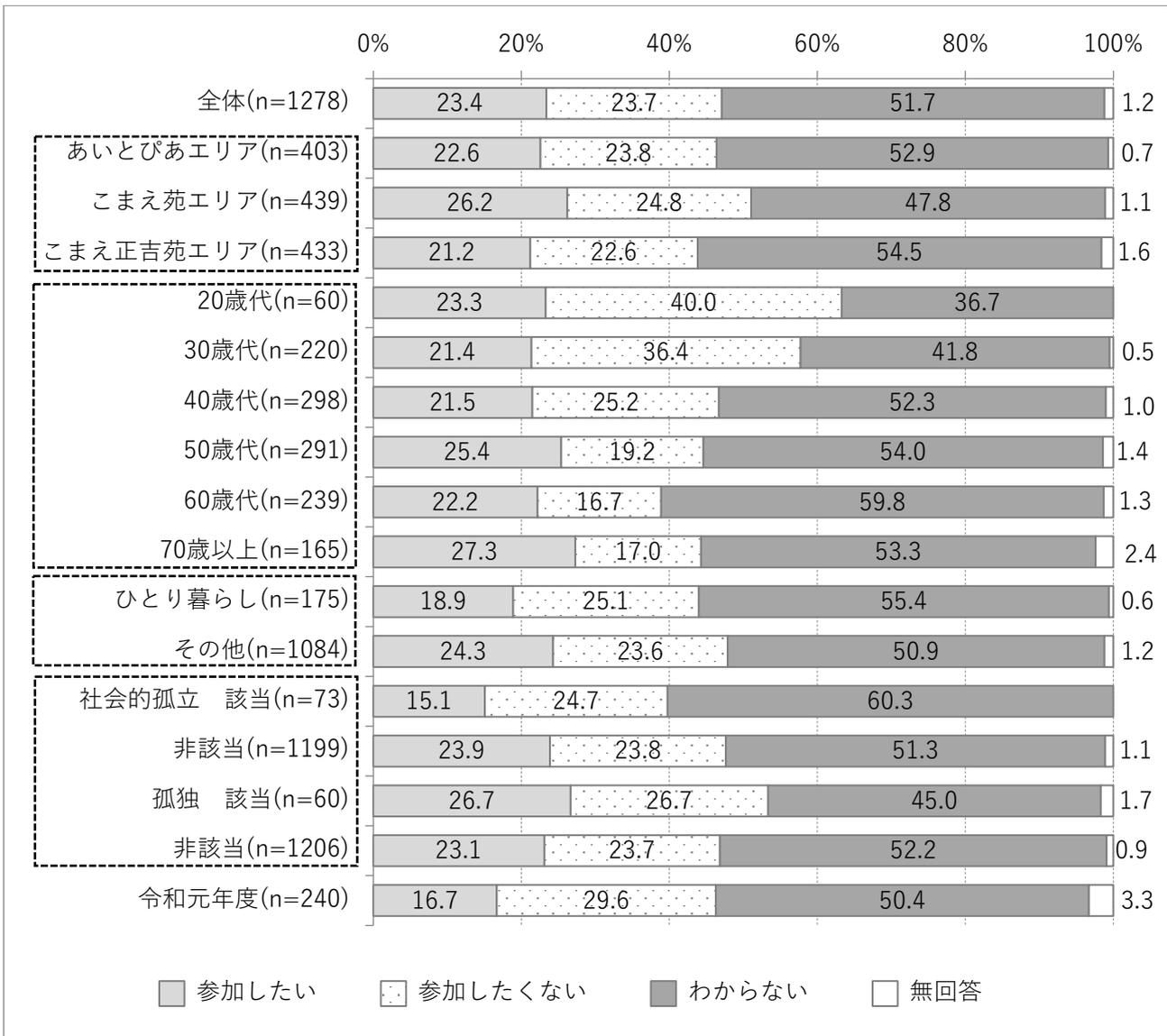
問 39 あなたは、地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的なささえあい、たすけあいの関係が必要だと思いますか。(○は1つ)

住民同士の自主的なささえあい、たすけあいの関係の必要性については、「必要だと思う」が70.1%で最も多く、次いで、「わからない」が24.2%となっています。



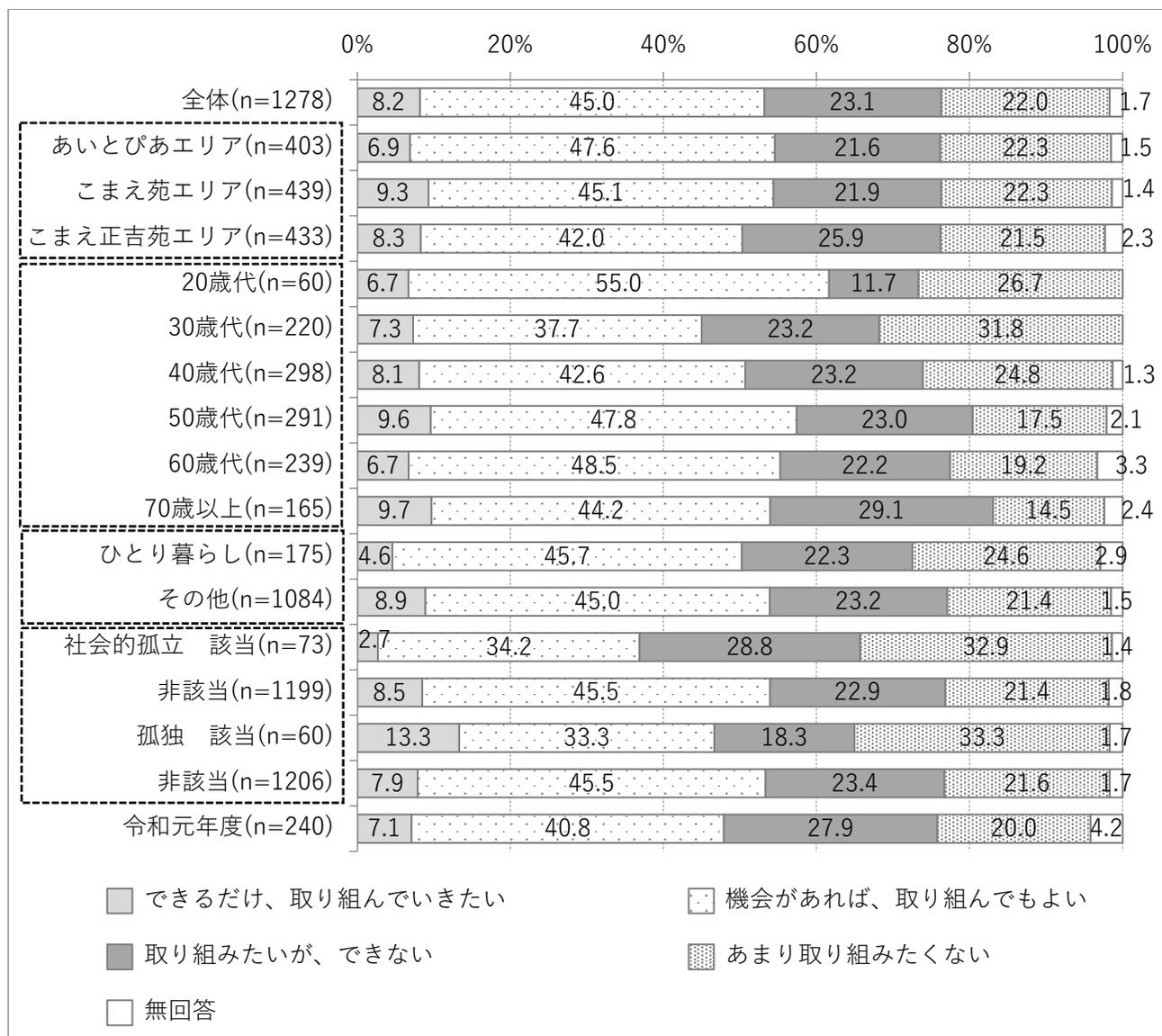
問 40 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（お世話役としての地域づくりへの参加意向）（○は1つ）

活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「わからない」が51.7%で最も多く、次いで、「参加したくない」が23.7%となっています。



問 41 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(〇は1つ)

地域活動・ボランティア活動等への取組意向については、「機会があれば、取り組んでもよい」が45.0%で最も多く、次いで、「取り組みたいが、できない」が23.1%となっています。



問41-2 地域活動・ボランティア等で取り組みたいことなどがありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

子ども・子育て支援：31件

- 何もかもお年寄り向けのものが多い印象ですが、これからの世代を育てていくためには、子どもたちがのびのびと安心して過ごせる地域社会を目指したいです。そしてその親世代を支える活動があればいいなと願っています。そのための活動やボランティアがあれば参加したいと考えます。
- 困っている子供達へ食事、勉強の手伝い、居場所作りなどを出来たらと思います。家庭環境でいろいろ困った状況になっても直ぐに相談出来る環境があるというのを、子供達自身が知っている事が大事です。相談するすべすら知らないのは余りにも可哀想です。
- 子どもの居場所をたくさん作りたい。子育て中の親子、単身者、高齢者、障害者のある方等、色んな世代、立場の人たちが気軽に集まれる場所や機会がたくさんあればいい。
- 子ども食堂などでのお手伝い。
- 子供の交通安全見守りがやりたいです。
- 子育てママたちの相談相手

活動には困難あり：21件

- これまで、NPO法人で理事や活動員として無償のボランティア（フードバンク）をしたが、なかなか活動がひろがらない。また、高齢の為、活動を辞めてしまう。団体があるのは、残念だ。
- 今は介護で参加できないがやってみたい活動はあります。しかし逆に地域だと上手く溶け込めなかったりイメージと違って辞めづらかったり揉めたりしたら嫌だと思い躊躇してしまう。
- 取り組みたいが 子供をほってはいけない。子供を簡単に預かる仕組みがなさすぎる。保育園も少ない。入れない。仕事すら探せない。システムが難しすぎる！持っと簡素化すべき。
- 人間関係が面倒。批判されるし、対立することがあり精神的に無理
- イベントの運営側にも携わりたいが、すでにコミュニティが出来上がっており、あまり門戸が開かれていないように感じる。

環境活動：17件

- 週末に「粕江ゴミ拾いの日」的なものがあれば家族で参加したい！今は子育て中でなかなか人と話す機会が少なく孤独を感じる人が多いのですが、本当はもっと色んな世代の方と話してみたい！
- 自然と人が共存しやすい町づくり。川の清掃、ゴミ拾いなど。
- 多摩川近隣の掃除など。
- 以前、市役所で不用品交換会のようなものが、あったように思いますが、復活してくれたら良いと思います。リサイクルやおもちゃの故障を無償で直すとか、油で、石鹸作り、コンポストの作り方とか、コロナが、収まらなければ無理ですが、廃れてしまっているイベントを復活して欲しい。

支援先の情報提供：11件

- ◆ 5年前迄やっていましたが人間関係で退け、仕事の忙しいこともあり今はやっていません。市の広報を見て探して居ます。広報にボランティア活動を積極的にあげて欲しいです。
- ◆ 自分が何が出来るのか、どんな協力の仕方があるのか、それはどんな時に必要なのかなど、全く分からないので、する・見るのきっかけが欲しいです。
- ◆ どんな活動があるのか、広報等で紹介して欲しい。
- ◆ 出来ることをさがしている最中です。

地域活動：10件

- ◆ 子どもがいても参加できるような地域活動やボランティアがあると良いなと思います。
- ◆ 自身が高齢者であるため、気軽に行けるコミュニティ空間があればと思います。カフェのような場所で、本やお茶を楽しむ…若いお母さんや子供と接する事が出来たら…と思います。
- ◆ お祭りやイベントの手伝いなどしてみたい

障がい者支援：6件

- ◆ 高齢と持病で体力的に積極的に対応は無理ではあるものの、障がい者が目前にいれば手助けを昔からやっているし、今後もそうしたい。また子供たちの妨げになることは排除するように、また危険なことに関しては叱ることにしている。
- ◆ 耳の聞こえに問題のある方々のためにパソコンで文字通訳をしています。これからも続けていきたいです。
- ◆ 知的障害のある息子がいるので、成人の知的障害のある人の居場所作り

外国人支援：4件

- ◆ 外国居住歴の長い人、日本生活に馴染みのない人の地域の友人になる。
- ◆ 日本語が不自由な外国人支援

防犯防災活動：4件

- ◆ 安心安全パトロール
- ◆ 災害時に避難所で、初めて接するより、顔馴染み程度になっておく事は、重要かと思います。

前向きに検討：3件

- ◆ 今まで地域活動・ボランティアに興味はなかったが、生きる価値を見出だせるなら、アリなのかなと最近思い始めました。
- ◆ 仕事をリタイアしたら協力したい。

動物保護活動：3件

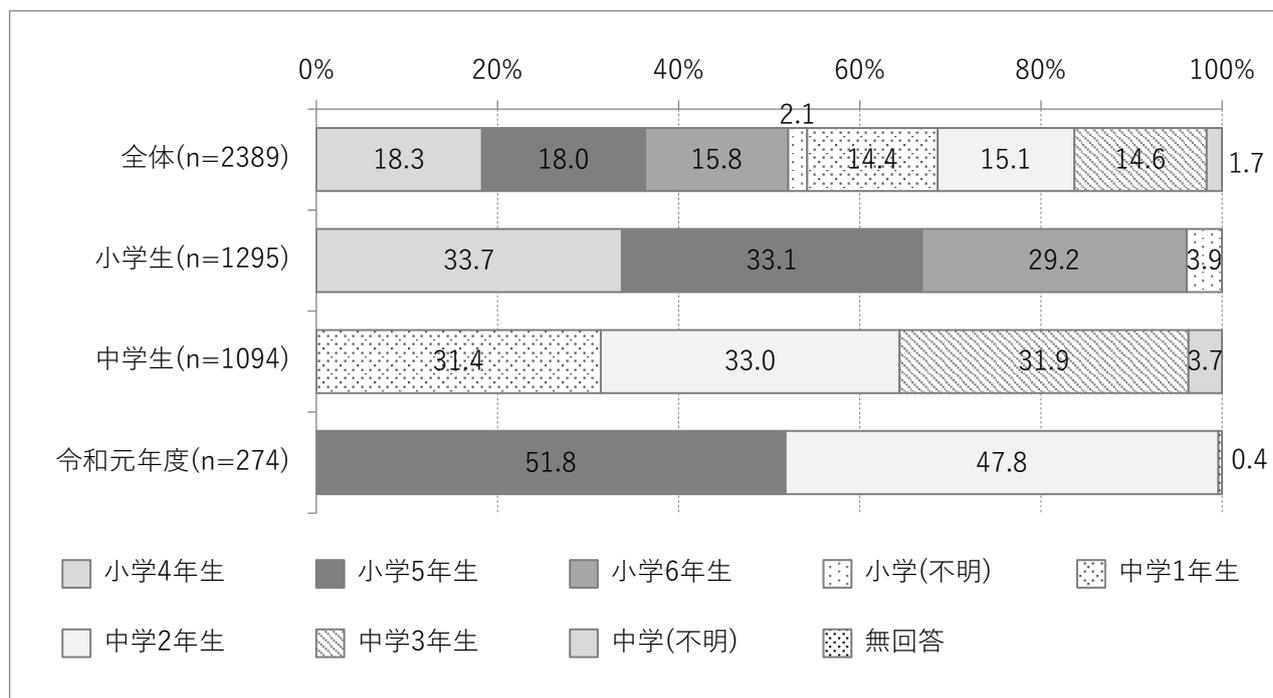
- ◆ 現在、地域ねこの会で、飼い主のいない猫の不妊去勢手術のお手伝いをしています。
- ◆ 地域猫の保護活動やパトロール等

第3章 子ども向け市民調査

1 基本情報について

問1 あなたの学年を教えてください。

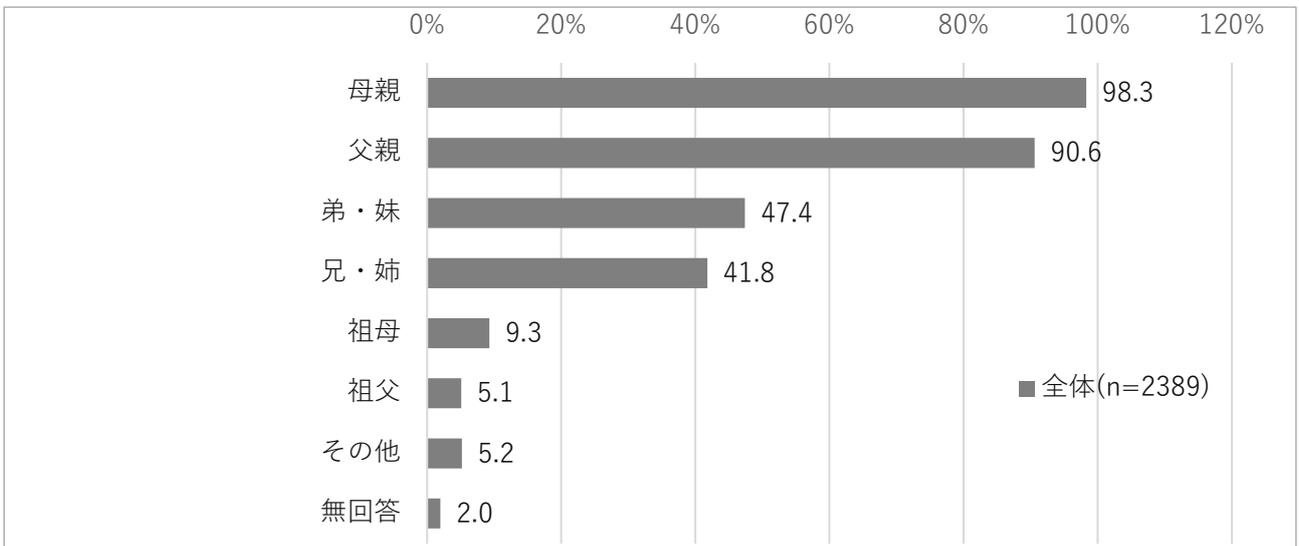
回答者は、小学生では「小学4年生」が33.7%で最も多く、中学生では、「中学2年生」が33.0%で最も多くなっています。



※令和元年度は小学5年生、中学2年生のみを対象としたため、その区分けで整理しています。

問2 今、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

一緒に住んでいる家族は、「母親」が98.3%で最も多く、次いで、「父親」が90.6%となっています。

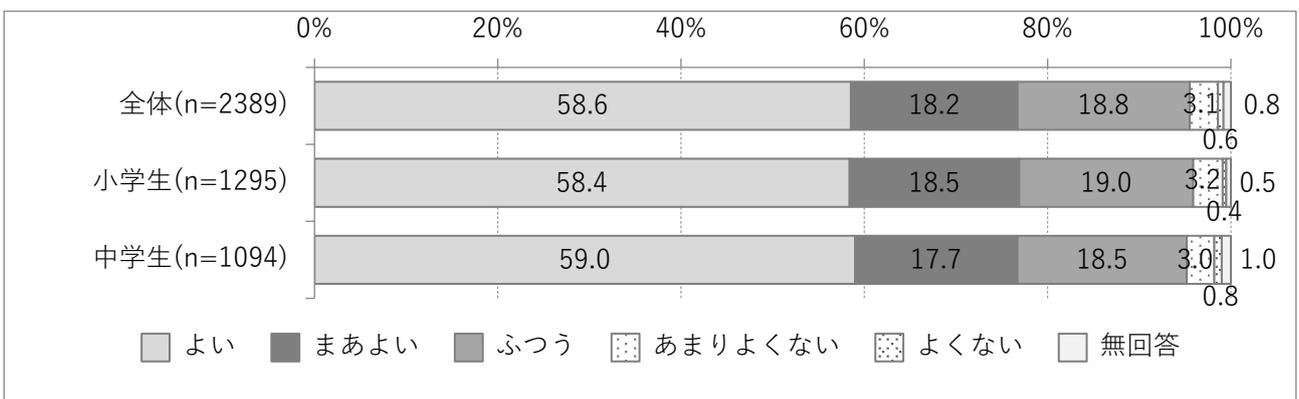


(単位：人、%)

区分	人数	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
全体	2389	98.3	90.6	9.3	5.1	41.8	47.4	5.2	0.2
小学生	1295	98.9	92.4	8.6	4.8	41.9	47.6	5.3	0.1
中学生	1094	97.5	88.5	10.0	5.6	41.7	47.2	5.1	0.4
ほっとできる場所ある	2239	98.5	90.7	9.2	5.2	41.6	47.8	5.0	0.2
ほっとできる場所ない	195	95.4	89.7	10.3	4.6	45.6	43.6	8.2	0.0

問3 あなたの健康状態について教えてください。

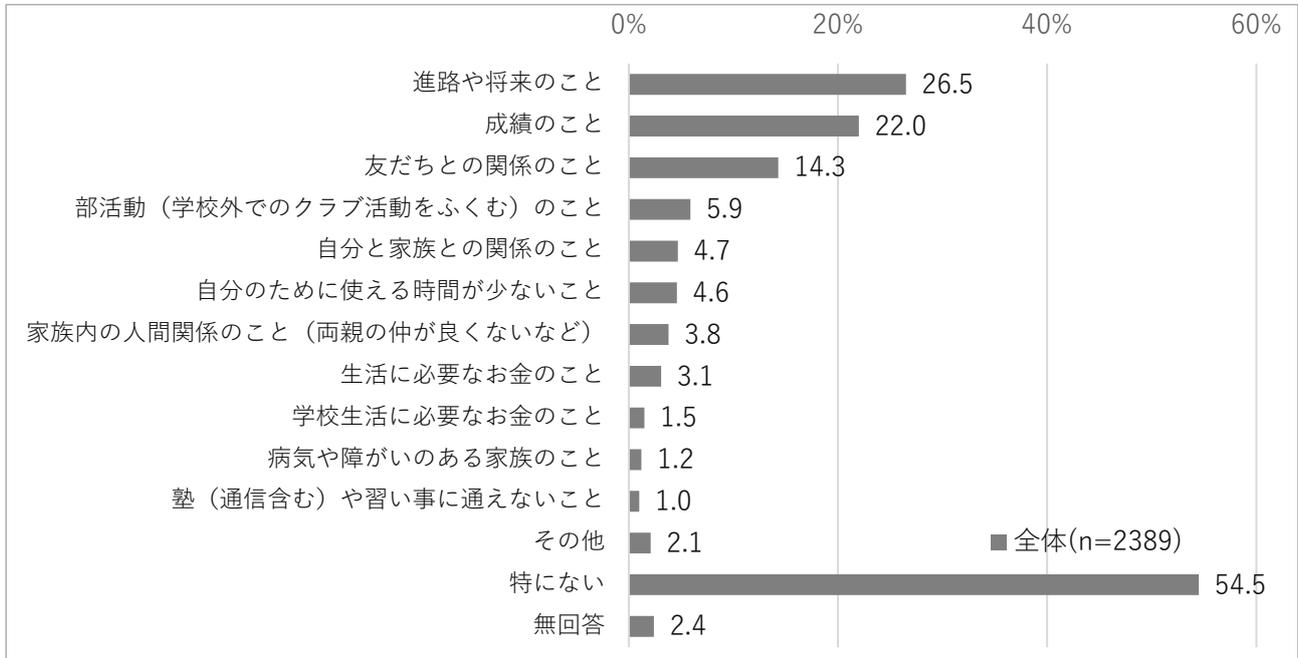
健康状態は、「よい」が58.6%で最も多く、次いで、「ふつう」が18.2%となっています。



2 なやみごとや支え合いについて

問4 今、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

悩んだり困ったりしていることについては、「進路や将来のこと」が26.5%で最も多く、次いで、「成績のこと」が22.0%となっています。



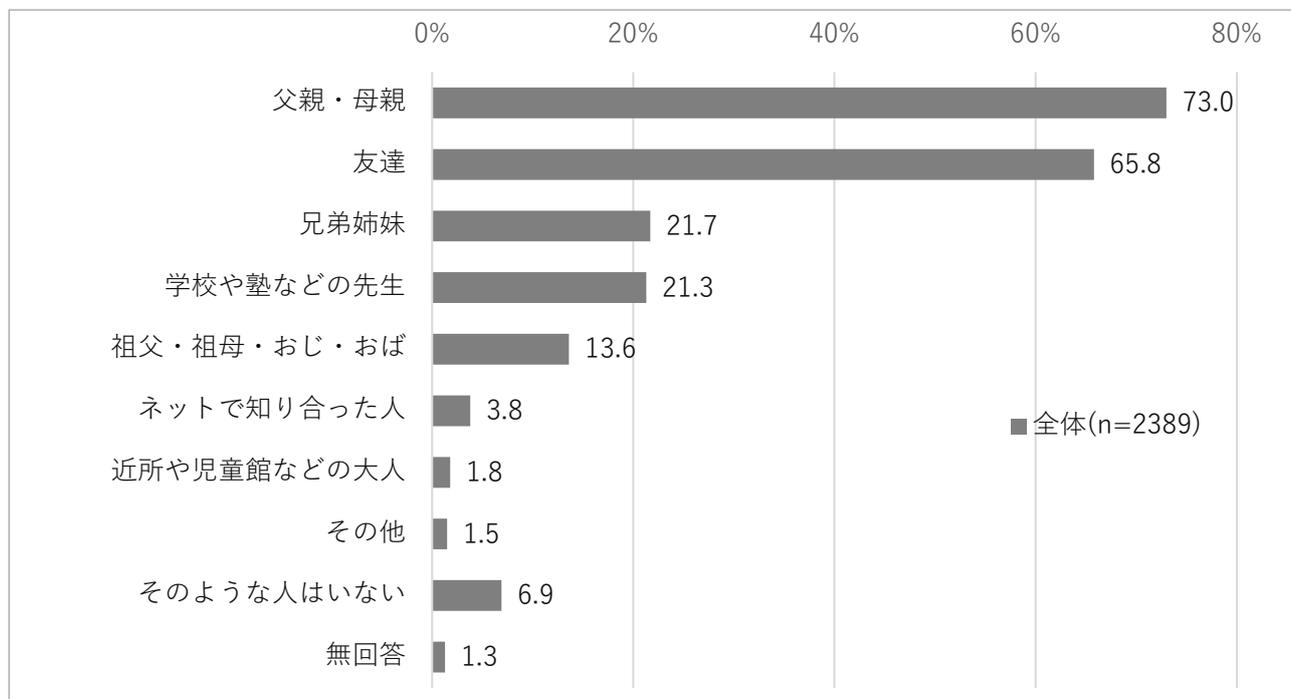
(単位：人、%)

区分	人数	友だちとの関係のこと	成績のこと	進路や将来のこと	部活動(学校外でのクラブ活動をふくむ)のこと	学校生活に必要なお金のこと	生活に必要なお金のこと	塾(通信含む)や習い事に通えないこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない	その他	無回答
全体	2389	14.3	22.0	26.5	5.9	1.5	3.1	1.0	4.7	3.8	1.2	4.6	54.5	2.1	2.4
小学生	1295	16.4	16.0	18.5	3.8	0.9	2.8	1.0	4.6	3.6	1.3	4.2	61.2	1.9	2.1
中学生	1094	11.8	29.1	35.9	8.4	2.3	3.5	1.0	4.9	4.0	1.0	4.9	46.4	2.3	2.8
ほっとできる場所ある	2239	13.4	21.7	26.0	5.5	1.6	2.9	1.0	4.0	3.5	1.1	4.4	55.8	1.9	2.3
ほっとできる場所ない	195	25.6	24.6	30.3	9.7	1.0	5.1	1.5	14.9	7.7	2.6	6.7	37.4	6.2	3.6

問5 あなたの心配事やなやみを聞いてくれる人はだれですか。(〇はいくつでも)

心配事やなやみを聞いてくれる人は、「父親・母親」が73.0%で最も多く、次いで、「友達」が65.8%となっています。

学年別でみると、中学生では「学校や塾などの先生」が小学生よりも11.4ポイント高くなっています。



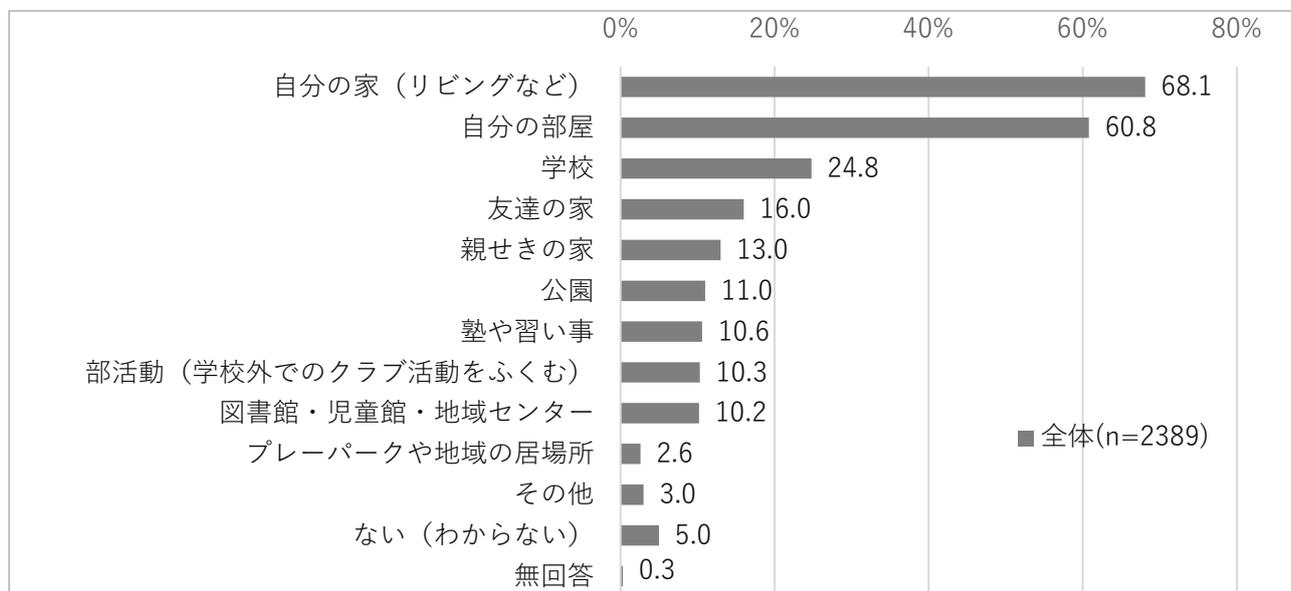
(単位：人、%)

区分	人数	父親・母親	兄弟姉妹	祖父・祖母・おじ・おば	学校や塾などの先生	友達	近所や児童館などの大人	ネットで知り合った人	そのような人はいない	その他	無回答
全体	2389	73.0	21.7	13.6	21.3	65.8	1.8	3.8	6.9	1.5	1.3
小学生	1295	77.7	22.5	13.7	16.1	63.5	2.1	2.3	6.6	2.3	0.8
中学生	1094	67.6	20.7	13.4	27.5	68.5	1.4	5.6	7.2	0.5	1.7

問6 ほっとできる「居場所」はどこですか。(〇はいくつでも)

ほっとできる「居場所」は、「自分の家（リビングなど）」が68.1%で最も多く、次いで、「自分の部屋」が60.8%となっています。

学年別でみると、小学生では「自分の家（リビングなど）」が72.5%で最も多いですが、中学生では、「自分の部屋」が70.8%で最も多くなっています。

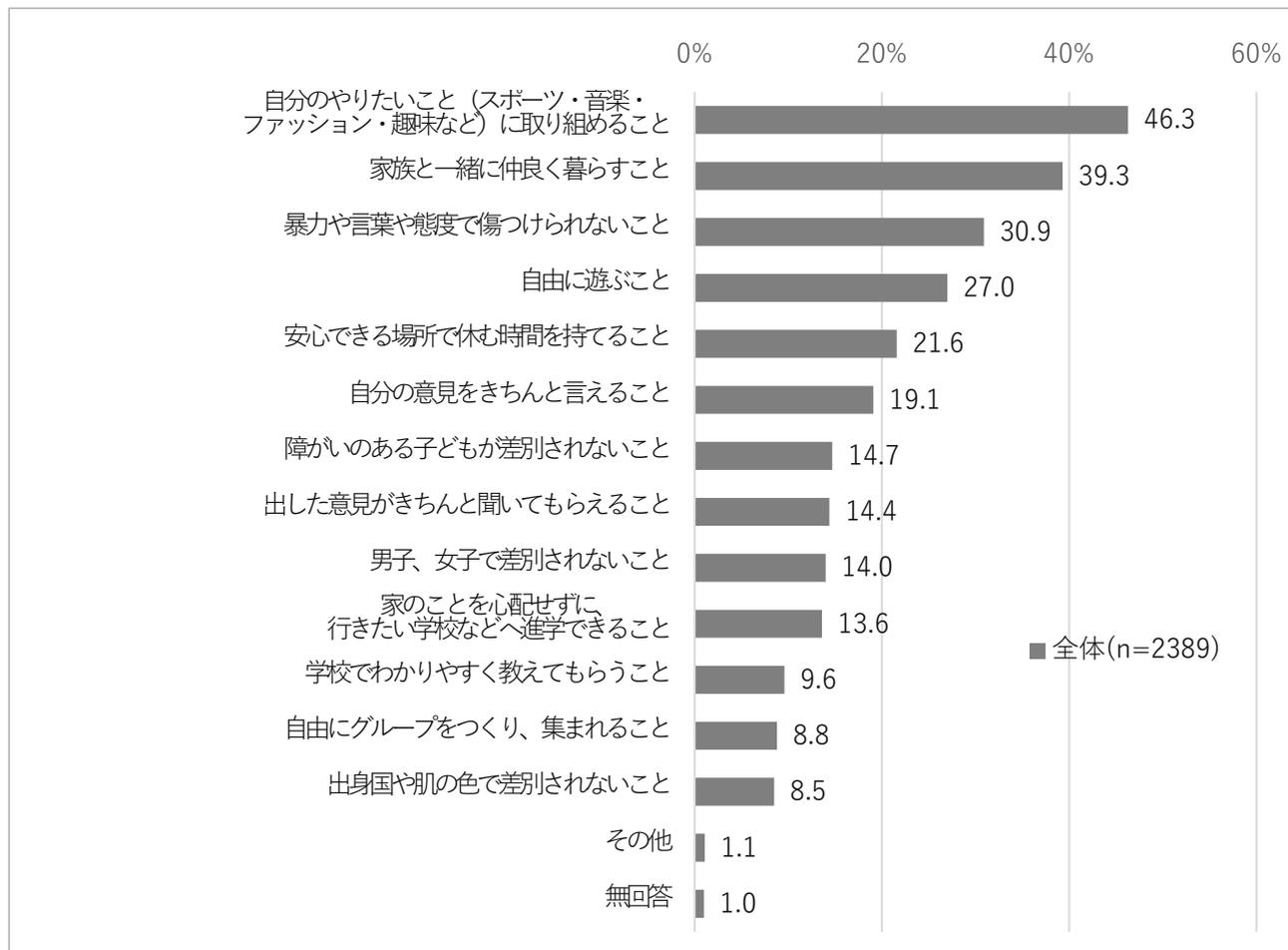


(単位：人、%)

区分	人数	自分の家（リビングなど）	自分の部屋	親せきの家	友達の家	学校	部活動（学校外でのクラブ活動をふくむ）	塾や習い事	公園	図書館・児童館・地域センター	プレーパークや地域の居場所	ない（わからない）	その他	無回答
全体	2389	68.1	60.8	13.0	16.0	24.8	10.3	10.6	11.0	10.2	2.6	5.0	3.0	0.3
小学生	1295	72.5	52.3	13.5	18.6	29.0	5.6	11.4	15.8	13.2	3.3	5.4	4.8	0.2
中学生	1094	62.8	70.8	12.4	12.9	19.9	16.0	9.7	5.3	6.6	1.7	4.5	0.9	0.4

問7 くだんの生活の中で特に重要だと思うことは、次のうちどれですか。(3つまで○)

生活の中で特に重要だと思うことは、「自分のやりたいことに取り組めること」が46.3%で最も多く、次いで、「家族と一緒に仲良く暮らすこと」が39.3%となっています。



(単位：人、%)

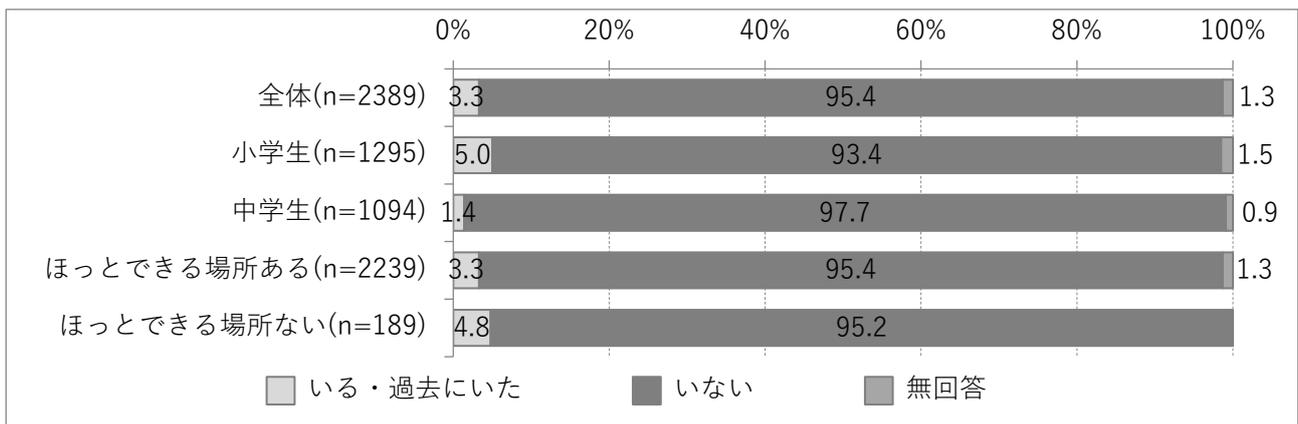
	人数	へ進学できること	に家のことを心配せずに行きたい学校など	傷つけられないこと	と聞いた意見がきちんと	学校でわかりやすく	自分のやりたいこと (スポーツ・音楽・ファッション・趣味など) に取り組めること	自分の意見をきちんと言えること	障がいのある子どもが差別されないこと
全体	2389	13.6	30.9	14.4	9.6	46.3	19.1	14.7	
小学生	1295	11.5	30.7	13.4	9.8	40.9	17.5	17.0	
中学生	1094	16.2	31.3	15.4	9.3	52.6	21.0	12.0	

	男子、女子で差別されないこと	出身国や肌の色で差別されないこと	安心できる時間を持つこと	自由に遊ぶこと	自由にグループ集まれること	家族と一緒に仲良く暮らすこと	その他	
全体	14.0	8.5	21.6	27.0	8.8	39.3	1.1	1.0
小学生	15.4	8.0	20.6	27.9	8.4	45.3	1.2	1.2
中学生	12.4	9.0	22.7	25.9	9.2	32.1	0.9	0.9

3 家族のケアについて

問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、家族にケアが必要な人がいる場合に、大人がするような家事や家族の介護などをすることです。)
(〇はいくつでも)

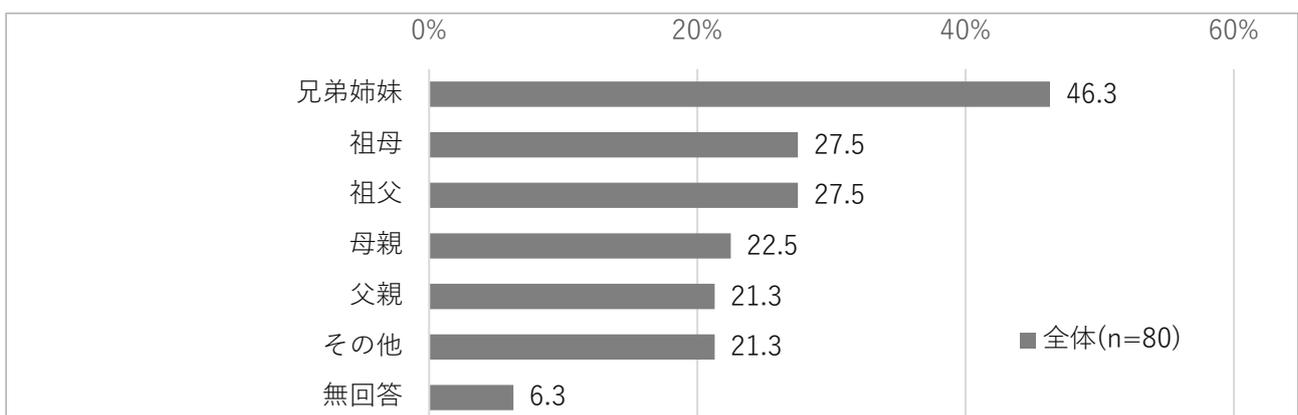
家族の中にお世話をしている人がいるかについては、「いない」が95.4%で最も多く、次いで、「いる・過去にいた」が3.3%となっています。



問9以降はお世話をしている人が「いる・過去にいた」と回答したケアラーのみが対象

問9①お世話を必要な方の状況を教えてください。

お世話を必要としている人は、「兄弟姉妹」が46.3%で最も多く、次いで、「祖母」および「祖父」がそれぞれ27.5%となっています。

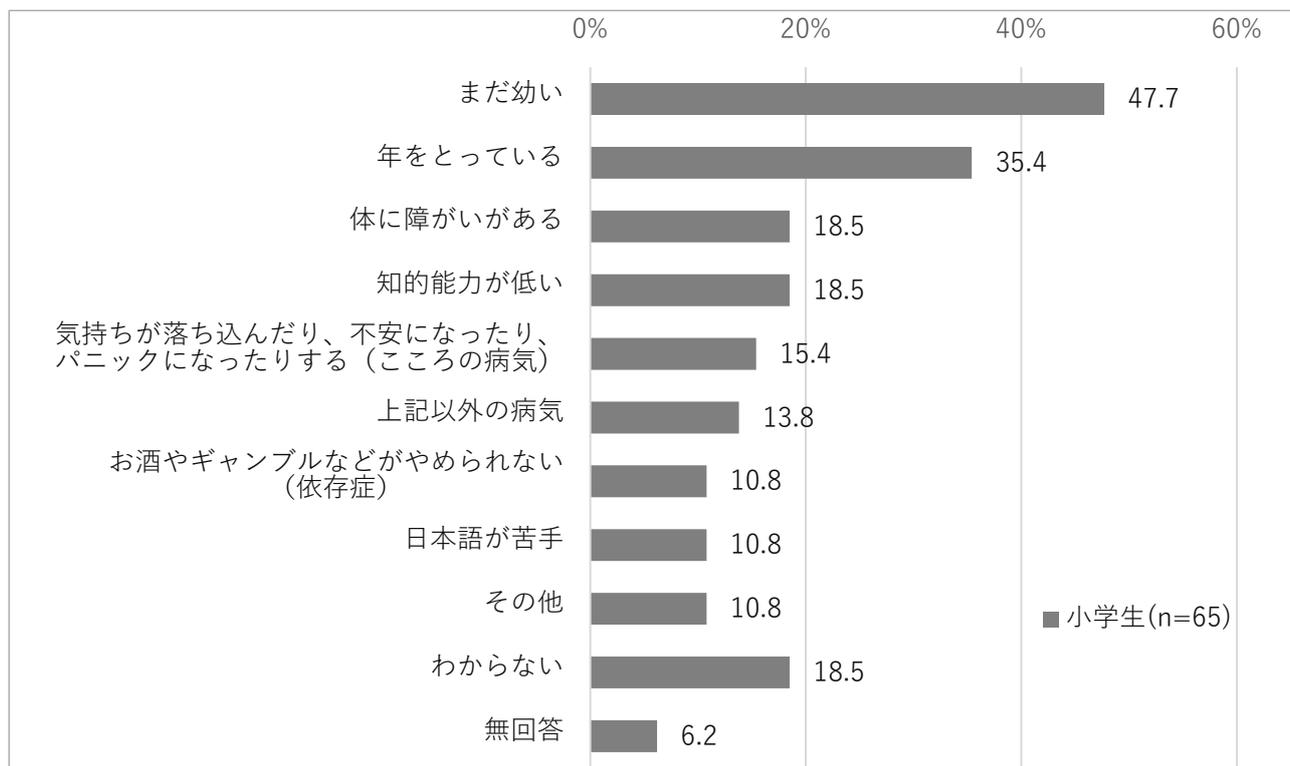


(単位：人、%)

区分	人数	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	80	22.5	21.3	27.5	27.5	46.3	21.3	6.3
小学生	65	21.5	20.0	27.7	26.2	50.8	21.5	6.2
中学生	15	26.7	26.7	26.7	33.3	26.7	20.0	6.7

<小学生>

お世話を行っている方は、「まだ幼い」が47.7%で最も多く、次いで「年をとっている」が35.4%となっています。

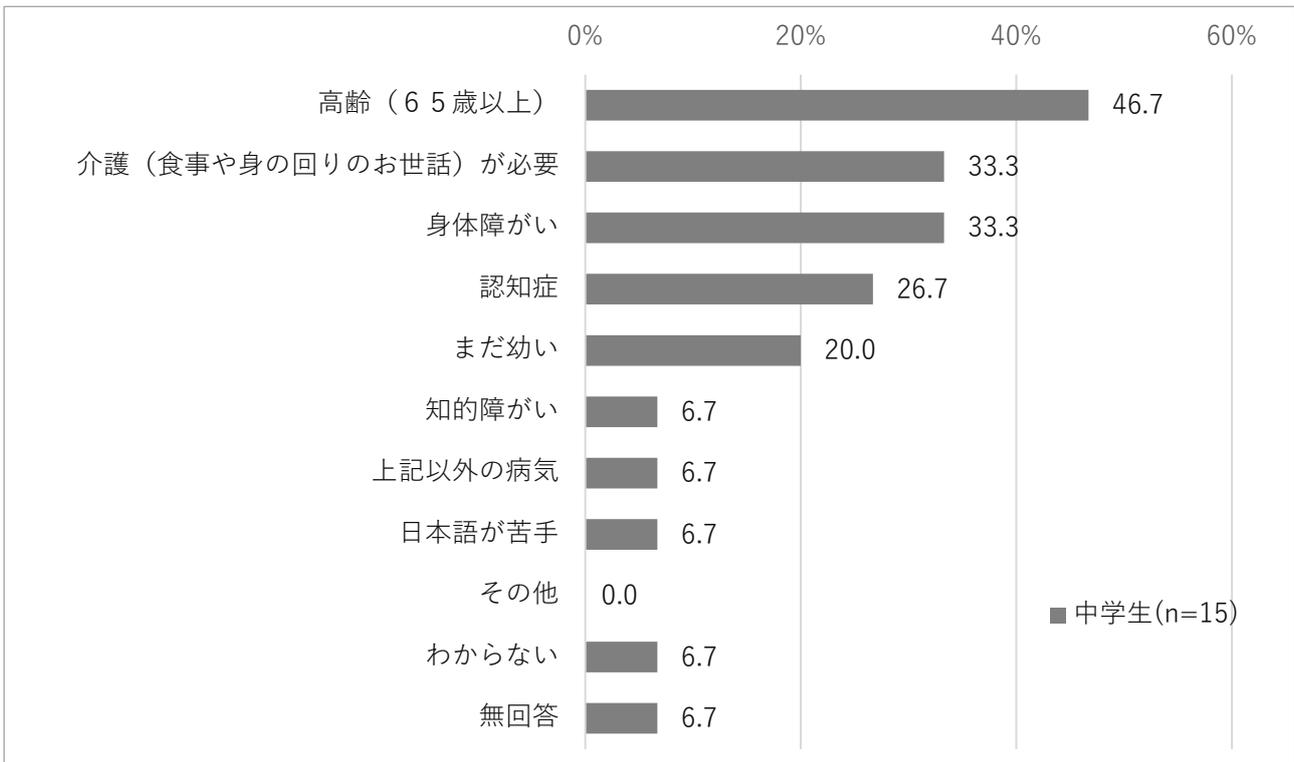


(単位：人、%)

世話対象者	人数	年をとっている	まだ幼い	体に障がいがある	知的能力が低い	気持ちが落ち込んだり、不安になったり、パニックになったりする (こころの病気)	お酒やギャンブルなどがやめられない (依存症)	左記以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
全体	65	35.4	47.7	18.5	18.5	15.4	10.8	13.8	10.8	10.8	18.5	6.2
母親	14	42.9	35.7	21.4	28.6	21.4	28.6	21.4	14.3	14.3	64.3	0.0
父親	13	53.8	30.8	23.1	23.1	15.4	30.8	7.7	15.4	7.7	46.2	0.0
祖母	18	83.3	33.3	27.8	33.3	27.8	27.8	22.2	16.7	16.7	27.8	0.0
祖父	17	82.4	41.2	47.1	47.1	41.2	41.2	41.2	35.3	23.5	35.3	0.0
兄弟姉妹	33	18.2	78.8	15.2	15.2	12.1	9.1	6.1	6.1	6.1	21.2	0.0
その他	14	57.1	50.0	28.6	42.9	28.6	28.6	35.7	28.6	42.9	35.7	0.0

<中学生>

お世話を行っている方は、「高齢（65歳以上）」が46.7%で最も多く、次いで「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」及び「身体障がい」がそれぞれ33.3%となっています。



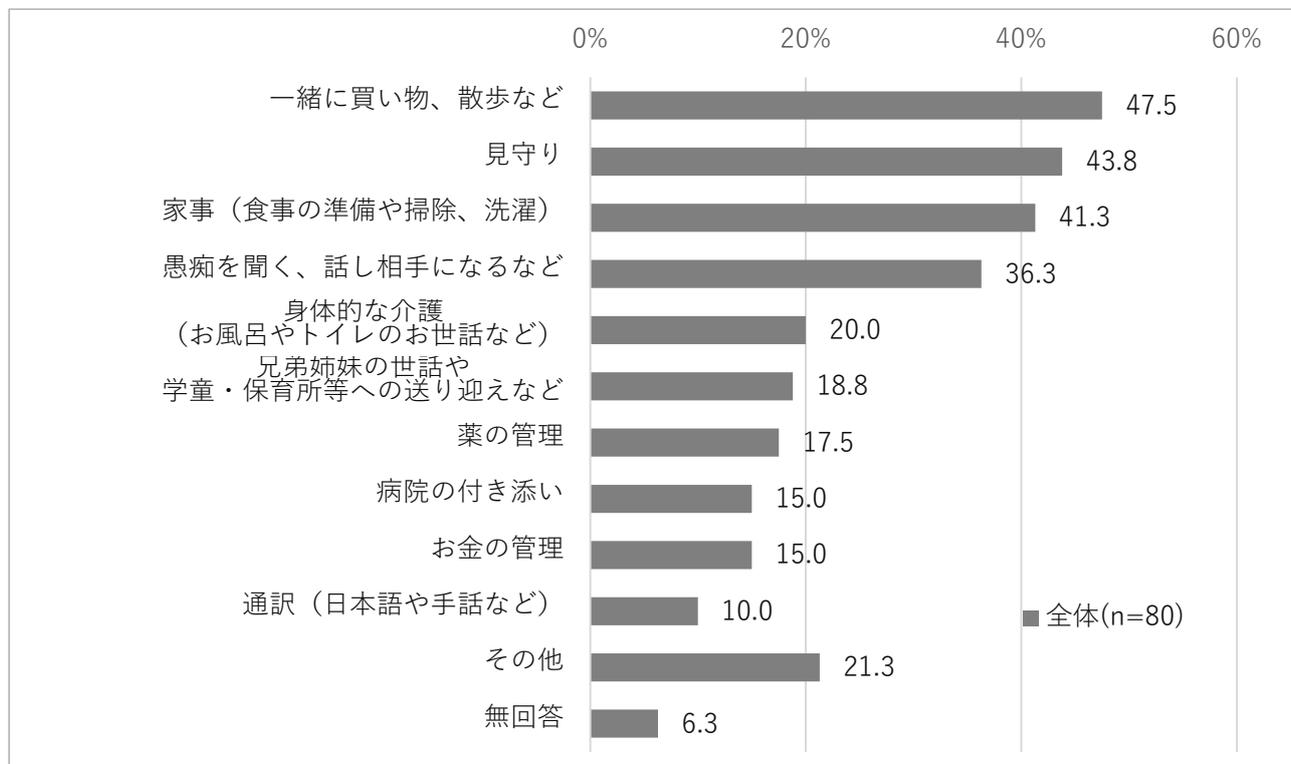
(単位：人、%)

世話対象者	人数	高齢（65歳以上）	まだ幼い	介護（食事や身の回りのお世話）が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	上記以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
全体	65	46.7	20.0	33.3	26.7	33.3	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7
母親	14	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
父親	13	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
祖母	18	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
祖父	17	60.0	0.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
兄弟姉妹	33	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
その他	14	66.7	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

※選択肢「こころの病気（可能性がある場合を含む）」、「依存症（酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題がある）」については選択が皆無であったため、紙面の制約上、図表から除外した。

問9②あなたが行っているお世話の内容を教えてください。

お世話の内容は、「一緒に買い物、散歩など」が47.5%で最も多く、次いで「見守り」が43.8%となっています。

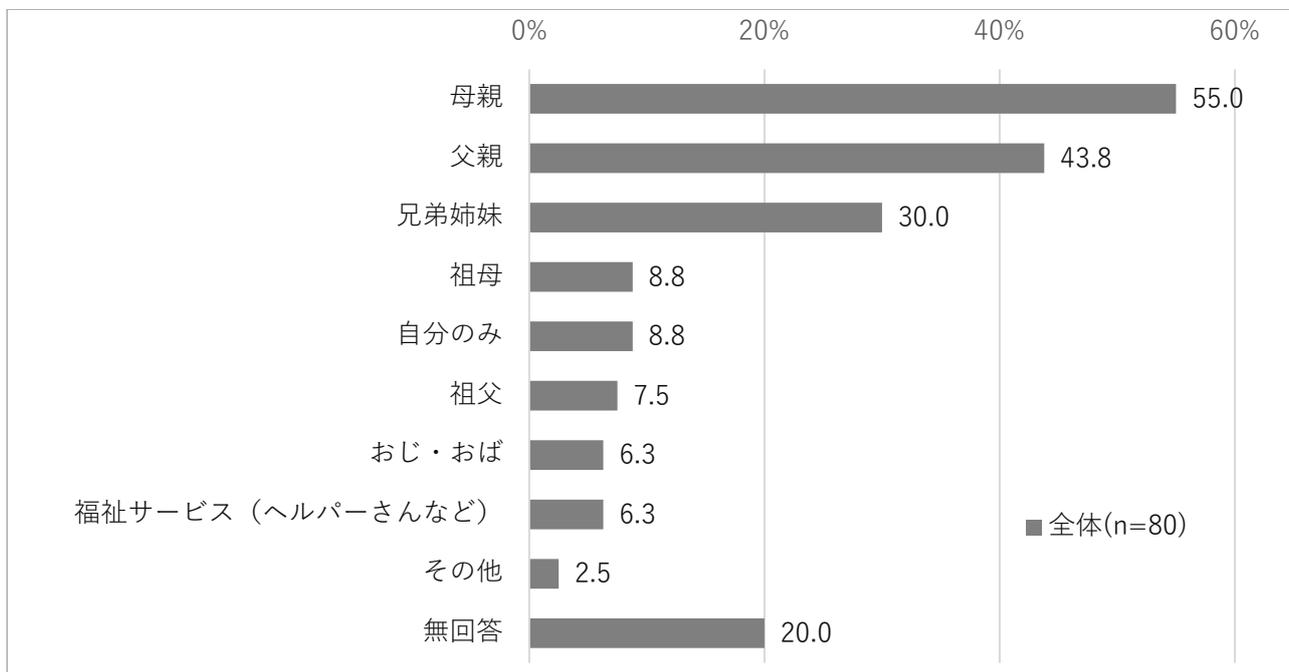


(単位：人、%)

世話対象者	人数	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	兄弟姉妹の世話や学童・保育所等への送り迎えなど	身体的な介護（お風呂やトイレのお世話など）	一緒に買い物、散歩など	病院の付き添い	愚痴を聞く、話し相手になるなど	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	65	41.3	18.8	20.0	47.5	15.0	36.3	43.8	10.0	15.0	17.5	21.3	6.3
母親	14	77.8	22.2	11.1	55.6	27.8	38.9	50.0	11.1	27.8	22.2	22.2	5.6
父親	13	64.7	17.6	5.9	52.9	23.5	41.2	47.1	5.9	23.5	23.5	17.6	11.8
祖母	18	54.5	27.3	22.7	68.2	27.3	59.1	68.2	13.6	22.7	27.3	18.2	4.5
祖父	17	59.1	36.4	36.4	59.1	40.9	54.5	68.2	27.3	36.4	40.9	22.7	0.0
兄弟姉妹	33	29.7	24.3	13.5	40.5	13.5	37.8	45.9	10.8	16.2	13.5	24.3	2.7
その他	14	47.1	29.4	41.2	47.1	29.4	41.2	70.6	23.5	29.4	23.5	52.9	0.0

問 10 お世話は誰と行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話は誰と行っているかについては、「母親」が 55.0%で最も多く、次いで、「父親」が 43.8%となっています。

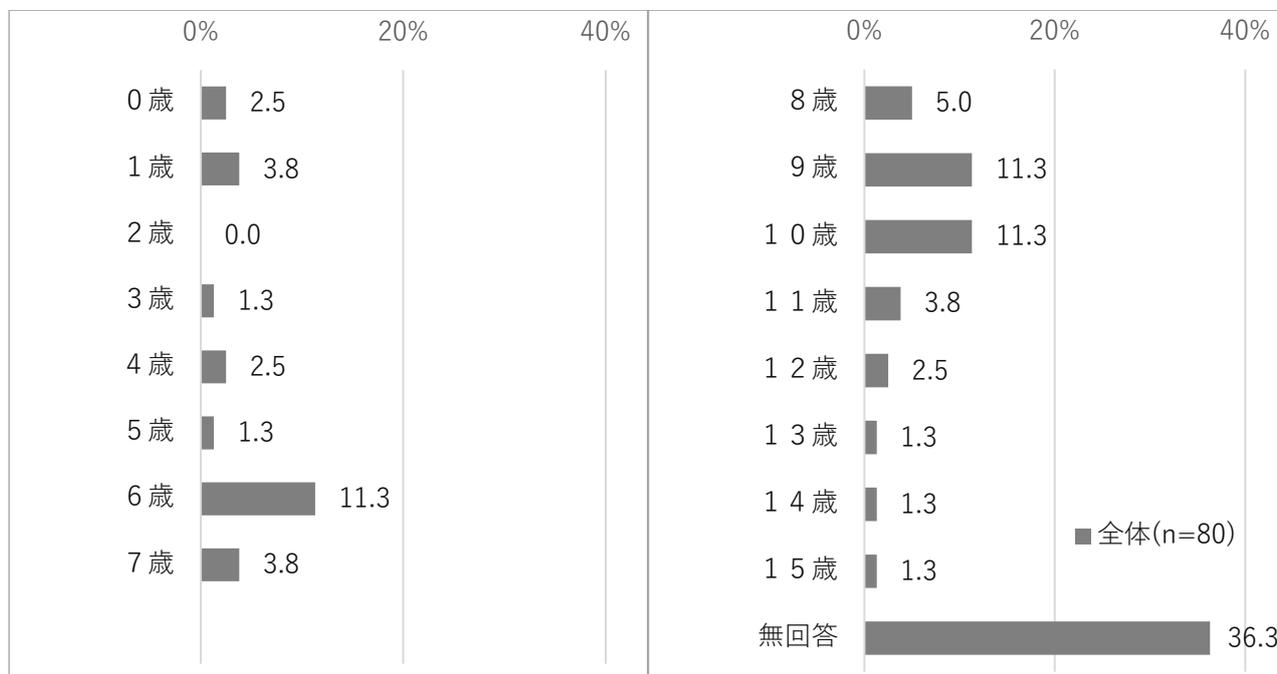


(単位：人、%)

区分	人数	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	おじ・おば	自分のみ	福祉サービス(ヘルパーさんなど)	その他	無回答
全体	80	55.0	43.8	8.8	7.5	30.0	6.3	8.8	6.3	2.5	20.0
小学生	65	50.8	43.1	7.7	6.2	30.8	3.1	10.8	3.1	3.1	21.5
中学生	15	73.3	46.7	13.3	13.3	26.7	20.0	0.0	20.0	0.0	13.3

問 11 お世話はいつからしていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)

お世話を始めた年齢は、「無回答」が36.3%で最も多く、次いで、「6歳」、「9歳」及び「10歳」がそれぞれ11.3%となっています。



(単位：人、%)

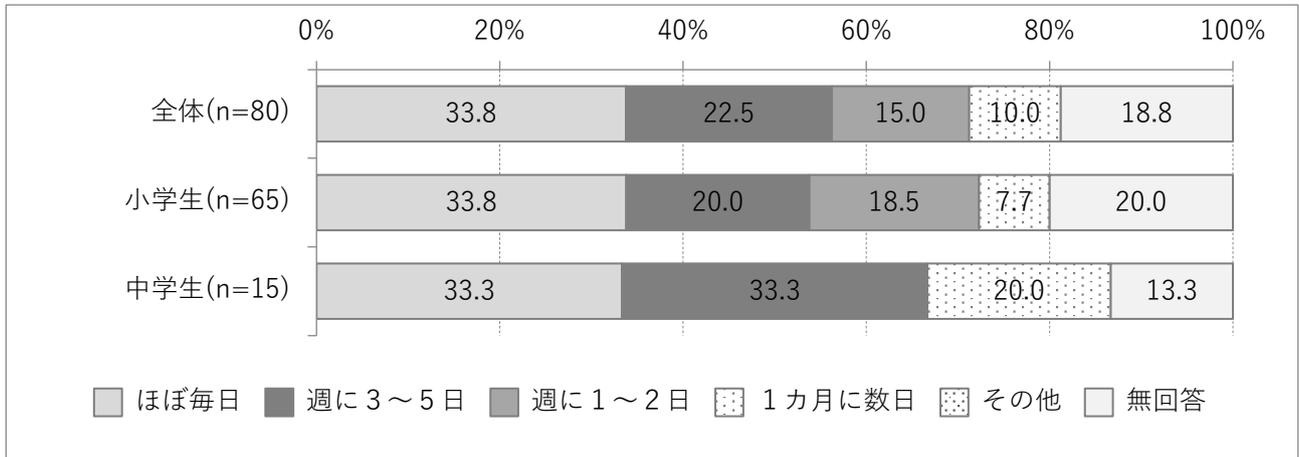
区分	人数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
全体	80	2.5	3.8	0.0	1.3	2.5	1.3	11.3	3.8
小学生	65	3.1	3.1	0.0	1.5	3.1	1.5	10.8	3.1
中学生	15	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7

区分	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	無回答
全体	5.0	11.3	11.3	3.8	2.5	1.3	1.3	1.3	36.3
小学生	6.2	12.3	9.2	3.1	1.5	0.0	0.0	0.0	41.5
中学生	0.0	6.7	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3

問 12 お世話をしている回数を教えてください。

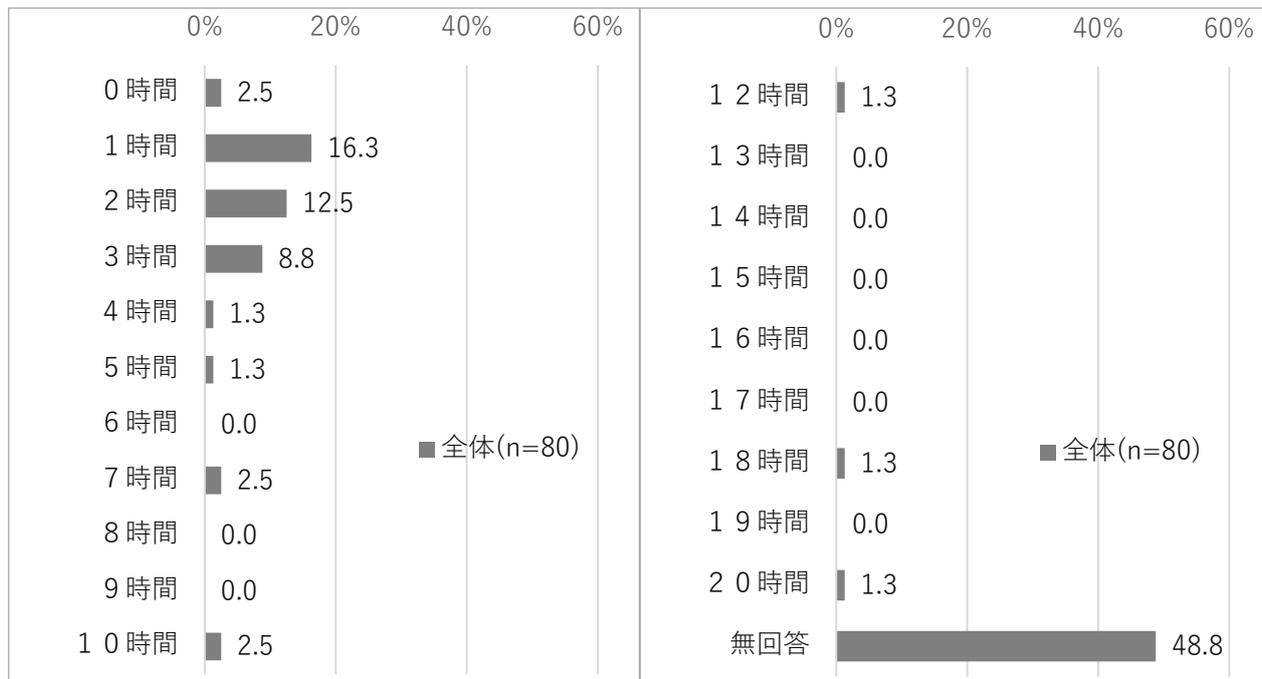
お世話をしている回数は、「ほぼ毎日」が 33.8% で最も多く、次いで、「週に 3～5 回」が 22.5% となっています。

学年別で見ると、中学生では、「週に 3～5 日」が小学生に比べて 13.3 ポイント高くなっています。



問 13 平日にお世話はどれくらい行っていますか。1日の時間数をお答えください。(日によって違う場合は、この1カ月の中で最も長い日の時間をお答えください)

お世話をしている1日の時間数は、「1時間」が16.3%で最も多く、次いで、「2時間」が12.5%となっています。



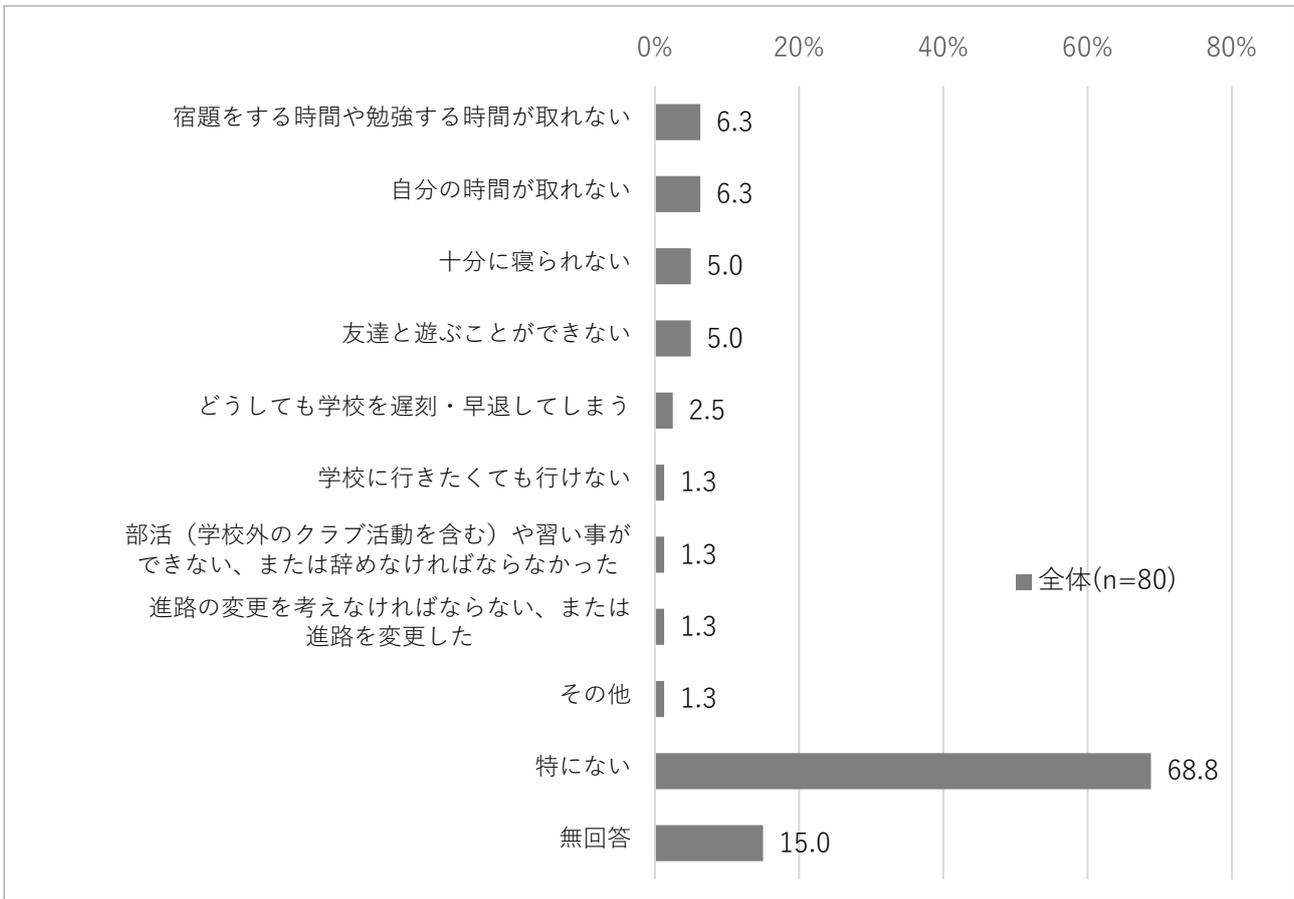
(単位：人、%)

区分	人数	0時間	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間
全体	80	2.5	16.3	12.5	8.8	1.3	1.3	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5
小学生	65	1.5	15.4	12.3	9.2	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	3.1
中学生	15	6.7	20.0	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0

区分	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	無回答
全体	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	48.8
小学生	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	50.8
中学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

問 14 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をしていることで、やりたいけどできないことは、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」及び「自分の時間が取れない」がそれぞれ 6.3%で最も多く、次いで、「十分に寝られない」が 5.0%となっています。

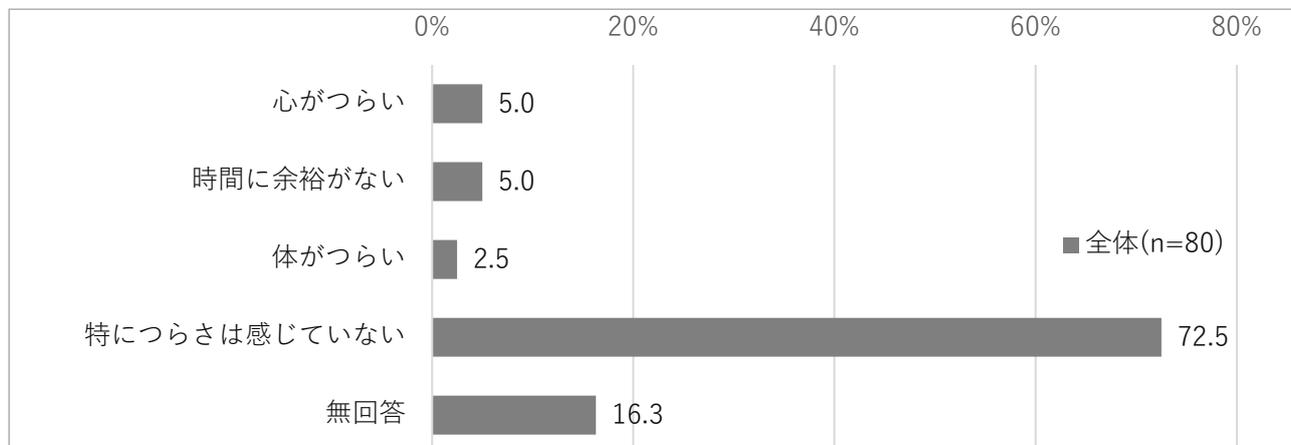


(単位：人、%)

区分	人数	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	十分に寝られない	友達と遊ぶことができない	部活（学校外のクラブ活動を含む）や習い事ができない、または辞めなければならなかった	進路の変更を考えなければならない、または進路を変更した	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答
全体	80	1.3	2.5	6.3	5.0	5.0	1.3	1.3	6.3	68.8	1.3	15.0
小学生	65	1.5	3.1	6.2	6.2	6.2	1.5	0.0	7.7	66.2	1.5	16.9
中学生	15	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	80.0	0.0	6.7

問 15 お世話をすることにつらさを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話をすることにつらさを感じているかについては、「心がつらい」及び「時間に余裕がない」が5.0%で最も多く、次いで、「身体がつらい」が2.5%となっています。

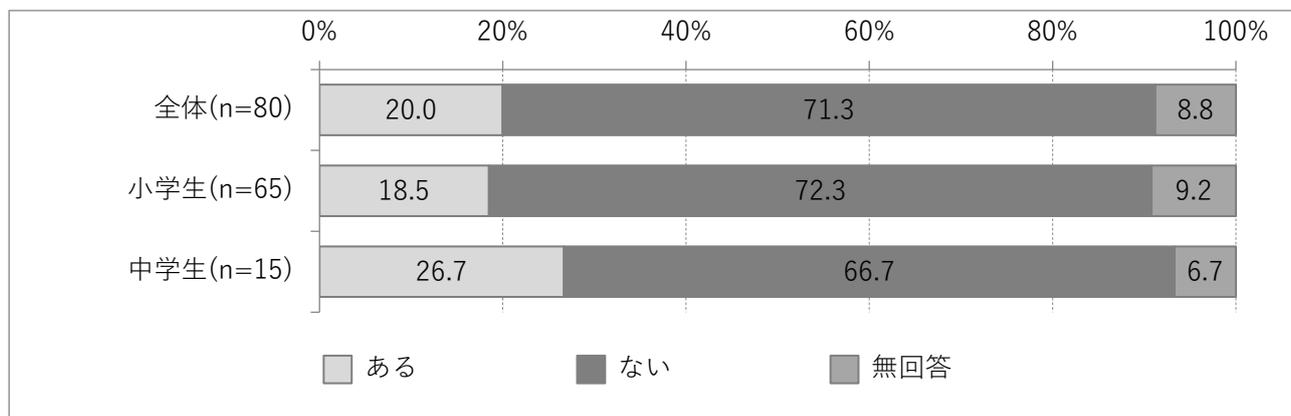


(単位：人、%)

区分	人数	体がつらい	心がつらい	時間に余裕がない	特につらさを感じていない	無回答
全体	80	2.5	5.0	5.0	72.5	16.3
小学生	65	3.1	3.1	4.6	72.3	16.9
中学生	15	0.0	13.3	6.7	73.3	13.3

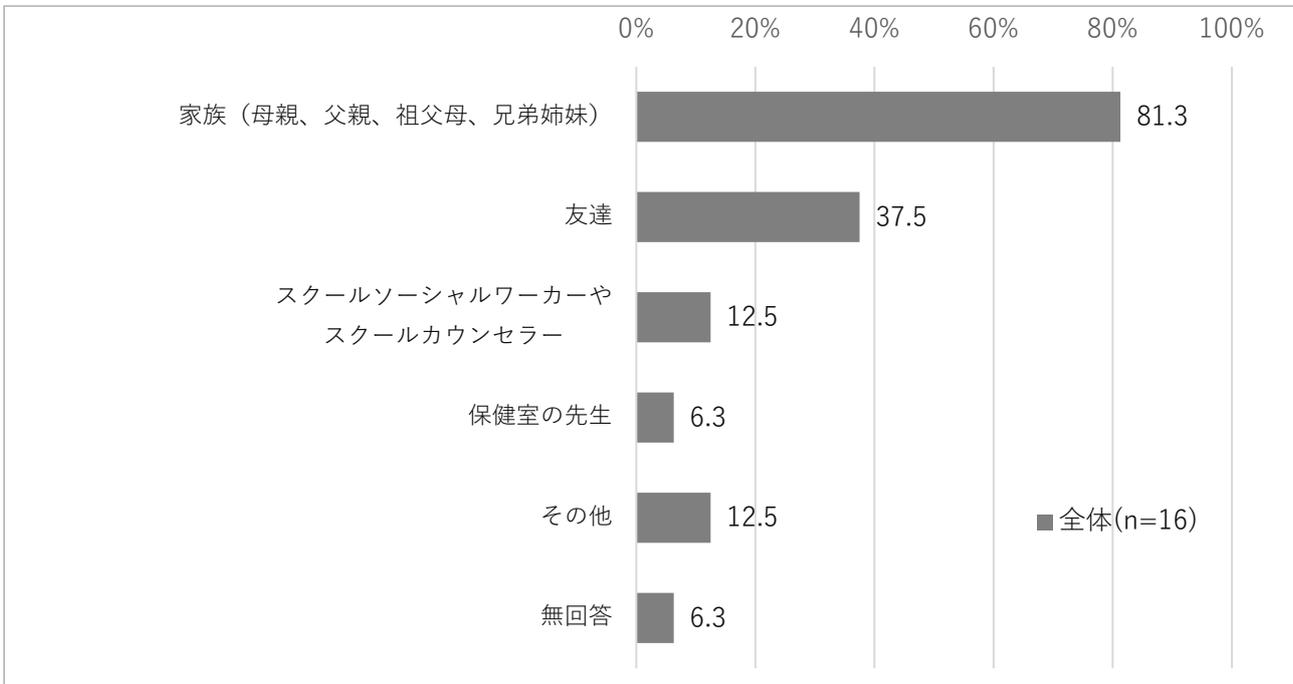
問 16 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはあるかについては、「ない」が71.3%で最も多く、次いで、「ある」が20.0%となっています。



問 17【問 16 で「ある」と回答した方にお伺いします】それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人については、「家族（母親、父親、祖父母、兄弟姉妹）」が 81.3%で最も多く、次いで、「友達」が 37.5%となっています。



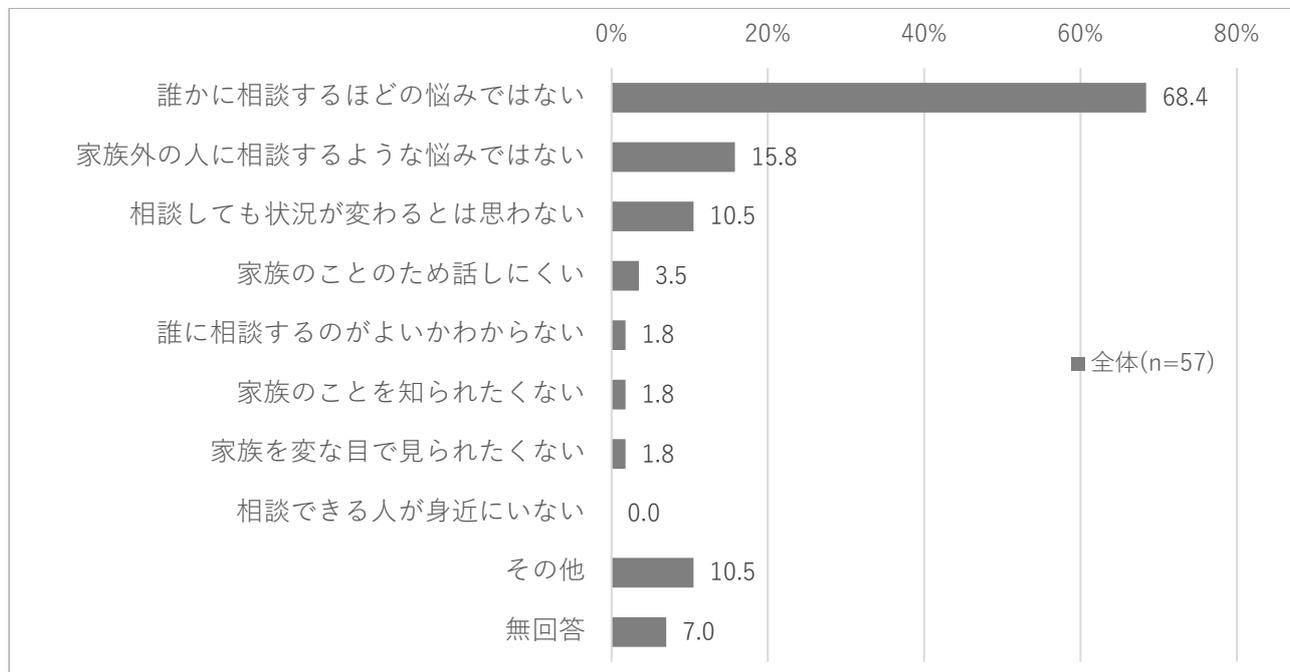
(単位：人、%)

区分	人数	家族（母親、父親、祖父母、兄弟姉妹）	友達	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	その他	無回答
全体	16	81.3	37.5	6.3	12.5	12.5	6.3
小学生	12	75.0	41.7	8.3	16.7	16.7	8.3
中学生	4	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※その他の回答選択肢として、「親戚（おじ、おばなど）」、「学校の先生（保健室の先生以外）」、「お医者さん、その他病院の人」、「ヘルパーやケアマネさん」、「役所やあいとぴあの人」、「近所の人」、「ネットで知り合った人」を調査票に掲載していたが、小学生・中学生ともに回答なしだったため、本報告書ではグラフ及び表に含めていない。

問 18【問 16 で「ない」と回答した方にお伺いします】相談していない理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

相談していない理由については、「誰かに相談するほどの悩みではない」が 68.4%で最も多く、次いで、「家族外の人に相談するような悩みではない」が 15.8%となっています。

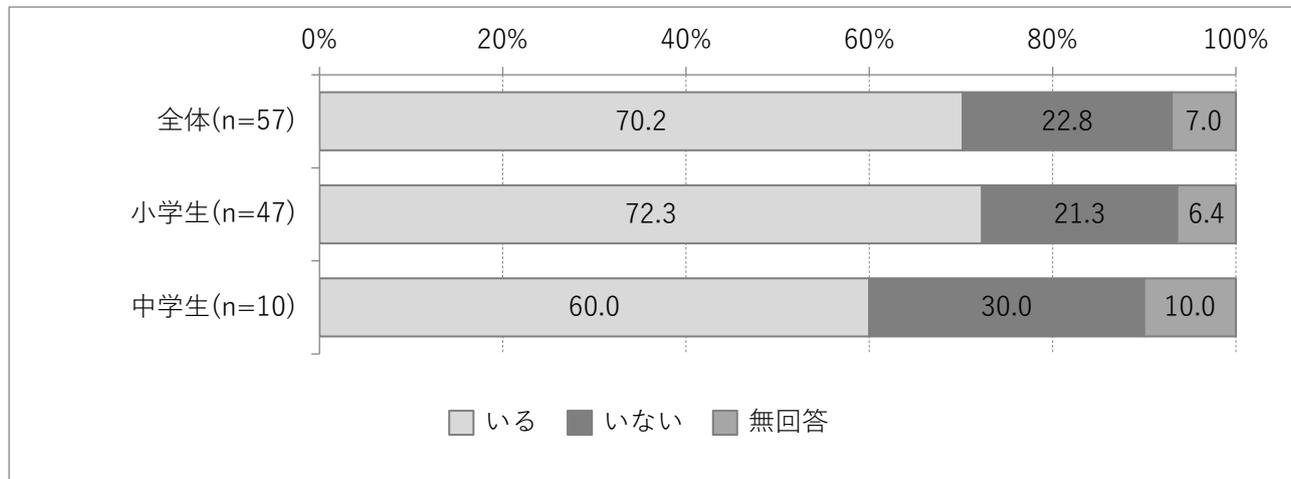


(単位：人、%)

区分	人数	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するような悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族を変な目で見られたくない	相談しても状況が変わるとは思わない	その他	無回答
全体	57	68.4	15.8	1.8	0.0	3.5	1.8	1.8	10.5	10.5	7.0
小学生	47	70.2	14.9	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	10.6	8.5	8.5
中学生	10	60.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0

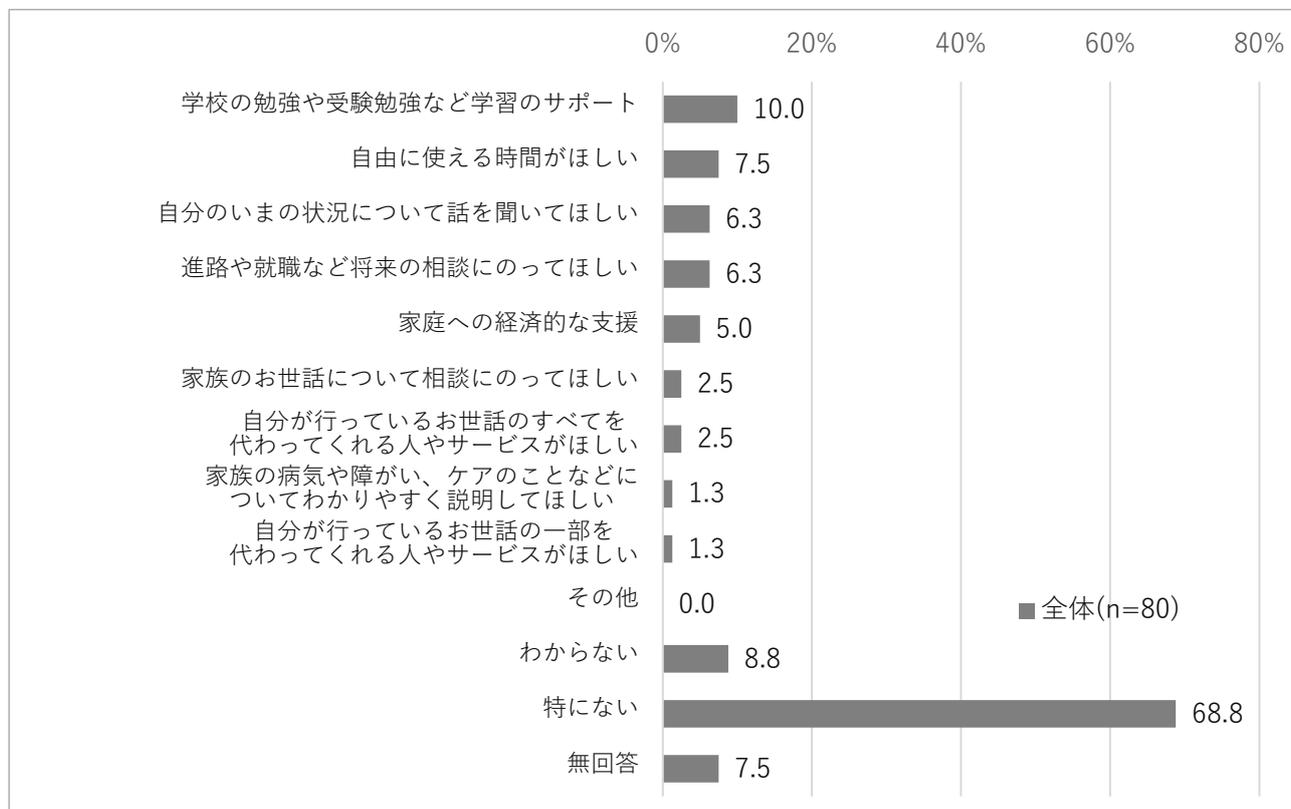
19【問 16 で「ない」と回答した方にお伺いします】お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人については、「いる」が70.2%で最も多く、次いで、「いない」が22.8%となっています。



問 20 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としていることは、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」が10.0%で最も多く、次いで、「自由に使える時間がほしい」が7.5%となっています。



(単位：人、%)

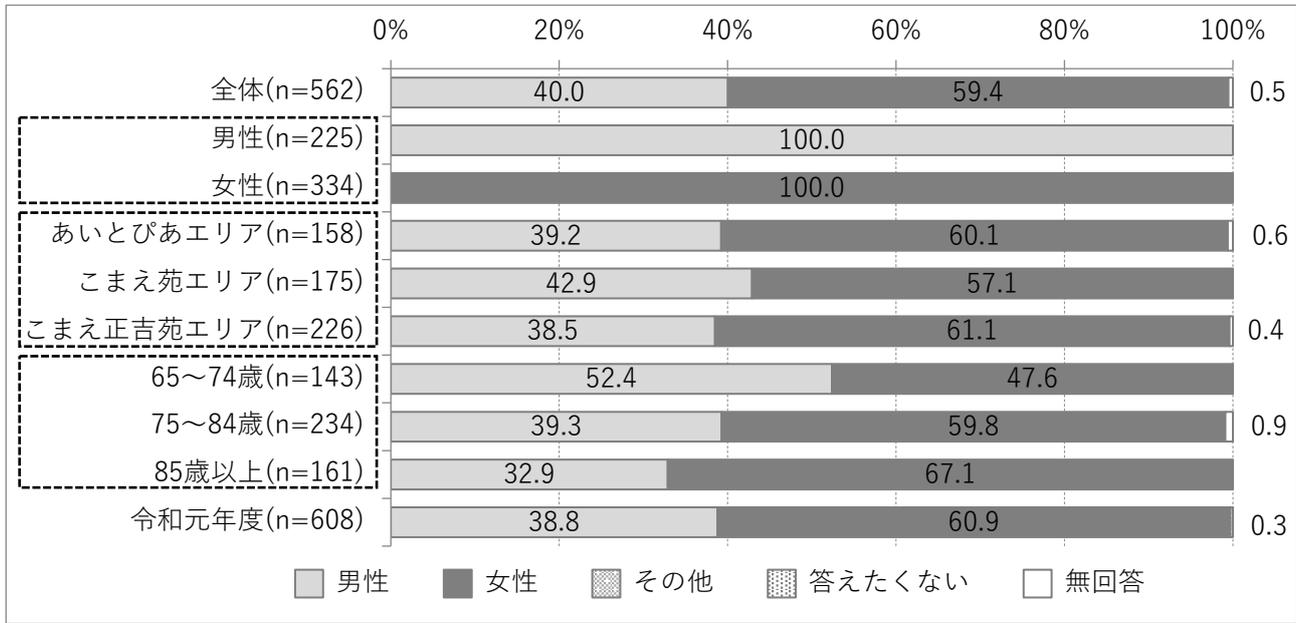
区分	人数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答
全体	80	6.3	2.5	1.3	2.5	1.3	7.5	6.3	10.0	5.0	8.8	68.8	0.0	7.5
小学生	65	6.2	3.1	1.5	3.1	1.5	9.2	6.2	9.2	4.6	9.2	67.7	0.0	7.7
中学生	15	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7	73.3	0.0	6.7

第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

基本 あなた(宛名のご本人)の基本情報について

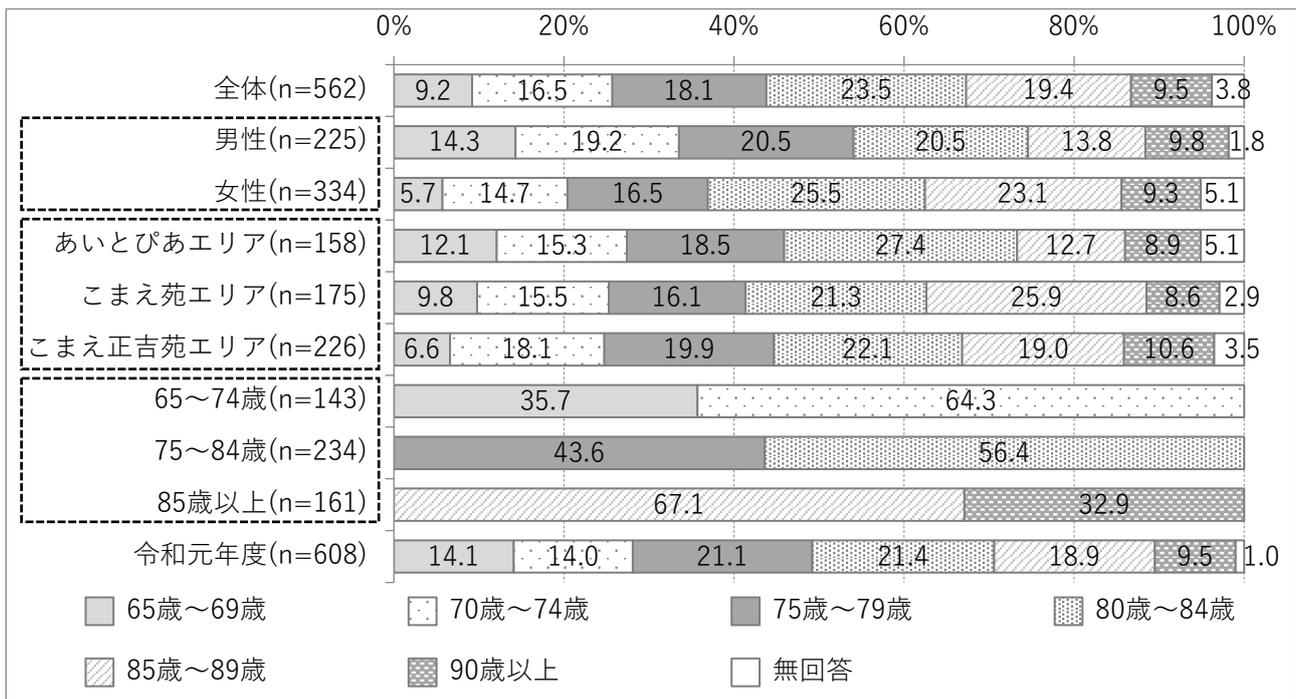
基本(1) 性別を教えてください。(○は1つ)

性別は、「女性」が59.7%で最も多く、次いで、「男性」が40.3%となっています。



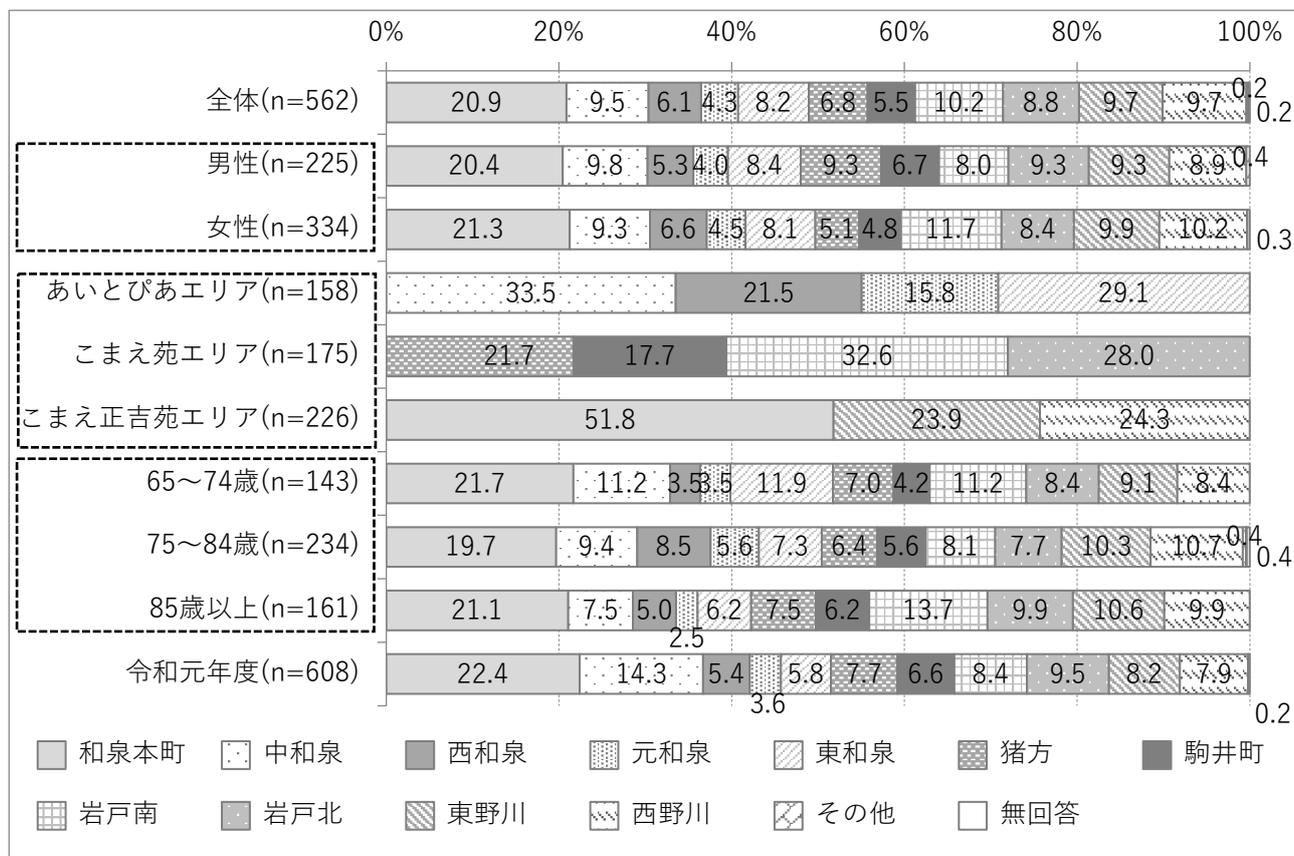
基本(2) 年齢を教えてください。(○は1つ)

年齢は、「80~84歳」が23.5%で最も多く、次いで、「85~89歳」が19.4%となっています。



基本（3）おすまいの地域を教えてください。（○は1つ）

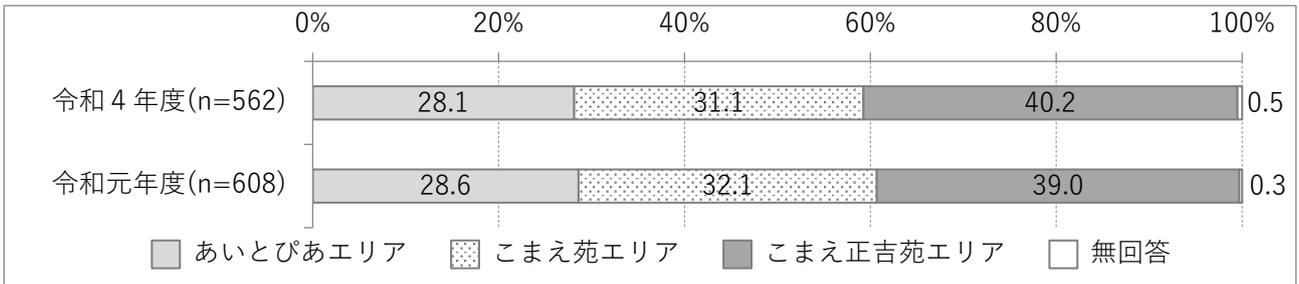
居住地域は、「和泉本町」が20.9%で最も多く、次いで、「岩戸南」が10.2%となっています。



(単位：人、%)

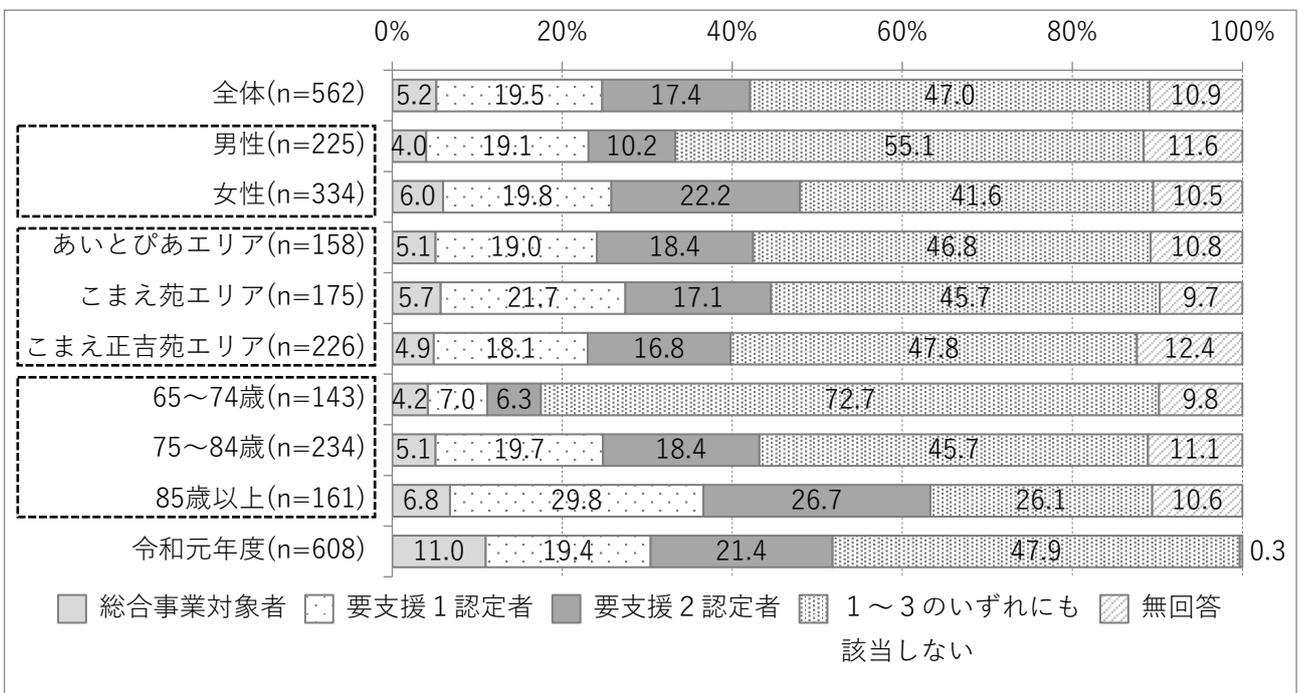
区分	人数	和泉本町	中和泉	西和泉	元和泉	東和泉	猪方	駒井町	岩戸南	岩戸北	東野川	西野川	その他	無回答
全体	562	20.9	9.5	6.1	4.3	8.2	6.8	5.5	10.2	8.8	9.7	9.7	0.2	0.2
男性	225	20.4	9.8	5.3	4.0	8.4	9.3	6.7	8.0	9.3	9.3	8.9	0.4	0.0
女性	334	21.3	9.3	6.6	4.5	8.1	5.1	4.8	11.7	8.4	9.9	10.2	0.0	0.3
あいとぴあエリア	158	0.0	33.5	21.5	15.8	29.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ苑エリア	175	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	17.7	32.6	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ正吉苑エリア	226	51.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.9	24.3	0.0	0.0
65～74歳	143	21.7	11.2	3.5	3.5	11.9	7.0	4.2	11.2	8.4	9.1	8.4	0.0	0.0
75～84歳	234	19.7	9.4	8.5	5.6	7.3	6.4	5.6	8.1	7.7	10.3	10.7	0.4	0.4
85歳以上	161	21.1	7.5	5.0	2.5	6.2	7.5	6.2	13.7	9.9	10.6	9.9	0.0	0.0
令和元年度	608	22.4	14.3	5.4	3.6	5.8	7.7	6.6	8.4	9.5	8.2	7.9	0.0	0.2

<エリア別>



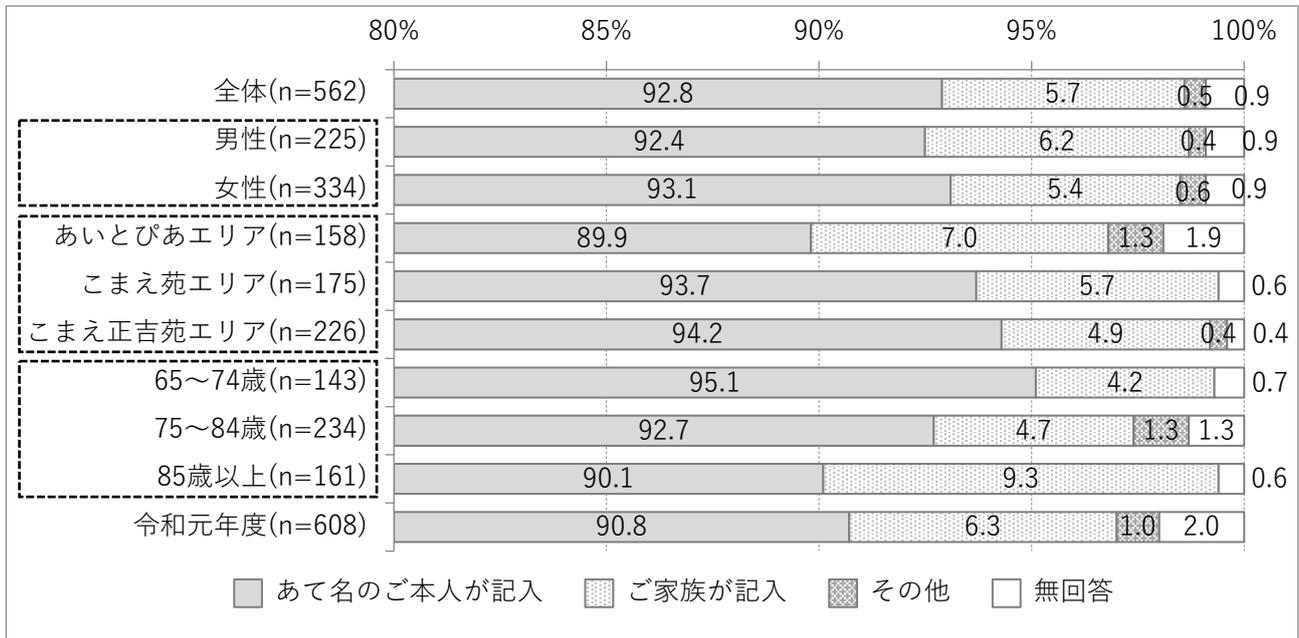
基本（４） 次のいずれかに該当しますか。（○は1つ）

認定区分は、「認定なし」が 47.0%で最も多く、次いで、「要支援1」が 19.5%となっています。



基本（5） 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つ）

調査票を記入された方は、「あて名ご本人が記入」が 92.8%で最も多く、次いで、「ご家族が記入」が 5.7%となっています。

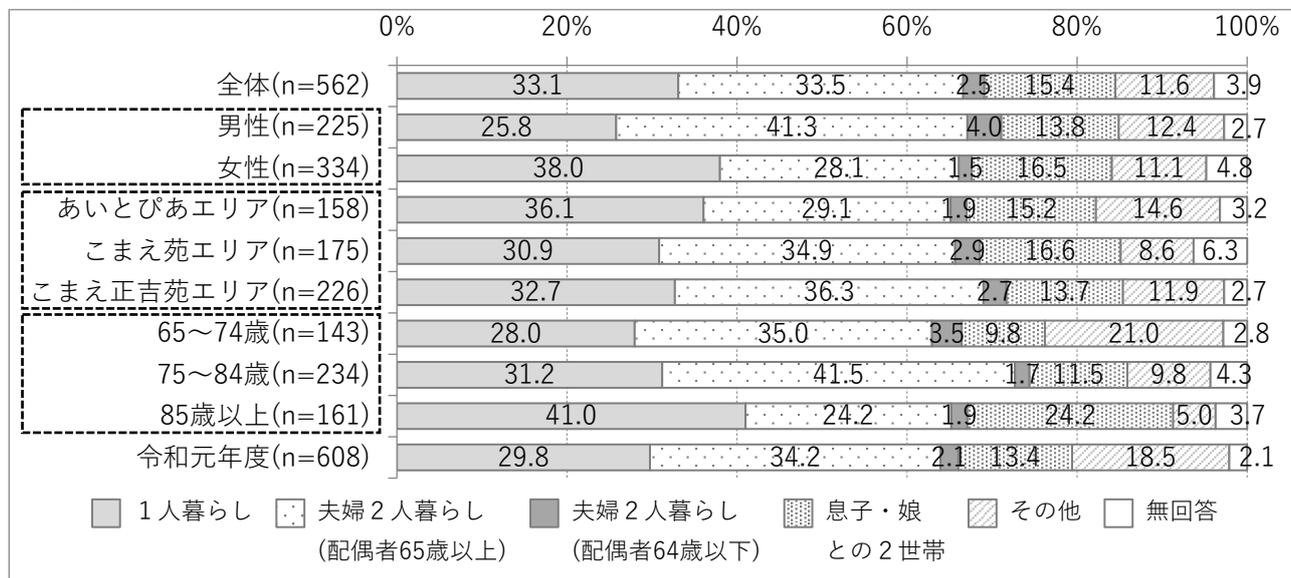


注) パーセンテージの小さい項目の数字を見やすくするために横軸の始点を 80%にした。

1 あなたの(あて名のご本人)や生活状況について

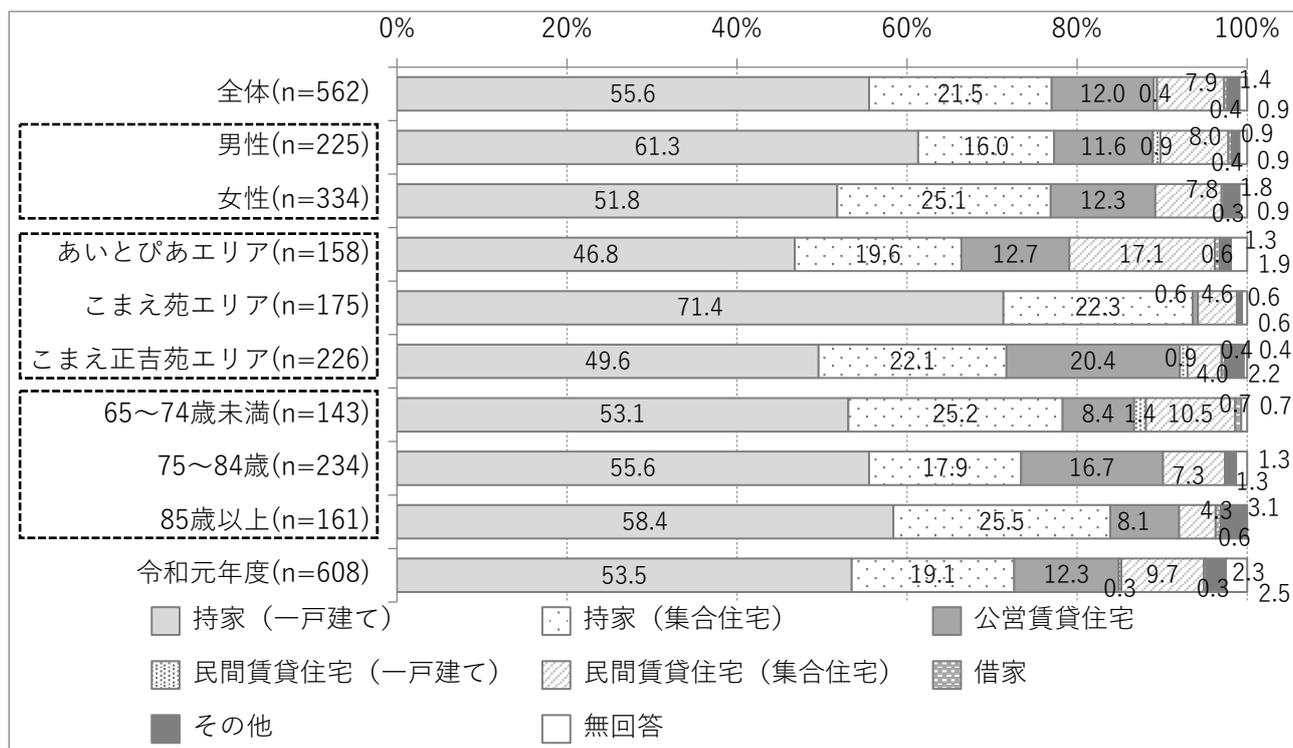
問1 (1) 家族構成を教えてください。(〇は1つ)

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.5%で最も多く、次いで、「1人暮らし」が33.1%となっています。



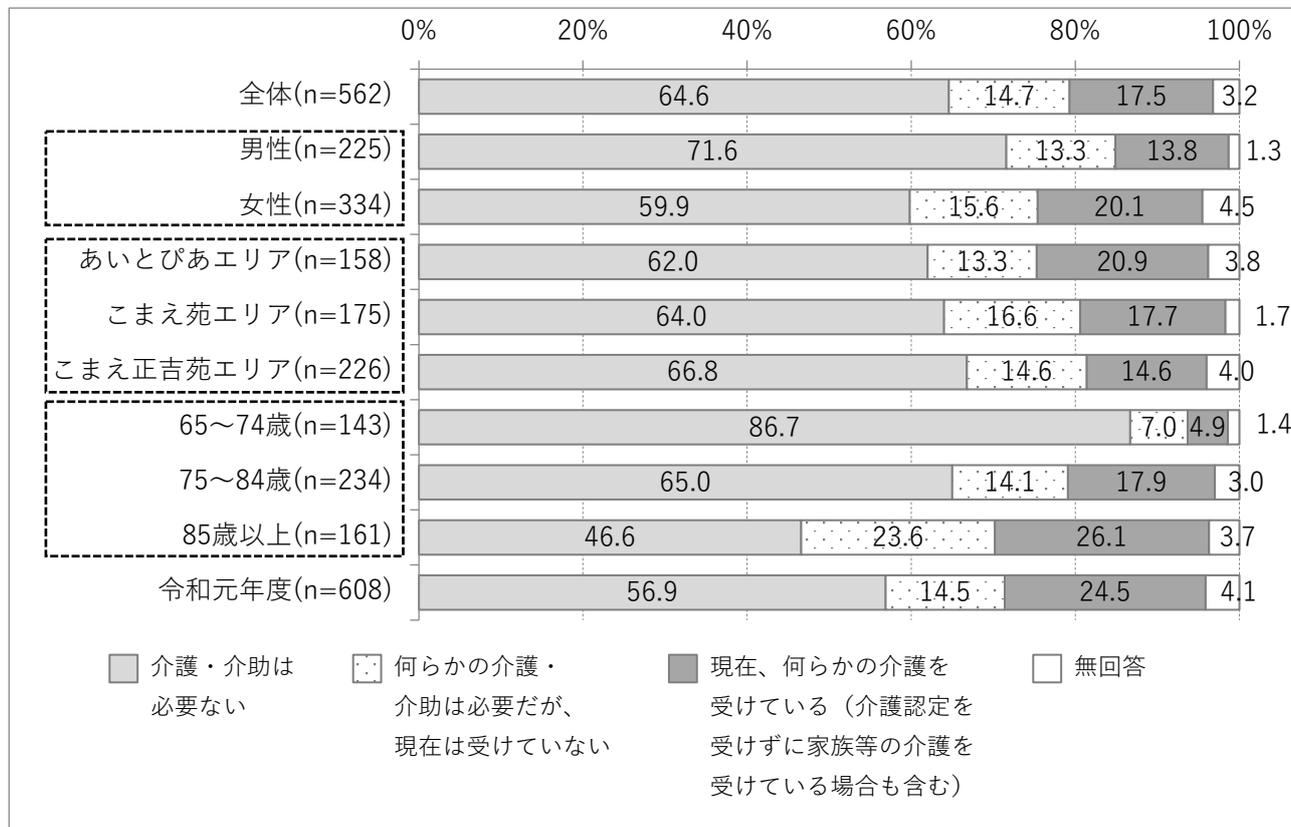
問1 (2) お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

居住形態は、「持家(一戸建て)」が55.6%で最も多く、次いで、「持家(集合住宅)」が21.5%となっています。



問1（3） あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）

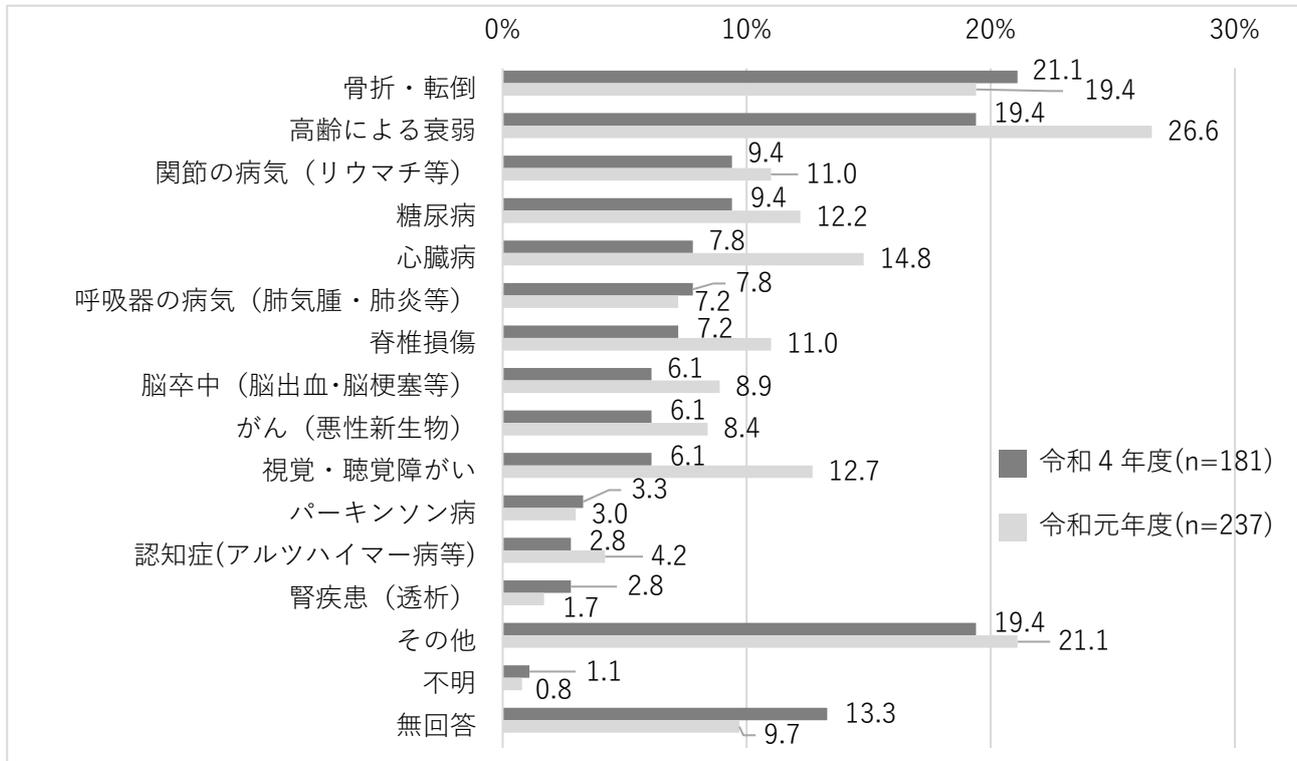
介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が64.6%で最も多く、次いで、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が17.5%となっています。



問1 (3) ① 【(3)において、「1 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」が21.1%で最も多く、次いで、「高齢による衰弱」が19.4%となっています。

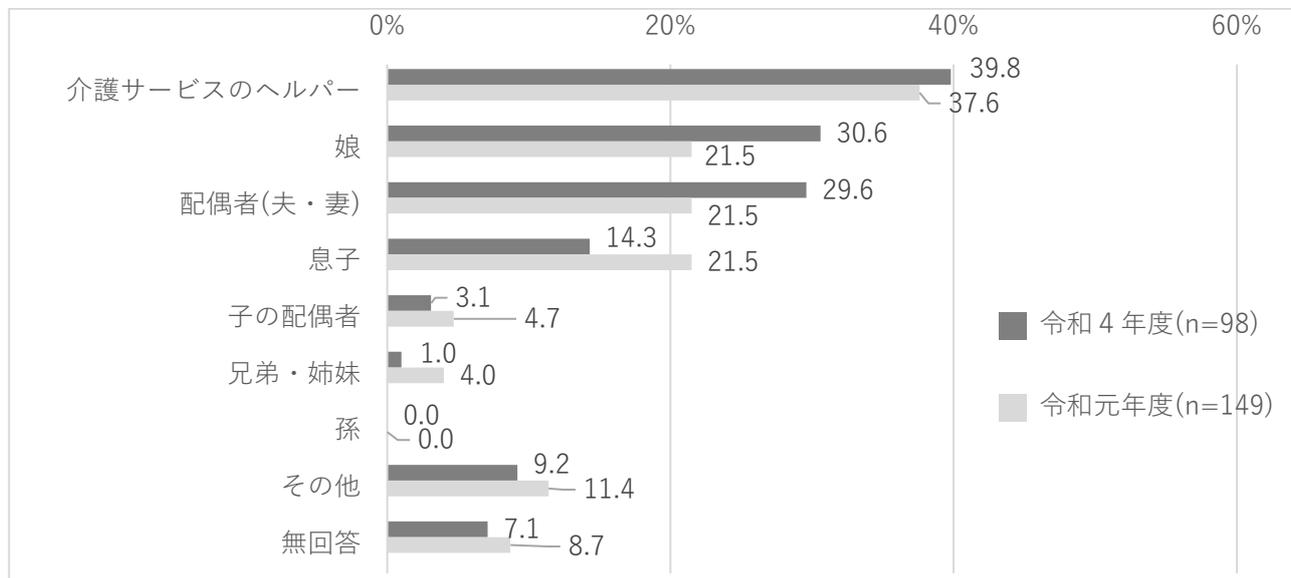


(単位：人、%)

区分	人数	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体	181	6.1	7.8	6.1	7.8	9.4	2.8	3.3	9.4	2.8	6.1	21.1	7.2	19.4	19.4	1.1	13.3
男性	61	9.8	9.8	8.2	14.8	6.6	3.3	4.9	6.6	4.9	4.9	13.1	3.3	13.1	18.0	0.0	13.1
女性	119	4.2	6.7	5.0	4.2	10.9	2.5	2.5	10.9	1.7	6.7	25.2	9.2	22.7	20.2	1.7	13.4
あいとびあエリア	54	5.6	9.3	5.6	13.0	13.0	3.7	7.4	5.6	1.9	5.6	18.5	3.7	13.0	18.5	1.9	14.8
こまえ苑エリア	60	5.0	10.0	5.0	6.7	5.0	1.7	1.7	13.3	5.0	5.0	23.3	8.3	25.0	26.7	0.0	8.3
こまえ正吉苑エリア	66	7.6	4.5	7.6	4.5	10.6	3.0	1.5	9.1	1.5	7.6	21.2	9.1	19.7	13.6	1.5	16.7
65～74歳	17	29.4	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	17.6	0.0	5.9
75～84歳	75	6.7	6.7	5.3	9.3	8.0	2.7	2.7	12.0	2.7	5.3	21.3	6.7	10.7	22.7	0.0	18.7
85歳以上	80	1.3	10.0	7.5	6.3	10.0	3.8	2.5	7.5	1.3	6.3	22.5	10.0	31.3	16.3	1.3	10.0
令和元年度	237	8.9	14.8	8.4	7.2	11.0	4.2	3.0	12.2	1.7	12.7	19.4	11.0	26.6	21.1	0.8	9.7

問1 (3) ② 【(3) において、「3 現在、何らかの介護を受けている」方のみ】
主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

介護、介助されている方は、「介護サービスのヘルパー」が 39.8%で最も多く、次いで、「娘」が各 30.6%となっています。

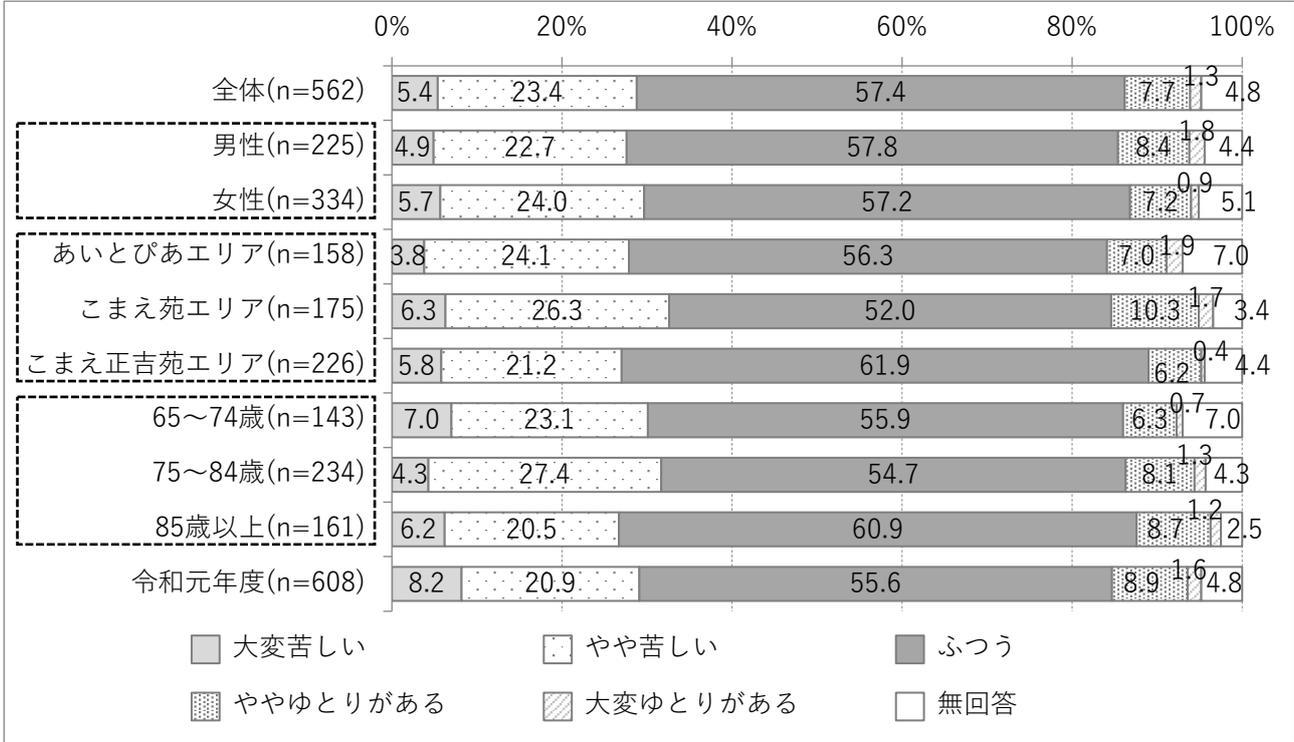


(単位：人、%)

区分	人数	(夫・妻) 配偶者	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体	98	29.6	14.3	30.6	3.1	0.0	1.0	39.8	9.2	7.1
男性	31	41.9	12.9	22.6	0.0	0.0	0.0	35.5	6.5	9.7
女性	67	23.9	14.9	34.3	4.5	0.0	1.5	41.8	10.4	6.0
あいとぴあエリア	33	21.2	24.2	24.2	6.1	0.0	0.0	30.3	0.0	6.1
こまえ苑エリア	31	32.3	12.9	29.0	0.0	0.0	0.0	54.8	16.1	3.2
こまえ正吉苑エリア	33	36.4	6.1	36.4	3.0	0.0	3.0	36.4	9.1	12.1
65～74歳	7	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
75～84歳	42	28.6	9.5	28.6	0.0	0.0	2.4	38.1	11.9	11.9
85歳以上	42	23.8	19.0	35.7	7.1	0.0	0.0	50.0	9.5	2.4
令和元年度	149	21.5	21.5	21.5	4.7	0.0	4.0	37.6	11.4	8.7

問1 (4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

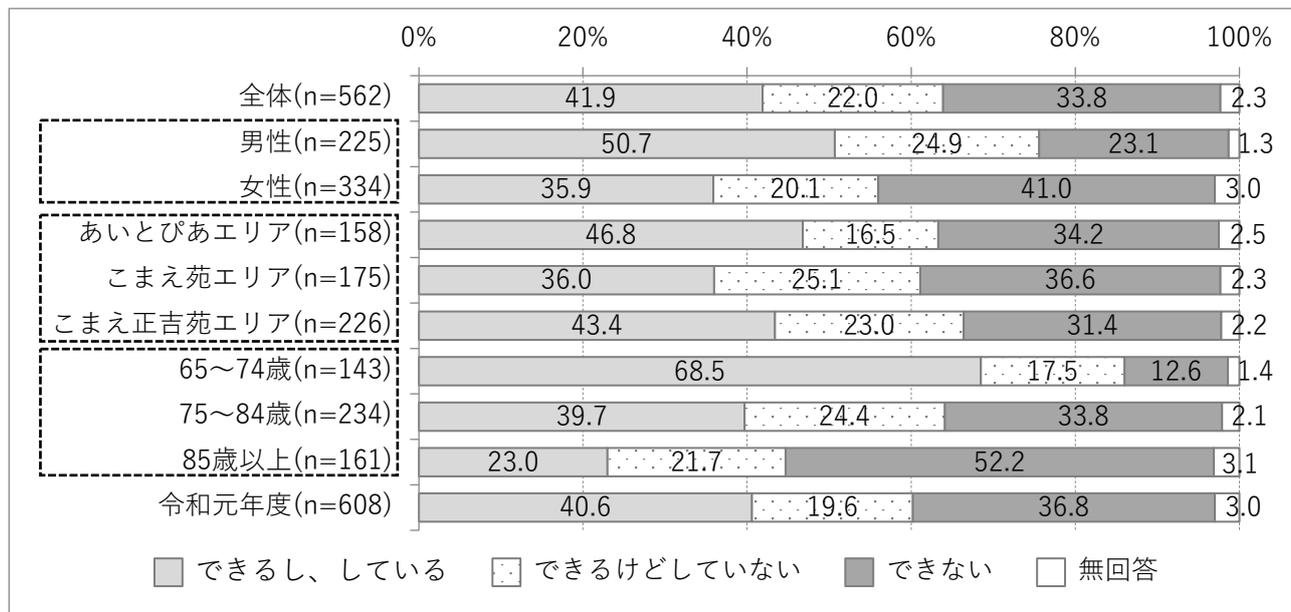
暮らしの経済的な状況については、「ふつう」が57.4%で最も多く、次いで、「やや苦しい」が23.4%となっています。



2 からだを動かすことについて

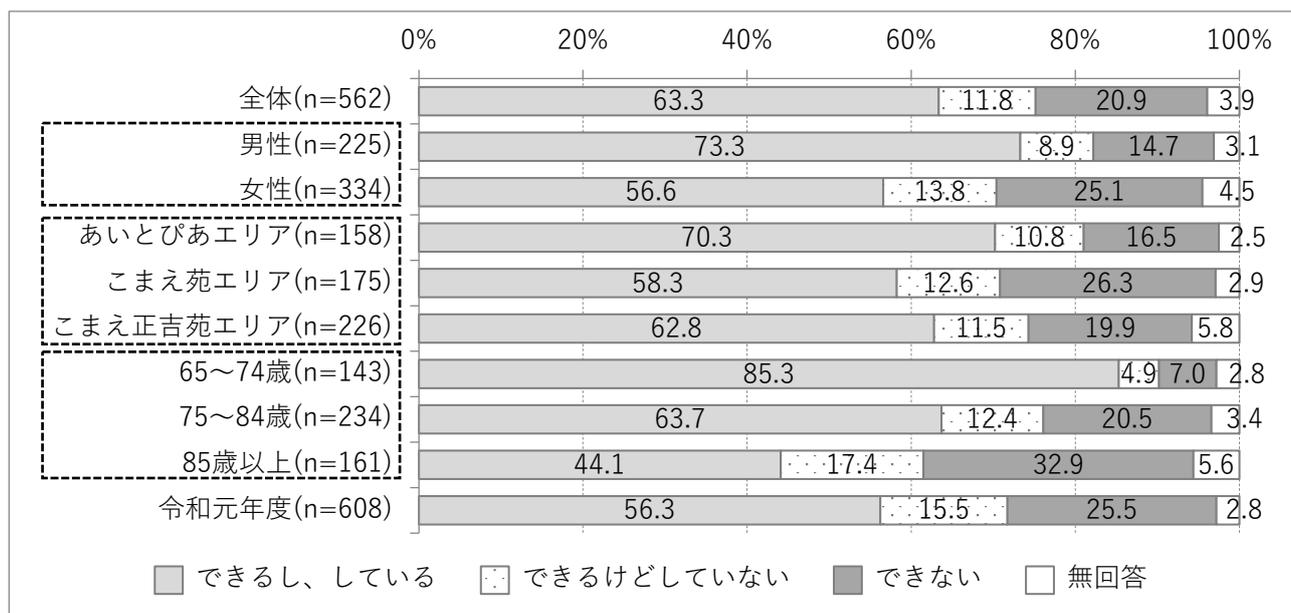
問2（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（○は1つ）

階段の昇降については、「できるし、している」が41.9%で最も多く、次いで、「できない」が33.8%となっています。



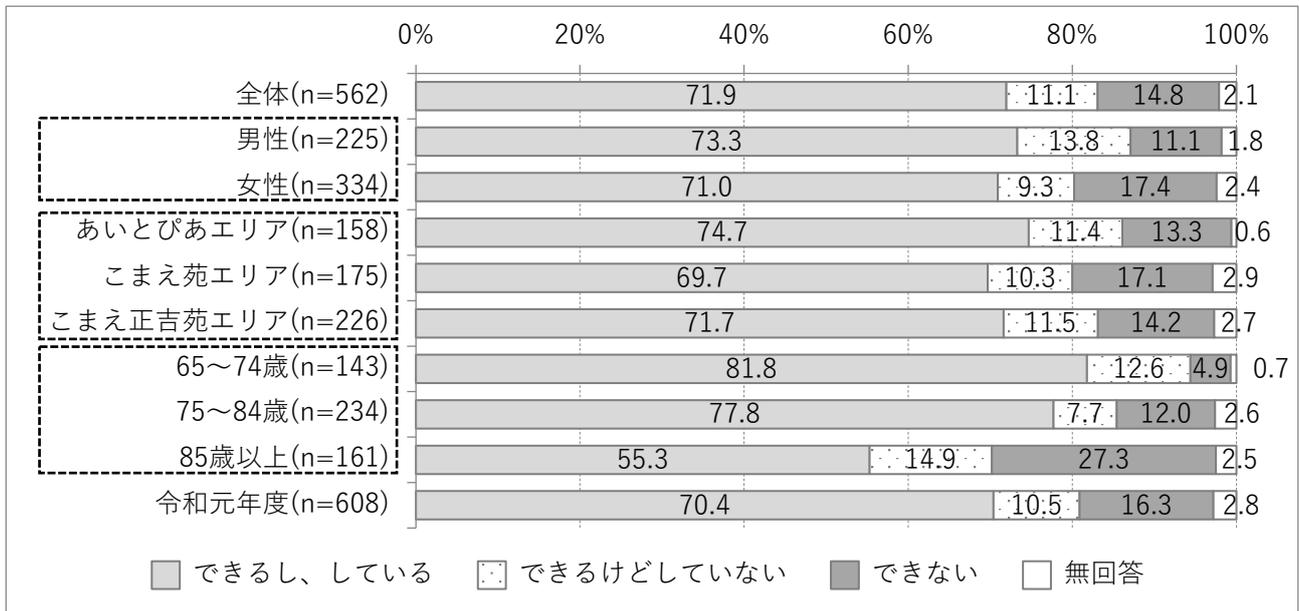
問2（2） 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は1つ）

椅子からの立ち上がりについては、「できるし、している」が63.3%で最も多く、次いで、「できない」が20.9%となっています。



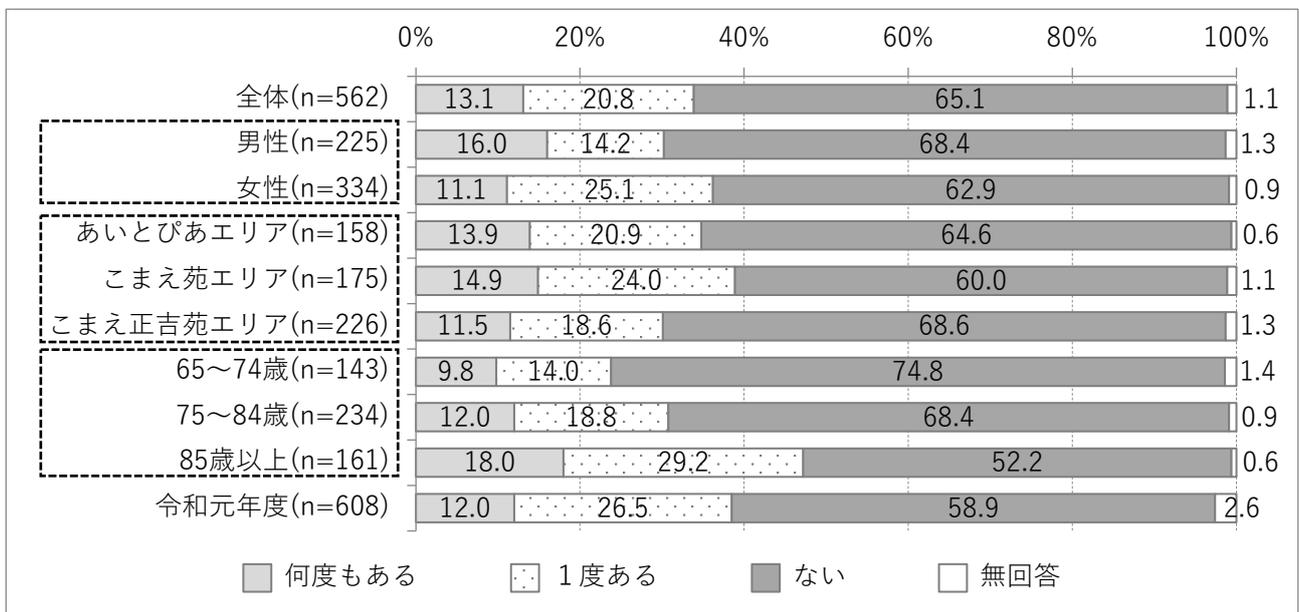
問2（3） 15分位続けて歩いていますか。（○は1つ）

歩き続けることについては、「できるし、している」が71.9%で最も多く、次いで、「できない」が14.8%となっています。



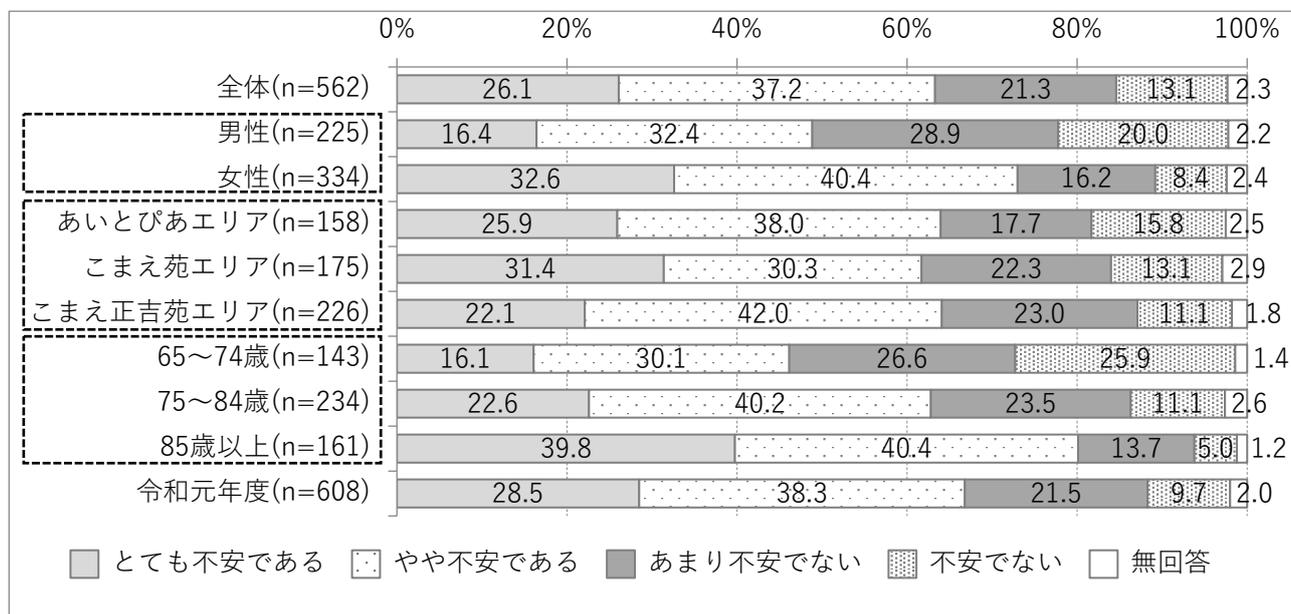
問2（4） 過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ）

転倒経験は、「ない」が65.1%で最も多く、次いで、「1度ある」が20.8%となっています。



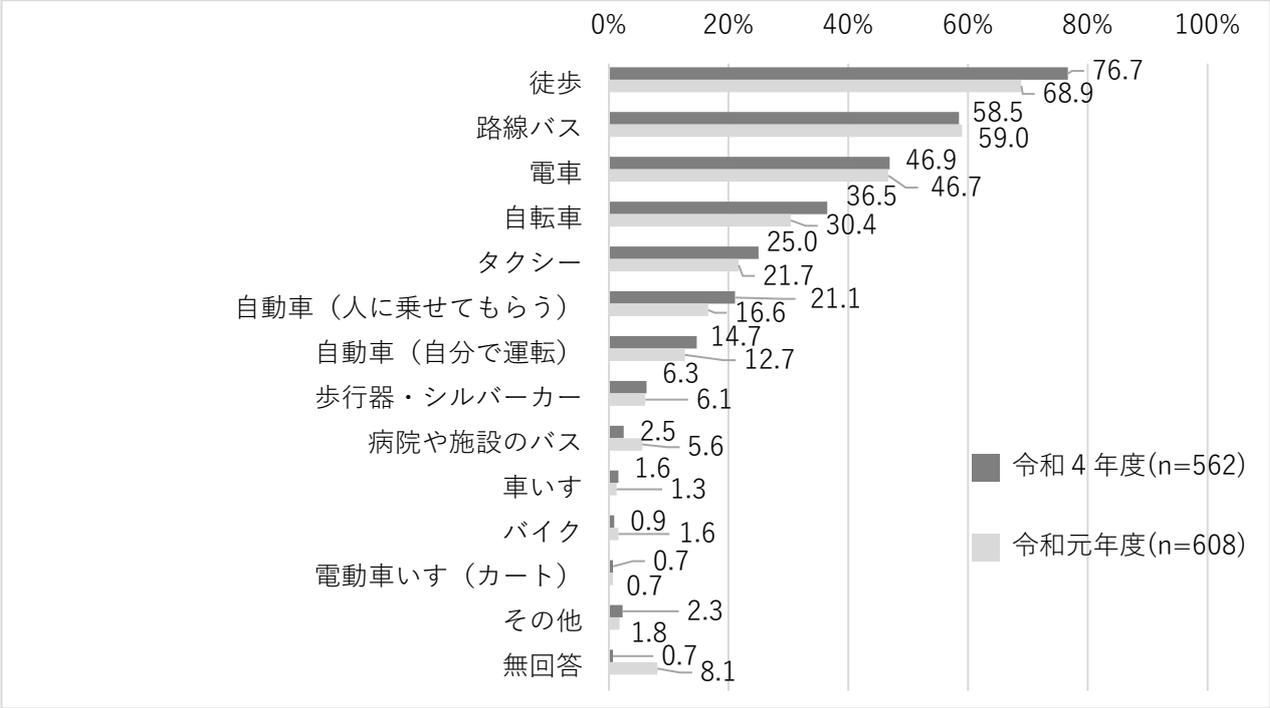
問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

転倒に対する不安は、「やや不安である」が37.2%で最も多く、次いで、「とても不安である」が26.1%となっています。



問2(6) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段は、「徒歩」が76.7%で最も多く、次いで、「路線バス」が55.5%となっています。

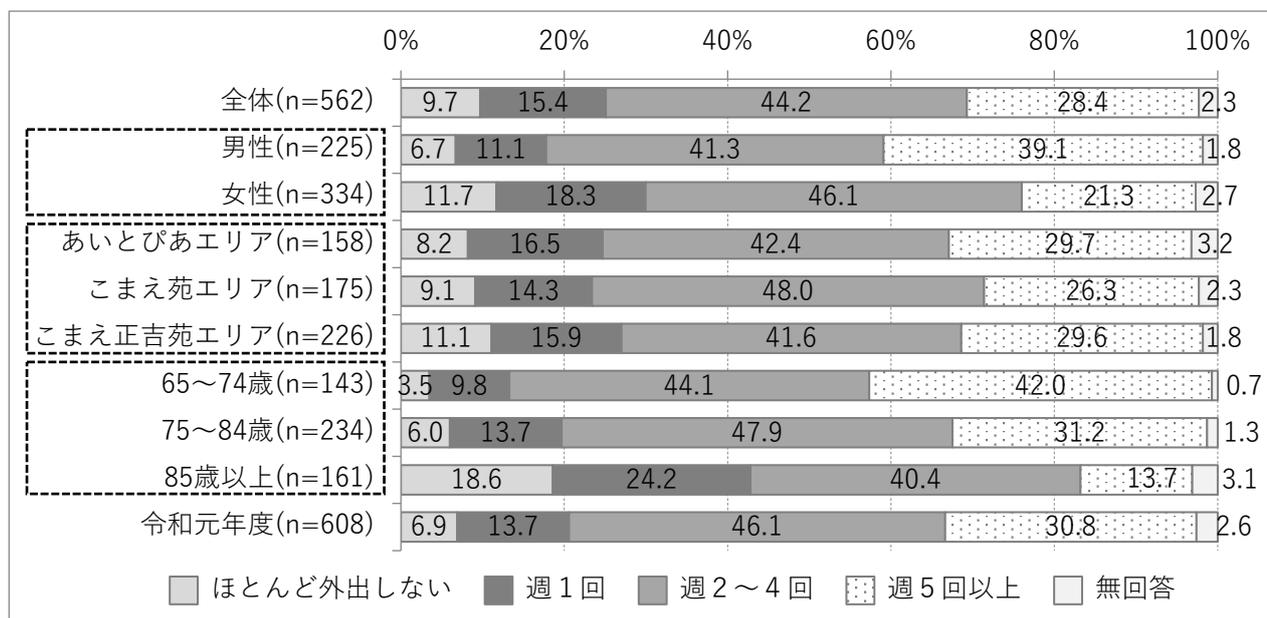


(単位：人、%)

区分	人数	徒歩	自転車	バイク	で自動車(自分で運転)	乗せてもらう自動車(人に)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体	562	76.7	36.5	0.9	14.7	21.1	46.9	58.5	2.5	1.6	0.7	6.3	25.0	2.3	0.7
男性	225	79.1	48.0	1.8	29.8	14.7	48.9	51.6	1.8	0.9	0.0	3.1	21.3	0.9	1.3
女性	334	75.1	28.7	0.3	4.5	25.4	45.5	63.2	3.0	2.1	1.2	8.4	27.5	3.3	0.3
あいとぴあエリア	158	74.7	40.5	1.9	12.0	20.9	48.7	50.6	2.5	1.9	0.6	5.7	24.7	0.6	0.6
こまえ苑エリア	175	73.7	37.1	0.0	20.0	20.6	50.9	53.7	2.9	1.1	0.6	8.0	27.4	5.1	1.1
こまえ正吉苑エリア	226	80.5	33.6	1.3	12.4	21.7	43.4	67.7	2.2	1.8	0.9	5.3	23.5	1.3	0.4
65~74歳	143	88.1	58.7	0.7	31.5	16.8	57.3	50.3	0.7	0.7	0.0	0.0	16.8	0.0	0.7
75~84歳	234	80.8	36.8	1.7	14.5	17.5	48.3	63.7	3.4	0.4	1.3	4.7	23.9	1.7	0.0
85歳以上	161	64.0	18.0	0.6	0.6	29.2	38.5	58.4	2.5	3.7	0.6	13.7	33.5	5.0	1.2
令和元年度	608	68.9	30.4	1.6	12.7	16.6	46.7	59.0	5.6	1.3	0.7	6.1	21.7	1.8	8.1

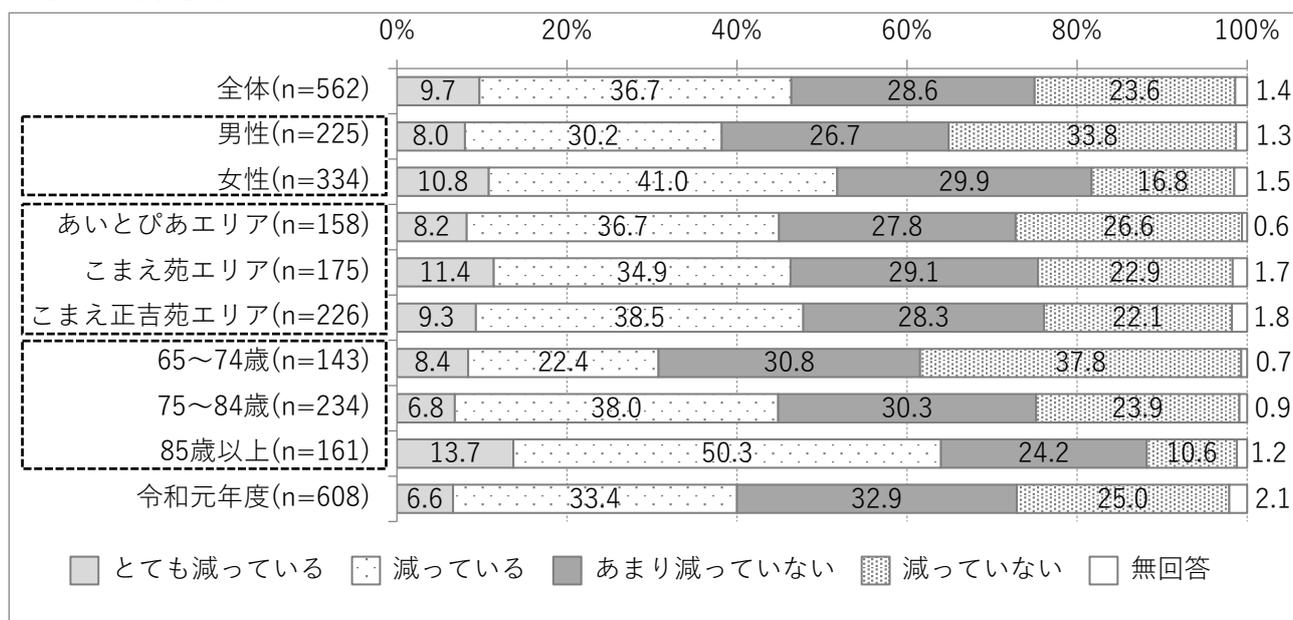
問2（7） 週に1回以上は外出していますか。（○は1つ）

外出頻度については、「週2～4回」が44.2%で最も多く、次いで、「週5回以上」が28.4%となっています。



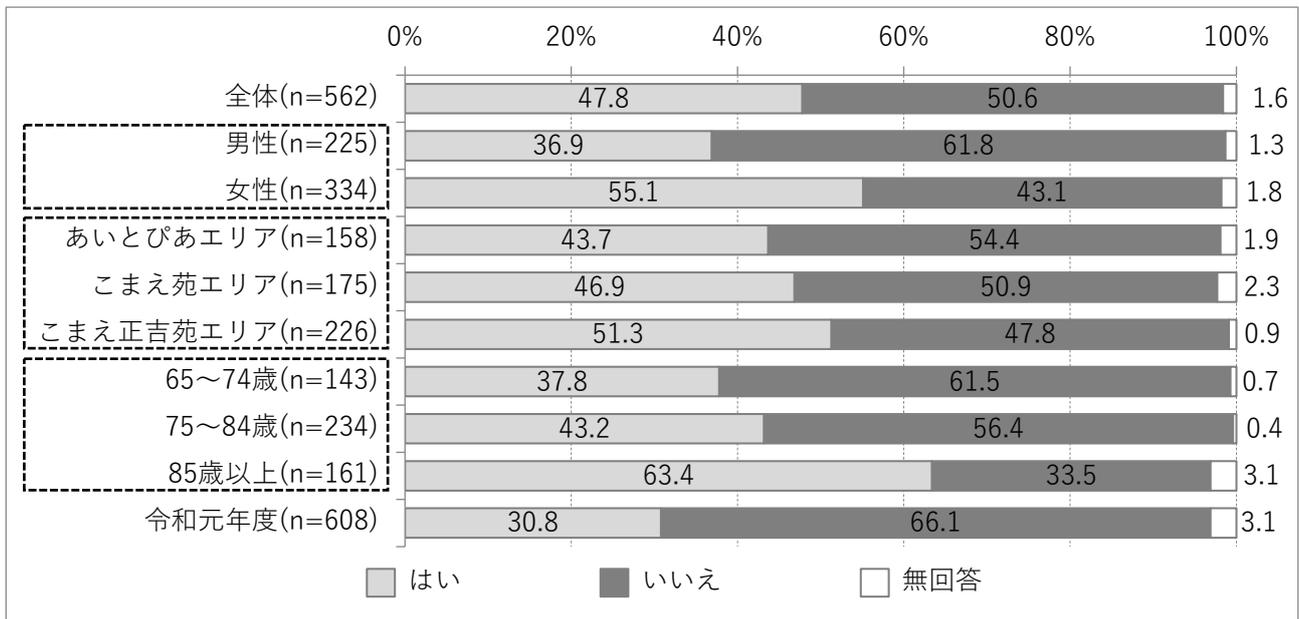
問2（8） 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ）

外出の回数については、「減っている」が36.7%で最も多く、次いで、「あまり減っていない」が28.6%となっています。



問2 (9) 外出を控えていますか。(○は1つ)

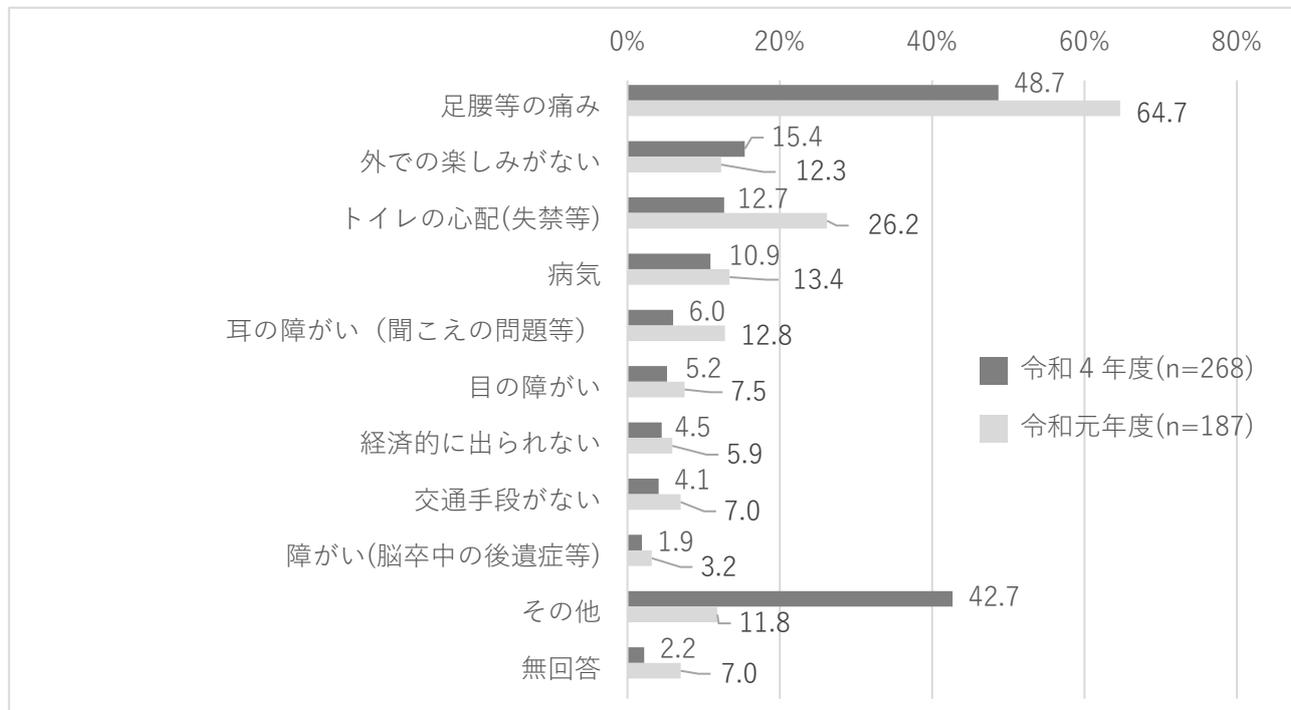
外出を控えているかについては、「いいえ」が66.1%で最も多く、次いで、「はい」が47.8%となっています。



問2(9)① 【(9)において「1 はい」(外出を控えている)と回答した方にお伺いします。】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰等の痛み」が48.7%で最も多く、次いで、「その他」が42.7%となっています。



(単位：人、%)

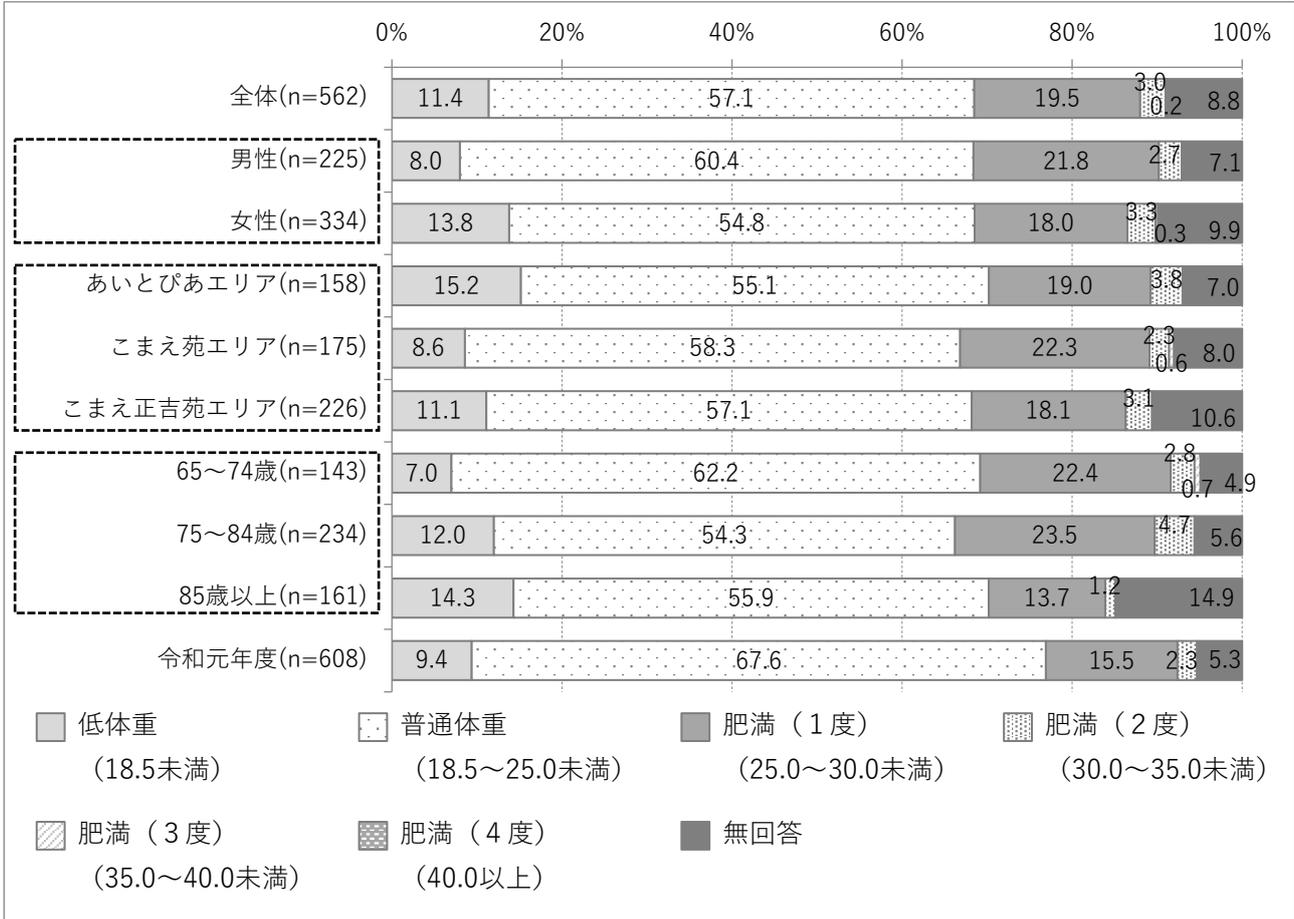
区分	人数	病気	障がい(脳卒中の後遺症等)	足腰等の痛み	トイレの心配(失禁等)	耳の障がい(聞こえの問題等)	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体	268	10.9	1.9	48.7	12.7	6.0	5.2	15.4	4.5	4.1	42.7	2.2
男性	83	16.9	6.0	34.9	16.9	4.8	4.8	14.5	8.4	3.6	49.4	1.2
女性	184	8.2	0.0	54.9	10.9	6.5	5.4	15.8	2.7	4.3	39.7	2.7
あいとびあエリア	69	11.6	1.4	56.5	10.1	5.8	2.9	15.9	2.9	4.3	39.1	0.0
こまえ苑エリア	82	12.2	1.2	51.2	15.9	7.3	3.7	19.5	4.9	6.1	42.7	0.0
こまえ正吉苑エリア	116	8.6	2.6	41.4	12.1	5.2	7.8	12.1	5.2	2.6	45.7	5.2
65～74歳	54	9.3	7.4	25.9	5.6	1.9	3.7	7.4	7.4	0.0	66.7	0.0
75～84歳	101	14.9	1.0	44.6	12.9	7.9	5.0	19.8	5.0	3.0	43.6	1.0
85歳以上	102	7.8	0.0	61.8	15.7	6.9	6.9	14.7	2.9	7.8	32.4	3.9
令和元年度	187	13.4	3.2	64.7	26.2	12.8	7.5	12.3	5.9	7.0	11.8	7.0

3 食べることについて

問3 (1) (身長)(体重)から算出: BMI

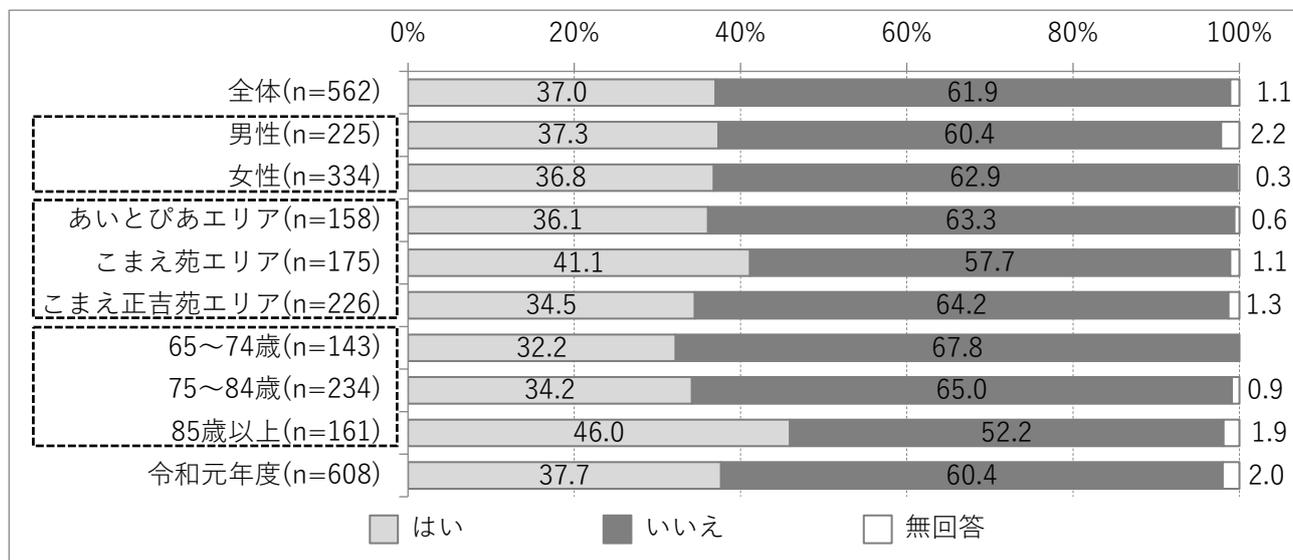
身長と体重から算出したBMIは、「標準」が57.1%で最も多く、次いで、「肥満1度」が19.5%となっています。

BMIとは、WHOで定めた肥満判定の国際基準です。数式は「体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))」で求められます。
 18.5未満: 低体重、18.5以上25.0未満: 標準、25.0以上30.0未満: 肥満1度
 30.0以上35.0未満: 肥満2度、35.0以上40.0未満: 肥満3度、40.0以上: 肥満4度



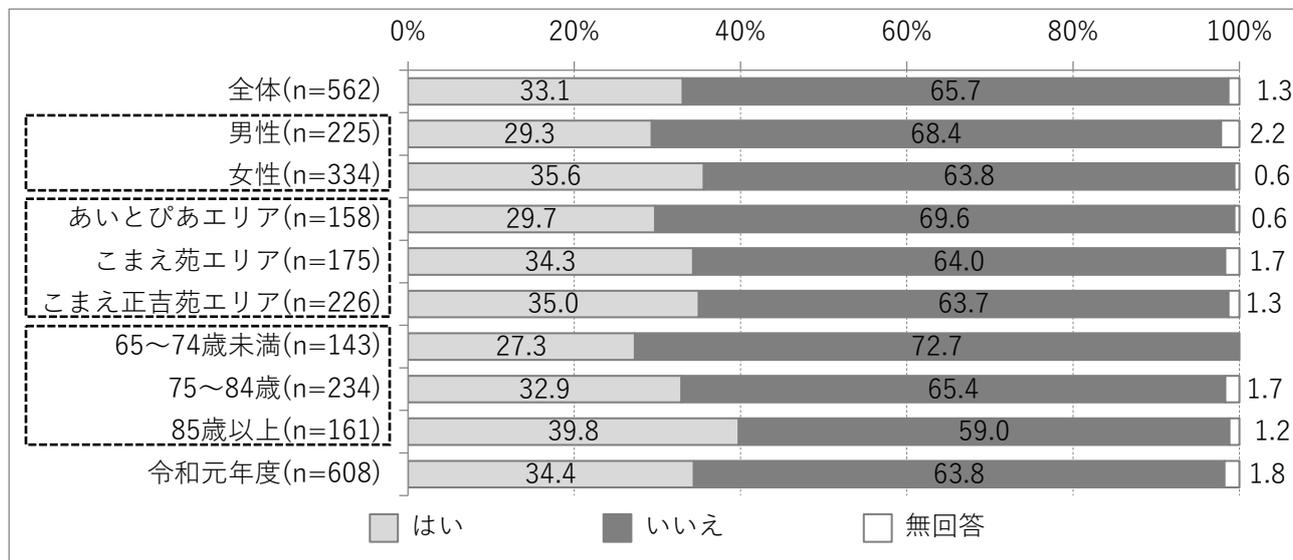
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

固いものの食べにくさが進んだかについては、「いいえ」が61.9%で最も多く、次いで「はい」が37.0%となっています。



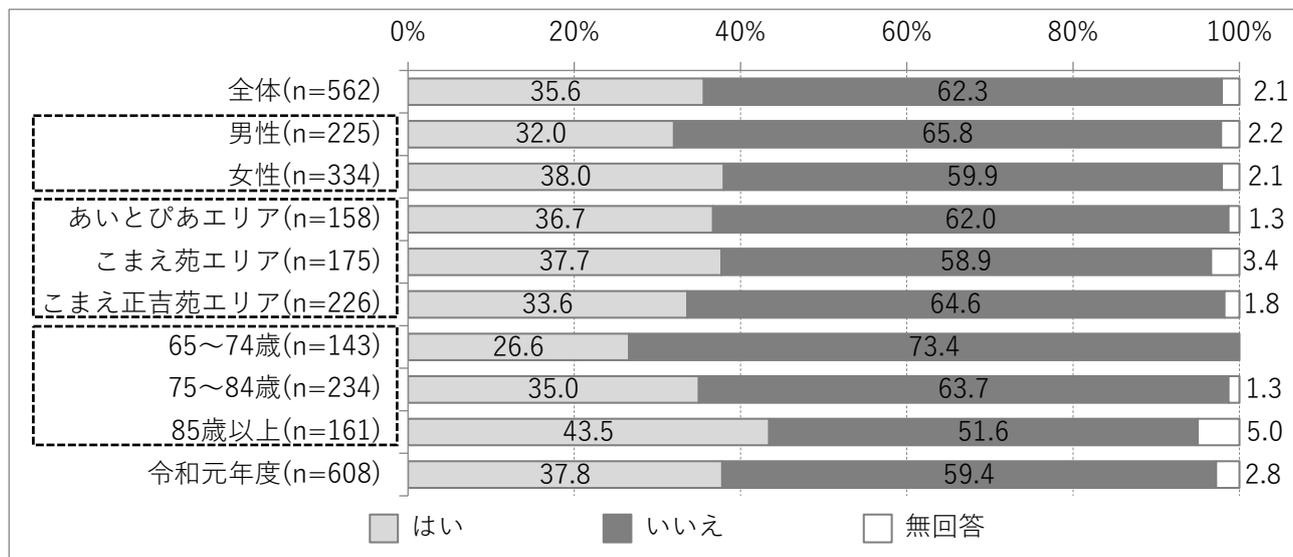
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

お茶等でむせるかについては、「いいえ」が65.7%と最も多く、次いで「はい」が33.1%となっています。



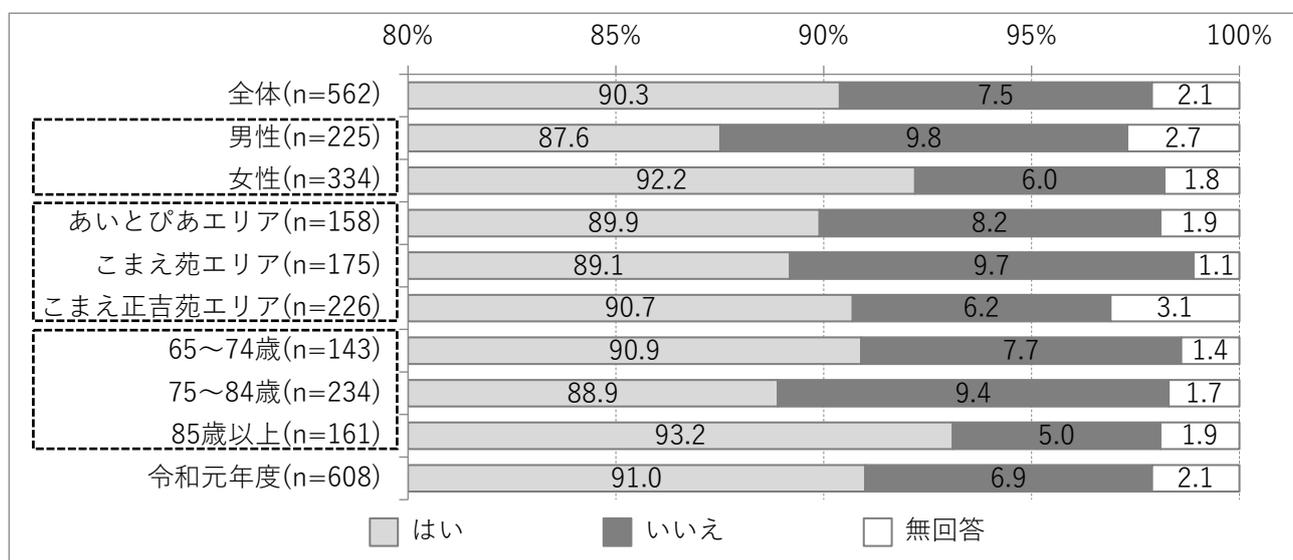
問3（4） 口の渇きが気になりますか。（○は1つ）

口の渇きについては、「いいえ」が62.3%と最も多く、「はい」で35.6%となっています。



問3（5） 歯磨き（人にやってもらう場合も含む。）を毎日していますか。（○は1つ）

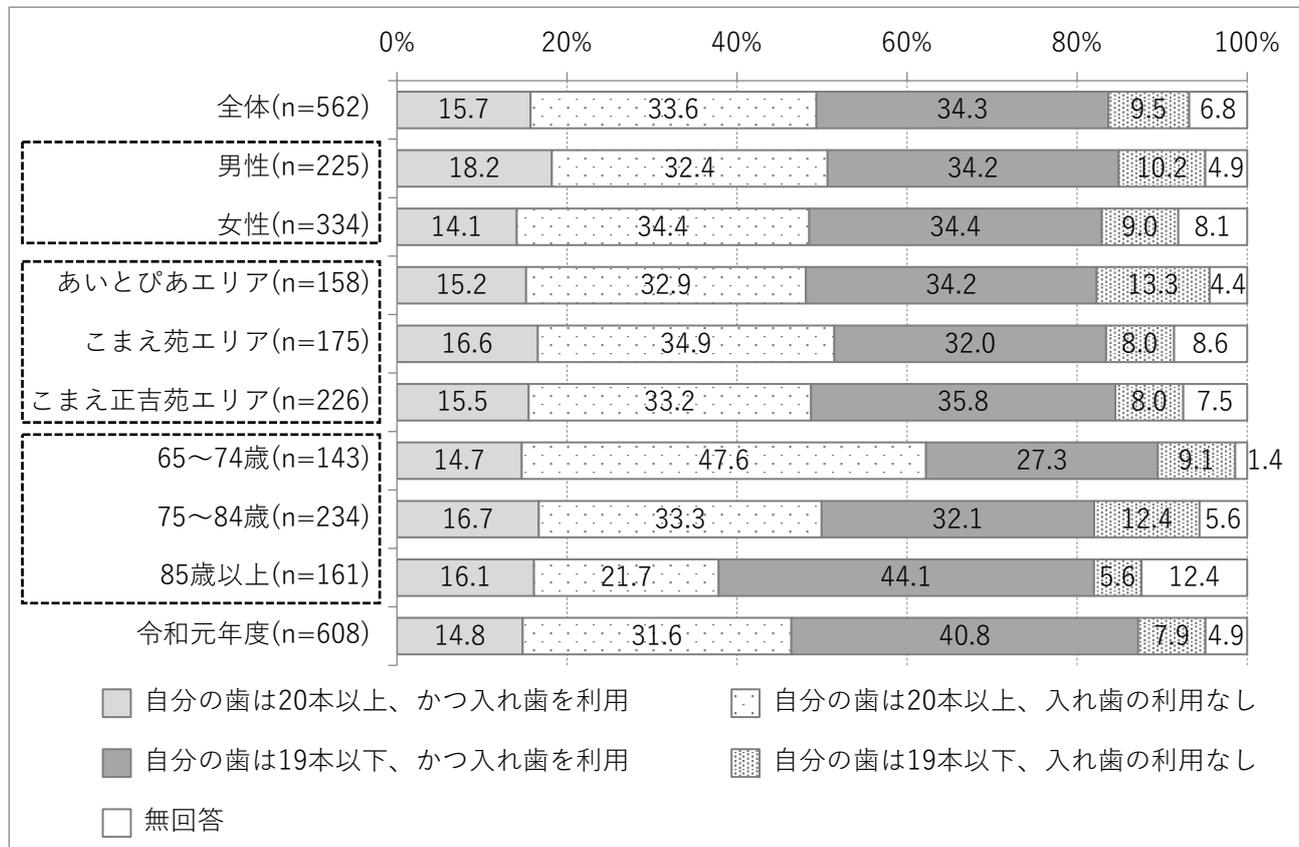
歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が90.3%で最も多く、次いで「いいえ」が7.5%となっています。



注) パーセンテージの小さい項目の数字を見やすくするために横軸の始点を80%にした。

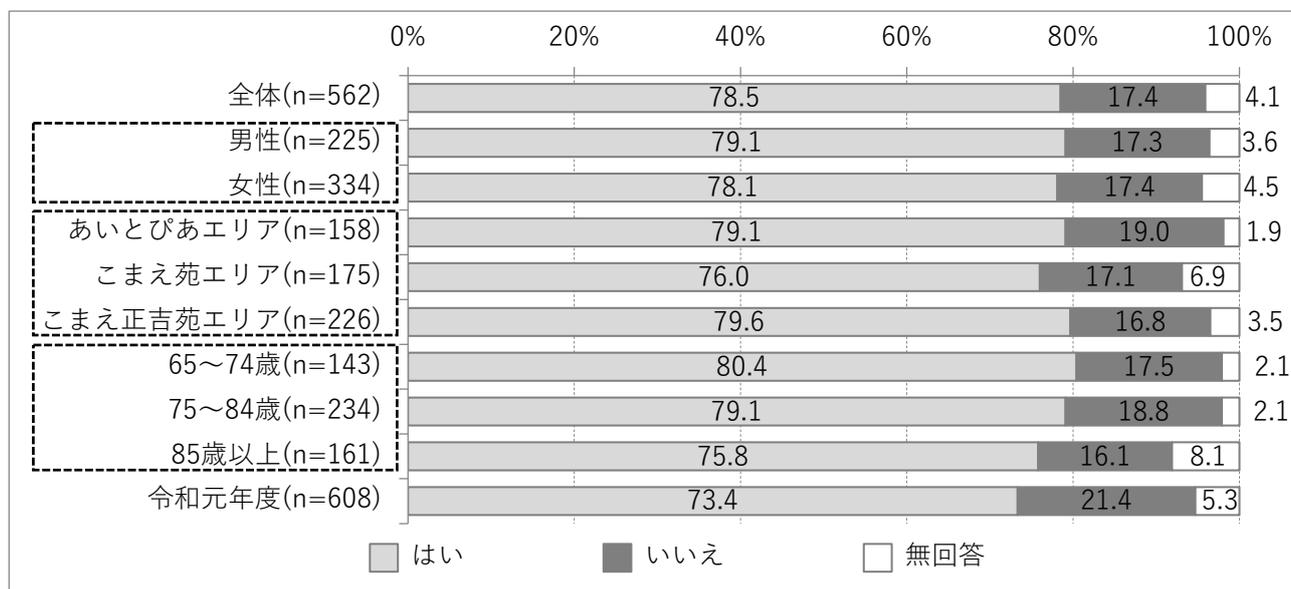
問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(○は1つ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下かつ入れ歯を利用」が34.3%で最も多く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が33.6%となっています。



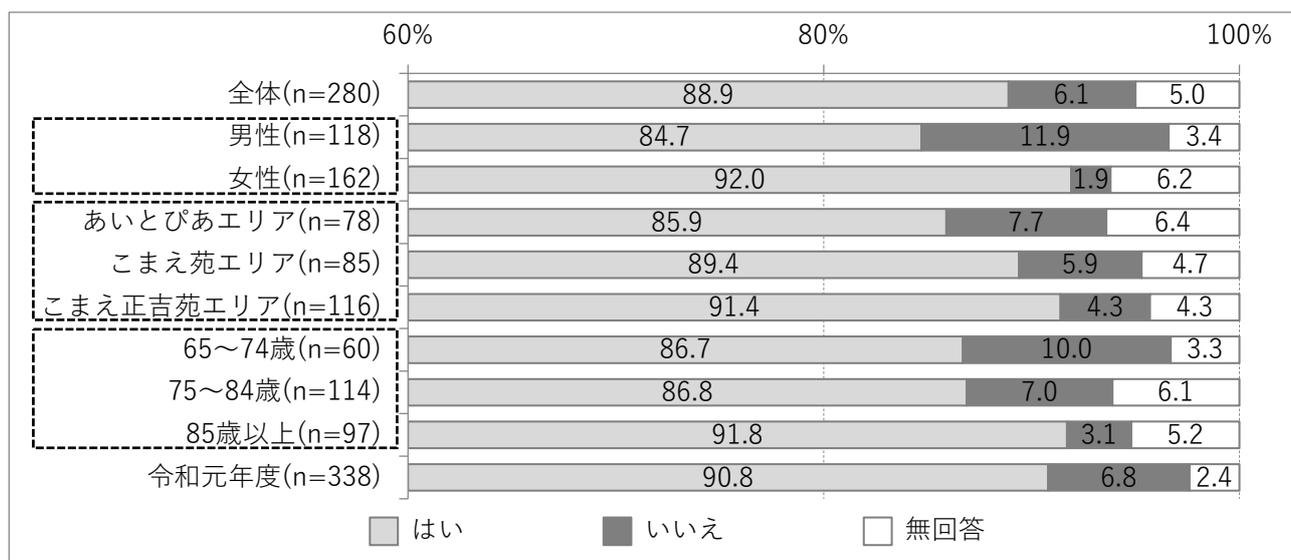
問3 (6) ① 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

噛み合わせは良いかについては、「はい」が78.5%と最も多く、次いで「いいえ」が17.4%なっています。



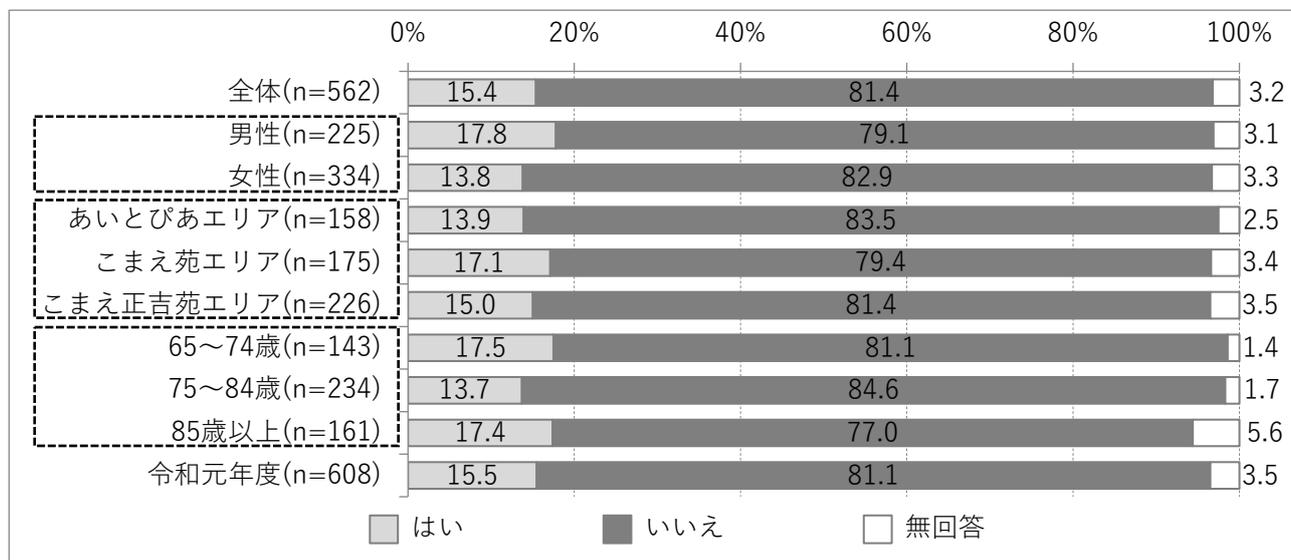
問3 (6) ② 【(6)において「1 自分の歯は20本以上かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下かつ入れ歯を利用」のいずれかを回答した方にお伺いします。】
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が88.9%で最も多く、次いで、「いいえ」が6.1%となっています。



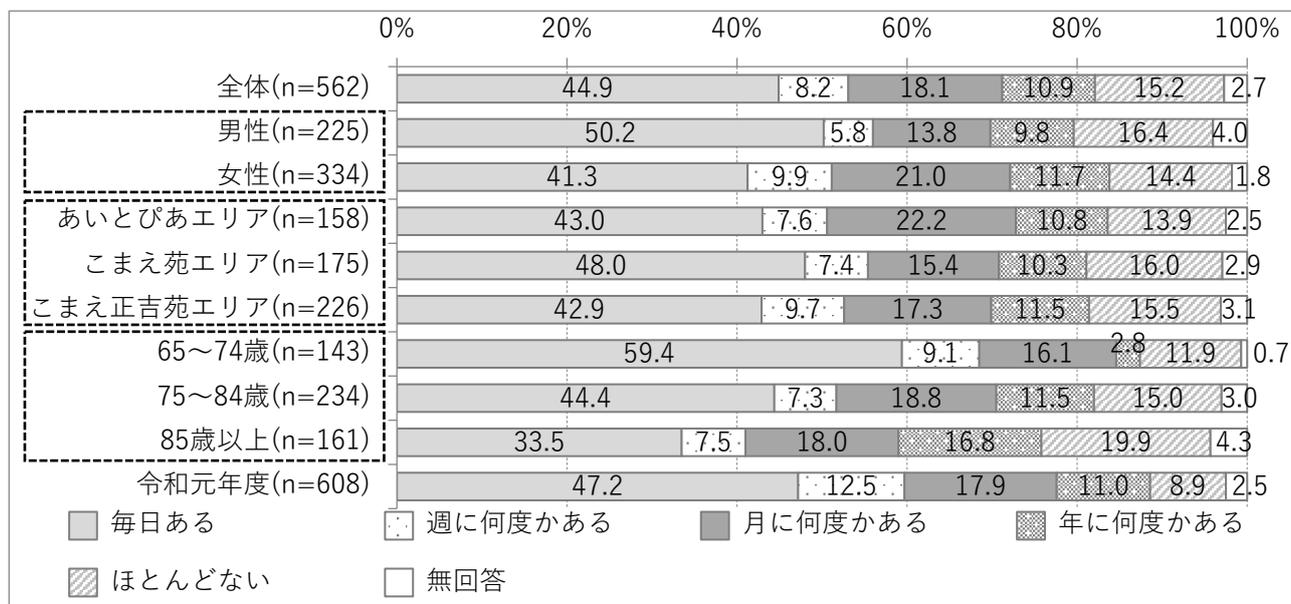
問3 (7) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

体重減少の有無については、「いいえ」が81.4%で最も多く、次いで、「はい」が15.4%となっています。



問3 (8) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

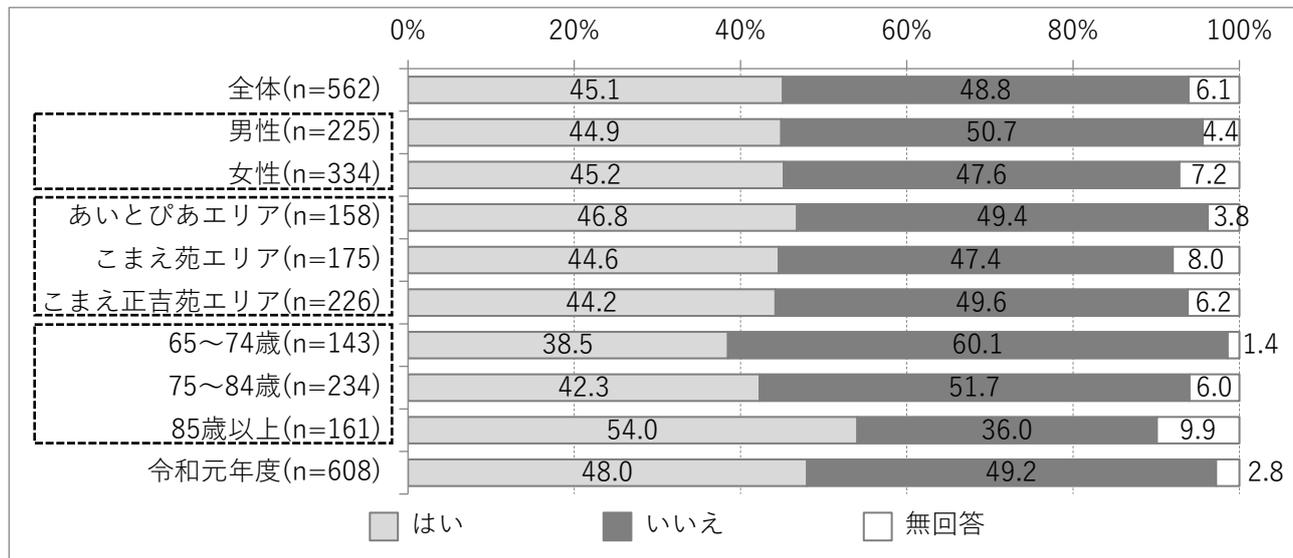
食事を誰かとする機会の有無については、「毎日ある」が44.9%で最も多く、次いで、「月に何度かある」が18.1%となっています。



4 毎日の生活について

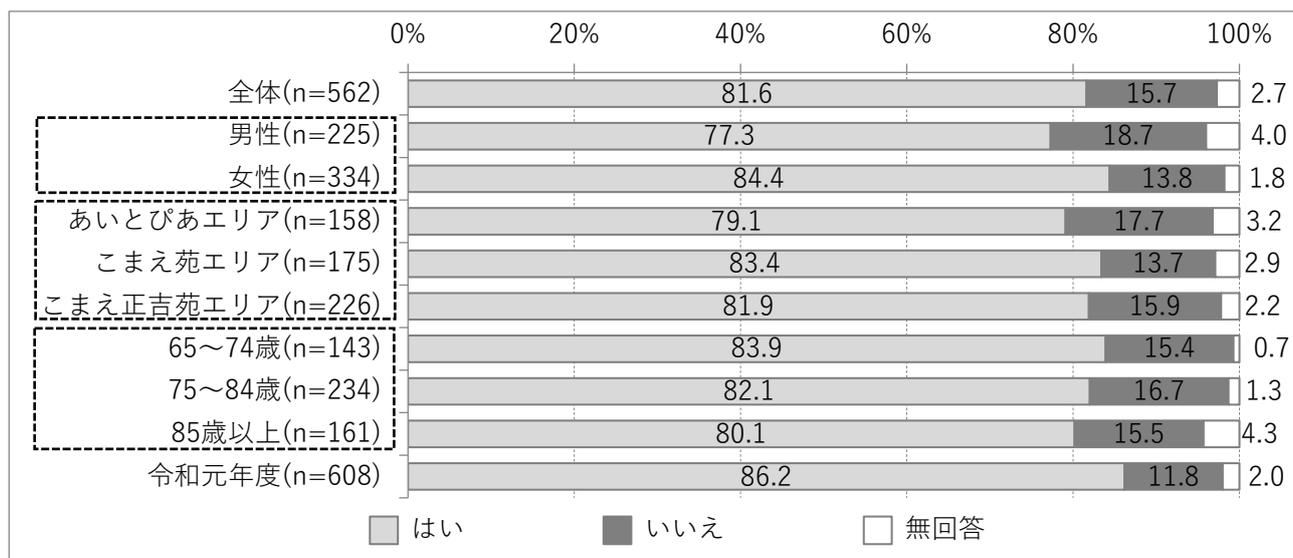
問4（1） 物忘れが多いと感じますか。（○は1つ）

物忘れが多いかについては、「いいえ」が48.8%で最も多く、次いで「はい」が45.1%となっています。



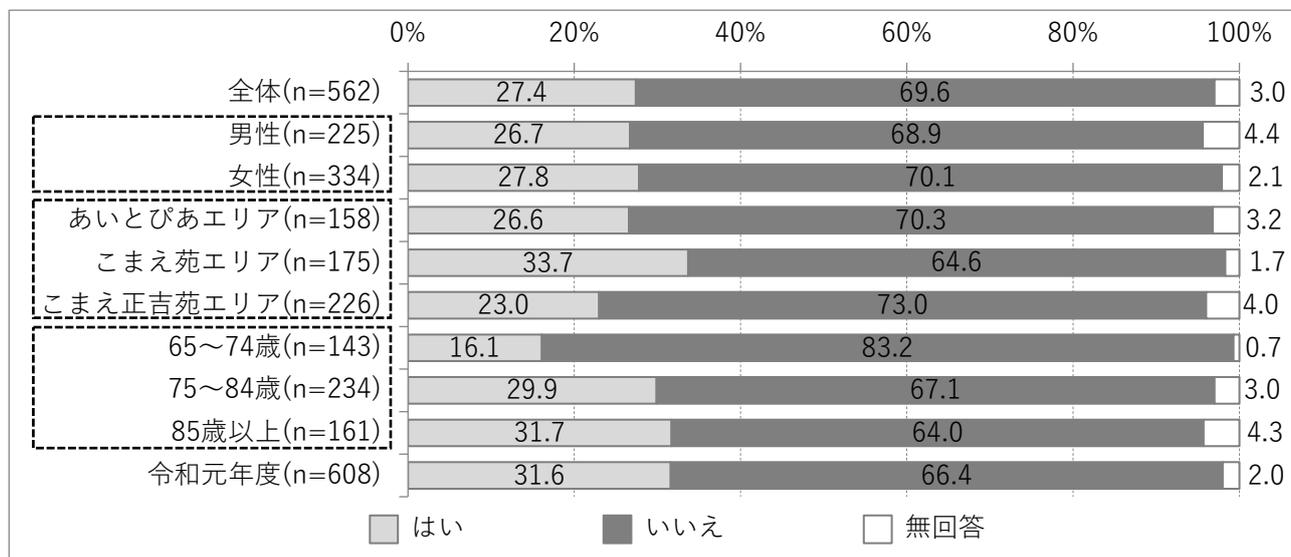
問4（2） 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○は1つ）

自分で電話をかけるかについては、「はい」が81.6%で最も多く、次いで、「いいえ」が15.7%となっています。



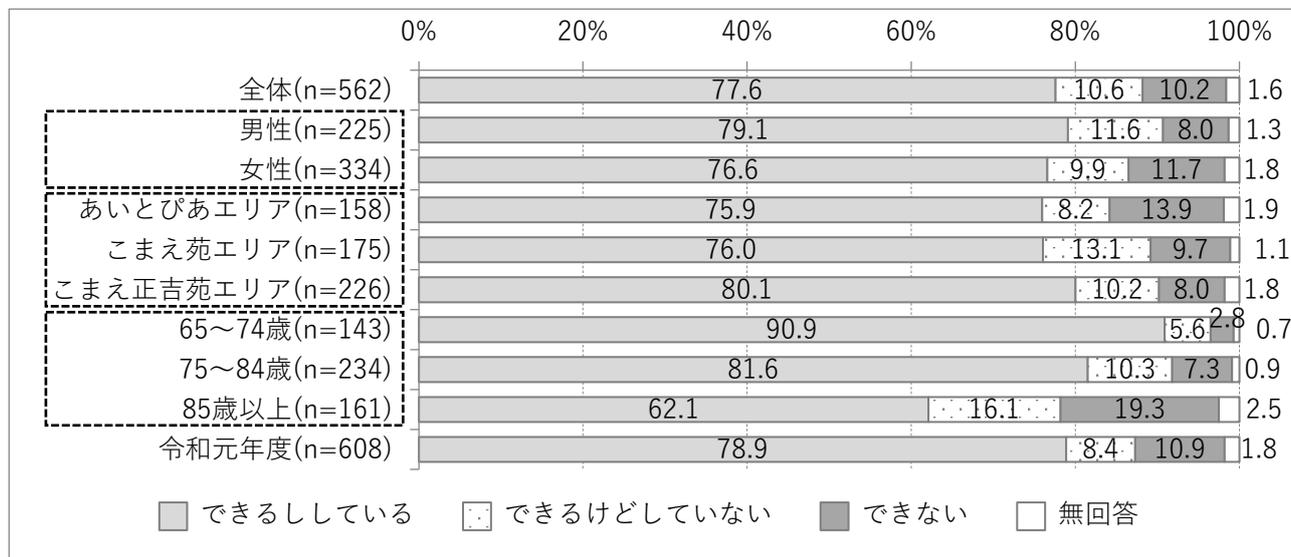
問4（3） 今日が何月何日かわからない時がありますか。（○は1つ）

日付がわからない時があるかについては、「いいえ」が69.6%と最も多く、次いで「はい」が27.4%となっています。



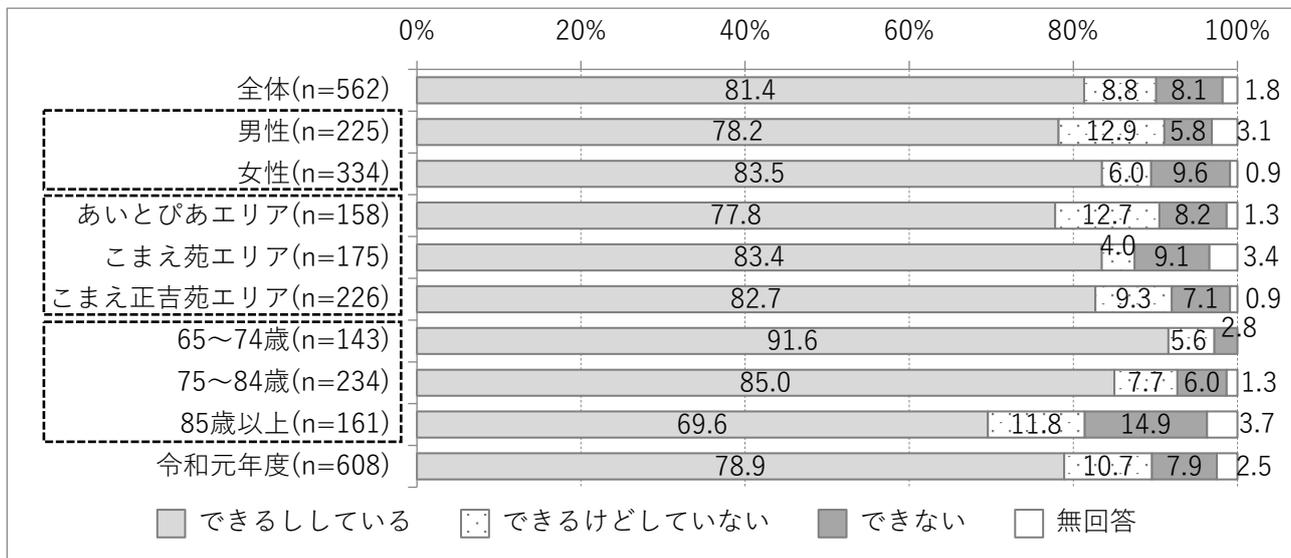
問4（4） バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）

1人で外出するかについては、「できるし、している」が77.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.6%となっています。



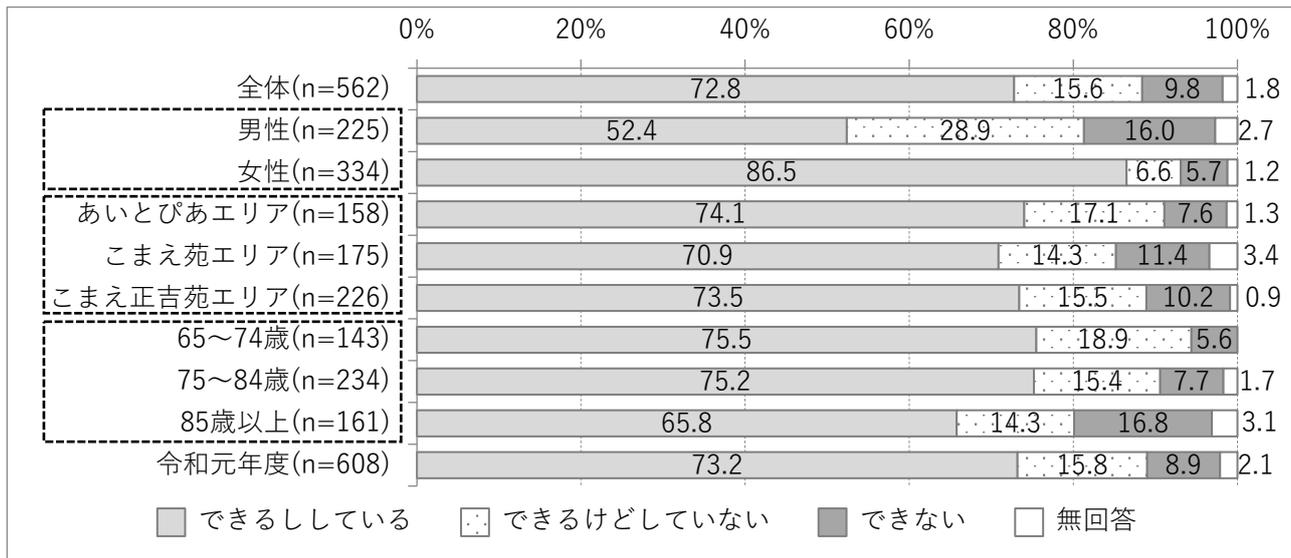
問4（5） 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ）

食品・日用品の買物については、「できるし、している」が81.4%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が8.8%となっています。



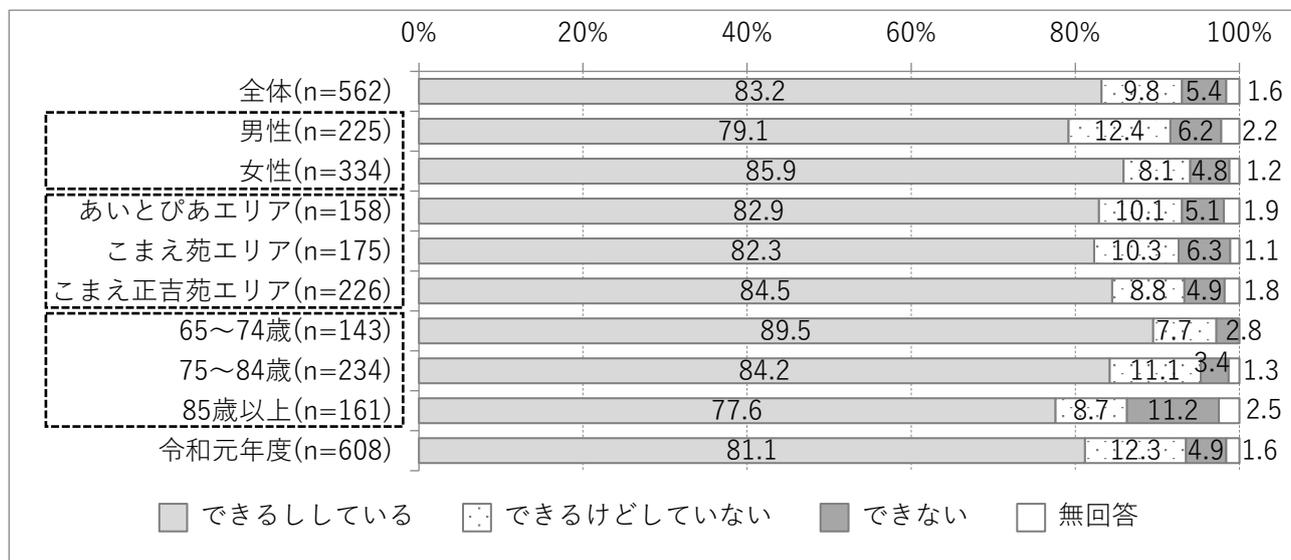
問4（6） 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）

食事の用意については、「できるし、している」が72.8%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が15.6%となっています。



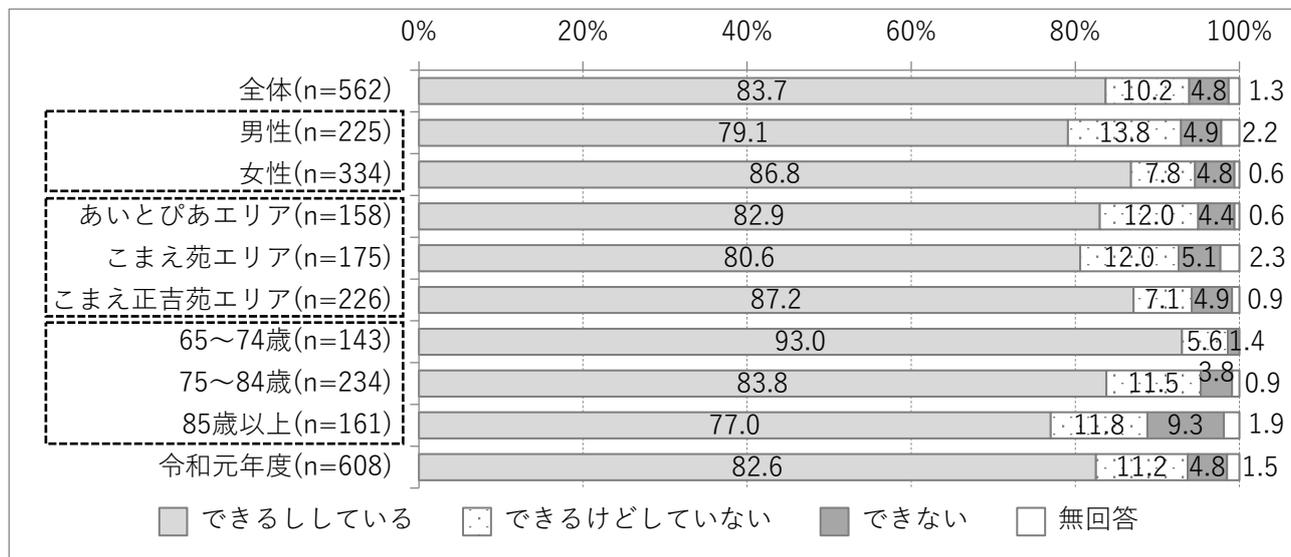
問4（7） 自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）

請求書の支払いについては、「できるし、している」が83.2%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が9.8%となっています。



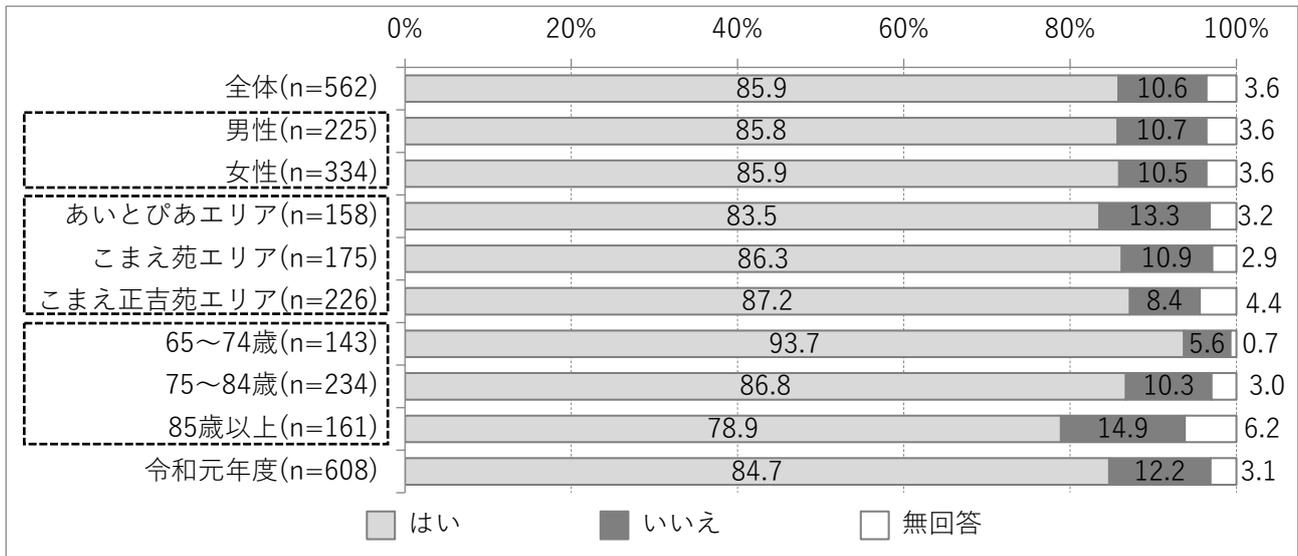
問4（8） 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）

預貯金の出し入れについては、「できるし、している」が83.7%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が10.2%となっています。



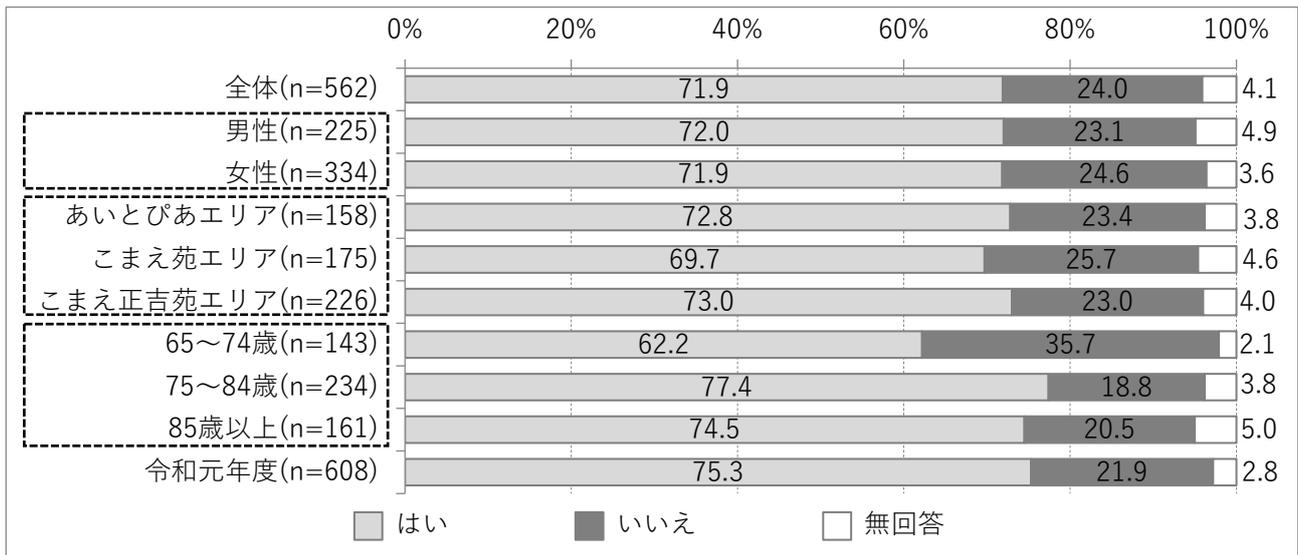
問4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）

年金などの書類については、「はい」が85.9%で最も多く、次いで、「いいえ」が10.6%となっています。



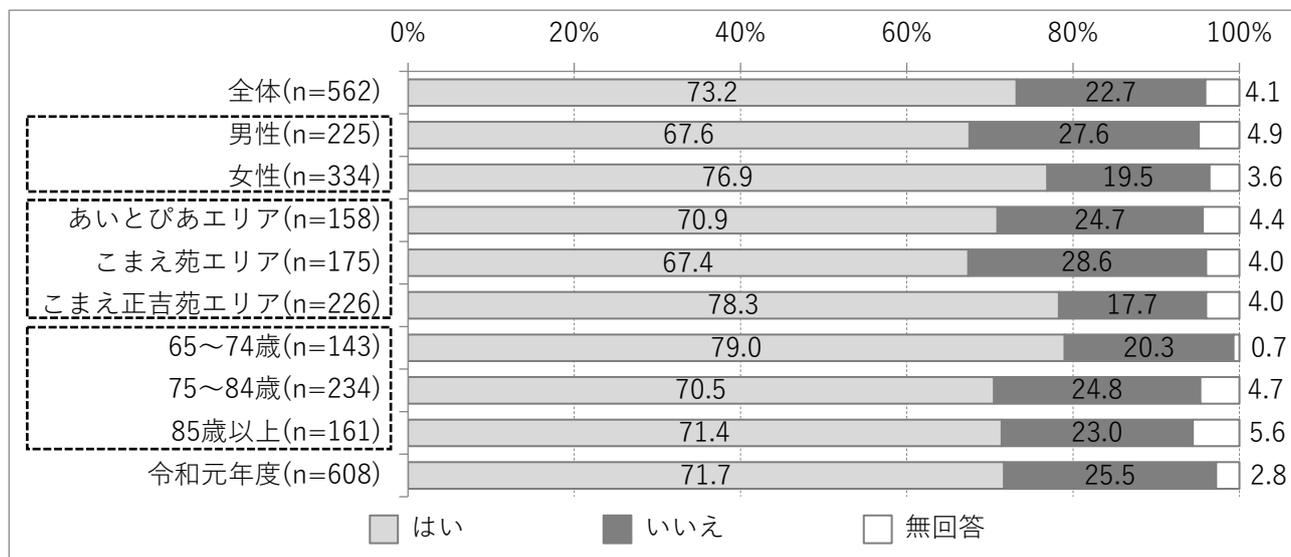
問4 (10) 新聞を読んでいますか。（○は1つ）

新聞を読んでいるかについては、「はい」で71.9%と最も多く、次いで、「いいえ」が24.0%となっています。



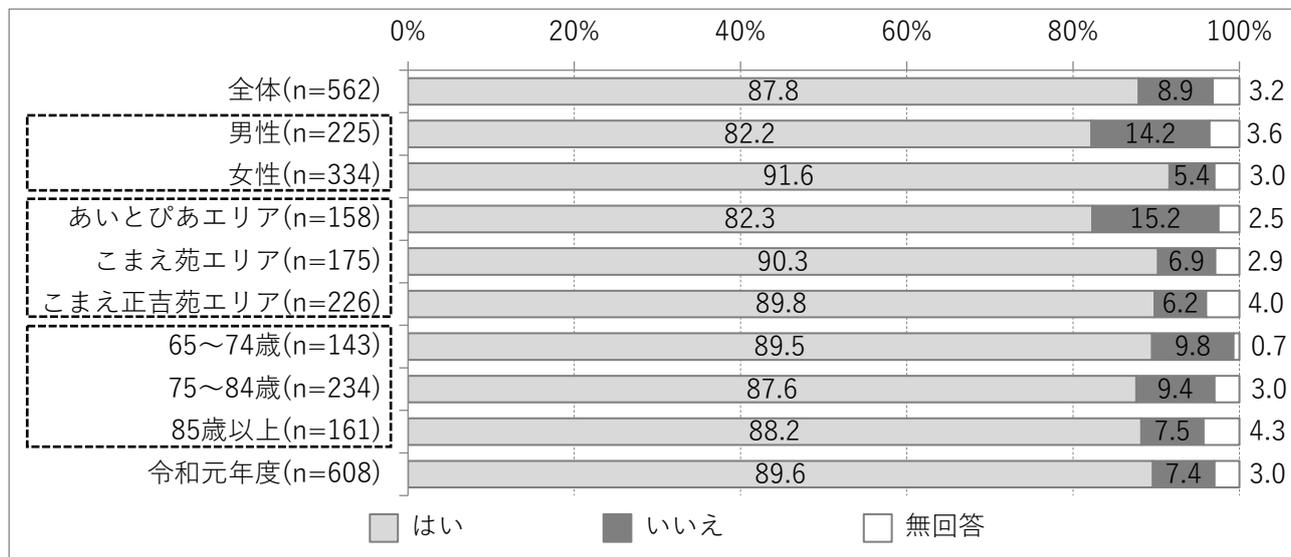
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が73.2%で最も多く、次いで、「いいえ」が22.7%となっています。



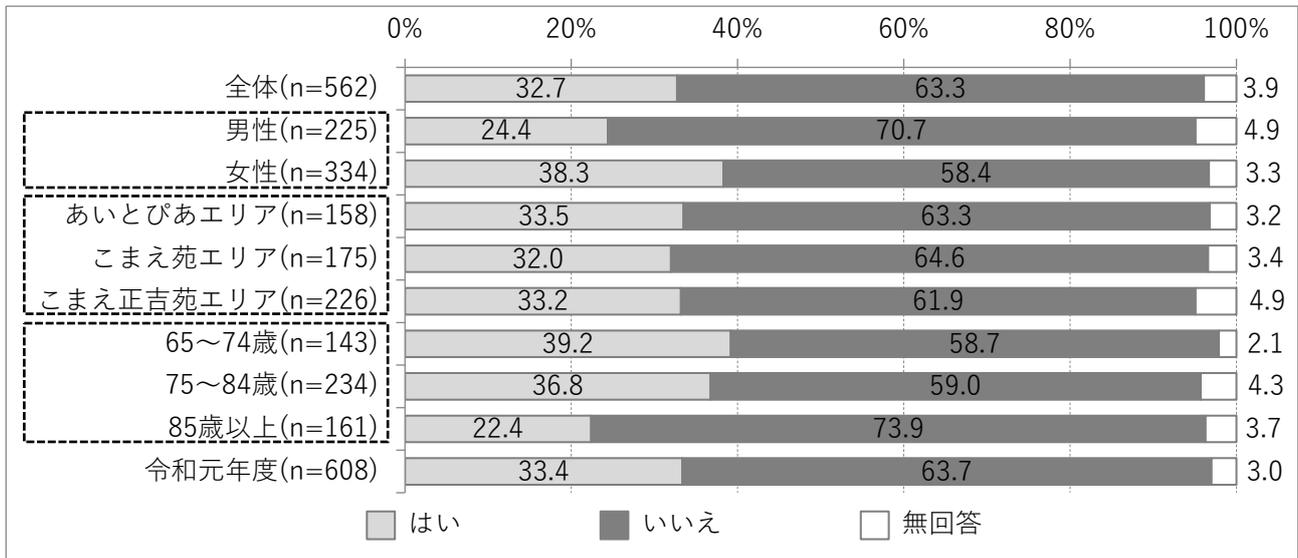
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

健康についての記事や番組への関心の有無については、「はい」が87.8%で最も多く、次いで、「いいえ」が8.9%となっています。



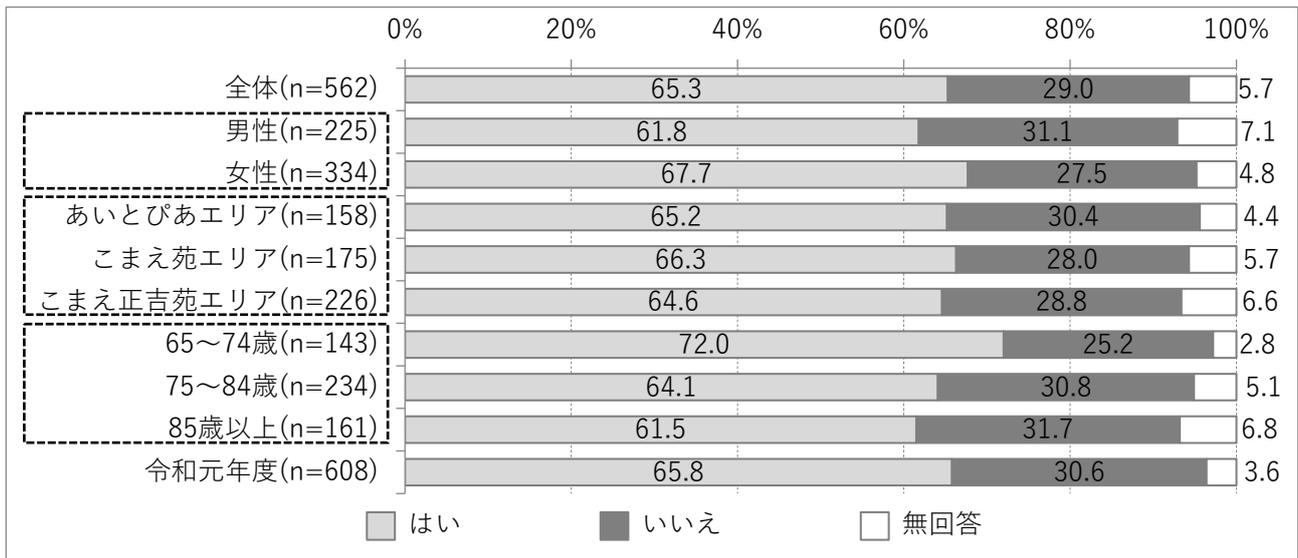
問4 (13) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

友人の家への訪問の有無については、「いいえ」が63.3%で最も多く、次いで、「はい」が32.7%となっています。



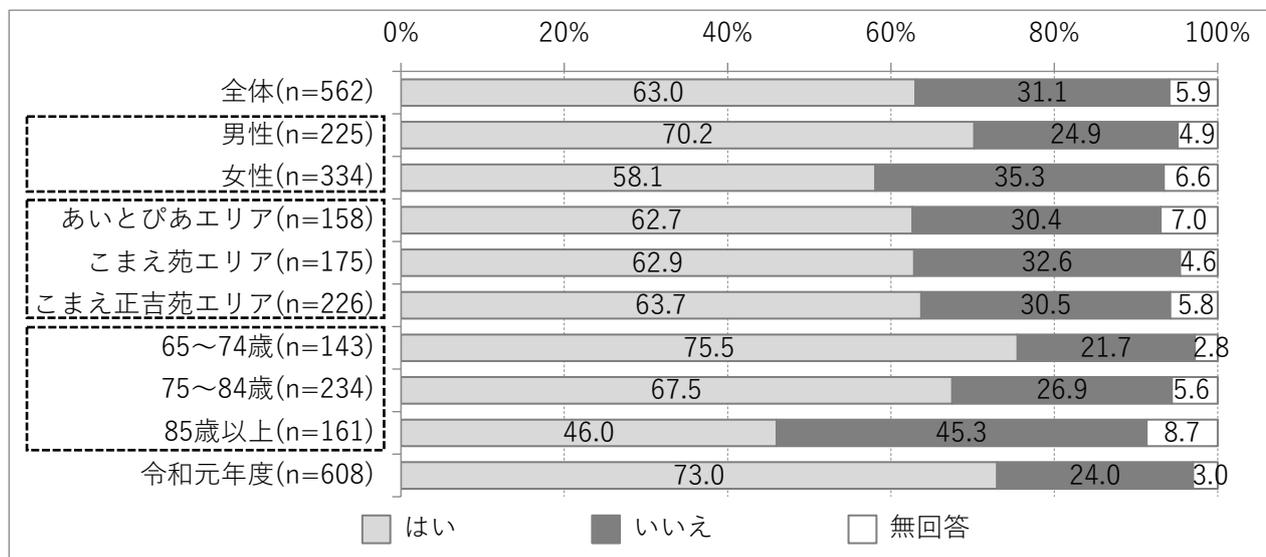
問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

家族等の相談にのっているかについては、「はい」が65.8%で最も多く、次いで、「いいえ」が29.0%となっています。



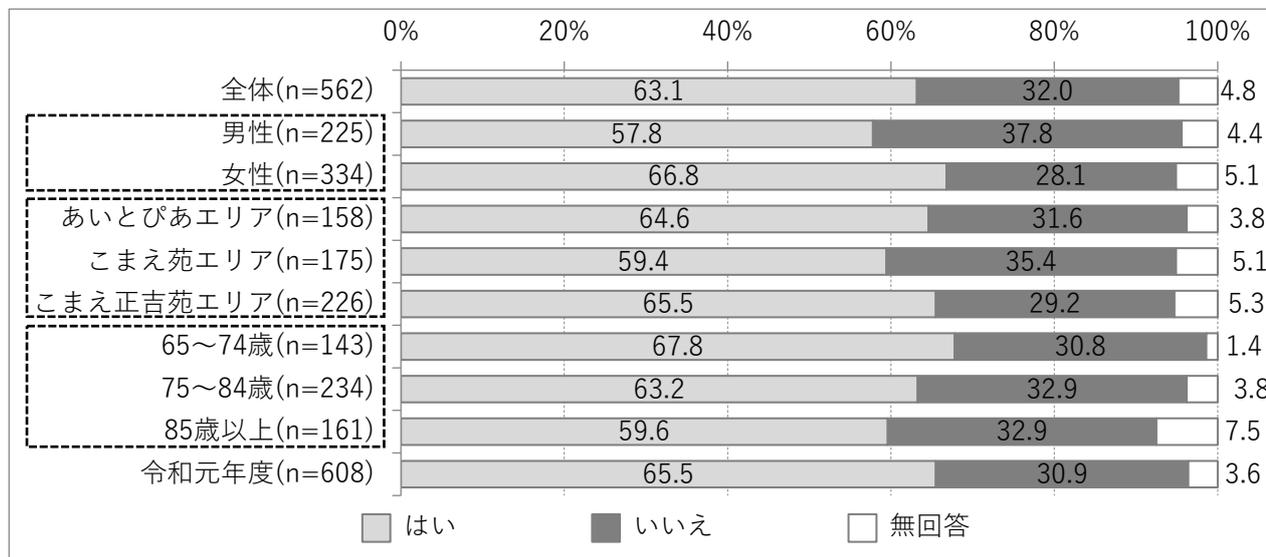
問4 (15) 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が63.0%で最も多く、次いで、「いいえ」が31.1%となっています。



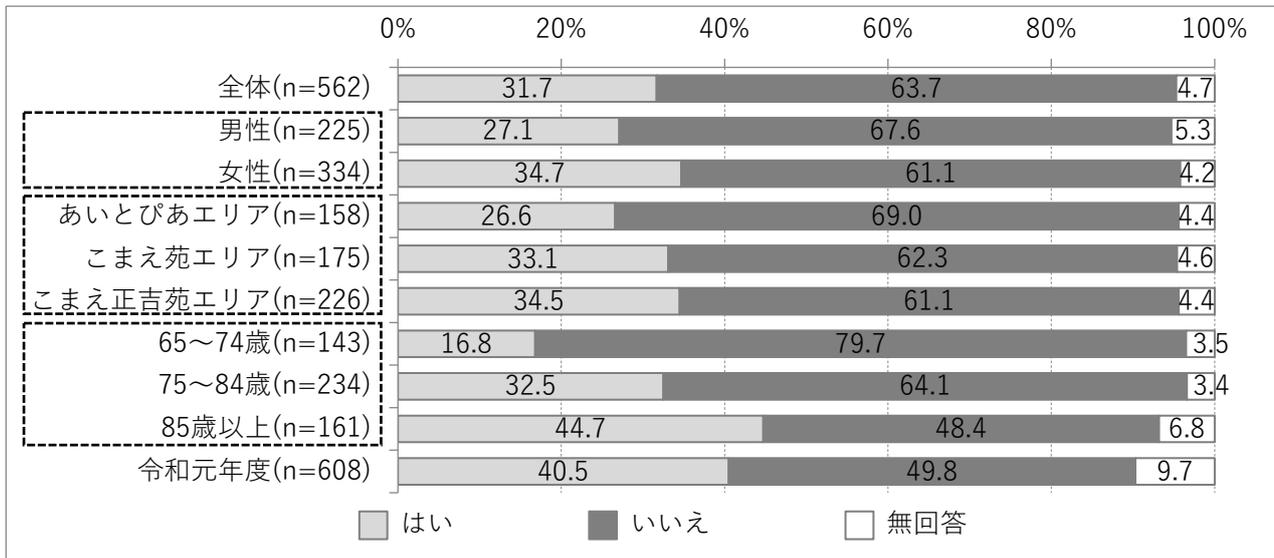
問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

若い人への話しかけについては、「はい」が63.1%で最も多く、次いで、「いいえ」が32.0%となっています。



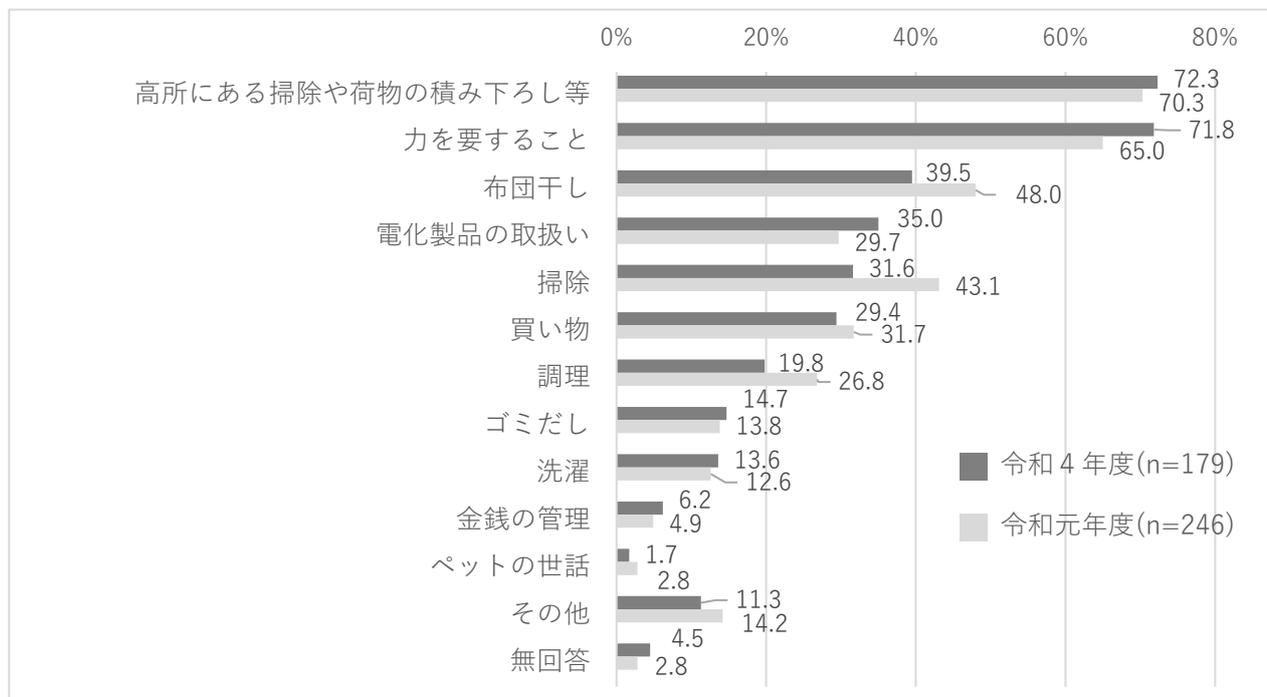
問4 (17) 日常生活全般で困っていることはありますか。(〇は1つ)

日常生活全般で困っていることは、「いいえ」が63.7%で最も多く、次いで、「はい」が31.7%となっています。



問4 (17) ① 【(17) で「1 ある」(困っていることがある)と回答した方にお伺いします。】
あなたが困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

困っていることは、「高所の掃除や荷物の積み下ろし等」が72.3%で最も多く、次いで、「力を要すること」が71.8%となっています。

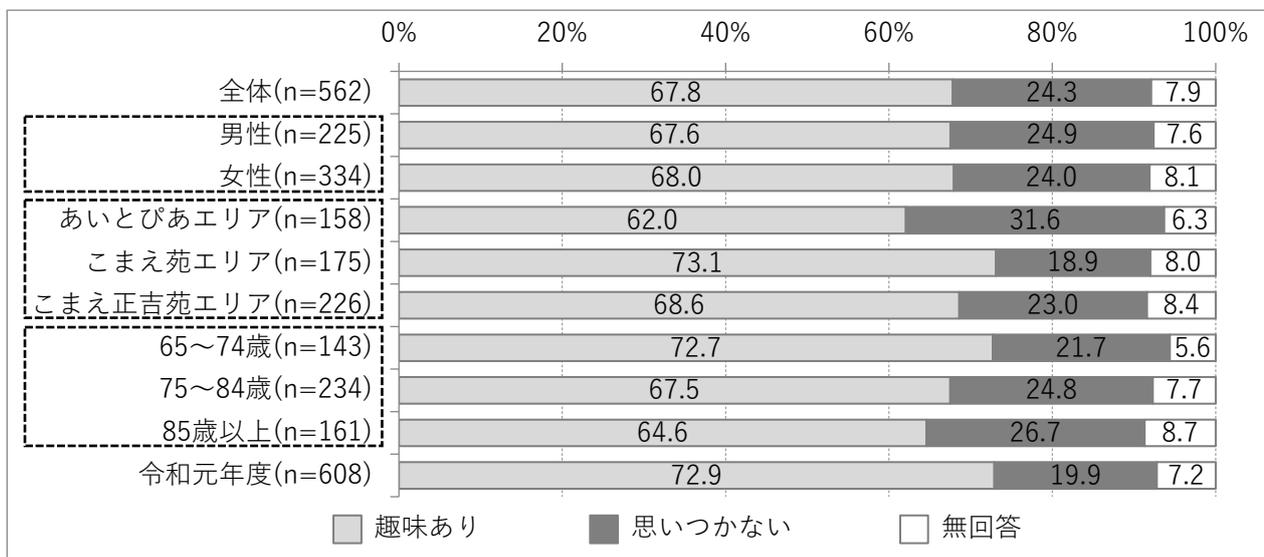


(単位: 人、%)

区分	人数	買い物	調理	掃除	ゴミだし	洗濯	高所にある掃除や荷物の積み下ろし等	力を要すること	布団干し	ペットの世話	電化製品の取扱い	金銭の管理	その他	無回答
全体	179	29.4	19.8	31.6	14.7	13.6	72.3	71.8	39.5	1.7	35.0	6.2	11.3	4.5
男性	61	16.4	27.9	31.1	11.5	23.0	50.8	62.3	26.2	3.3	23.0	8.2	19.7	8.2
女性	116	36.2	15.5	31.9	16.4	8.6	83.6	76.7	46.6	0.9	41.4	5.2	6.9	2.6
あいとぴあエリア	42	28.6	16.7	19.0	11.9	9.5	66.7	66.7	33.3	0.0	35.7	4.8	9.5	11.9
こまえ苑エリア	58	32.8	25.9	32.8	13.8	19.0	75.9	81.0	44.8	5.2	29.3	5.2	15.5	3.4
こまえ正吉苑エリア	78	26.9	16.7	37.2	16.7	11.5	71.8	66.7	38.5	0.0	38.5	7.7	9.0	2.6
65～74歳	24	25.0	25.0	20.8	8.3	8.3	58.3	66.7	12.5	0.0	25.0	8.3	12.5	12.5
75～84歳	76	22.4	15.8	25.0	7.9	7.9	68.4	67.1	26.3	1.3	34.2	1.3	10.5	6.6
85歳以上	72	36.1	23.6	40.3	23.6	20.8	79.2	76.4	58.3	2.8	38.9	11.1	12.5	1.4
令和元年度	236	31.7	26.8	43.1	13.8	12.6	70.3	65.0	48.0	2.8	29.7	4.9	14.2	2.8

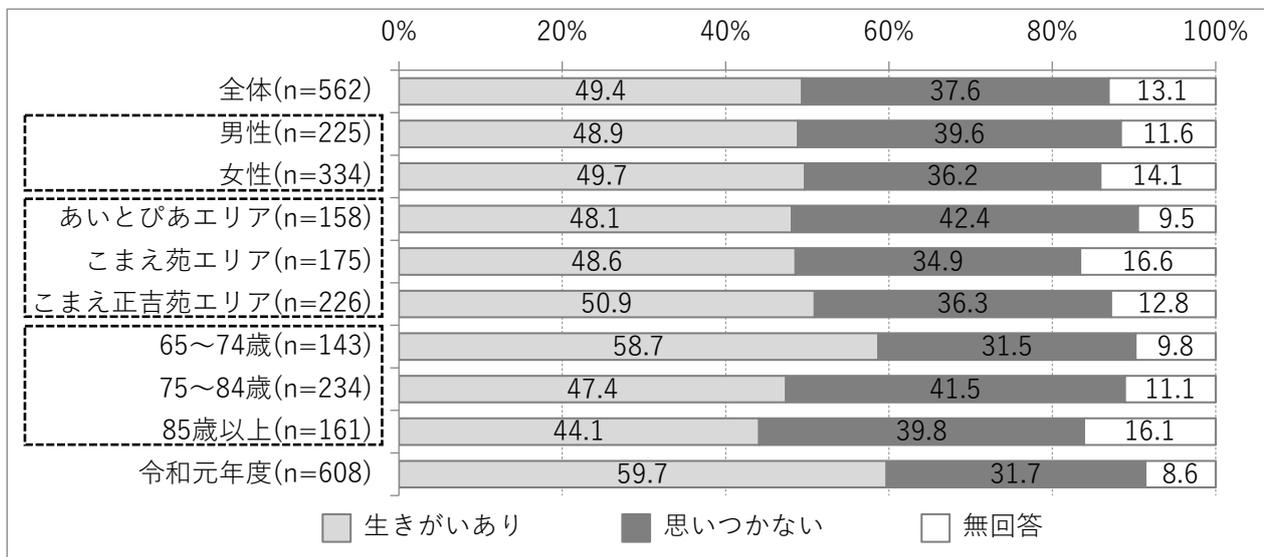
問4 (18) 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味の有無については、「趣味あり」が67.8%で最も多く、次いで、「思いつかない」が24.3%となっています。



問4 (19) 生きがいがありますか。(○は1つ)

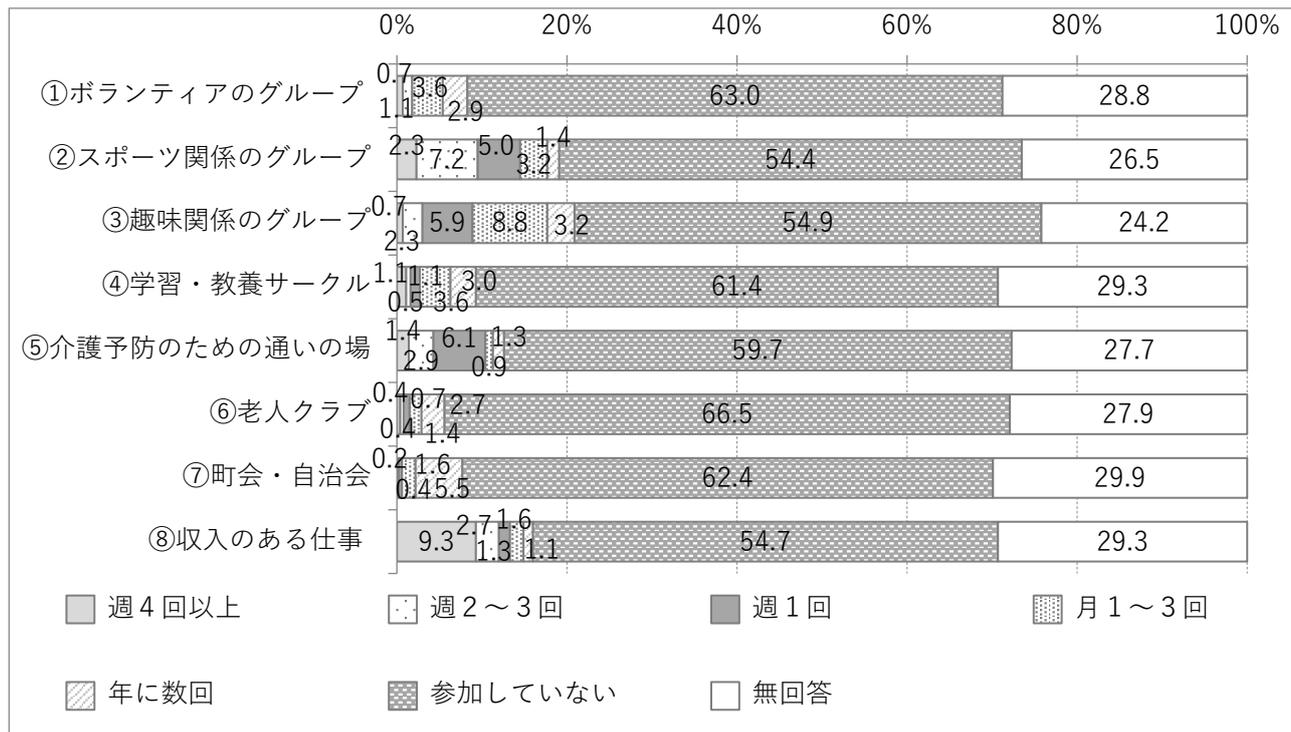
生きがいの有無については、「生きがいあり」が49.4%で最も多く、次いで、「思いつかない」が37.6%となっています。



5 地域での活動について

問5（1） 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。①から⑧までそれぞれに回答してください。

『参加している』（「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」及び「年に数回」の合計）が最も多いのは「趣味関係のグループ」で20.9%であり、次いで、「スポーツ関係のグループ」が19.1%となっています。



① ボランティアのグループ

ボランティアのグループで「参加していない」「無回答」を除いて、「月1～3回」が3.6%で最も多く、次いで、「年に数回」が2.9%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	562	0.7	1.1	0.0	3.6	2.9	63.0	28.8
男性	225	0.9	1.3	0.0	2.2	4.4	68.9	22.2
女性	334	0.6	0.9	0.0	4.5	1.8	59.0	33.2
あいとぴあエリア	158	0.0	1.3	0.0	3.2	5.1	68.4	22.2
こまえ苑エリア	175	1.1	0.6	0.0	4.0	2.3	62.3	29.7
こまえ正吉苑エリア	226	0.9	1.3	0.0	3.5	1.8	59.7	32.7
65～74歳	143	0.0	0.0	0.0	6.3	3.5	76.2	14.0
75～84歳	234	0.9	1.3	0.0	3.4	3.0	61.1	30.3
85歳以上	161	1.2	0.0	0.0	1.9	1.9	55.9	39.1
令和元年度	608	0.8	3.3	4.3	4.9	3.1	70.9	12.7

② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブで「参加していない」「無回答」を除いて、「週2～3回」が7.2%で最も多く、次いで、「週1回」が5.0%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	562	2.3	7.2	5.0	3.2	1.4	54.4	26.5
男性	225	1.8	7.6	4.0	2.7	2.7	61.8	19.6
女性	334	2.7	6.9	5.7	3.6	0.6	49.4	31.1
あいとぴあエリア	158	1.3	5.7	6.3	3.2	1.9	57.6	24.1
こまえ苑エリア	175	3.4	9.1	2.9	4.6	0.6	53.1	26.3
こまえ正吉苑エリア	226	2.2	6.6	5.8	2.2	1.8	53.1	28.3
65～74歳	143	0.7	4.9	6.3	4.9	0.7	67.1	15.4
75～84歳	234	3.0	9.8	4.7	3.0	1.7	51.3	26.5
85歳以上	161	2.5	4.3	5.0	2.5	1.9	49.7	34.2
令和元年度	608	2.5	8.2	8.4	3.9	2.1	62.5	12.3

③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループで「参加していない」「無回答」を除いて、「月1～3回」が8.8%で最も多く、次いで、「週1回」が5.9%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	0.7	2.3	5.9	8.8	3.2	54.9	24.2
男性	225	0.4	3.1	5.8	6.7	5.3	59.1	19.6
女性	334	0.9	1.8	6.0	10.2	1.8	52.1	27.2
あいとぴあエリア	158	1.3	1.9	7.0	7.6	3.2	58.2	20.9
こまえ苑エリア	175	0.6	0.6	5.7	9.1	2.9	54.9	26.3
こまえ正吉苑エリア	226	0.4	4.0	5.3	9.3	3.5	52.7	24.8
65～74歳	143	1.4	2.8	4.9	11.2	4.2	64.3	11.2
75～84歳	234	0.9	2.1	6.0	9.4	3.8	53.8	23.9
85歳以上	161	0.0	1.2	6.2	6.8	1.2	50.3	34.2
令和元年度	608	1.6	5.9	9.0	11.7	5.1	55.3	11.3

④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルで「参加していない」「無回答」を除いて、「月1～3回」が3.6%で最も多く、次いで、「年に数回」が3.0%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	1.1	0.5	1.1	3.6	3.0	61.4	29.3
男性	225	0.4	0.4	0.9	2.2	5.3	68.4	22.2
女性	334	1.5	0.6	1.2	4.5	1.5	56.6	34.1
あいとぴあエリア	158	0.0	0.6	1.3	4.4	3.8	65.2	24.7
こまえ苑エリア	175	1.7	0.6	0.0	2.3	4.0	62.3	29.1
こまえ正吉苑エリア	226	1.3	0.4	1.8	4.0	1.8	58.0	32.7
65～74歳	143	0.7	0.0	2.8	4.2	2.8	74.1	15.4
75～84歳	234	0.9	0.9	0.9	3.0	2.6	61.1	30.8
85歳以上	161	1.9	0.6	0.0	3.7	3.1	52.8	37.9
令和元年度	608	0.2	1.5	2.6	6.7	4.6	70.6	13.8

⑤ 介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場で「参加していない」「無回答」を除いて、「週1回」が6.1%で最も多く、次いで、「週2～3回」が2.9%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	1.4	2.9	6.1	0.9	1.3	59.7	27.7
男性	225	0.4	0.9	4.0	0.4	1.8	69.8	22.7
女性	334	2.1	4.2	7.5	1.2	0.9	53.0	31.1
あいとぴあエリア	158	0.0	3.2	7.0	0.6	3.2	60.8	25.3
こまえ苑エリア	175	3.4	5.1	5.7	1.7	1.1	57.7	25.1
こまえ正吉苑エリア	226	0.9	0.9	5.8	0.4	0.0	60.2	31.9
65～74歳	143	0.0	0.7	2.8	2.1	0.7	79.0	14.7
75～84歳	234	0.4	3.4	5.1	0.4	2.1	56.8	31.6
85歳以上	161	4.3	3.7	9.9	0.6	0.6	49.7	31.1
令和元年度	608	0.7	6.9	10.5	3.0	1.2	65.3	12.5

⑥ 老人クラブ

老人クラブで「参加していない」「無回答」を除いて、「年に数回」が2.7%で最も多く、次いで、「月1～3回」が1.4%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	0.4	0.4	0.7	1.4	2.7	66.5	27.9
男性	225	0.4	0.0	0.4	0.4	1.8	74.2	22.7
女性	334	0.3	0.6	0.9	2.1	3.3	61.4	31.4
あいとぴあエリア	158	0.0	0.0	1.3	3.2	0.6	72.8	22.2
こまえ苑エリア	175	1.1	0.6	0.0	0.6	2.9	65.1	29.7
こまえ正吉苑エリア	226	0.0	0.4	1.3	0.9	3.5	63.3	30.5
65～74歳	143	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	83.9	15.4
75～84歳	234	0.4	0.4	1.3	1.7	3.4	65.8	26.9
85歳以上	161	0.6	0.6	1.2	1.9	4.3	54.0	37.3
令和元年度	608	0.3	1.0	1.3	3.1	2.1	79.8	12.3

⑦ 町会・自治会

町会・自治会で「参加していない」「無回答」を除いて、「年に数回」が5.5%で最も多く、次いで、「月1～3回」が1.6%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	0.2	0.0	0.4	1.6	5.5	62.4	29.9
男性	225	0.0	0.0	0.9	2.2	6.2	68.0	22.7
女性	334	0.3	0.0	0.0	1.2	5.1	58.7	34.7
あいとぴあエリア	158	0.0	0.0	0.6	2.5	7.0	65.8	24.1
こまえ苑エリア	175	0.0	0.0	0.0	1.1	5.7	61.1	32.0
こまえ正吉苑エリア	226	0.4	0.0	0.4	1.3	4.0	61.1	32.7
65～74歳	143	0.0	0.0	1.4	0.7	5.6	78.3	14.0
75～84歳	234	0.4	0.0	0.0	2.1	6.0	62.0	29.5
85歳以上	161	0.0	0.0	0.0	1.2	5.0	51.6	42.2
令和元年度	608	0.3	0.5	0.5	2.6	9.0	73.7	13.3

⑧ 収入のある仕事

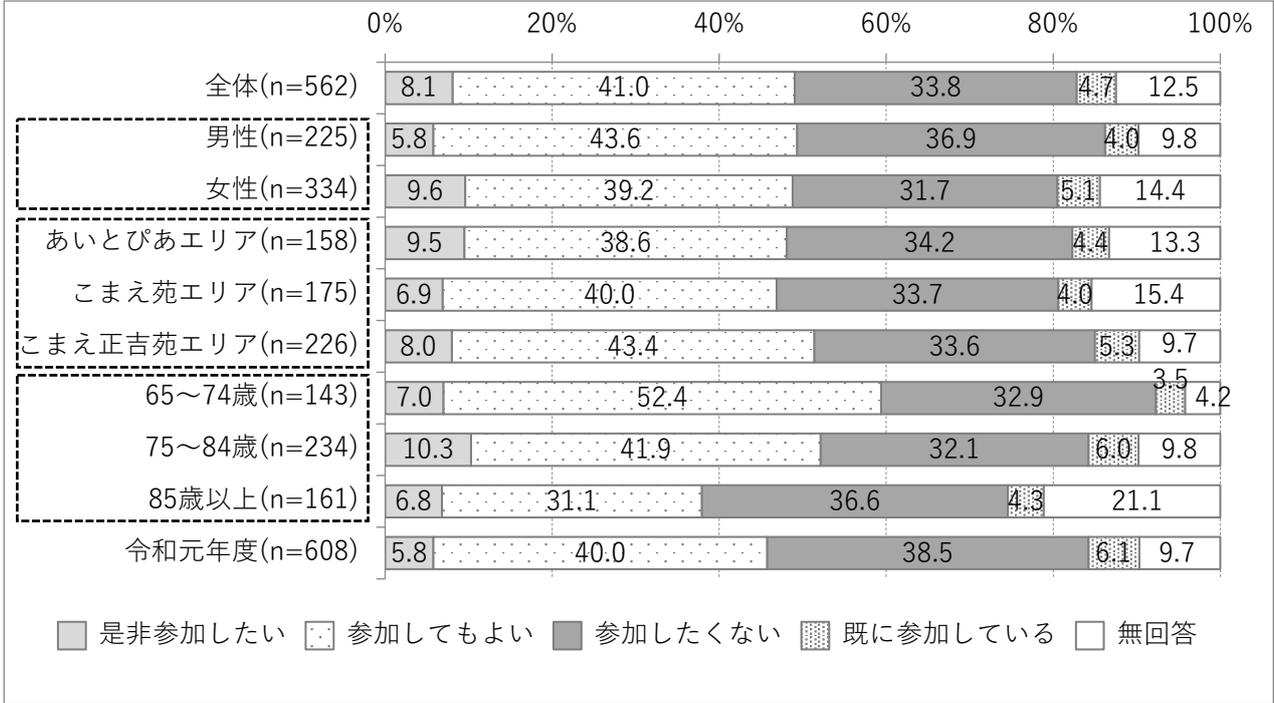
収入のある仕事で「参加していない」「無回答」を除いて、「週4回以上」が9.3%で最も多く、次いで、「週2～3回」が2.7%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	9.3	2.7	1.3	1.6	1.1	54.7	29.3
男性	225	15.1	4.9	0.9	2.7	2.2	54.2	20.0
女性	334	5.4	1.2	1.5	0.9	0.3	55.1	35.6
あいとぴあエリア	158	11.4	3.8	1.3	3.2	0.0	57.6	22.8
こまえ苑エリア	175	8.6	1.7	0.6	0.6	1.1	56.0	31.4
こまえ正吉苑エリア	226	8.4	2.7	1.8	1.3	1.8	51.8	32.3
65～74歳	143	23.8	7.0	3.5	2.1	1.4	51.0	11.2
75～84歳	234	6.0	1.3	0.9	2.1	0.9	58.1	30.8
85歳以上	161	0.0	1.2	0.0	0.6	0.6	55.9	41.6
令和元年度	608	6.9	3.6	1.8	2.1	2.6	70.9	12.0

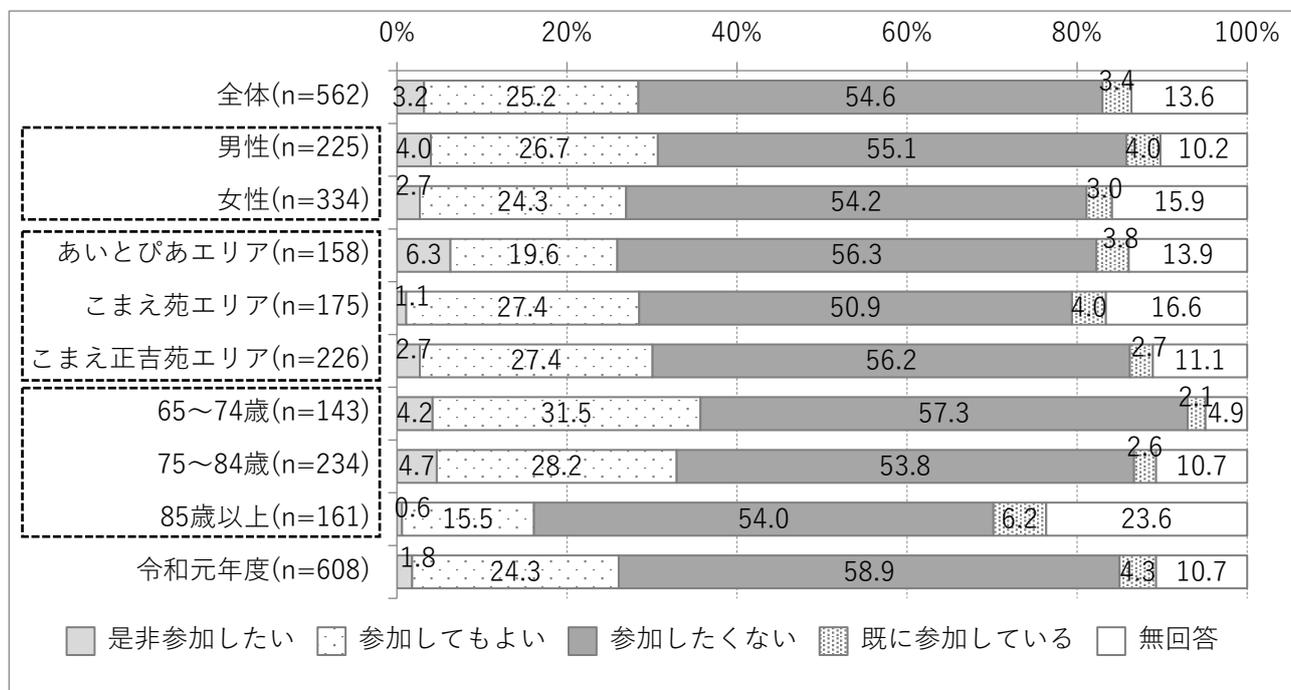
問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域づくりに参加者として参加したいかについては、「参加してもよい」が41.0%で最も多く、次いで、「参加したくない」が33.8%となっています。



問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

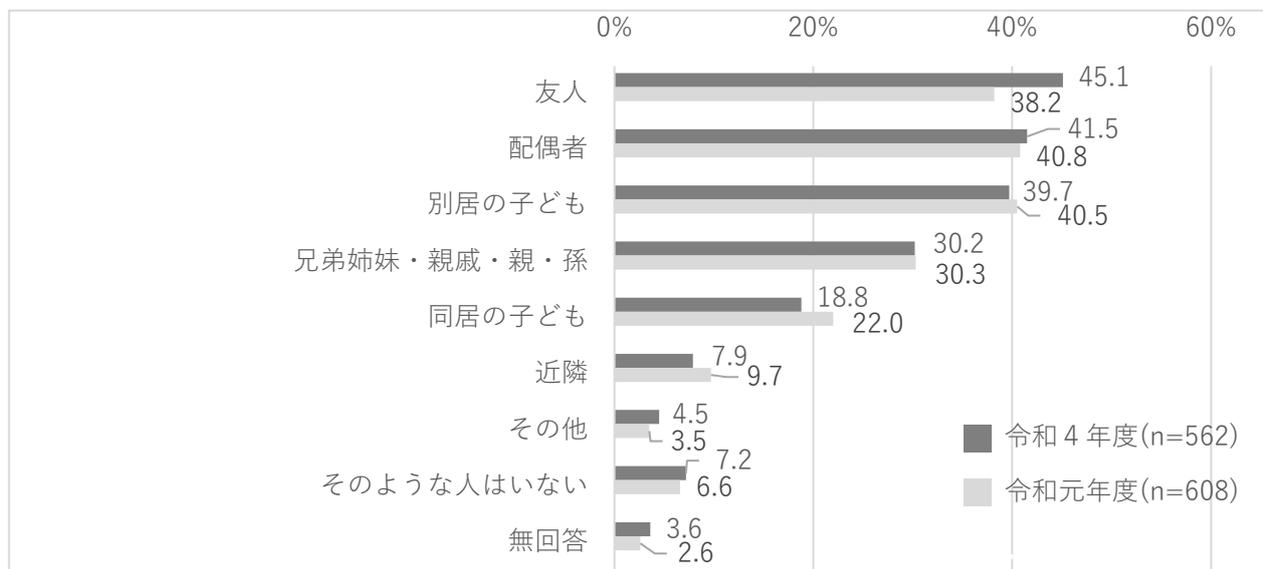
企画・運営(お世話役)として参加したいかについては、「参加したくない」が54.6%で最も多く、次いで、「参加してもよい」が25.2%となっています。



6 たすけあいについて

問6（1） あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。（○はいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」が45.1%で最も多く、次いで、「配偶者」が41.5%となっています。

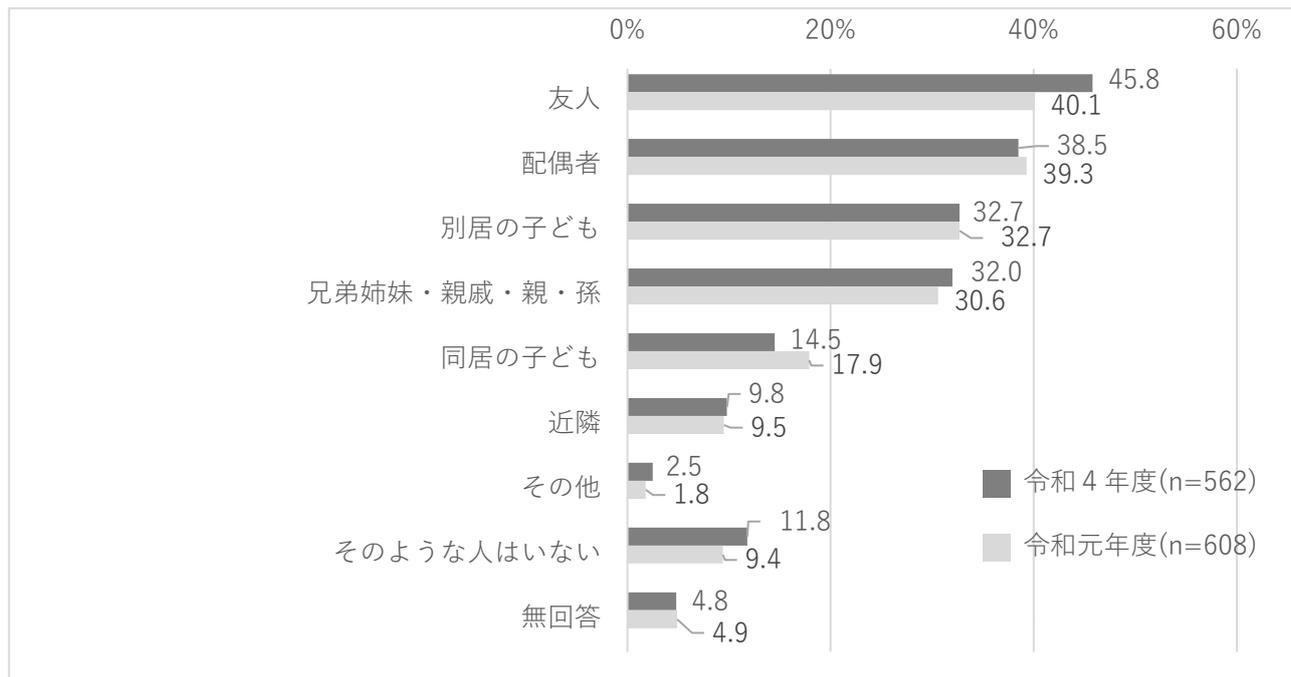


(単位：人、%)

区分	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	はいのない人	そのようない人	無回答
全体	562	41.5	18.8	39.7	30.2	7.9	45.1	4.5	7.2	3.6	
男性	225	60.9	15.6	32.4	23.6	2.7	28.0	3.6	10.2	4.4	
女性	334	28.4	21.0	44.6	34.7	11.4	56.6	5.1	5.1	3.0	
あいとぴあエリア	158	37.3	17.1	38.0	29.1	4.4	44.3	2.5	7.0	4.4	
こまえ苑エリア	175	44.6	20.6	41.7	34.9	9.1	44.0	5.1	8.0	2.3	
こまえ正吉苑エリア	226	42.5	18.1	39.4	27.4	8.8	46.0	5.3	6.6	4.0	
65～74歳	143	57.3	18.2	35.7	30.8	4.2	57.3	1.4	7.0	0.0	
75～84歳	234	42.3	16.7	38.0	30.3	9.4	44.0	4.7	6.8	4.7	
85歳以上	161	28.6	22.4	45.3	29.2	8.1	34.8	5.0	8.7	3.7	
令和元年度	608	40.8	22.0	40.5	30.3	9.7	38.2	3.5	6.6	2.6	

問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」が45.8%、「配偶者」が38.5%となっています。

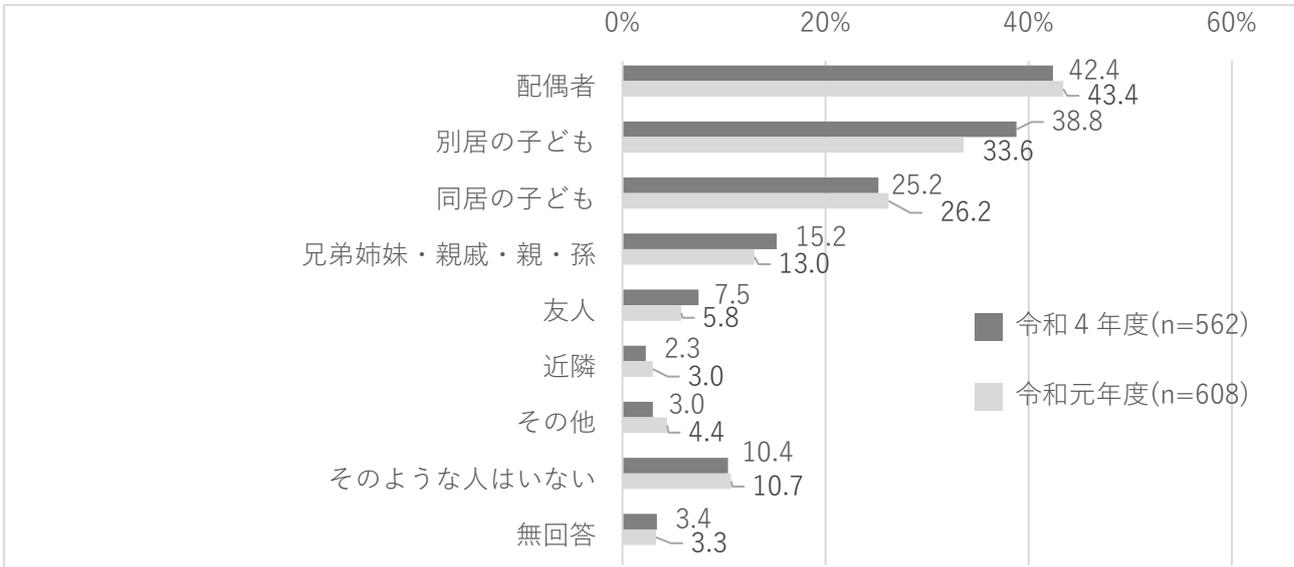


(単位：人、%)

区分	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	はそれがない人	無回答
全体	562	38.5	14.5	32.7	32.0	9.8	45.8	2.5	11.8	4.8
男性	225	57.8	13.3	31.6	25.8	4.4	30.2	2.7	12.9	3.6
女性	334	25.4	15.3	33.5	36.2	13.5	56.3	2.4	11.1	5.7
あいとぴあエリア	158	34.2	12.7	31.6	27.8	5.1	46.2	1.3	12.7	4.4
こまえ苑エリア	175	43.4	14.9	35.4	36.0	11.4	46.3	3.4	10.9	4.0
こまえ正吉苑エリア	226	38.1	15.0	31.4	32.3	11.5	44.7	2.7	11.9	5.8
65～74歳	143	55.9	18.9	35.0	33.6	7.0	58.0	2.8	7.0	0.7
75～84歳	234	38.9	13.2	34.6	33.3	11.1	44.9	1.7	9.8	6.8
85歳以上	161	24.8	12.4	28.6	28.0	9.9	34.8	2.5	19.9	4.3
令和元年度	608	39.3	17.9	32.7	30.6	9.5	40.1	1.8	9.4	4.9

問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)

看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が42.4%で最も多く、次いで、「別居の子ども」が38.8%となっています。

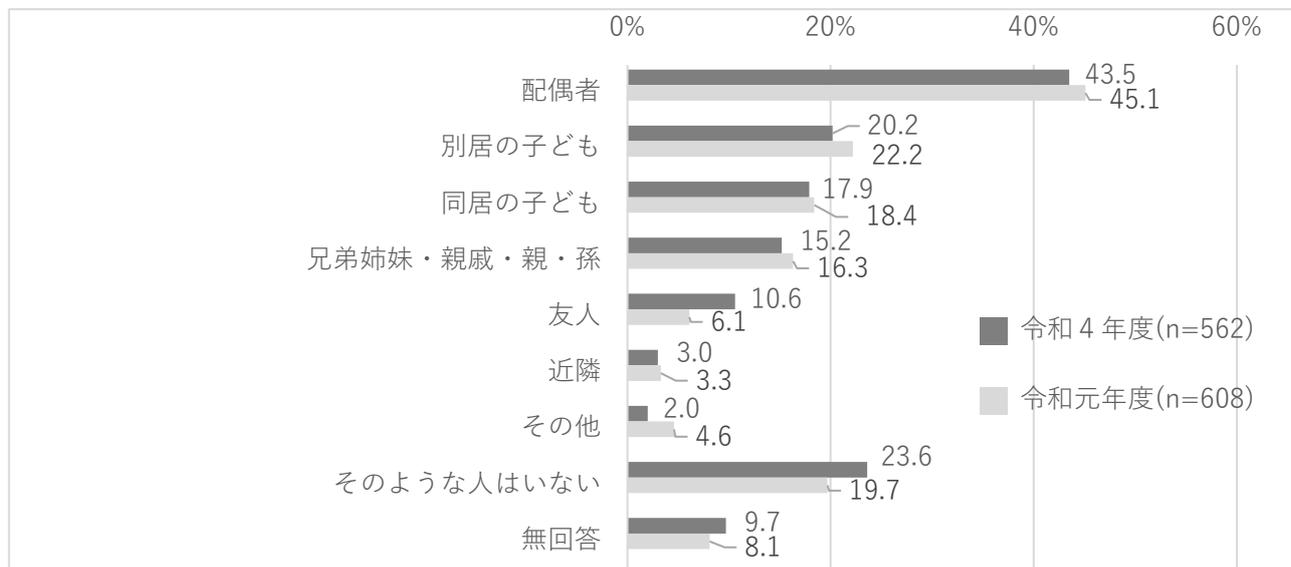


(単位：人、%)

区分	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	は その い な い よ う な 人	無回答
全体	562	42.4	25.2	38.8	15.2	2.3	7.5	3.0	10.4	3.4
男性	225	63.1	21.8	32.0	12.0	0.4	3.6	2.2	10.7	1.8
女性	334	28.4	27.5	43.4	17.4	3.6	10.2	3.6	10.2	4.5
あいとぴあエリア	158	41.1	24.1	36.1	14.6	1.9	7.6	0.6	10.8	3.2
こまえ苑エリア	175	45.7	28.0	40.6	16.6	2.9	8.6	2.9	11.4	2.9
こまえ正吉苑エリア	226	41.2	23.5	39.4	14.6	2.2	6.6	4.9	9.3	4.0
65～74歳	143	60.8	25.2	30.1	18.9	1.4	11.2	1.4	8.4	0.0
75～84歳	234	43.2	20.5	38.9	13.7	2.6	6.8	2.6	12.0	5.6
85歳以上	161	26.7	31.7	46.0	11.8	2.5	5.6	4.3	11.2	3.7
令和元年度	608	43.4	26.2	33.6	13.0	3.0	5.8	4.4	10.7	3.3

問6(4) 反対に、看病や世話をしあける人。(○はいくつでも)

看病や世話をしあける人は、「配偶者」が43.5%で最も多く、次いで、「別居の子ども」が20.2%となっています。

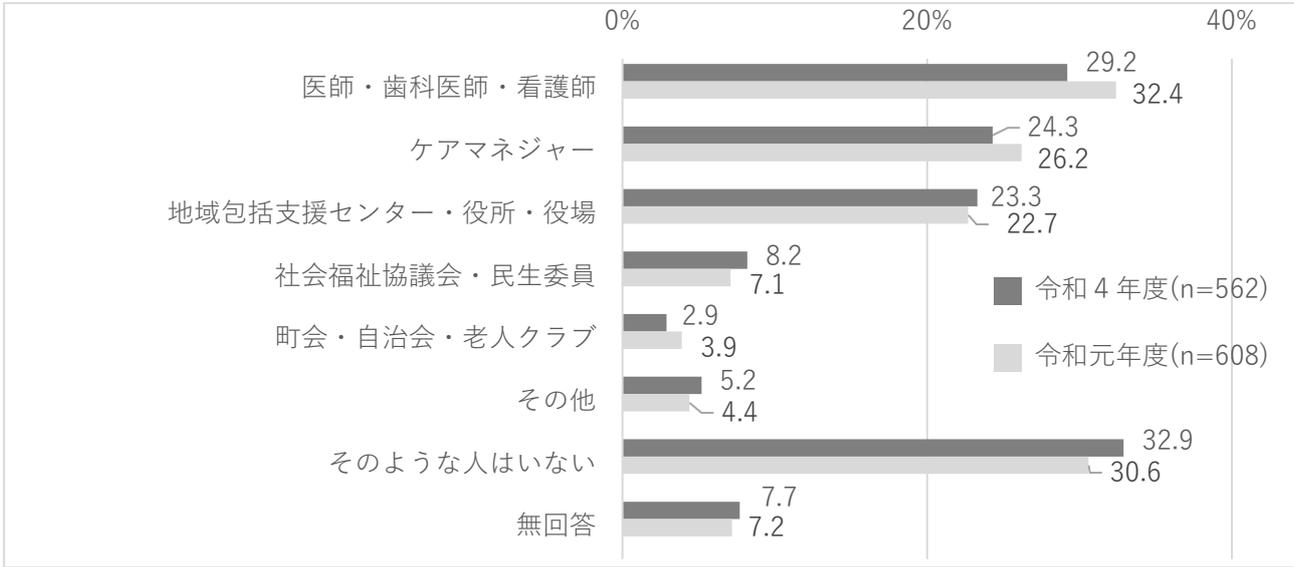


(単位：人、%)

区分	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	はそ い な い な 人	無 回 答
全体	562	43.5	17.9	20.2	15.2	3.0	10.6	2.0	23.6	9.7
男性	225	60.4	17.8	18.7	11.6	1.3	6.2	3.1	21.3	5.8
女性	334	32.0	18.0	21.3	17.7	4.2	13.5	1.2	25.1	12.3
あいとぴあエリア	158	38.6	16.5	16.5	11.4	1.9	7.6	1.3	25.9	11.4
こまえ苑エリア	175	46.9	21.7	20.0	20.0	2.9	10.3	2.3	21.7	8.6
こまえ正吉苑エリア	226	44.7	15.5	23.5	14.2	4.0	12.8	2.2	23.0	9.3
65～74歳	143	60.8	23.1	28.7	23.1	2.1	14.7	4.2	14.7	2.1
75～84歳	234	46.6	16.2	21.8	14.1	4.3	10.7	0.0	23.5	9.4
85歳以上	161	26.7	16.1	11.8	9.3	1.9	6.8	3.1	32.9	13.7
令和元年度	608	45.1	18.4	22.2	16.3	3.3	6.1	4.6	19.7	8.1

問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

相談する相手は、「そのような人はいない」が32.9%で最も多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が29.2%となっています。

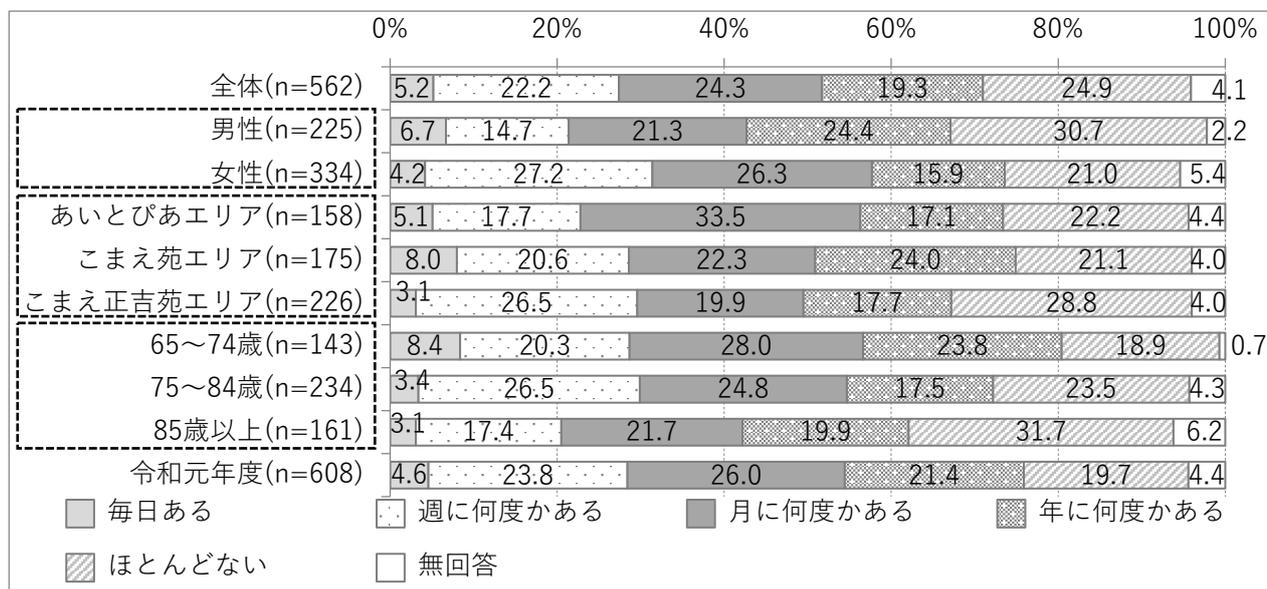


(単位：人、%)

区分	人数	町会・自治会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・看護師	医師・歯科医師	役場	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体	562	2.9	8.2	24.3	29.2	23.3	5.2	32.9	7.7		
男性	225	2.2	8.4	15.1	33.3	20.4	6.7	38.2	5.3		
女性	334	3.3	8.1	30.5	26.3	25.1	4.2	29.3	9.3		
あいとぴあエリア	158	1.9	6.3	25.3	27.2	14.6	6.3	34.8	8.2		
こまえ苑エリア	175	1.7	12.0	29.7	34.3	28.0	5.7	25.1	6.3		
こまえ正吉苑エリア	226	4.0	6.6	19.0	26.5	25.7	4.0	38.1	8.4		
65～74歳	143	2.1	3.5	6.3	28.7	18.9	6.3	51.0	1.4		
75～84歳	234	3.0	8.1	26.1	25.6	22.6	6.0	30.8	10.7		
85歳以上	161	3.1	13.7	39.1	34.8	29.8	3.1	20.5	7.5		
令和元年度	608	3.9	7.1	26.2	32.4	22.7	4.4	30.6	7.2		

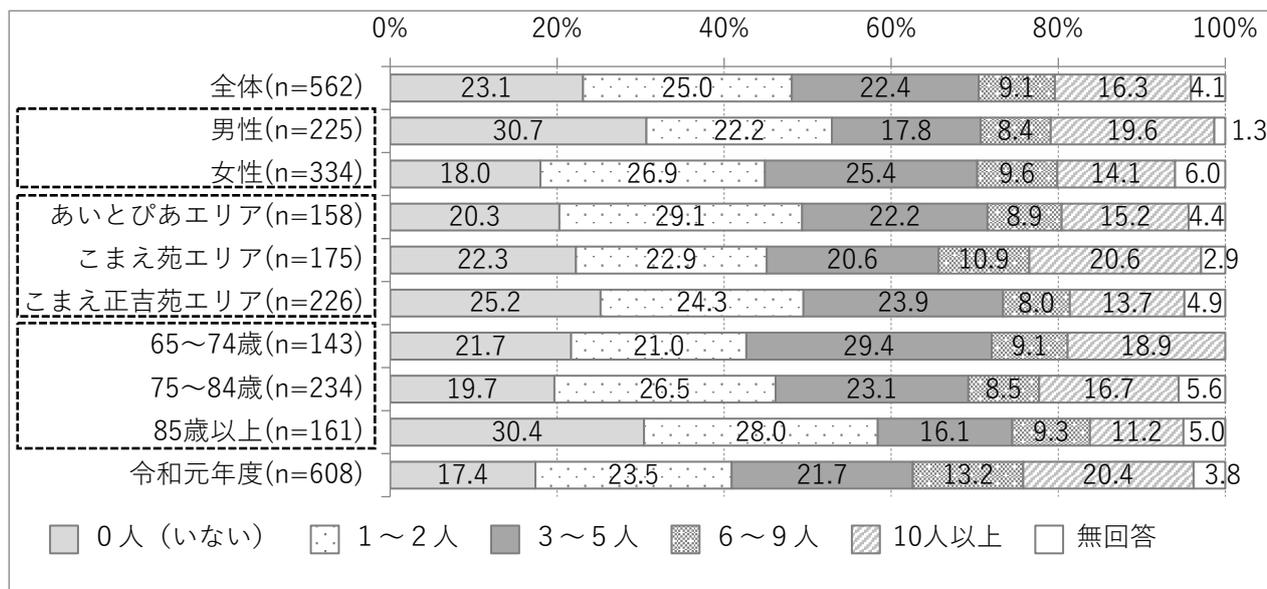
問6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度は、「ほとんどない」が24.9%で最も多く、次いで、「月に何度かある」が24.3%となっています。



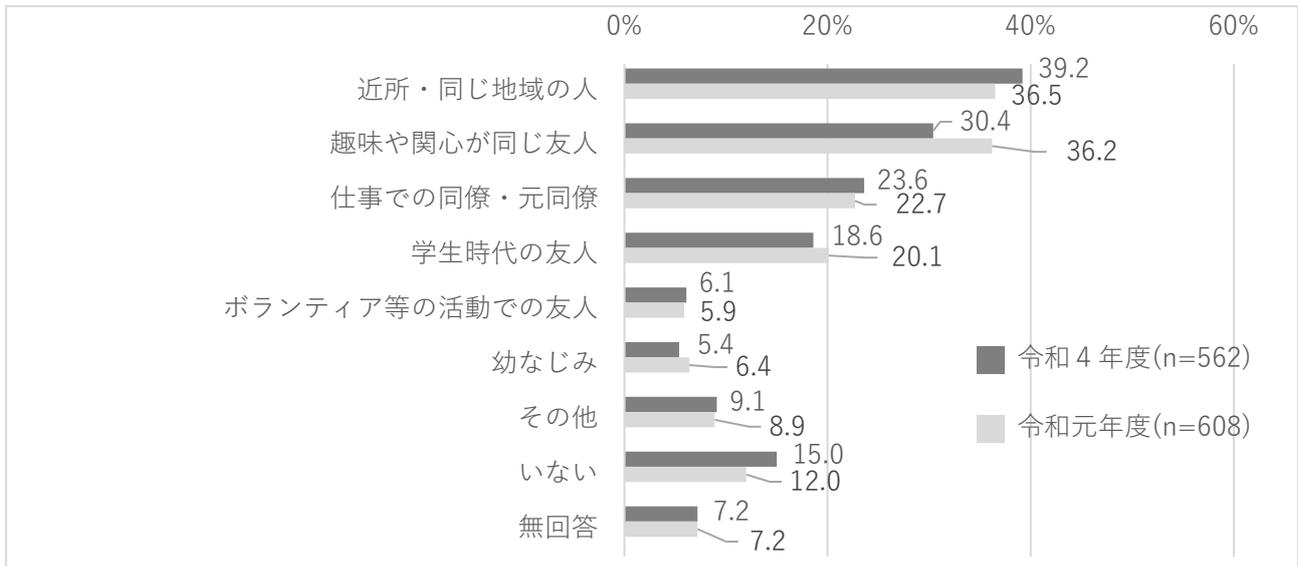
問6(7) この1箇月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

この1箇月間で会った友人・知人の数は、「1~2人」が25.0%で最も多く、次いで、「0人」が23.1%となっています。



問6（8） よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（〇はいくつでも）

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が39.2%で最も多く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」が30.4%となっています。



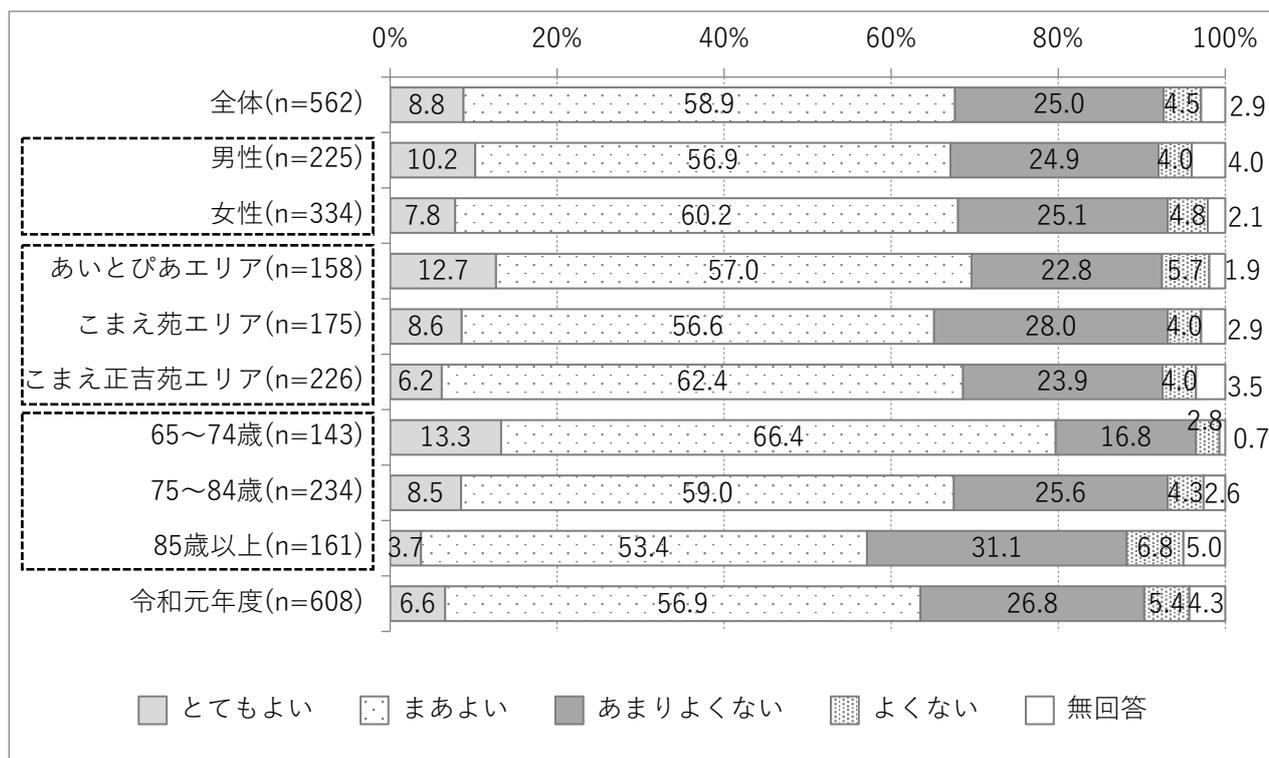
(単位：人、%)

区分	人数	の近所・同じ地域	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人等	その他	いない	無回答
全体	562	39.2	5.4	18.6	23.6	30.4	6.1	9.1	15.0	7.2
男性	225	27.1	4.9	18.7	34.2	27.6	4.4	7.6	19.6	5.8
女性	334	47.3	5.7	18.6	16.5	32.3	7.2	10.2	12.0	8.1
あいとぴあエリア	158	35.4	7.0	19.6	23.4	34.8	5.7	8.9	14.6	8.2
こまえ苑エリア	175	40.6	6.9	22.3	25.1	29.7	6.3	10.3	9.7	7.4
こまえ正吉苑エリア	226	40.7	3.1	15.0	22.1	28.8	6.2	8.4	19.0	6.2
65～74歳	143	39.2	6.3	25.2	42.7	33.6	6.3	6.3	16.8	0.0
75～84歳	234	40.2	5.1	17.9	20.1	35.9	5.6	11.5	10.7	7.3
85歳以上	161	39.1	5.6	13.7	10.6	21.1	5.0	8.1	19.9	13.7
令和元年度	608	36.5	6.4	20.1	22.7	36.2	5.9	8.9	12.0	7.2

7 健康について

問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

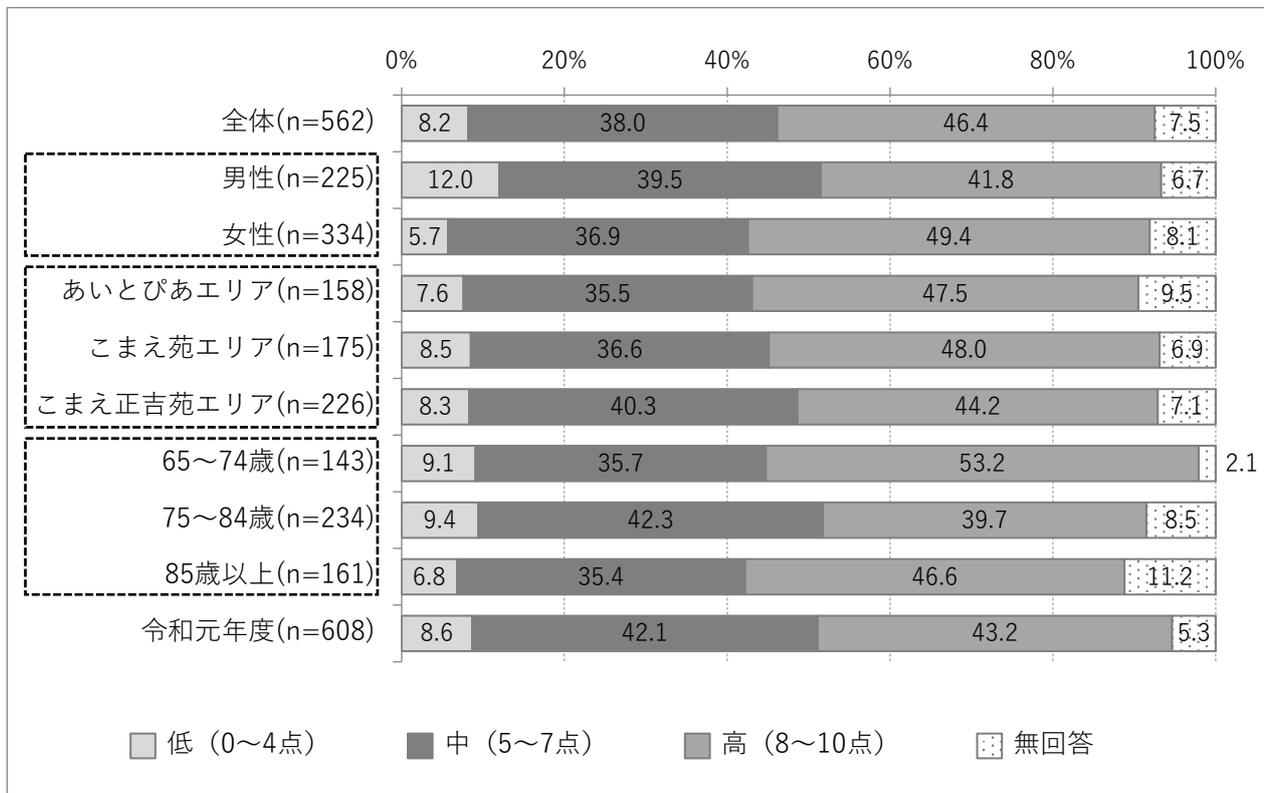
主観的健康観は、「まあよい」が58.9%で最も多く、次いで、「あまりよくない」が25.0%となっています。『よい』(「とてもよい」と「まあよい」の合計)は67.7%である一方、『よくない』(「あまりよくない」と「よくない」の合計)は29.5%となっています。



問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)(○は1つ)

主観的幸福感、「8～10点」の幸福感高が46.4%で最も多く、次いで、「5～7点」の幸福感中が38.0%、「0～4点」の幸福感低が8.2%となっています。

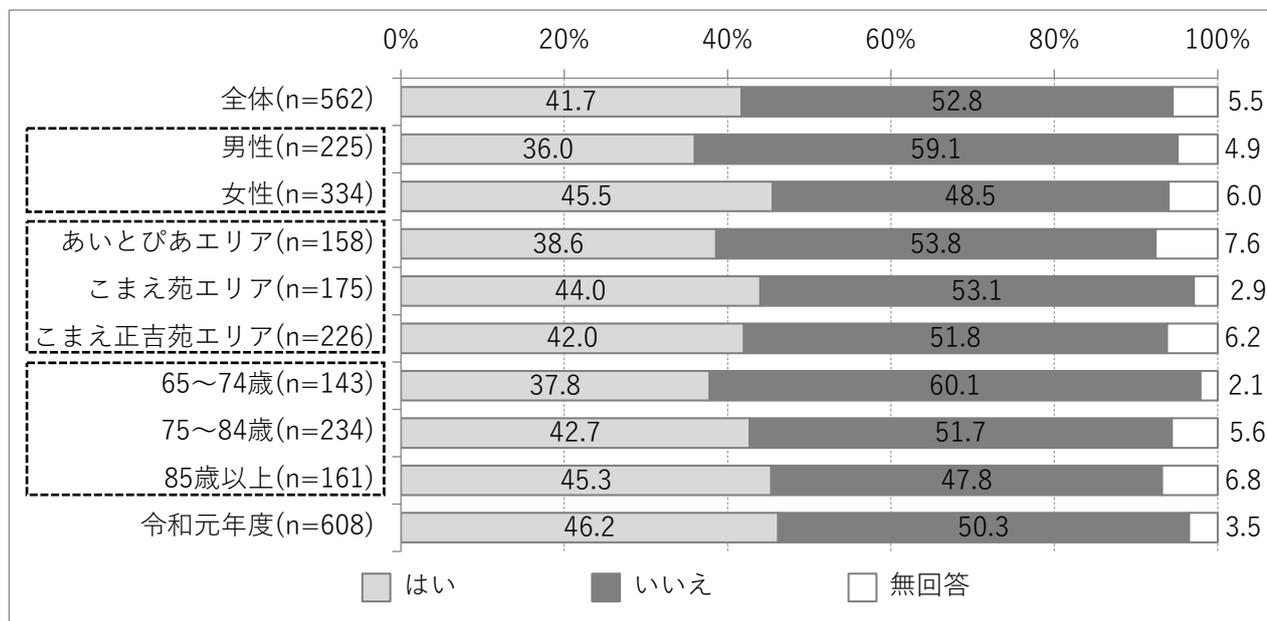


(単位：人、%)

区分	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	562	1.1	0.5	0.9	1.6	4.1	16.5	7.5	14.0	22.9	11.3	12.2	7.5
男性	225	0.4	0.9	1.3	2.7	6.7	12.0	8.4	19.1	19.6	11.1	11.1	6.7
女性	334	1.5	0.3	0.6	0.9	2.4	19.5	6.9	10.5	25.1	11.4	12.9	8.1
あいとぴあエリア	158	0.6	0.0	1.3	1.3	4.4	14.6	10.1	10.8	22.8	8.9	15.8	9.5
こまえ苑エリア	175	1.1	1.1	0.6	2.3	3.4	16.6	6.9	13.1	26.3	12.6	9.1	6.9
こまえ正吉苑エリア	226	1.3	0.4	0.9	1.3	4.4	17.3	6.2	16.8	20.4	11.9	11.9	7.1
65～74歳	143	0.0	2.1	2.1	1.4	3.5	10.5	7.0	18.2	28.7	17.5	7.0	2.1
75～84歳	234	2.1	0.0	0.4	2.6	4.3	21.4	7.7	13.2	19.2	9.8	10.7	8.5
85歳以上	161	0.6	0.0	0.6	0.6	5.0	14.9	8.7	11.8	22.4	6.8	17.4	11.2
令和元年度	608	1.0	0.0	1.5	1.8	4.3	18.1	8.7	15.3	22.5	9.0	11.7	5.3

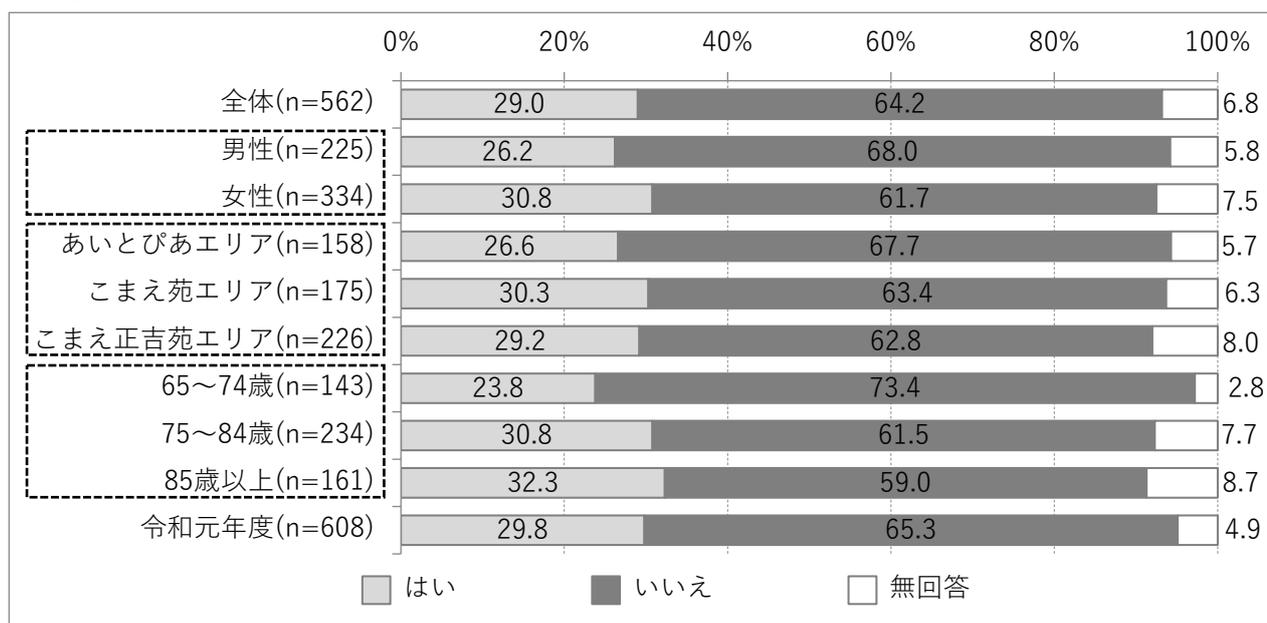
問7(3) この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことは、「いいえ」が52.8%で最も多く、次いで、「はい」が41.7%となっています。



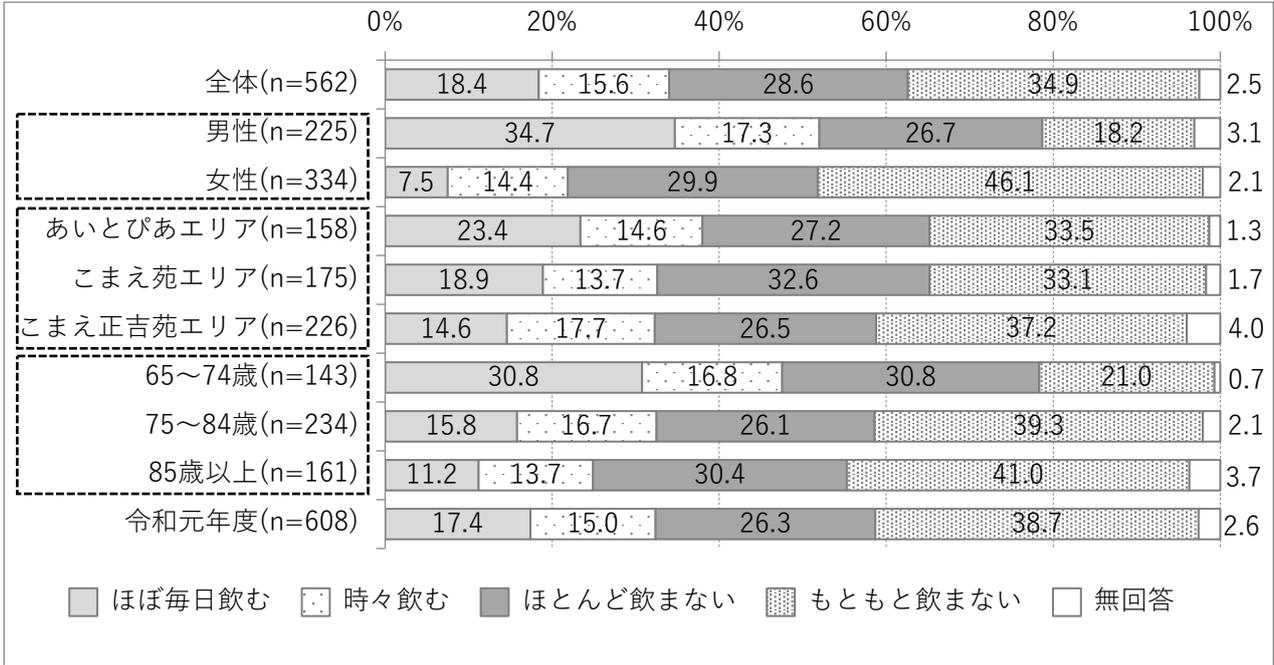
問7(4) この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

物事に対して興味がわからない等の経験の有無は、「いいえ」が64.2%で最も多く、次いで、「はい」が29.0%となっています。



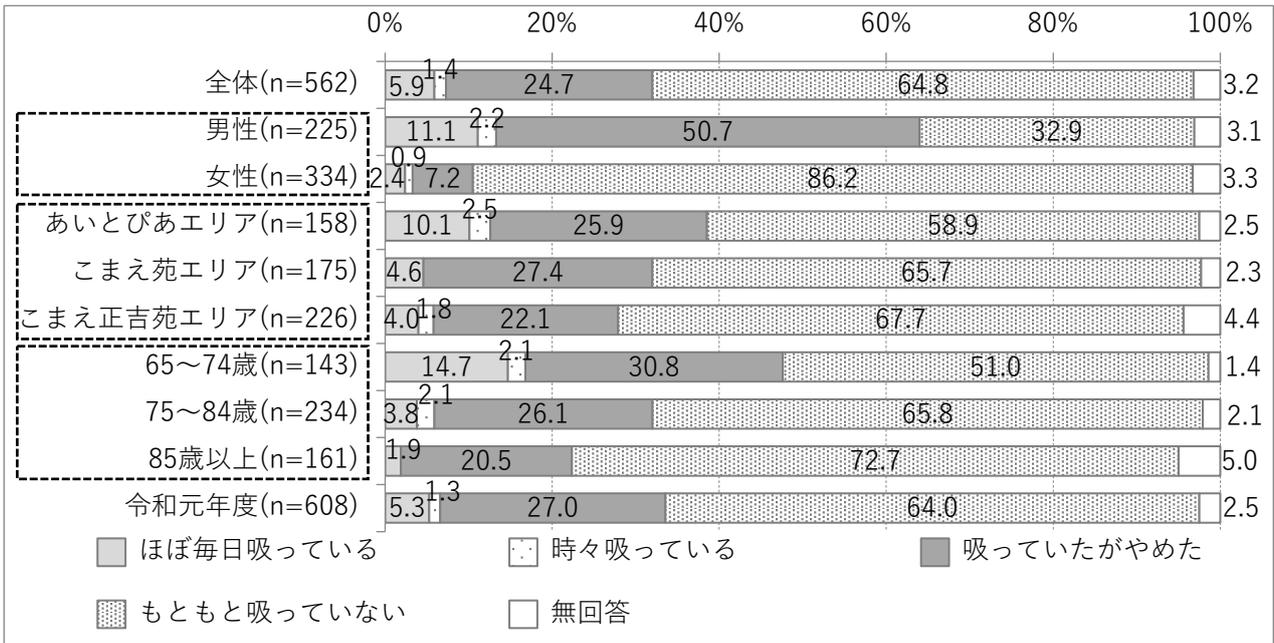
問7(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒については、「もともと飲まない」が34.9%で最も多く、次いで、「ほとんど飲まない」が28.6%となっています。



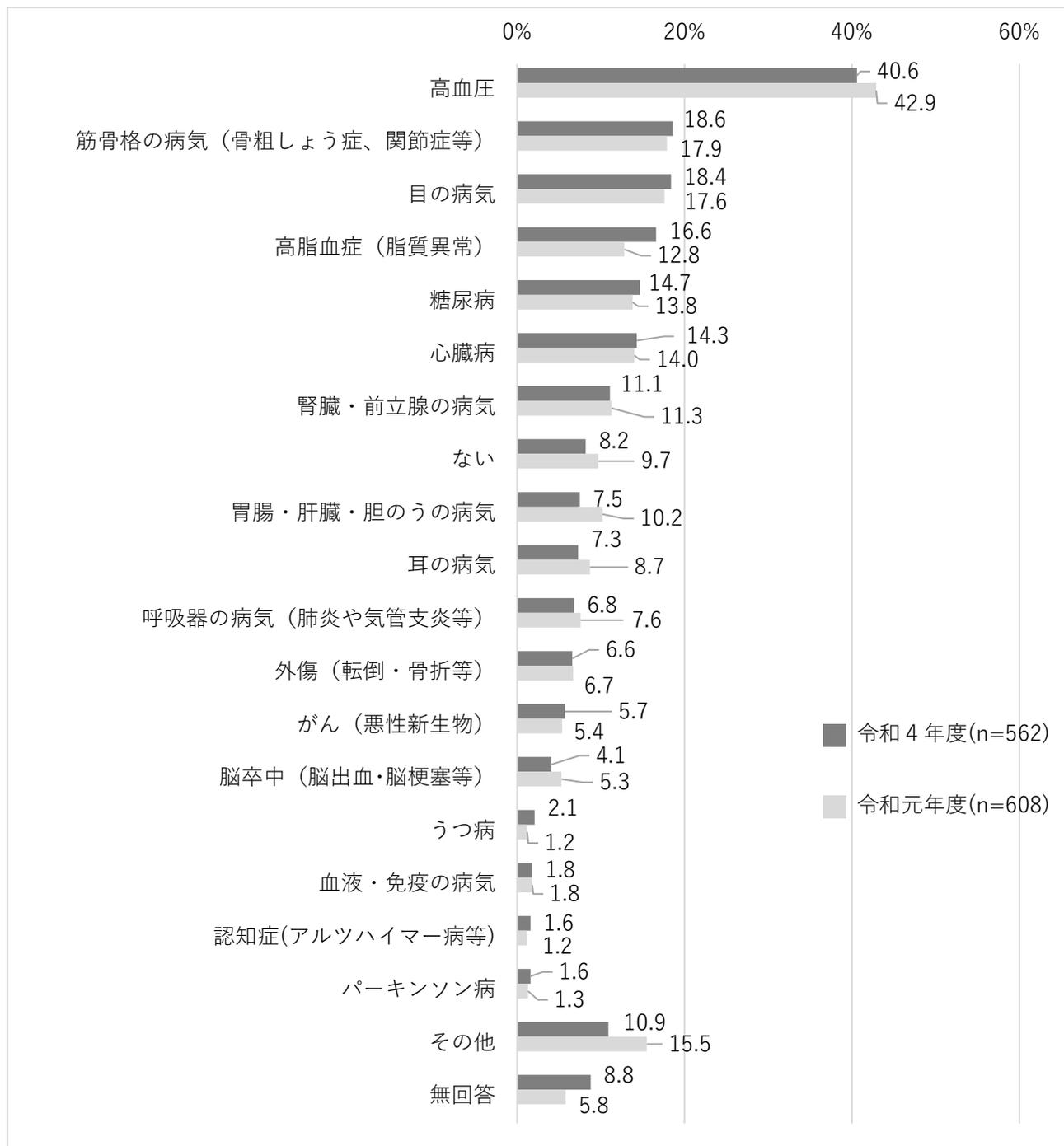
問7(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙経験は、「もともと吸っていない」が64.8%で最も多く、次いで、「吸っていたが、やめた」が24.7%となっています。



問7 (7) 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が40.6%で最も多く、次いで、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が18.6%となっています。

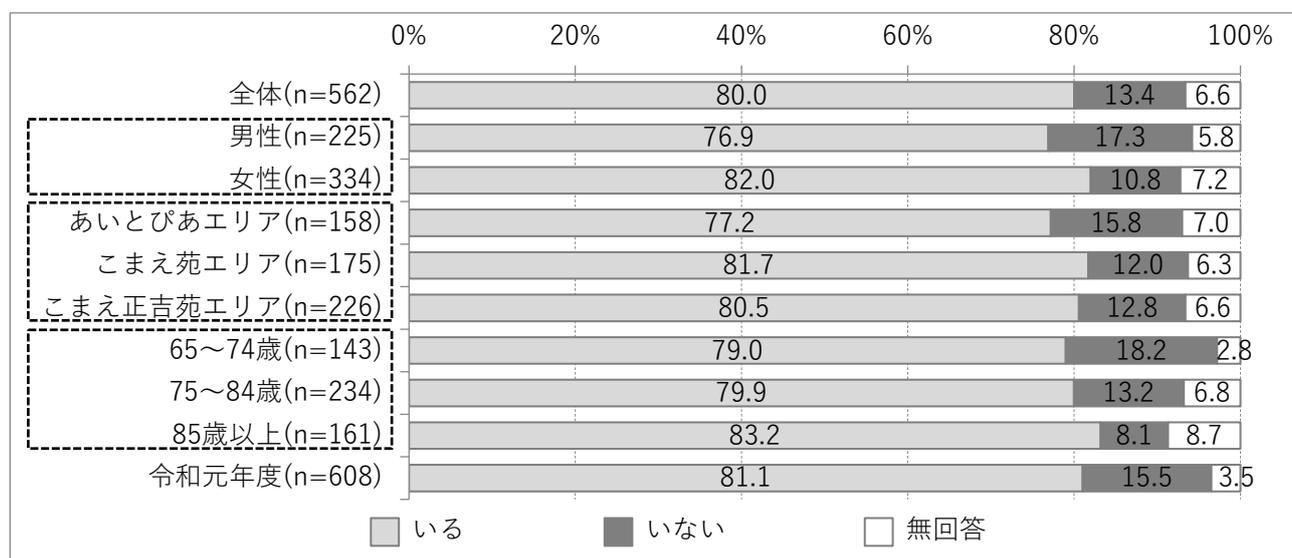


(単位：人、%)

区分	人数	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	562	8.2	40.6	4.1	14.3	14.7	16.6	6.8	7.5	11.1	18.6	6.6	5.7	1.8	2.1	1.6	1.6	18.4	7.3	10.9	8.8
男性	225	11.6	39.1	5.3	19.1	19.6	12.0	8.0	9.3	22.2	4.4	1.8	9.3	0.9	1.3	1.8	2.7	14.2	5.3	11.1	6.7
女性	334	6.0	41.6	3.3	11.1	11.4	19.8	6.0	6.3	3.6	28.1	9.9	3.3	2.4	2.7	1.5	0.9	21.3	8.7	10.8	10.2
あいとびあエリア	158	8.9	34.8	4.4	17.1	10.1	15.2	7.6	5.1	12.0	14.6	9.5	7.0	1.3	1.3	1.9	3.8	15.8	7.0	8.2	10.1
こまえ苑エリア	175	9.1	46.3	2.9	16.0	17.7	15.4	7.4	8.0	12.0	20.6	4.6	5.1	4.0	1.7	1.7	0.6	17.7	8.0	13.1	6.3
こまえ正吉苑エリア	226	7.1	40.3	4.9	11.1	15.5	18.6	5.8	8.8	9.7	19.9	6.2	5.3	0.4	3.1	1.3	0.9	20.8	7.1	11.1	9.7
65～74歳	143	16.1	32.9	6.3	8.4	16.8	20.3	3.5	4.9	7.0	3.5	2.8	4.9	0.7	2.8	0.0	2.8	13.3	4.9	11.9	6.3
75～84歳	234	4.3	43.6	4.3	15.4	16.7	16.2	8.5	6.8	14.1	22.6	5.6	8.1	2.1	3.0	2.1	1.3	18.4	5.1	10.3	10.7
85歳以上	161	6.2	45.3	2.5	17.4	9.3	15.5	7.5	11.8	11.2	28.0	11.2	3.1	1.9	0.6	2.5	1.2	22.4	13.0	11.2	6.2
令和元年度	608	9.7	42.9	5.3	14.0	13.8	12.8	7.6	10.2	11.3	17.9	6.7	5.4	1.8	1.2	1.2	1.3	17.6	8.7	15.5	5.8

問7(8) あなたは、信頼できるかかりつけ医はいますか。(○は1つ)

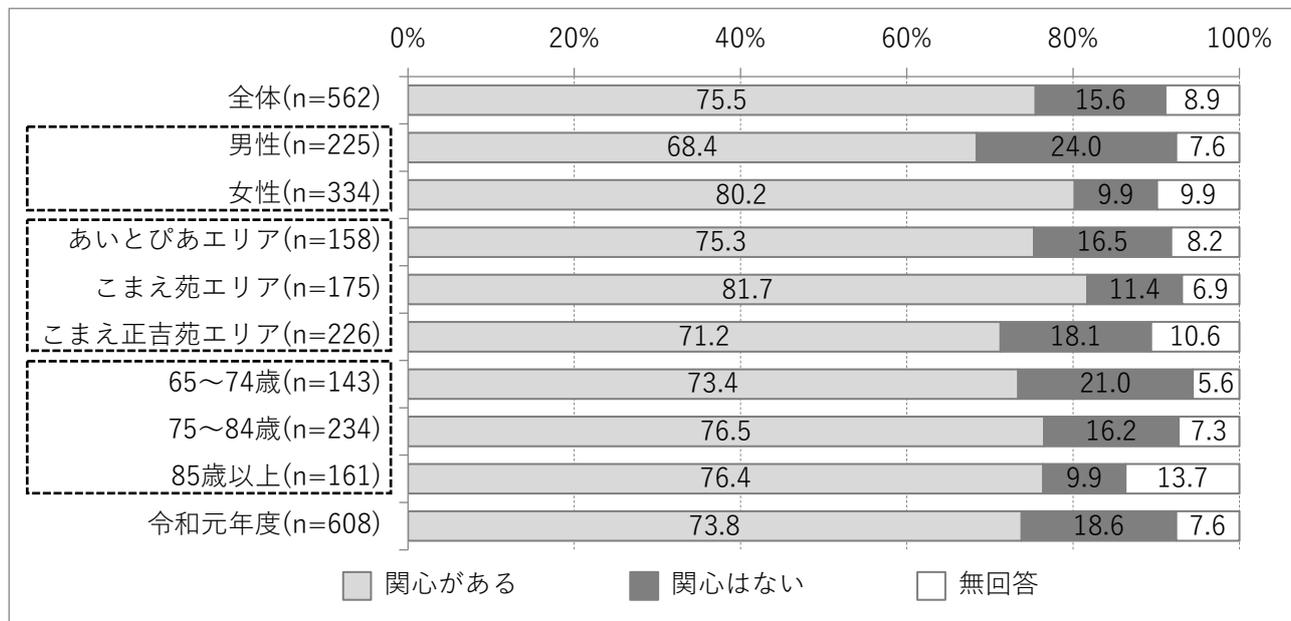
かかりつけ医の有無は、「いる」が80.0%で最も多く、次いで、「いない」が13.4%となっています。



8 介護予防について

問8 (1) 介護予防について、関心がありますか。(○は1つ)

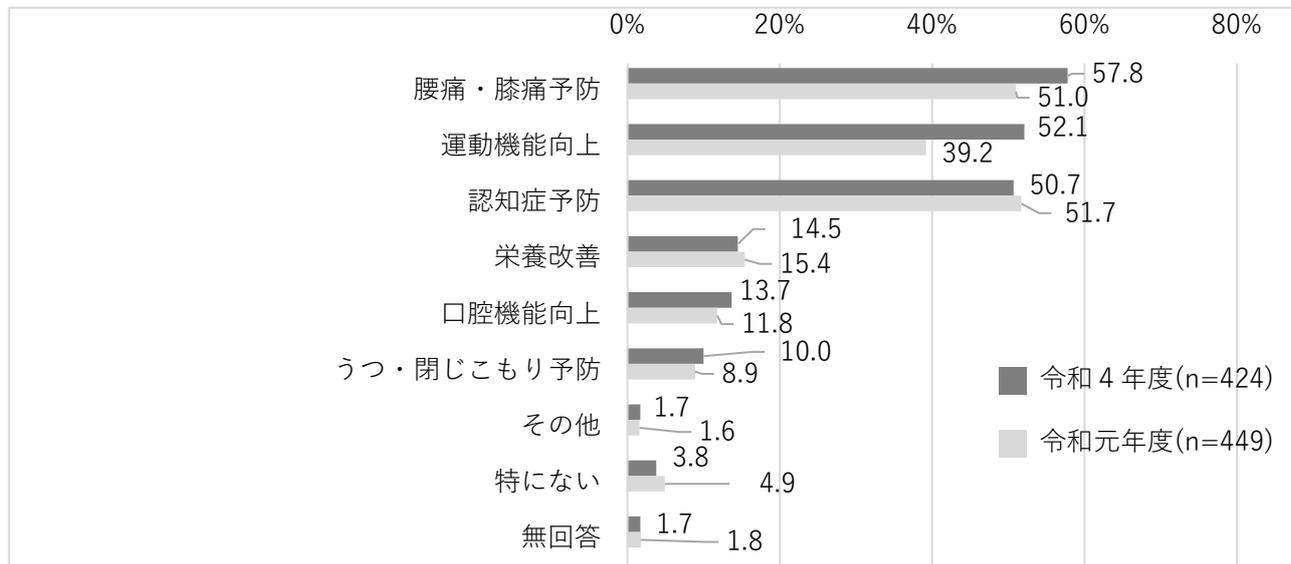
介護予防への関心度については、「関心がある」が75.5%で最も多く、次いで、「関心はない」が15.6%となっています。



問8 (1) ① 【(1)で「1 関心がある」方と回答した方にお伺いします。】

介護予防について、どんなことに関心がありますか。(〇はいくつでも)

関心があるものについては、「腰痛・膝痛予防」が57.8%で最も多く、次いで、「運動機能向上」が52.1%となっています。

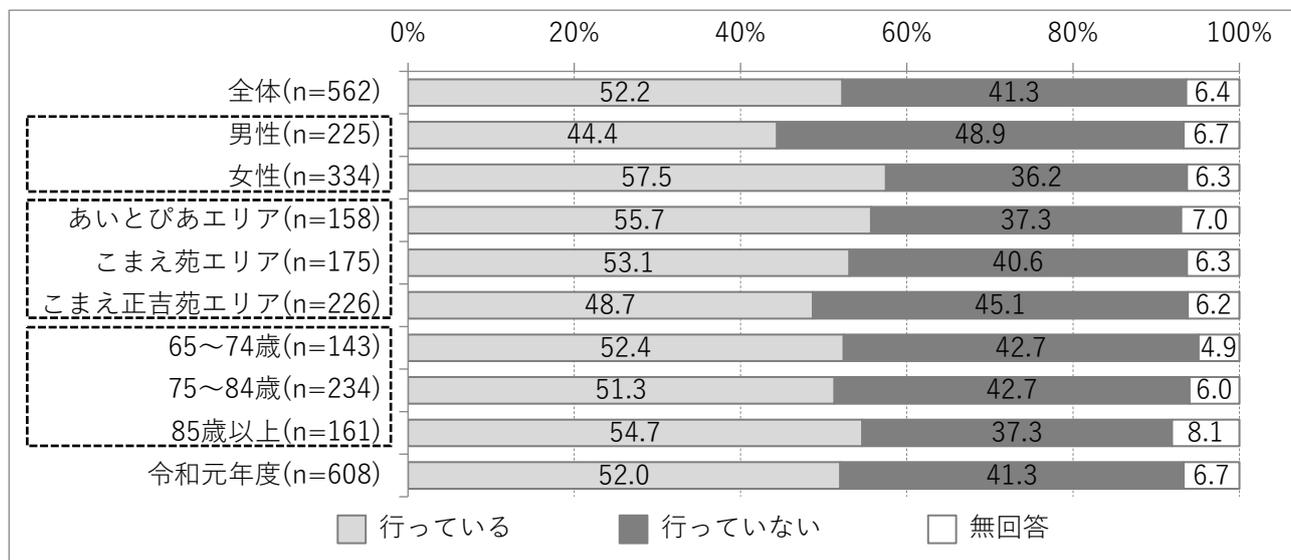


(単位: 人、%)

区分	人数	予腰痛・膝痛	認知症予防	栄養改善	うつ・閉じこもり	口腔機能向上	運動機能向上	その他	特にない	無回答
全体	424	57.8	50.7	14.5	10.0	13.7	52.1	1.7	3.8	1.7
男性	154	48.7	50.6	16.9	7.8	13.6	51.9	0.6	7.1	0.6
女性	268	63.1	50.7	13.1	11.2	13.8	52.2	2.2	1.9	2.2
あいとぴあエリア	119	58.0	48.7	12.6	6.7	11.8	52.9	1.7	4.2	1.7
こまえ苑エリア	143	60.8	53.1	16.8	9.8	15.4	46.2	1.4	5.6	3.5
こまえ正吉苑エリア	161	55.3	49.7	13.7	12.4	13.7	57.1	1.9	1.9	0.0
65～74歳	105	51.4	62.9	20.0	7.6	17.1	53.3	0.0	3.8	0.0
75～84歳	179	62.0	51.4	13.4	10.6	12.8	52.5	1.1	2.2	1.7
85歳以上	123	59.3	40.7	11.4	11.4	13.0	52.0	4.1	6.5	2.4
令和元年度	449	51.0	51.7	15.4	8.9	11.8	39.2	1.6	4.9	1.8

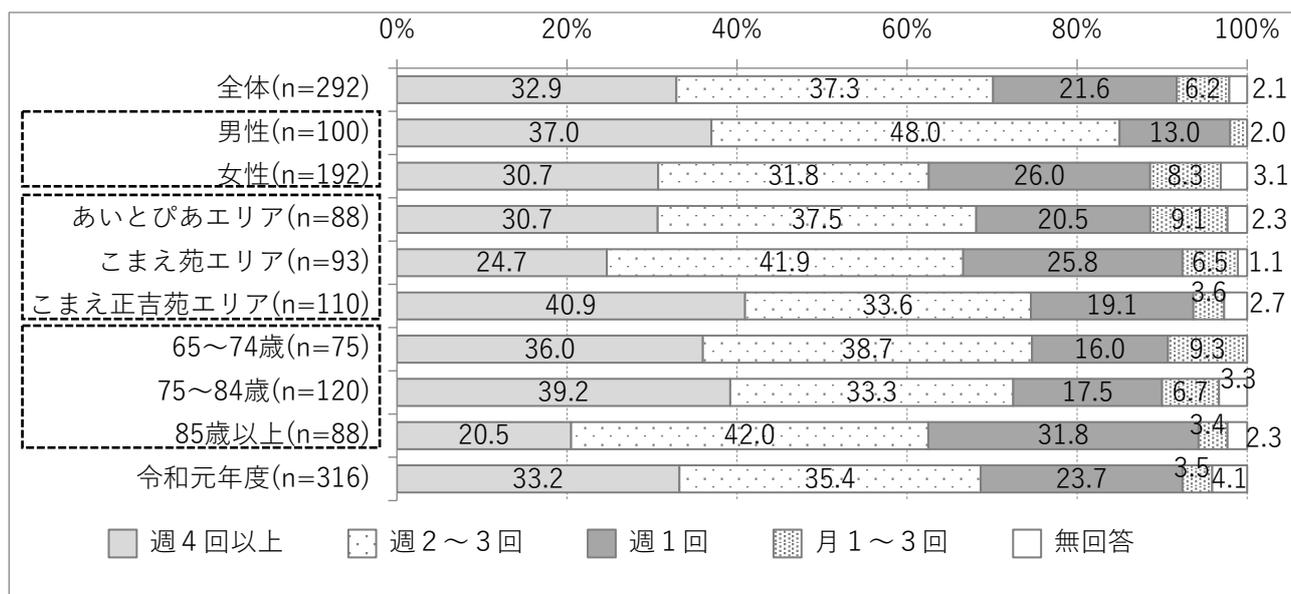
問8(2) 介護予防を意識した運動を行っていますか。(○は1つ)

介護予防を意識した運動については、「行っている」が52.2%、「行っていない」が41.3%となっています。



問8(2)①【(2)で「1 行っている」(運動をしている)と回答した方にお伺いします。】
どれくらいの頻度で運動を行っていますか。(○は1つ)

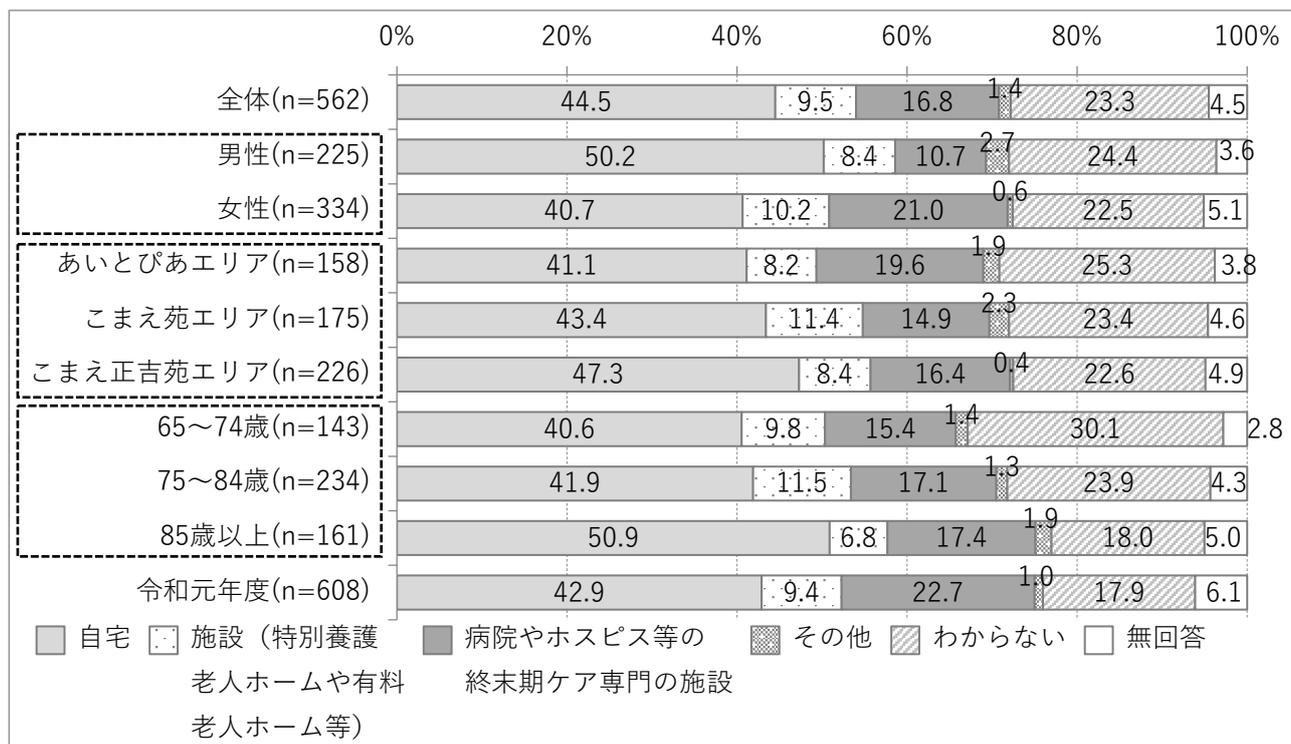
運動頻度は、「週2~3回」が37.3%で最も多く、次いで、「週4回以上」が32.9%となっています。



9 終末期ケアや終活について

問9 (1) あなたは、ご自分の人生の最終段階が近づいたとき（いわゆる看取りの時期）をどこで過ごしたいと考えていますか。（○は1つ）

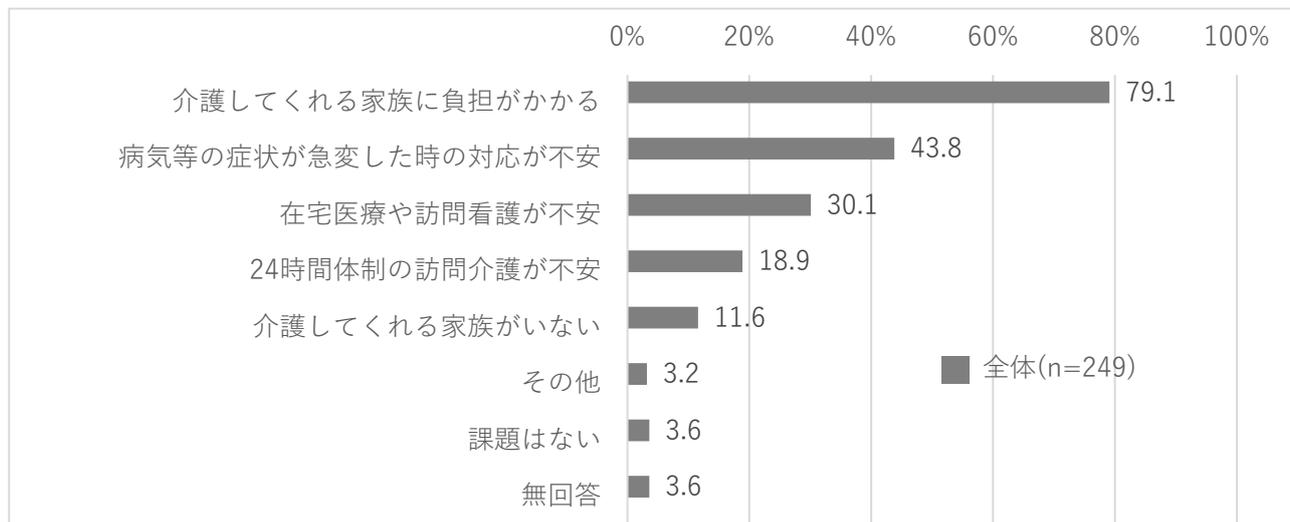
看取りの時期に過ごしたい場所は、「自宅」が44.5%で最も多く、次いで、「わからない」が23.3%となっています。



問9 (1) ① 【(1)で「1 自宅」と回答した方にお伺いします。】

自宅で最期まで過ごしたいと思ったときに、課題と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

課題と思うことは、「介護してくれる家族に負担がかかる」が79.1%で最も多く、次いで、「病気等の症状が急変した時の対応が不安」が43.8%となっています。



※前回の設問の選択肢が違うため比較はしていません。

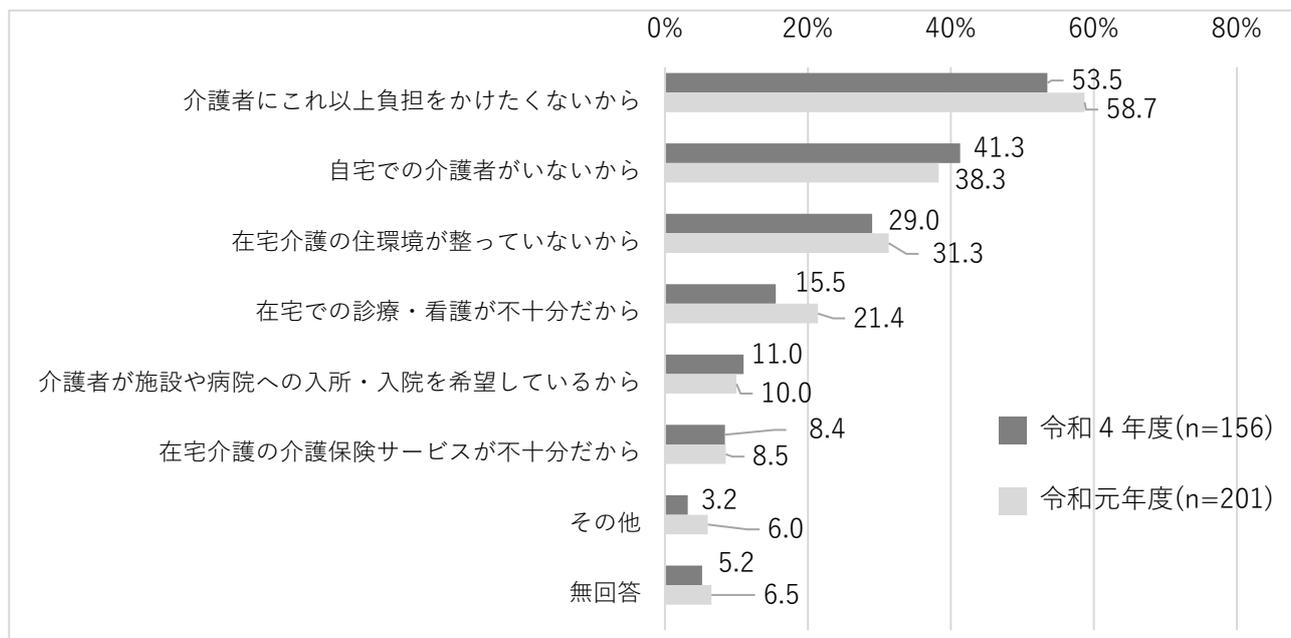
(単位：人、%)

区分	人数	介護してくれる家族に負担がかかる	病気等の症状が急変した時の対応が不安	在宅医療や訪問看護が不安	24時間体制の訪問介護が不安	介護してくれる家族がない	その他	課題はない	無回答
全体	249	79.1	43.8	30.1	18.9	11.6	3.2	3.6	3.6
男性	113	80.5	37.2	31.0	21.2	8.8	0.9	3.5	1.8
女性	136	77.9	49.3	29.4	16.9	14.0	5.1	3.7	5.1
あいとぴあエリア	65	86.2	44.6	29.2	13.8	15.4	1.5	1.5	0.0
こまえ苑エリア	76	72.4	52.6	32.9	23.7	14.5	3.9	5.3	0.0
こまえ正吉苑エリア	107	79.4	37.4	29.0	17.8	7.5	3.7	3.7	8.4
65～74歳	58	79.3	37.9	29.3	19.0	10.3	0.0	3.4	0.0
75～84歳	98	74.5	41.8	25.5	18.4	11.2	4.1	3.1	7.1
85歳以上	82	84.1	52.4	37.8	22.0	12.2	4.9	3.7	1.2

問9 (1) ② 【(1)で「2 施設(特別養護老人ホームや有料老人ホーム等)」、「3 病院やホスピス等の終末期ケア専門の施設」又は「4 その他」のいずれかを回答した方にお伺いします。】

自宅以外で看取りの時期を過ごしたいと考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

自宅以外で看取りの時期を過ごしたいと考える理由は、「介護者にこれ以上負担をかけたくないから」が53.5%で最も多く、次いで、「自宅での介護者がいないから」が41.3%となっています。

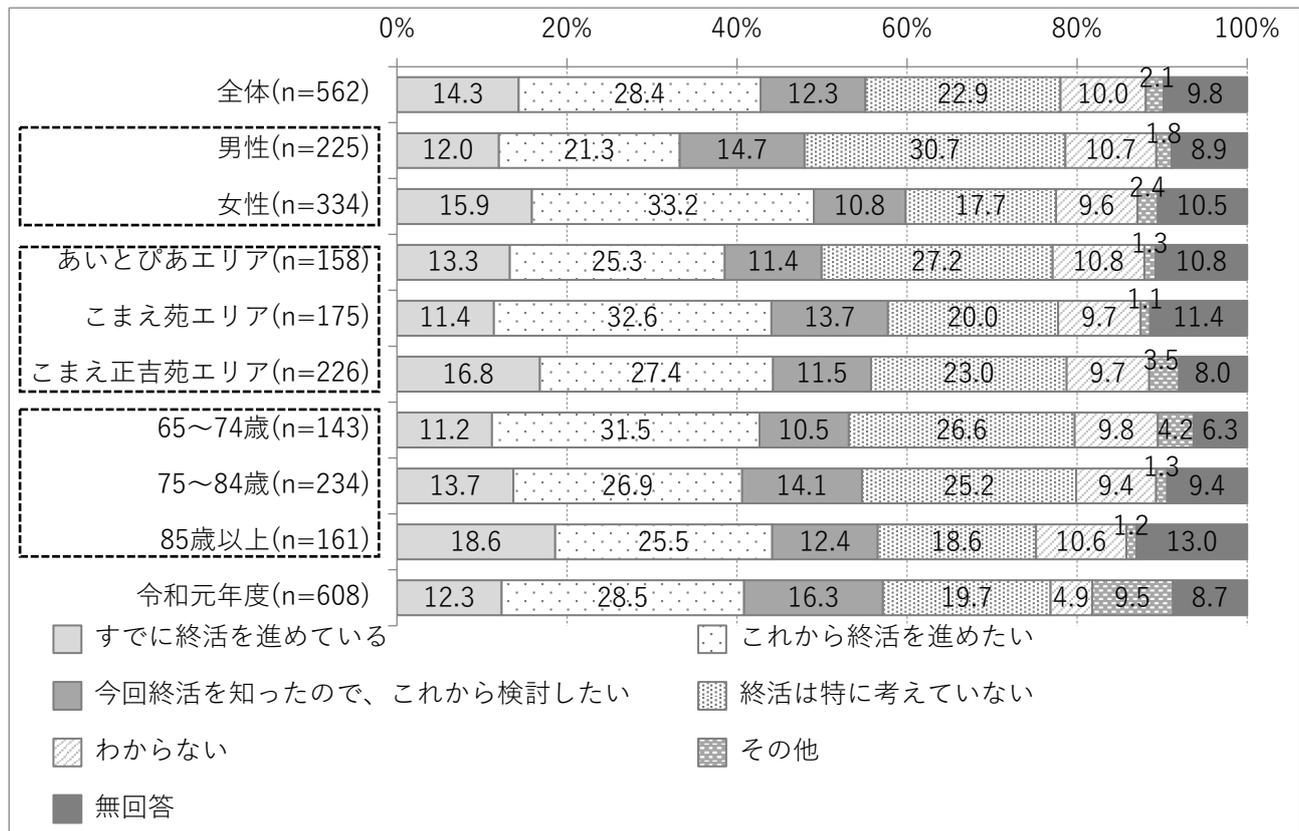


(単位：人、%)

区分	人数	自宅での介護者がいないから	介護者にこれ以上負担をかけたくないから	介護者が施設や病院への入所・入院を希望しているから	在宅介護の住環境が整っていないから	在宅介護の介護保険サービスが不十分だから	在宅での診療・看護が不十分だから	その他	無回答
全体	156	41.3	53.5	11.0	29.0	8.4	15.5	3.2	5.2
男性	49	26.5	61.2	10.2	34.7	6.1	18.4	4.1	8.2
女性	106	48.1	50.0	11.3	26.4	9.4	14.2	2.8	3.8
あいとぴあエリア	47	46.8	42.6	17.0	29.8	10.6	17.0	2.1	10.6
こまえ苑エリア	50	36.0	54.0	6.0	30.0	8.0	24.0	8.0	0.0
こまえ正吉苑エリア	57	42.1	61.4	10.5	28.1	7.0	7.0	0.0	5.3
65～74歳	38	39.5	47.4	10.5	28.9	2.6	7.9	2.6	7.9
75～84歳	70	40.0	54.3	12.9	28.6	14.3	17.1	5.7	4.3
85歳以上	42	47.6	57.1	9.5	28.6	4.8	21.4	0.0	4.8
令和元年度	201	38.3	58.7	10.0	31.3	8.5	21.4	6.0	6.5

問9(2) あなたは、ご自分の人生の最終段階が近づいたときに、どこでどのように過ごしたいか、また医療や介護への希望や経済的なことへの考えなどを周りの方に伝える、いわゆるエンディングノートなどを利用した「終活」について考えたり、実際に進められていますか。(〇は1つ)

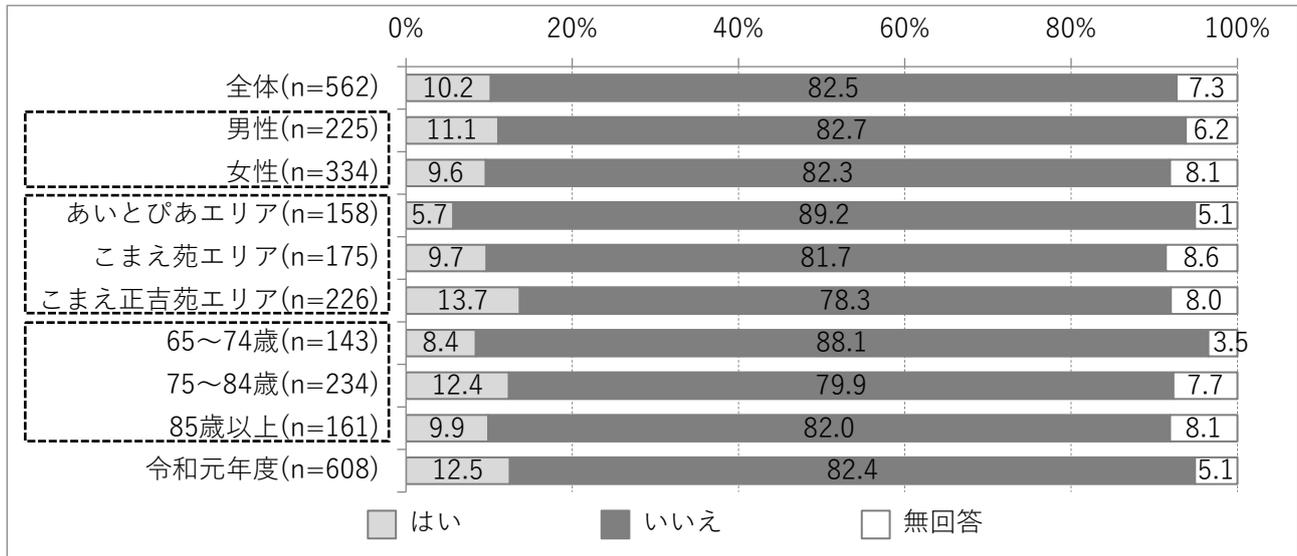
終活について考えたことがあるかについては、「これから終活を進めたい」が28.4%で最も多く、次いで、「終活は特に考えていない」が22.9%となっています。



10 認知症にかかる相談窓口の把握について

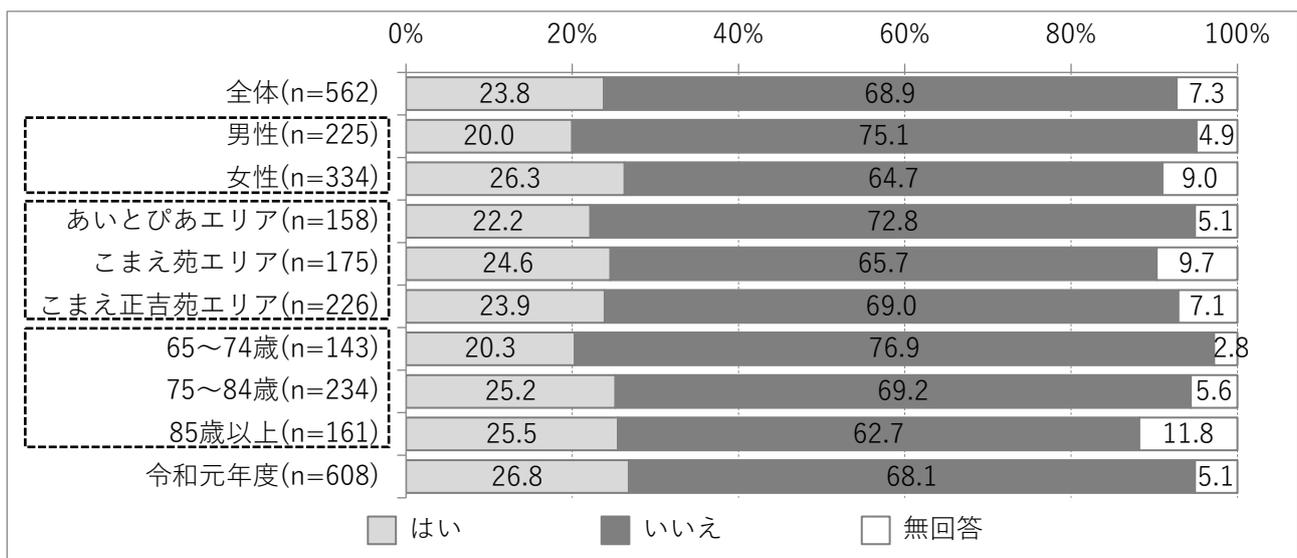
問 10 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

ご自身又はご家族の認知症の症状の有無については、「いいえ」が82.5%で最も多く、次いで、「はい」が10.2%となっています。



問 10 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

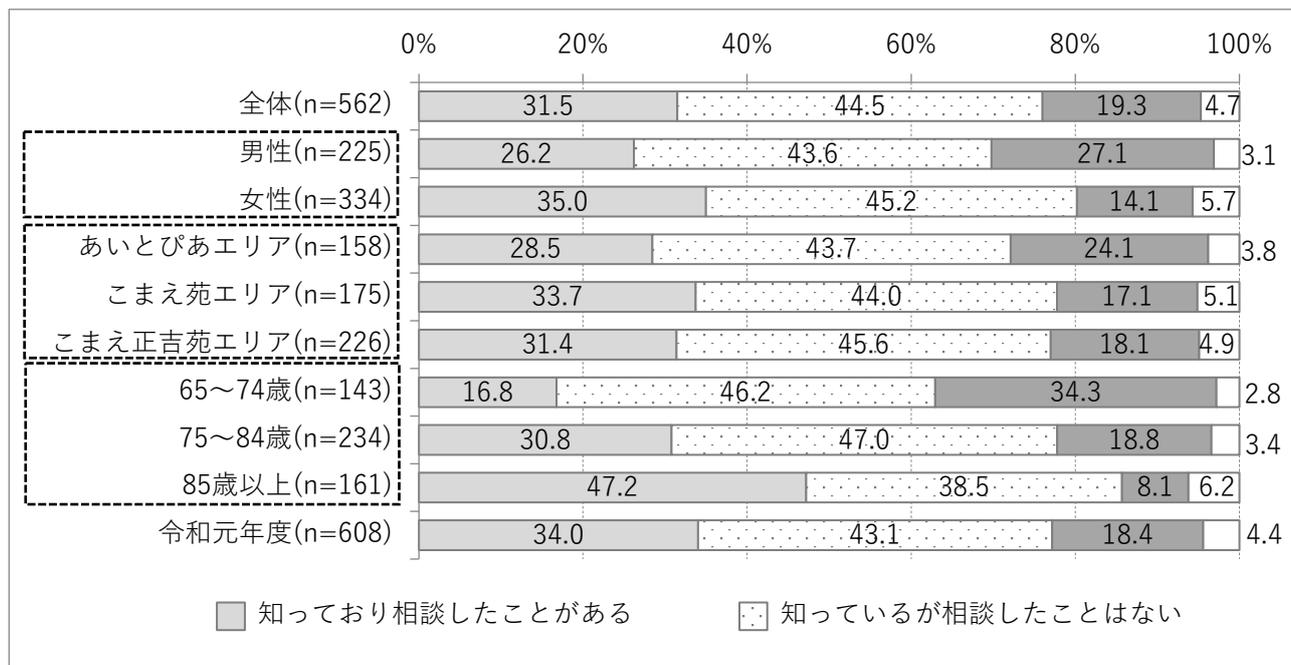
認知症に関する相談窓口の認知度については、「いいえ」が68.9%で最も多く、次いで、「はい」が23.8%となっています。



11 福祉施策について

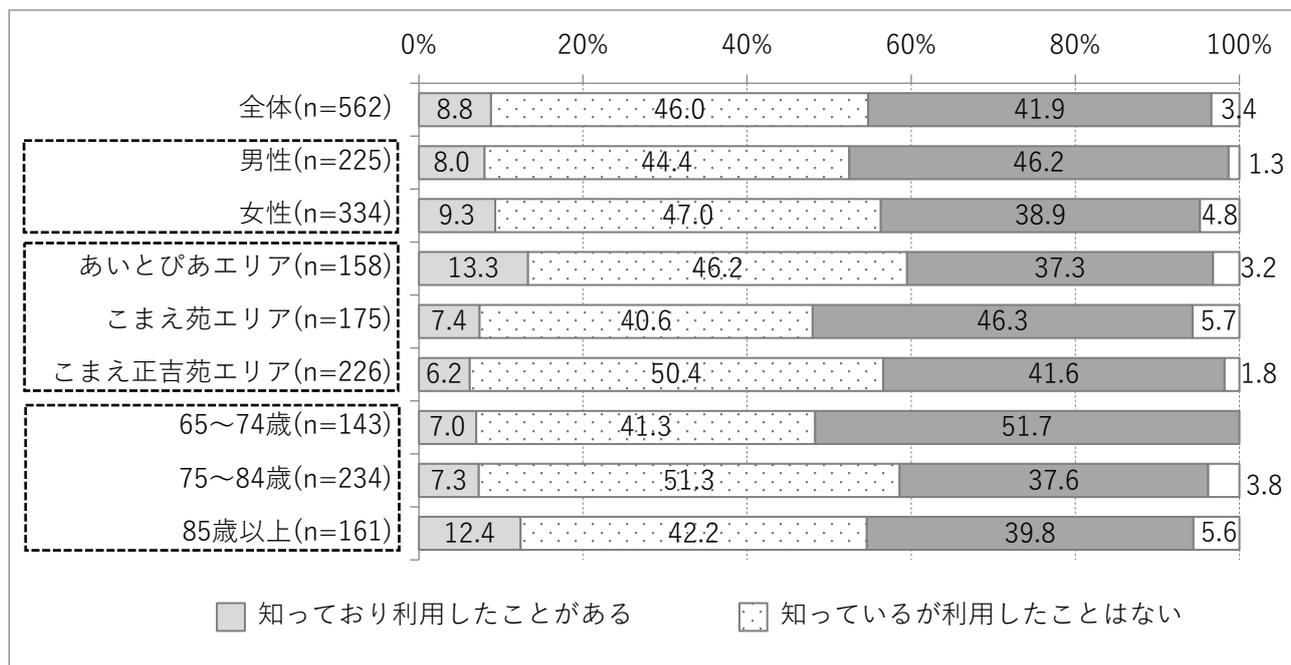
問 11 (1) 最寄りの地域包括支援センター（あいとぴあセンター・こまえ正吉苑・こまえ苑）が、高齢者介護等に関する相談窓口となっていることを知っていますか。（○は1つ）

相談窓口としての地域包括支援センターの認知度は、「知っているが相談したことはない」が44.5%で最も多く、次いで、「知っており相談したことがある」が31.5%となっています。



問 11 (2) 老人福祉センター（あいとぴあセンター地下）を知っていますか。（○は1つ）

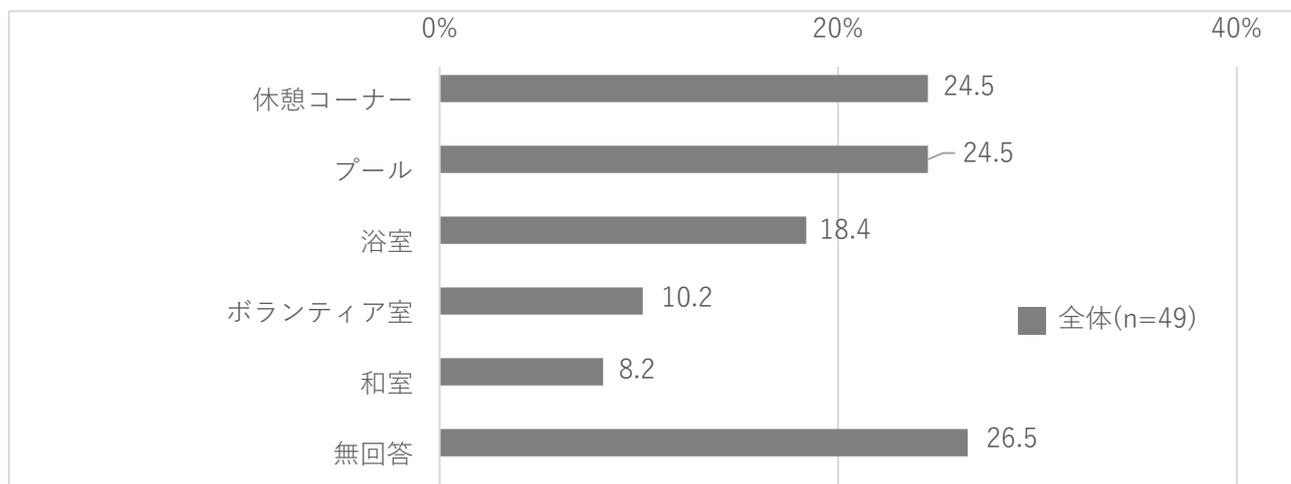
老人福祉センター（あいとぴあセンター地下）を知っているかについては、「知っているが利用したことはない」が46.0%で最も多く、次いで、「まったく知らない」が41.9%となっています。



問 11 (2) ① 【(2) で「1 知っており利用したことがある」と回答した方にお伺いします。】

老人福祉センターの、どの施設を利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

老人福祉センターの、どの施設を利用したかについては、「無回答」が 26.5%で最も多く、次いで、「休憩コーナー」が 24.5%となっています。

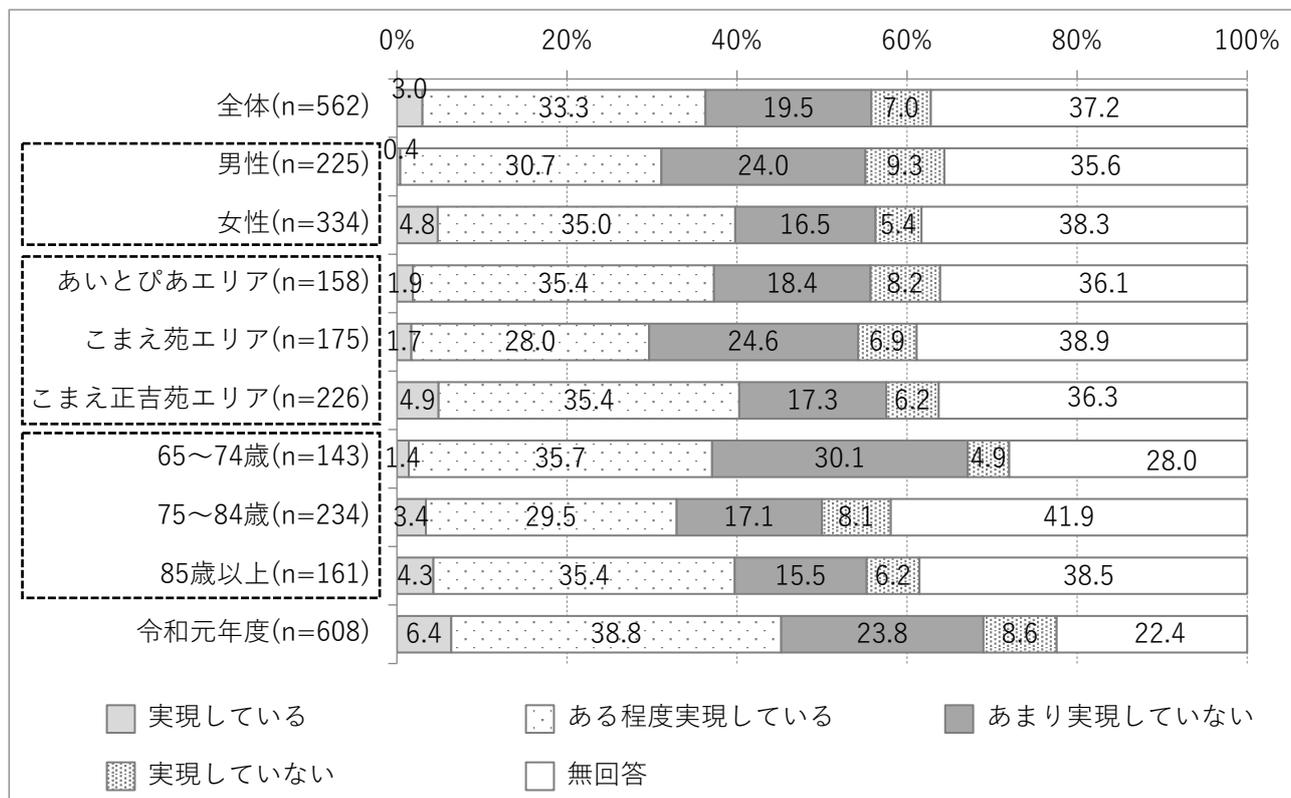


(単位：人、%)

区分	人数	浴室	和室	休憩コーナー	ボランティア室	プール	無回答
全体	49	18.4	8.2	24.5	10.2	24.5	26.5
男性	18	22.2	11.1	27.8	16.7	16.7	22.2
女性	31	16.1	6.5	22.6	6.5	29.0	29.0
あいとぴあエリア	21	9.5	19.0	23.8	9.5	28.6	23.8
こまえ苑エリア	13	15.4	0.0	38.5	7.7	7.7	46.2
こまえ正吉苑エリア	14	35.7	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3
65～74 歳	10	20.0	10.0	40.0	0.0	10.0	20.0
75～84 歳	17	23.5	5.9	23.5	17.6	17.6	29.4
85 歳以上	20	15.0	5.0	20.0	10.0	40.0	25.0

問11(3) 狛江市では、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉の計画として「あいとぴあ レインボープラン」を策定し、高齢者保健福祉計画では、「みんなで支え合いながら、自分らしく健康に暮らしつづけられるまち ～あいとぴあ狛江～」を基本理念としています。
あなたは、本市において、この基本理念がどの程度、実現していると思いますか。(○は1つ)

基本理念の実現状況については、「無回答」が37.2%で最も多く、次いで、「ある程度実現している」が33.3%となっています。



問 11 (4) 今後、高齢者の保健福祉関係で、市が取り組むべきこと等について、何かご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

<自立者>

移動手段の充実・誰もが利用しやすいまちづくり：7件

- ・高齢化が進むと、突然に不調・不全になる。その時にどう対応すべきか？準備すべきことが多々あるが、考えているだけで具体的に進まない。狛江市は「買い物」不便地域。交通のアクセスにママバスを利用しているが、他の手段はないものか？
- ・トイレが近く、まちで困ることがある。耳が遠いので、どこにトイレがあるのか表示してほしい。
- ・市の玄関入口にエスカレーターが無いのは、高齢者の福祉に逆行する。

サービスにつなげるための体制強化・相談体制・情報発信の充実：7件

- ・高齢者がやりにくくなっている力仕事、庭の木を切る、高い所の仕事、その他諸々の相談をどこにしたらよいか。それぞれの仕事の専門を広報に載せてほしい。
- ・健康づくり、趣味、活動に大変興味があるが、それらの情報が非常に少ない。先日公民館に行つて、こんなにたくさんのグループが活動してるとはじめて知りました。“わっこ”に会員募集のグループが何件か掲載されていますが、それ以外の情報をもっと知りたいといつも思っています。“老人”ということばで高齢者をみんな一緒に扱ってほしくない。元気な高齢者はいっぱいいます！
- ・広報と丁寧な説明を尽くすこと。根気良く、何回も広報と説明をくり返してもらいたい。

サービス充実：5件

- ・中央公民館又は、中和泉地域センターどちらかにでも良いので、カラオケDAMをぜひ入れてほしい。
- ・介護を必要とする前段階時期の過ごし方が大変重要であると考えます。市の文化的施設をもっと開放（使い易く）した集まり、イベント等があると良いと思います。例えばエコルマの最上階の多目的室等、高齢者は高齢者に特化した中核施設機関のみに委ねることなく、横断的に考えていただきたい。
- ・病院の混雑対策。

多世代の居場所づくり・地域との交流：4件

- ・老人が自由に使える場所がほしい。友だちと話せる場がほしい。集中して勉強（学習）する所があると…。野川地域センターがあるので、利用します。読みたい本も手に入るのを助けられています。
- ・誰もが自由に会いたい時お話をしたい時、集ってお茶でも飲みながら集まれる場所、気軽に行ける場所があったら良いと思います。

住まいや入所施設の充実：4件

- ・安価で入居できる老人介護施設を増やしてほしい。
- ・狛江市では元気な高齢者が多く見られると思いますが、もし入院した場合に、退院後の受け入れ

の老健施設が少ないと思いました。

介護保険サービス・行政への感謝：4件

- ・地域包括支援センターに相談にのってもらい非常に感謝しております。これからも市民の為に役に立ってもらえると嬉しいです。
- ・自分が高齢者なのに、人生の最終期を考えた事がありませんでした。今回の件で、このアンケートを参考にして、考えたいと思っています。ありがとうございました。

生きがいづくり・ボランティア・就労の場：3件

- ・ボランティアでお話相手に来てほしい。
- ・高齢者の生きがい作りとその告知。
- ・ボランティアに参加したいと思っている人も多くいると思います。何でもお手伝いをさせて頂ければ生きがいにもなると思いますが、どうでしょうか？

新型コロナウイルス感染症：3件

- ・家族に先立たれ、コロナ禍のため一人で外出もままならず、主治医だけが頼りで、家でポツンとしていると落ち込む。どうしてほしいか考えも思い浮かばない。
- ・コロナが流行らなかつたら、と毎日思っています。道で立ち話しができない。お茶も一緒に飲めない。とにかく、顔を見て話せない事は、老いた者には、一番つらい事です。老人は外出するなというのは、ひどい話です。若者に迷惑をかける事を老人が一番気にしています。

防犯・防災の充実：2件

- ・多摩川土手を整備していただいた事は嬉しい事でした。
- ・できれば数多くの防犯カメラの設置をお願いしたいと考えています。引ったくり、ひき逃げ等の事件の抑止力になるかと思います。

介護保険料・制度：2件

- ・介護保険料の支払いがきつい！自分はどれだけのリターンがあるのか考える事がある。
- ・介護保険料が高い。80才過ぎたら、福祉受けてなければ少し返してほしい。

高齢者福祉：2件

- ・狛江市に住んで1年10ヶ月。狛江市の福祉について勉強しなくては！ですね。

あいとぴあレインボープラン：2件

- ・「あいとぴあレインボープラン」の基本理念について、高齢者福祉計画の内容が不明（知らない）により、この質問に答えようがない。高齢者の保健福祉関係で市が取り組むべきことについて、住民（高齢者）が、理解できるよう、事業計画（目的内容）をまず、知らしめることが必要かと思います。行政の一人歩きにならないように。
- ・「あいとぴあレインボープラン」というものを知らない。もっと住民に知らせるべきではないでしょうか。あいとぴあの利用は健康増進室のみ（自分にとって）です。他に何かありますか？

その他：13件

- ・狛江市ではプールが何処にあるのか、水泳教室等あるのか解りませんので、和泉本町3丁目から行ける所を教えていただけたらと思っています。
- ・自分の住むマンションに、認知症の一人暮らしの方が居住している。知り合いはできるだけサポートしたいと思ってるが、福祉サービス等につないだ後、個人情報守秘義務の為なのか、サポートする人とヘルパーさんとの意志疎通がうまくいかない。
- ・エンディングノートが終活について考えるのに大事だと思いますが、かなり細かい点も書かなくてはいけないのと、書いて保管する場所も考えなくてはならず、大変です。自分自身が元気なうちに書いておくようにしたいと思いますので、助言頂ければと思います（ピンポイントでここまで書いて置くと良いという点など）。
- ・保健福祉関係ってあまり良く分かりません。これから先お世話になる事と思います。
- ・高齢者にいろいろお気使い有難うございます。私は医療費を使いすぎて申し訳なく思っております。
- ・金銭的に長生きすると困る事がある。物価は上がり保険代は上がり困る事ばかり、高齢者にも生きやすい世の中にしてほしい。小さい子どもばかりが優遇されているように思える。
- ・日常の生活がまだできているので、実感としてピンとこないので勉強不足かも。できるだけ自立する努力はしているつもりです。その時が来たら相談したいと思います。

<要支援・総合事業対象者>

サービスにつなげるための体制強化・相談体制・情報発信の充実：10件

- ・動けなくなる前に、何を利用したら良いのか、利用できるのか、行動するべきだと考えています。考えてもいない方も、いらっしゃると思うので、相談窓口の事を、もっと広報したほうが、いろいろな必要な事が、出てくるのではないかと思います。
- ・利用できる施設の案内を、詳しく知らせてくれるガイドを発行したり、狛江市民が気軽に利用できるよう、機関誌などを発刊、老人にわかりやすいものを出してほしい。
- ・狛江市に転居してから長いのですが、今もっていろいろな所在地がわかりません。もう少しわかり易くお願いします。

サービス充実：9件

- ・明らかに以前より体の調子が年齢と共に悪くなっているのに、介護認定なしになりました。認定方法もおかしいし、担当する人が一人ではなく、二人一組で取り組むことや継続して声をかけることなどきめ細かく担当してほしい。
- ・関係書類が複雑で理解し難い。記入し難い（書類の簡素化、表現・説明の簡素化）。
- ・健康な高齢者に対する保険料の減額、年齢で画一的に区別したシステムの改善。

老後や健康でなくなったときの生活について：5件

- ・多くの方が、老後の不安を感じなくて済む、施設の充実、市政の支えを強めてもらいたい。
- ・自分が病気になって、健康を害した時、支援1なので相談者はいるが、実際にそうなった時、どの程度の相談にのってもらえるのか、すごく心配。超高齢化社会だから、今後益々、介護に携わる人が必要となるだろうから、市としては、早急に対策を考えていただきたいと思う。
- ・高齢者となり、不安なことは、①私が亡くなった時の妻の介護、②年々先細りになる高齢者の生活（人的・経済的）、③高齢者福祉は高齢者が不安なく生きることであってほしい。

移動手段の充実・誰もが利用しやすいまちづくり：7件

- ・駒井町水道道路の歩道において幅が狭く、電信柱、段差等により、足の悪い方や車椅子、ベビーカー等がとても不便を感じていると思います。是非ご検討いただきたいです。
- ・安心して年寄りが歩ける平らな道（自転車等が）、衛生的なトイレ、ベンチ等がほしい。
- ・スーパー、コンビニなど近くにないので不自由です。バス停も遠いので生協を利用していますが、生鮮食品などでも分量は多く捨てるものが多く心が痛みます。給食があったら助かると思います。お風呂は家では危険なので、週一回外の入浴施設へ行けるので助かっています。

健康づくり・健康寿命の延伸：4件

- ・人生100年の時代。狛江にも室内プールを作っていていつでも泳げるようになるといい。
- ・健康作りとして体操教室を進めてほしい。
- ・プールの充実。

住まいや入所施設の充実：4件

- ・ごく少数の人しか、特別養護老人ホームに入れず、他の人は、金額の高い有料老人ホーム等に入

ることになり、この不公平な状況を緩和してほしいと思います。

- ・もっと老人ホームをつくってほしい。健康状態が悪く、家で介護ができない時はすぐに狛江老人ホームに入りたい。

見守り・支え合い：3件

- ・町内会、老人会等の組織を利用し、高齢者が孤立しない、お互いの顔を知っている等の小さい自治体の良さを利用し、“つながりのまち、狛江”を作ってほしいと思います。日々保健福祉の事業に注力して下さっている方々にお礼を申し上げます。
- ・高齢者の見まわり、訪問などの積極的な活動、マンションなどの場合の鍵の預かりサービスの展開。
- ・町内の人たちと助け合い、それぞれの自宅でできる限り生活を続けたいと思っている。町内（ご近隣）（町内・友人、歩いて尋ねられる範囲で住んでいる方たち）と助け合う。公の支援は最終手段として、お年より同士が支えあうまちづくりを望みます。

あいとぴあレインボープラン：3件

- ・「あいとぴあレインボープラン」の基本理念について、レインボープランというのをはじめて聞いた。どんなことを行っているのですか。
- ・高齢人口がますます増えるので、先の先まで読んで計画して下さい（高齢人口の推移は、正確に読めるはずなので）。
- ・「あいとぴあレインボープラン」の基本理念の実現。

介護保険サービス・行政への感謝：3件

- ・自分が健康である事が大切。狛江の区役所は、親切にいろいろ教えてくださいます。いつも感謝しています。
- ・狛江市は人口も企業も少ない中で（その為税収入が少ない）良く福祉関係に力を入れてくれていると思い、感謝しております。コロナの影響かどうか分かりませんが、知名度のある人物がテレビ放送の中で高齢者は集団自決すれば良いと話をしていたとの事を聴き、今の世の中の風潮には外出する事をためらう日々です。

アンケート調査：3件

- ・今回の質問内容は、コロナの中で答えられない事が多いです。お考え下さい。
- ・この調査の時期が令和4年11月1日現在となっておりますが、令和4年10月18日～令和5年1月7日迄歩行障がいにより入院しておりました。困って各質問の答えが現在と多少違って来た事もあります。福祉サービスを受けお世話になりましたが、受ける側も勉強不足な所が多く、これからは未詳な問題として、関心を持っていきたいと思っています。

生きがいづくり・ボランティア・就労の場：2件

- ・これから狛江も高齢者が増えるばかりです。地域での活動の中に元気なお年寄りのための趣味や学習も大切ですが、ボランティアのグループや、収入のある仕事を増やし助け合い活動に力を入れたらどうかと思います。

- ・老人が楽しめる催し物を計画し、実施する。

多世代の居場所づくり・地域との交流：2件

- ・高齢者が多い割には、施設が少ない。趣味に使う施設がもっとほしい。
- ・各町会に老人やその他の人が集まりコミュニケーションがとれる会場が少ないと思う。イベント等できる会場を増やしてほしい（気軽に行ける場所）。

防犯・防災の充実：2件

- ・情報もれ、振込詐欺（業者も含めて）が多すぎる。起きてからでは遅い。対策が不十分である。特に業者については、営業妨害になるので手を打つ事ができないとしている。例えば業者が他県の場合、まったく機能していない。
- ・緊急時での連絡方法の確立を。

新型コロナ感染症：2件

- ・コロナワクチン接種の時（他の市町村より早かった）も高齢者優先だけでなく、会場で接して下さる方々から私は大切にされていると実感し涙が出そうになり、こんな役立たずの年寄りかと思いつつもとても明るい毎日が過ごせています。会場に居た人は市役所の人でしょうか。感謝しています。
- ・週5日で9件のボランティアを楽しみ、コロナ禍では大学の友人達と月1回のズーム飲み会を開催、殆ど毎日のように1時間以上のウォーキング、就寝前の毎夜の読書も欠かさずと楽しく充実した日々を過ごしています。特にボランティア活動は自分の居場所でもあるので、高齢者の方々に元気に内に参加されるよう、もっと勧めてもらいたい！

その他：9件

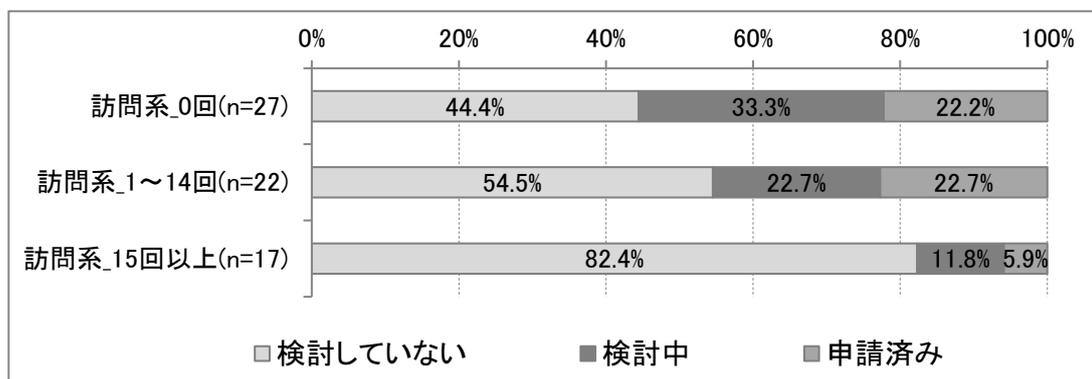
- ・一人暮らしの老人への手厚い訪問介護をお願いします。
- ・終活を考えた時、費用がいくらかかるのか、見当がつかない。目安を提示してもらえば安心できる。
- ・毎年、高い介護保険料を徴収されていて、いざ介護保険を使う時に、ハードルが高くて使えないということにならないようにして下さい。
- ・老人福祉に関する施策は、きめ細かくしてほしい。申し込み等が、スマホのみになることが多く、不便になっている。要支援のサービスが減るのは困る。目や耳の障がいに対する、補助具への補助金を出してほしい。
- ・ネット番組で「高齢者は集団自決を」などと放言した評論家だかがいるらしいが、そういう歪んだ人間観に基づく高齢者に対する見方が広まっていくのが心配だ。

第5章 在宅介護実態調査

1 在宅介護の限界点を高めるための支援

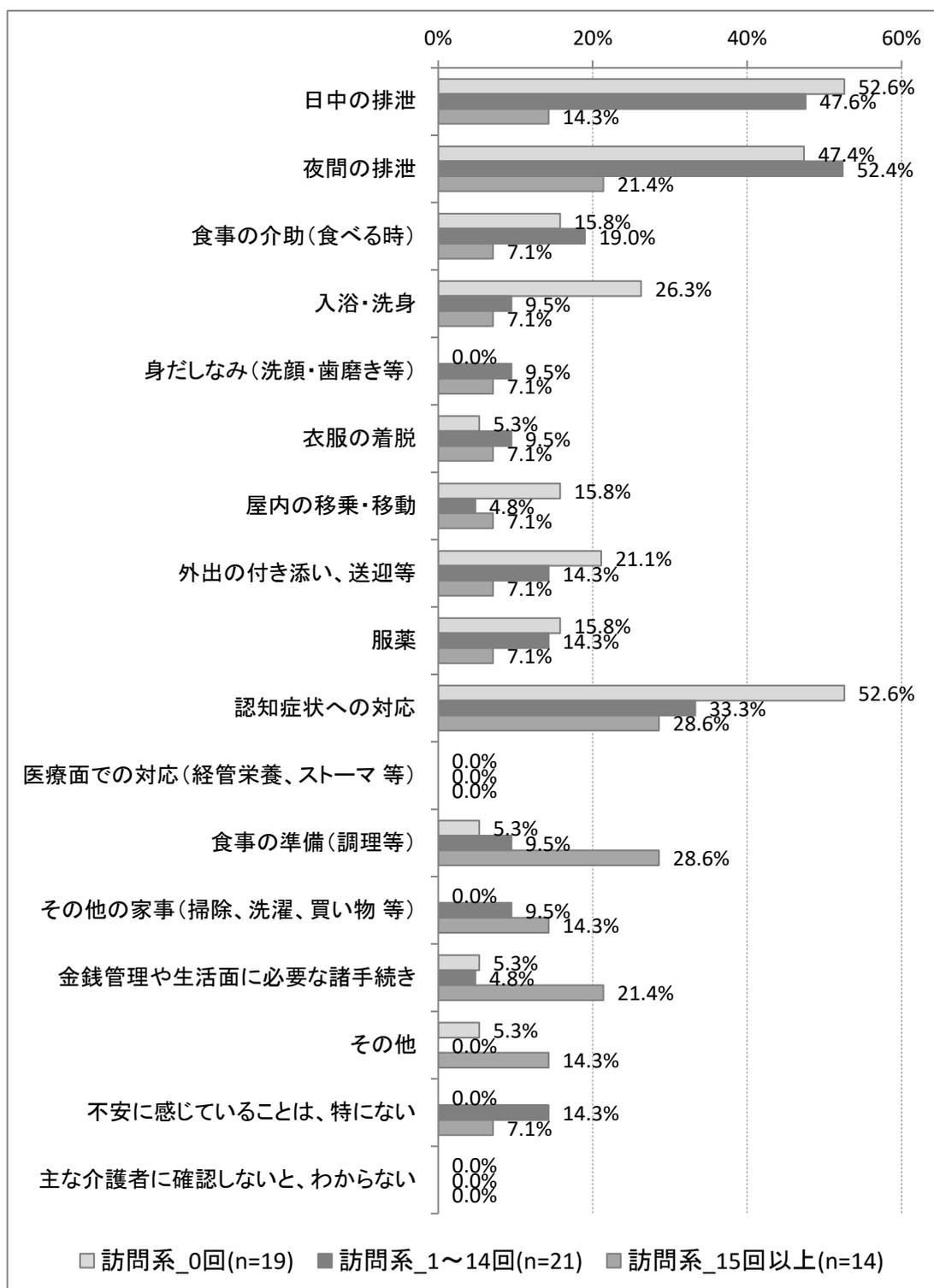
施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、施設入所を「検討していない」と回答した方の割合が、「訪問系_0回」では44.4%だったが、「訪問系_1～14回」では54.5%、「訪問系_15回以上」では82.4%となっている。

図表1 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「日中の排泄」に対して不安を感じる割合は、「訪問系_0回」では52.6%、「訪問系_1~14回」では47.6%、「訪問系_15回以上」では14.3%となっている。また、「夜間の排泄」については、「訪問系_0回」では47.4%、「訪問系_1~14回」では52.4%、「訪問系_15回以上」では21.4%となっている。「認知症状への対応」については、「訪問系_0回」では52.6%、「訪問系_1~14回」では33.3%、「訪問系_15回以上」では28.6%となっている。

図表2 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）

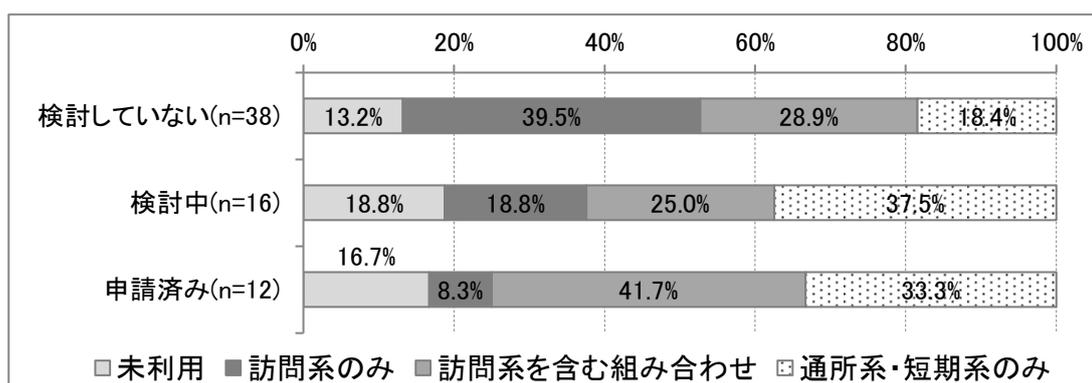


サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、施設入所を「検討していない」と回答した層では、利用サービスが「訪問系のみ」と回答した方の割合が39.5%ともっとも高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.9%、「通所系・短期系のみ」が18.4%となっている。

施設入所を「検討中」と回答した層では、利用サービスが「通所系・短期系のみ」と回答した方の割合が37.5%ともっとも高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%、「未利用」、
「訪問系のみ」が18.8%となっている。

「申請済み」と回答した層では、「訪問系を含む組み合わせ」と回答した方の割合が41.7%ともっとも高く、次いで「通所系・短期系のみ」が33.3%、「未利用」が16.7%となっている。

図表3 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【考察】

訪問系サービスを頻回に利用しているケースでは、施設等を検討していない割合が多く、「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」に係る介護者不安が軽減され、「不安に感じていることは、特にない」と回答した割合が高い傾向がみられました。また、要介護3以上で施設入所を検討していない方のサービス利用の組み合わせをみると、「訪問系のみ」又は「訪問系を含む組み合わせ」のサービスを利用している方の割合が高いことから、介護不安が軽減されるような訪問系サービスを充実していくことが、在宅介護の限界点を高めていくことに効果的であると考えられます。

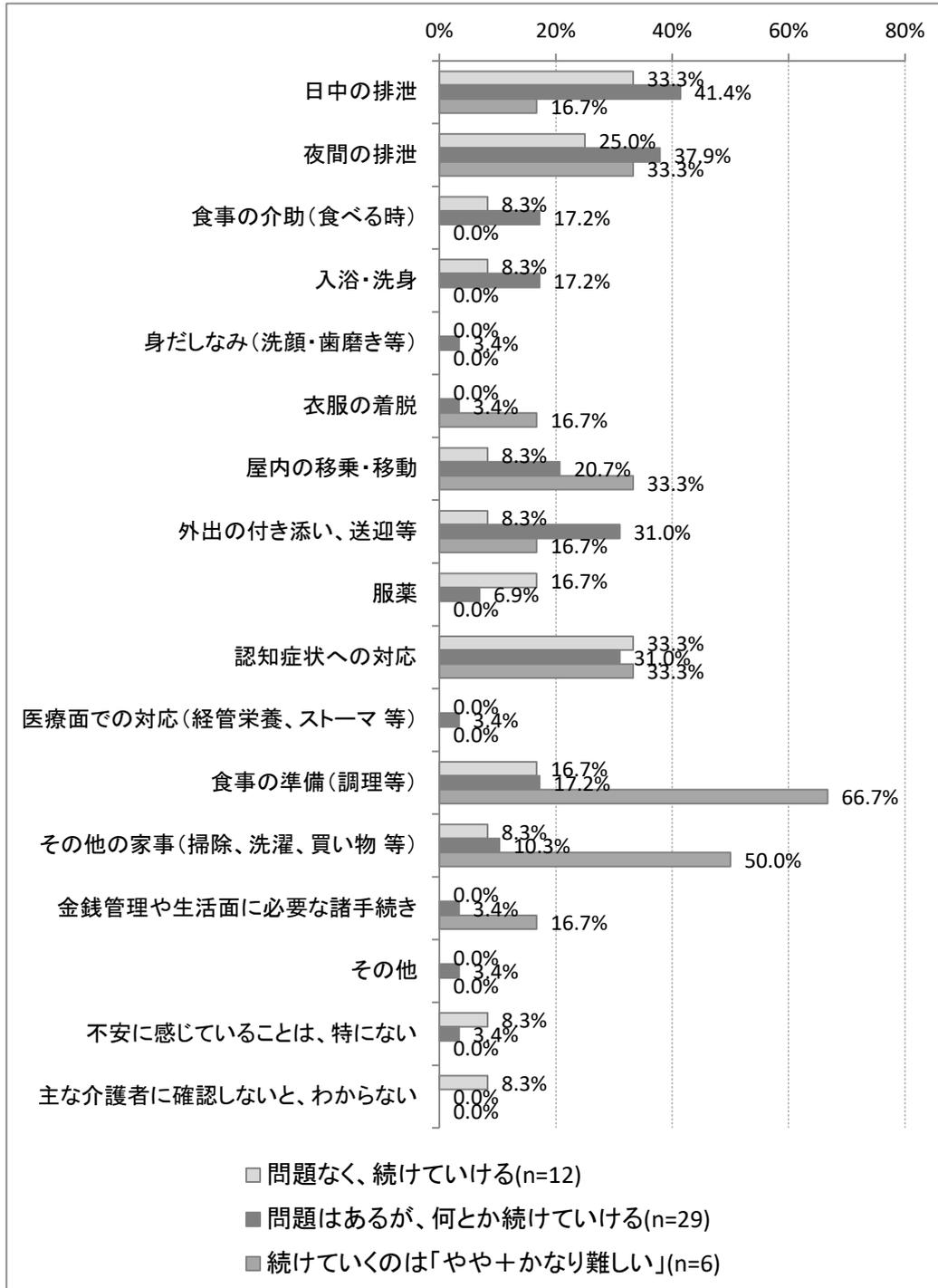
ただし、多頻度の訪問が「認知症状への対応」に係る介護者不安の軽減に寄与する傾向がみられたことは、単にサービスが頻回に入ることによる効果ではなく、在宅での生活に専門職である介護・看護職等の目が多く入ることにより、在宅生活の環境改善が図られ、介護者の不安の軽減につながった可能性も考えられます。

こうしたことから、「要介護者の在宅生活の継続」の達成に向けては、単純にサービスの整備を推進するのではなく、「狛江市においてこのサービスの整備が必要か」といった目標に対する手段の適正性を関係者間で共有する必要があります。また、サービスの整備を推進する場合には、その効果が十分に得られるよう各専門職が果たすべき役割について、関係者間での意見交換を行っていくことなどが重要であると考えられます。

2 仕事と介護の両立に向けた支援

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した層では、「日中の排泄」が41.4%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が37.9%、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が31.0%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」と回答した層では、「食事の準備（調理等）」が66.7%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が50.0%、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」が33.3%となっている。

図表4 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



【考察】

介護をしながら仕事を継続している主たる介護者のうち、「問題はあるが、何とか続けていける」又は「続けていくのは難しい」とする層が不安を感じる介護については、「認知症状への対応」、「外出の付き添い、送迎等」、「日中・夜間の排泄」と回答した割合が高い傾向がみられました。これらの介護への不安をいかに軽減していくかが、仕事と介護の両立に向けた支援において重要であると考えられます。

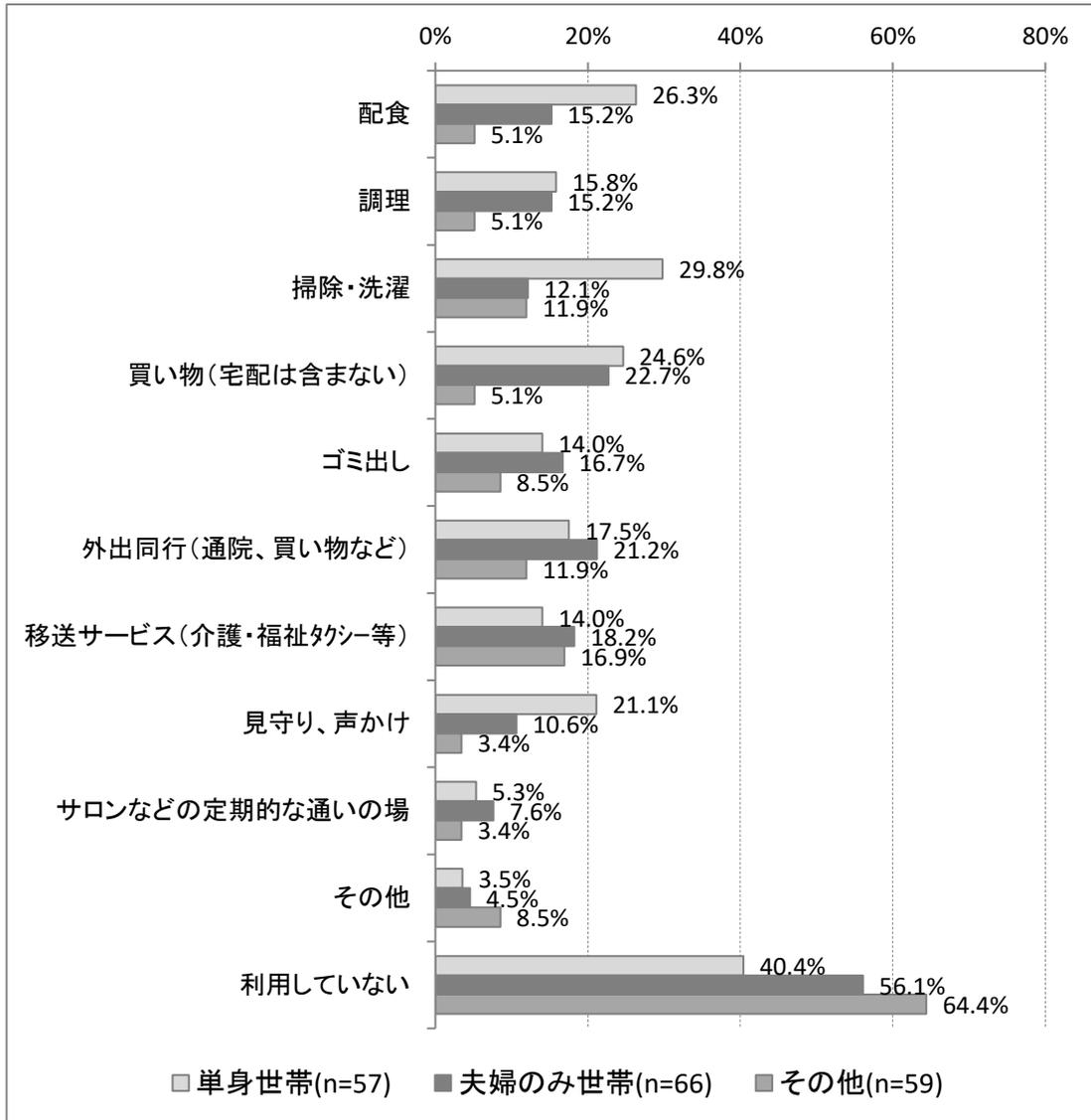
なお、仕事を「問題なく、続けていける」と回答した層は、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度の状態から、支援のニーズそのものが低い可能性もあります。そのため、施策の検討に当たっては、「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した層に向けた介護サービスや職場への働きかけを通じた支援を考えていくことが効果的であると考えられます。

また、介護者の就労状況等により関わる介護が異なることから、介護サービスに対するニーズは、要介護者の状況だけでなく、介護者の就労状況等によっても異なると考えられます。介護者の多様な就労状況に合わせた柔軟な対応が可能となる訪問系サービスや通所系サービスの組み合わせなどを活用できる環境を整えることが、仕事の介護の支援につながるものとみられます。

3 インフォーマルな地域資源の整備

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が40.4%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が29.8%、「配食」が26.3%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が56.1%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が22.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が21.2%となっている。「その他」では「利用していない」が64.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.9%、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が11.9%となっている。

図表5 世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【考察】

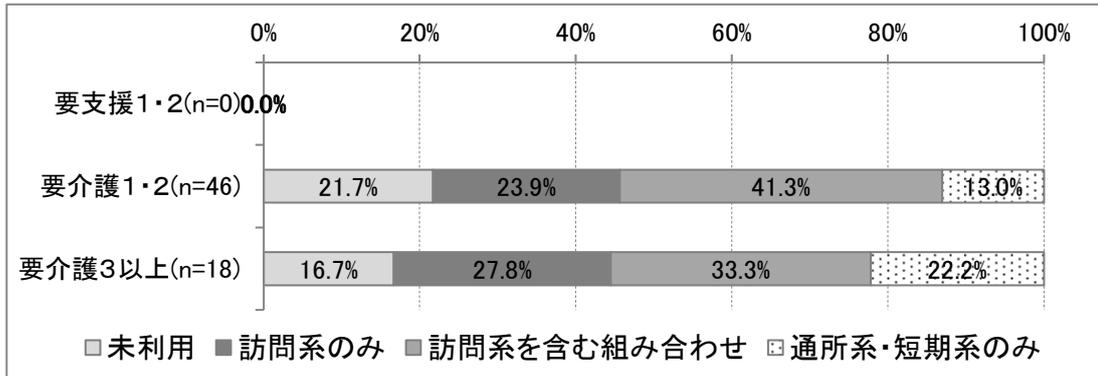
「在宅生活の継続に必要と感じる介護保険外の支援・サービス」について、「掃除・洗濯」、「買い物」、「配食」等の支援を世帯類型別にみると、「夫婦のみ世帯」や「その他世帯」よりも「単身世帯」のニーズが高い傾向がみられました。今後、「単身世帯」の増加に伴って、求められる地域支援は増大し多様化していくとみられます。

今後は、世帯類型や要介護度によって必要とされる介護保険外の支援・サービスが異なることを踏まえ、ボランティアや民間事業者を対象とした、要介護者への支援やサービス提供に係る研修会の開催を検討するなど、多様なニーズに対応できる人材の育成を進めていくことが必要であると考えられます。なお、今後必要になる介護保険外の支援・サービスを検討するに当たっては、地域ケア会議における個別ケース検討の積み上げのほか、生活支援コーディネーターや各種協議体での議論を通じ、地域資源のニーズを把握していくことが求められます。

4 世帯類型に応じた支援

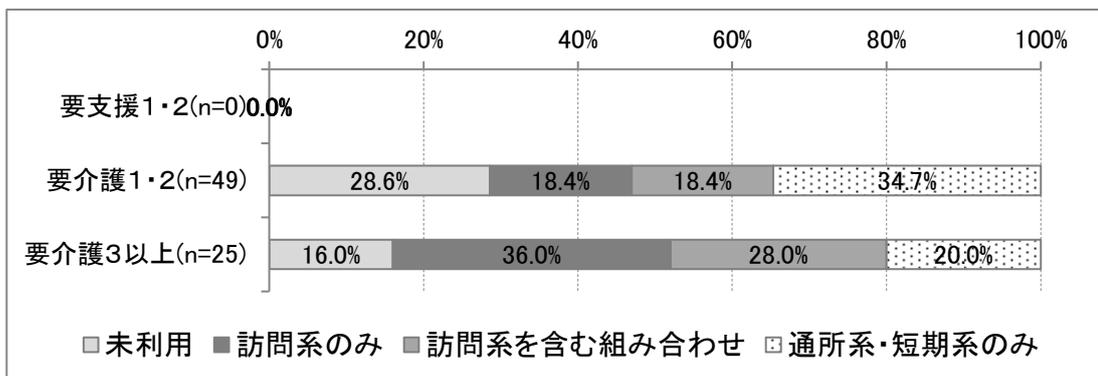
サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では「訪問系を含む組み合わせ」が41.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が23.9%、「未利用」が21.7%となっている。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が27.8%、「通所系・短期系のみ」が22.2%となっている。

図表6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



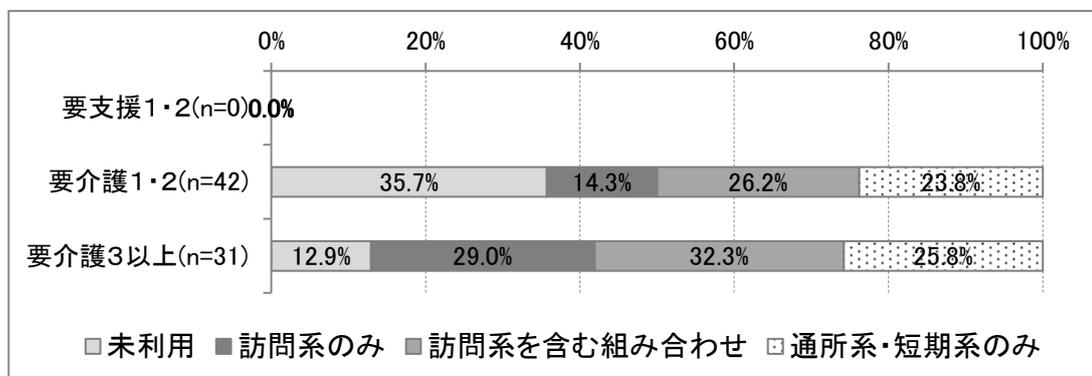
サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が34.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が28.6%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が18.4%となっている。「要介護3以上」では「訪問系のみ」が36.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.0%、「通所系・短期系のみ」が20.0%となっている。

図表7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では「未利用」が35.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.2%、「通所系・短期系のみ」が23.8%となっている。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が32.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が29.0%、「通所系・短期系のみ」が25.8%となっている。

図表8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



【考察】

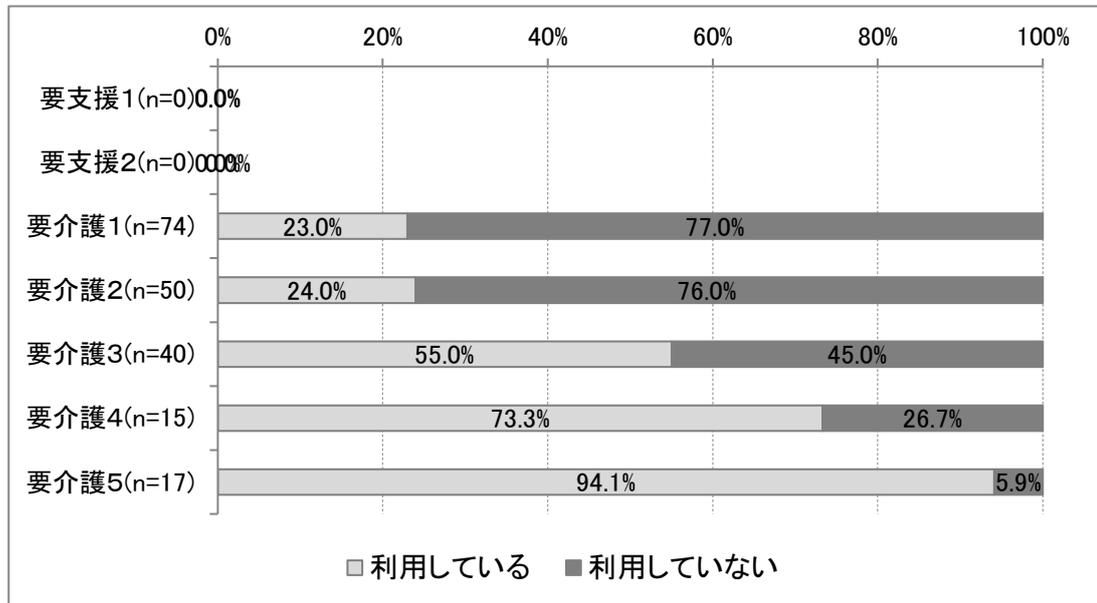
単身世帯の方について、介護保険サービス未利用を除くと、要介護度が高くなるにつれて、「訪問系のみ」のサービス利用が増加する傾向がみられました。今後は、単身世帯の増加とともに、訪問系サービスを軸としたサービス利用が増加していく状況に備え、訪問系の支援・サービスの整備や、「訪問介護・看護の包括的サービス拠点」としての「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の整備等を進めることにより、中重度の単身世帯の方の在宅生活を支えていくことが一つの方法として考えられます。

その他、不足する地域資源等について、多職種によるワークショップや地域ケア会議におけるケース検討等を通じて、そのノウハウの集約・共有を進めること等も考えられます。

5 医療ニーズが高い在宅生活者への支援

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「利用している」と回答した割合は、「要介護1」では23.0%、「要介護2」では24.0%、「要介護3」では55.0%、「要介護4」では73.3%、「要介護5」では94.1%となっている。

図表9 要介護度別・★訪問診療の利用割合



【考察】

「訪問診療の利用の有無」の結果から、要介護度が高くなるにつれて、訪問診療の利用割合が増加する傾向がみられました。

看取りまでを視野に入れた在宅生活の継続を実現するためには、在宅医療と介護の多職種連携をさらに進めていく必要があります。今後は、「医療と介護の両方のニーズを持つ在宅生活者」の大幅な増加が見込まれることから、このようなニーズに対して、いかに適切なサービス提供体制を確保していくかが重要な課題となります。医療ニーズのある利用者に対応することができる介護保険サービスとして、「訪問介護・看護の包括的サービス拠点」としての「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の整備が必要となるかを検討するとともに、在宅医療と介護連携のさらなる推進に取り組んでいく必要があります。

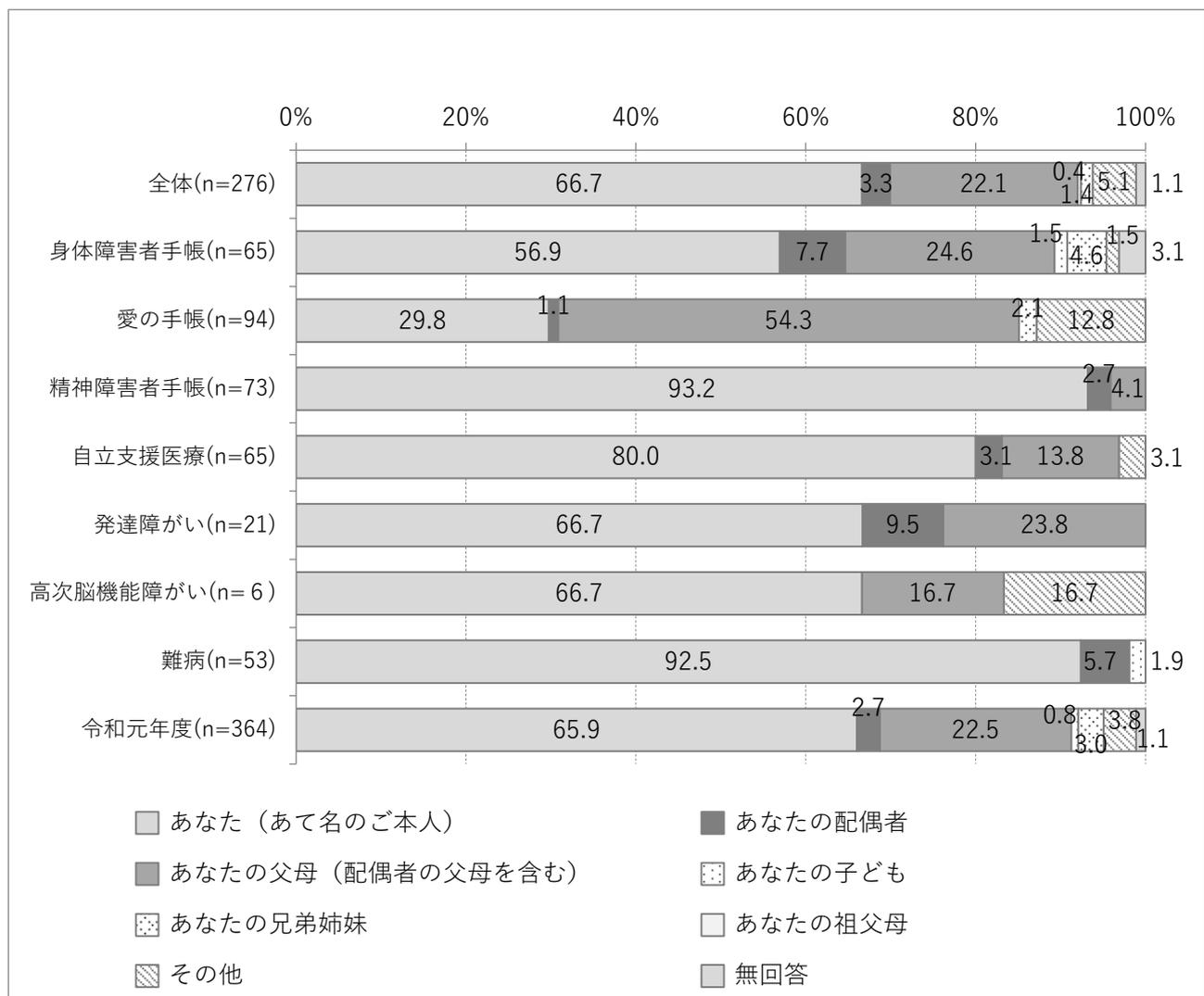
第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査

1 本人、家族について（基本事項）

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（○は1つ）

回答者は、「あなた（あて名のご本人）」が66.7%で最も多く、次いで、「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が22.1%となっています。

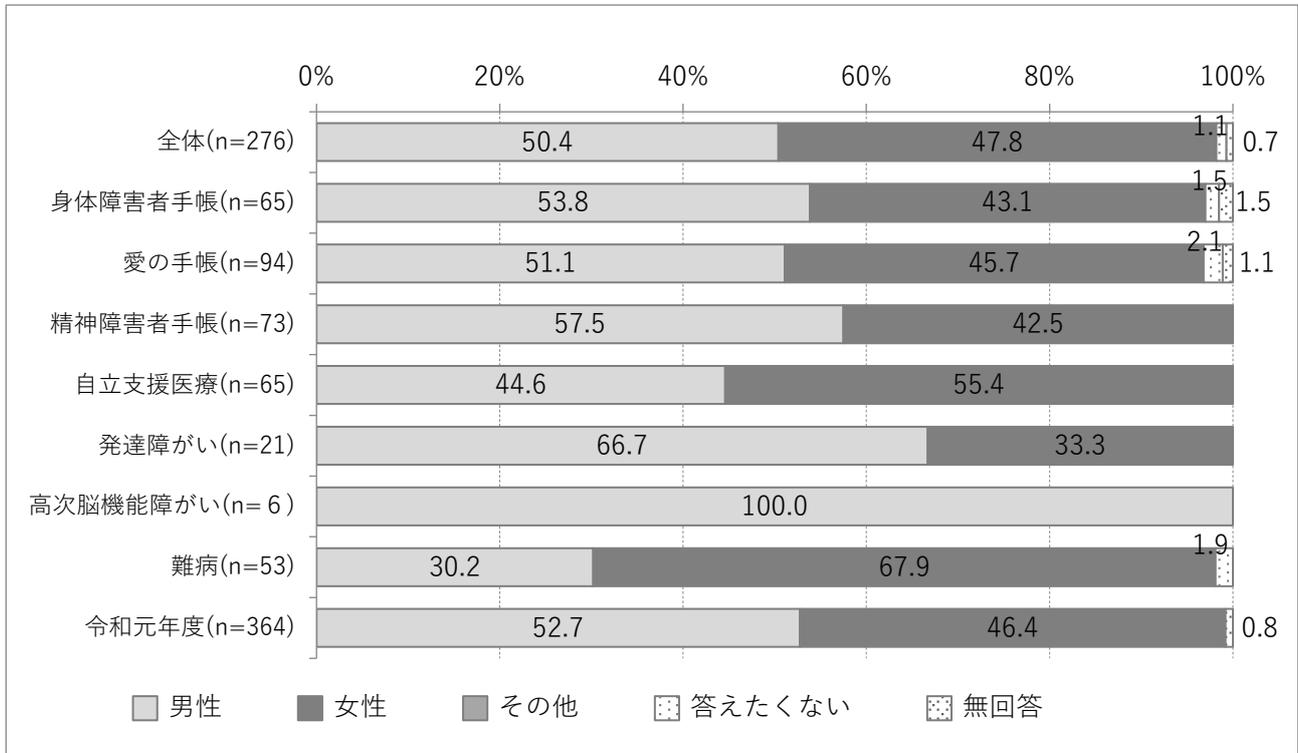
手帳の種類・診断名別で見ると、愛の手帳を持っている方では「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が最も多くなっています。



問2 あなた（あて名のご本人）の性別を選択・ご記入ください。（○は1つ）

性別は、「男性」が50.4%、「女性」が47.8%となっています。

手帳の種類・診断名別で見ると、自立支援医療を受給している方及び難病の診断を受けている方は「女性」が「男性」を上回っています。

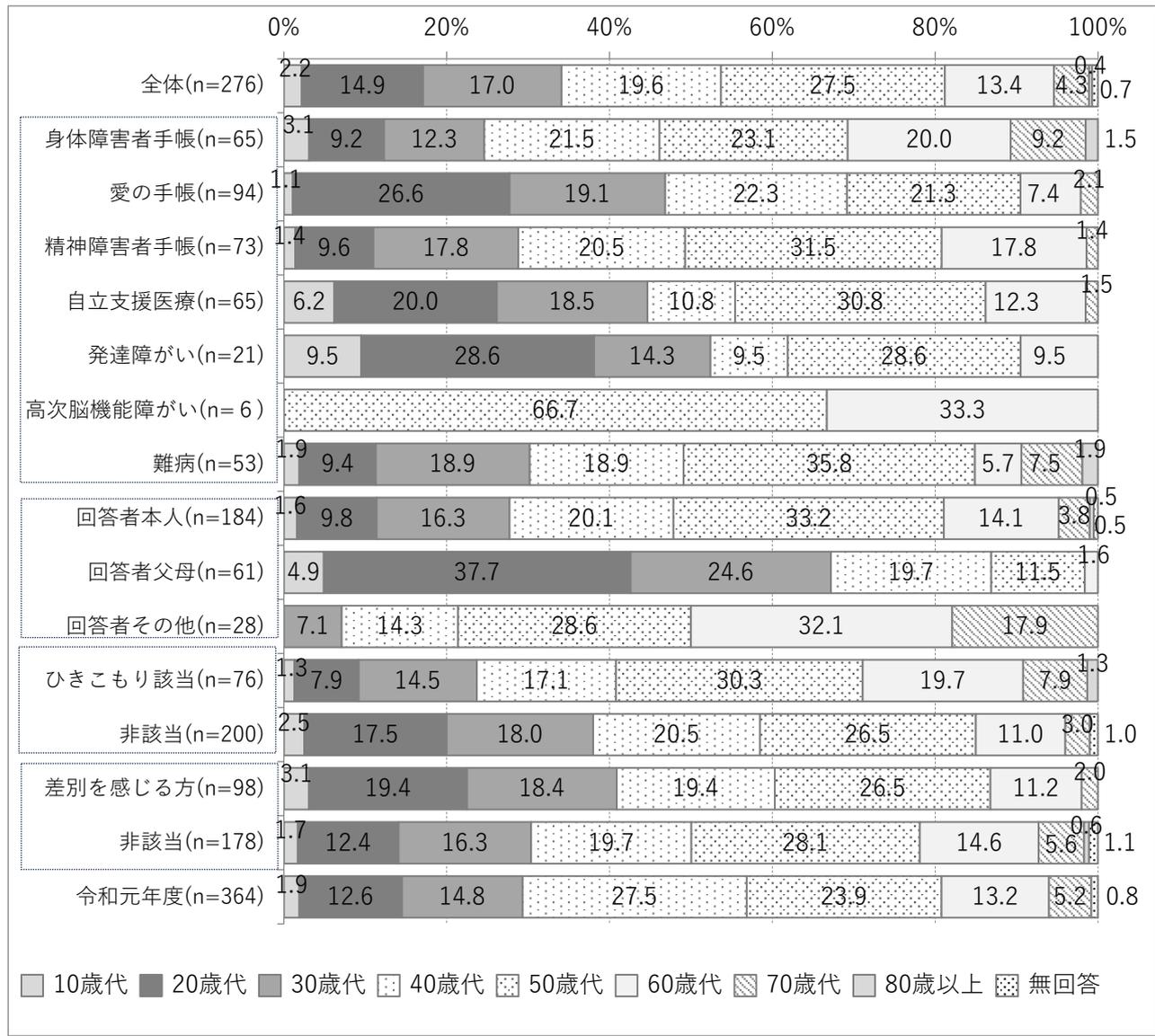


※令和元年度は、選択肢「その他」、「答えたくない」の選択肢なし。

問3 令和4年12月1日現在のあなた（あて名のご本人）の年齢をお伺いします。
 （〇は1つ）

年齢は、「50代」が27.5%で最も多く、次いで、「40代」が19.6%となっています。

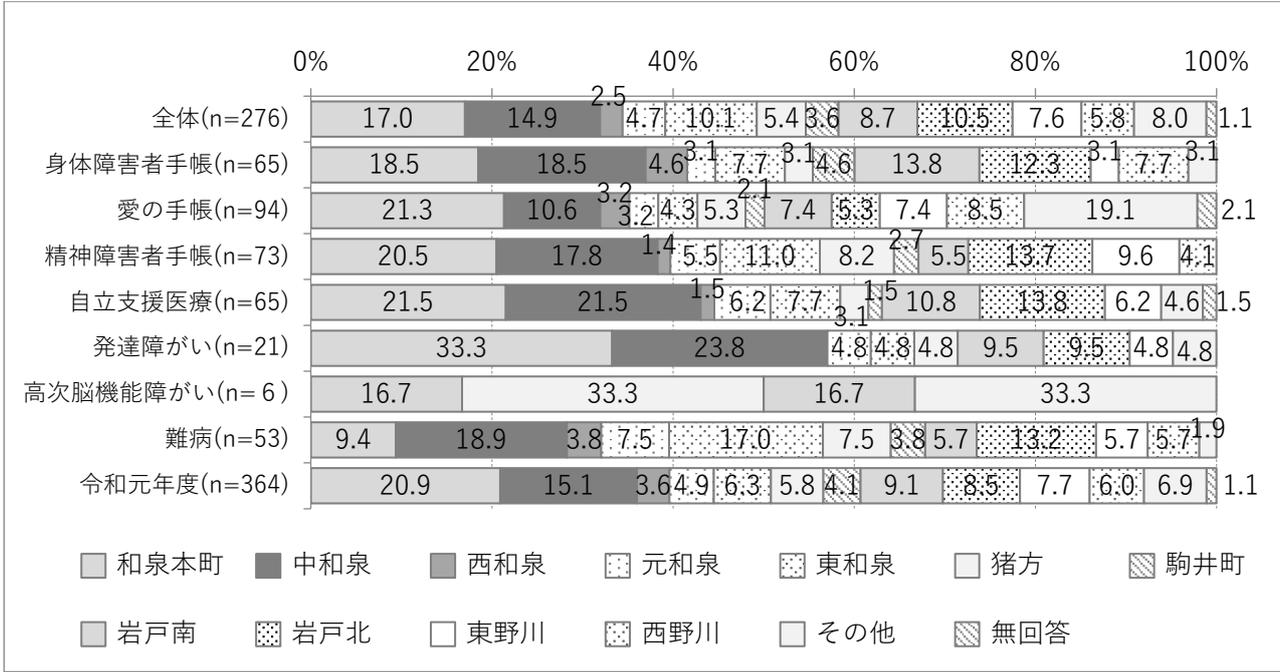
手帳の種類・診断名別でみると、愛の手帳を持っている方では「20歳代」、自立支援医療を受給している方及び難病の診断を受けている方では「50歳代」が最も多くなっています。



※令和元年度は、選択肢「80歳以上」の調査なし。

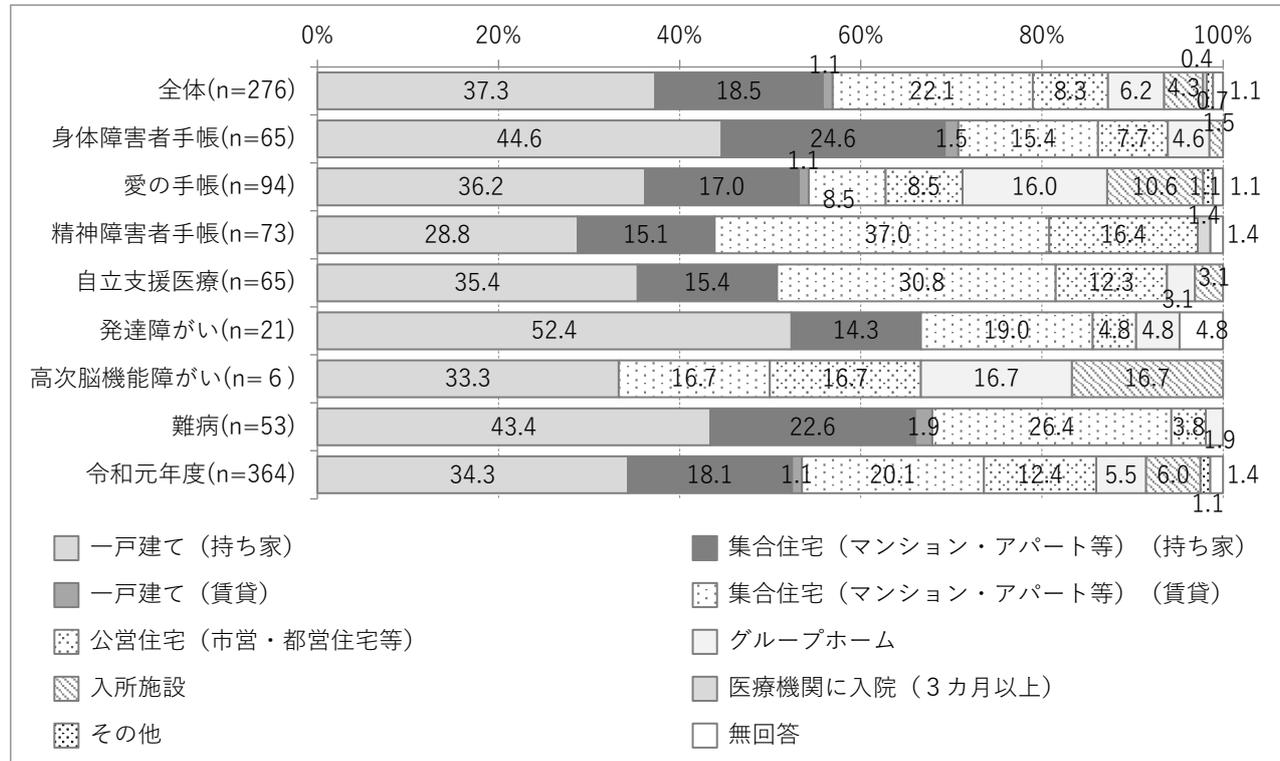
問4 お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

居住地域は、「和泉本町」が17.0%で最も多く、次いで、「中和泉」が14.9%となっています。



問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(〇は1つ)

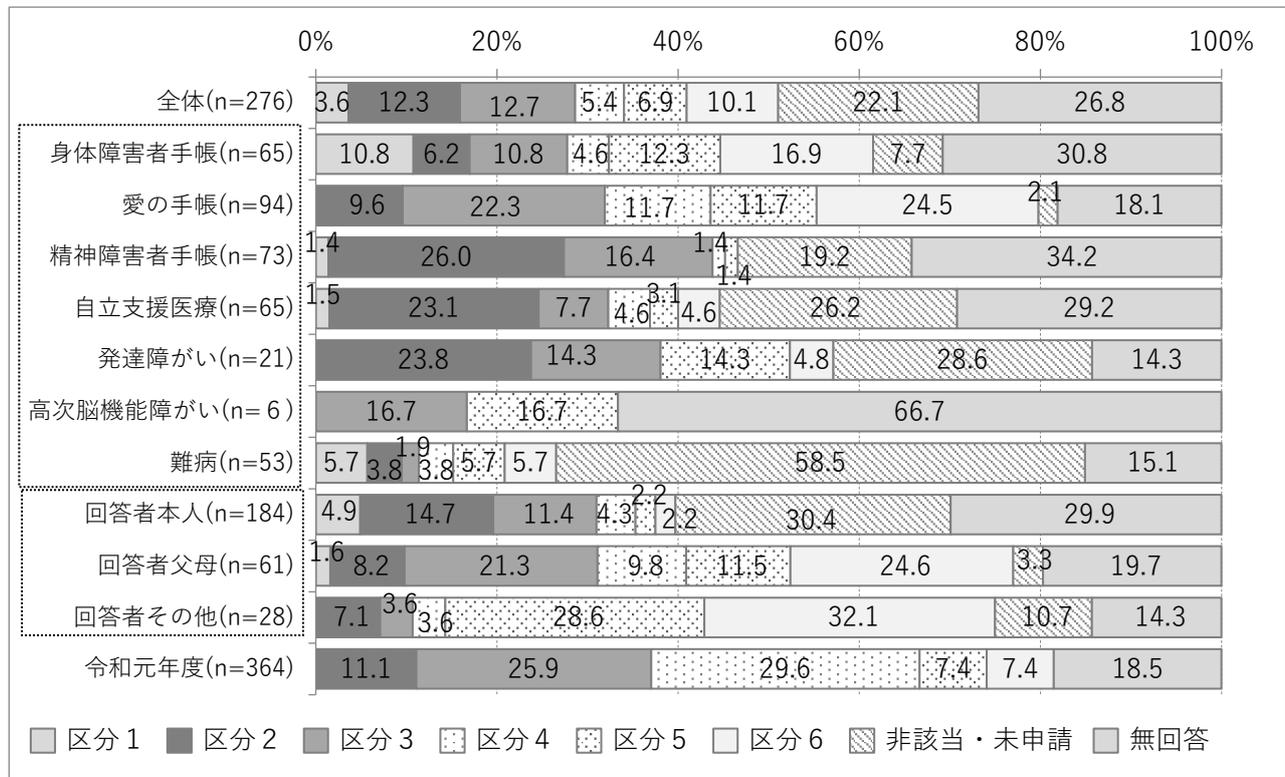
居住形態は、「一戸建て（持ち家）」が37.3%、次いで、「集合住宅（マンション・アパート等）（賃貸）」が22.1%となっています。



※令和元年度は、選択肢「医療機関に入院（3カ月以上）」の調査なし。

問6 障害支援区分は何ですか。（○は1つ）

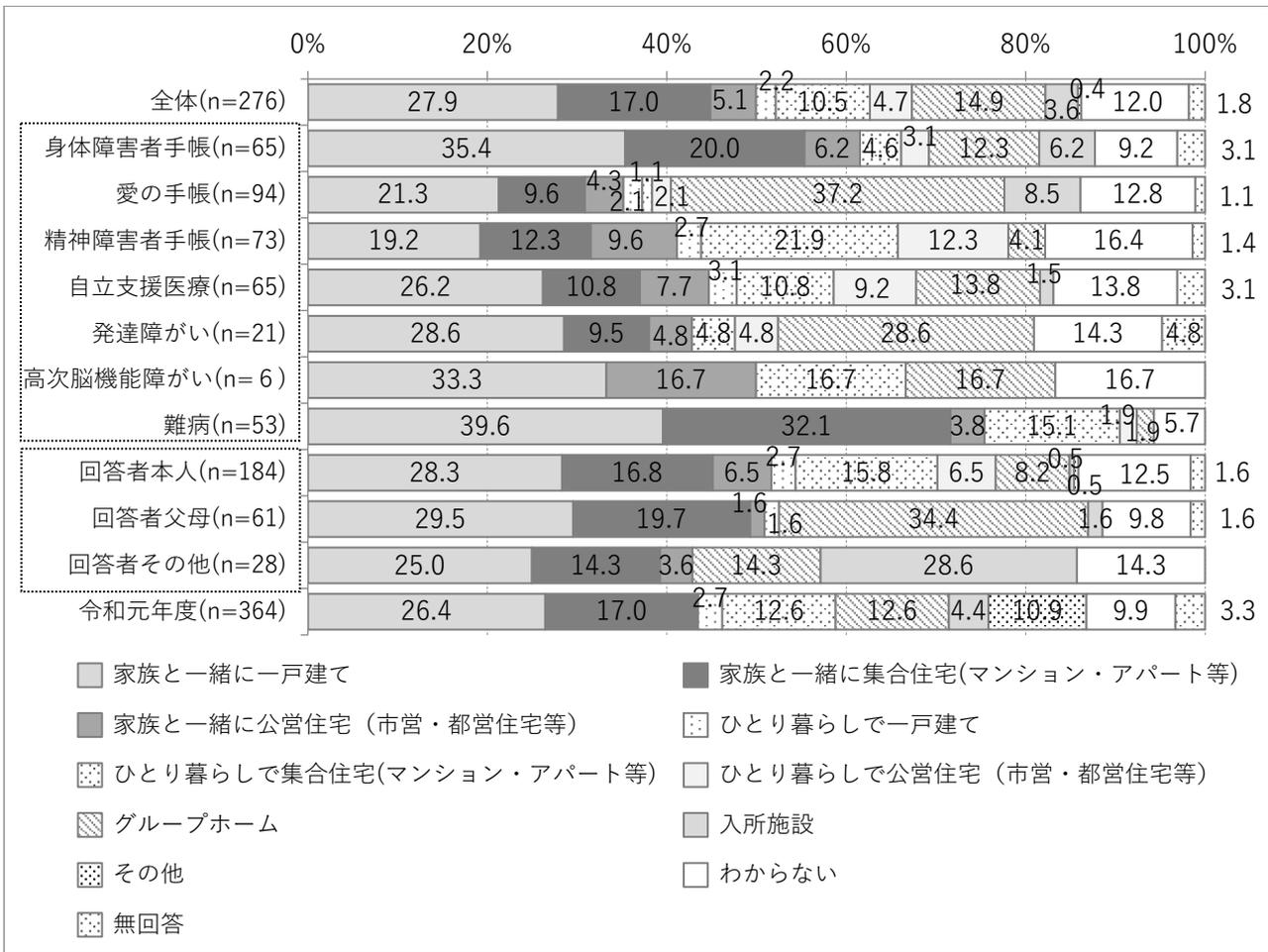
障害支援区分は、「区分3」が12.7%で最も多く、次いで、「区分2」が12.3%となっています。



問7 あなたは今後、だれとどのようなお住まいで生活したいと思いますか。(〇は1つ)

今後、希望する住まいについては、「家族と一緒に一戸建て」が27.9%、次いで、「家族と一緒に集合住宅（マンション・アパート等）」が17.0%となっています。

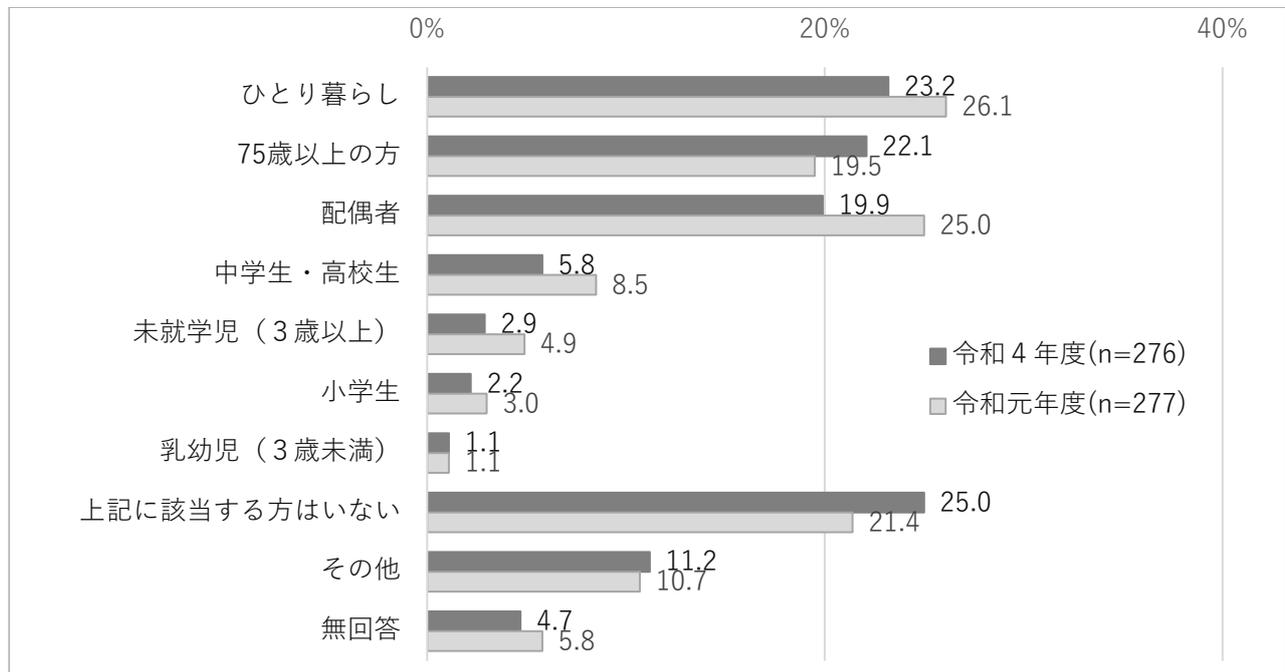
手帳の種類・診断名別でみると、最も多いのは愛の手帳を持っている方が「グループホーム」が37.2%、となっています。



※令和元年度は、「家族と一緒に公営住宅（市営・都営住宅等）」と「ひとり暮らしで公営住宅（市営・都営住宅等）」をまとめて「公営住宅（市営・都営住宅など）」として調査しているため、今次調査の選択肢と合わせるために、令和元年度の当該選択肢の回答は「その他」に含めて集計している。

問8 あなたご自身も含め、ご家族（同居）の中に次の方はいますか。（○はいくつでも）

同居している人は、「ひとり暮らし」が23.2%、「75歳以上の方」が22.1%と多くなっています。前回調査結果と比較すると、「配偶者」は5.1ポイント低くなっています。



（単位：人、%）

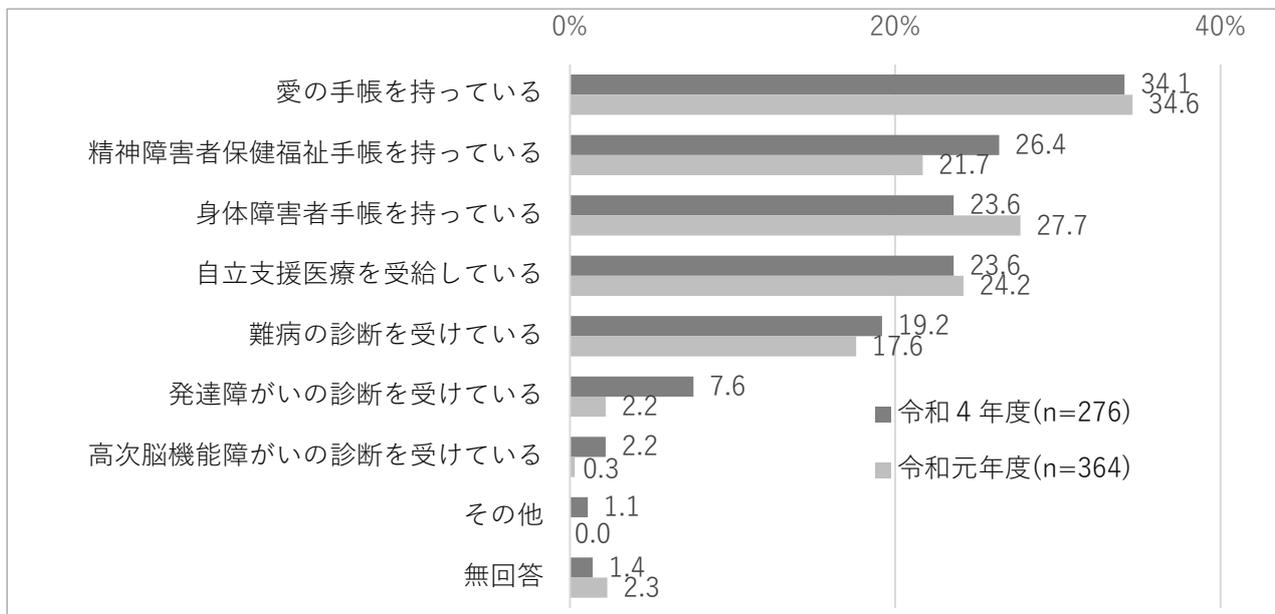
区分	人数	ひとり暮らし	配偶者	75歳以上の方	乳幼児（3歳未満）	未就学児（3歳以上）	小学生	中学生・高校生	左記に該当する方はいない	その他	無回答
全体	276	23.2	19.9	22.1	1.1	2.9	2.2	5.8	25.0	11.2	4.7
身体障害者手帳	65	16.9	30.8	33.8	0.0	3.1	3.1	4.6	20.0	7.7	4.6
愛の手帳	94	10.6	3.2	28.7	0.0	0.0	0.0	5.3	36.2	16.0	7.4
精神障害者手帳	73	43.8	12.3	15.1	0.0	2.7	1.4	0.0	21.9	11.0	2.7
自立支援医療	65	27.7	15.4	15.4	0.0	4.6	3.1	9.2	29.2	12.3	3.1
発達障がい	21	19.0	19.0	23.8	0.0	0.0	9.5	9.5	38.1	4.8	0.0
高次脳機能障がい	6	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
難病	53	17.0	45.3	18.9	5.7	7.5	3.8	9.4	18.9	7.5	3.8
令和元年度	364	26.1	25.0	19.5	1.1	3.0	4.9	8.5	21.4	10.7	5.8

問9 お持ちの手帳又は受けている診断名等は何ですか。また、手帳の等級をご記入ください。
(〇はいくつでも)

<所持している手帳又は診断名等>

所持している手帳や受けている診断名は、「愛の手帳を持っている」が34.1%で最も多く、次いで、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が26.4%となっています。

前回調査結果と比較すると、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」は約5ポイント高くなっており、「身体障害者手帳を持っている」は約4ポイント低くなっています。



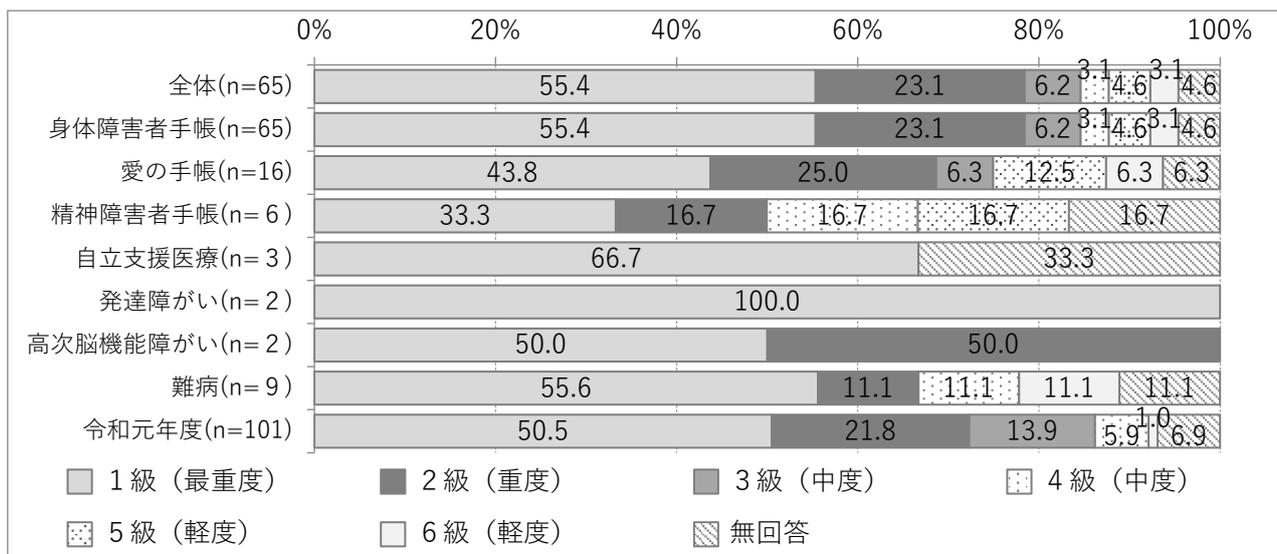
(単位：人、%)

区分	人数	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	自立支援医療を受給している	発達障がいの診断を受けている	高次脳機能障がいの診断を受けている	難病の診断を受けている	その他	無回答
全体	276	23.6	34.1	26.4	23.6	7.6	2.2	19.2	1.1	1.4
身体障害者手帳	65	-	24.6	9.2	4.6	3.1	3.1	13.8	1.5	0.0
愛の手帳	94	17.0	-	3.2	16.0	6.4	0.0	1.1	1.1	0.0
精神障害者手帳	73	8.2	4.1	-	43.8	16.4	4.1	2.7	0.0	0.0
自立支援医療	65	4.6	23.1	49.2	-	21.5	3.1	3.1	0.0	0.0
発達障がい	21	9.5	28.6	57.1	66.7	-	0.0	4.8	0.0	0.0
高次脳機能障がい	6	33.3	0.0	50.0	33.3	0.0	-	0.0	0.0	0.0
難病	53	17.0	1.9	3.8	3.8	1.9	0.0	-	0.0	0.0
回答者本人	184	20.1	15.2	37.0	28.3	7.6	2.2	26.6	1.1	1.6
回答者父母	61	26.2	83.6	4.9	14.8	8.2	1.6	-	1.6	-
回答者その他	28	35.7	53.6	7.1	14.3	7.1	3.6	14.3	-	-
ひきこもり該当	76	28.9	18.4	28.9	26.3	7.9	5.3	25.0	0.0	0.0
ひきこもり非該当	200	21.5	40.0	25.5	22.5	7.5	1.0	17.0	1.5	2.0
差別を感じる該当	98	24.5	37.8	32.7	34.7	14.3	2.0	8.2	0.0	1.0
差別を感じる非該当	178	23.0	32.0	23.0	17.4	3.9	2.2	25.3	1.7	1.7
令和元年度	364	27.7	34.6	21.7	24.2	2.2	0.3	17.6	-	2.3

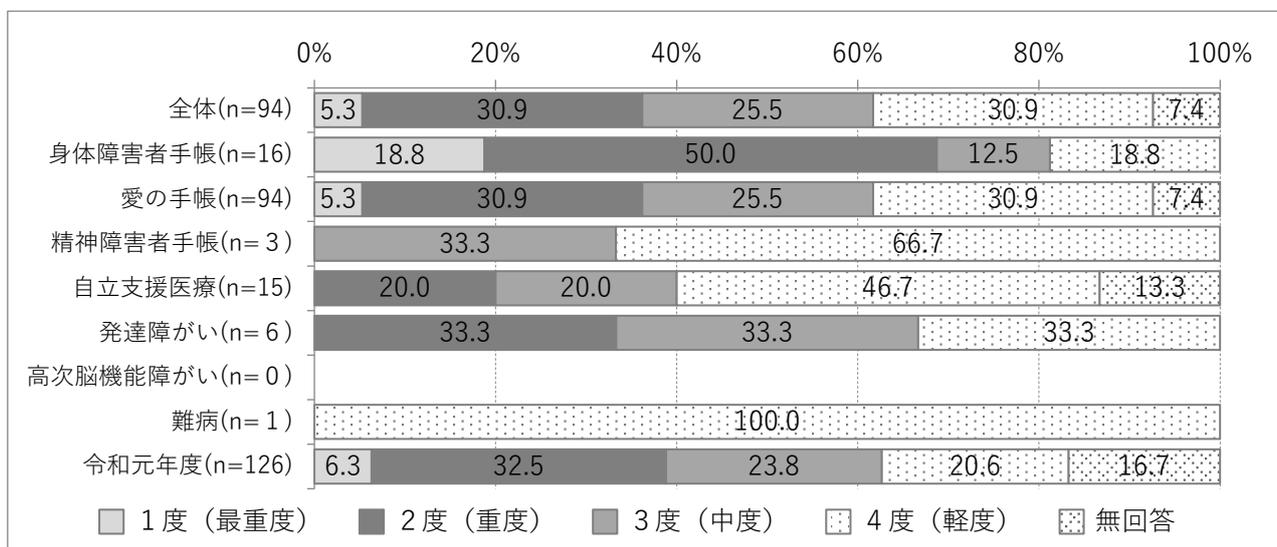
第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査

1 本人、家族について（基本事項）

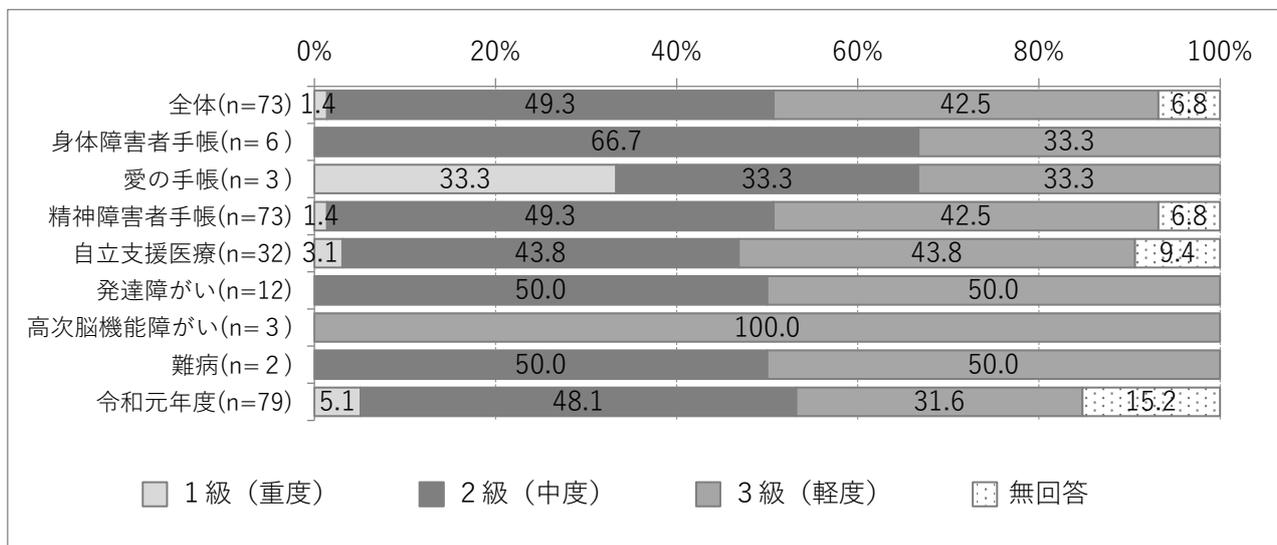
<身体障害者手帳：等級>



<愛の手帳：等級>



<精神障害者保健福祉手帳：等級>

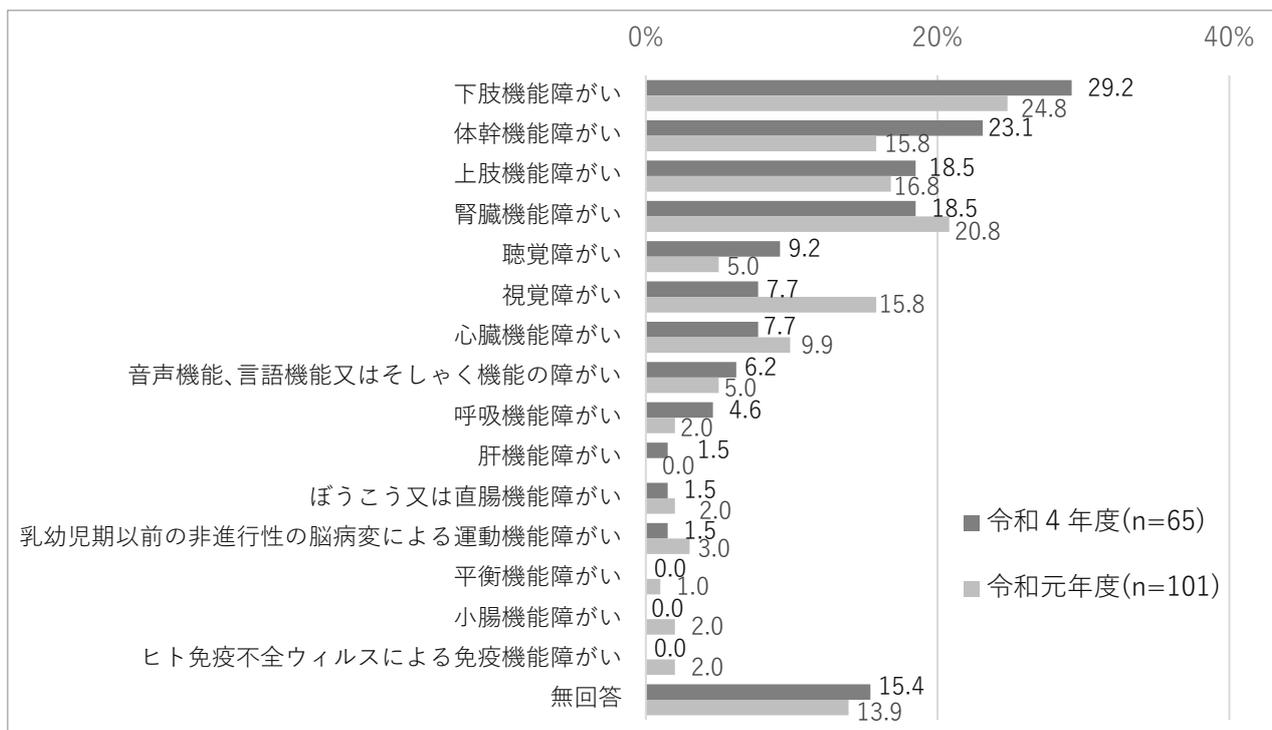


問 10【問9で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお伺いします。】

障がいの種別は何ですか。(〇はいくつでも)

障がいの種別は、「下肢機能障がい」が29.2%で最も多く、次いで、「体幹機能障がい」が23.1%となっています。

前回調査結果と比較すると、「下肢機能障がい」は約4ポイント、「体幹機能障がい」は約7ポイント高くなっており、「視覚障がい」は約8ポイント低くなっています。

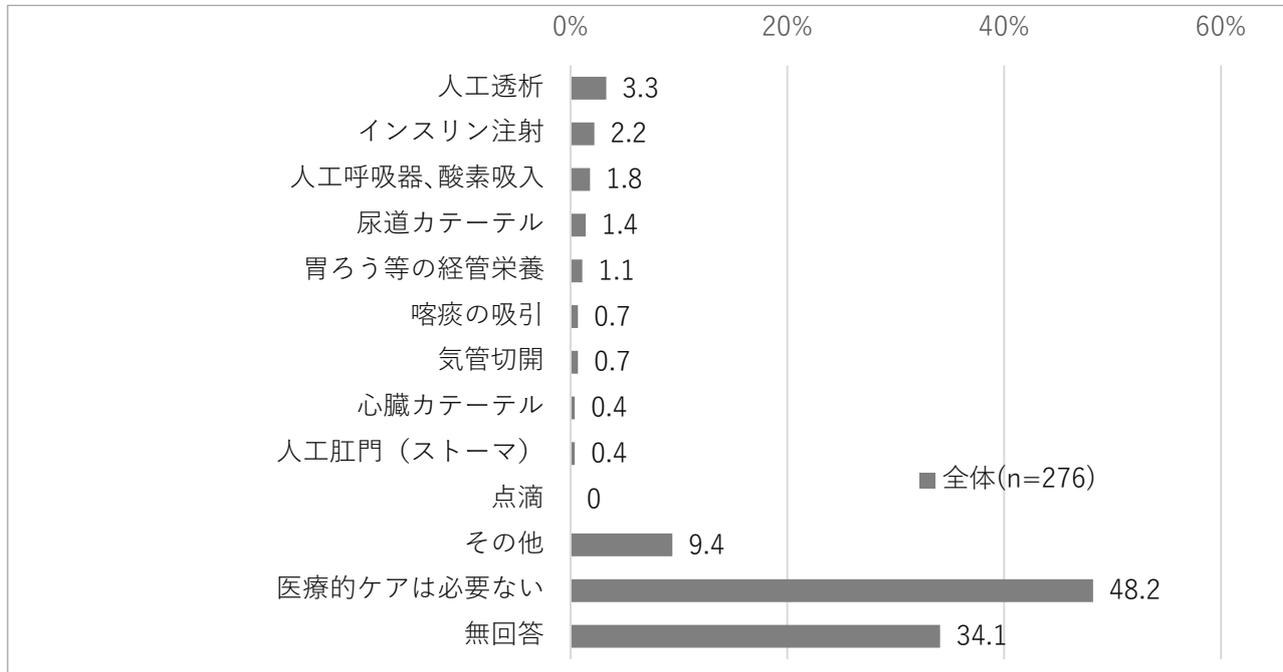


(単位：人、%)

区分	人数	視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障がい	上肢機能障がい	下肢機能障がい	体幹機能障がい	心臓機能障がい	腎臓機能障がい	呼吸機能障がい	肝機能障がい	小腸機能障がい	ぼうこう又は直腸機能障がい	疫機能障がい	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	無回答
全体	276	7.7	9.2	0.0	6.2	18.5	29.2	23.1	7.7	18.5	4.6	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	15.4
身体障害者手帳	65	7.7	9.2	0.0	6.2	18.5	29.2	23.1	7.7	18.5	4.6	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	15.4
愛の手帳	94	0.0	12.5	0.0	0.0	6.3	25.0	31.3	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
精神障害者手帳	73	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
自立支援医療	65	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
発達障がい	21	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	53	11.1	0.0	0.0	11.1	55.6	55.6	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
令和元年度	101	15.8	5.0	1.0	5.0	16.8	24.8	15.8	9.9	20.8	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	3.0	13.9	

問 11 普段の生活で医療的ケアを必要としていますか。必要としている場合は、具体的な内容を選択してください。（〇はいくつでも）

普段の生活で医療的ケアが必要な人では、「人工透析」が3.3%で最も多く、次いで、「インスリン注射」が2.2%となっています。

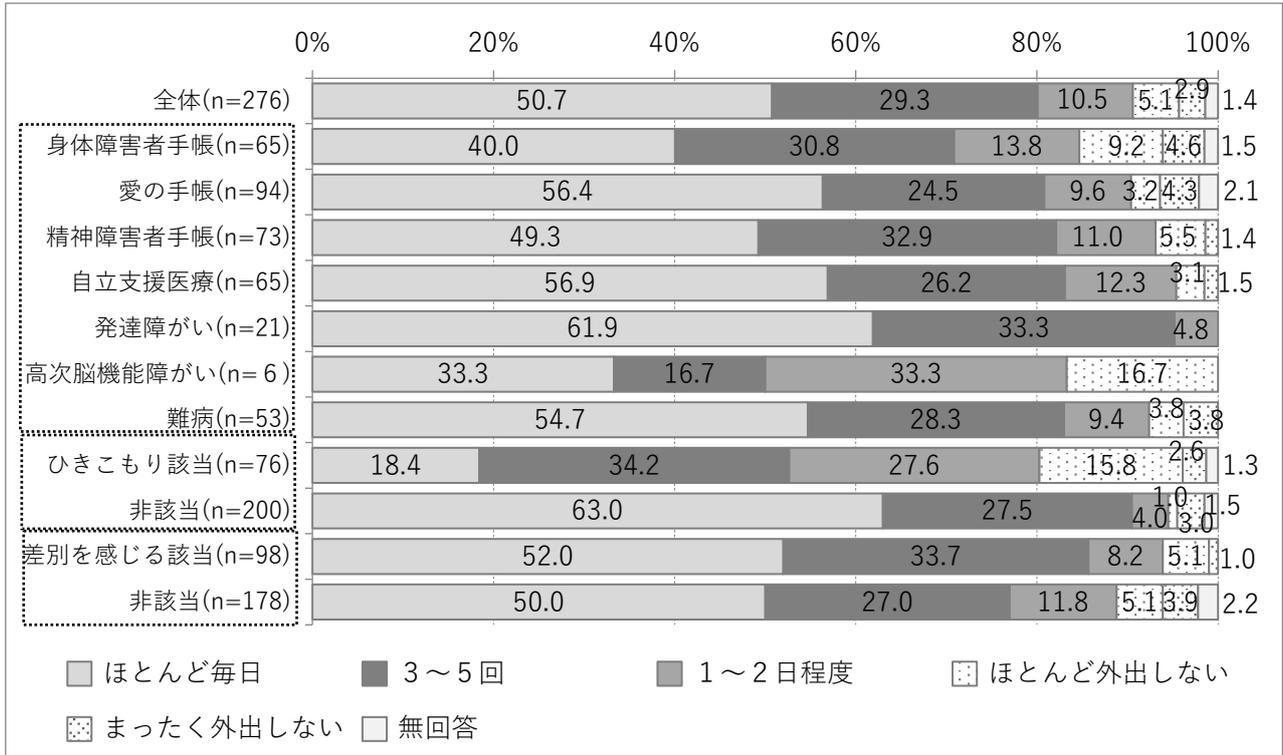


（単位：人、%）

区分	人数	医療的ケアは必要ない	喀痰の吸引	人工呼吸器、酸素吸入	気管切開	胃ろう等の経管栄養	点滴	心臓カテーテル	人工透析	人工肛門（ストーマ）	尿道カテーテル	インスリン注射	その他	無回答
全体	276	48.2	0.7	1.8	0.7	1.1	0.0	0.4	3.3	0.4	1.4	2.2	9.4	34.1
身体障害者手帳	65	32.3	3.1	7.7	3.1	4.6	0.0	1.5	13.8	1.5	3.1	3.1	16.9	24.6
愛の手帳	94	43.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1	9.6	43.6
精神障害者手帳	73	53.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	4.1	5.5	35.6
自立支援医療	65	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	4.6	1.5	36.9
発達障がい	21	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
高次脳機能障がい	6	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7
難病	53	56.6	3.8	5.7	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9	11.3	24.5

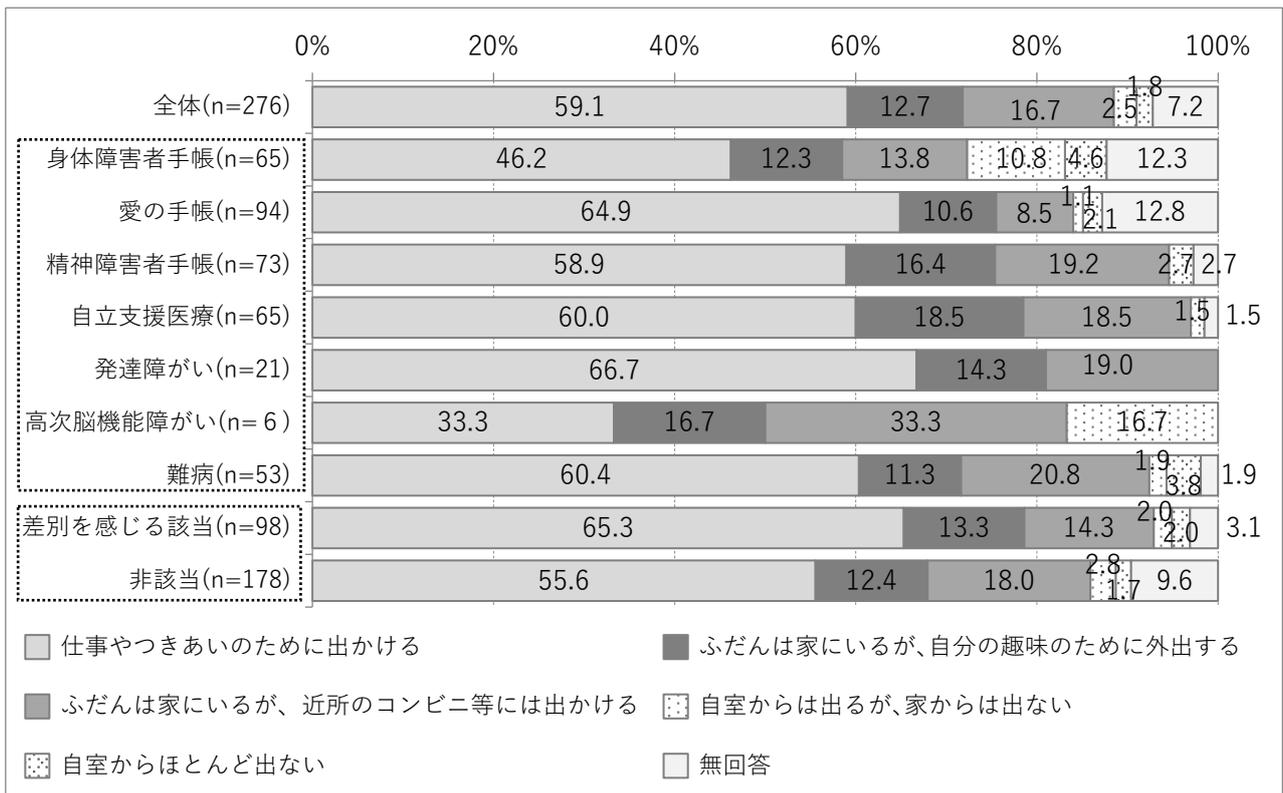
問 12 あなたは週にどのくらい外出しますか。(○は1つ)

外出の頻度は、「ほとんど毎日」が50.7%で最も多く、次いで、「3～5回」が29.3%となっています。



問 13 外出の理由は何ですか。(○は1つ)

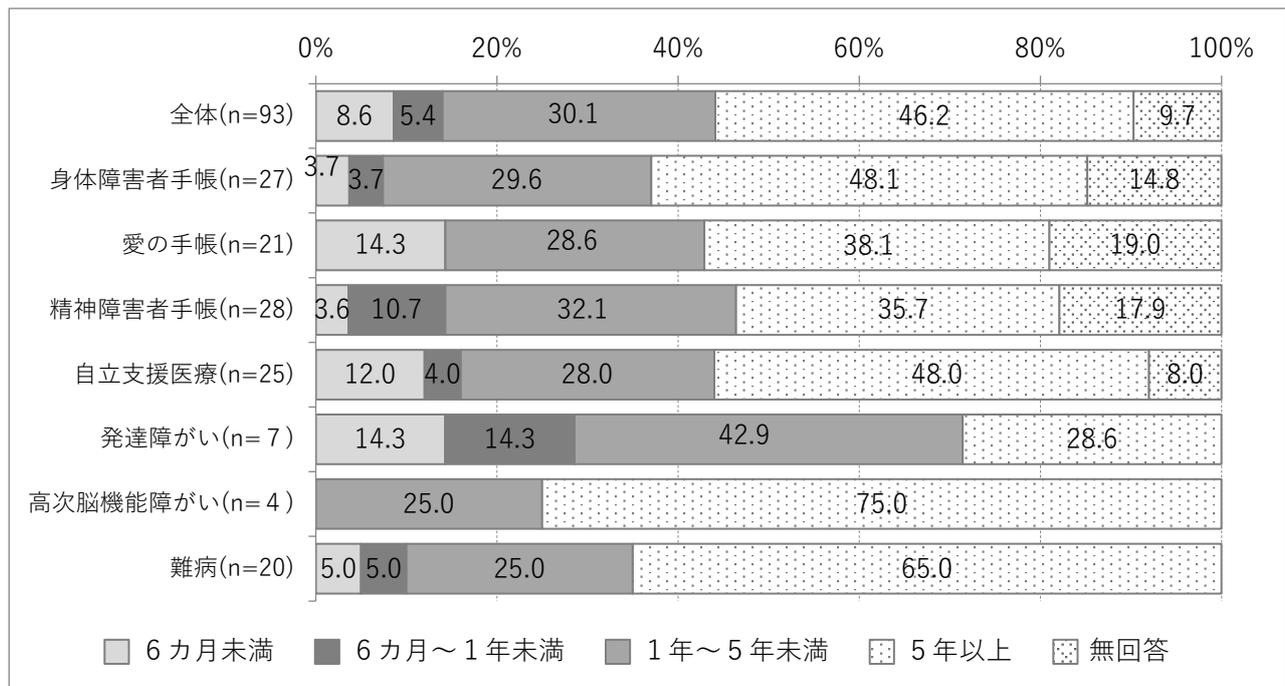
外出の理由は、「仕事やつきあいのために出かける」が59.1%で最も多く、次いで、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニ等には出かける」が16.7%となっています。



問14【問13で「ふだんは家にいるが、自分の趣味のために外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニ等には出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した方にお伺いします。】

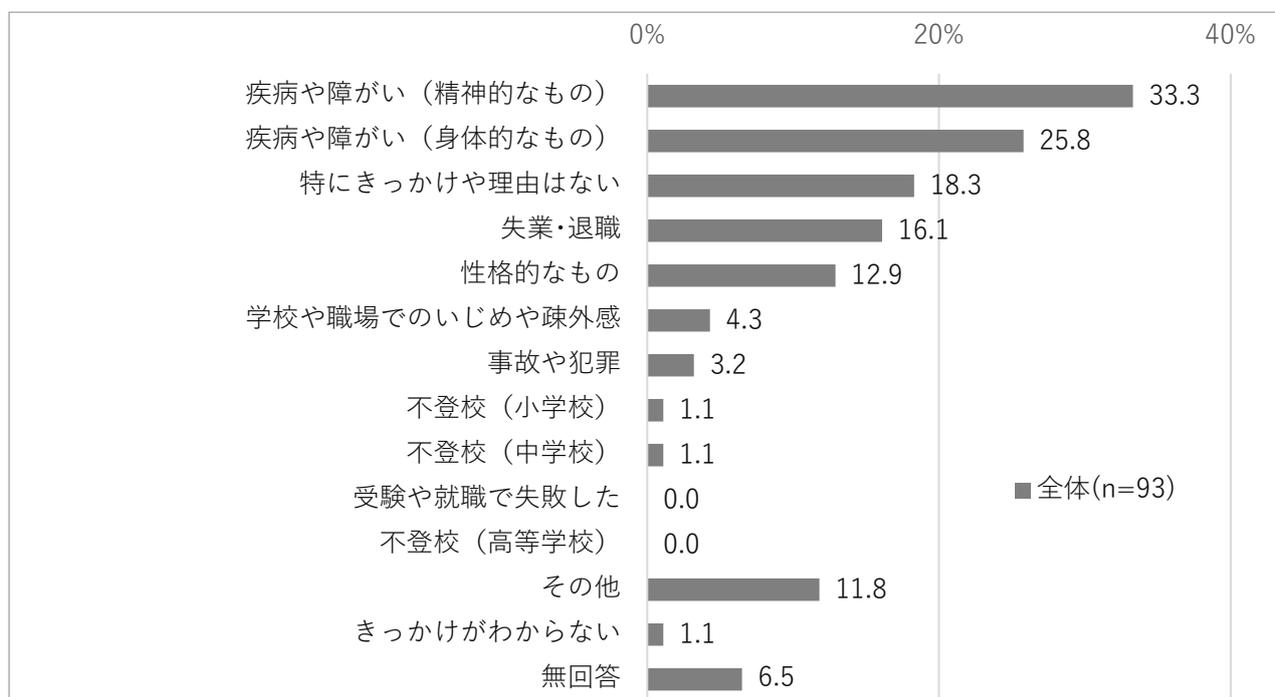
①その状態になってどのくらい続いていますか。（〇は1つ）

状態の継続状況は、「5年以上」が46.2%で最も多く、次いで、「1年～5年未満」が30.1%となっています。



問 14②その状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

きっかけは、「疾病や障がい（精神的なもの）」が 33.3%で最も多く、次いで、「疾病や障がい（身体的なもの）」が 25.8%となっています。



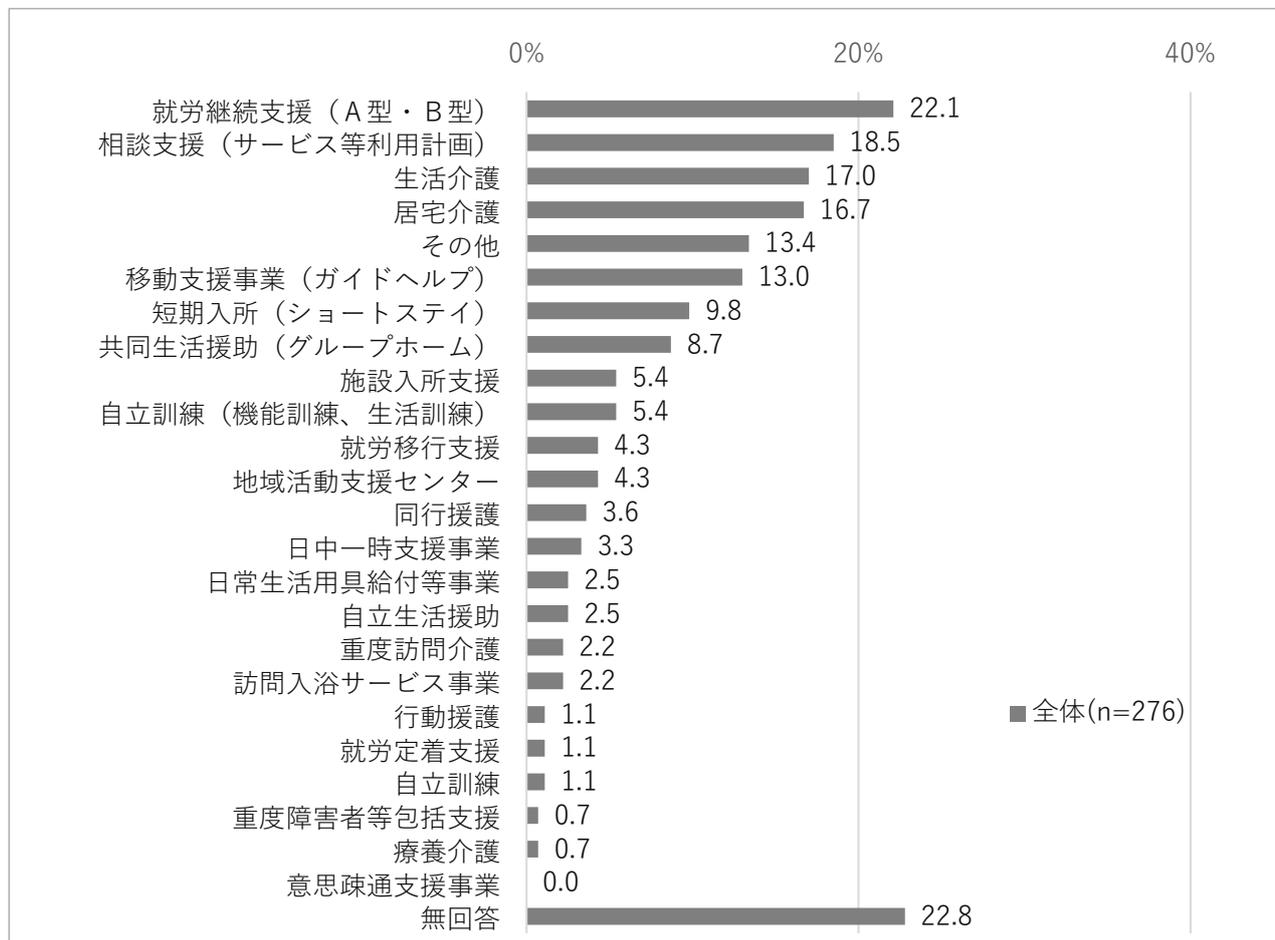
(単位：人、%)

区分	人数	疾病や障がい（精神的なもの）	疾病や障がい（身体的なもの）	失業・退職	受験や就職で失敗した	学校や職場でのいじめや疎外感	不登校（小学校）	不登校（中学校）	不登校（高等学校）	性格的なもの	事故や犯罪	特にきっかけや理由はない	きっかけがわからない	その他	無回答
全体	93	33.3	25.8	16.1	0.0	4.3	1.1	1.1	0.0	12.9	3.2	18.3	1.1	11.8	6.5
身体障害者手帳	27	11.1	48.1	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	14.8	0.0	14.8	3.7
愛の手帳	21	19.0	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	19.0	0.0	28.6	19
精神障害者手帳	28	60.7	7.1	25.0	0.0	14.3	3.6	3.6	0.0	21.4	0.0	25.0	0.0	0.0	3.6
自立支援医療	25	56.0	12.0	24.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	28.0	0.0	12.0	4.0	8.0	4.0
発達障がい	7	57.1	14.3	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	4	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	20	15.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0	15.0	0.0	10.0	5.0

2 狛江市の障がい福祉サービスについて

問 15 あなたが、現在利用している障がい福祉サービスは何ですか。（〇はいくつでも）

現在利用している障がい福祉サービスは、「就労継続支援（A型・B型）」が22.1%で最も多く、次いで、「相談支援（サービス等利用計画）」が18.5%となっています。



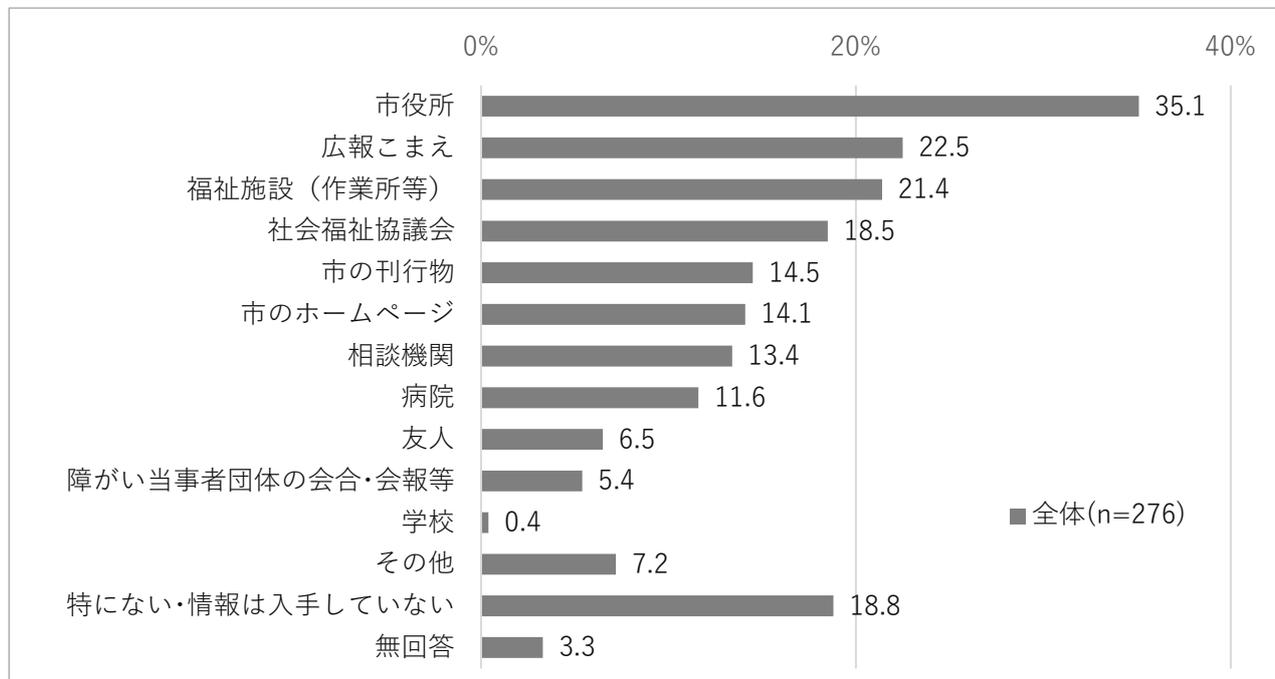
(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	療養介護	短期入所（シヨートステイ）	生活介護	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	就労移行支援
全体	276	16.7	2.2	3.6	1.1	0.7	0.7	9.8	17.0	5.4	8.7	5.4	4.3
身体障害者手帳	65	33.8	7.7	10.8	0.0	0.0	0.0	15.4	18.5	6.2	3.1	4.6	3.1
愛の手帳	94	11.7	1.1	3.2	3.2	1.1	1.1	23.4	37.2	11.7	22.3	5.3	2.1
精神障害者手帳	73	26.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	1.4	6.8	0.0	1.4	13.7	11.0
自立支援医療	65	18.5	1.5	0.0	1.5	1.5	1.5	6.2	10.8	4.6	4.6	12.3	4.6
発達障がい	21	14.3	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	14.3	14.3	4.8	14.3	14.3	4.8
高次脳機能障がい	6	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
難病	53	11.3	7.5	5.7	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0

区分	就労継続支援（A型・B型）	相談支援（サービス等利用計画）	地域活動支援センター	日中一時支援事業	移動支援事業（ガイドヘルプ）	訪問入浴サービス事業	日常生活用具給付等事業	意思疎通支援事業	就労定着支援	自立生活援助	自立訓練	その他	無回答
全体	22.1	18.5	4.3	3.3	13.0	2.2	2.5	0.0	1.1	2.5	1.1	13.4	22.8
身体障害者手帳	16.9	16.9	3.1	4.6	20.0	9.2	10.8	0.0	1.5	1.5	3.1	7.7	21.5
愛の手帳	28.7	22.3	2.1	8.5	31.9	1.1	2.1	0.0	0.0	2.1	2.1	8.5	8.5
精神障害者手帳	34.2	31.5	11.0	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	2.7	4.1	1.4	11.0	5.5
自立支援医療	27.7	27.7	4.6	1.5	7.7	0.0	1.5	0.0	1.5	4.6	0.0	20.0	12.3
発達障がい	23.8	23.8	4.8	0.0	19.0	0.0	4.8	0.0	4.8	4.8	4.8	28.6	9.5
高次脳機能障がい	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
難病	1.9	5.7	0.0	0.0	1.9	1.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	26.4	58.5

問16 あなたは、狛江市の障がい福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。（〇はいくつでも）

障がい福祉サービスに関する情報の入手先は、「市役所」が35.1%で最も多く、次いで、「広報こまえ」が22.5%となっています。

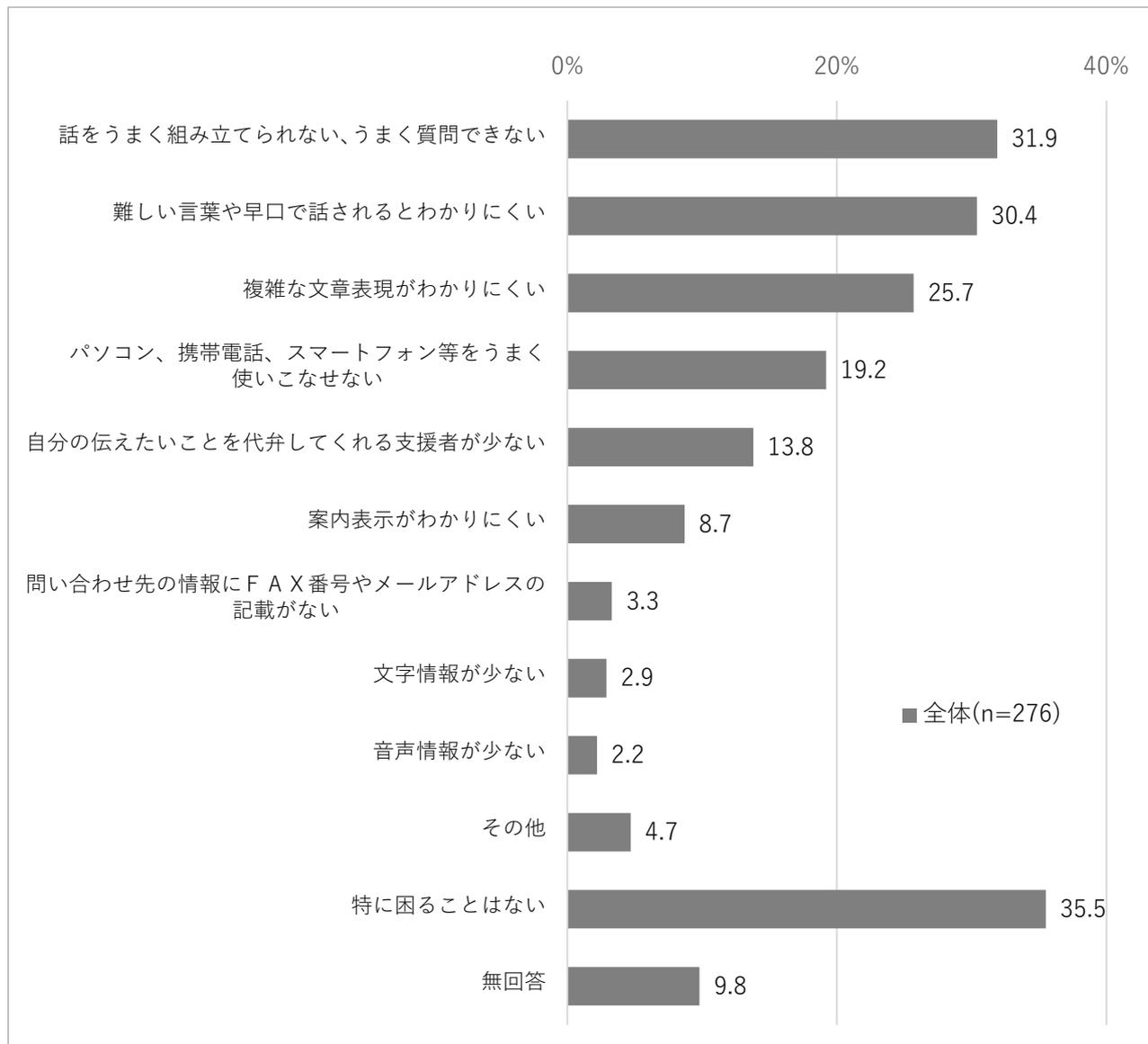


(単位：人、%)

区分	人数	市役所	広報こまえ	市の刊行物	市のホームページ	社会福祉協議会	相談機関	障がい当事者団体の会合・会報等	福祉施設（作業所等）	病院	学校	友人	その他	特にない・情報は入手していない	無回答
全体	276	35.1	22.5	14.5	14.1	18.5	13.4	5.4	21.4	11.6	0.4	6.5	7.2	18.8	3.3
身体障害者手帳	65	41.5	21.5	13.8	12.3	18.5	15.4	10.8	18.5	9.2	1.5	9.2	10.8	13.8	1.5
愛の手帳	94	34.0	27.7	19.1	9.6	25.5	25.5	11.7	43.6	2.1	0.0	8.5	10.6	12.8	3.2
精神障害者手帳	73	41.1	24.7	12.3	16.4	21.9	13.7	2.7	20.5	17.8	1.4	5.5	6.8	12.3	0.0
自立支援医療	65	46.2	27.7	15.4	24.6	21.5	20.0	6.2	16.9	21.5	1.5	7.7	7.7	10.8	0.0
発達障がい	21	57.1	42.9	33.3	33.3	19.0	28.6	9.5	23.8	19.0	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0
高次脳機能障がい	6	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
難病	53	30.2	18.9	13.2	17.0	7.5	3.8	3.8	1.9	9.4	1.9	5.7	5.7	37.7	5.7

問 17 コミュニケーションを行う上で困ることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

コミュニケーションを行う上で困ることは、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が31.9%で最も多く、次いで、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が30.4%となっています。



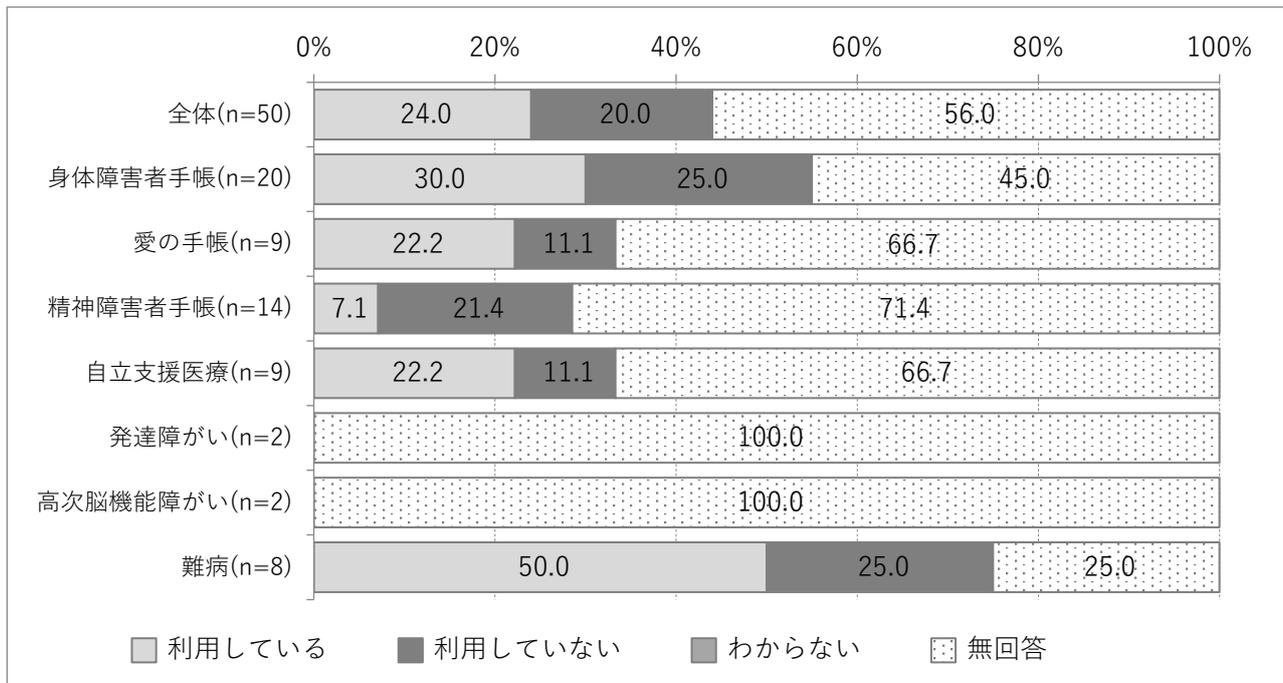
第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査
2 狛江市の障がい福祉サービスについて

(単位：人、%)

区分	人数	案内表示がわかりにくい	音声情報が少ない	文字情報が少ない	パソコン、携帯電話、スマートフォン等をうまく使いこなせない	自分の伝えたいことを代弁してくれる支援者が少ない	問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	複雑な文章表現がわかりにくい	その他	特に困ることはない	無回答
全体	276	8.7	2.2	2.9	19.2	13.8	3.3	31.9	30.4	25.7	4.7	35.5	9.8
身体障害者手帳	65	10.8	4.6	0.0	21.5	12.3	4.6	20.0	36.9	24.6	6.2	35.4	6.2
愛の手帳	94	14.9	3.2	5.3	19.1	25.5	4.3	48.9	48.9	42.6	6.4	18.1	12.8
精神障害者手帳	73	6.8	0.0	2.7	28.8	11.0	4.1	39.7	28.8	27.4	4.1	27.4	5.5
自立支援医療	65	4.6	0.0	1.5	16.9	20.0	3.1	52.3	41.5	33.8	4.6	26.2	4.6
発達障がい	21	4.8	0.0	0.0	9.5	23.8	0.0	61.9	47.6	42.9	9.5	19.0	4.8
高次脳機能障がい	6	50.0	0.0	0.0	83.3	33.3	33.3	50.0	50.0	66.7	33.3	16.7	0.0
難病	53	3.8	3.8	0.0	3.8	3.8	1.9	3.8	3.8	0.0	1.9	69.8	11.3
回答者本人	184	6.5	2.2	2.2	16.8	7.1	2.7	25.0	23.4	18.5	2.7	45.1	7.6
回答者父母	61	11.5	1.6	4.9	31.1	37.7	6.6	50.8	55.7	52.5	9.8	8.2	14.8
回答者その他	28	17.9	3.6	3.6	10.7	7.1	0.0	35.7	21.4	17.9	7.1	35.7	10.7
ひきこもり該当	76	10.5	5.3	5.3	21.1	10.5	5.3	31.6	19.7	21.1	3.9	40.8	2.6
ひきこもり非該当	200	8.0	1.0	2.0	18.5	15.0	2.5	32.0	34.5	27.5	5.0	33.5	12.5
差別を感じる該当	98	11.2	3.1	4.1	28.6	25.5	3.1	49.0	53.1	41.8	7.1	14.3	8.2
差別を感じる非該当	178	7.3	1.7	2.2	14.0	7.3	3.4	22.5	18.0	16.9	3.4	47.2	10.7

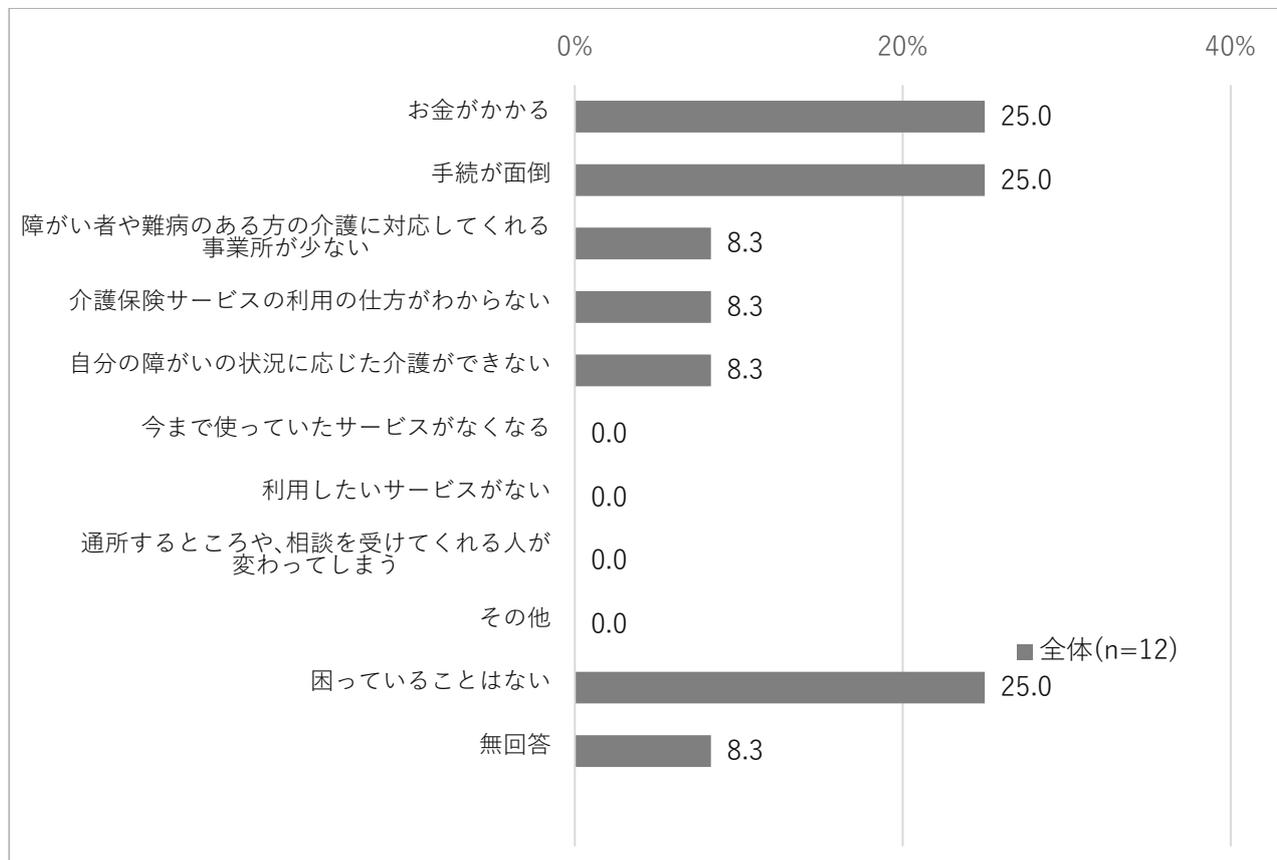
問18 65歳以上の方にお伺いします。あなたは、障がい福祉サービスの他に、介護保険サービスを利用していますか。(〇は1つ)

介護保険サービスの利用については、「利用している」が24.0%で最も多く、次いで、「利用していない」が20.0%となっています。なお、本設問の集計は、65歳以上の人数が不明なため、60歳以上の50人を対象にしました。



問 19【問 18 で「利用している」と回答した方にお伺いします】介護保険サービスを利用する場合に、困ることはありますか。（〇はいくつでも）

介護保険サービスを利用する場合に困ることについては、「お金がかかる」及び「手続きが面倒」が最も多く、それぞれ 25.0%となっています。

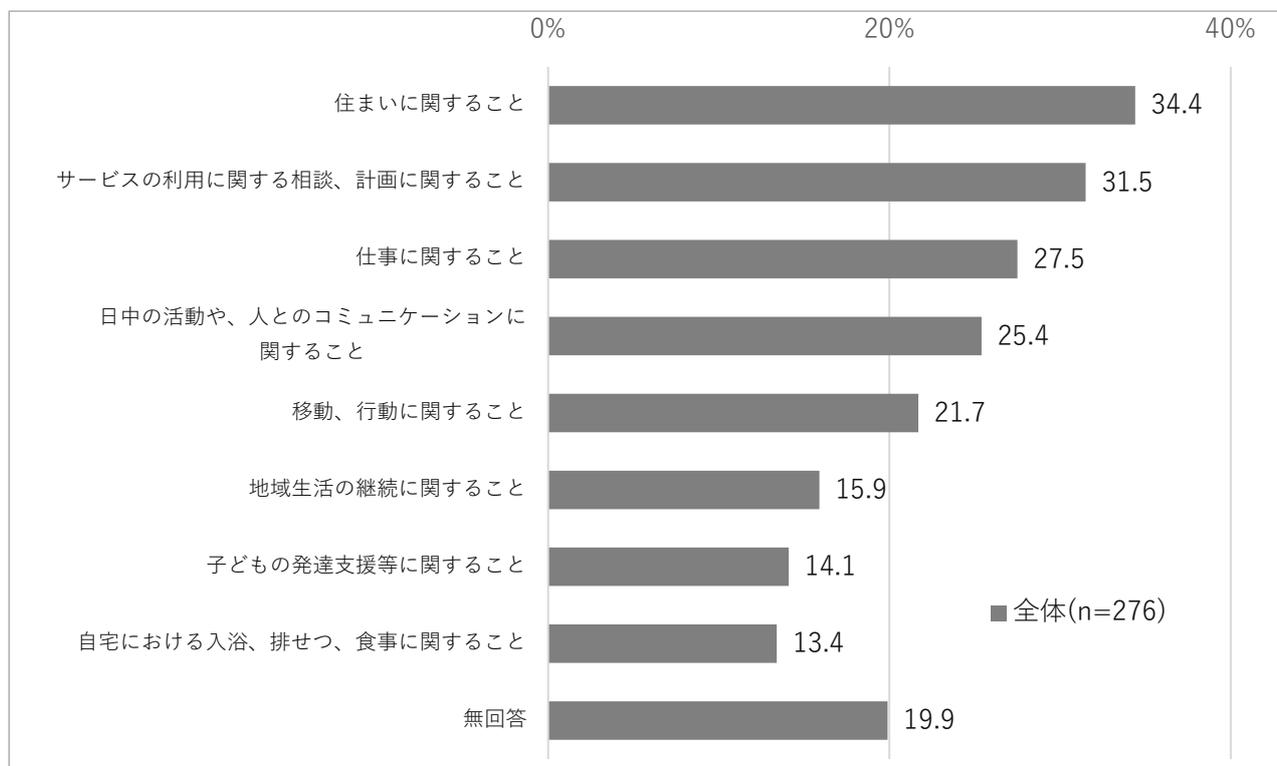


(単位：人、%)

区分	人数	お金がかかる	手続きが面倒	障がい者や難病のある方の介護に対応してくれる事業所が少ない	介護保険サービスの利用の仕方がわからない	自分の障がいの状況に応じた介護ができない	今まで使っていたサービスがなくなる	利用したいサービスがない	通所するところや、相談を受けてくれる人が変わってしまう	その他	困っていない	無回答
全体	12	25.0	25.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3
身体障害者手帳	6	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
愛の手帳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
精神障害者手帳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0

問 20 今後、狛江市が取り組む障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。(数字に○をつけてください。○は3つまで)

優先して充実すべき障がい福祉サービス等については、「住まいに関すること」が 34.4%で最も多く、次いで、「サービスの利用に関する相談、計画に関すること」が 31.5%となっています。

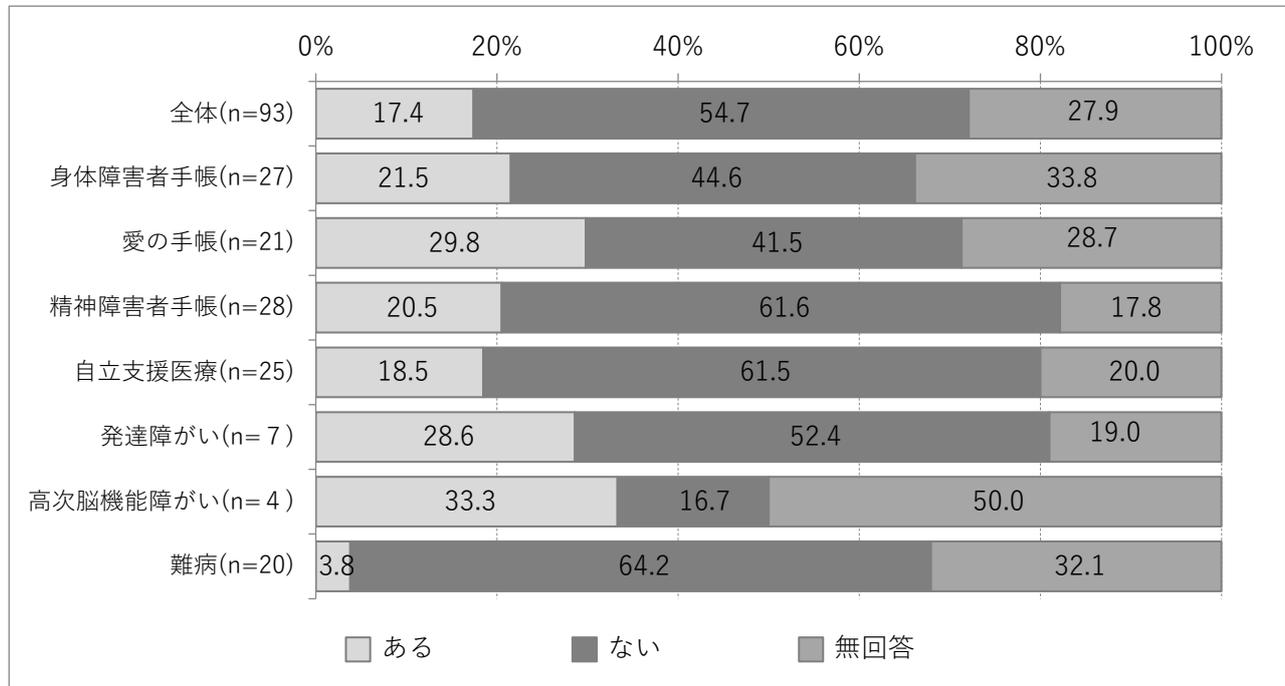


(単位：人、%)

区分	人数	子どもの発達支援等に関すること	自宅における入浴、排せつ、食事に関すること	移動、行動に関すること	住まいに関すること	日中の活動や、人とのコミュニケーションに関すること	仕事に関すること	地域生活の継続に関すること	サービスの利用に関する相談、計画に関すること	無回答
全体	276	14.1	13.4	21.7	34.4	25.4	27.5	15.9	31.5	19.9
身体障害者手帳	65	7.7	23.1	29.2	32.3	21.5	9.2	12.3	33.8	26.2
愛の手帳	94	9.6	5.3	34.0	58.5	33.0	22.3	25.5	29.8	17.0
精神障害者手帳	73	13.7	13.7	15.1	16.4	31.5	43.8	5.5	31.5	20.5
自立支援医療	65	20.0	16.9	23.1	27.7	20.0	33.8	16.9	44.6	15.4
発達障がい	21	23.8	9.5	28.6	33.3	23.8	28.6	9.5	42.9	14.3
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	66.7
難病	53	20.8	20.8	15.1	34.0	15.1	20.8	22.6	30.2	18.9
ひきこもり該当	76	11.8	15.8	22.4	31.6	22.4	18.4	18.4	32.9	21.1
ひきこもり非該当	200	15.0	12.5	21.5	35.5	26.5	31.0	15.0	31.0	19.5
差別を感じる該当	98	13.3	12.2	31.6	43.9	32.7	30.6	15.3	38.8	16.3
差別を感じる被該当	178	14.6	14.0	16.3	29.2	21.3	25.8	16.3	27.5	21.9

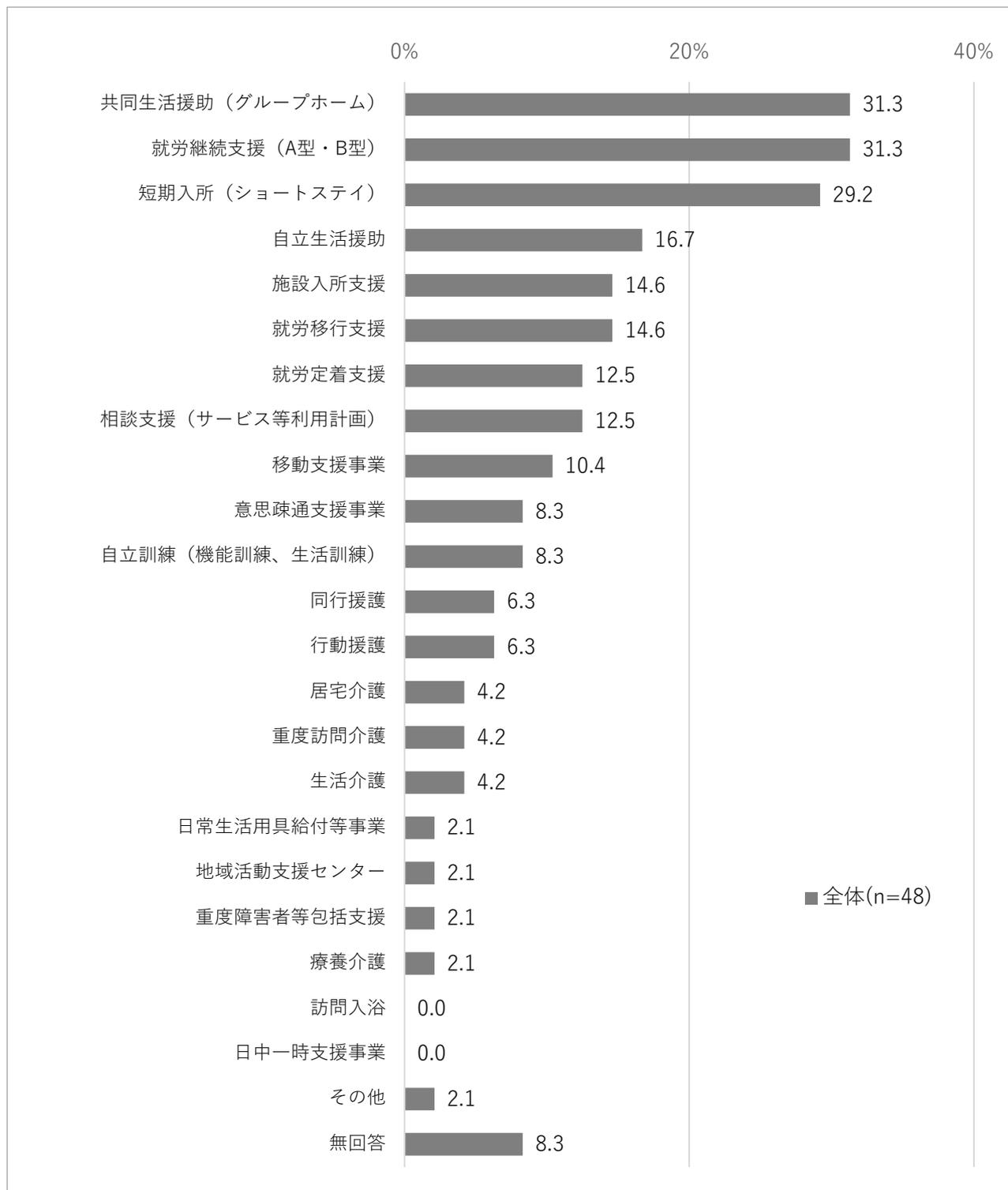
問 21 狛江市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスはありますか。（○は1つ）

利用できないサービスの有無については、「ない」が54.7%で最も多く、次いで、「ある」が17.4%となっています。



問 22【問 21 で「ある」と回答した方にお伺いします。】利用できないサービスは、次のうちのサービスですか。(〇はいくつでも)

利用できないサービスの内容については、「共同生活援助（グループホーム）」および「就労継続支援（A型・B型）」がそれぞれ 31.3%で最も多く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」が 29.2%となっています。



第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査
2 狛江市の障がい福祉サービスについて

<利用できないサービス(全体)>

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(ショートステイ)	生活介護	地域活動支援センター
全体	48	4.2	4.2	0.0	2.1	6.3	6.3	10.4	14.6	31.3	29.2	4.2	2.1
身体障害者手帳	14	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	21.4	14.3	50.0	42.9	0.0	0.0
愛の手帳	28	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	7.1	10.7	14.3	42.9	32.1	0.0	3.6
精神障害者手帳	15	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	20.0	13.3	0.0
自立支援医療	12	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	25.0	25.0	41.7	8.3	0.0
発達障がい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	16.7	66.7	0.0	0.0
高次脳機能障がい	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

区分	日中一時支援事業	意思疎通支援事業	就労移行支援	就労継続支援(A型・B型)	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	重度障害者等包括支援	療養介護	就労定着支援	自立生活援助	相談支援(サービス等利用計画)	その他	無回答
全体	0.0	8.3	14.6	31.3	8.3	2.1	2.1	12.5	16.7	12.5	2.1	8.3
身体障害者手帳	0.0	14.3	7.1	21.4	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1
愛の手帳	0.0	7.1	14.3	21.4	10.7	3.6	0.0	10.7	17.9	7.1	0.0	3.6
精神障害者手帳	0.0	6.7	26.7	66.7	13.3	0.0	6.7	20.0	20.0	33.3	6.7	6.7
自立支援医療	0.0	0.0	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7
発達障がい	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
高次脳機能障がい	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
難病	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

問 23①利用できないサービスは、どのようなサービスですか。問 22 のサービス 1 から 23 までの中から上位 3 つまで選び、番号を記入してください。

<利用できないサービス(第1位)>

利用できないサービス(第1位)は、「共同生活援助（グループホーム）」及び「就労継続支援（A型・B型）」が最も多く、それぞれ 14.6%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(シヨートステイ)	生活介護	地域活動支援センター
全体	48	2.1	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	6.3	4.2	14.6	8.3	2.1	0.0
身体障害者手帳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	21.4	7.1	14.3	14.3	0.0	0.0
愛の手帳	28	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1	7.1	0.0	25.0	10.7	0.0	0.0
精神障害者手帳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0
自立支援医療	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	8.3	0.0
発達障がい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
高次脳機能障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

区分	日中一時支援事業	意思疎通支援事業	就労移行支援	就労継続支援(A型・B型)	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	重度障害者等包括支援	療養介護	就労定着支援	自立生活援助	相談支援(サービス等利用計画)	その他	無回答
全体	0.0	2.1	4.2	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	31.3
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
愛の手帳	0.0	3.6	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	25.0
精神障害者手帳	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
自立支援医療	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
発達障がい	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査

2 狛江市の障がい福祉サービスについて

<利用できないサービス(第2位)>

利用できないサービス(第2位)は、「共同生活援助（グループホーム）」が8.3%で最も多く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」が6.3%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(ショートステイ)	生活介護	地域活動支援センター
全体	48	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	4.2	4.2	8.3	6.3	0.0	0.0
身体障害者手帳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0
愛の手帳	28	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1	3.6	10.7	0.0	0.0
精神障害者手帳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0
自立支援医療	12	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0
発達障がい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
高次脳機能障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0

区分	日中一時支援事業	意思疎通支援事業	就労移行支援	就労継続支援(A型・B型)	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	重度障害者等包括支援	療養介護	就労定着支援	自立生活援助	相談支援(サービス等利用計画)	その他	無回答
全体	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	4.2	4.2	2.1	54.2
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	7.1	7.1	0.0	46.4
精神障害者手帳	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	60.0
自立支援医療	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	50.0
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
高次脳機能障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<利用できないサービス(第3位)>

利用できないサービス(第3位)は、「短期入所(ショートステイ)」が6.3%で最も多く、次いで、「意思疎通支援事業」、「就労移行支援」および「就労定着支援」がそれぞれ4.2%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	共同生活援助(グループホーム)	短期入所(ショートステイ)	生活介護	地域活動支援センター
全体	48	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	6.3	0.0	2.1
身体障害者手帳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
愛の手帳	28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6
精神障害者手帳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0
発達障がい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
高次脳機能障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

区分	日中一時支援事業	意思疎通支援事業	就労移行支援	就労継続支援(A型・B型)	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	重度障害者等包括支援	療養介護	就労定着支援	自立生活援助	相談支援(サービス等利用計画)	その他	無回答
全体	0.0	4.2	4.2	2.1	2.1	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	-	70.8
身体障害者手帳	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	64.3
愛の手帳	0.0	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	-	71.4
精神障害者手帳	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	-	73.3
自立支援医療	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	66.7
発達障がい	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	50.0
高次脳機能障がい	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	50.0
難病	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-

問 23②利用できないサービスをどのように補っていますか。（〇はいくつでも）

利用できないサービス(第1位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が 33.3%で最も多く、次いで「相談支援専門員に相談している」が 22.9%となっている。

利用できないサービス(第2位)の補い方は、「家族が介助・支援している」および特に何もしていない」が2最も多く、それぞれ 22.9%となっている。

利用できないサービス(第3位)の補い方は、「特に何もしていない」が 16.7%で最も多く、次いで「家族が介助・支援している」が 8.3%となっている。

(単位：人、%)

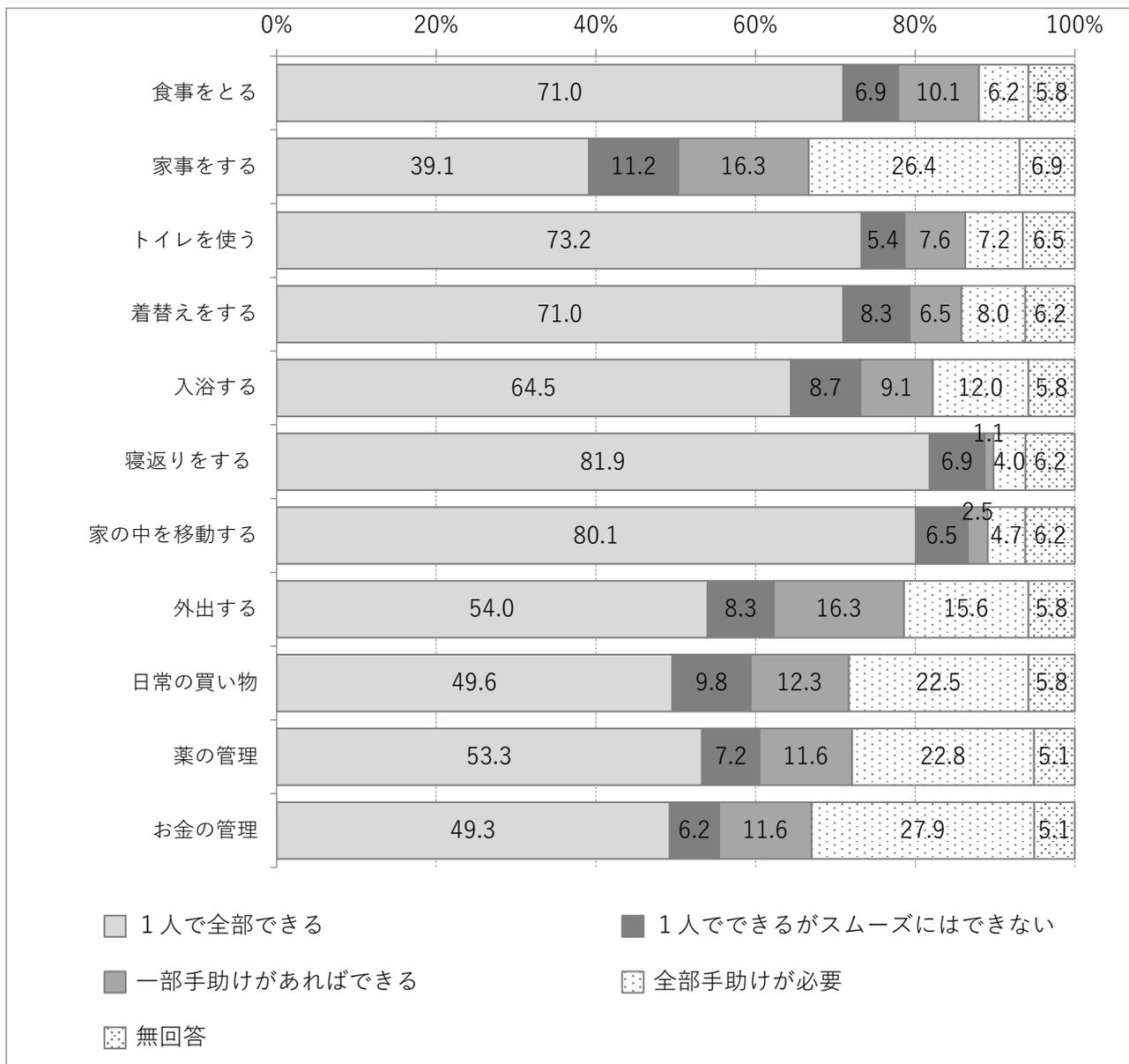
	区分	人数	自費でヘルパーや介助者を雇っている	家族が介助・支援している	友人や知人に支援してもらっている	相談支援専門員に相談している	特に何もしていない	その他	無回答
第1位	全体	48	8.3	33.3	4.2	22.9	16.7	10.4	22.9
	身体障害者手帳	14	14.3	57.1	14.3	21.4	7.1	14.3	21.4
	愛の手帳	28	7.1	42.9	0.0	32.1	14.3	10.7	14.3
	精神障害者手帳	15	6.7	6.7	0.0	6.7	33.3	6.7	40.0
	自立支援医療	12	8.3	25.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7
	発達障がい	6	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	高次脳機能障がい	2	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
第2位	全体	48	4.2	22.9	2.1	14.6	22.9	2.1	41.7
	身体障害者手帳	14	14.3	35.7	7.1	21.4	21.4	0.0	35.7
	愛の手帳	28	3.6	21.4	0.0	21.4	25.0	3.6	32.1
	精神障害者手帳	15	0.0	13.3	0.0	0.0	33.3	6.7	53.3
	自立支援医療	12	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	8.3	50.0
	発達障がい	6	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3
	高次脳機能障がい	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	難病	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
第3位	全体	48	4.2	8.3	4.2	6.3	16.7	2.1	64.6
	身体障害者手帳	14	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	57.1
	愛の手帳	28	3.6	7.1	3.6	3.6	17.9	0.0	64.3
	精神障害者手帳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0	73.3
	自立支援医療	12	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	0.0	66.7
	発達障がい	6	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	50.0
	高次脳機能障がい	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	難病	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

3 日常生活と困りごと

問 24 日常生活における(1)～(11)の項目についてそれぞれお答えください。(○は1つ)

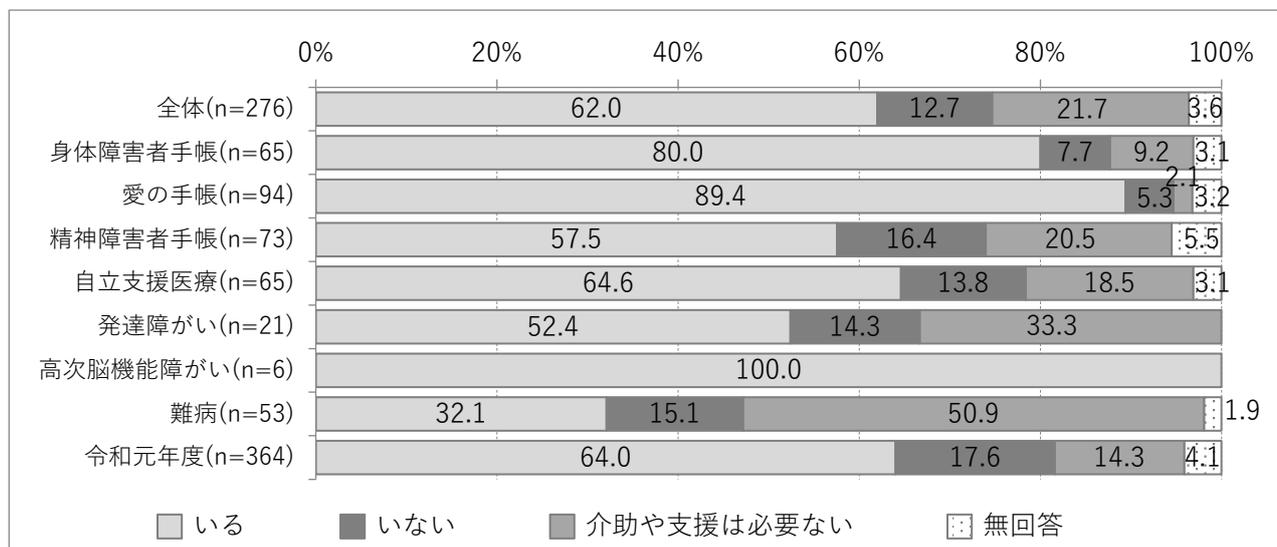
「1人で全部できる」の割合が最も多いのは「寝返りをする」(81.9%)であり、次いで、「家の中を移動する」(80.1%)、「トイレを使う」(73.2%)となっています。

一方、「全部手助けが必要」の割合が最も多いのは、「お金の管理」(27.9%)であり、次いで、「家事をする」(26.4%)となっています。



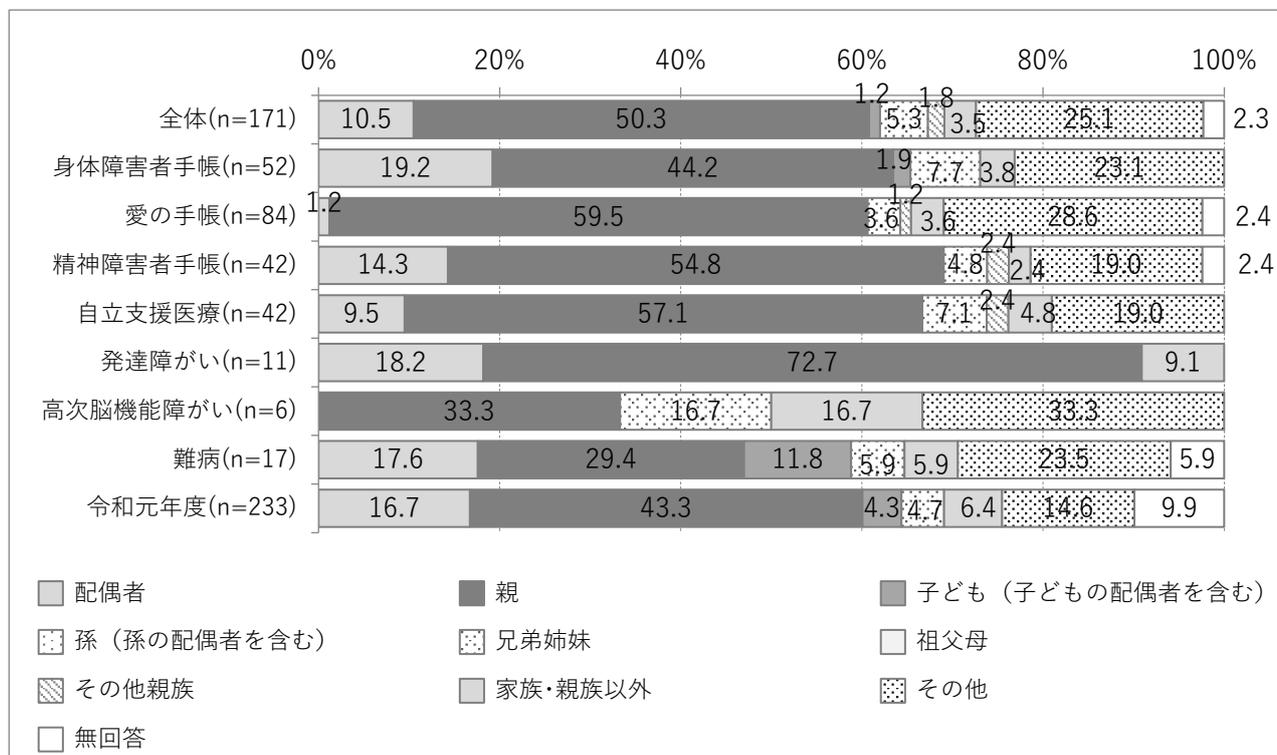
問 25 あなたには、あなたの介助や支援をする方がいますか。（○は1つ）

介助や支援をする方がいるかどうかについては、「いる」が 62.0%で最も多く、次いで、「介助や介護は必要ない」が 21.7%となっています。



問 26 【問 25 で「いる」と回答した方へお伺いします】あなたの介助や支援を主にしている方はどなたですか。あなたからみた続柄で回答してください。（○は1つ）

介助や支援を主にしている方の続柄は、「親」が 50.3%で最も多く、次いで、「その他」が 25.1%となっています。

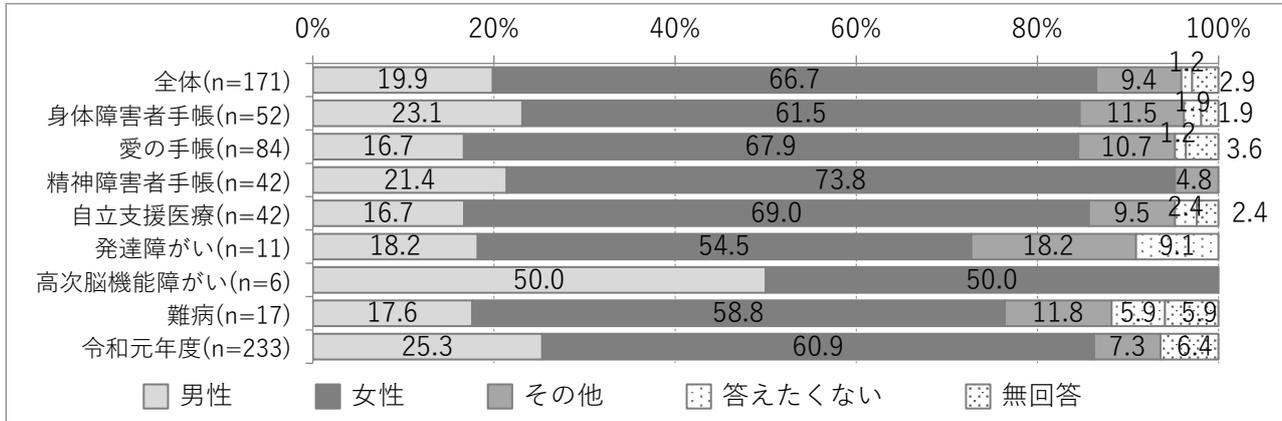


※令和元年度調査では、「子ども（子どもの配偶者を含む）」、「孫（孫の配偶者を含む）」は調査なし。

問 27【問 25 で「いる」と回答した方へお伺いします】

①あなたの介助や支援を主にしている方の性別を選択・ご記入ください。(○は1つ)

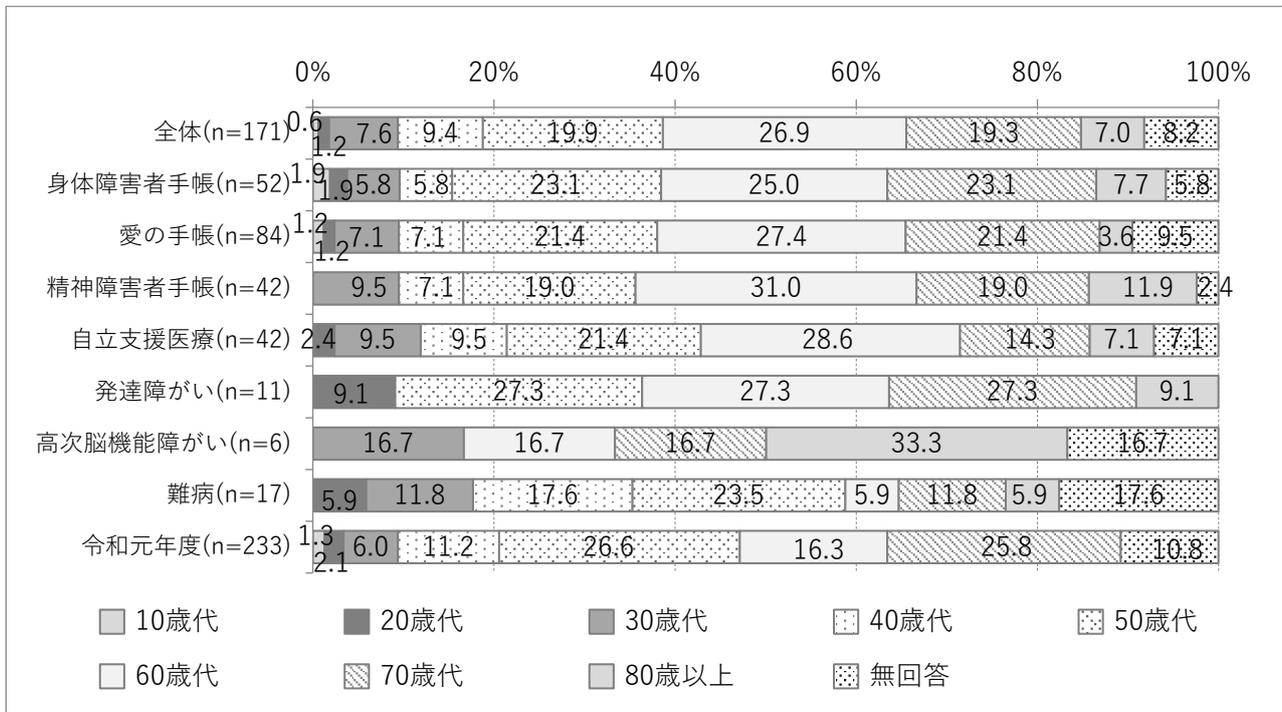
介助や支援を主にしている方の性別は、「女性」が66.7%で最も多く、次いで、「男性」が19.9%となっています。



問 27【問 25 で「いる」と回答した方へお伺いします】

②令和4年12月1日現在のあなたの介助や支援を主にしている方の年齢をお伺いします。(○は1つ)

介助や支援を主にしている方の年齢は、「60歳代」が26.9%で最も多く、次いで、「50歳代」が19.9%となっています。

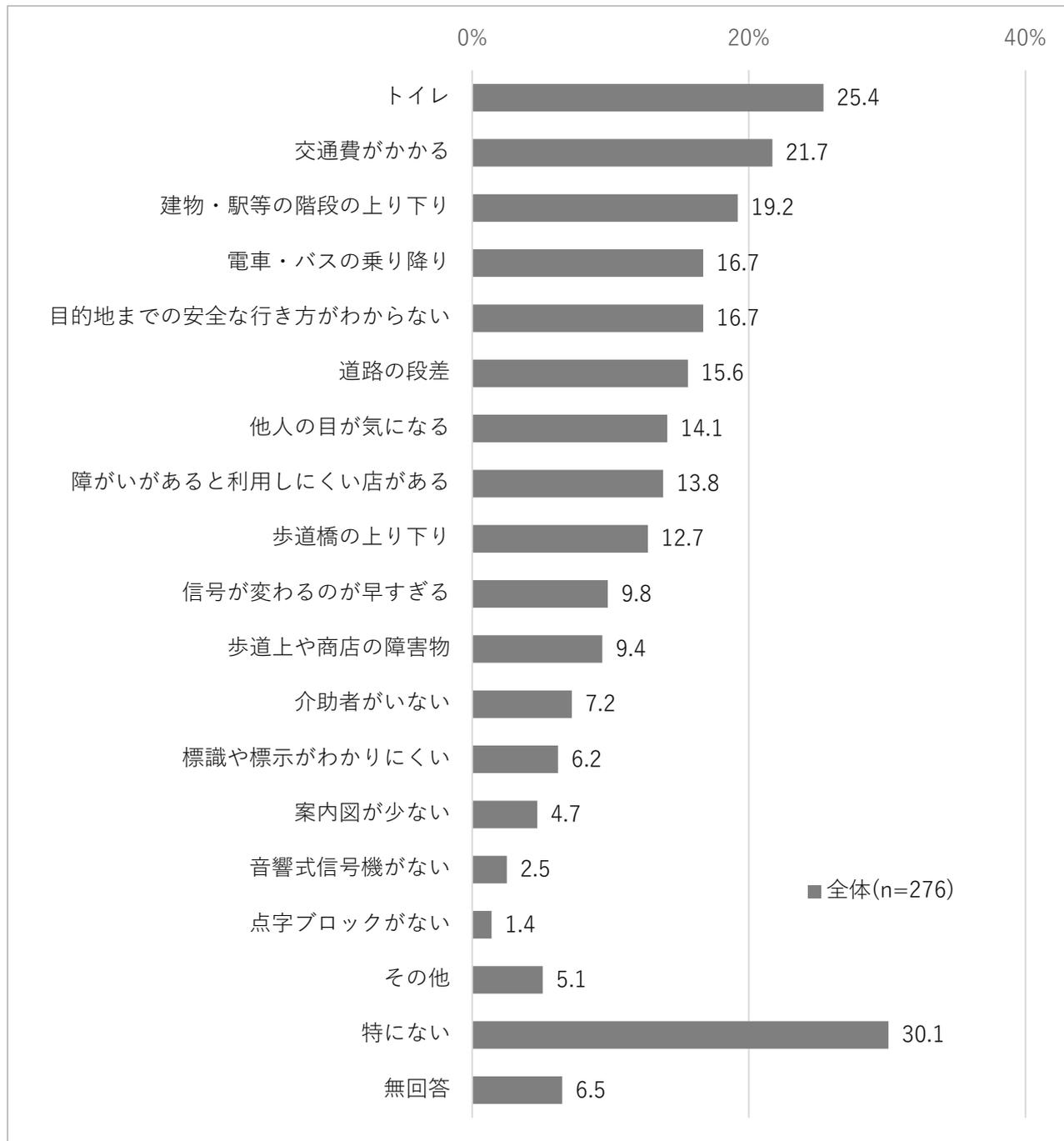


※令和元年度調査では、「80歳以上」の選択肢がなく「70歳以上」であったため、上記では「70歳代」として集計。

※令和元年度調査では、選択肢「わからない」があったため、上記では「わからない」(5.2%)と「無回答」(5.6%)を合わせて「無回答」として集計。

問28あなたが外出するときに、困ったり不便に思ったりするのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

外出するときに困ったり不便に思ったりすることは、「トイレ」が25.4%で最も多く、次いで、「交通費がかかる」が21.7%となっています。



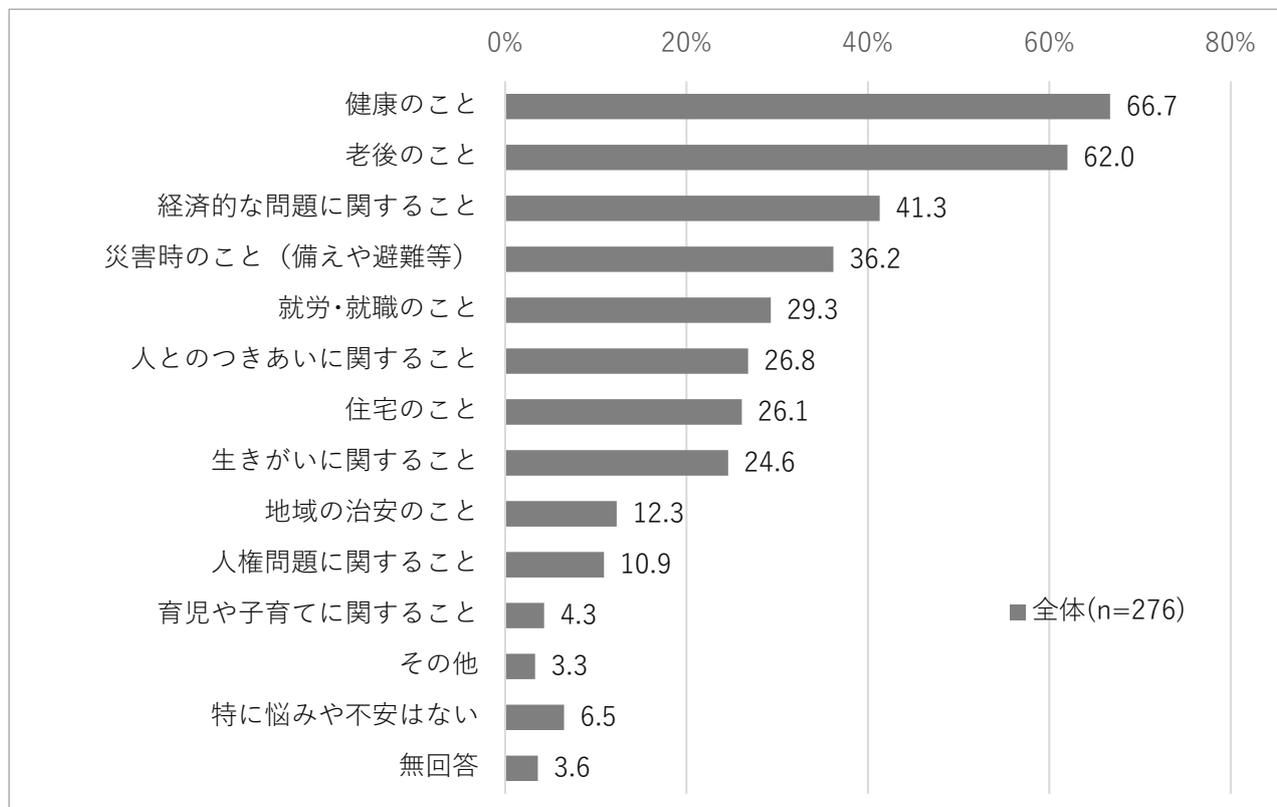
(単位：人、%)

区分	人数	建物・駅等の階段の上り下り	道路の段差	トイレ	電車・バスの乗り降り	歩道橋の上り下り	交通費がかかる	信号が変わるのが早すぎる	他人の目が気になる	歩道上や商店の障害物
全体	276	19.2	15.6	25.4	16.7	12.7	21.7	9.8	14.1	9.4
身体障害者手帳	65	35.4	38.5	41.5	30.8	24.6	18.5	21.5	4.6	27.7
愛の手帳	94	14.9	10.6	33.0	24.5	12.8	20.2	8.5	14.9	8.5
精神障害者手帳	73	23.3	12.3	16.4	9.6	12.3	37.0	11.0	23.3	5.5
自立支援医療	65	16.9	12.3	24.6	16.9	9.2	29.2	6.2	23.1	4.6
発達障がい	21	19.0	9.5	42.9	23.8	14.3	52.4	14.3	42.9	4.8
高次脳機能障がい	6	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3
難病	53	17.0	18.9	18.9	11.3	11.3	11.3	1.9	5.7	9.4

区分	目的地点までの安全な行き方がわからない	障がいがあると利用しにくい店がある	案内図が少ない	標識や標示がわかりにくい	介助者がいない	音響式信号機がない	点字ブロックがない	その他	特になし	無回答
全体	16.7	13.8	4.7	6.2	7.2	2.5	1.4	5.1	30.1	6.5
身体障害者手帳	18.5	24.6	7.7	10.8	18.5	7.7	6.2	4.6	21.5	4.6
愛の手帳	28.7	20.2	2.1	9.6	12.8	2.1	1.1	7.4	19.1	4.3
精神障害者手帳	15.1	6.8	11.0	2.7	2.7	1.4	0.0	1.4	30.1	9.6
自立支援医療	21.5	13.8	9.2	6.2	1.5	3.1	0.0	7.7	24.6	6.2
発達障がい	42.9	23.8	9.5	14.3	4.8	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0
高次脳機能障がい	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
難病	5.7	9.4	1.9	3.8	3.8	1.9	1.9	7.5	50.9	5.7

問 29 あなたやあなたのご家族は、日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることがありますか。（〇はいくつでも）

日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることが、「健康のこと」が 66.7%で最も多く、次いで、「老後のこと」が 62.0%となっています。

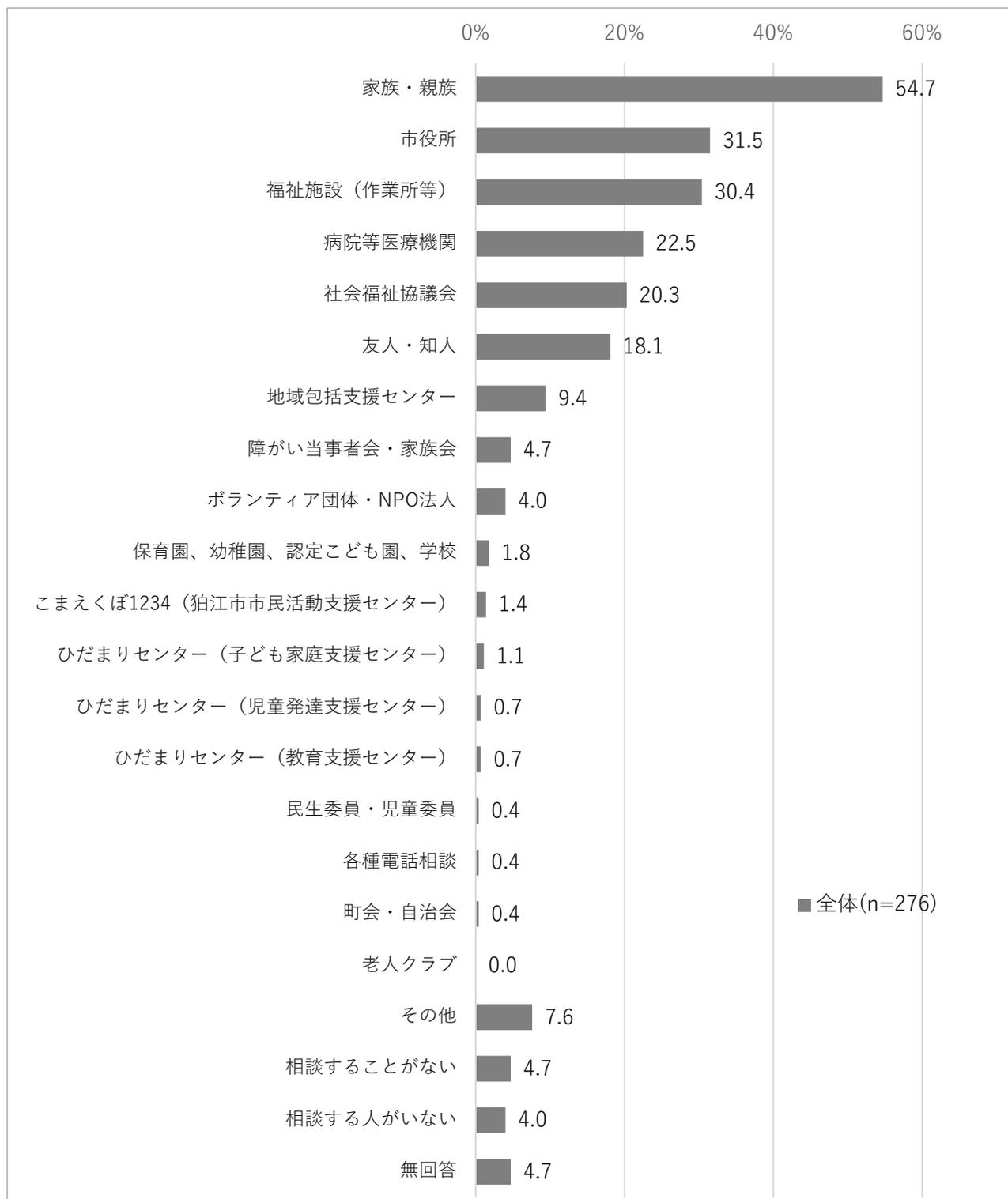


(単位：人、%)

区分	人数	健康のこと	就労・就職のこと	老後のこと	生きがいに関すること	育児や子育てに関すること	経済的な問題に関すること	人とのつきあいに関すること	住宅のこと	地域の治安のこと	災害時のこと(備えや避難等)	人権問題に関すること	その他	特に悩みや不安はない	無回答
全体	276	66.7	29.3	62.0	24.6	4.3	41.3	26.8	26.1	12.3	36.2	10.9	3.3	6.5	3.6
身体障害者手帳	65	69.2	20.0	61.5	24.6	1.5	30.8	12.3	23.1	6.2	47.7	9.2	4.6	6.2	6.2
愛の手帳	94	67.0	17.0	63.8	24.5	2.1	34.0	26.6	21.3	13.8	41.5	14.9	6.4	6.4	5.3
精神障害者手帳	73	63.0	52.1	69.9	38.4	1.4	58.9	41.1	37.0	13.7	37.0	12.3	0.0	2.7	1.4
自立支援医療	65	72.3	43.1	61.5	36.9	3.1	56.9	44.6	35.4	18.5	36.9	18.5	1.5	1.5	1.5
発達障がい	21	57.1	52.4	71.4	42.9	0.0	61.9	66.7	42.9	33.3	38.1	23.8	4.8	0.0	0.0
高次脳機能障がい	6	66.7	16.7	50.0	33.3	0.0	16.7	50.0	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
難病	53	71.7	26.4	54.7	18.9	13.2	47.2	20.8	30.2	17.0	35.8	7.5	3.8	13.2	1.9
ひきこもり該当	76	71.1	30.3	64.5	31.6	1.3	39.5	27.6	27.6	15.8	32.9	7.9	3.9	6.6	2.6
ひきこもり非該当	200	65.0	29.0	61.0	22.0	5.5	42.0	26.5	25.5	11.0	37.5	12.0	3.0	6.5	4.0
差別を感じる該当	98	73.5	37.8	70.4	36.7	3.1	54.1	37.8	36.7	17.3	44.9	18.4	4.1	0.0	1.0
差別を感じる非該当	178	62.9	24.7	57.3	18.0	5.1	34.3	20.8	20.2	9.6	31.5	6.7	2.8	10.1	5.1

問 30 生活での困りごとや、高齢者や障がいのある方のこと、子育てに関すること等、福祉に関する困りごとがあった場合、あなたは主にどこに相談しますか。(〇はいくつでも)

福祉に関する困りごとがあった場合の相談先については、「家族・親族」が 54.7%で最も多く、次いで、「市役所」が 31.5%となっています。



第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査
3 日常生活と困りごと

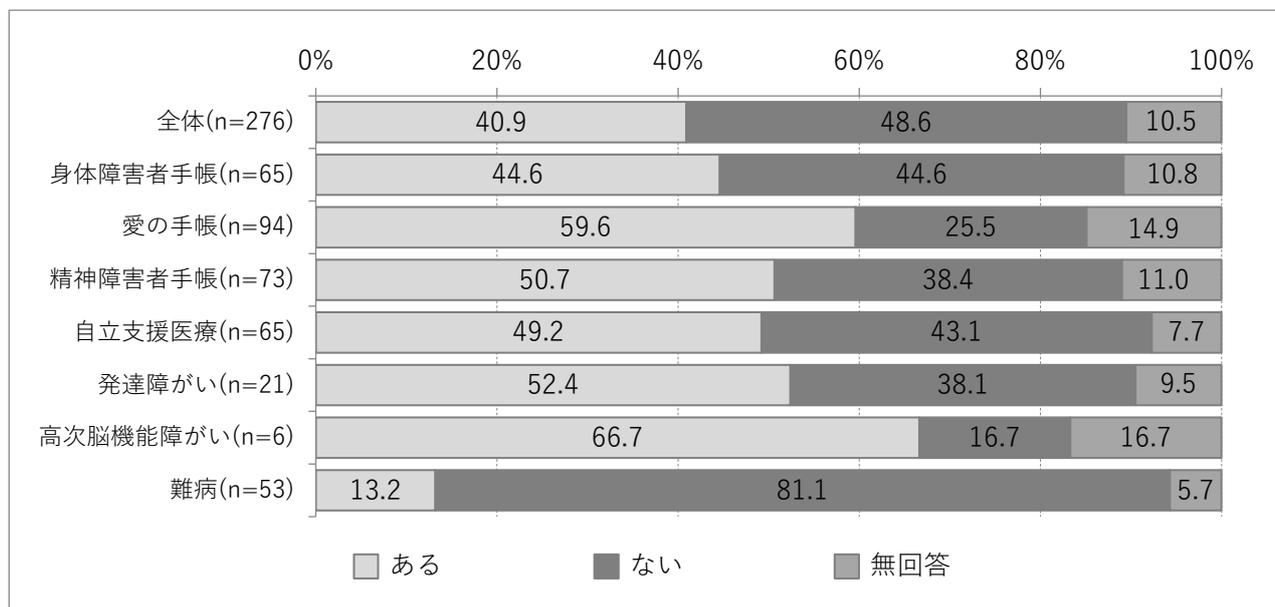
(単位：人、%)

区分	人数	家族・親族	友人・知人	学校 保育園、幼稚園、認定こども園、	病院等医療機関	ひだまりセンター（子ども家庭支援センター）	ひだまりセンター（児童発達支援センター）	ひだまりセンター（教育支援センター）	地域包括支援センター	障がい当事者会・家族会	社会福祉協議会	こまえくぼ1234（狛江市市民活動支援センター）
全体	276	54.7	18.1	1.8	22.5	1.1	0.7	0.7	9.4	4.7	20.3	1.4
身体障害者手帳	65	53.8	23.1	0.0	21.5	1.5	0.0	0.0	13.8	6.2	26.2	1.5
愛の手帳	94	50.0	13.8	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	5.3	8.5	23.4	2.1
精神障害者手帳	73	45.2	9.6	0.0	34.2	1.4	1.4	0.0	13.7	2.7	19.2	1.4
自立支援医療	65	58.5	20.0	1.5	33.8	1.5	3.1	1.5	7.7	6.2	24.6	3.1
発達障がい	21	66.7	14.3	9.5	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	9.5	28.6	4.8
高次脳機能障がい	6	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7
難病	53	66.0	28.3	5.7	18.9	3.8	0.0	1.9	11.3	3.8	7.5	0.0

区分	福祉施設（作業所等）	ボランティア団体・NPO法人	民生委員・児童委員	市役所	各種電話相談	町会・自治会	老人クラブ	その他	相談する人がいない	相談することがない	無回答
全体	30.4	4.0	0.4	31.5	0.4	0.4	0.0	7.6	4.0	4.7	4.7
身体障害者手帳	23.1	3.1	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	12.3	1.5	3.1	6.2
愛の手帳	57.4	4.3	1.1	28.7	0.0	1.1	0.0	12.8	3.2	3.2	4.3
精神障害者手帳	27.4	5.5	0.0	42.5	0.0	0.0	0.0	2.7	4.1	2.7	5.5
自立支援医療	35.4	4.6	0.0	41.5	0.0	1.5	0.0	6.2	3.1	1.5	3.1
発達障がい	28.6	4.8	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8
高次脳機能障がい	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
難病	7.5	0.0	0.0	34.0	1.9	0.0	0.0	11.3	5.7	11.3	3.8

問 31①あなたは相談支援事業所を利用したことがありますか。(○は1つ)

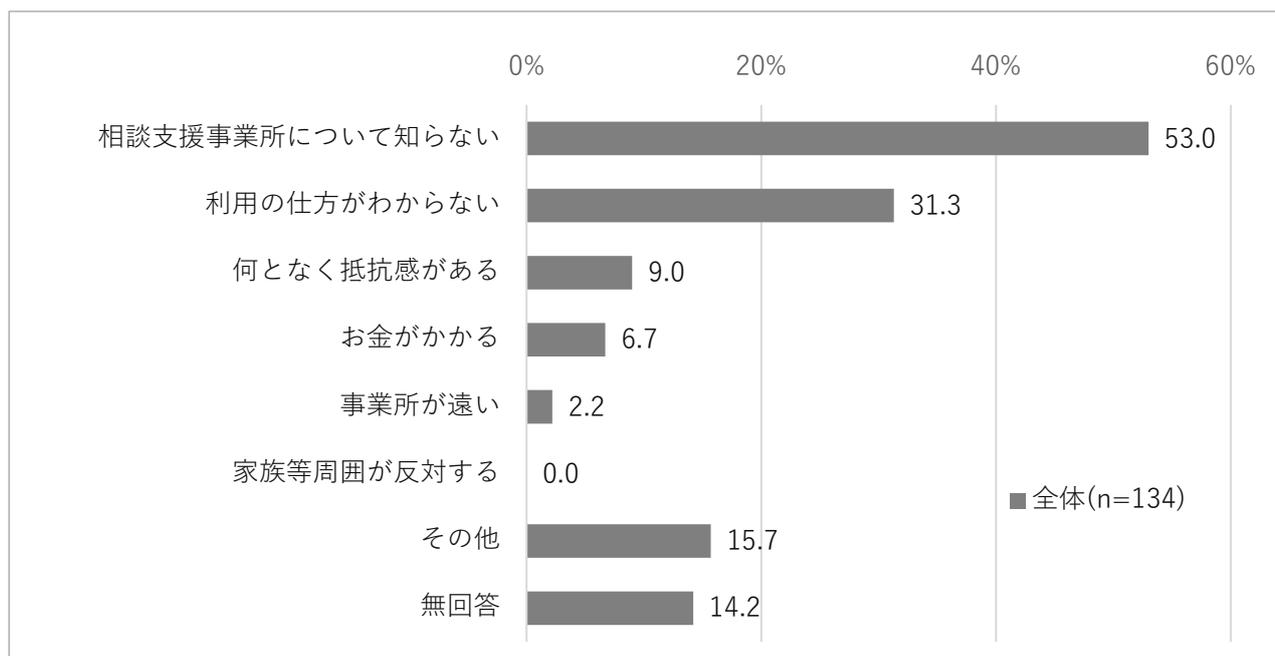
相談支援事業所の利用については、「ない」が48.6%で最も多く、次いで、「ある」が40.9%となっています。



問 31【①で「ない」と回答した方にお伺いします。】

②利用したことがない方はその理由は何ですか。(○はいくつでも)

利用したことがない理由については、「相談事業所について知らない」が53.0%で最も多く、次いで、「利用の仕方がわからない」が31.3%となっています。



第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査
 3 日常生活と困りごと

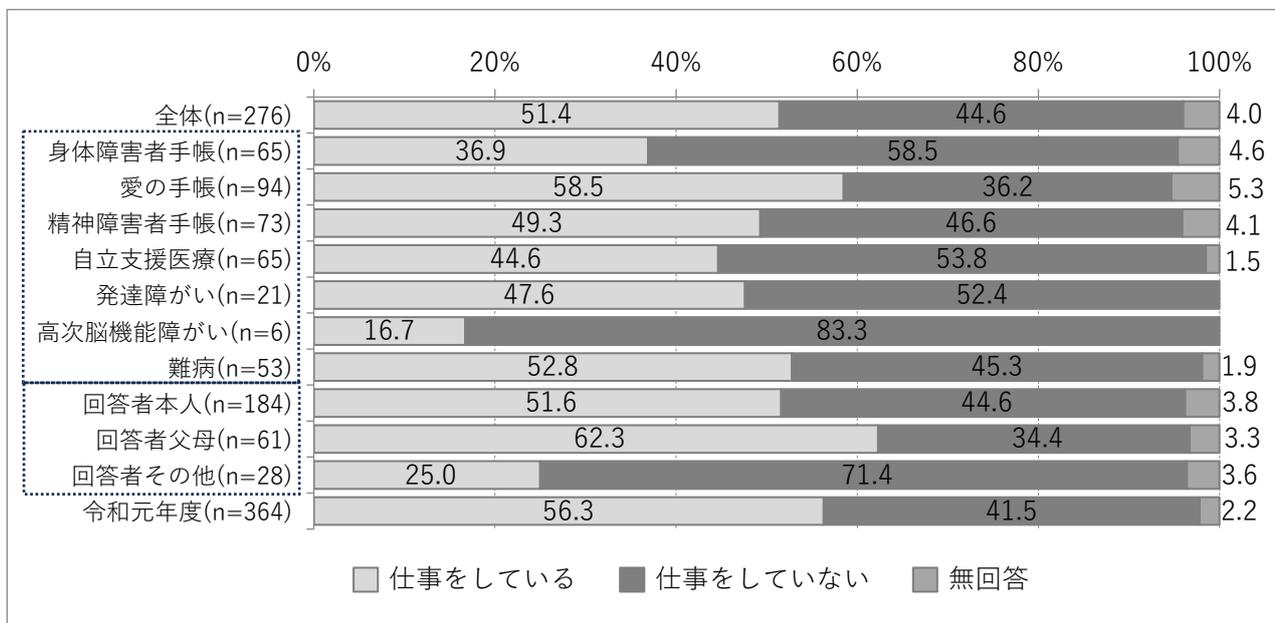
(単位：人、%)

区分	人数	相談支援事業所について知らない	利用の仕方がわからない	事業所が遠い	お金がかかる	何となく抵抗感がある	家族等周囲が反対する	その他	無回答
全体	134	53.0	31.3	2.2	6.7	9.0	0.0	15.7	14.2
身体障害者手帳	29	44.8	31.0	3.4	3.4	3.4	0.0	17.2	17.2
愛の手帳	24	37.5	25.0	4.2	12.5	8.3	0.0	12.5	29.2
精神障害者手帳	28	78.6	46.4	3.6	14.3	17.9	0.0	3.6	0.0
自立支援医療	28	71.4	42.9	3.6	17.9	14.3	0.0	7.1	3.6
発達障がい	8	62.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
高次脳機能障がい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
難病	43	46.5	25.6	0.0	0.0	9.3	0.0	25.6	14.0

4 就労等の状況

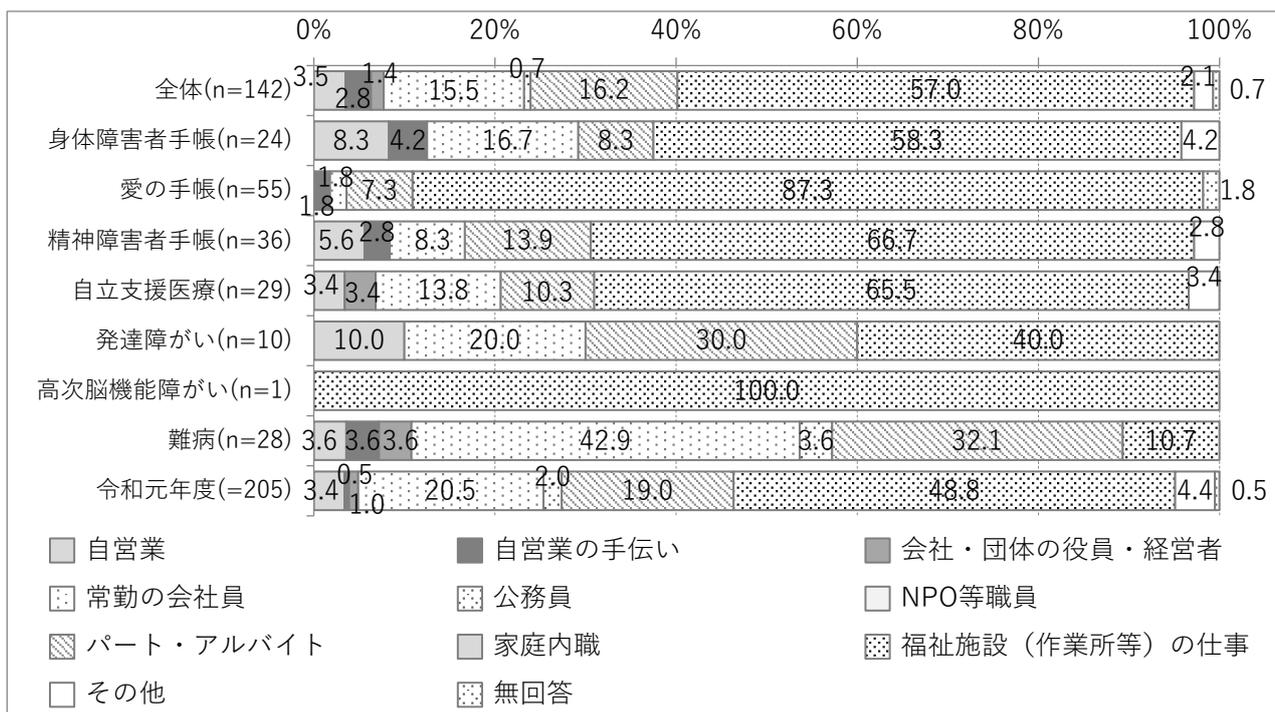
問 32 あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

給料や工賃を伴う仕事をしているかについては、「仕事をしている」が51.4%で最も多く、次いで、「仕事をしていない」が44.6%となっています。



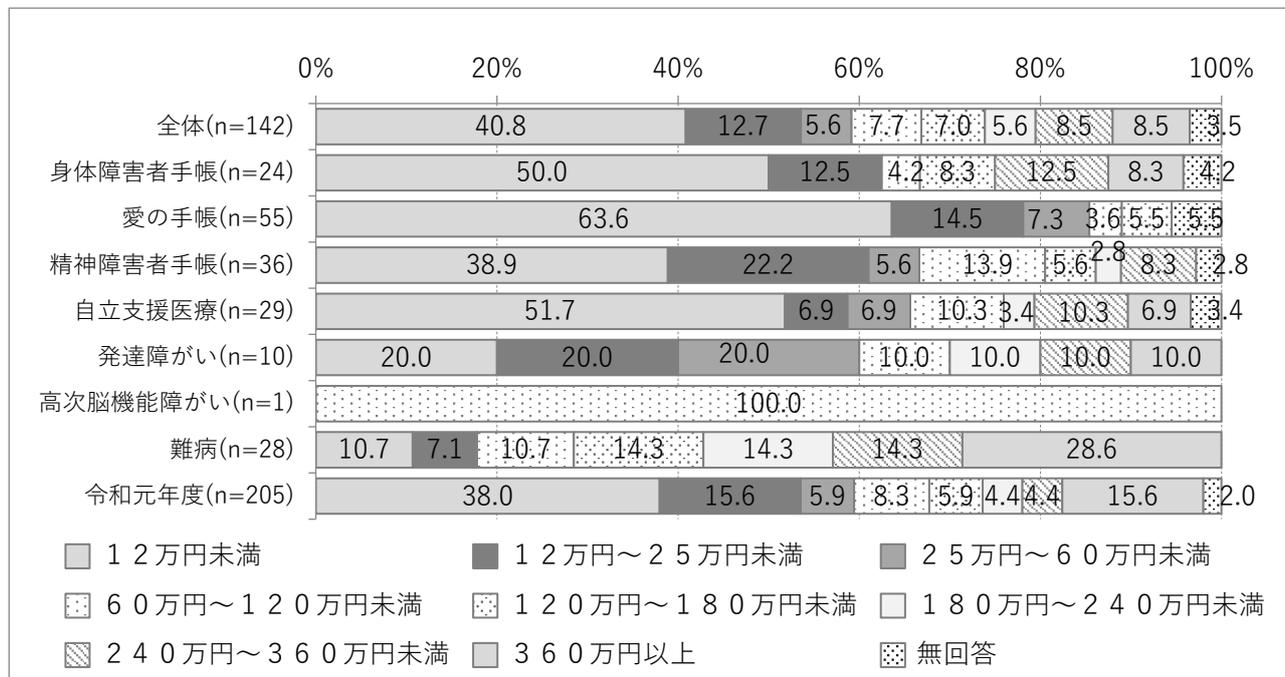
問 33 【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】どのような仕事をしていますか。(○は1つ)

仕事の内容は、「福祉施設（作業所等）」が57.0%で最も多く、次いで、「パート・アルバイト」が16.2%となっています。



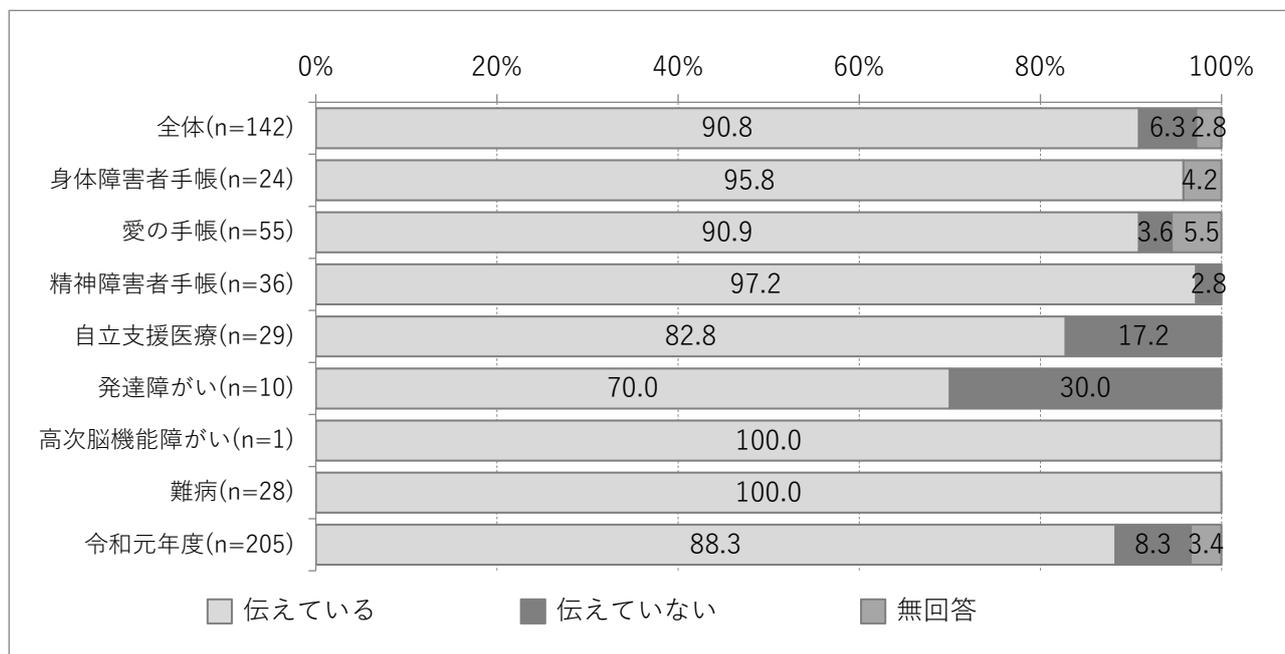
問 34【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】現在の仕事による年収はおよどのくらいですか。（○は1つ）

現在の仕事による年収は、「12万円未満」が40.8%で最も多く、次いで、「12万円～25万円未満」が12.7%となっています。



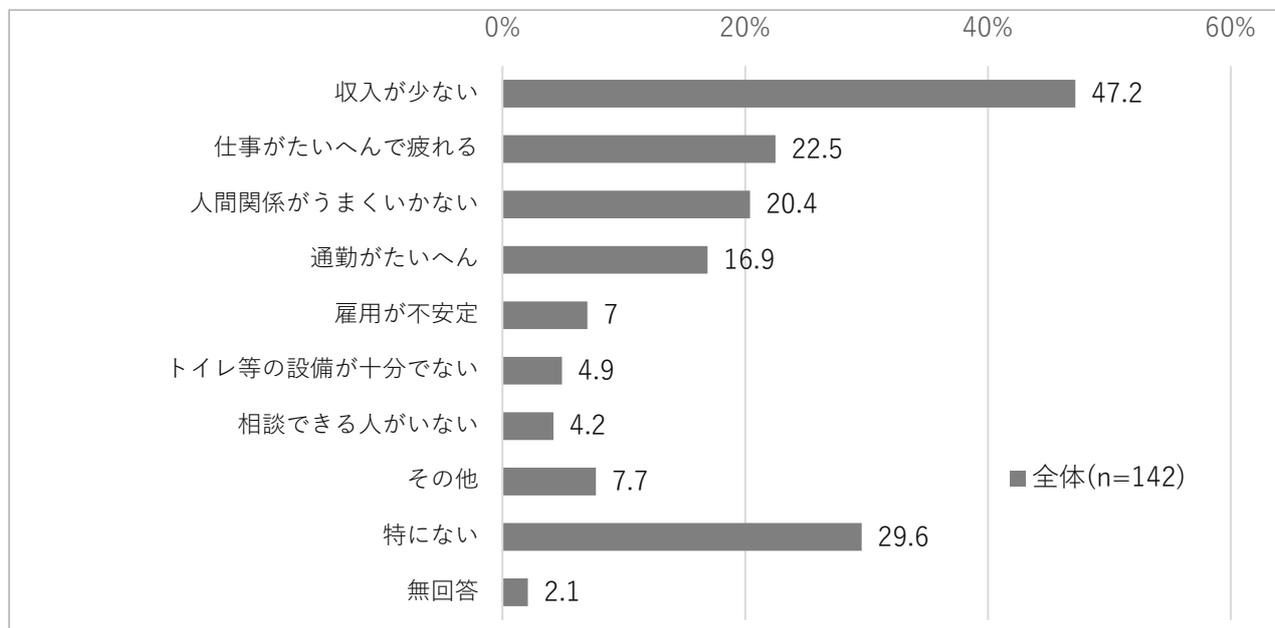
問 35【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】勤務先へ障がいや病気であることを伝えていきますか。（○は1つ）

勤務先へ障がいや病気であることを伝えているかは、「伝えている」が90.8%で最も多く、次いで、「伝えていない」が6.3%となっています。



問 36【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】仕事をする上での不安は何ですか。(〇はいくつでも)

仕事をする上での不安は、「収入が少ない」が 47.2%で最も多く、次いで、「仕事がたいへんで疲れる」が 22.5%となっています。

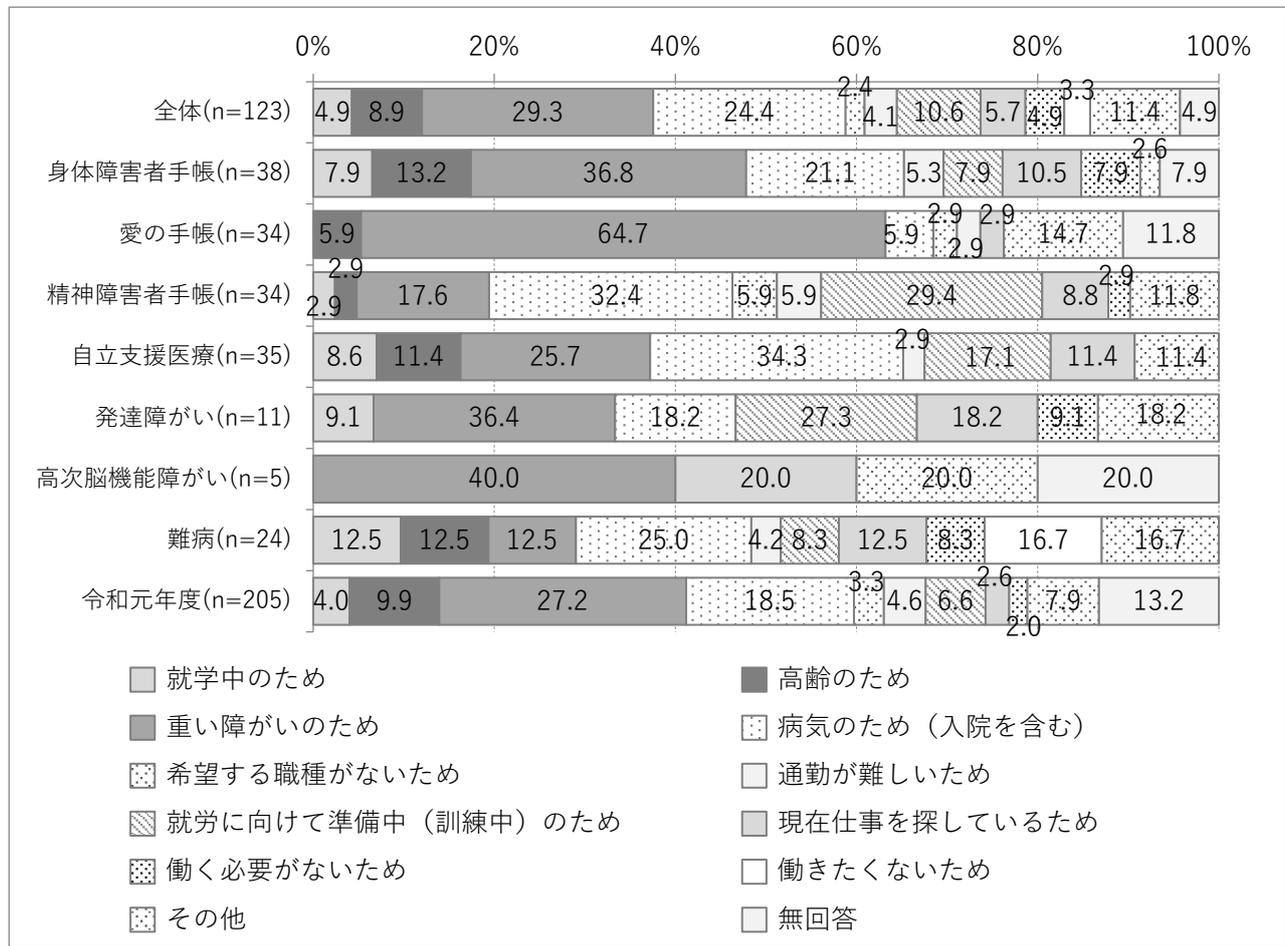


(単位：人、%)

区分	人数	収入が少ない	仕事がたいへんで疲れる	通勤がたいへん	人間関係がうまくいかない	相談できる人がいない	雇用が不安定	トイレ等の設備が十分でない	その他	特になし	無回答
全体	142	47.2	22.5	16.9	20.4	4.2	7.0	4.9	7.7	29.6	2.1
身体障害者手帳	24	50.0	4.2	25.0	12.5	4.2	8.3	16.7	8.3	37.5	0.0
愛の手帳	55	47.3	14.5	10.9	25.5	5.5	3.6	3.6	9.1	38.2	3.6
精神障害者手帳	36	55.6	30.6	13.9	27.8	5.6	13.9	5.6	2.8	22.2	2.8
自立支援医療	29	58.6	27.6	6.9	27.6	0.0	13.8	3.4	6.9	13.8	0.0
発達障がい	10	70.0	20.0	20.0	40.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0
高次脳機能障がい	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	28	32.1	42.9	25.0	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	28.6	0.0

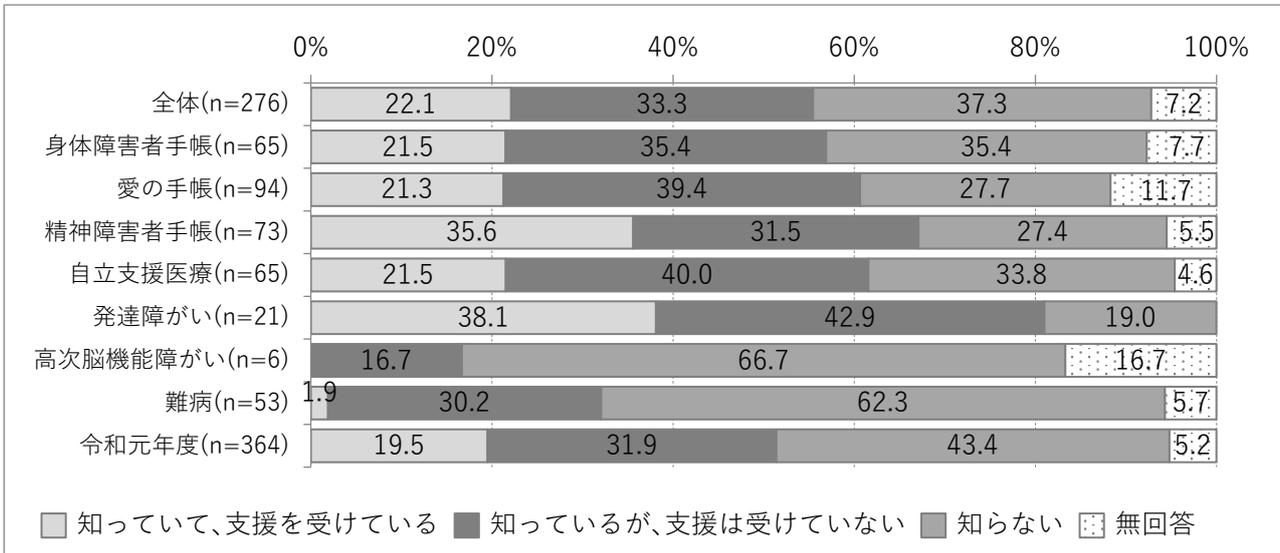
問 37【問 32 で「仕事をしていない」と回答した方へお伺いします】仕事をしていない主な理由は、次のうちどれですか。（〇は1つ）

仕事をしていない主な理由は、「重い障がいのため」が 29.3%で最も多く、次いで、「病気のため（入院を含む）」が 24.4%となっています。



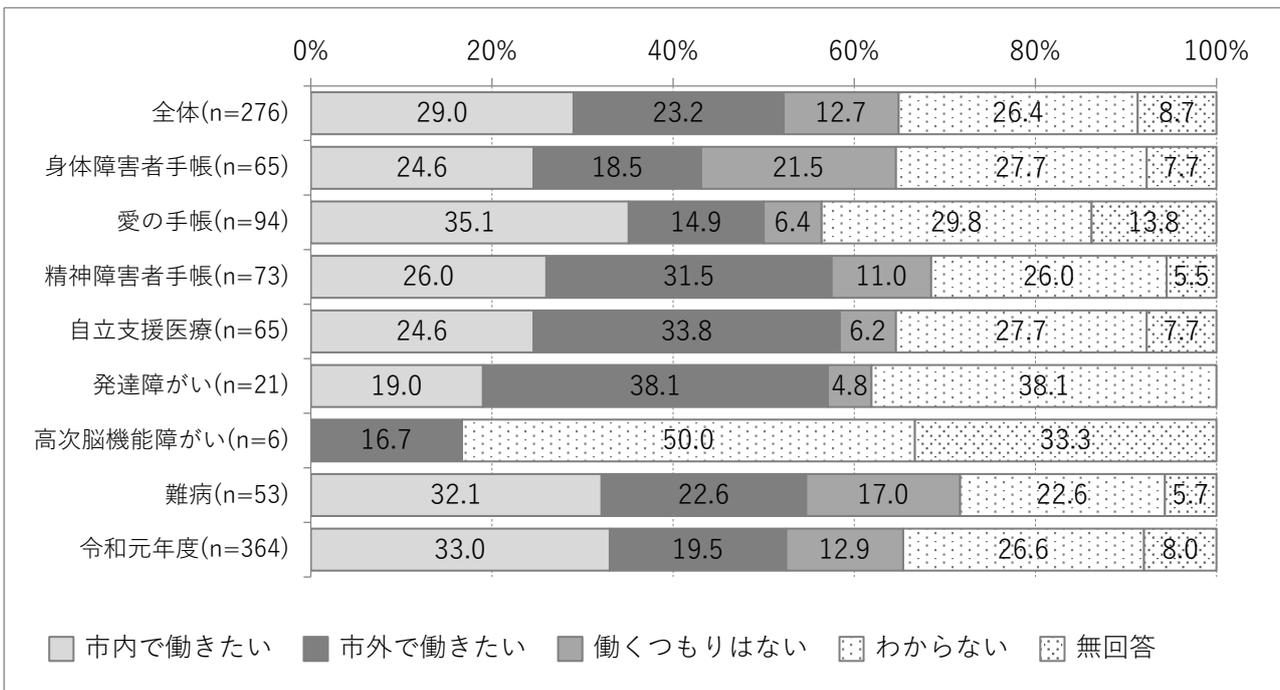
問 38 あなたは、障がい者の就労を支援する就労支援センター「サポート」を知っていますか。また、支援を受けていますか。(○は1つ)

障がい者の就労を支援する就労支援センター「サポート」の認知度および支援については、「知らない」が37.3%で最も多く、次いで、「知っているが、支援は受けていない」が33.3%となっています。



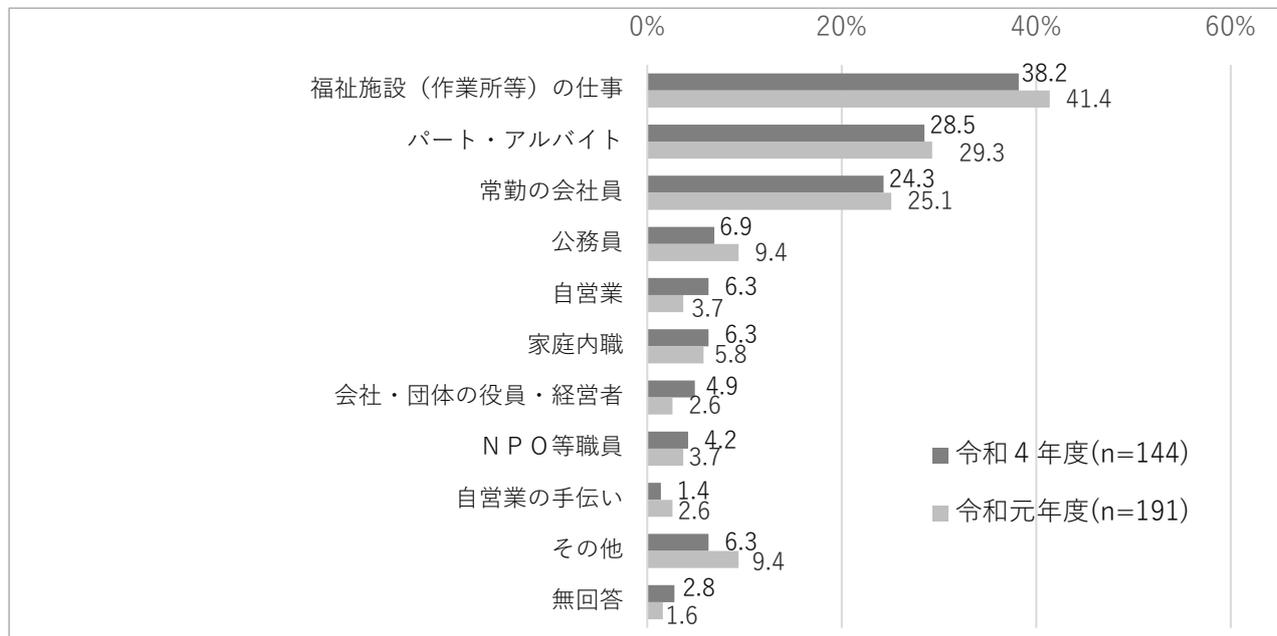
問 39 あなたは、今後どのように働きたいですか。(現在働いていて、これからも同じ仕事を続けたい場合も含まれます。(○は1つ)

今後の働き方については、「市内で働きたい」が29.0%で最も多く、次いで、「わからない」が26.4%となっています。



問40【問39で「市内で働きたい」又は「市外で働きたい」のいずれかを回答した方にお伺いします】働きたい仕事の種類は何ですか。（〇はいくつでも）

働きたい仕事の種類については、「福祉施設（作業所等）の仕事」が38.2%で最も多く、次いで、「パート・アルバイト」が28.5%となっています。

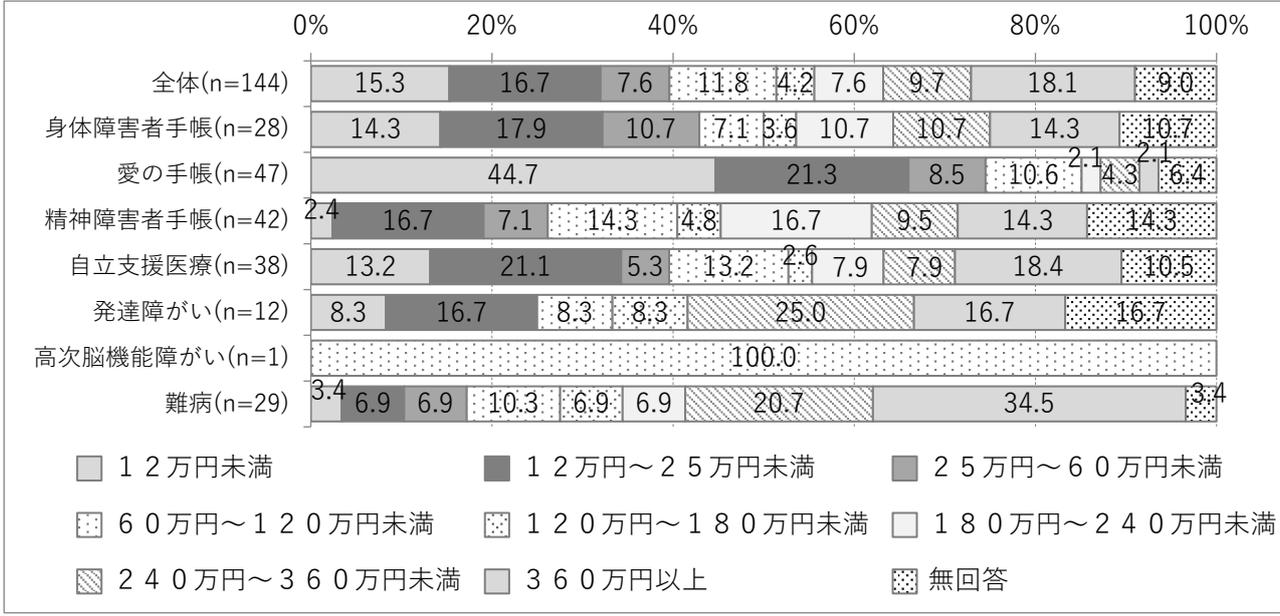


(単位：人、%)

区分	人数	自営業	自営業の手伝い	会社・団体の役員・経営者	常勤の会社員	公務員	NPO等職員	パート・アルバイト	家庭内職	福祉施設（作業所等）の仕事	その他	無回答
全体	144	6.3	1.4	4.9	24.3	6.9	4.2	28.5	6.3	38.2	6.3	2.8
身体障害者手帳	28	14.3	0.0	10.7	32.1	3.6	7.1	10.7	3.6	35.7	10.7	0.0
愛の手帳	47	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	12.8	2.1	80.9	4.3	0.0
精神障害者手帳	42	7.1	2.4	7.1	26.2	11.9	7.1	42.9	7.1	28.6	7.1	9.5
自立支援医療	38	0.0	0.0	2.6	18.4	5.3	7.9	34.2	10.5	42.1	10.5	5.3
発達障がい	12	0.0	0.0	0.0	50.0	8.3	8.3	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0
高次脳機能障がい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
難病	29	6.9	0.0	6.9	48.3	17.2	3.4	37.9	13.8	10.3	3.4	0.0
令和元年度	191	3.7	2.6	2.6	25.1	9.4	3.7	29.3	5.8	41.4	9.4	1.6

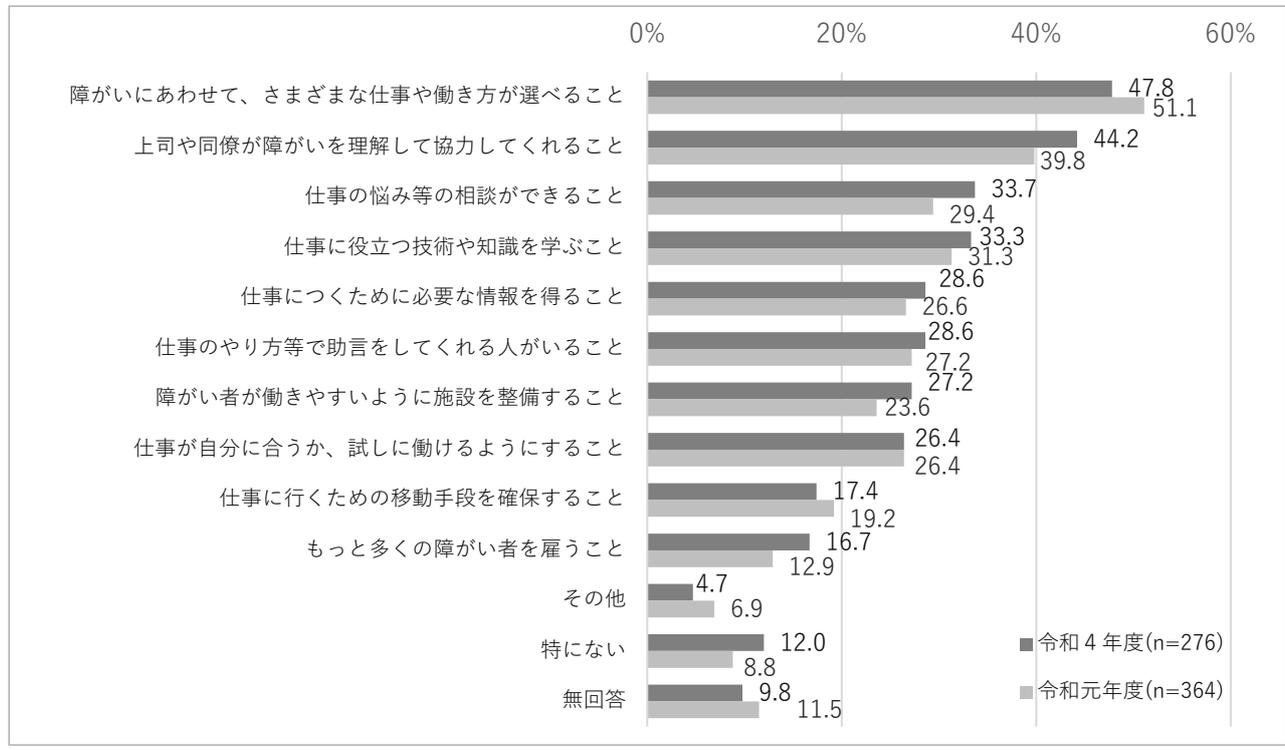
問 41【問 39 で「市内で働きたい」又は「市外で働きたい」のいずれかを回答した方にお伺いします】働きたい仕事の賃金は、次のうちいくら（年収）を希望しますか（○は1つ）

働きたい仕事の賃金は、「360 万円以上」が 18.1%で最も多く、次いで、「12 万円～25 万円未満」が 16.7%となっています。



問 42 あなたが仕事をする（続ける）ために、必要だと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

仕事をする（続ける）ために必要だと思うことは、「障がいにあわせて、さまざまな仕事や働き方が選べること」が47.8%で最も多く、次いで、「上司や同僚が障がいを理解して協力してくれること」が44.2%となっています。



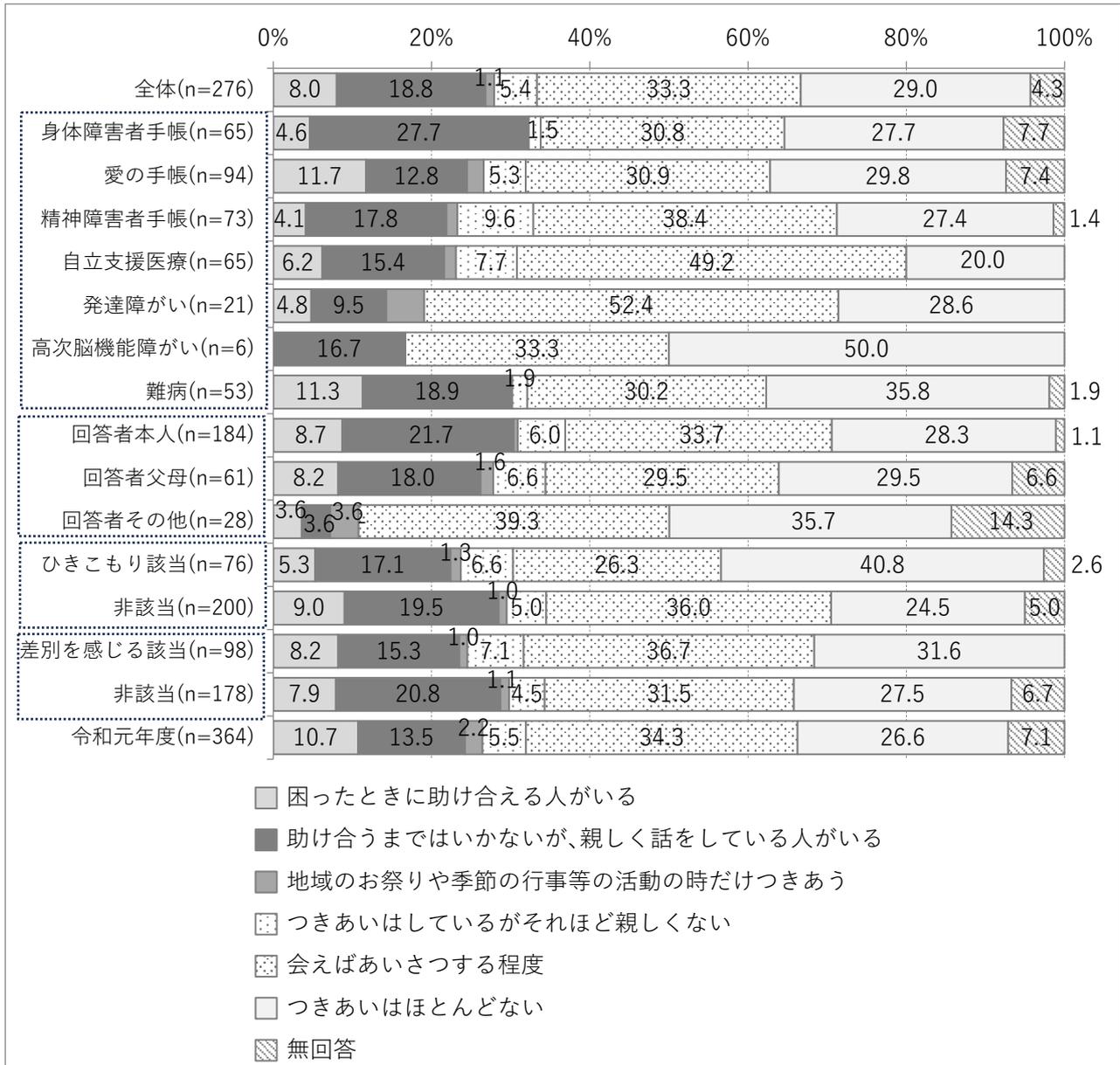
(単位：人、%)

区分	人数	仕事に役立つ技術や知識を学ぶこと	仕事につくために必要な情報を得ること	障がいにあわせて、さまざまな仕事や働き方が選べること	もっと多くの障がい者を雇うこと	障がい者が働きやすいように施設を整備すること	仕事に行くための移動手段を確保すること	仕事のやり方等で助言をしてくれる人がいること	仕事に自分に合うか、試しに働けるようにすること	上司や同僚が障がいを理解して協力してくれること	仕事の悩み等の相談ができること	その他	特にない	無回答
全体	276	33.3	28.6	47.8	16.7	27.2	17.4	28.6	26.4	44.2	33.7	4.7	12.0	9.8
身体障害者手帳	65	26.2	24.6	47.7	15.4	24.6	26.2	26.2	18.5	38.5	27.7	4.6	12.3	10.8
愛の手帳	94	17.0	14.9	57.4	17.0	41.5	20.2	29.8	21.3	36.2	28.7	4.3	9.6	11.7
精神障害者手帳	73	43.8	46.6	58.9	27.4	26.0	15.1	45.2	42.5	54.8	54.8	8.2	8.2	4.1
自立支援医療	65	40.0	38.5	58.5	21.5	33.8	13.8	41.5	43.1	47.7	49.2	4.6	6.2	7.7
発達障がい	21	33.3	38.1	57.1	28.6	42.9	23.8	42.9	52.4	61.9	52.4	9.5	4.8	0.0
高次脳機能障がい	6	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
難病	53	41.5	24.5	32.1	7.5	13.2	13.2	15.1	18.9	50.9	28.3	3.8	20.8	11.3
令和元年度	364	31.3	26.6	51.1	12.9	23.6	19.2	27.2	26.4	39.8	29.4	6.9	8.8	11.5

5 地域とのつながり

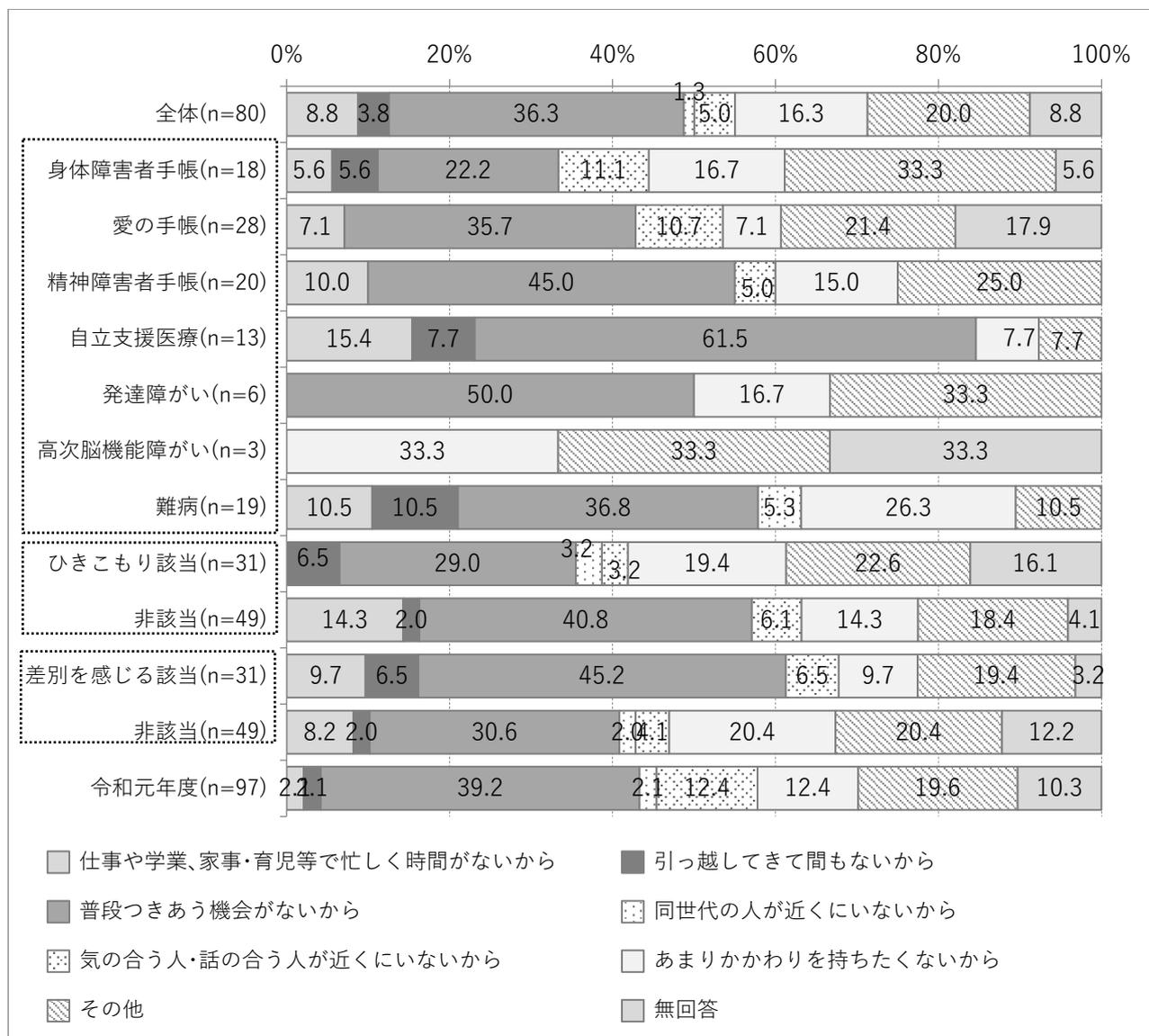
問 43 あなたは普段どの程度、ご近所づきあいをしていますか。(〇は1つ)

普段の近所づきあいは、「会えば挨拶する程度」が 33.3%で最も多く、次いで、「つきあいはほとんどない」が 29.0%となっています。



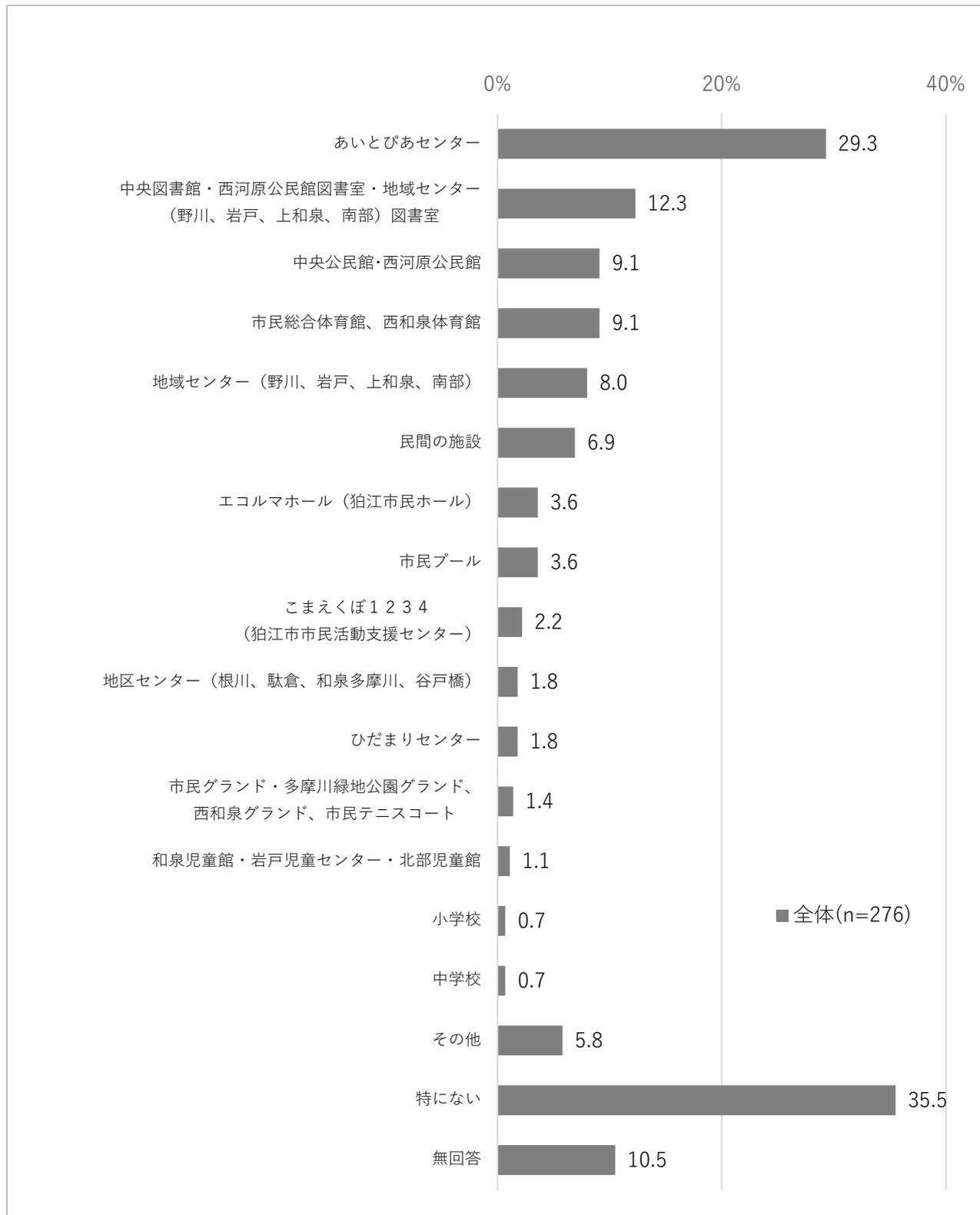
問 44 【問 43 で「つきあいはほとんどない」と回答した方にお伺いします】近所づきあいをしていない理由は何ですか。（〇は1つ）

近所づきあいをしていない理由は、「普段つきあう機会がないから」が36.3%で最も多く、次いで、「その他」が20.0%となっています。



問 45 あなたが利用している施設は、次のうちどこですか。(〇はいくつでも)

利用している施設は、「あいとぴあセンター」が 29.3%で最も多く、次いで、「中央図書館・西河原公民館図書室・地域センター（野川、岩戸、上和泉、南部）図書室」が 12.3%となっています。



第6章 障がいのある方・難病のある方（18歳以上）調査
5 地域とのつながり

(単位：人、%)

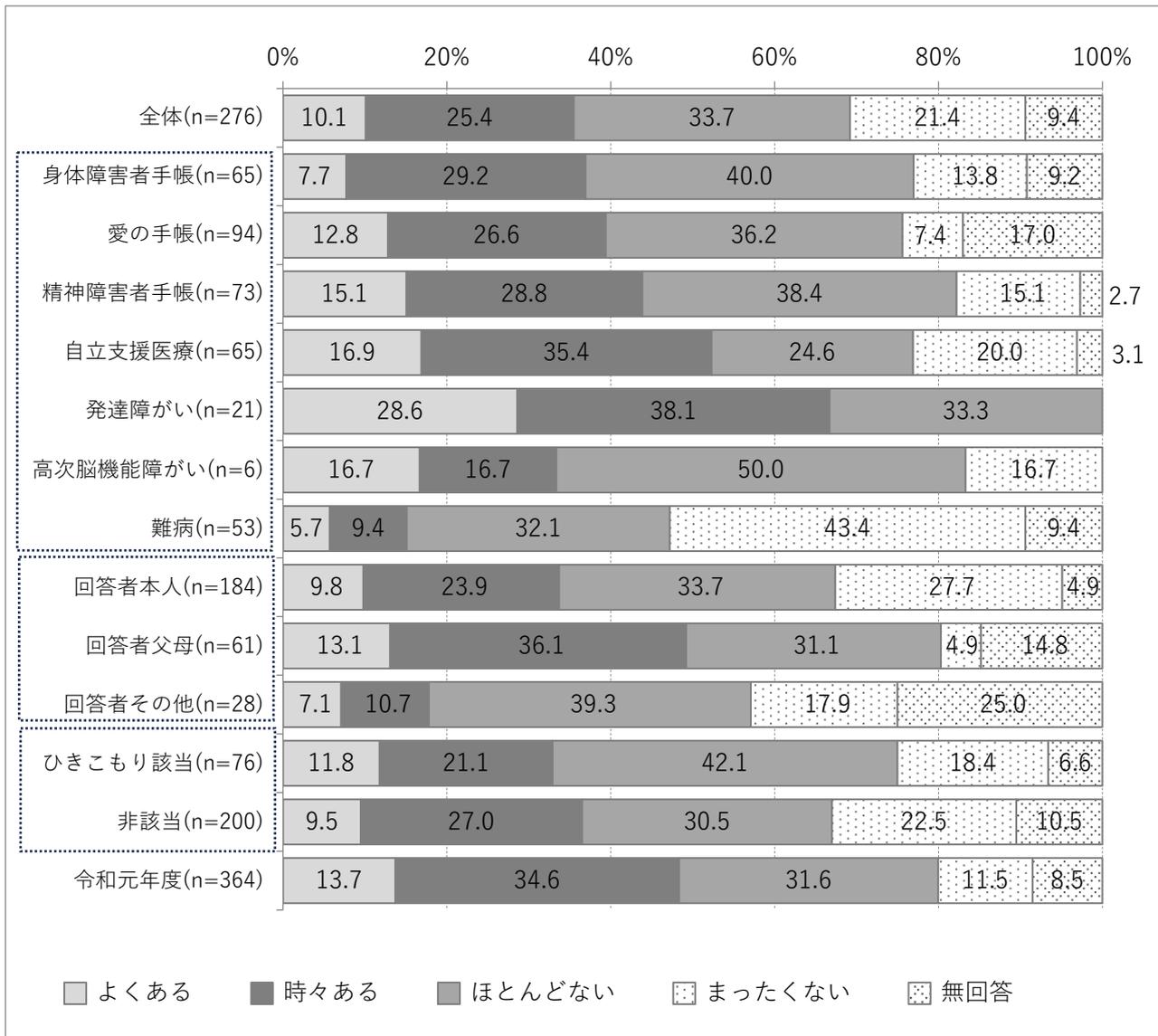
区分	人数	小学校	中学校	中央公民館・西河原公民館	地域センター（野川、岩戸、上和泉、南部）	地区センター（根川、駄倉、和泉多摩川、谷戸橋）	和泉児童館・岩戸児童センター・北部児童館	中央図書館・西河原公民館図書室・地域センター（野川、岩戸、上和泉、南部）図書室	こまえくぼ1234（狛江市市民活動支援センター）	あいとびあセンター
全体	276	0.7	0.7	9.1	8.0	1.8	1.1	12.3	2.2	29.3
身体障害者手帳	65	0.0	0.0	6.2	15.4	0.0	1.5	4.6	4.6	29.2
愛の手帳	94	0.0	1.1	9.6	10.6	2.1	0.0	5.3	2.1	41.5
精神障害者手帳	73	0.0	0.0	12.3	5.5	2.7	0.0	16.4	1.4	37.0
自立支援医療	65	0.0	1.5	12.3	10.8	1.5	0.0	16.9	4.6	35.4
発達障がい	21	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	14.3	0.0	38.1
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
難病	53	3.8	1.9	15.1	5.7	1.9	3.8	24.5	1.9	11.3

区分	ひだまりセンター	市民グラウンド・多摩川緑地公園グラウンド、西和泉グラウンド、市民テニスコート	市民総合体育館、西和泉体育館	エコルマホール（狛江市市民ホール）	民間の施設	市民プール	特になし	その他	無回答
全体	1.8	1.4	9.1	3.6	6.9	3.6	35.5	5.8	10.5
身体障害者手帳	1.5	0.0	10.8	1.5	4.6	3.1	32.3	0.0	16.9
愛の手帳	1.1	2.1	13.8	5.3	9.6	6.4	25.5	10.6	11.7
精神障害者手帳	1.4	0.0	4.1	2.7	8.2	4.1	37.0	6.8	5.5
自立支援医療	3.1	1.5	10.8	6.2	7.7	1.5	36.9	7.7	4.6
発達障がい	0.0	0.0	4.8	9.5	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0
高次脳機能障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7
難病	3.8	1.9	9.4	3.8	7.5	0.0	41.5	1.9	7.5

6 障がい者差別について

問46 あなたは障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがありますか。
(○は1つ)

障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあるかについては、「ほとんどない」が33.7%で最も多く、次いで、「時々ある」が25.4%となっています。



問 47 差別を感じたり嫌な思いをしたりしたのは、どのようなときですか。ご自由にお書きください。

市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（その他）：32件

- ・重度の高次脳機能障がいのため、公共の場で声を出す、走り出すなど場にそぐわない行動に冷たい対応や、追い出されたりしたことがある。
- ・障がい者だとわかると、相手の態度が変わる事。
- ・健常者の人と知りあっても障がいを持っていることを伝えると差別的発言があったり、嫌がらせを受けたこともある。又、難しい事が理解できない、記憶力が悪いと知られたことで、宗教に入団させられたり、借りてもないお金を貸したとお金を要求されることもあった。障がいやうつ病、てんかんなどがあったことで、人に嫌味を言われるなど。

教育・保育・労働における理解不足、不適切な接し方：12件

- ・障がいがあると言っただけで、仕事の面接でおとされる。
- ・現在、民間会社で障がい者雇用にて嘱託身分で就労中。正社員との身分の差について、障がい起因するのかなどの自己葛藤が時々ある。また、社内で腹を割って話をできる人はいないので、ストレスを感じる時がある。自分を含めて、誰しも他者の障がいについて少なからぬ差別感はあると思う。社内でも、啓発活動をすべきと思う。
- ・職場での相談などで自分の体調、精神的な不調、自分なりの対処を伝えても、健常者には附におちないようで「何故？どうして？」と言われること。精一杯やっているつもりでも向上を求められる。それは雇う側や相談を受ける側の満足のためなのか。

情報や文化面の壁：4件

- ・症状が悪化したときにヘルプマークを利用しています。見た目ではわからないため、電車やバス等では高齢の方に席を譲らなくてはならない状況になります。

市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（公共交通機関内等）：3件

- ・バスの運転手に、降りる時に車椅子なので車体をおろしてくれなくて落ちそうになった。「おりやがれ！」と言われた。
- ・バスに乗る時に、車椅子使用の為おもむろに運転手（乗客）に嫌な顔をされる。

医療・福祉施設での理解不足、不適切な接し方：3件

- ・整形外科へ通院した時、心の病だから心が治れば足の痛みも治るといわれ相手にしてもらえなかった。精神科以外の病院歯医者等へ行くと、既往歴を書くと、差別されるので既往歴をあまり書きたくない。
- ・病院の受診を断られる。じろじろ見られる。嫌な顔をされる。福祉施設の建設に対する住民の反対運動等。

市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（近隣住民等）：2件

- ・成人して何年も経ちますが、体が小さいのもあり、マンションの子ども達から差別的発言をされ

たり、その親もそのようなニュアンスの言葉を言われる事がよくあるので、少々辛いところです。個人レベルでの事なので、どうにかしてほしいと思ってもどうしようもない事に悲しさがあります。

- ・買い物にヘルパーさんと出かけた時、親と一緒にいったとき等、車椅子をじろじろ見たり指さしたりする子どもがいたりする。親の対応を望みたい。近所の方の中にも偏見がみえる為、エレベーターや通路でお会いしてもそっぽを向く人がいて、いやな思いを何度もした。

市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（家族等）：2件

- ・家族に病気のことでもバカにされる。できないことがあると、どなられたり、なぐられたりする。話がかみあわないと、理解してもらえない。
- ・自分自身に発達障がいがあるのですが、お父さんがあまり（ほとんど）認めたくないと思っているため、あまり理解してもらえていないです。

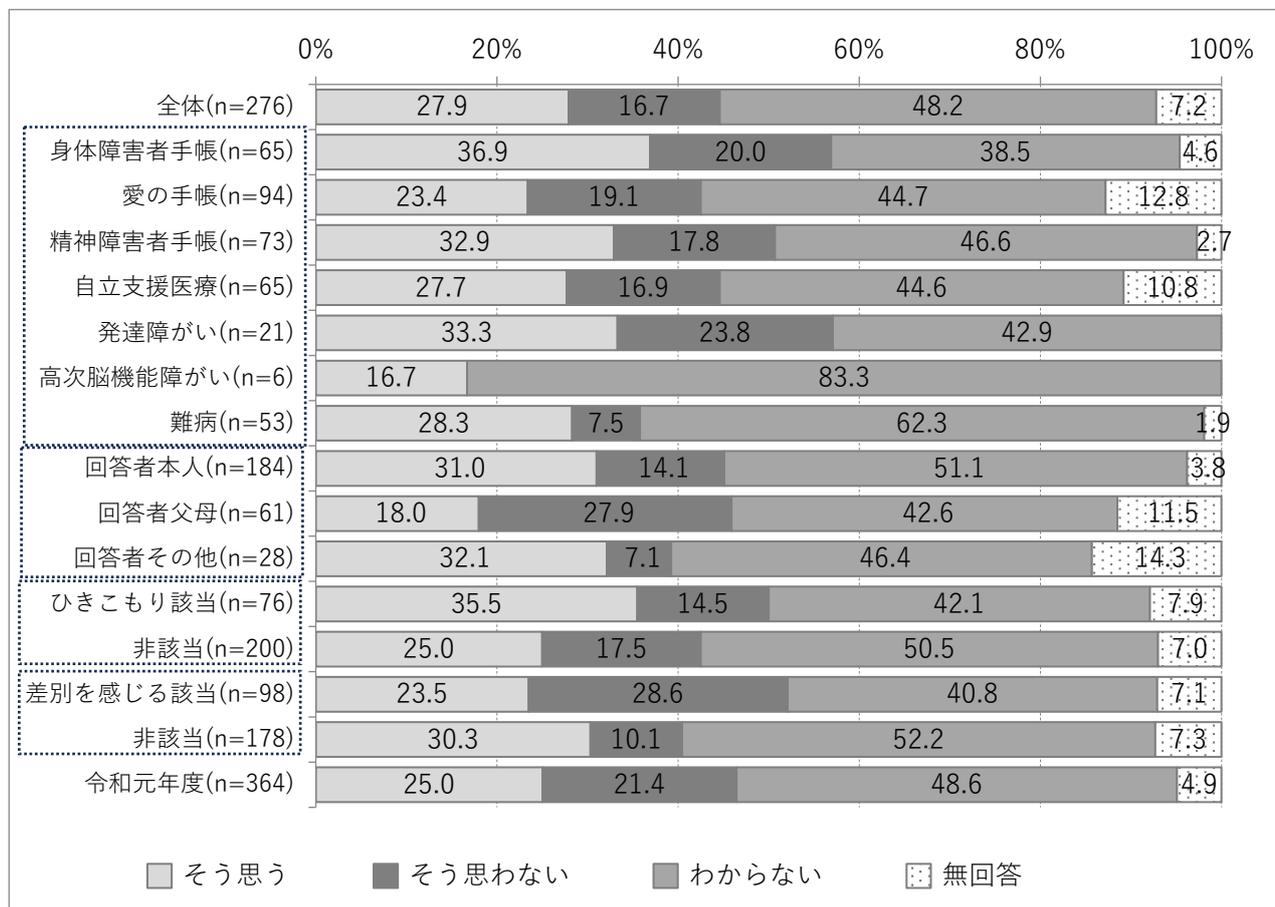
その他：8件

- ・市職員さんの言動。難聴者と重複（知的）難聴者の分け隔て。（FAX申請時）知的障がい者の地域生活移行について非難めいた事を言われた。
- ・勝手な思い込みかもしれないが生き辛い。
- ・自分の事を何ひとつできず、意思の疎通も難しいので、なぜ生きているのかとか、生かされているのか？の自問自答だと思います。
- ・障がい者の気持ちを考えずに作られた、このようなアンケートを目の当たりにした際。精神病の場合、自分の病状を見つめ直したり、過去の事を考えたり思い出したりするのが苦痛。お役所仕事で送って来たアンケートをどう使っていたただけるのか。市政に本当に役立ててもらえるか。

7 狛江市の障がい者福祉施策について

問 48 あなたは、狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思うかについては、「わからない」が48.2%で最も多く、次いで、「そう思う」が27.9%となっています。



問 49（「問 48 あなたは、狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。」）の回答の理由をご自由にお書きください。

<そう思う>

障がいへの理解等：20件

- ・時々バスに乗るのですが、ハートマークをつけているとほとんどの人が席を譲って下さる。狛江市に住む人達の意識がとても良いと感じています。
- ・私みたいな軽度な発達障がいの人でも、親身になって話を聞いてくださるからです。
- ・精神障がい者に対する援助で充実している。差別もあまり感じない。私はうつ症状でたまに家で大声を出す時があるが、周りも特に嫌がらず許容してくれている。

サービス・施設等の充実：20件

- ・サポートがかなり充実していて相談等もしやすいから。
- ・生活する上で何か困った時は相談できるから。
- ・福祉、施設が充実している。
- ・福祉が充実している。社協や、“カレーショップ メイ”、市役所の福祉相談課、ヘルパーさんなど、助けてもらって、ありがたいです。

立地・利便性等：9件

- ・道が広く車椅子に便利。静かで治安が良い。人混みが無い。
- ・駅の近くに病院や市役所があり、行きやすいため。市役所の方が親切なため。
- ・お店が多く便利。心地良く生活できる。

<そう思わない>

サービス等への不満：12件

- ・就労場所や作業所、生活介護施設の数少なく選べない。また、ヘルパーさんの数も少ない（特に重度障がいに対応できるヘルパーさん）。市内にあるいくつかの放課後デイサービスが閉鎖してしまっただが、それに代わる施設等がなく、市外の放課後デイサービスに行かなければならない。送迎があればよいが、ない場合、親の負担が大きい。またそもそも重度障がいがあり、他害がある子どもの受け入れ先がなく自宅に居ざるを得ない状態が続いている。

住まいや入所施設、利用施設等への不満：9件

- ・障がい者に対する施設や職員が他の市より少なく、工賃が安すぎるので将来が不安です。
- ・入所施設、グループホームが少ない、作業所の設備が充分ではない。
- ・重度障がい者が入れる施設をもう何年も前から作ってほしいと要望しているが、できない。親が高齢になり、いつまで介護できるか、毎日不安の中で生活している。入所希望（都）を出しても、いつ順番が来るかわからない。

不便：3件

- ・外出が困難な人にとっては、行ける施設や働ける所もなければ市からの支援もない。コロナにな

ってから往診してくれる病院がなかった。交通の便が良くない。駅前以外なにもない。

安全性への不安：2件

- ・駐車場のチェーン・ロープが危ない。以前、夜まっ暗な駐車場入口にチェーンがかけてあり、突っ込んで転んでしまった。防犯上の事もあるのだろうが、私のような視覚に障がいがある人や、高齢者で夜見えづらい人にも配慮した策を考えてほしい。視野が狭いので、足元が見えていない、段差の高低感が読み取りづらい。むやみやたらと低い車止めや、腰高の柵等、ぶつかりやすいものが多いと思う。又、目の高さにあっても危ない。それが視野に入らないとぶつかる為。
- ・町の段差が多い。信号を渡って歩道に車椅子で上がる時、歩道がデコボコして車椅子では走りにくい。

経済的支援・援助等の不足：2件

- ・全く合理的配慮を感じられないから。経済的支援、援助が得られないから。
- ・生活に対しての金銭補助が少なく、年をとることに不安になる。

その他：6件

- ・良くも悪くも狛江は小さいまちなので、人間関係が良くも悪くも密になり、知られたくないプライバシーも、知られ易いのがマイナスかと思います。
- ・まちで障がいのある人を見かけた事がない。障がい者のための設備みたいな物を見かけない。あるいは知らないため。
- ・障がいのある人に対しての偏見は相変わらずある。グループホームを一棟建てるにしても、反対する人が多い。他の市に比べて、閉鎖的な感じがする。

<わからない>

サービス等への不満：6件

- ・市役所で感じの悪い職員にあたってしまうとそう感じる。
- ・市役所の福祉課は、奥の狭い所にあつて窓もなく暗くて、生活で一番よく使う場所なのに、とても居心地が悪い。
- ・質問をした時に、いきなり大声で言われるのはびっくりする。メールや電話でどうすればいいのかも分からない。どう返信すればいいのかも分からないから、聞きに来たのにいきなり大声で怒られるように言われるのはびっくりした。どういう状況で来ているのかを聞いてから、アドバイスしてほしいと思います。

地域とのつながり：6件

- ・狛江は小さな町なので、作業所のスタッフの方々やグループホームの世話人さん他、さまざまな所でお世話になっている方々が狛江住民の場合、駅前等で会うことが多く、親子で歩いていても「〇〇さん！」と声をかけて下さり、又、母親の友だちがあちこちで見かけた娘の情報を聞かせてくれたり（「〇〇ちゃんあそこでこんなことしてたよ」など）と、グループホームでくらしているのに良くも悪くも親にさまざまなことがばれてしまいます。この様な方たちのあたたかい目のあるくらしは狛江という小さな町ならでは！なのではないかと思います。親目線から見ると制

度やさまざまな所に疑問を持つところはあるけれども、本人目線から見た粕江は、あたたかくて住みやすいまちなのではないかと思います。

- ・作業所に行く以外に市内で参加できる事がほとんど無い。スポーツが好きなので、近くで運動する場所がほしい。

住まいや入所施設、利用施設等への不満：5件

- ・今のところ困ってはいなくても、将来的に困ることが出てくると思う。親が面倒を見れなくなった場合の入所先や、ショートステイ、ヘルパー（居宅や移動支援など）を派遣できる事業所が少ない。障がい者の余暇活動などを行うところや、事業が成り立っていない。
- ・親も高齢になって近い将来面倒を見ることができなくなります。その時に、重度の障がい者も安心して入れるグループホームや施設が市内には少ないように思います。
- ・粕江市の利用したい施設に空きがなかったために、現在は、他市の施設を利用しているため、粕江市のことはよくわかりません。

就労等への不満：2件

- ・非常に行き届いているところ（“あいとぴあセンター”の職員の対応等）はあります。ただし、知的障がいの方が特別支援学校を卒業してからの就労先、作業先等は保護者が自分で探さねばならず、またその必要のある障がい者の数だけの作業所は不足しています。

その他：30件

- ・困り事に関しては市が相談に乗ってくれているので不安はありませんが、地域の人々が福祉についてどれだけ理解があるのかわかりません。特に障がい者に対する偏見はどここの地区にも有り、インクルーシブ社会の形成はまだまだ遠いものと考えます。
- ・粕江市は大好きな町だから、いろいろな人に住んでほしい。障がいのある人やそうじゃない人、沢山の人が粕江を知ってほしい。コミュニケーションのまち粕江になってほしい。
- ・自分は難病患者で障がい手帳は持っていないが、このようなアンケートを実施し、声を吸い上げて下さる事は今後も続けてほしい。どんな立場の人でも住みやすいまちづくりを志してほしい。

問 50 狛江市へのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

合理的配慮・移動手手段の充実・誰もが利用しやすいまちづくり：20件

- ・車椅子であちこち自由に行けるまち作りをお願いします。どうしても家にこもりがちなので、病気の話など気楽に話せる仲間がほしいです。たくさんの交流があると楽しそうです。
- ・自宅近くに気軽に立ち寄れる家（居場所）がほしい。
- ・少し長く歩くと苦しくなる事がよくあるので、あちこちに腰を掛けられるところがあるとありがたいのですが。
- ・視覚障がい者にとって、道路の危険が多いのが不安である。

生活の拠点：11件

- ・グループホームを沢山作ってほしい。
- ・ショートステイ、グループホームを一刻も早く作ってほしい。
- ・重度障がい者が入所できる施設を早急に作ってほしい（グループホームでは、医療的ケアができない）。

障がい福祉サービスの充実：11件

- ・障がい者の余暇活動を事業として取り組んでほしい。
- ・狛江市の行政サービスは多種多様であり、一方財源や人的資源には限りがあると思います。その中でどれを優先するかは大変難しい問題だと思います。狛江市で日々の暮らしを営む者として「生活や命に直結する」面を優先して頂きたいと思います。重度の障がいを持つ者（保護者を含む）として福祉作業所、入所施設、グループホーム等の充実を是非お願い申し上げます。

経済難・生活困窮・補助：11件

- ・政府や東京都は子育て支援に傾注しているようだが、物価高の折、障がい者にも子育て支援以上に支援をしてもらいたい。
- ・知的障がいの子どものために住宅改修をしたが、身体（障がい）の改修費には助成金が出るのに、知的（障がい）では出ないとのことだった。穴のあいた壁や、倒れそうな壊された押し入れの扉を直し、部屋にクールダウンスペースを作ったりしたところ、何十万とかかったが、全部自費だった。長く一緒に生活するための改修工事なのに助成されないというのは、おかしいのではないかと思う。
- ・障害年金をもらっている人は、生活保護の人との金額差がはげしい。

相談体制・情報発信・窓口の利用のしやすさ：10件

- ・市役所の窓口の方がいつも親身になっていろいろな疑問や不安に関して答えてくださるので、とても有難く感謝しております。
- ・広報やHP、SNS等での発信が増えているので、得たい情報へのアクセスがしやすくなったと感じている。今後も、もっとさまざまな人が早く支援につながるができるようにしてほしい。
- ・もう少し悩み相談ができる日を増やしてほしいです。

地域でともに暮らす：6件

- ・わかりやすい障がい、わかりにくい障がい、助けたくなる障がい者、関わりたくないタイプの障がい者、関わる方もテクニックがいるので、大変なことだと思います。「ともに」というのが難しいですね。
- ・障がい者と地域の交流を促して行ってほしいです。また、幼い頃から、障がいを持った子どもと接する機会を多く作ってほしいですが、カリキュラムを組んだりするのではなく、当たり前のように、一緒に健常児も障がい児も成長していく市になることを願います。

親亡き後：4件

- ・親なき後、どうやって生きていくのか…とにかくこれが心配。
- ・今、娘はとっても幸せな状態だと思います。本人はこの幸せがずっと続くと思っているでしょう。が、親はいずれいなくなりますし、本人も歳をとり、働けなくなれば収入もなくなります。グループホームも永遠ではないとすれば…本人によりそい、一緒に考え、アドバイスをくれる人が必要になるでしょう。それは困ってからではなく、困った時に安心して相談できるように、時間をかけて本人とつながって行けるような、どこか？誰か？そんな場所があってほしいと思います。

就労に関する支援：2件

- ・在宅で働ける仕事を増やしてほしい。
- ・ストアなどで商品を並べる仕事など体験させてほしいと思うが、障がいを持った者の雇用がないと思うので残念に思う。簡単にできる仕事で理解のある方々がいるような受け入れてくれる企業がたくさんあればありがたいが、働く場所と障がいを持った人をつないでくれるサポートしてくれる部署があるとありがたい。障がいをもっていても、一人ひとりの特性を生かして働ける場所があれば生きがいを持って生きていけると思う。

その他：13件

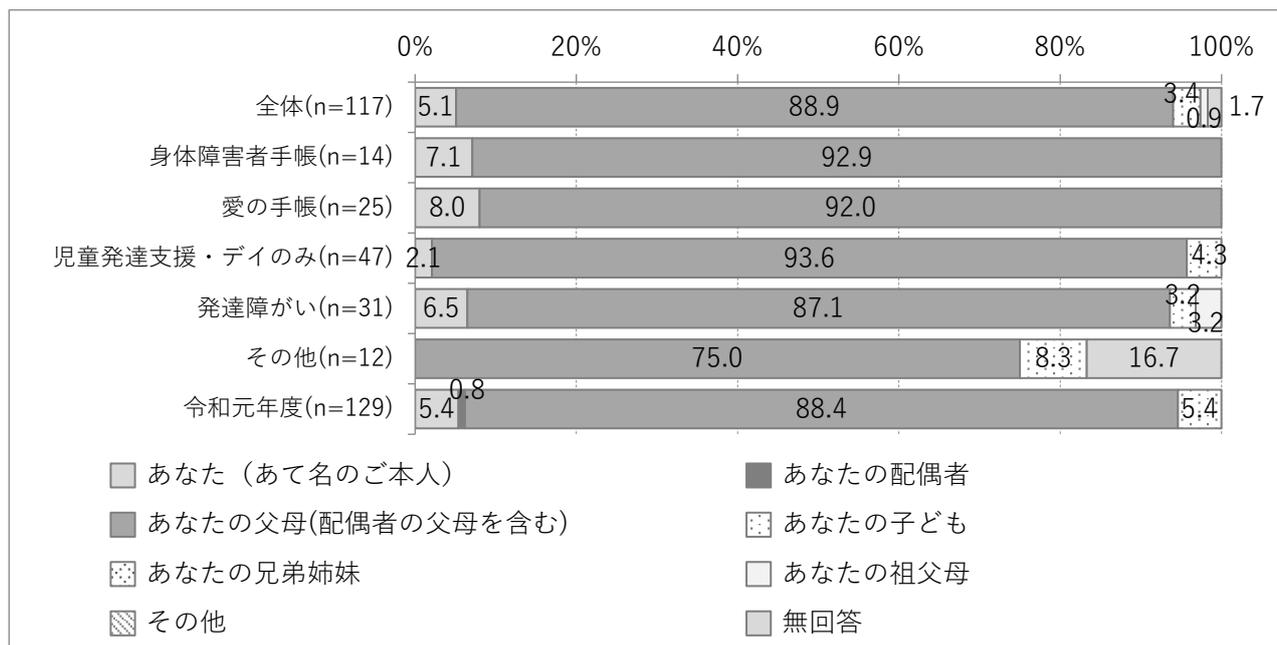
- ・小学生の頃からの教育が大切。障がいのある人への思いやり、助け合える心、障がいを抱え不自由ながらも、精一杯生きていることを小学生の頃から理解させる。学級を分けないで触れ合って、自然な生活の中で、自然に理解できるように担任の力量も大切。
- ・家族から殴られた時、泊めてくれる場所がほしい。一度、市役所に助けてほしいと言ったら、名前や住所、全て書かないと何もできないと言われてあきらめたことがあります。匿名で一晩だけでもいいから保護してくれる所があると、とてもうれしい。
- ・障がい者ばかりでなく、未来のある子どものために役立ててほしい。障がい者はある意味優遇されているはず。障がい者と子ども、共存しながら明るい狛江市を目指して下さい。
- ・いつも狛江市民のことを考え、市民が暮らしやすいまちを提供して下さり、ありがとうございます。
- ・市民が傷つかない、ポジティブな社会であれば問題ないと思います。
- ・特にありません。市役所の対応が丁寧で有難いです。

第7章 周囲の理解と支援の必要な方・障がいのある方等 (18歳未満) 調査

1 本人、家族について（基本事項）

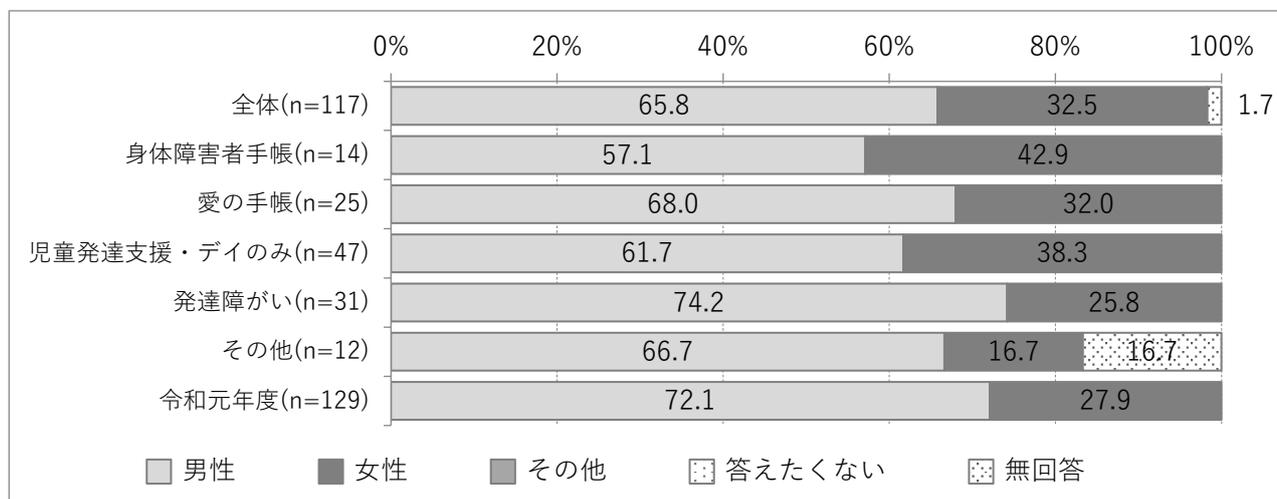
問1 この調査に回答される方はどなたですか。(○は1つ)

調査の回答者は、「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が88.9%で最も多く、次いで、「あなた（あて名のご本人）」が5.1%となっています。



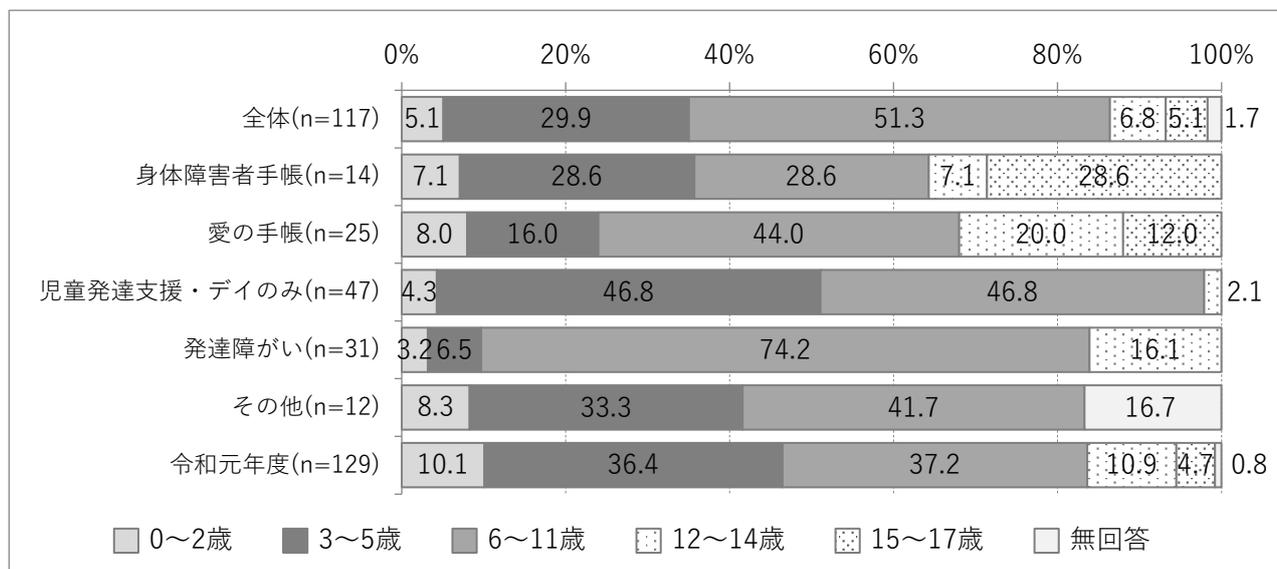
問2 あなた（あて名のご本人）の性別を選択・ご記入ください。(○は1つ)

性別は、「男性」が65.8%で最も多く、次いで、「女性」が32.5%となっています。



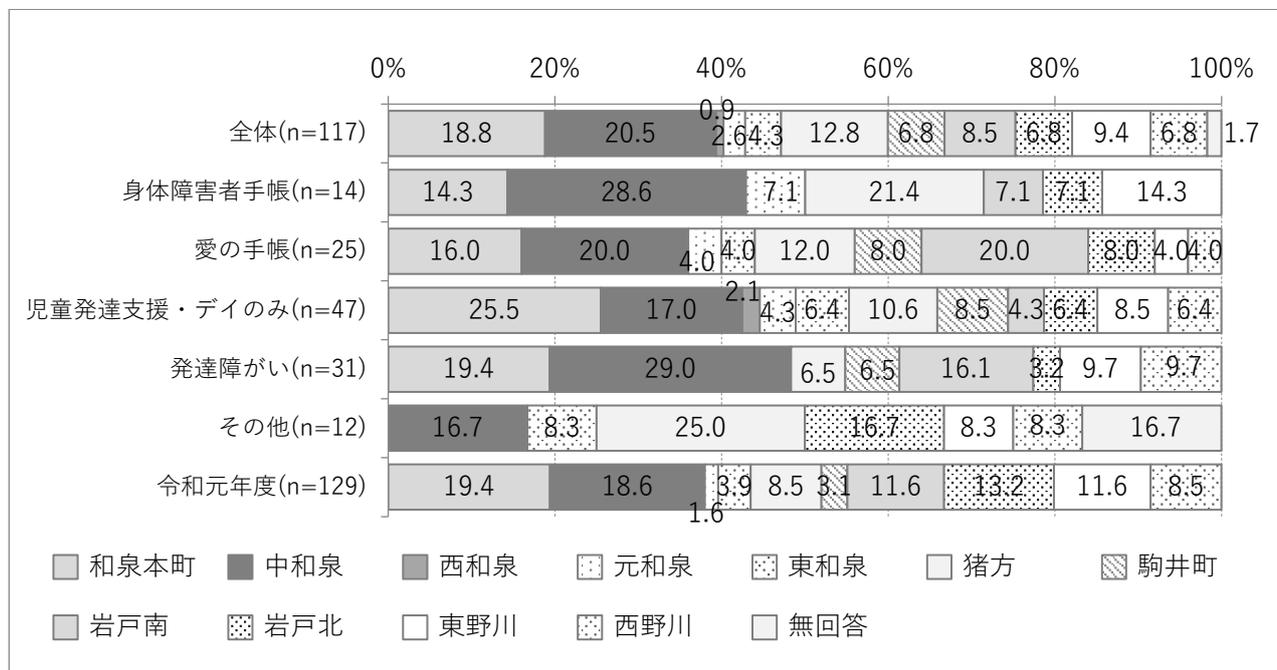
問3 令和4年12月1日現在のあなた(あて名のご本人)の年齢をお伺いします。(〇は1つ)

年齢は、「6～11歳」が51.3%で最も多く、次いで、「3～5歳」が29.9%となっています。



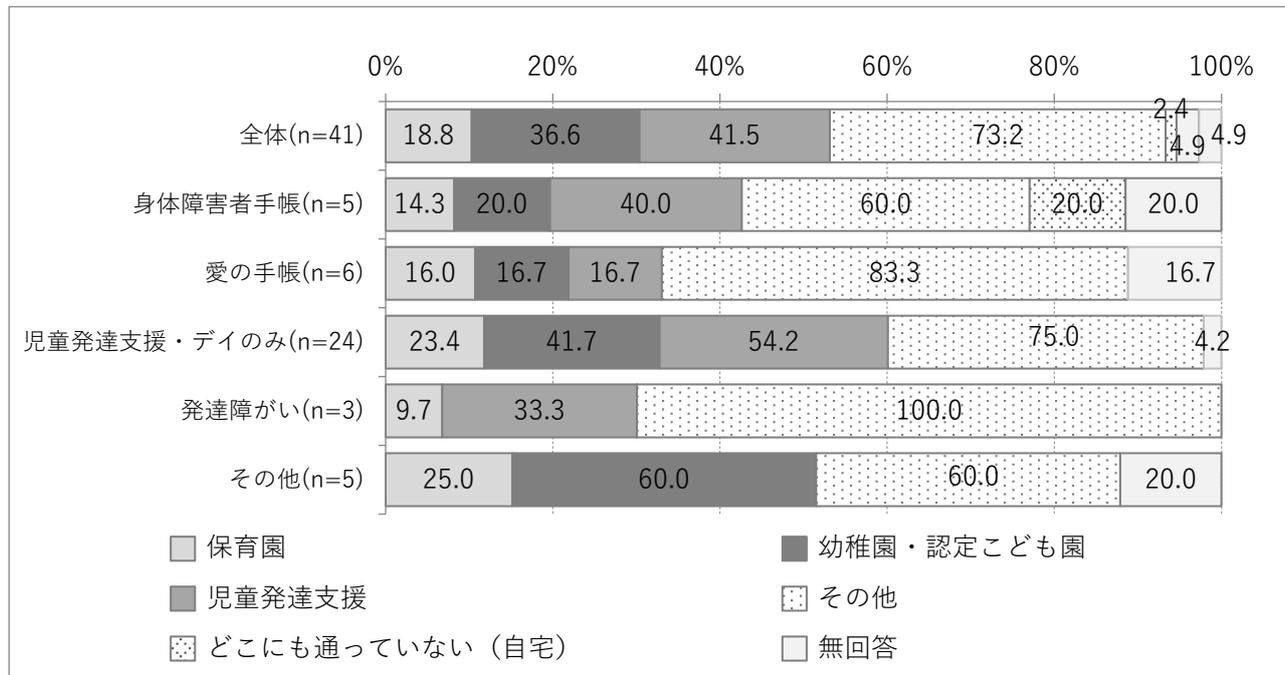
問4 お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

居住地域は、「中和泉」が20.5%で最も多く、次いで、「和泉本町」が18.8%となっています。



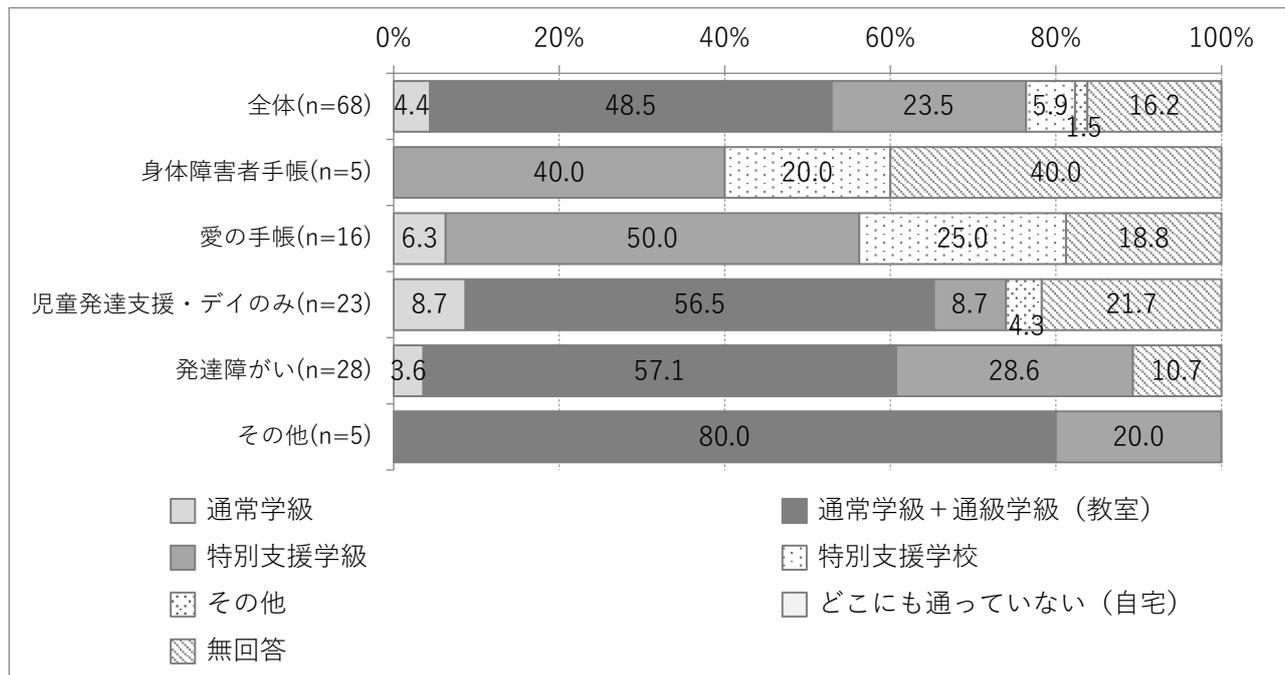
問5 あなたが通っているところがありますか。
 (1) 就学前の場合（あてはまるものすべてに○）

就学前の方が通っているところは、「どこにも通っていない（自宅）」が73.2%で最も多く、次いで、「児童発達支援」が41.5%となっています。



問5 あなたが通っているところがありますか。
 (2) 小学校・中学校の場合（1つに○）

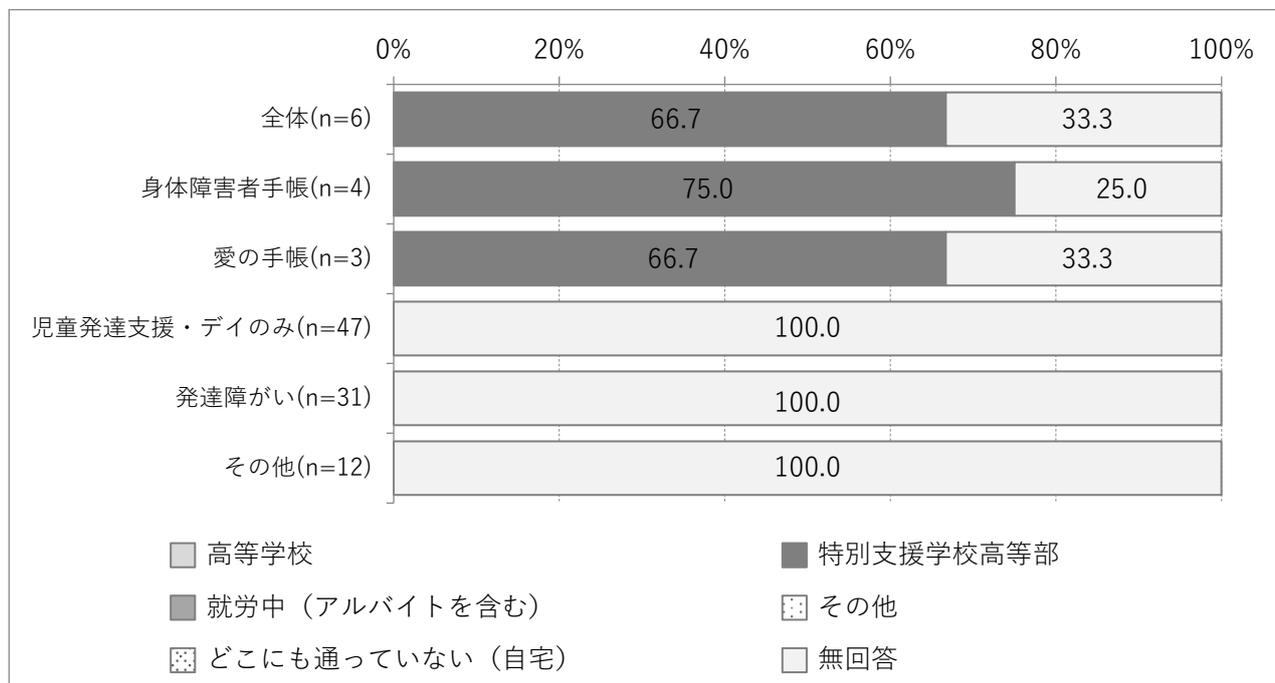
小学校・中学校の方が通っているところは、「通常学級+通級学級（教室）」が48.5%で最も多く、次いで、「特別支援学級」が23.5%となっています。



問5 あなたが通っているところがありますか。

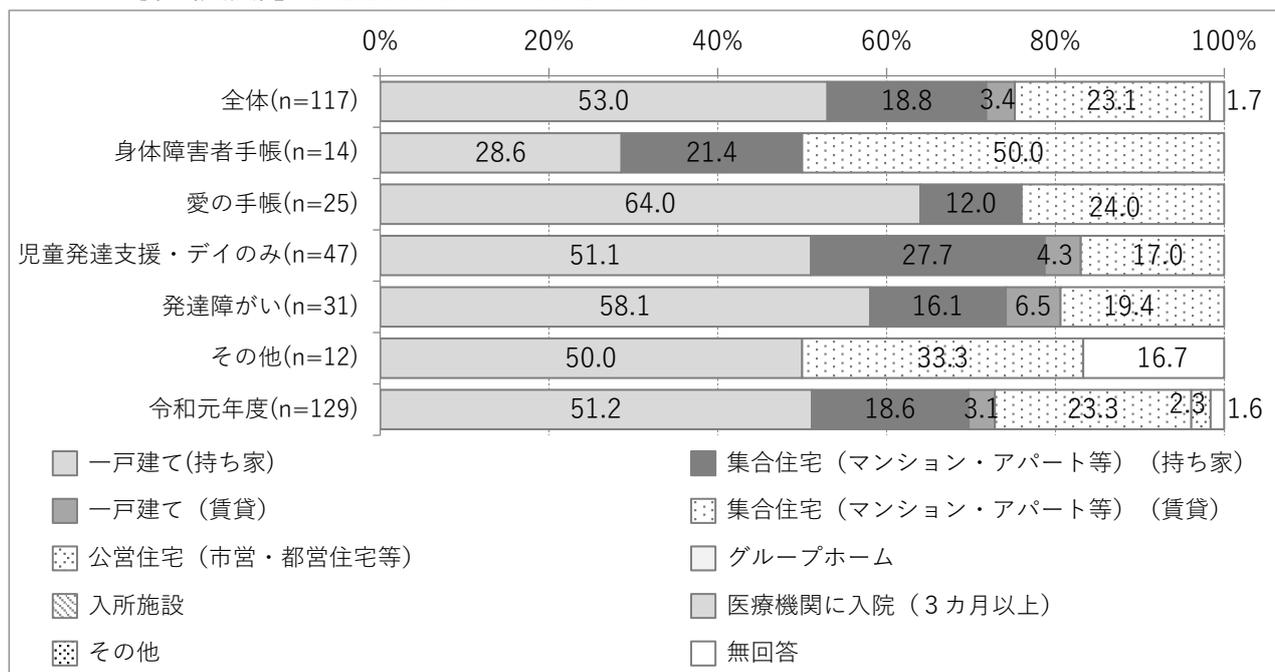
(3) 義務教育終了の場合 (あてはまるものすべてに○)

義務教育を終了した方が通っているところは、「特別支援学校高等部」が 66.7%となっています。



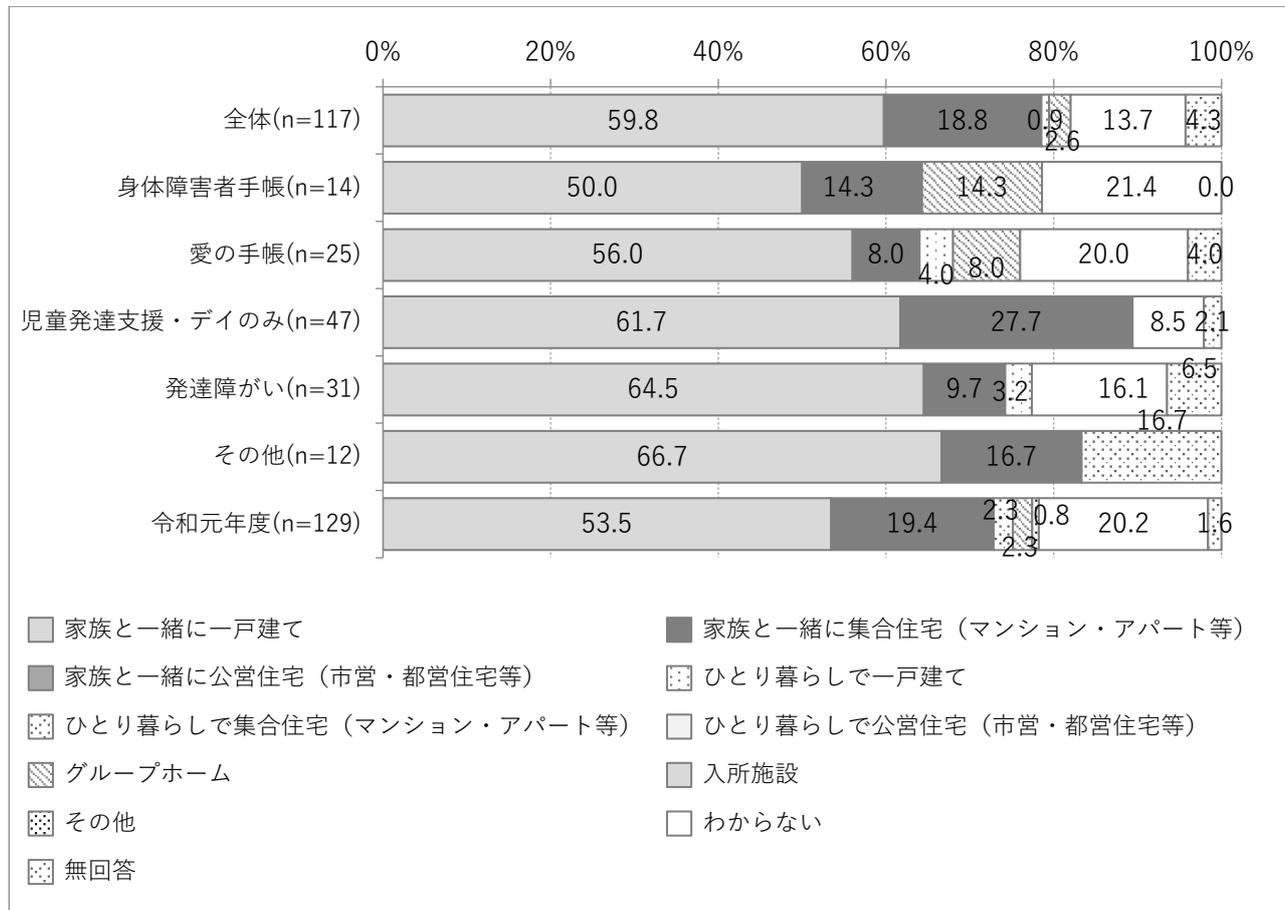
問6 あなたのお住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

居住形態は、「一戸建て(持ち家)」が 53.0%で最も多く、次いで、「集合住宅(マンション・アパート等)(賃貸)」が 23.1%となっています。



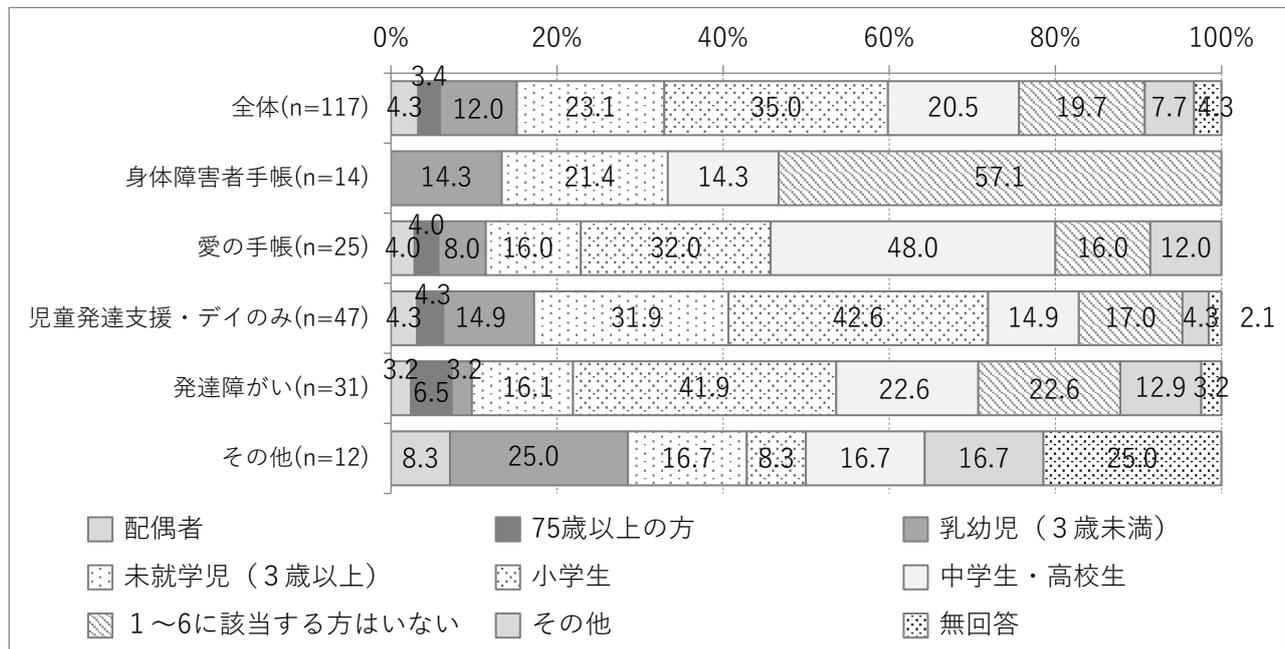
問7 あなたは今後、だれとどのようなお住まいで生活したいと思いますか。（○は1つ）

今後、希望する住まいについては、「家族と一緒に一戸建て」が59.8%で最も多く、次いで、「家族と一緒に集合住宅（マンション・アパート等）」が18.8%となっています。



問8 あなたご自身も含め、ご家族（同居）の中に次の方はいますか。（○はいくつでも）

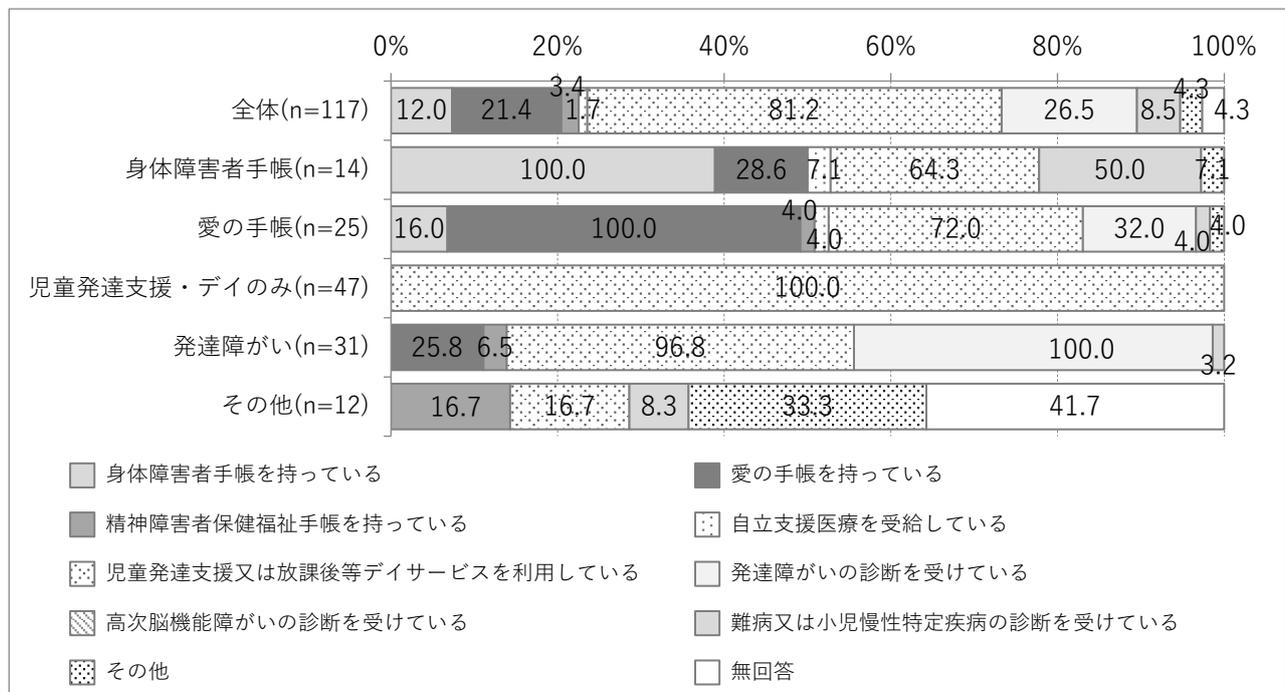
同居している人は、「小学生」が35.0%で最も多く、次いで、「未就学児（3歳以上）」が23.1%となっています。



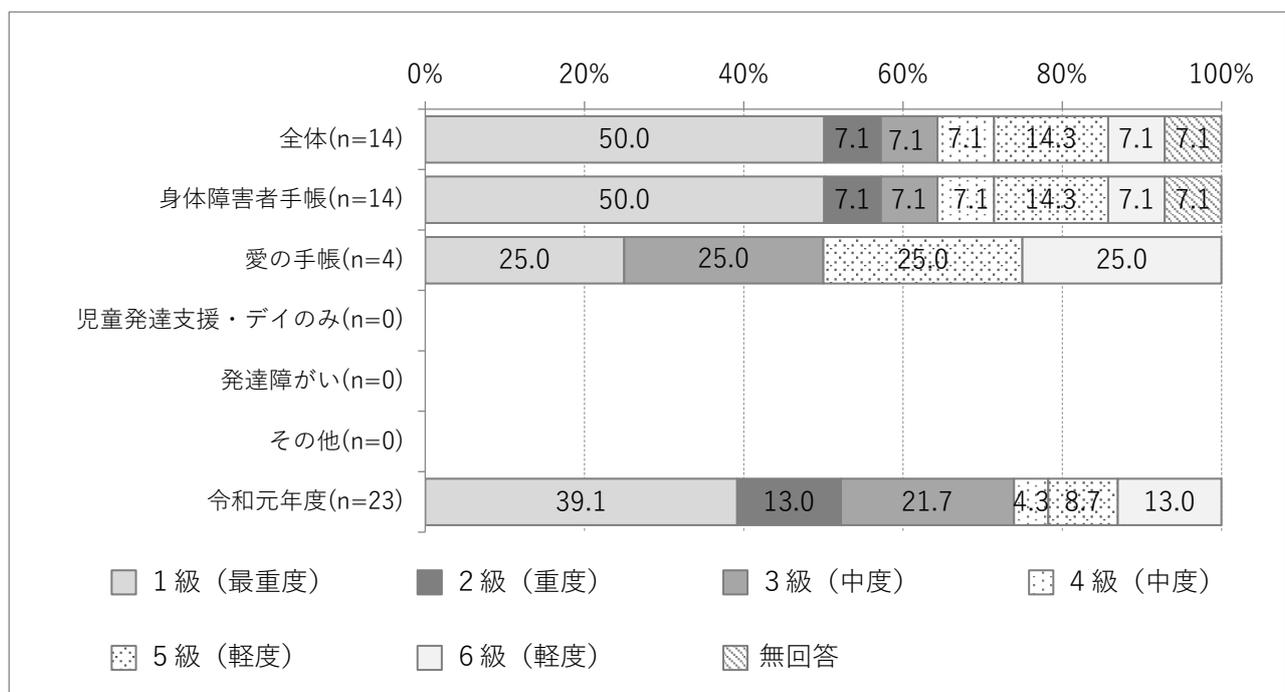
問9 お持ちの手帳又は受けている診断名等は何ですか。また、手帳の等級をご記入ください。
 (〇はいくつでも)

<所持している手帳又は診断名等>

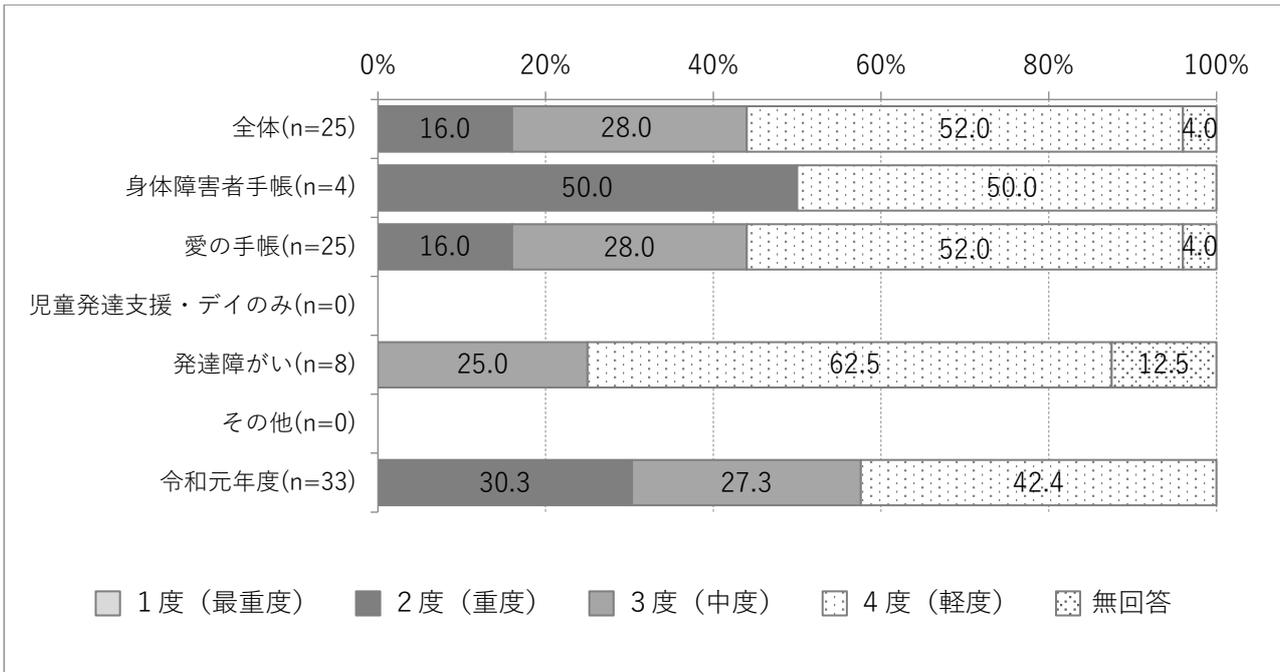
お持ちの手帳や受けている診断名等は、「児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用している」が81.2%で最も多く、次いで、「発達障がい診断を受けている」が26.5%となっています。



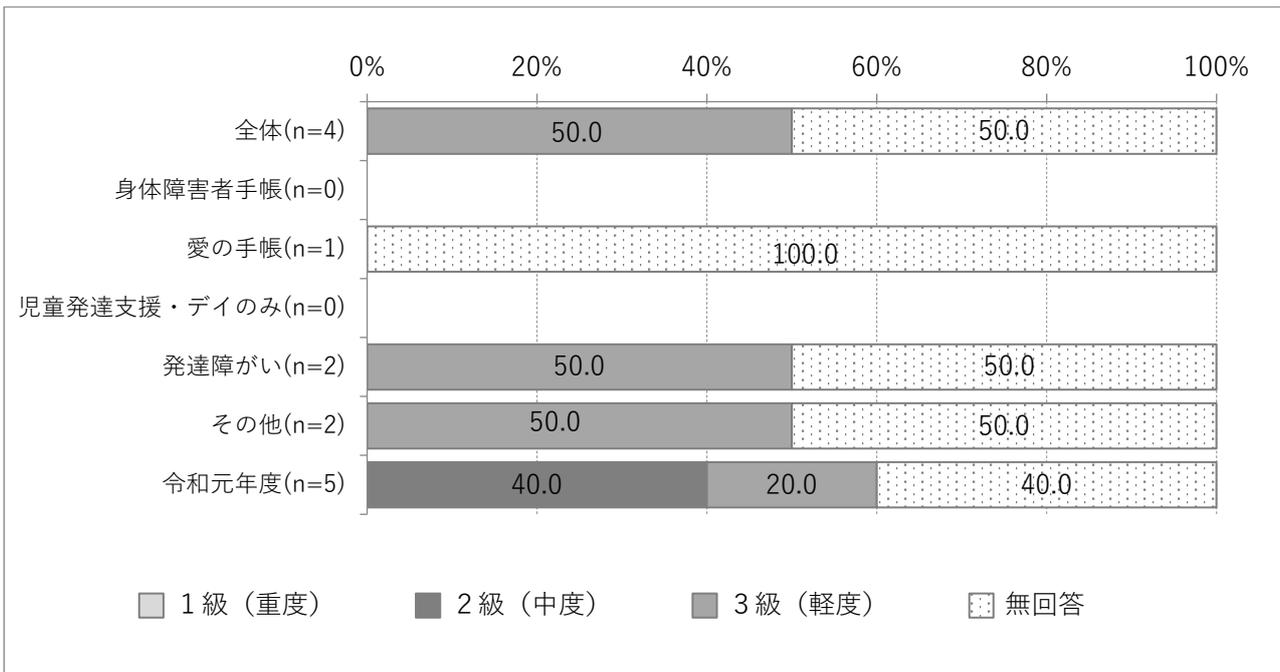
<身体障害者手帳：等級>



<愛の手帳：等級>

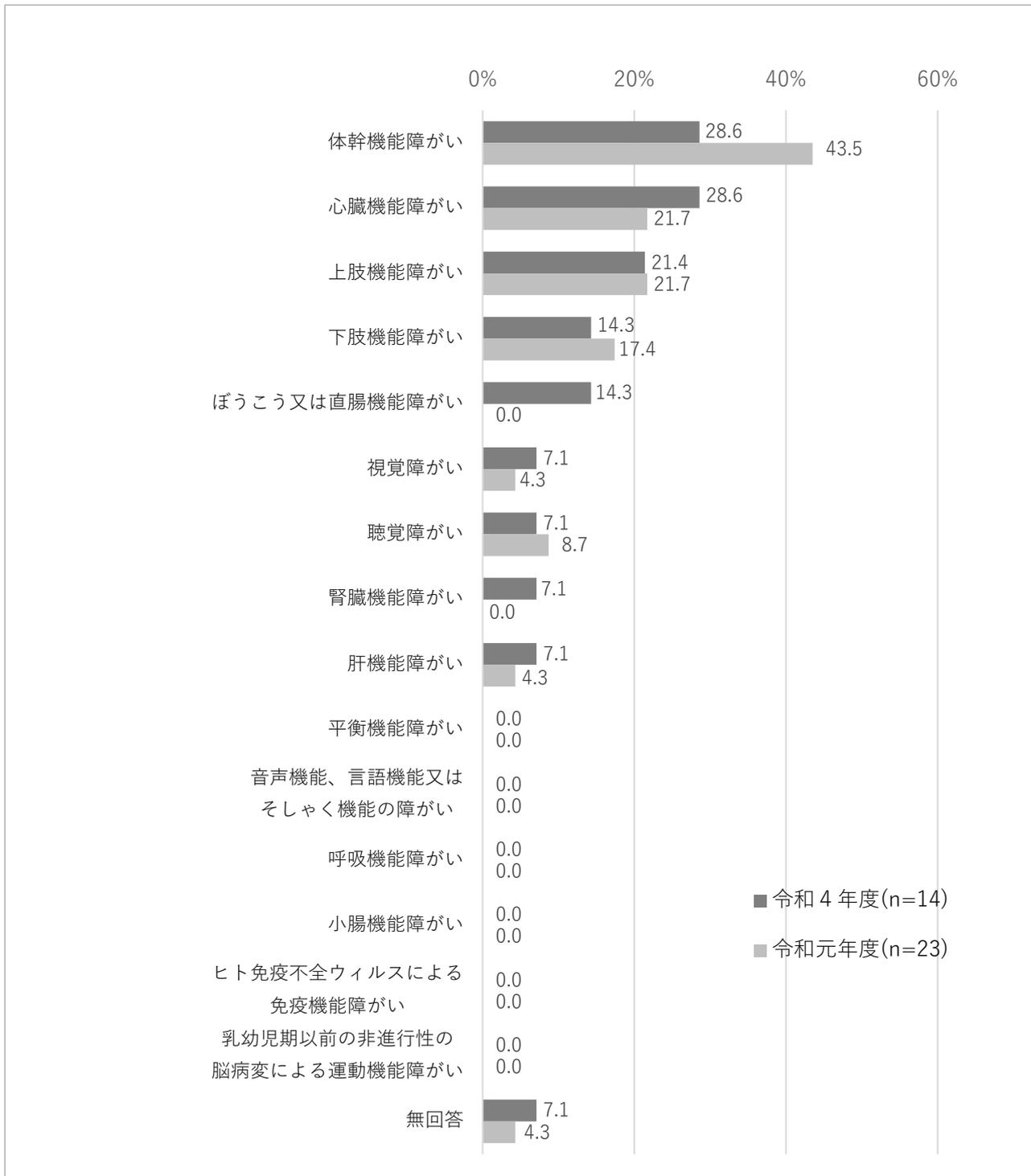


<精神障害者保健福祉手帳：等級>



問 10【問9で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお伺いします。】障がいの種別は何ですか。(〇はいくつでも)

障がいの種別は、「体幹機能障がい」および「心臓機能障がい」がそれぞれ28.6%で最も多く、次いで、「上肢機能障がい」が21.4%となっています。



第7章 周囲の理解と支援の必要な方・障がいのある方等（18歳未満）調査

1 本人、家族について（基本事項）

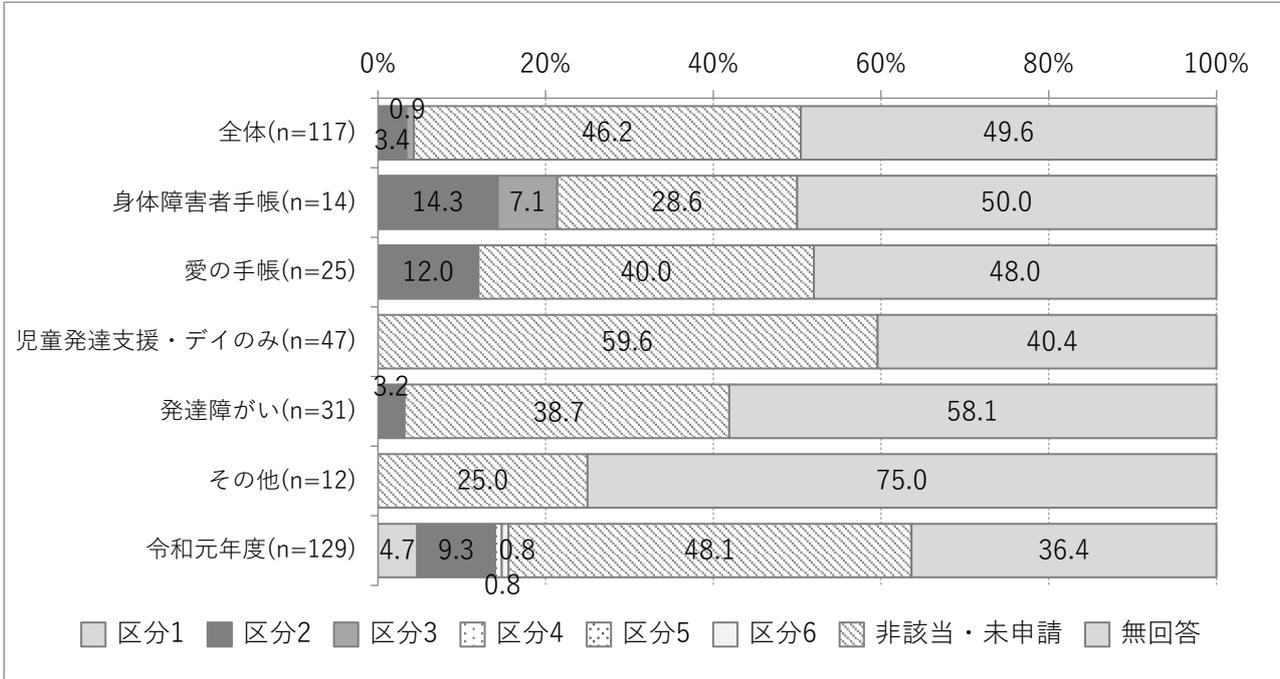
（単位：人、％）

区分	人数	視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声機能、言語機能又は そしゃく機能の障がい	上肢機能障がい	下肢機能障がい	体幹機能障がい	心臓機能障がい
全体	14	7.1	7.1	0.0	0.0	21.4	14.3	28.6	28.6
身体障害者手帳	14	7.1	7.1	0.0	0.0	21.4	14.3	28.6	28.6
愛の手帳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0
児童発達支援・デイのみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度	23	4.3	8.7	0.0	0.0	21.7	17.4	43.5	21.7

区分	腎臓機能障がい	呼吸機能障がい	肝機能障がい	小腸機能障がい	ぼうこう又は直腸機能 障がい	ヒト免疫不全ウイルス による免疫機能障がい	乳幼児期以前の非進行性 の脳病変による運動機能 障がい	無回答
全体	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1
身体障害者手帳	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3

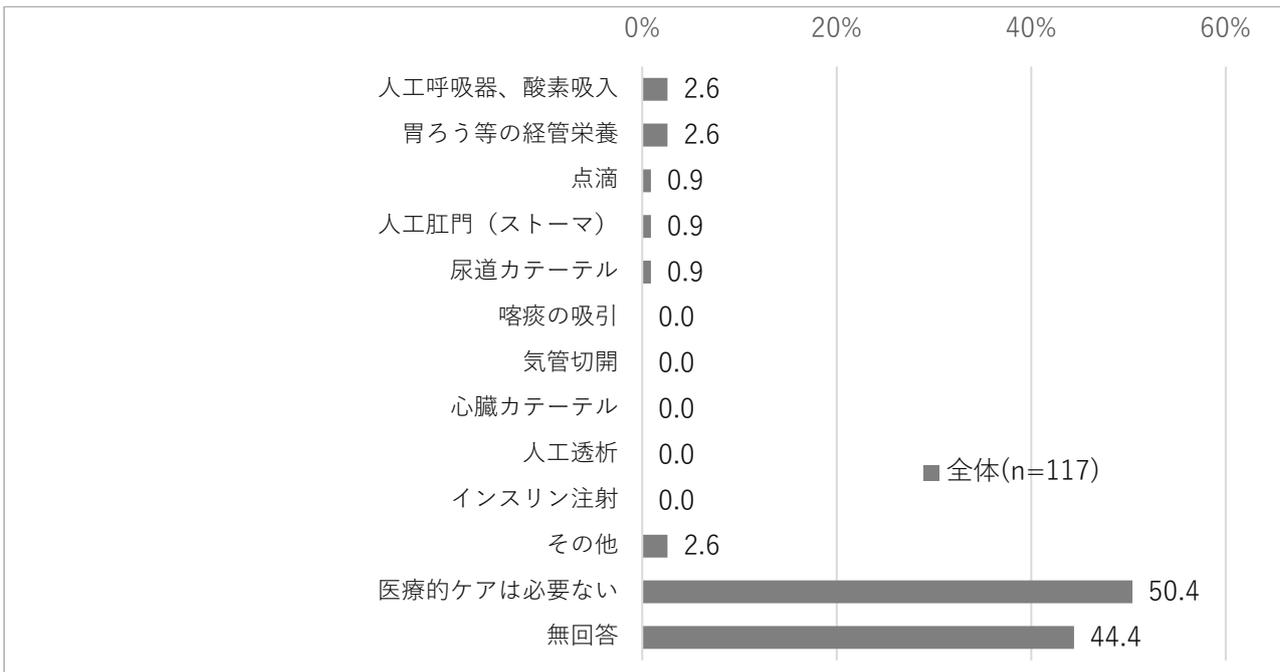
問 11 障害支援区分は何ですか。(〇は1つ)

障害支援区分は、「非該当・未申請」が46.2%で最も多く、次いで、「区分2」が3.4%となっています。



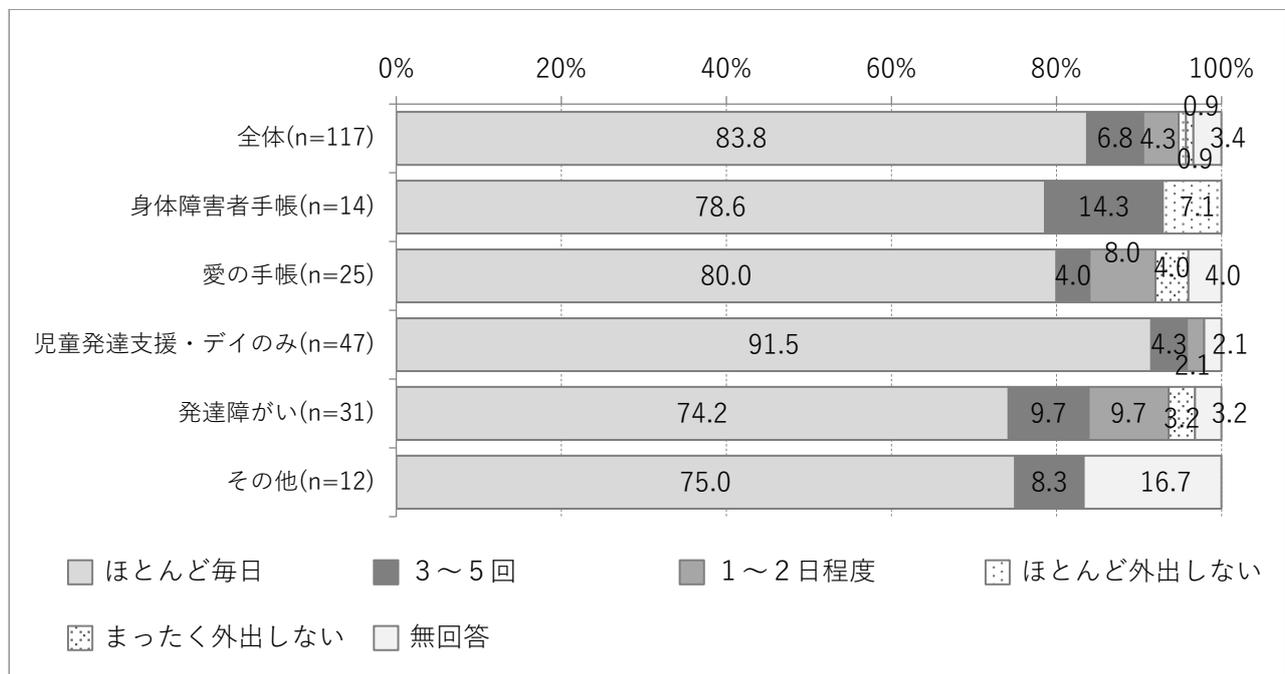
問 12 普段の生活で医療的ケアを必要としていますか。必要としている場合は、具体的な内容を選択してください。(〇はいくつでも)

医療的ケアを必要としているかについては、「人工呼吸器、酸素吸入」および「胃ろう等の経管栄養」がそれぞれ2.6%で最も多く、次いで、「点滴」が0.9%となっています。



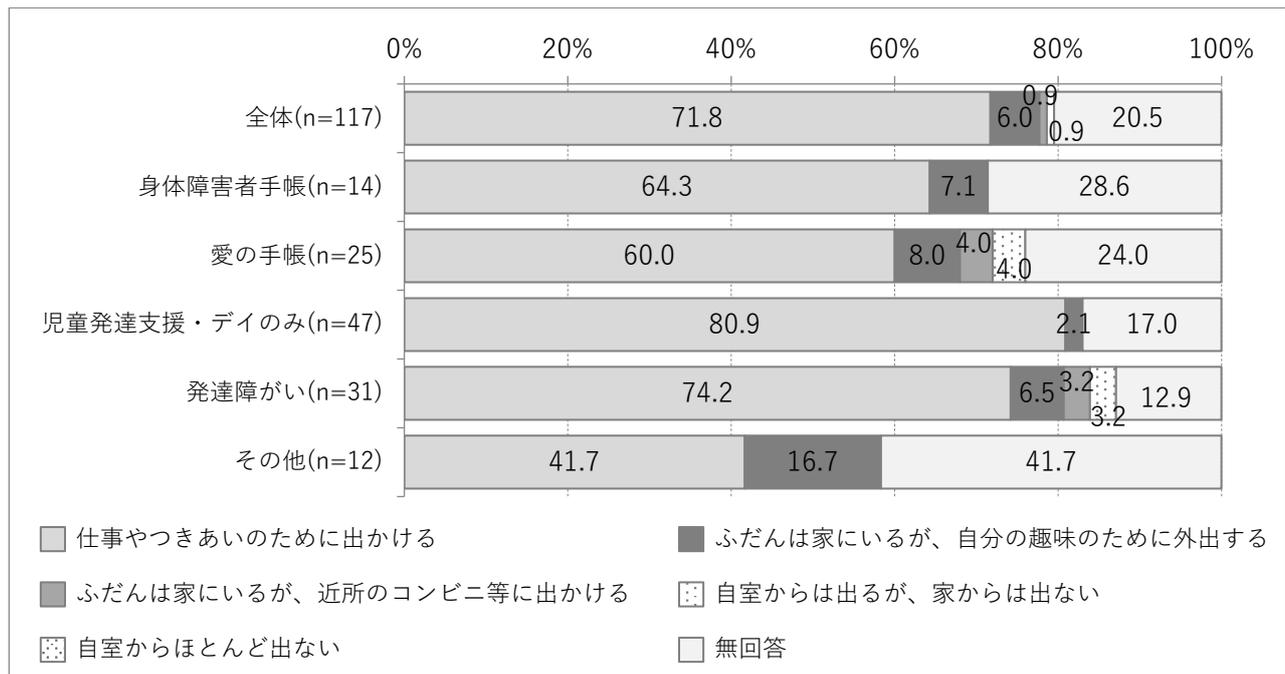
問 13 あなたは週にどのくらい外出しますか。（○は1つ）

外出の頻度は、「ほとんど毎日」が83.8%で最も多く、次いで、「3～5回」が6.8%となっています。



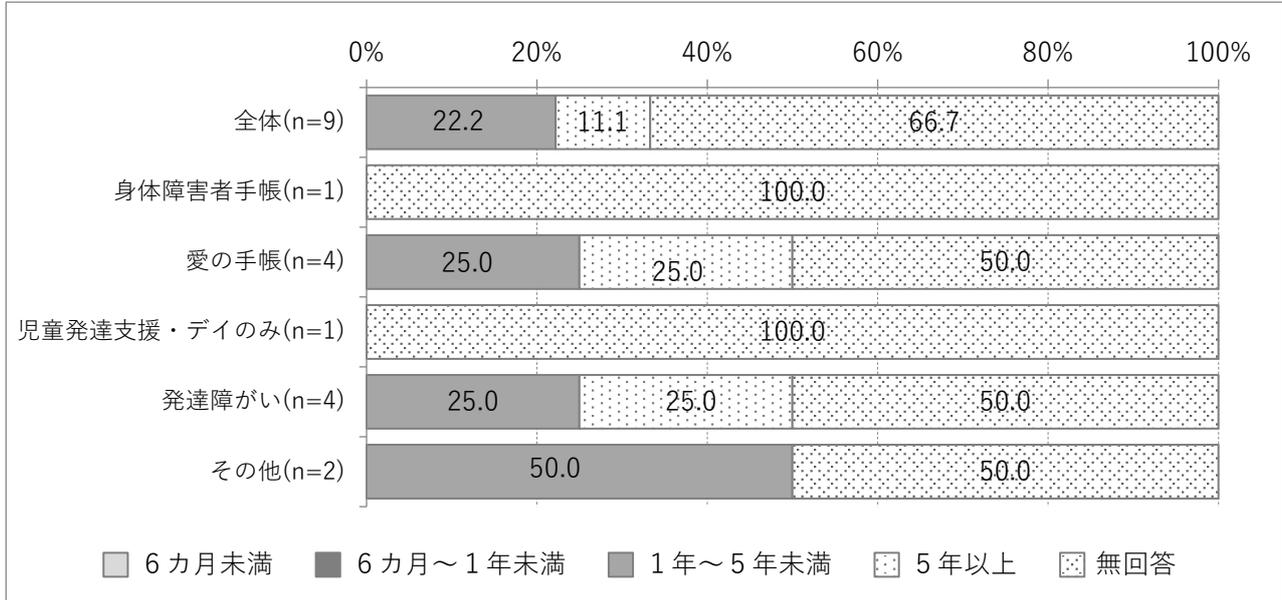
問 14 外出の理由は何ですか。（○は1つ）

外出の理由は、「仕事やつきあいのために出かける」が71.8%で最も多く、次いで、「ふだんは家にいるが、自分の趣味のために外出する」が6.0%となっています。



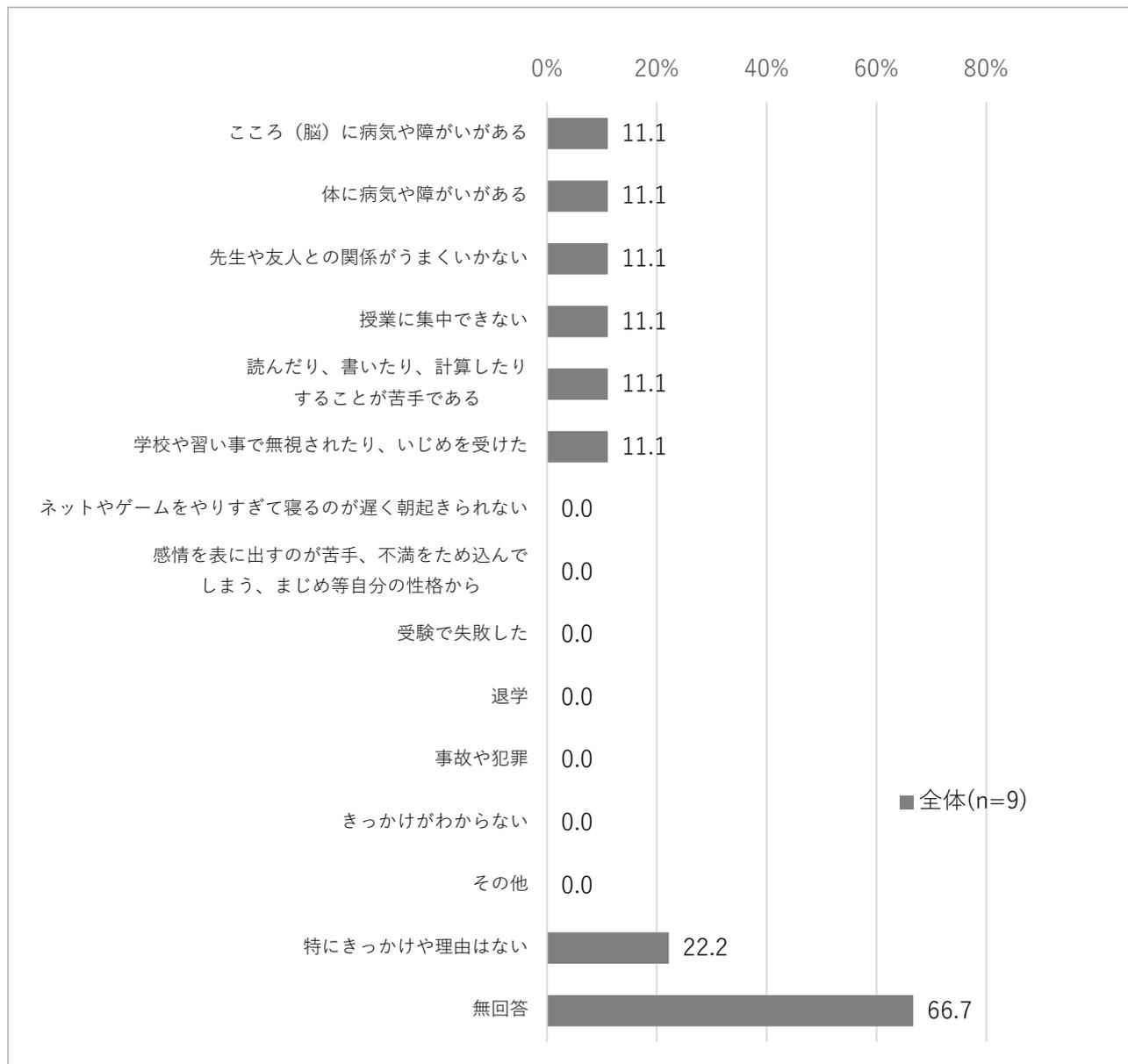
問 15【問 14 で「自室からほとんど出ない」に○をつけた方のみにお伺いします】①その状態になってどのくらい続いていますか。(○は1つ)

状態の継続状況は、「1年～5年未満」が22.2%で最も多く、次いで、「5年以上」が11.1%となっています。



問 15 【問 14 で「自室からほとんど出ない」に○をつけた方のみにお伺いします】
 ②その状態になったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

自室からほとんどでない状態になったきっかけは、「こころ（脳）に病気や障がいがある」、「体に病気や障がいがある」、「先生や友人との関係がうまくいかない」、「授業に集中できない」、「読んだり、書いたり、計算したりすることが苦手である」、「学校や習い事で無視されたり、いじめを受けた」がそれぞれ 11.1%となっています。



(単位：人、%)

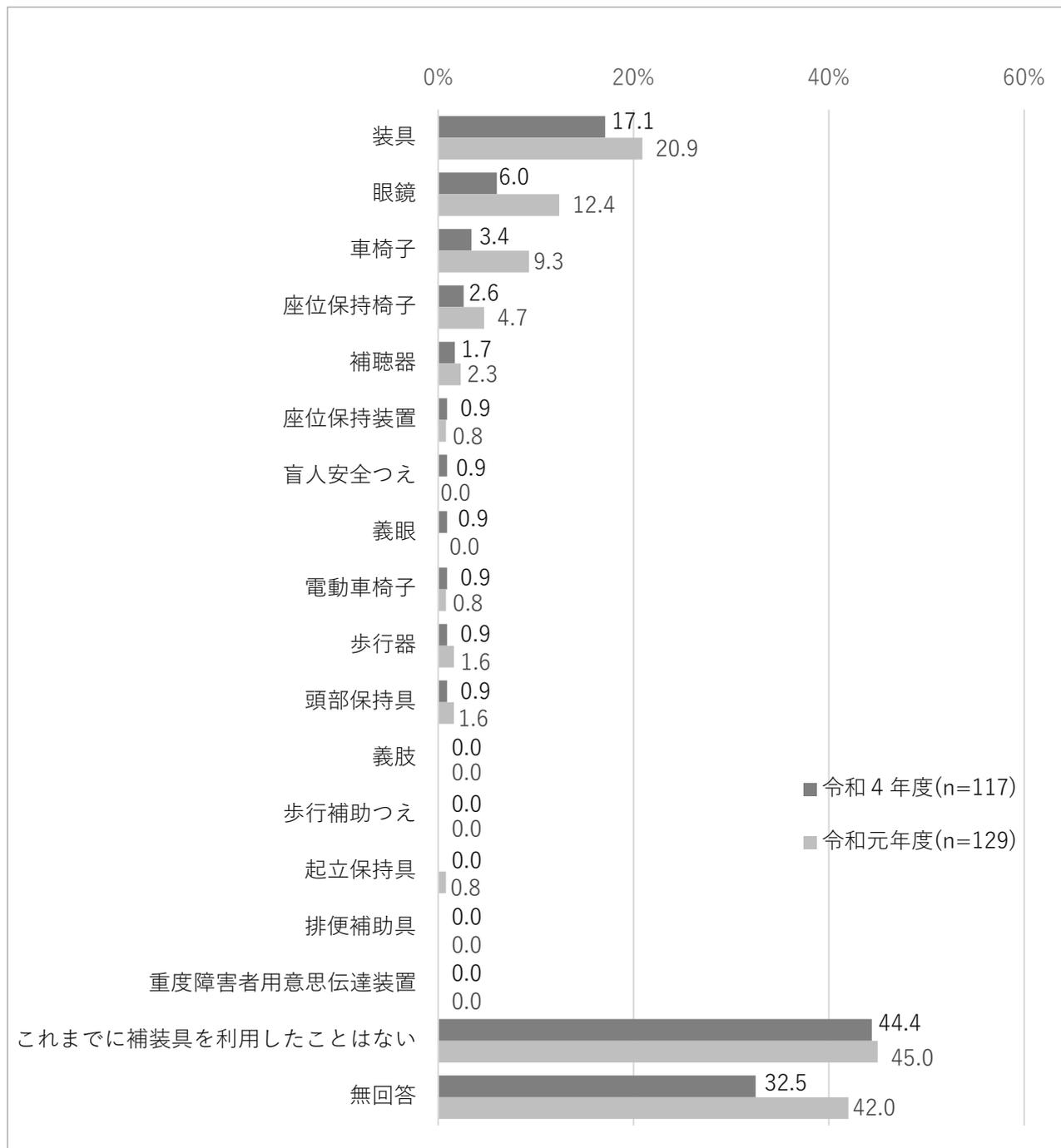
区分	人数	こころ(脳)に病気や障がいがある	体に病気や障がいがある	先生や友人との関係がうまくいかない	授業に集中できない	読んだり、書いたり、計算したりすることが苦手である	ネットやゲームをやりすぎて寝るのが遅く朝起きられない	感情を表に出すのが苦手、不満をため込んでしまう、まじめ等自分の性格から
全体	9	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0
身体障害者手帳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	学校や習い事などで無視された	受験で失敗した	退学	事故や犯罪	特になにかの理由はない	きっかけがわからない	その他	無回答
全体	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	66.7
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
愛の手帳	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
発達障がい	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

2 狛江市の障がい福祉サービスについて

問 16 あなたがこれまでに利用した補装具は何ですか。また、交換したことがある補装具がありましたら、交換の回数も教えてください。(〇はいくつでも)

これまでに利用した補装具および交換したことがある補装具は、「装具」が17.1%と最も多く、次いで、「眼鏡」が6.0%となっています。



(単位：人、%)

区分	人数	義肢	装具	座位保持装置	盲人安全つえ	義眼	眼鏡	補聴器	車椅子	電動車椅子
全体	117	0.0	17.1	0.9	0.9	0.9	6.0	1.7	3.4	0.9
身体障害者手帳	14	0.0	50.0	0.0	7.1	0.0	21.4	7.1	28.6	7.1
愛の手帳	25	0.0	32.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	8.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	0.0	14.9	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0
発達障がい	31	0.0	6.5	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0
その他	12	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度	129	0.0	20.9	0.8	0.0	0.0	12.4	2.3	9.3	0.8

区分	歩行器	歩行補助つえ	座位保持椅子	起立保持具	頭部保持具	排便補助具	重度障害者用意思伝達装置	これまでに補装具を利用したことはない	無回答
全体	0.9	0.0	2.6	0.0	0.9	0.0	0.0	44.4	32.5
身体障害者手帳	7.1	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	21.4
愛の手帳	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	48.0	12.0
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.2	29.8
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.2	45.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0
令和元年度	1.6	0.0	4.7	0.8	1.6	0.0	0.0	45.0	42.0

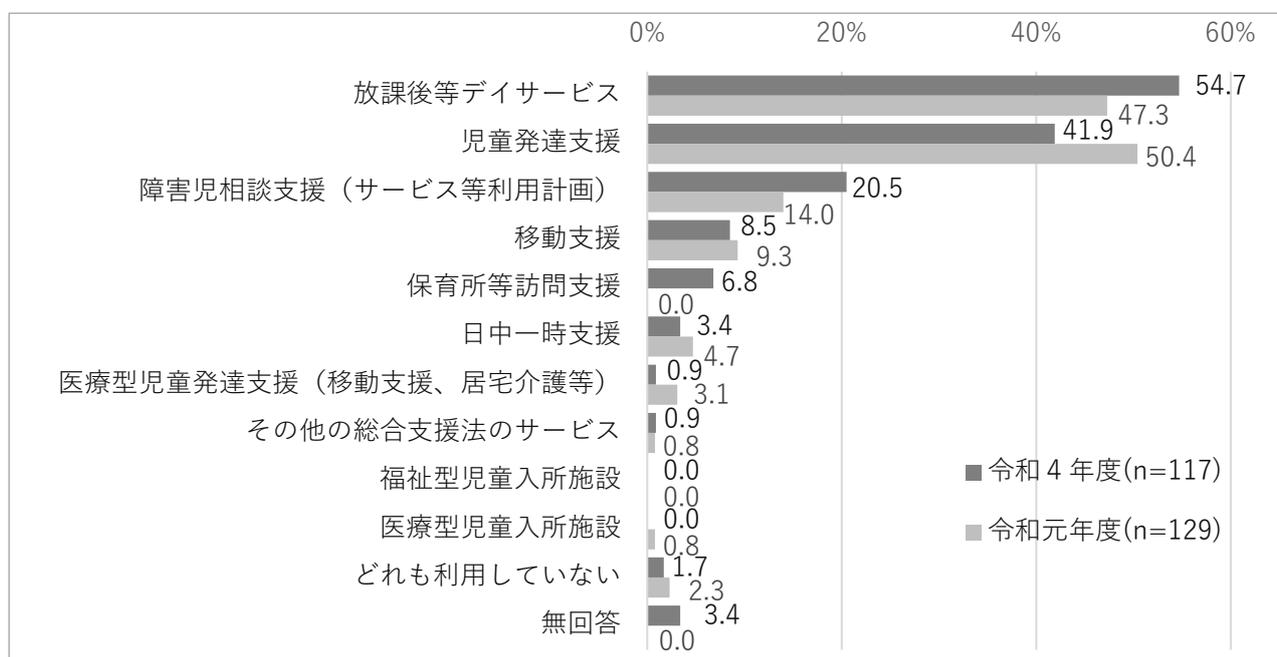
<補装具の用具別交換回数>

(単位：件数)

カテゴリ	合計 件数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回 以上	無 回答
義肢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
装具	20	3	5	6	2	1	0	2	0	1	0	0
座位保持装置	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
盲人安全つえ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
義眼	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼鏡	7	1	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0
補聴器	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車椅子	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
電動車椅子	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行器	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行補助つえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
座位保持椅子	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
起立保持具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部保持具	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排便補助具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重度障害者用 意思伝達装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問 17 あなたが、現在利用している障がい福祉サービス等は何ですか。(〇はいくつでも)

現在利用している障がい福祉サービス等は、「放課後デイサービス」が 54.7%と最も多く、次いで、「児童発達支援」が 41.9%となっています。

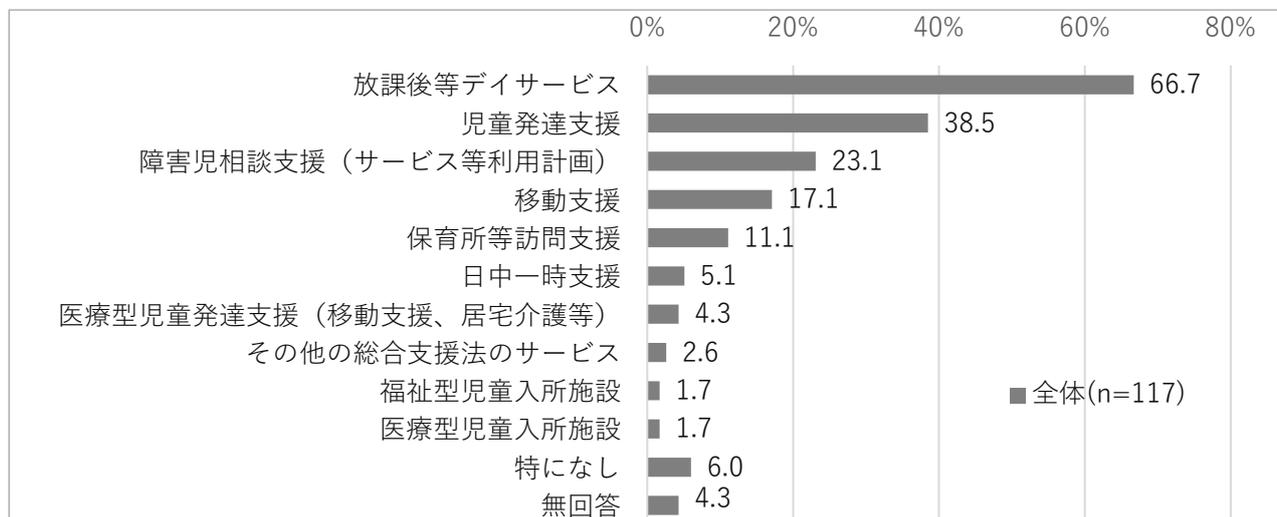


(単位：人、%)

区分	人数	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)	福祉型児童入所施設	医療型児童入所施設	障害児相談支援(サービス等利用計画)	移動支援	日中一時支援	その他の総合支援法のサービス	どれも利用していない	無回答
全体	117	41.9	54.7	6.8	0.9	0.0	0.0	20.5	8.5	3.4	0.9	1.7	3.4
身体障害者手帳	14	35.7	50.0	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	35.7	28.6	7.1	14.3	0.0
愛の手帳	25	28.0	72.0	4.0	0.0	0.0	0.0	56.0	28.0	4.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	59.6	38.3	8.5	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
発達障がい	31	22.6	80.6	6.5	0.0	0.0	0.0	29.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12	41.7	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
令和元年度	129	50.4	47.3	0.0	3.1	0.0	0.8	14.0	9.3	4.7	0.8	2.3	0.0

問 18 今後、利用してみたい、又は利用を継続したい障がい福祉サービスをお答えください。（〇はいくつでも）

今後、利用してみたい、又は利用を継続したい障がい福祉サービスは、「放課後等デイサービス」が66.7%と最も多く、次いで、「児童発達支援」が38.5%となっています。

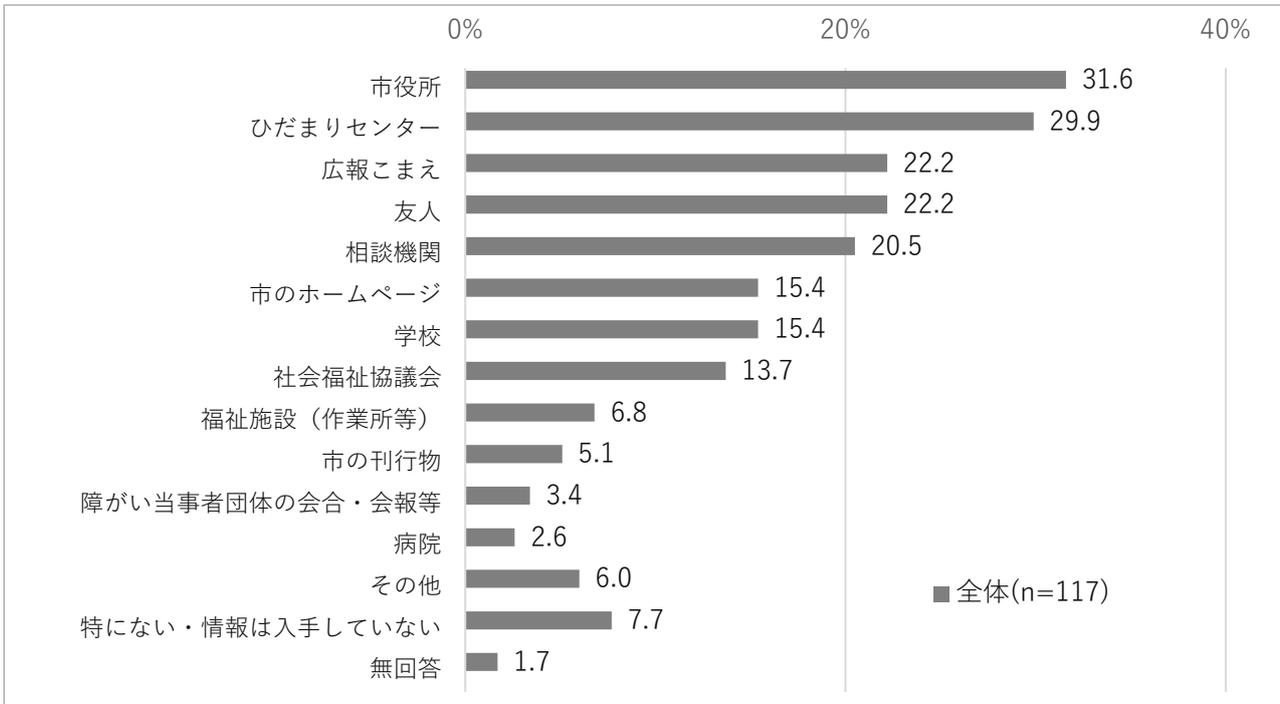


(単位：人、%)

区分	人数	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)	福祉型児童入所施設	医療型児童入所施設	障害児相談支援(サービス等利用計画)	移動支援	日中一時支援	その他の総合支援法のサービス	どれも利用していない	無回答
全体	117	38.5	66.7	11.1	4.3	1.7	1.7	23.1	17.1	5.1	2.6	6.0	4.3
身体障害者手帳	14	35.7	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	57.1	35.7	21.4	7.1	14.3	0.0
愛の手帳	25	24.0	80.0	4.0	4.0	8.0	4.0	52.0	40.0	12.0	8.0	4.0	4.0
児童発達支援・デイのみ	47	48.9	61.7	17.0	0.0	0.0	0.0	8.5	2.1	0.0	0.0	10.6	0.0
発達障がい	31	22.6	90.3	6.5	3.2	0.0	0.0	32.3	22.6	6.5	3.2	0.0	3.2
その他	12	50.0	41.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0

問 19 あなたは、狛江市の障がい福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(〇は
いくつでも)

狛江市の障がい福祉サービスに関する情報の入手先は、「市役所」が31.6%と最も多く、次いで、「ひだまりセンター」が29.9%となっています。

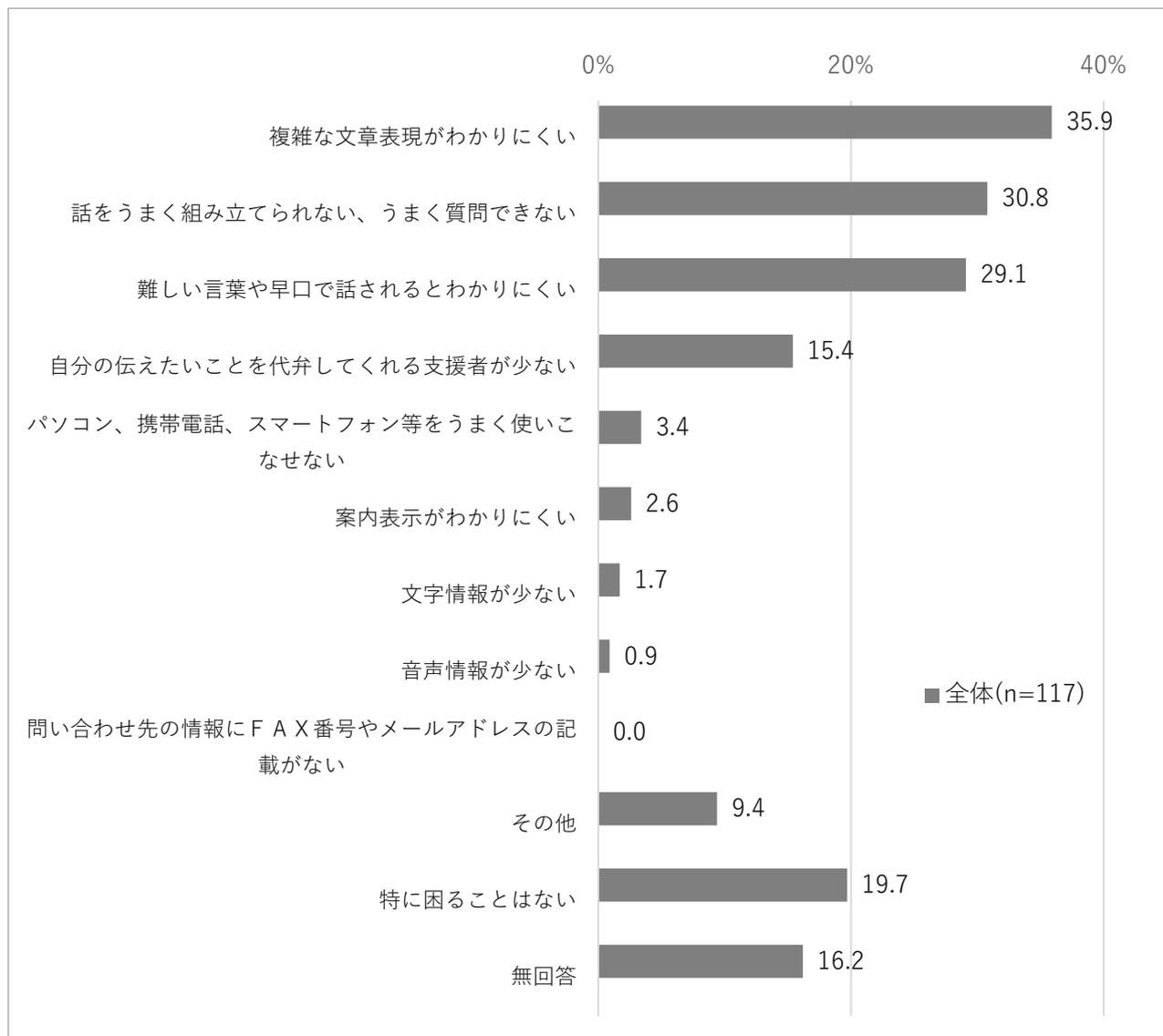


(単位：人、%)

区分	人数	市役所	広報こまえ	市の刊行物	市のホームページ	社会福祉協議会	ひだまりセンター	相談機関	障がい当事者団体の会合・会報等	福祉施設（作業所等）	病院	学校	友人	その他	特になし・情報は入手していない	無回答
全体	117	31.6	22.2	5.1	15.4	13.7	29.9	20.5	3.4	6.8	2.6	15.4	22.2	6.0	7.7	1.7
身体障害者手帳	14	28.6	14.3	7.1	21.4	21.4	0.0	57.1	7.1	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0
愛の手帳	25	44.0	32.0	8.0	24.0	12.0	28.0	24.0	12.0	8.0	8.0	16.0	36.0	4.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	27.7	19.1	6.4	12.8	14.9	31.9	10.6	0.0	4.3	0.0	12.8	14.9	4.3	8.5	0.0
発達障がい	31	25.8	25.8	3.2	12.9	9.7	38.7	25.8	6.5	6.5	3.2	12.9	29.0	3.2	12.9	0.0
その他	12	41.7	33.3	0.0	8.3	0.0	41.7	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3	33.3	8.3	8.3	16.7

問 20 コミュニケーションを行う上で困ることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

コミュニケーションを行う上で困ることは、「複雑な文章表現がわかりにくい」が 35.9%と最も多く、次いで、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が 30.8%となっています。

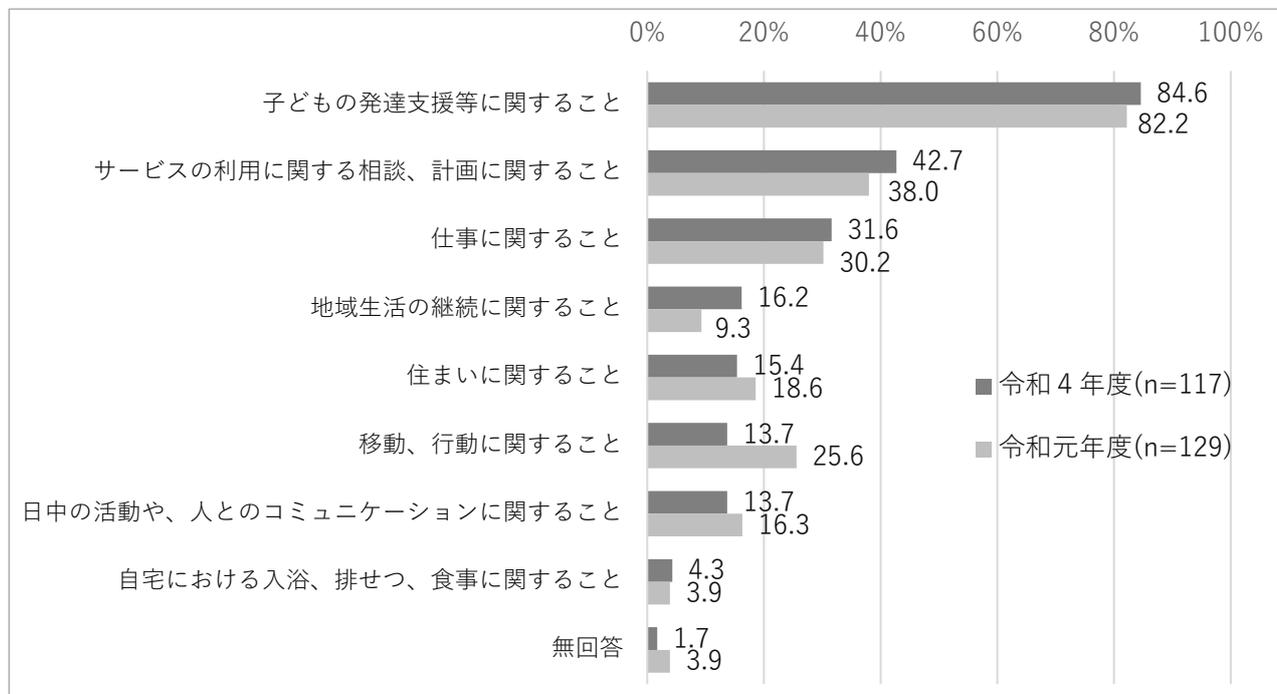


(単位：人、%)

区分	人数	案内表示がわかりにくい	音声情報が少ない	文字情報が少ない	パソコン、携帯電話、スマートフォン等をうまく使いこなせない	自分の伝えたいことを代弁してくれる支援者が少ない	問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	複雑な文章表現がわかりにくい	その他	特に困ることはない	無回答
全体	117	2.6	0.9	1.7	3.4	15.4	0.0	30.8	29.1	35.9	9.4	19.7	16.2
身体障害者手帳	14	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1	21.4	14.3	14.3	21.4
愛の手帳	25	8.0	0.0	4.0	12.0	28.0	0.0	48.0	60.0	56.0	4.0	4.0	8.0
児童発達支援・デイのみ	47	0.0	0.0	0.0	2.1	8.5	0.0	25.5	19.1	23.4	12.8	31.9	12.8
発達障がい	31	3.2	3.2	3.2	3.2	29.0	0.0	35.5	41.9	54.8	3.2	12.9	19.4
その他	12	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	41.7	25.0	41.7	8.3	16.7	16.7

問 21 今後、狛江市が取り組む障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、狛江市が取り組む障がい福祉サービス等で優先して充実すべきことは、「子どもの発達支援等に関すること」が84.6%と最も多く、次いで、「サービスの利用に関する相談、計画に関すること」が42.7%となっています。

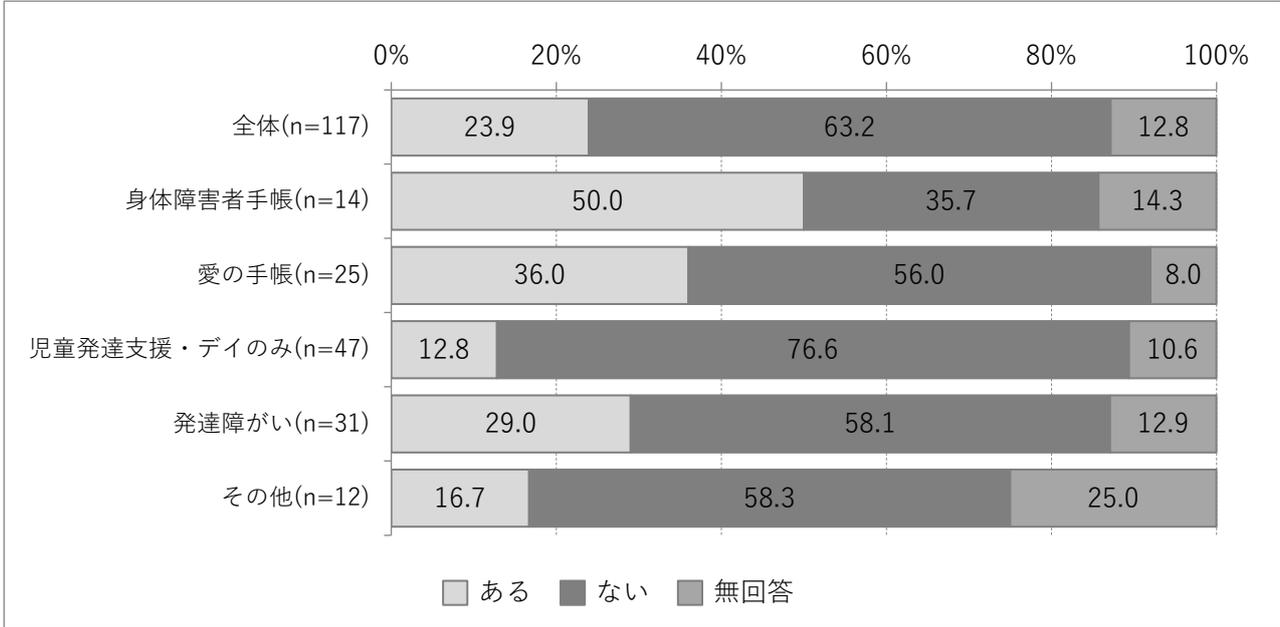


(単位：人、%)

区分	人数	子どもの発達支援等に関すること	自宅における入浴、排せつ、食事に関すること	移動、行動に関すること	住まいに関すること	日中の活動や、人とのコミュニケーションに関すること	仕事に関すること	地域生活の継続に関すること	サービスの利用に関する相談、計画に関すること	無回答
全体	117	84.6	4.3	13.7	15.4	13.7	31.6	16.2	42.7	1.7
身体障害者手帳	14	71.4	14.3	28.6	35.7	28.6	35.7	7.1	35.7	0.0
愛の手帳	25	68.0	4.0	32.0	28.0	28.0	60.0	24.0	24.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	93.6	4.3	4.3	8.5	6.4	17.0	14.9	46.8	0.0
発達障がい	31	93.5	3.2	12.9	12.9	19.4	38.7	12.9	48.4	0.0
その他	12	75.0	0.0	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7	33.3	16.7
令和元年度	129	82.2	3.9	25.6	18.6	16.3	30.2	9.3	38.0	3.9

問 22 狛江市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスはありますか。(○は1つ)

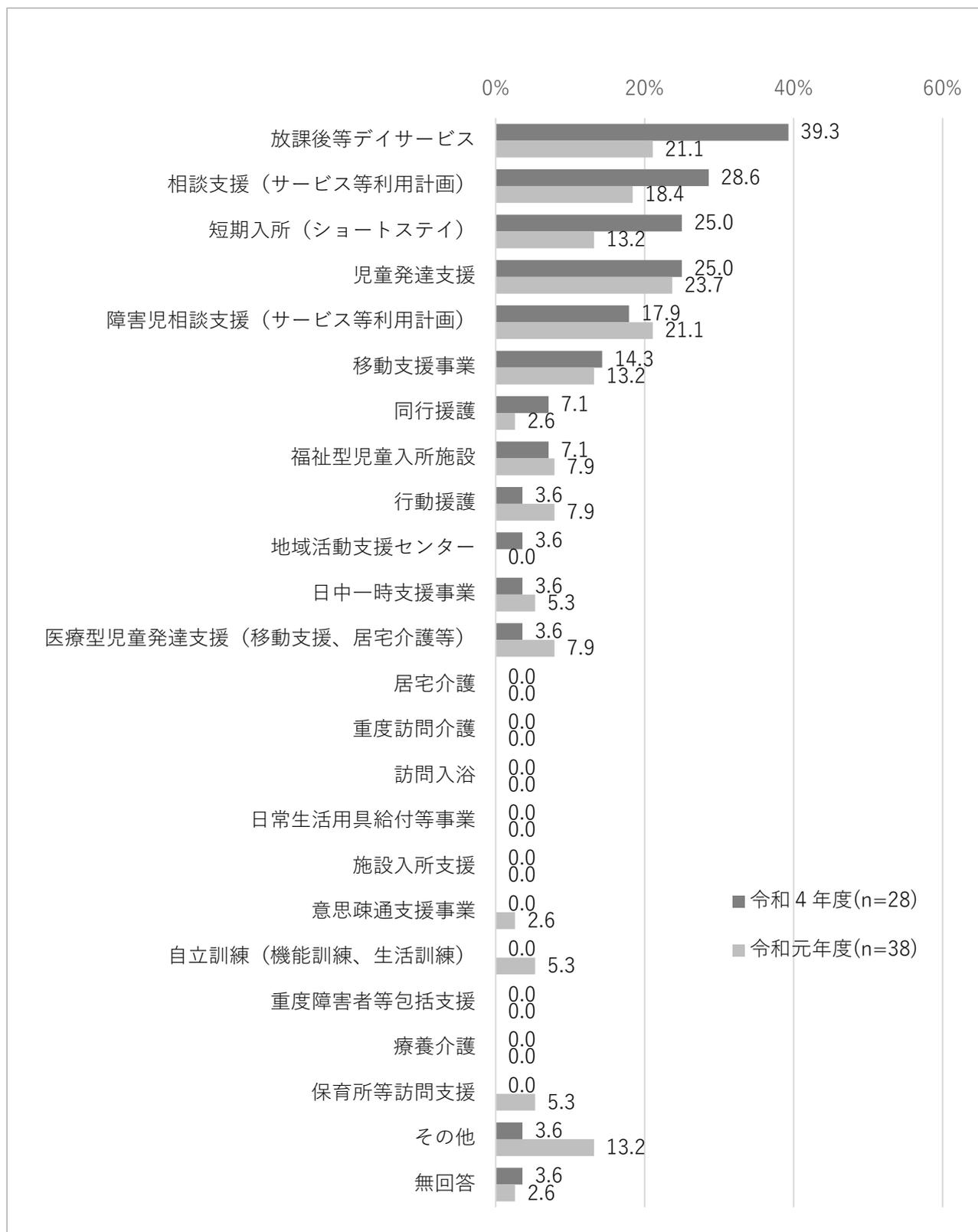
狛江市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスについて、「ある」が23.9%、「ない」が63.2%となっています。



問 23【問 21 で「ある」に○をつけた方のみにお伺いします】

利用できないサービスは、次のうちどのサービスですか。（○はいくつでも）

利用できないサービス(全体)は、「放課後デイサービス」が 39.3%で最も多く、次いで「相談支援（サービス等利用計画）」が 28.6%となっています。



<利用できないサービス(全体)>

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	短期入所(シヨートステイ)	地域活動支援センター	日中一時支援事業	意思疎通支援事業
全体	28	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	3.6	14.3	0.0	25.0	3.6	3.6	0.0
身体障害者手帳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
愛の手帳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	11.1	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度	38	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	7.9	13.2	0.0	13.2	0.0	5.3	2.6

区分	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	重度障害者等包括支援	療養介護	相談支援(サービス等利用計画)	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)	福祉型児童入所施設	障害児相談支援(サービス等利用計画)	その他	無回答
全体	0.0	0.0	0.0	28.6	25.0	39.3	0.0	3.6	7.1	17.9	3.6	3.6
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
発達障がい	0.0	0.0	0.0	44.4	22.2	44.4	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度	5.3	0.0	0.0	18.4	23.7	21.1	5.3	7.9	7.9	21.1	13.2	2.6

問 24【問 21 で「ある」に○をつけた方のみにお伺いします】

①利用できないサービスは、次のうちどのサービスですか。（○はいくつでも）

<利用できないサービス(第1位)>

利用できないサービス(第1位)は、「放課後デイサービス」が28.6%で最も多く、次いで「児童発達支援」が17.9%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	短期入所（シヨートステイ）	地域活動支援センター	日中一時支援事業	意思疎通支援事業
全体	28	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
身体障害者手帳	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	重度障害者等包括支援	療養介護	相談支援（サービス等利用計画）	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援（移動支援、居宅介護等）	福祉型児童入所施設	障害児相談支援（サービス等利用計画）	その他	無回答
全体	0.0	0.0	0.0	7.1	17.9	28.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	7.1
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
発達障がい	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<利用できないサービス(第2位)>

利用できないサービス(第2位)は、「障害児相談支援（サービス等利用計画）」が10.7%で最も多く、次いで「相談支援（サービス等利用計画）」及び「放課後デイサービス」がそれぞれ7.1%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	短期入所（シヨートステイ）	地域活動支援センター	日中一時支援事業	意思疎通支援事業
全体	28	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
身体障害者手帳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	重度障害者等包括支援	療養介護	相談支援（サービス等利用計画）	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援（移動支援、居宅介護等）	福祉型児童入所施設	障害児相談支援（サービス等利用計画）	その他	無回答
全体	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	3.6	10.7	0.0	53.6
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	33.3
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	33.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

<利用できないサービス(第3位)>

利用できないサービス(第3位)は、「日中一時支援事業」が7.1%で最も多く、次いで「短期入所(ショートステイ)」、「相談支援(サービス等利用計画)」及び「福祉型児童入所施設」がそれぞれ3.6%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	居宅介護	重度訪問介護	訪問入浴	日常生活用具給付等事業	同行援護	行動援護	移動支援事業	施設入所支援	短期入所(ショートステイ)	地域活動支援センター	日中一時支援事業	意思疎通支援事業
全体	28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	7.1	0.0
身体障害者手帳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
愛の手帳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	重度障害者等包括支援	療養介護	相談支援(サービス等利用計画)	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)	福祉型児童入所施設	障害児相談支援(サービス等利用計画)	その他	無回答
全体	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	82.1
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
発達障がい	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	55.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

問 24【問 21 で「ある」に○をつけた方のみにお伺いします】

②どのように補っていますか。(○はいくつでも)

利用できないサービス(第1位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が 50.0%で最も多く、次いで「その他」が 35.7%となっています。

利用できないサービス(第2位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が 28.7%で最も多く、次いで「特に何もしていない」及び「その他」が 10.7%となっています。

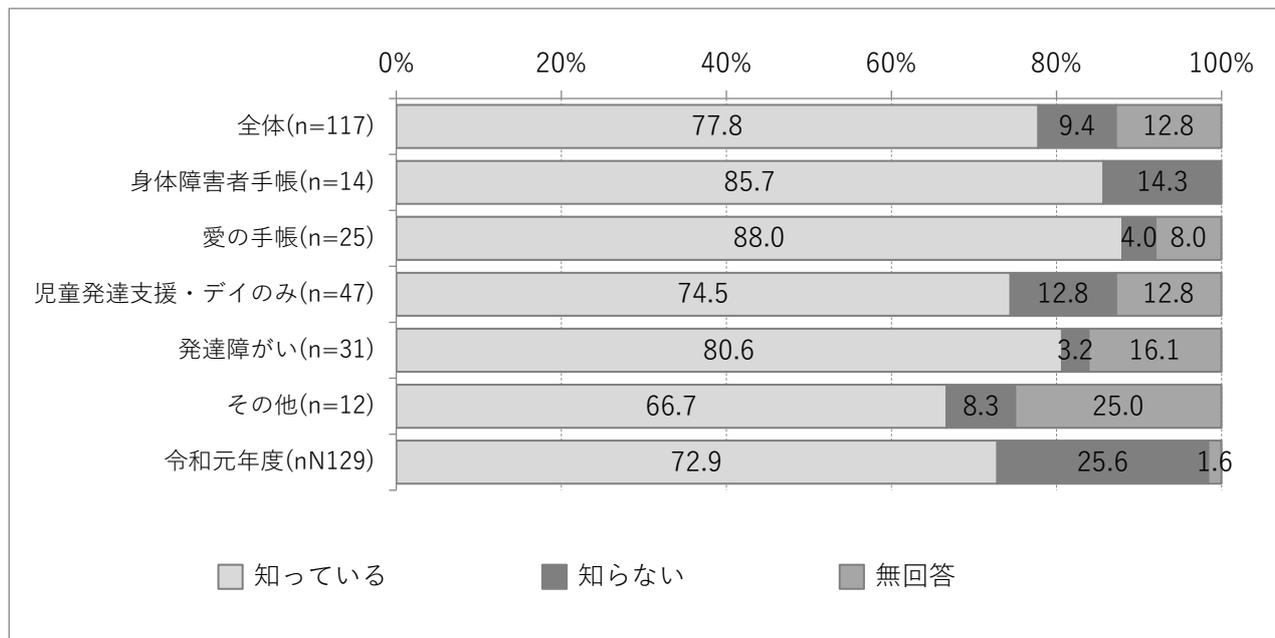
利用できないサービス(第3位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が 14.3%で最も多く、次いで「特に何もしていない」が 7.1%となっています。

	区分	人数	自費でヘルパーや介助者を雇っている	家族が介助・支援している	友人や知人に支援してもらっている	相談支援専門員に相談している	特に何もしていない	その他	無回答
第1位	全体	28	0.0	50.0	3.6	10.7	10.7	35.7	10.7
	身体障害者手帳	7	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
	愛の手帳	9	0.0	44.4	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1
	児童発達支援・デイのみ	6	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3
	発達障がい	9	0.0	55.6	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
第2位	全体	28	0.0	28.6	0.0	0.0	10.7	10.7	53.6
	身体障害者手帳	7	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9
	愛の手帳	9	0.0	44.4	0.0	0.0	22.2	11.1	33.3
	児童発達支援・デイのみ	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
	発達障がい	9	0.0	33.3	0.0	0.0	22.2	11.1	33.3
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
第3位	全体	28	0.0	14.3	3.6	3.6	7.1	0.0	82.1
	身体障害者手帳	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
	愛の手帳	9	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	児童発達支援・デイのみ	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	発達障がい	9	0.0	33.3	11.1	11.1	22.2	0.0	55.6
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

3 日常生活の困りごと

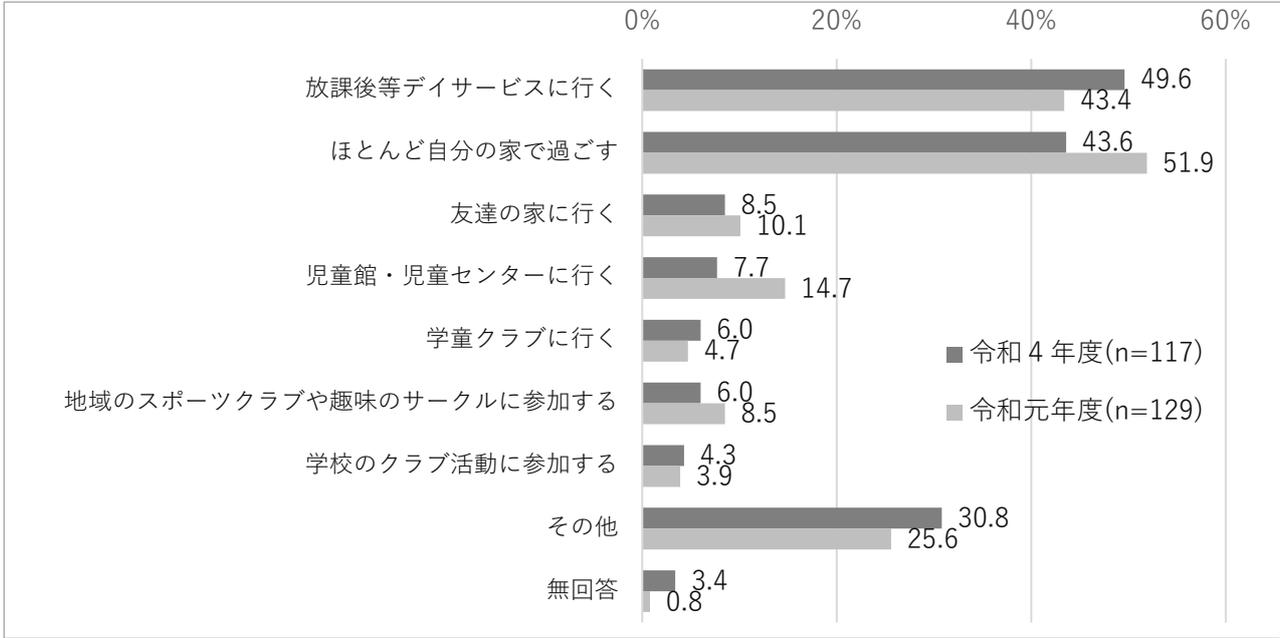
問 25 あなたは、困ったときに相談できる場所をご存じですか。(〇は1つ)

困ったときに相談できる場所の認知度は、「知っている」が77.8%、「知らない」が9.4%となっています。



問 26 あなたは、日中、幼稚園・保育園・認定こども園・学校以外では、どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

日中、幼稚園・保育園・認定こども園・学校以外では、どのように過ごしているかは、「放課後デイサービスに行く」が49.6%で最も多く、次いで「ほとんど自分の家で過ごす」が43.6%となっています。

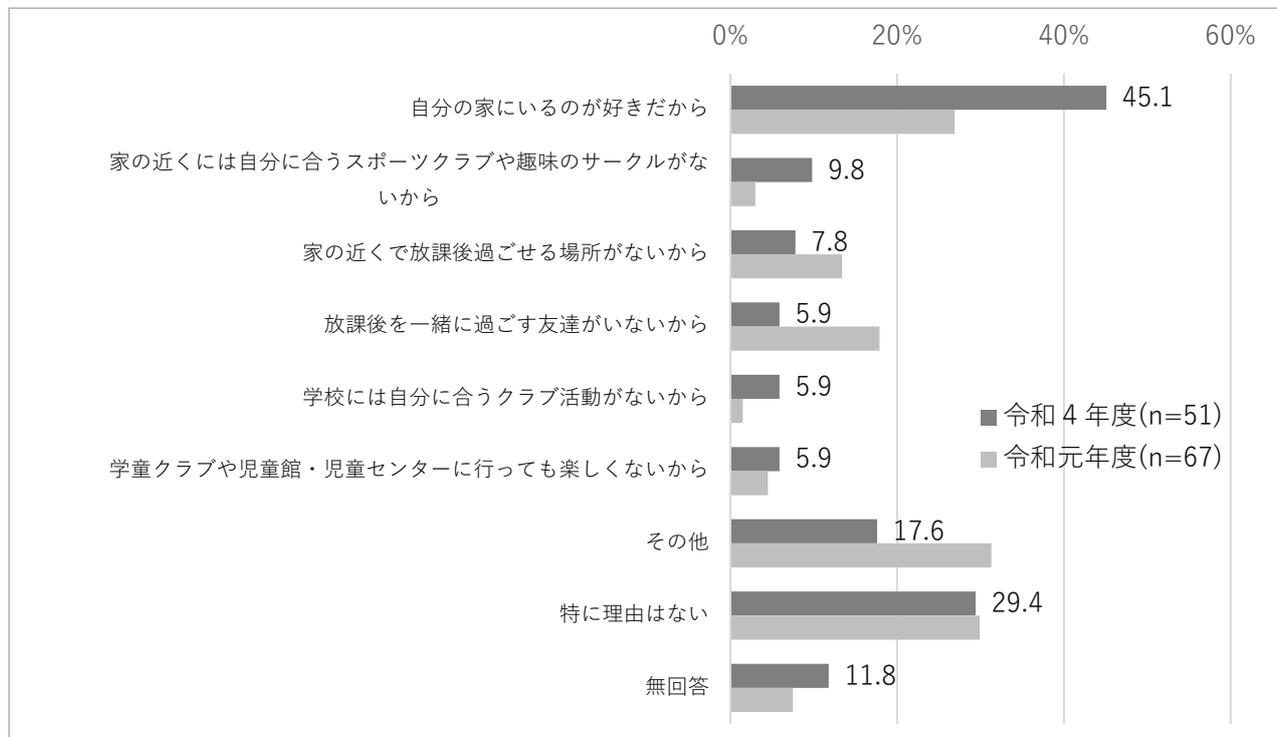


(単位：人、%)

区分	人数	学童クラブに行く	学校のクラブ活動に参加する	児童館・児童センターに行く	友達の家に行く	地域のスポーツクラブや趣味のサークルに参加する	放課後等デイサービスに行く	ほとんど自分の家で過ごす	その他	無回答
全体	117	6.0	4.3	7.7	8.5	6.0	49.6	43.6	30.8	3.4
身体障害者手帳	14	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	57.1	14.3	0.0
愛の手帳	25	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	64.0	52.0	20.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	10.6	0.0	10.6	12.8	2.1	36.2	46.8	34.0	2.1
発達障がい	31	6.5	6.5	3.2	9.7	12.9	67.7	38.7	32.3	0.0
その他	12	0.0	8.3	16.7	8.3	8.3	25.0	16.7	41.7	25.0
令和元年度	129	4.7	3.9	14.7	10.1	8.5	43.4	51.9	25.6	0.8

問 27【問 26 で「ほとんど自分の家で過ごす」に○をつけた方のみにお伺いします】自分の家で過ごす理由は何ですか。（○はいくつでも）

自分の家で過ごす理由は、「自分の家にいるのが好きだから」が45.1%で最も多く、次いで「家の近くには自分に合うスポーツクラブや趣味のサークルがないから」が9.8%となっています。

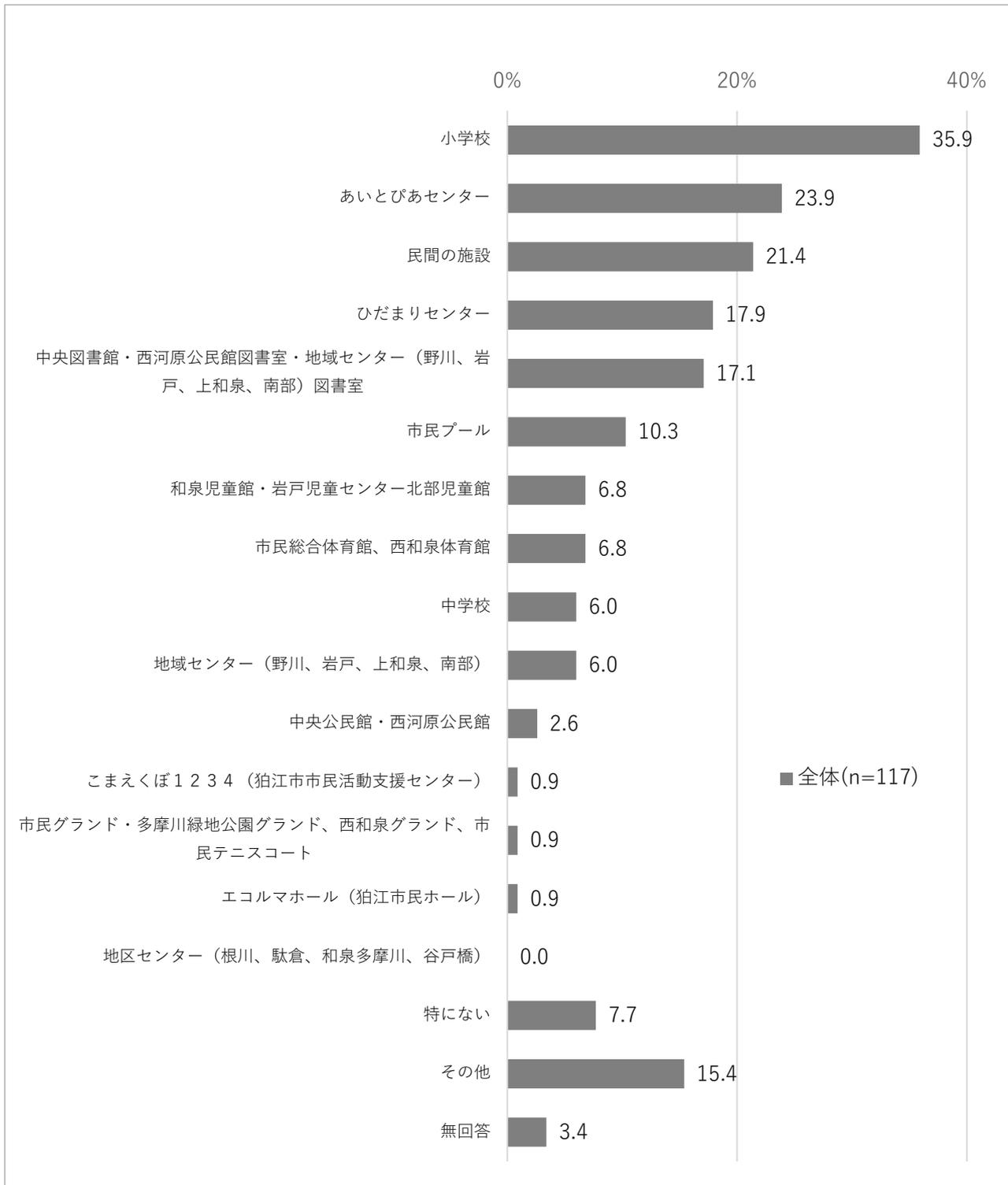


(単位：人、%)

区分	人数	自分の家にいるのが好きだから	放課後を一緒に過ごす友達がいないから	家の近くで放課後過ごせる場所がないから	学校には自分に合うクラブ活動がないから	学童クラブや児童館・児童センターに行っても楽しくないから	家の近くには自分に合うスポーツクラブや趣味のサークルがないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	51	45.1	5.9	7.8	5.9	5.9	9.8	17.6	29.4	11.8
身体障害者手帳	8	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	25.0	0.0
愛の手帳	13	46.2	15.4	15.4	15.4	0.0	7.7	23.1	23.1	15.4
児童発達支援・デイのみ	22	40.9	4.5	9.1	4.5	9.1	13.6	9.1	31.8	18.2
発達障がい	12	50.0	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	33.3	0.0
その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度	67	26.9	17.9	13.4	1.5	4.5	3.0	31.3	29.9	7.5

問 28 あなたが主に利用している施設は、次のうちどこですか。(〇はいくつでも)

主に利用している施設は、「小学校」が 35.9%で最も多く、次いで「あいとぴあセンター」が 23.9%となっています。



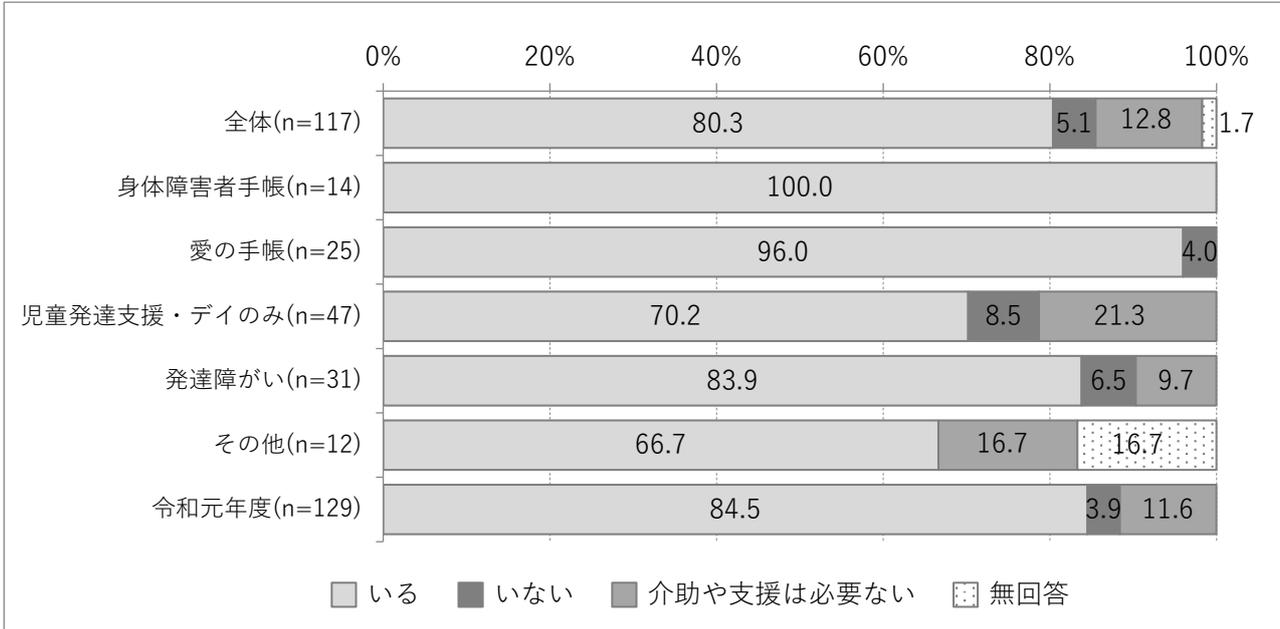
(単位：人、%)

区分	人数	小学校	中学校	中央公民館・西河原公民館	地域センター(野川、岩戸、上和泉、南部)	地区センター(根川、駄倉、和泉多摩川、谷戸橋)	和泉児童館・岩戸児童センター北部児童館	中央図書館・西河原公民館図書室・地域センター(野川、岩戸、上和泉、南部) 図書室	こまえくぼ1234(狛江市市民活動支援センター)	あいとびあセンター
全体	117	35.9	6.0	2.6	6.0	0.0	6.8	17.1	0.9	23.9
身体障害者手帳	14	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7
愛の手帳	25	32.0	16.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	32.0
児童発達支援・デイのみ	47	29.8	2.1	2.1	8.5	0.0	12.8	29.8	2.1	25.5
発達障がい	31	51.6	12.9	0.0	3.2	0.0	3.2	12.9	0.0	12.9
その他	12	41.7	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3

区分	ひだまりセンター	市民グラウンド・多摩川緑地公園グラウンド、西和泉グラウンド、市民テニスコート	市民総合体育館、西和泉体育館	エコルマホール(狛江市民ホール)	民間の施設	市民プール	特にない	その他	無回答
全体	17.9	0.9	6.8	0.9	21.4	10.3	7.7	15.4	3.4
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	42.9	14.3	7.1
愛の手帳	20.0	0.0	4.0	0.0	20.0	4.0	4.0	12.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	17.0	0.0	6.4	0.0	25.5	19.1	4.3	21.3	2.1
発達障がい	25.8	3.2	6.5	0.0	29.0	3.2	3.2	6.5	0.0
その他	16.7	0.0	25.0	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	16.7

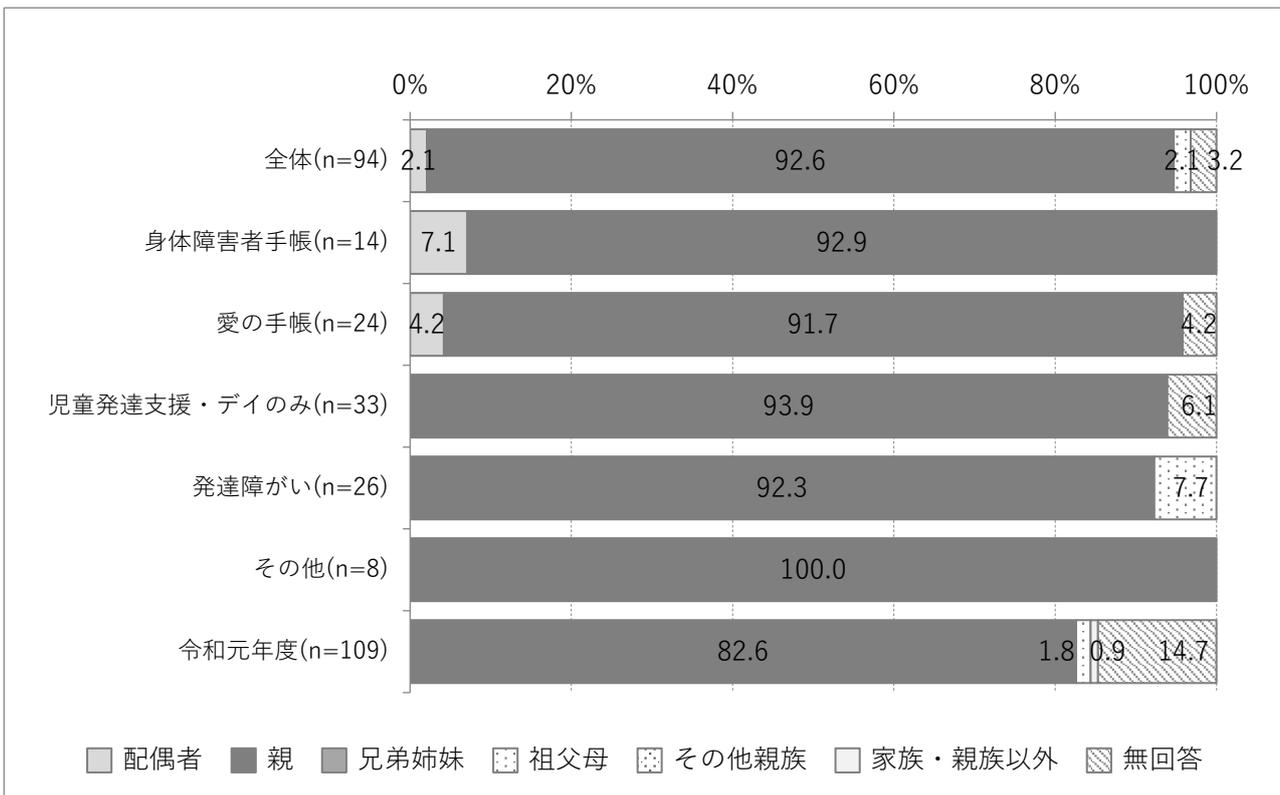
問 29 あなたには、あなたの介助や支援をする方がいますか。(○は1つ)

介助や支援をする方がいるかは、「いる」が 80.3%、「いない」が 5.1%、「介助や介護は必要ない」が 12.8%となっています。



問 30 【問 29 で「いる」○をつけた方のみにお伺いします】あなたの介助や支援を主にしている方はどなたですか。(○は1つ)

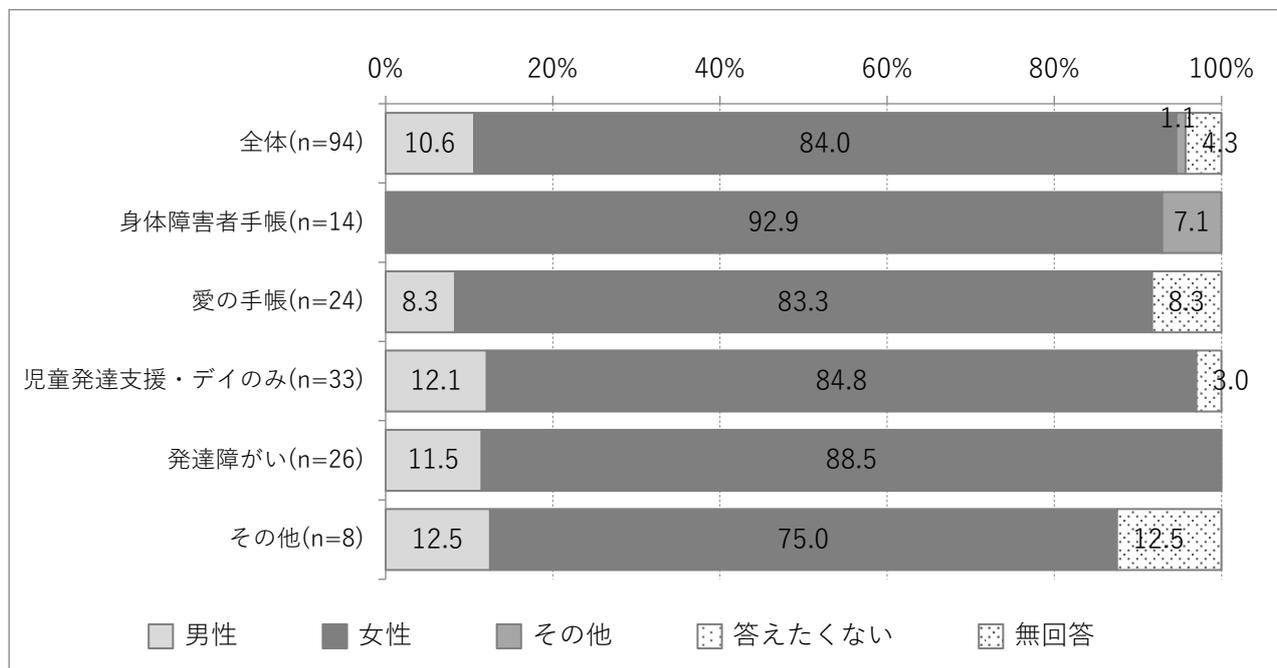
介助や支援を主にしている方の属性は、「親」が 92.6%で最も多くなっています。



問 31【問 29 で「いる」○をつけた方のみにお伺いします】

①あなたの介助や支援を主にしている方の性別を選択してください。（○は1つ）

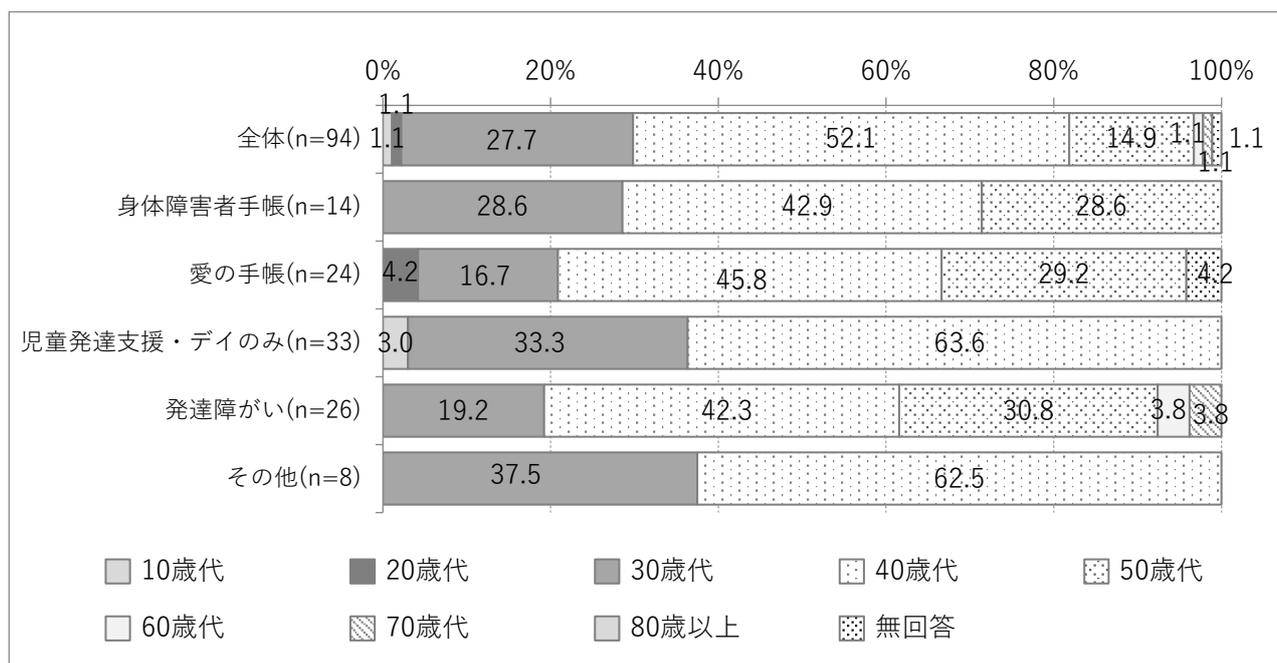
介助や支援を主にしている方の性別は、「女性」が84.0%で最も多くなっています。



問 31【問 29 で「いる」○をつけた方のみにお伺いします】

②令和4年12月1日現在のあなたの介助や支援を主にしている方の年齢をお伺いします。（○は1つ）

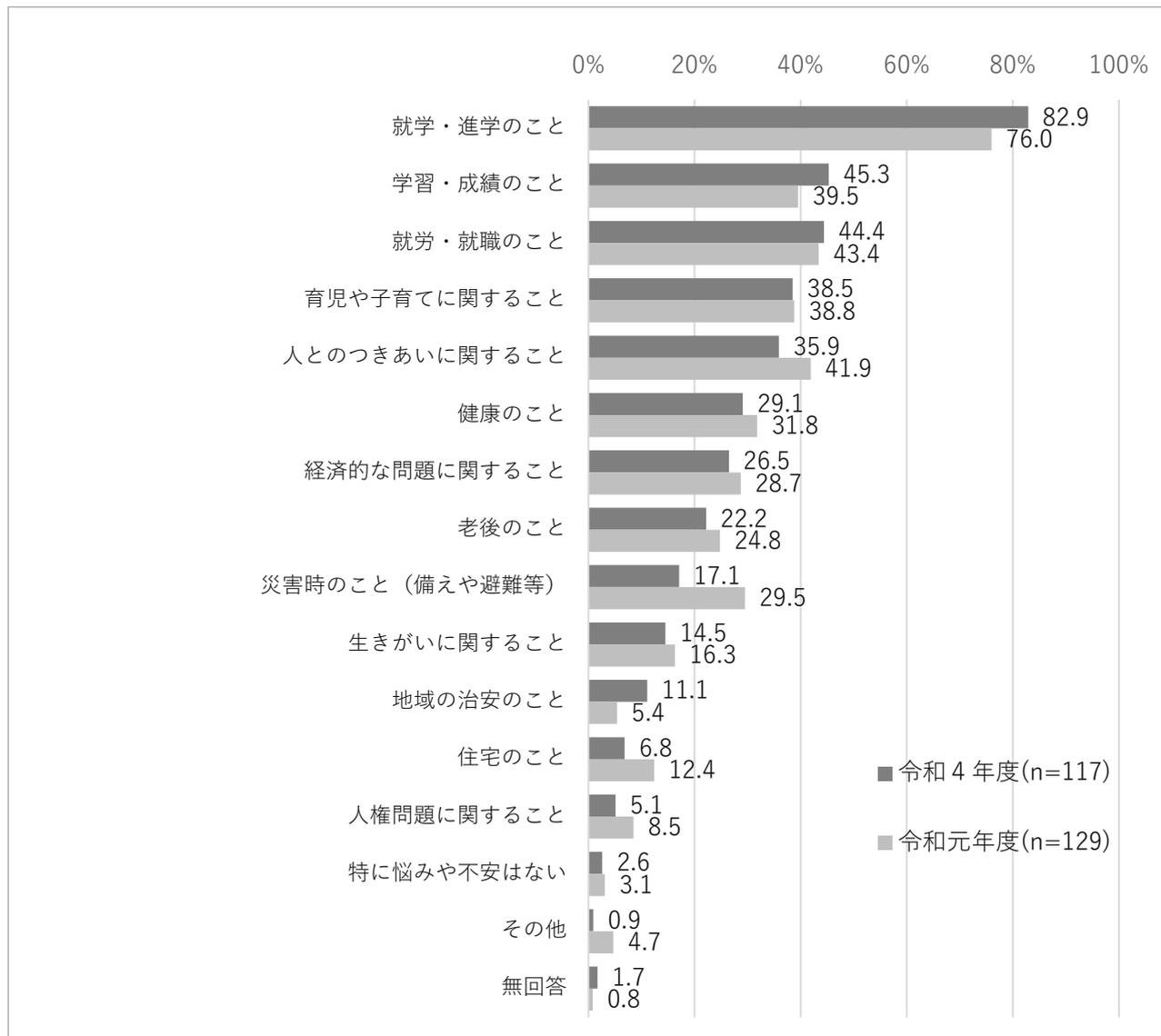
介助や支援を主にしている方の令和4年12月1日現在の年齢は、「40歳代」が52.1%で最も多く、次いで「30歳代」が27.7%となっています。



問 32 ご家族は、日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることがありますか。

(〇はいくつでも)

日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることには、「就学・進学のこと」が82.9%で最も多く、次いで「学習・成績のこと」が45.3%となっています。



3 日常生活の困りごと

(単位：人、%)

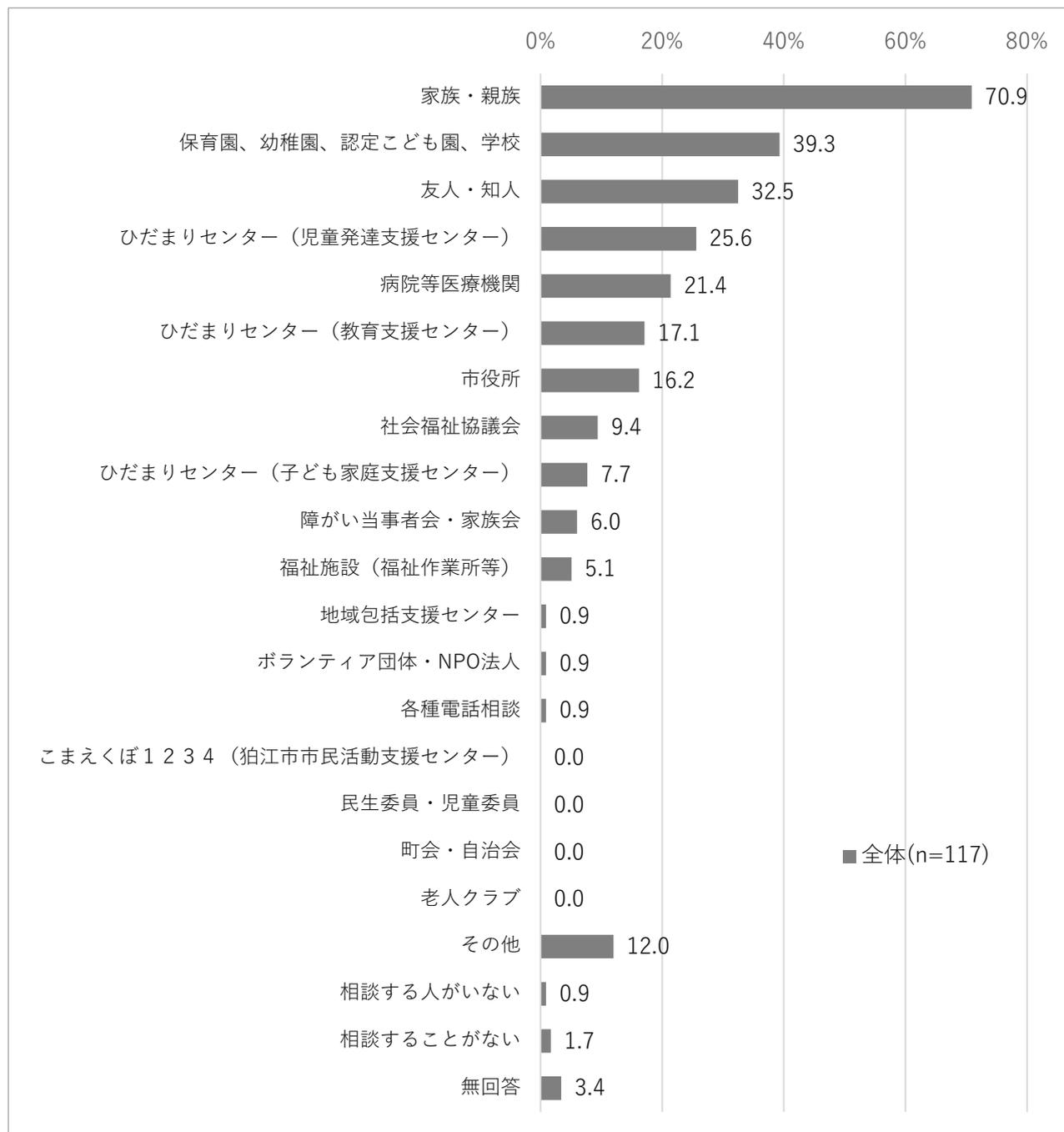
区分	人数	健康のこと	就学・進学のこと	就労・就職のこと	老後のこと	生きがいに関すること	育児や子育てに関すること	経済的な問題に関すること	人とのつきあいに関すること
全体	117	29.1	82.9	44.4	22.2	14.5	38.5	26.5	35.9
身体障害者手帳	14	78.6	78.6	64.3	35.7	28.6	28.6	35.7	28.6
愛の手帳	25	44.0	84.0	76.0	60.0	28.0	12.0	40.0	40.0
児童発達支援・デイのみ	47	14.9	80.9	23.4	8.5	2.1	53.2	12.8	36.2
発達障がい	31	35.5	93.5	54.8	25.8	22.6	29.0	35.5	41.9
その他	12	8.3	66.7	25.0	8.3	16.7	33.3	33.3	33.3
令和元年度	129	31.8	76.0	43.4	24.8	16.3	38.8	28.7	41.9

区分	住宅のこと	地域の治安のこと	災害時のこと(備えや避難等)	人権問題に関すること	学習・成績のこと	特に悩みや不安はない	その他	無回答
全体	6.8	11.1	17.1	5.1	45.3	2.6	0.9	1.7
身体障害者手帳	14.3	21.4	57.1	21.4	42.9	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	16.0	12.0	24.0	4.0	28.0	0.0	4.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	2.1	12.8	6.4	2.1	36.2	6.4	0.0	0.0
発達障がい	6.5	12.9	22.6	3.2	67.7	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	8.3	8.3	50.0	0.0	0.0	16.7
令和元年度	12.4	5.4	29.5	8.5	39.5	3.1	4.7	0.8

問 33 高齢者・障がい者・子育て・福祉に関する生活での困りごとがあった場合、あなたは主にどこに相談しますか。

(〇はいくつでも)

高齢者・障がい者・子育て・福祉に関する生活での困りごとがあった場合の相談先は、「家族・親族」が70.9%で最も多く、次いで「保育園、幼稚園、認定子ども園、学校」が39.3%となっています。



3 日常生活の困りごと

(単位：人、%)

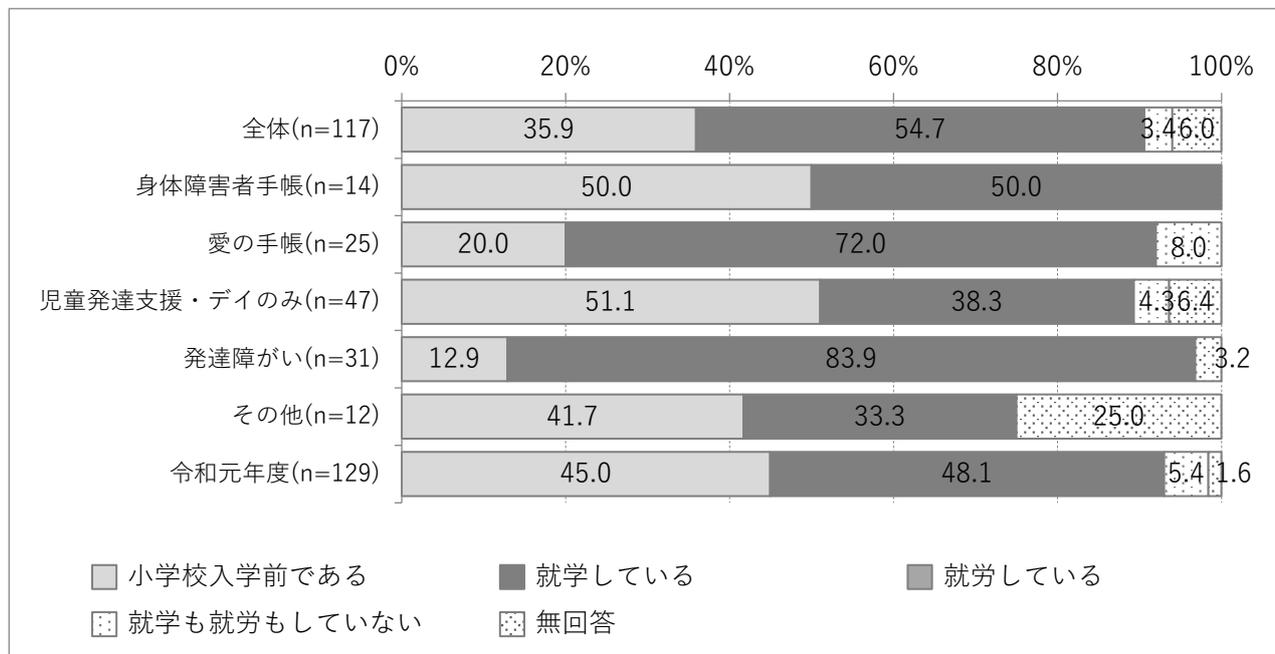
区分	人数	家族・親族	友人・知人	学校 保育園、幼稚園、認定こども園、	病院等医療機関	ひだまりセンター(子ども家庭支援センター)	ひだまりセンター(児童発達支援センター)	ひだまりセンター(教育支援センター)	地域包括支援センター	障がい当事者会・家族会	社会福祉協議会	こまえくぼ1234(狛江市市民活動支援センター)
全体	117	70.9	32.5	39.3	21.4	7.7	25.6	17.1	0.9	6.0	9.4	0.0
身体障害者手帳	14	71.4	42.9	35.7	64.3	0.0	7.1	7.1	0.0	14.3	21.4	0.0
愛の手帳	25	76.0	48.0	20.0	24.0	0.0	28.0	8.0	0.0	16.0	8.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	68.1	27.7	51.1	8.5	12.8	31.9	14.9	2.1	2.1	12.8	0.0
発達障がい	31	71.0	35.5	29.0	29.0	6.5	25.8	35.5	0.0	3.2	0.0	0.0
その他	12	83.3	41.7	41.7	8.3	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	福祉施設(福祉作業所等)	ボランティア団体・NPO法人	民生委員・児童委員	市役所	各種電話相談	町会・自治会	老人クラブ	その他	相談する人がいない	相談することがない	無回答
全体	5.1	0.9	0.0	16.2	0.9	0.0	0.0	12.0	0.9	1.7	3.4
身体障害者手帳	14.3	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0
愛の手帳	12.0	4.0	0.0	32.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	2.1	0.0	0.0	6.4	2.1	0.0	0.0	14.9	0.0	0.0	2.1
発達障がい	3.2	3.2	0.0	16.1	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0	3.2	3.2
その他	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

4 就学・就労等の状況

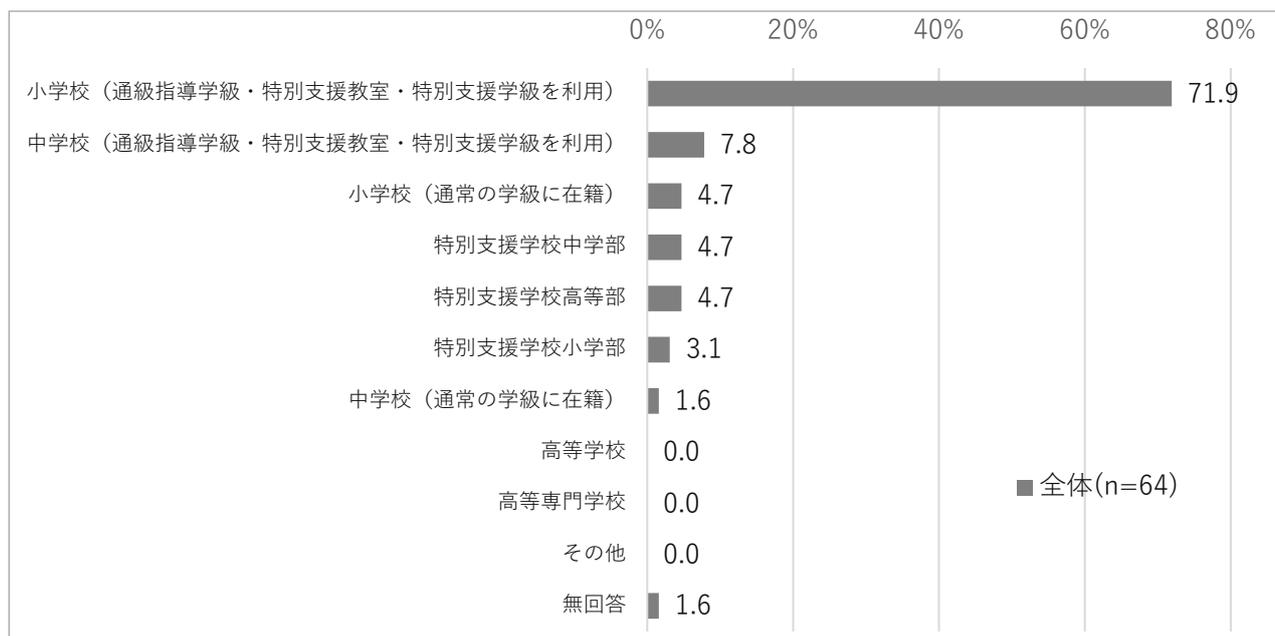
問 34 あなたは現在、就学又は就労していますか。(○は1つ)

就学又は就労の状況は、「就学している」が 54.7%で最も多く、次いで「小学校入学前である」が 35.9%となっています。



問 35 【問 34 で「就学している」に○をつけた方のみにお伺いします】現在の就学先は、次のうちどれですか。(○は1つ)

現在の就学先は、「小学校（通級指導学級・特別支援教室・特別支援学級を利用）」が 71.9%で最も多く、次いで「中学校（通級指導学級・特別支援教室・特別支援学級を利用）」が 7.8%となっています。

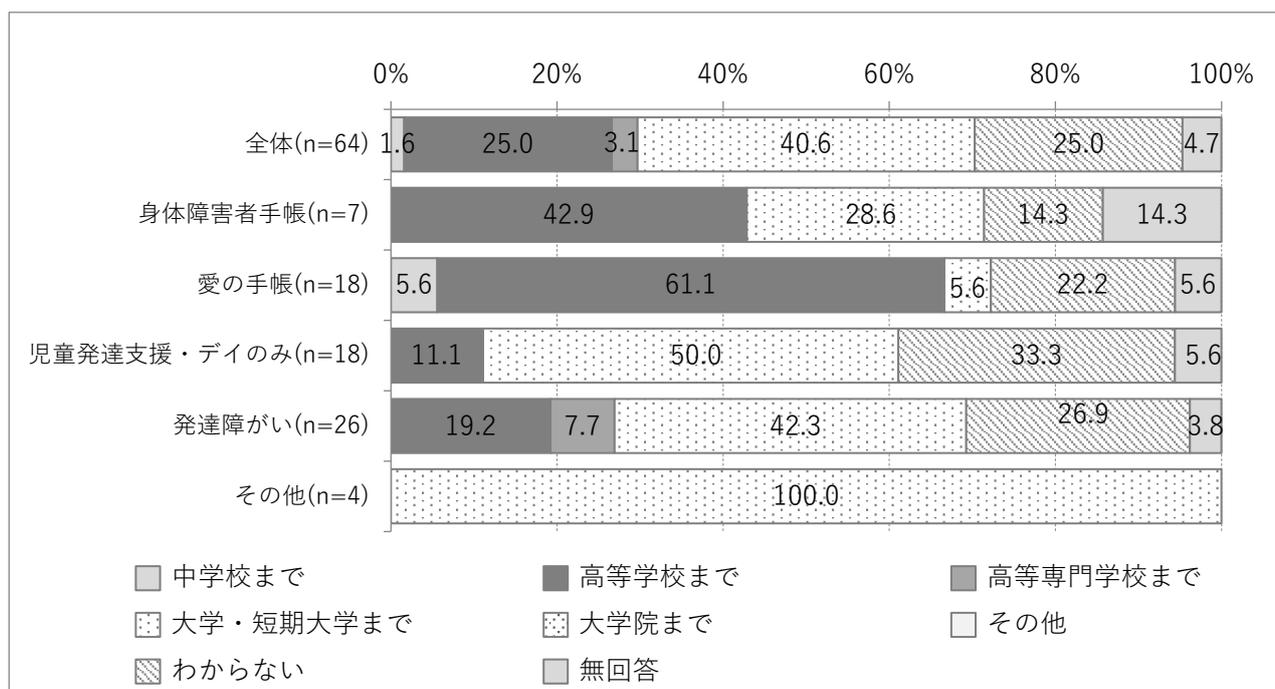


(単位：人、%)

区分	人数	小学校 (通常の学級に在籍)	小学校 (通級指導学級・特別支援 教室・特別支援学級を利用)	特別支援学校小学部	中学校 (通常の学級に在籍)	中学校 (通級指導学級・特別支援 教室・特別支援学級を利用)	特別支援学校中学部	高等学校	特別支援学校高等部	高等専門学校	その他	無回答
全体	64	4.7	71.9	3.1	1.6	7.8	4.7	0.0	4.7	0.0	0.0	1.6
身体障害者手帳	7	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	18	0.0	55.6	11.1	5.6	11.1	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	18	11.1	77.8	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
発達障がい	26	0.0	84.6	0.0	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

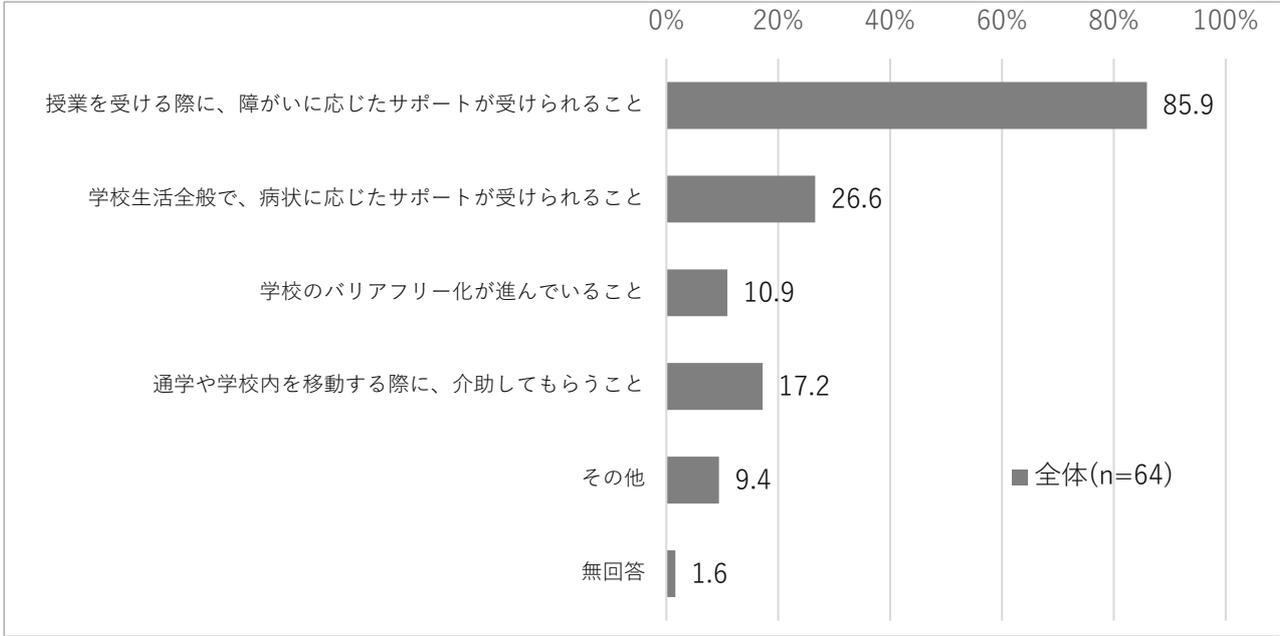
問 36【問 34 で「就学している」に○をつけた方のみにお伺いします】将来、どこまで進学したいと考えていますか。(○は1つ)

将来、どこまで進学したいと考えているかは、「大学・短期大学まで」が40.6%で最も多く、次いで「高等学校まで」および「わからない」が25.0%となっています。



問 37【問 34 で「就学している」に○をつけた方のみにお伺いします】就学する上で必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

就学する上で必要だと思うことは、「授業を受ける際に、障がいに応じたサポートが受けられること」が 85.9%で最も多く、次いで「学校生活全般で、病状に応じたサポートが受けられること」が 26.6%となっています。



(単位：人、%)

区分	人数	授業を受ける際に、障がいに応じたサポートが受けられること	学校生活全般で、病状に応じたサポートが受けられること	学校のバリアフリー化が進んでいること	通学や学校内を移動する際に、介助してもらうこと	その他	無回答
全体	64	85.9	26.6	10.9	17.2	9.4	1.6
身体障害者手帳	7	85.7	28.6	42.9	71.4	14.3	0.0
愛の手帳	18	66.7	27.8	5.6	38.9	16.7	0.0
児童発達支援・デイのみ	18	94.4	16.7	0.0	0.0	0.0	5.6
発達障がい	26	96.2	23.1	7.7	3.8	3.8	0.0
その他	4	75.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0

問 38 具体的にはどのようなサポートを必要としていますか。

学習支援・指導：16件

- ・日本の学校は平均の子の為の授業で、上位と下位の子達に内容が合わず、授業と関係ない作業を許さず、椅子に座ってさえすれば良しとされるので、時間の搾取だと思う。ADHDでなくても、耳からの理解が苦手、短期記憶が弱い子は多いはずなのに、先生がひたすら黒板の前で話し、板書する授業が多く、何も身に付かない実態があると思う。先生達も過重労働で子ども達に手がまわりません。障がい児の為だけでなく、全体の子どもの為に、少人数制にするか、副担任の配置、タブレット学習（チャレンジタッチなど）の許可など、学校時間で勉強が身につくシステムにしてほしいです。放課後デイサービスや通級で勉強を教えるはいけないというのも、廃止してほしいです。
- ・授業の内容をわかりやすく個々に説明してほしい。その子その子にあったサポート。学校側に何かお願いしてもできませんと言われたり、人数が多く対応できないと言われ、何の為の支援級かわからない状態です。担任の先生方が、まず、その子の障がいを理解していただきたい。

日常生活上の介助や支援、合理的配慮：12件

- ・（障がいの）特性を理解した上で、本人が困った事など具体的に対策を講じ、平等に授業を受けられるように配慮してもらえ（補助具の導入など）。担任、クラスといった小集団だけでなく、学校全体でサポートできるよう情報共有。
- ・友人作りなど社会に溶け込めるよう、支援、環境づくり、進学、学習への支援。
- ・集中力が続かないことがあるので、本人が気持ちを切替える猶予が与えられること。個人のペースが確保でき、一斉の声掛けだけで物事が進まないこと（耳からの情報だけで判断させない）。

サポート体制等の充実：10件

- ・外見からはわかりづらい発達障がいの個々の特性について、教師一人では対応できないので、サポートする人材が必要だと思う。
- ・子どもが何に困っているのか、密に他の先生たちとも話し合っって同じサポートができるようにしてほしい。
- ・特性を理解したサポーターがいること、又は、少なからず研修や勉強をしてきている人員。合理的配慮ができる環境設備（個々に合った机、イス、教材、パーテーションなど）。学校、療育、病院、放課後デイサービス等をつなぎ、支援相談のできるコーディネーター。
- ・サポートをお願いできる介助員の先生が足りないように思います。

周囲の理解促進：3件

- ・学校の先生達の発達障がいに関する知識が不足している（バラつきがかなりある）。特に年配の先生になる程、理解がないように見受けられる。叱られることで二次障がいが起こりうることや、その子に見合った宿題の量など勉強してほしい。
- ・（本人の）障がいや苦手なことを先生方とクラスに知ってもらおうこと。また、困ったことがあったときに、気軽に相談や話すことができる環境があると良いなと思います。

居場所・休憩場所等の確保：3件

- ・瞬間的な判断や応答が難しい子どもにとって、通常の集団に対する指導や授業だけでは、ついていく事ができない。（勉強の内容ではなく、トラブル対応など）困っている時や、悩んだ時に、落ち着いて話のできる場所や人がほしいと思う。現状は（保健室でも）まったくそのような環境がないので、学校現場には求められないのかと残念に思っています。
- ・苦手な状況を回避するための場所や、その事に対する大人の理解。

移動における支援：2件

- ・スクールバスの充実。高校になったら通学できるか不安。今はスクールバスがあるが、高校はないので。
- ・特別支援学級への通学のサポート（学区外から通う場合、親が付き添う上、公共交通機関の利用が難しい）。

その他：6件

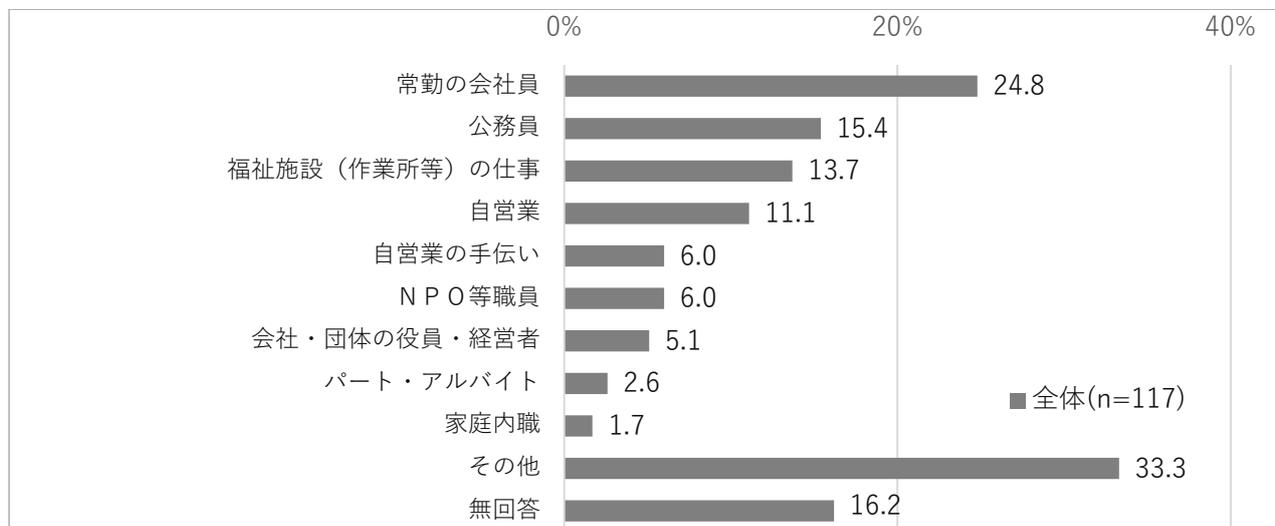
- ・柔軟な進学先、支援0か100ではなく、個に応じた支援。その事例情報の提供。
- ・個別に指導を受ける機会を増してほしい。人数が多すぎると集中できず、人に対して気をつかいついでつかれてしまう為、その様な心理面を理解して学べる環境があると嬉しい。吃者の理解・啓発・病状・特に心理面で不安が強い時に集団に無理に合わせる為に負担をかけすぎない指導、ただしできる可能性がある事に対しては本人の意欲・自己肯定感の低下を避ける為にも、トライするチャンスもあたえてくれる特別支援・学びであればうれしい。

問 39【問 34 で「就労している」に○をつけた方のみにお伺いします】就学する上で必要だと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

該当者なし

問 40 将来、どのような仕事をしたいですか。（〇はいくつでも）

将来、どのような仕事をしたいかは、「常勤の会社員」が24.8%で最も多く、次いで「公務員」が15.4%となっています。

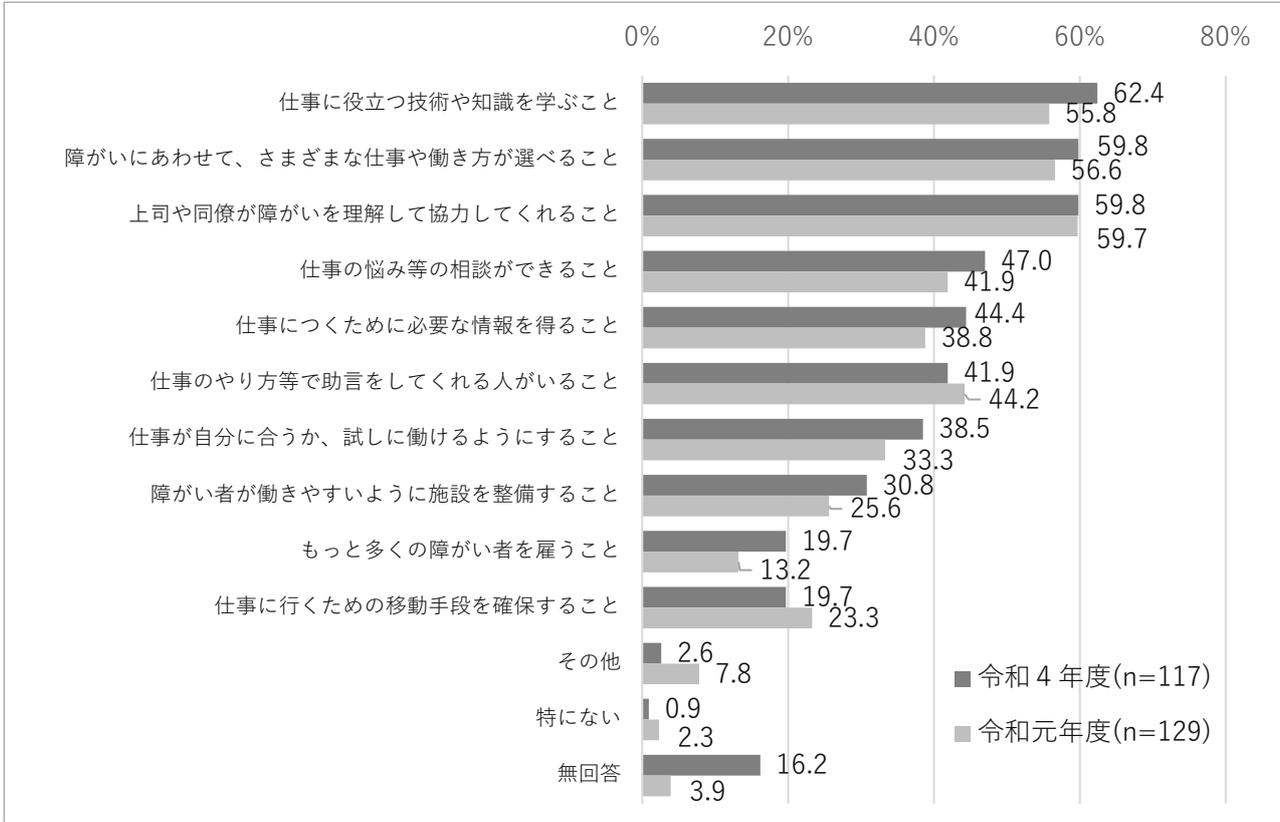


(単位：人、%)

区分	人数	自営業	自営業の手伝い	会社・団体の役員・経営者	常勤の会社員	公務員	NPO等職員	パート・アルバイト	家庭内職	福祉施設（作業所等）の仕事	その他	無回答
全体	117	11.1	6.0	5.1	24.8	15.4	6.0	2.6	1.7	13.7	33.3	16.2
身体障害者手帳	14	21.4	0.0	7.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	21.4	14.3	28.6
愛の手帳	25	4.0	8.0	0.0	16.0	0.0	0.0	4.0	4.0	32.0	44.0	8.0
児童発達支援・デイのみ	47	6.4	4.3	6.4	29.8	25.5	8.5	0.0	0.0	4.3	27.7	17.0
発達障がい	31	19.4	9.7	6.5	29.0	12.9	6.5	3.2	3.2	16.1	35.5	12.9
その他	12	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	58.3	16.7

問 41 仕事をする（続ける）ために、必要だと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

仕事をする（続ける）ために、必要だと思うことは、「常勤の会社員」が 24.8%で最も多く、次いで「公務員」が 15.4%となっています。



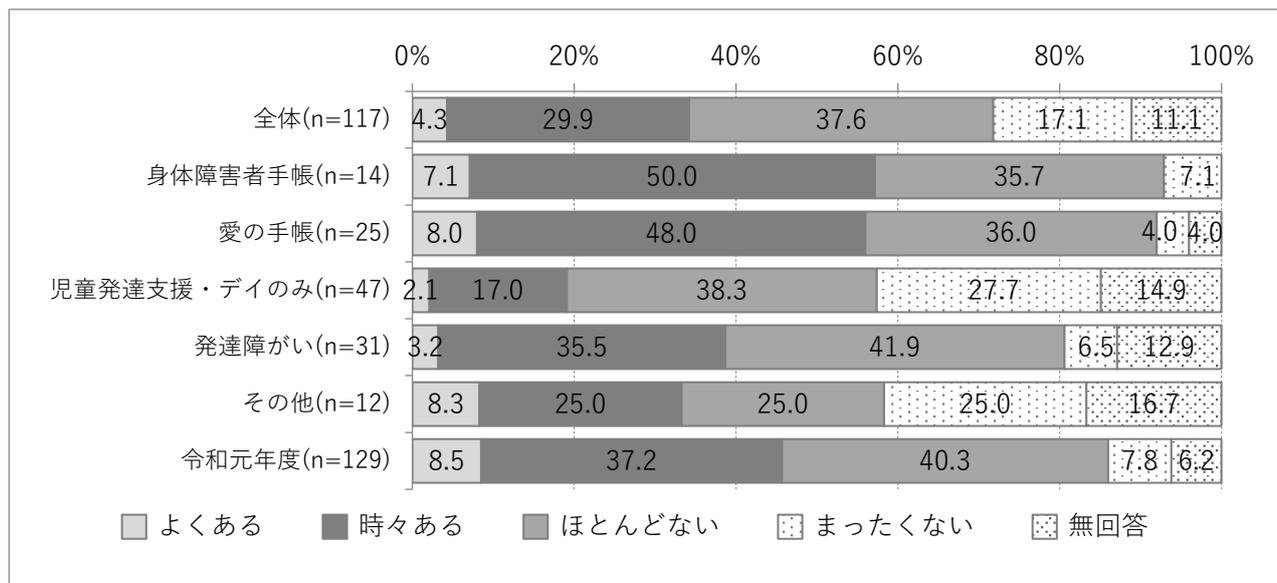
(単位：人、%)

区分	人数	仕事に役立つ技術や知識を学ぶこと	仕事につくために必要な情報を得ること	障がいにあわせて、さまざまな仕事や働き方が選べること	もっと多くの障がい者を雇うこと	障がい者が働きやすいように施設を整備すること	仕事に行くための移動手段を確保すること	仕事のやり方等で助言をしてくれる人がいること	仕事に自分に合うか、試しに働けるようにすること	上司や同僚が障がいを理解して協力してくれること	仕事の悩み等の相談ができること	その他	特にない	無回答
全体	117	62.4	44.4	59.8	19.7	30.8	19.7	41.9	38.5	59.8	47.0	2.6	0.9	16.2
身体障害者手帳	14	64.3	42.9	78.6	28.6	50.0	42.9	42.9	35.7	57.1	42.9	0.0	0.0	21.4
愛の手帳	25	72.0	52.0	88.0	36.0	52.0	36.0	52.0	52.0	68.0	56.0	0.0	4.0	4.0
児童発達支援・デイのみ	47	66.0	40.4	51.1	10.6	21.3	12.8	40.4	23.4	55.3	38.3	2.1	0.0	14.9
発達障がい	31	61.3	54.8	64.5	25.8	41.9	25.8	58.1	64.5	77.4	71.0	0.0	0.0	16.1
その他	12	33.3	25.0	33.3	25.0	16.7	0.0	8.3	25.0	33.3	25.0	16.7	0.0	33.3
令和元年度	129	55.8	38.8	56.6	13.2	25.6	23.3	44.2	33.3	59.7	41.9	7.8	2.3	3.9

5 障がい者差別について

問 42 あなたは障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがありますか。（○は1つ）

障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあるかは、「ほとんどない」が37.6%で最も多く、次いで「時々ある」が29.9%となっています。



問 43 差別を感じたり嫌な思いをしたりしたのは、どのようなときですか。

市民や家庭における理解不足・不適切な接し方：14 件

- ・理解のない方からの冷たい対応や、きちんと話を聞いてもらえていない時。
- ・まず顔を見られる。何をするにも選択肢がない（学校内でも）。今、この用紙でアンケートに答えている事！アンケートを書かないとわかってもらえない！
- ・物事の手順や苦手な感触、自分の中で受け入れられない事を理解されず強要される。
- ・街中でパニックになり騒いでしまったとき、心ない言葉をかけられたことがある。

教育・保育・労働における理解不足・不適切な接し方：12 件

- ・隣のクラスの子が様子を見にくる、弱虫と言われていた。
- ・学校で友達に理解してもらえず、一方的に自分が悪いと言われてしまったとき。
- ・漢字の書きとりテストで、答えを見ながら写して良いと担任の先生に許可をもらっていたが、周りの生徒から理解してもらえず嫌な気持ちになりました。
- ・他の生徒から支援学級にいる事を理由に、悪口を言われる事がある。

サービス・利用・手続等における理解不足・不適切な接し方：5 件

- ・保育所に入れなかったり、保護者以外の日常的な公助者の確保に困った時。
- ・保育園では療育施設に通うことを勧められたりと、居場所がどこか分からなくなる。支援センターの週5預りは通えず、板ばさみな感じがしている。健常児と同じところにいて良いのか分からなくなり、ときどき辛い。
- ・ある民間の科学教室の体験クラスに参加した時の事です。前もって（障がいがあっても参加可能か）問合わせたにもかかわらず、当日、二人のアシスタント講師が息子の行動が他と違う事に対し、不快な表情や視線をあからさまにしました。又、頭を左右に一人息子が質問しようとする時、声をあげたりもしました。大変つらい時間を過ごしました。

医療・福祉施設での理解不足・不適切な接し方：2 件

- ・じろじろ見られる。病院で知的障がい、発達障がいを理解してもらえず受診を断られたり厳しく対応されたりする。病院探しに苦労し、他の自治体まで通わなくてはならない。

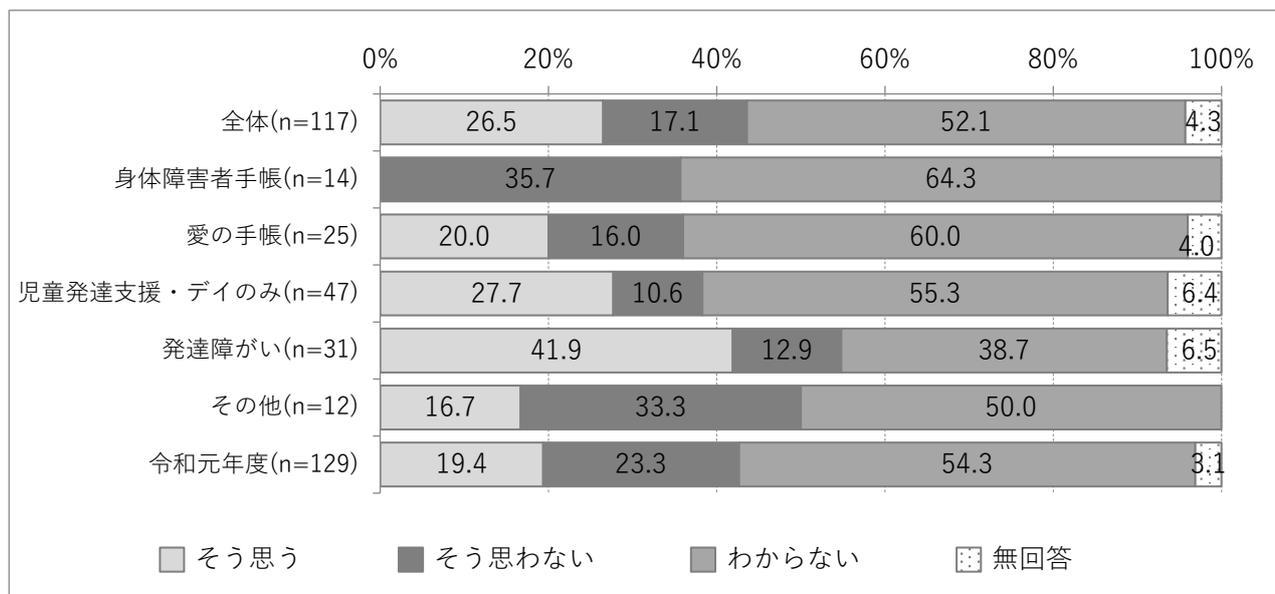
物理的な壁：1 件

- ・幼児のストマ処理は大変です。寝かせて処理することになるにも関わらず、横にさせるスペース、場所がほとんどありません。そのため外出が減りました。オストメイトトイレは自分で処理できる人のものにしか思えません。オムツ交換ベッドがあっても、赤ちゃん用の小さいもの、体重も制限あります。駅によっては大きなベッドがありますが、もっといろいろな人がいることを知ってほしいし、限られた人だけが使えるトイレをもっと増やしてほしい。

6 狛江市の障がい福祉施策について

問 44 あなたは、狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思うかは、「わからない」が52.1%で最も多く、次いで「そう思う」が26.5%となっています。



問 45（「問 44 あなたは、狛江市が障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。」）の回答の理由をご自由にお書きください。

<そう思う>

サービス・施設等の充実：13件

- ・学校は学区外の特別支援学級なので、ハンディキャブを利用して安心です。“ひだまりセンター”があるから安心です。
- ・いろいろと施設も充実していて、子どもも“ひだまりセンター”が自分の居場所のように居心地よく、周りも親切だから。
- ・“ひだまりセンター”や“ぱる”を利用するなど、支援をしていただけるのでありがたいです。

相談体制の充実：7件

- ・良い意味で市内が狭いので相談しに行きやすい。電話でも（相談）可能な事が仕事をしながら子育てしてる身にとって嬉しい。
- ・困りごとがあった時、市役所の福祉課に相談したところ、子どものことだけでなく家族全体の困り事を聞いてくれて、できることを対応してもらった。長期にわたり気にかけてもらい、大変心強かったです。

- ・保育園の先生、小学校の先生、放課後デイサービスの先生や療育ママなど、わからない事や知りたい事を教えて頂けてとても感謝している。

障がいへの理解：5件

- ・学校の先生の理解、放課後デイサービスの存在が大きいです。
- ・学校・友人の理解がある。
- ・選挙の対応の報道発信など、周囲の理解の為の発信を行っているため、将来長い目で見ると、地域として障がいへの理解が、他の市区町村よりも深くなっていると思うため。

<そう思わない>

サービス・制度等への不満：8件

- ・必要なサービスなど、人数オーバーにより受ける事ができない。受け入れ先（施設）が少ない。
- ・資源が充実していない。短期入所などの施設がない。ヘルパーさんの数が少ない。
- ・児童発達支援に関してはサービス提供事業所が少ない。子どもの多くが調布や川崎まで通っており、親の負担が大きい。

放課後デイサービス不足等への不満：6件

- ・市内に放課後デイサービスがないに等しく利用できない。精神障がいの助成がない。通院が大変。費用かかる。
- ・狛江市に利用できる放課後デイサービスがない為、川崎まで行っている。“ひだまりセンター”ができたのは良かったが、定員オーバーと言われ、利用待ちの方がたくさんいる。

教育・保育における理解不足・不適切な接し方：2件

- ・学校で、発達障がいの子の理解について、他の子どもや保護者に対して説明できるようなスキルをもってほしい。かんしゃくを起こし、手を出したときに、犯罪者になるといわれました。教育者としてありえません。普通＝よい、その考え方が傷つく子もいます。
- ・保育園での加配がある・ない等保育園それぞれで対応がちがう。療育手帳を持ってない場合（限りなくそのレベルに近い）、保育園申込時の点数の加点もない。

<わからない>

サービス・制度の運用や充実：14件

- ・他所での生活をしていないのでわからないが、少なくとも現状、個人的に住みやすいかと言われると、そうではないと思う。市内に利用したいサービスがあっても、人数が一杯で入れなかったり、結局市外でサービスを探さなければならない。市外では、当然市内優先になるので入りにくいし、希望する内容とは合わない場所しかなく、あきらめる事も。
- ・現在必要な支援を受けられているが、グループホームなど、卒業後の生活の見通しがまだ持てず、不安になる。
- ・サポートの窓口があっても人数の問題などでケアを受けられない事がある。

障がい福祉サービス等の利用が少ない：6件

- ・子どもがまだ小学生なので、その成長した先の福祉がどうなっているのか、判断がつかないため。
- ・通級と放課後デイサービスを利用している位なので、福祉施策全体についてはよくわからない。放課後デイサービスは増えるといいなどは感じています。
- ・まだ就学前で幼稚園内での生活が中心で、体感することが少ない為、判断しにくい。

誰もが利用しやすいまちづくり：5件

- ・ガードレールのある通学路がもっとできたら良いと思います。難しいとは思いますが、注意欠如なので、車と人が混在の道路が多く、塾に行かせるのも自転車でも心配です。世田谷通りの南から直接北へ行くバスがない。療育施設は北に多く、総合体育館などへにも、送迎が必要。高学年が自転車で安全に通えるよう整えてほしいです。一の橋、二の橋の交差点が危険です。水道道路を早く拡張してほしいです。子どもが自転車で安全に移動できる道にしてほしいです。
- ・道が狭いなど障がいがある方には大変かなと思う。実際に水道道路で車椅子の方が歩道が通りにくかった様で転倒されているのを手助けしたことがある。
- ・車椅子で移動し、重度の身心障がい児なので、アップダウンのない地形、又、人が多すぎないのんびりとした狛江は暮らしやすいと思います。ただ、福祉施設等の資源があまりなく、卒業後に関しては選択肢がないので、将来への希望や期待感がなかなか抱けないという思いがあります。障がいのある人には、選択する自由やチャンスが少なく、大人になればなる程楽しむことが難しくなるように感じています。

他都市の状況が不明のため比較が難しい：4件

- ・他の市の内容もわからないですし、実際受ける立場になればわかるんだと思います。
- ・他の地域とくらべた事がないので。

情報共有の充実：3件

- ・これまで、保育園、児童発達支援、“ひだまりセンター”、放課後デイサービス等を利用してきましたが、情報を集める等、ネットを利用した自力での作業が多く、とても大変でした。そうした情報をまとめた形でもらえるような事がないと、情報弱者だと利用できないだろうな…と感じています。また、今現在もこれから先の進学、就労にあたっての情報をまだ何も持っていないので非常に不安で、この先本人にとって住みやすいかどうかわからない状況です。

その他：4件

- ・“ひだまりセンター”に通っているの、子ども達は住みやすいまちだと思いますが、大人の障がい者の方々がどのように感じているかはわかりません。
- ・子どもの発達支援に関しては相談できる場所が整っていると思います。小さい頃から、“ぱる”や“ゆめぽつと”を利用させていただきましたが、親身になって接してくださる先生方にとても助けられました。

狛江市地域福祉計画等の策定等に係る

市民意識調査結果報告書

発行日 令和5年7月

発行 狛江市 福祉保健部 福祉政策課

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5

TEL 03(3430) 1111 (代表)